

博士学位論文（東京外国語大学）

Doctoral Thesis (Tokyo University of Foreign Studies)

氏 名	NGUYEN THI MINH VAN
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	博甲第 240 号
学位授与の日付	2018 年 1 月 17 日
学位授与大学	東京外国語大学
博士学位論文題目	通訳・翻訳プロセスモデルの検討 そのプロセスにおける明晰化ストラテジーを中心に —ベトナム語-日本語の通訳・翻訳の場合を事例として—

Name	NGUYEN THI MINH VAN
Name of Degree	Doctor of Philosophy (Humanities)
Degree Number	Kono. 240
Date	January 17, 2018
Grantor	Tokyo University of Foreign Studies, JAPAN
Title of Doctoral Thesis	A STUDY ON INTERPRETATION & TRANSLATION PROCESS MODEL - FOCUSING ON EXPLICITATION STRATEGIES IN THE PROCESS -FROM THE STUDY CASE OF VIETNAMESE-JAPANESE INTERPRETATION & TRANSLATION

博士論文

通訳・翻訳プロセスモデルの検討

そのプロセスにおける明晰化ストラテジーを中心に
—ベトナム語-日本語の通訳・翻訳の場合を事例として—

グエン・ティ・ミン・ヴァン

2017 年 9 月

東京外国語大学大学院総合国際学研究科

博士後期課程言語文化専攻

目次

はじめに	5
章立て	5
 第一部：序論	7
第 1 章	
研究背景及び本研究の目的・意義	
通訳・翻訳プロセスモデルと明示化ストラテジーの位置づけ	8
1.1 研究背景	8
1.2 本研究の目的・意義	11
1.2.1 本研究の目的	11
1.2.2 本研究の意義	11
1.3 本研究で提案する通訳・翻訳プロセスモデル	11
1.4 通訳・翻訳プロセスにおいて発生し得る問題や対処する各種のストラ テジー	21
1.5 「明示化」の概念説明及び「明晰化」という概念の導入背景	24
1.5.1 「明示化」の辞典上の定義	24
1.5.2 通訳・翻訳の先行研究における明示化の概念や役割、分類方法	25
第 2 章	
「明晰化」の概念説明及び明晰化ストラテジーの活用を左右する諸要素の検 討	32
2.1 明晰化の概念説明	32
2.1.1 明晰化の定義	32
2.1.2 本研究で扱う明晰化ストラテジー	33
2.2 明晰化ストラテジーの活用を左右する諸要素の検討	40
2.2.1 訳出形態の異同によるもの	39
2.2.2 起点言語と目標言語の異同によるもの－日本語とベトナム語の言語ペア を事例に－	41
 第二部：本論	60

第3章

本研究の方法論	61
3.1 本研究の範囲	61
3.2 研究設問	62
3.3 明晰化ストラテジーを検討するための方法	62
3.3.1 通訳データを収集するための実験の概要	63
3.3.2 翻訳データを収集するための実験の概要	67
3.3.3 意識調査	73
3.3.4 明晰化ストラテジーの効果の調査	74

第4章

全データで観察できた明晰化ストラテジーの概観

全データ分析結果と結果の信頼性	77
4.1 全データで観察できた明晰化ストラテジーの一覧	77
4.2 明晰化ストラテジーの定義や解説	80
4.2.1 主体の明示化	80
4.2.2 前置き表現の活用	81
4.2.3 原文の構成変更	82
4.2.5 性別の明示化	85
4.2.6 指示語の意味明確化	86
4.2.7 指示語の付加	86
4.2.8 暗示された情報の復元	88
4.2.9 程度副詞の付加	89
4.2.10 説明の追加	90
4.2.11 複数の類義語の活用	91
4.2.12 接続詞の付加	92
4.2.13 読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	93
4.2.14 テンス・アスペクトの変換・具体化	95
4.2.15 原文の不自然さに対する処理	96
4.2.16 形式名詞の具体化	98
4.2.17 英語（表記）の併用による誤解防止	99
4.3 全データ分析結果及び結果の信頼性	99

4.3.1 全データ分析結果	99
4.3.2 データ分析結果の信頼性	102
第 5 章	
通訳データの分析結果と考察	106
5.1 通訳データの分析結果	106
5.1.1 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの概観	106
5.1.2 通訳者ごとに見られた明晰化ストラテジーの活用傾向	126
5.1.3 通訳方向によって異なる明晰化ストラテジーの活用傾向	132
5.2 意識調査の結果を踏まえた考察	136
5.2.1 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの概観	136
5.2.2 明晰化ストラテジーの共通した活用傾向と通訳者の意図・意識の関連性	136
5.2.2 明晰化ストラテジーの異なる活用傾向と通訳者の意識・意図の関連性	139
5.3 通訳データ分析・考察結果のまとめ	140
第 6 章	
翻訳データの分析結果と考察	142
6.1 翻訳データの分析結果	142
6.1.1 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの概観	143
6.1.2 翻訳者ごとに見られた 明晰化ストラテジーの活用傾向	153
6.1.3 翻訳方向によって異なる明晰化ストラテジーの活用傾向	158
6.2 意識調査の結果を踏まえた考察	161
6.2.1 明晰化ストラテジーの共通した活用傾向と翻訳者の意図・意識の関連性	162
6.2.2 明晰化ストラテジーの異なる活用傾向と翻訳者の意識・意図の関連性	165
6.3 翻訳データ分析・考察結果のまとめ	169
第 7 章	
訳出形態の比較	171
7.1 訳出形態に関わらず共通した明晰化ストラテジー活用の特徴	171
7.2 訳出形態によって異なる明晰化ストラテジー活用の特徴	173

7.3 意識調査を踏まえた考察	177
第 8 章	
明晰化ストラテジーの効果のアンケート調査結果と考察.....	179
8.1 アンケート調査結果のまとめ	179
8.2 アンケート調査結果の考察	182
第三部: 結論.....	189
第 9 章	
結果のまとめ及びプロセスモデルの振り返り	190
9.1 分析・考察結果のまとめ	190
9.2 日本語-ベトナム語の通訳・翻訳プロセスモデルの振り返り	194
第 10 章	
研究結果の実践応用及び今後の課題.....	200
10.1 研究結果の実践応用	200
10.2 今後の課題	204
参考文献.....	207
図・表の一覧	211

はじめに

通訳・翻訳の研究はまだ歴史が浅く、必要なほど研究が行われていない。通訳・翻訳理論の基盤と言える書籍や研究もあるが、その理論を検証・実証する研究は残念ながらまだ十分に行われていない。一方、全世界で国際化が進んでおり、どの国も国際化に対応するために対応策を準備している。その一つとして、複数の言語に堪能であり、異文化コミュニケーションに対応可能な人材を育成することがある。そのために通訳・翻訳研究は以前よりもいっそう重要性が増している。筆者はその必要性を深く認識しており、博士論文ではこの通訳・翻訳について研究する意向を固めた。しかし、一つの分野と言っても、範囲が非常に広く、妥当性と必要性の高い研究とは何かをよく検討し、相応しいテーマに絞ることが極めて重要なポイントである。この認識を踏まえ、筆者は本論文では通訳・翻訳プロセスにおける明晰化ストラテジーを中心にベトナム語-日本語の通訳・翻訳の場合を事例として、通訳・翻訳プロセスモデルを検討することとした。このテーマを研究課題に絞ったのは、ベトナム語-日本語の言語ペアの研究が少なく、理論的枠組みを提示し、モデルの検討を行っているような研究が稀だからである。

本研究は、実践的なデータを用いてプロセスモデルを実証するという点で通訳・翻訳理論の研究に貢献できるほか、日本語-ベトナム語の言語ペアに関する学術的な研究、実践的な研究としても価値の高い資料を提供できるのではないと思う。

章立て

本研究は 10 章から構成されている。第 1 章と第 2 章が序論であり、第 3 章～第 8 章が本論、そして第 9 章～第 10 章が結論である。

第 1 章は研究背景及び本研究の目的・意義、且つ通訳・翻訳プロセスモデルと明示化ストラテジーの位置づけについて紹介する。第 2 章では「明晰化」の概念説明及び明晰化ストラテジーの活用を左右する諸要素を検討し、第 3 章では本研究の方法論を説明する。第 4 章から第 8 章にかけて、データ分析・考察を行った。第 4 章では全データを概観し、その分析結果や結果の信頼性について一通り検討した。第 5 章と第 6 章は通訳データと翻訳データの分析と考察を順次行った。第 7 章は通訳と翻訳という二つの訳出形態の比較を行い、第 8 章では明晰化ストラテジーの効果

をアンケートで調査する結果を分析し、考察した。第 4 章から第 8 章までの分析・考察結果を踏まえ、第 9 章で総括としてその結果をまとめ、第 1 章で提案した日本語-ベトナム語の通訳・翻訳プロセスモデルを振り返った。最後に第 10 章では、研究結果の実践応用の可能性及び今後の課題について示した。それぞれの章のより具体的な内容については、序論・本論・結論において説明する。

第一部：序論

第1章から第2章にかけては序論である。

第1章では、本研究の背景として Seleskovitch (1968,1978)の「意味の理論」(Theory of Sense)について紹介し、この理論を巡る議論の大きな論点をまとめた。先行研究で提示された通訳・翻訳プロセスについて意見の分かれたところが多いことから、このプロセスについて再検討の余地があることを示し、本研究の意義や目的を本章で詳細に説明した。また、隣接分野の先行研究をレビューし、筆者の観点から全体的な訳出プロセスを提示した上で、それを発話産出過程 (Speech Production Process) と類似する一方で複雑理論にも当てはまるものとして認定した。そして、さらに詳細な訳出プロセスを提示してみた。このプロセスは発話産出過程と同様に、基本的には文法レベルの問題、語彙レベルの問題、談話レベルの問題、発音レベルの問題が発生する可能性が高いと想定されている。それぞれの問題に対し、訳出者は適宜多様なストラテジーを活用する必要があるが、その中で非常に普遍的なストラテジーとして知られているのは明示化ストラテジーである。本研究では、明示化を、訳出プロセスの性質をはっきり表す代表的なプロセス構成要素の一つとして特に注目し、ベトナム語-日本語の通訳・翻訳におけるこのストラテジーの活用傾向を明確にすることにより、全体的な訳出プロセスの特性を明らかにできると考えた。このストラテジーの概念についての説明も第1章で示した。

第2章では、本研究の目的に合わせて、明晰化という概念を提言し、「明晰化」の字義通りの意味や本研究で扱う明晰化ストラテジーの定義及び分類方法を紹介した。明晰化ストラテジーの分類は、①必然性、②活用レベル、③利用目的という三つの観点から行われた。更に、必然性の観点に基づく分類では、「義務的なストラテジー」と「任意的なストラテジー」を分け、ストラテジーの活用レベルの観点としては「文法レベル」、「語彙レベル」、「談話レベル」、利用目的の観点では「意味明確化のため」と「目標テキストの自然さの確保のため」にストラテジーを分類した。また、本章では、明晰化ストラテジーを左右する各要素の考察も行った。すべての要素を検討するのは困難であり、本章では訳出形態やペア言語の特徴の異同を考察すべき変数として概観した。

第 1 章

研究背景及び本研究の目的・意義

通訳・翻訳プロセスモデルと明示化ストラテジーの位置づけ

本章では本研究の裏付けとなる理論を紹介し、本研究の目的及び意義を示した。また、先行研究及び筆者の経験を踏まえ、通訳・翻訳プロセスモデルを提示し、且つそのプロセスにおける明示化ストラテジーの位置づけについて焦点を当てながら詳しく解説した。

1.1 研究背景

通訳と翻訳は高度な作業プロセスであり、このプロセスについて検討した研究は既にいくつか存在するが、これまで最も影響力が大きいと言われている通訳プロセスモデルは Seleskovitch (1968,1978)の「意味の理論」(Theory of sense)である。この理論によると、通訳プロセスは以下の図 1 のようにまとめられる。

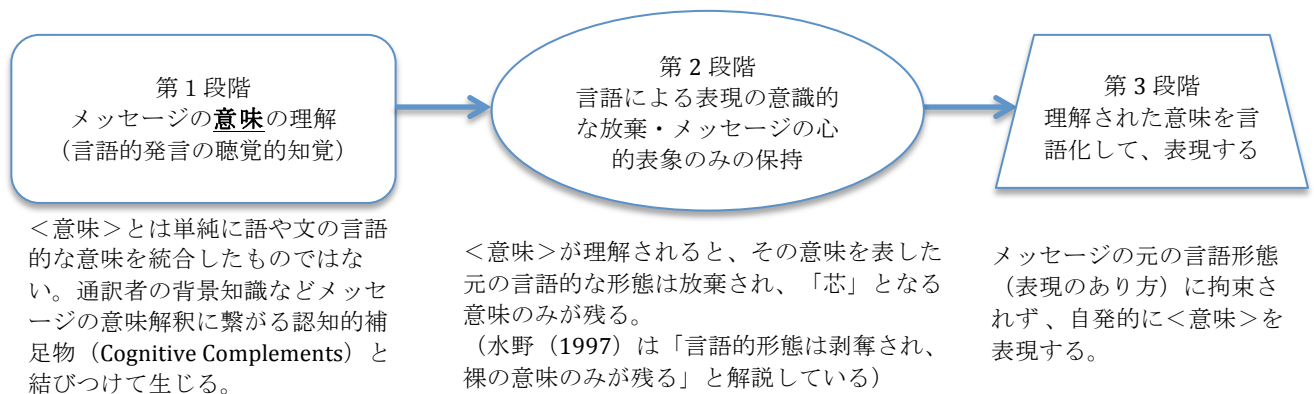


図 1 Seleskovitch (1968, 1978)の通訳プロセス (水野 (1997) を参考)

Seleskovitch (1968,1978)の「意味の理論」によると、通訳プロセスは三つの段階から構成されている。第一段階は起点テキスト、または話し手から発話されたメッセージを耳で聞いて、意味を認知する段階である。しかし、図 1 にも留意点が記載されているように、この理論で言及された「意味」とは単純に語と語、文と文を結びつけて出来たものではなく、通訳者の背景知識なども活かされて成り立った意味のことである。例えば、「このリンゴは紫色だ。珍しいね。」という発言があったと

する。この場合は、通訳者の中では「通常リンゴは赤色か緑色だが、このリンゴは紫色だから珍しいのだ」という意味が理解されるだろう。同様に、仮にある日本人記者とベトナムの農家との会話で、「オバマさんが先月来たことを知っていますか」という質問が出された場合においても、この発言を「米国の大統領であるオバマさんが先月ベトナムを訪問したことを知っていますか」というように通訳者は意味を理解するであろう。つまり、理解された意味は単純な字義通りの意味ではなく、背景知識と結びつけて理解される意味のことである。この意味を理解した上で、通訳者はプロセスの第 2 段階に移る。この段階では、起点テキストの言語的な形式を意識的に放棄し、解釈できた意味だけを頭に残す。上記の例文で説明してみると、起点テキストである「このリンゴは紫色だ。珍しいね。」は二つの単文から構成された発言であり、「N は～色だ」という構文を用いたが、この言語形式は通訳プロセスの第 2 段階では完全に放棄され、「通常リンゴは赤色か緑色だが、このリンゴは紫色だから珍しいのだ」という意味だけ保持される。そして、第 3 段階、いわゆる最終段階では、この意味を起点テキストの形式の制限を受けずに、通訳者は自分なりの表現で理解された意味を伝える。リンゴの例で言ってみれば、「このリンゴは紫色であるが、とても珍しいことですね」、または「通常リンゴは赤色か緑色なのですが、このリンゴは紫色で、珍しいことですね」などの言語形式で伝えることが可能になる。

Seleskovitch のこの理論で提示された第 1 段階と第 3 段階は分かりやすく、納得しやすい部分であるが、よく議論や批判の対象となったのは「言語による表現の意識的な放棄」、いわば「非言語化」というところである。しかし、このポイントこそが理論の斬新なところであり、理論の焦点でもある。Newmark (1981)では、理論の基礎は不確実であると指摘し、「非言語化」された＜意味＞だけを基礎とする通訳・翻訳理論は言葉という物質的な基礎を持たず、「意味の喪失、歪曲、単純化」の可能性をもたらす恐れがあるという反論を挙げた。芸術的・政治的・科学的に重要な発言の場合にこの理論を適用するのは危険だということも Newmark は批判している。また、Jensen (1985)は、「非言語化」を「中間段階」にすることを問題視し、「意味が言語とは独立に存在するという主張」に反対する立場をとっている。このほかに、Gile (1990,1991)は、目標言語は＜意味＞だけではなく、言葉も使って作らなければならないという主張を示し、Seleskovitch の理論を否定した。一方、中間的な立場をとる研究者もいる。ベルジュロ伊藤宏美 (2007) は通訳プロセスにおいて「非言語化」を経ないで言語スイッチが行われる場合があると主張している。彼女

が収録した学生の通訳データには、直訳的な表現が混入していることが見られる。すなわち、文脈に即した適切な意味の把握なしに、単語のみの対応で済ませたと見られる部分があり、意味理論通りの「非言語化」を経る理解がどの場合においても成立しているとは限らない。従って、ベルジュロは通訳プロセスにおいては、「非言語化」を経る理解と「非言語化」を経ない理解の場合があるという解釈を示したともいえる。すなわち、彼女の解釈によると表面的理解＝「非言語化」を経ない理解、深層理解＝「非言語化」を経る理解ということになる。

筆者は Seleskovitch の意味理論が有意義であり、賛同できる部分が多くあると思っている。しかし、この理論で強く主張されている完全な「非言語化」というプロセスに対する批判も合理的であると考え、ベルジュロ（2007）が Seleskovitch の意味理論を認めている一方で、「非言語化」を経ない場合を取り上げる立場に賛同する。

また、筆者が調べた限りでは、これまで提言された通訳・翻訳モデルは、以上のようにメッセージの意味の理解に注目したものばかりであり、メッセージの意味を理解した後に、どのようにその意味を処理し、訳出するかを全体プロセスの根幹部分として本格的に検討する研究がないようである。従って、本研究では、「メッセージの意味の理解」という段階が終わった後の、情報処理を行い、訳出するためのプロセスに注目した通訳・翻訳プロセスモデルを提言したい。

他方、Seleskovitch の意味理論を部分的にでも採用する場合、通訳・翻訳が単純な言語コード変換作業ではないということを認めることになる。これも、実は 1970 年代半ばごろから頻繁に議論されているテーマである。この時代になって、「通訳者は本来、黒子であり、意見や解釈を差し挟むことがあってはならないと考えられている」（稲生・染谷、2005、p.80）という考え方への支持が弱くなりつつあり、その代わりに生まれてきたのは、「通訳者は異文化ファシリテーターである」（汁、2006）、「通訳者は文化の仲介者である」（鳥飼、2007）という対極的なとらえ方である。そして、この風潮に乗り、通訳者・翻訳者の異文化ファシリテーターとしての役割を果たすための戦略についての研究も増え、通訳者・翻訳者が、もし相互理解を助けるという使命を預かっているのであれば、その使命を果たすためには、言葉の表面的な意味を伝達するのみならず、会話参加者の言語・文化のギャップを補うべく、様々な戦略を活用する必要がある。これらの戦略は通訳・翻訳プロセス全体に発生するものではあるが、メッセージを理解した上で訳出しようとした段階に一番多く活用されているのではないかと思われる。すなわち、通訳者・翻訳者が活用する戦略は情報処理を行ってから訳出する

までのプロセスにおいて重要な役割を果たしていると判断できる。このため、「メッセージの意味の理解」という段階が終わった後に情報処理を行い、訳出するまでのプロセスに注目して検討する上で、ストラテジーの存在を忘れてはならない。以上を踏まえ、筆者はストラテジーの位置づけに重点を置いた訳出プロセスモデルを提案することを本論文の最終的な目的とする。理論的枠組みを検討するための具体的な研究目的及び研究の意義については、以下の第 1.2 節において詳しく説明する。

1.2 本研究の目的・意義

本節では、具体的な研究目的及び研究の意義を詳しく説明する。

1.2.1 本研究の目的

本研究では、先行研究を踏まえながら、通訳・翻訳プロセスモデルを提言したい。特に、「メッセージの意味の理解」という段階が終わった後に情報処理を行い、訳出するまでのプロセスに注目し、このプロセスで起きる可能性があるストラテジーの位置づけを検討したい。提言する通訳・翻訳プロセスモデルを実証するために、日本語・ベトナム語という言語ペアを事例として通訳・翻訳のデータを収集し、訳出プロセスにおけるストラテジーという観点から分析・考察する。

1.2.2 本研究の意義

第 1 節でも説明した通り、通訳プロセスに関する研究は多いが、その多くは主に言語のメッセージの理解という部分に注目しており、非常に重要な段階である訳出という部分をプロセス全体の中で検討する研究は管見の限り、まだないようである。さらに、翻訳プロセスモデルを通訳プロセスモデルと関連づけて、提言する研究も少ない。

そのような研究があったとしても、理論的枠組みのみの提言に過ぎず、実践的なデータを用いて実証されたものではない。本研究は、実践的なデータを用いてプロセスモデルを実証するという点で通訳・翻訳理論の研究に貢献できるのみならず、実践的な面においても高い応用可能性が期待できるであろう。

さらに、本研究で事例として検討するのは先行研究が極めて少ない日本語—ベトナム語の言語ペアの通訳・翻訳であるため、この両言語に関する学術的な研究、実践的な研究としても価値の高い資料を提供できるのではないかと思う。

1.3 本研究で提案する通訳・翻訳プロセスモデル

1.1 節で紹介したように、これまで提言された通訳プロセスの中では Seleskovitch (1968, 1978)の「意味理論」が最も有力なものであるが、この理論のポイントである

「言語による表現の意識的な放棄」、いわば「言語的形態の剥奪」または「非言語化」は批判を大いに浴びた点である。そこで、このポイントこそを部分的にでも見直せば、理論の妥当性及び一般化の可能性を高めることができるのではないかと思われる。1.1 節にも主張を示したが、筆者はベルジュロ（2007）の指摘に賛同する立場をとる。すなわち、Seleskovitch が提示した「言語的形態の剥奪」いわば「非言語化」を否認するわけではないが、その「非言語化」を経ないメッセージ理解のあり方も「非言語化」と共に存在していると考ええる。「非言語化」を経ない理解は表面的理解（ベルジュロ、2007）、「非言語化」を経る理解は深層的理解とも言える。表面的理解はメッセージの意味を深く考えずに単語ごとの訳を単純に結びつけ、聞き手のことを殆ど考慮に入れない訳出方法、すなわち直訳に繋がる。それに対し、深層的理解はメッセージを十分に理解した上で、自分が理解できたメッセージが聞き手に伝わるように自分なりに適切な表現を選ぶ等、起点テキストの言語的な形式を基本的には変えてしまう訳出方法、いわば意識に繋がると捉えられる。表面的理解は機械、図面設計など技術的な専門に関するコミュニケーションの場面において、通訳者が自分の専門からあまりにもかけ離れた話をされ、自分自身の知識及び前後のコンテキストではどうしても理解できない場合によく見られる。その一方、深層的理解はストーリーとして記憶し、理解できる話の場面に多く現れる。そのために、通訳者の知識は幅が広いほど、表面的理解は少なくなる。また、表面的理解は直訳に繋がるため、意味を具体化するなどの工夫またはストラテジーが深層理解の場合より少ないと想定できる。非言語化を経ない理解（表面的理解）と非言語化を理解（深層的理解）の両者を取り入れた通訳プロセスモデルを以下の図 2 で提案したい。

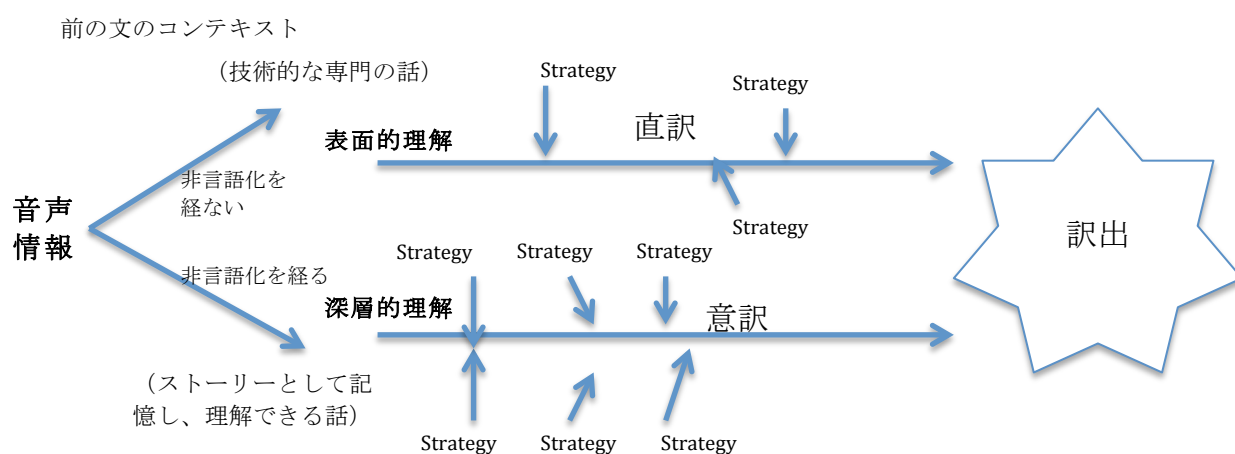


図 2. 通訳の全体プロセスモデル

翻訳の場合も表面的理解と深層的理解があるが、通訳と異なり、音声情報を受けて、短い間に受動的に情報を処理しなければならないわけではないため、非常に難しい内容ではない限り、深層的理解の方向に行く場合がほとんどであると考えられる（言語能力がない未経験者の翻訳者の場合を除き）。特に通訳は基本的には対面式の場面（通訳者と話し手・聞き手が同時に現場にいる場面）が殆どであり、通訳しながら相手の態度を観察し、分かりそうにない時に適宜、適切なストラテジーを施し、あるいは、意味の分からないことがあったらすぐその場で話し手に確認することが出来る。それに対し、翻訳は社内通訳・翻訳者が社内文書を事務所で翻訳する場合以外、翻訳者が一人で作業を行うことが一般的であり、内容についての確認が困難であるほか、ストラテジーなどの工夫を加減することも難しいであろう。具体例で説明すると、通訳の場合は話し手と聞き手がある程度共通の背景知識を持っていれば、通訳者は専門用語の意味が理解できていなくても、まず直訳の形で伝え、聞き手の反応を確認してからその専門用語について話し手のより詳しい説明を求める必要があるかどうかを判断し、対応することができる。しかし、同じ専門用語だが、翻訳の場面になると翻訳者の判断・対応の仕方が全然変わるかもしれない。翻訳文を読む相手は誰か、どれだけ文章の内容に関する背景知識を持っているかが分からない状況で、翻訳者自身が読んでも意味がよく分からない専門用語の訳を付けるだけで良いかどうか判断できないため、非常に不安であろう。読み手はそれほど専門的なことが分からないと想定した翻訳者は、専門用語辞典等を調べ、前後文脈を踏まえて説明を追加する場合もある。一方、そのように判断しない翻訳者は、直訳のままで何もストラテジー等を工夫しない。このように、通訳と翻訳の性質の違いにより、訳出者の判断行動が大きく変わる。そして、訳出者の判断行動の違いにより、訳出プロセスにおけるストラテジーの活用にも大きな差が発生し得る。しかし、以上の細かい違いがあるものの、翻訳と通訳はどちらも「起点言語の情報を受け取る→意味を理解する（表面的理解、若しくは深層的理解）→情報を処理し（判断、ストラテジーの工夫等）訳出する」というプロセスを経るため、どちらの訳出形態も図2で提示されたプロセスモデルに当てはまると考えられる。

ただし、図2で示されたプロセスモデルはあくまでも基本的なプロセスモデルであり、このプロセスモデルだけでは、通訳・翻訳プロセスを構成する要素、いわばこの過程を構成する諸段階しかイメージできない。ここで、筆者は通訳・翻訳プロセスの実質的な性質を見極めたうえで、その性質を反映できる詳細プロセスモデルを提案したい。

では、通訳・翻訳プロセスの実質的な性質とは何か。上述のように、通訳・翻訳プロセスは大別して音声（文字）情報の受け取り、メッセージの意味の理解、訳出という 3 つの段階から成るとみなせる。しかし、それぞれの段階ごとに様々な要素が絡んでいる。たとえば、音声情報の受け取りを左右する要素としては、通訳者の聴解能力、周辺環境の特徴（静かなのか騒いでいるか、真剣な話をするのに快適かどうか）、話し手の声の性格（聞きやすい声か聞きにくい声か）、作業時の通訳者の心理状態（落ち着いているか、緊張しているか）、通訳者の経験（通訳の仕事にどの程度慣れているか）、話の内容（専門的な話であるか、一般的な話であるか）等数えきれないほどの多くの要素が考えられ、たとえほとんどの要素が音声情報を受け取るのに完璧な状態であるとしても、通訳現場である会議室が非常に暑いせいで、通訳者がなかなか集中できないなどの悪条件がわずかでもあれば、この音声情報の受け取り段階が予想通りに実行されないという結果になる可能性もある。逆に、多くの要素が良いモードにはないが、通訳者自身がベテランであり、対応力が素晴らしいおかげで、音声情報の受け取りが問題なく遂行される場合もある。同様にメッセージの意味を理解した後の訳出という段階にも通訳者の言語能力、判断力、経験年数、通訳スタイル、社会知識、現場の状況など様々な要素が関わっており、通訳者・翻訳者はこれらの要素の変動に応じて、適切なストラテジーを選ばなければならない。例えば、同じ場面の同じ内容であるが、通訳者のスタイルや言語能力によって、情報を具体化するための説明の追加というストラテジーを用いる通訳者・翻訳者もいれば、簡略化というストラテジーを選択する通訳者・翻訳者もいる。つまり、通訳・翻訳プロセスは非常に複雑システム（Complex System）であり、動的適応型システム（Dynamic Adaptive System）であるとも言える。複雑なシステム（Complex System）及び動的適応型システム（Dynamic Adaptive System）について言えば、様々な研究者が物理学、生物学、社会科学、機械学、経営学、経済学、医学、教育、文学など数多くの観点から検討しているが、筆者が特に注目したのは Larsen-Freeman, Cameron の提唱した「Complexity Theory」（複雑理論）である。Larsen-Freeman, Cameron (2008)で提唱されている「Complexity Theory」（複雑理論）は第 2 言語習得¹をはじめとする幅広い分野において取り入れられている。「Complexity Theory」は一つの複雑システムを構成する要素がどのように相互に作用し、該当シ

¹ 「複雑理論」を第二言語習得に取り入れた Larsen-Freeman, Cameron (2008) は第二言語習得は学習者が単純に決まった文型を学ぶのではなく、個々のコミュニケーション場面において柔軟に自分の有す

システム全体の行為を作り出すか、そしてそのシステムが同時にシステムを取り巻く環境に対してどのように反応するかを考慮に入れる理論である。同理論によると、「Complex Systems」（複雑なシステム）を構成する部分または要素は常に数多くあり、多様な特徴を持ち、そして動的である。これらの部分または各要素が相互に作用することによって、複雑なシステムのある行為が発現する。発現した行為はあらかじめ予測できるものではない。発現した行為に対し、複雑なシステムを構成する各要素が自らで反応し、適応する。このシステムは「Dynamic Systems」（動的システム）または「Complex Adaptive Systems」とも呼ばれている。そして、「Complex Adaptive Systems」とはシステムを取り巻く環境の変化に反応し、適応できるように働くシステムのことである。「Adaptive Systems」において、わずか一つの変化でもシステム全体の大きな変化を伴うことがあるとされる。この論説を支持する証拠として、水は人体を浮かせることができないが、その人が手若しくは足の小さな動きをしただけでも、浮く状態を維持することができるという具体例も提示された（Larsen-Freeman, Cameron, 2008, p.33）。

概括すると、「Complex Theory」（複雑理論）によると、構成要素が数多くあり、それぞれの要素が動的な特徴を持ち、一つの要素の変化によってシステム全体の変化を伴うというのが「Complex Adaptive System」（複雑適応型システム）、「Dynamic Adaptive System」（動的適応型システム）の一番大きな特徴であろう。これらの特徴はすべてが通訳・翻訳プロセスに存在していることから、通訳・翻訳プロセスも「Complex Theory」（複雑理論）を当てはめることが可能であり、すなわち「動的適応型システム」であると見なすことができる。

通訳・翻訳プロセスが「動的適応型システム」であることを前提として考えると、このシステムを構成する要素は動的なものであり、相互に作用し訳出するという行為が最終的に発現するということになる。ここで注目したいのは、最終的な訳出を作り出す段階に至るまでに、通訳者・翻訳者が具体的にどのような段取りを踏むか、且つこの段取りに従って訳出すると、通訳者・翻訳者はどのような問題に直面し得るか、またその問題に対してどのようなストラテジーを活用して解決するかである。訳出は目標言語のテキストであるため、ある意味で、訳出を作り出すことは「Speech Production」（発話の産出）に似たものとして捉えても良いだろう。「Speech Production」（発話の産出）に関しては、Levelt (1999a)の研究は影響力があ

る言語的なリソースを活用し、自分の表現したいことを伝えられるように調整する過程であると主張している。

るとされており、本研究では Levelt が提言した「Speech Production」のモデルを参考にしたい。

Levelt (1999a)によると、「Speech Production」のプロセスではまず人間が発話しようとするメッセージの意味を概念化し（Conceptualize）、次にその概念を言語化して表すために言語形式を選択し（Encoding）、最後に音声で発音する。以下の図はこのプロセスを具体的に示すものである。

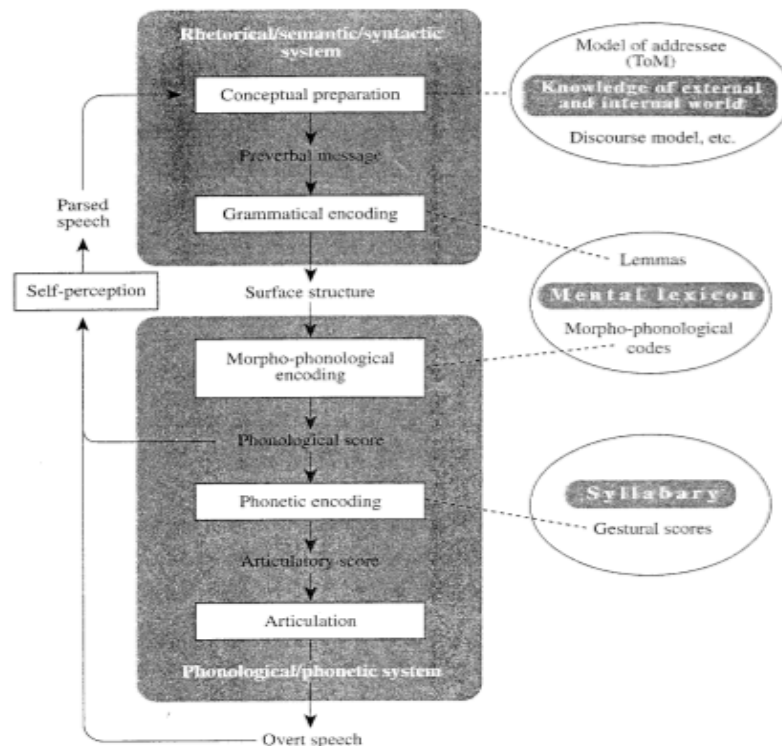


図 3. Levelt (1999a) A Blueprint of the Speaker

「Conceptual Preparation」には、「Macro Planning」（マクロ的なプランニング）と「Micro Planning」（ミクロ的なプランニング）という二つの部分的なプロセスが行われる。「Macro Planning」では、発話者は発話の目的を決める必要がある。例えば、謝罪を目的とする発話であるか、または、確認のための発話であるか等である。

「Micro Planning」では、発話の目的に応じたメッセージの詳細を決めなければならない。具体的には、発話の対象、状況とこの発話で伝えようとするメッセージと前のコンテキストとの関連性、発話のムード、テンスなどである。これらの部分的なプロセスはいずれも「Preverbal Plan」（言葉で表される前のプランニング段階）であり、すべては発話者の頭で行われるものである。このプロセスで決められた内容を表すために、「Lexical Units」（語彙または意味論的なユニット）及び「Syntactic Units」（文法的なユニット）が選択される。Levelt はこのプロセスを「Grammar

Encoding」と呼んでいる。このプロセスが行われた成果として生み出されるのは、「Surface Structure」（表面的構造）である。この表面的構造に合わせて、形態素・音素が選択される。このプロセスは「Morpho-phonological encoding」と呼ばれている。このプロセスが終了した後に、発話が口頭で言語形式によって出される。最後に、発話者は自分の発話を談話レベルで見直し、コミュニケーションに支障をきたす可能性があるかと判断した場合は発話をやめるか、前後の文脈に合わせて修正した上で発話するというプロセスもこのモデルで言及されている。簡単にまとめると、一つの発話を産出するために、以上に取り上げた 5 つの大きな段階を経る必要があると主張する理論である。

訳出の産出プロセスも同じモデルでイメージすることができるのではないと思われる。つまり、訳出者は最初に自分が伝えようとするメッセージを頭の中で整理し、概念化する必要がある。メッセージの概念化の上、その概念を表す語彙、文法形式が選択される。次に、形態素・音素が選ばれ、言語形式による訳出文が生み出される。訳出者は訳出文を伝えようとした時に、または、伝えてしまった直後に、談話レベル、いわば前後の文脈を再度考慮し、その内容について間違いかまづい効果を伴う可能性等があったのに気付いた場合は、構築された訳出文をやめ、新たな訳出文を産出するか、補足の説明で間違った訳出の訂正を行うことができる。

なお、ここで断っておきたいのは、訳出を産出するための流れはどの言語・どの場面の通訳・翻訳プロセスにおいても共通であり、ある程度固まった部分ではあるが、そのプロセスにおいて選択された語彙・文法形式、及び形態素・音素並びに談話レベルでの調整は訳出システムの動的な性質に左右され、訳出者、周辺環境などシステム内在の要素によって変わることが度々ある。

以上、訳出産出を発話産出のモデルに当てはめ、検討した。この二つのプロセスは類似点が多く、Levelt が提唱した「A Blueprint of the Speaker」という発話産出モデルも本研究にとって参考にできるところが大きかった。ただし、訳出産出は普通の発話産出と完全に似ているわけではない。その大きな違いの一つは、発話産出では、発話者は自分が言いたいことを伝えれば良いのに対し、訳出産出では、訳出者は自分が言いたいことではなく、自分が通訳者として介入するコミュニケーションの参加者が言いたいことを伝えなければならないということである。発話しようとするメッセージが自分の決めるものではない場合は、そのメッセージの概念化から語彙・文法形式及び形態素・音素の選択に至るまで、多くの制限や拘束がかかってしまうと考えられる。従って、訳出産出プロセスは普通の発話産出プロセスほど順調

に進まない場合も多い。様々な制限がかかっている中で、訳出する人は語彙・文法形式や母語ではない言語での形態素・音素の選択に迷ったり、間違えたり、談話レベルで訳文を整理する際に多少の調整を行なわざるを得なかったりするなど多くの問題が発生する可能性がある。最終的な成果物である訳出を産出するためには、訳出する人はそれぞれの問題に対処する多様なストラテジーを構える必要がある。もちろん、どのストラテジーを使うかは、問題の種類、通訳者の言語能力、経験、現場の具体的な状況によって大きく変わってくる。まとめると、訳出プロセスは基本的には一定の流れに沿って行われるが、その流れが行われる中で発生し得る問題、及び問題に対する対処・ストラテジーは動的なものであると考えて良いであろう。

図 2 では、筆者は通訳の全体プロセスモデルを提示したが、このモデルは全体像をイメージするためのモデルである。「Complex Theory」（複雑理論）及び「Speech Production Theory」（発話産出理論）を参考の上、以下のようにさらに具体化された訳出プロセスモデルを提案してみたい。なお、詳細な訳出プロセスモデルを提示する前に、以下の 3 点を明確に示し、断っておきたい。

第一に、本研究では通訳・翻訳プロセスモデルを検討するにあたり、「Complex Theory」（複雑理論）と「Speech Production Theory」の両者とも考慮に入れたが、性質から見れば、この二つの理論の根幹となる基本的な考え方は対極的なものである。すなわち、「Complex Theory」は事象・物事（言語習得、物理現象、発話行為、訳出行為などあらゆる事物、出来事）の複雑さを強調し、事象・物事を構成する要素は常に相互に作用しているもので、構成要素を分解し、一つずつ分析・考察してもその事象・物事の全体像を見極めることが出来ないと主張する理論である。それに対し、「Speech Production Theory」は発話産出の理想的な過程をモデル化し、各段階を比較的明確に分けており、且つそれぞれの段階を固定したもののように説明している。このような捉え方は「Complex Theory」が強く訴える物事の複雑さ・動的性質に相反すると見られる。筆者の立場は極端にどちらかの理論だけを支持し、残りの理論を批判するのではなく、それぞれの理論の主張を理解し、自分が検討している課題の解決に役立つところを部分的に取り入れるものである。具体的には、「Complex Theory」をもとに訳出プロセス全体の性質を特定し、「Speech Production Theory」を参考にすることによって、訳出プロセスを構成する基本的な段階を確認し、それぞれの段階において発生のある問題の可能性を想定した。実際には、訳出プロセスの各段階は順序よく進められるものではなく、発生する問題とその問題に対する訳出者のストラテジーが複数の段階に跨がる可能性もあるが、本研究では分

析便宜上、訳出プロセスの各段階がはっきり分かれる理想的なプロセスとして取り扱うこととする。

第二に、図 2 でも見られるように、メッセージの意味の理解には表面的理解（非言語化を経ない）と深層的理解（非言語化を経る）という二通りのあり方が存在するが、本研究では、深層的理解の場合のみに注目し、その深層的理解から訳出までの過程に現れる「語彙レベルの問題」、「文法レベルの問題」及び「談話レベルの問題」に対する対処に焦点を当て考察する。従って、以下で通訳・翻訳プロセスモデルを具体化するにあたり、メッセージの意味の理解が深層的理解であることを前提に、その段階が終わった後の情報処理から訳出までの詳細なプロセスを提示する。

第三に、通訳プロセスを発話産出プロセスと同様なものと見なすと、発話産出において頻繁に起こっている語用論的な問題が同じく通訳プロセスにも多く発生する。例を挙げてみると、冷房を消したいと思っている Aさんは同じ部屋に座っている同僚に向けて、「ね、寒くない」と聞く場合は、Aさんのこの発言には「冷房を消して欲しい」、または「消させて欲しい」という要求が暗示されていると解釈できる。この発言を、通訳を介してのコミュニケーション場面に当てはめて考えると、通訳者は「寒くないか」というメッセージを伝えた上で、「Aさんは冷房を消して頂きたいでしょう」というように、Aさんの発言の含意を明示化して先方に説明するかもしれない。Aさんとその対話者が共通の言語でコミュニケーションできない場合は、Aさんは発話の含意を両言語に精通する訳出者によって理解され、相手にも理解してもらえるように伝えてほしいであろう。その含意を発言者の意図に応じて、最も適切な形で伝えるのが通訳者・翻訳者のミッションの一つである。こうして、通訳・翻訳プロセスにおいても訳出者は頻繁に語用論的な問題に直面しており、それに対する対処を行わなければならない。語用論的な問題に対する対処は、語彙レベルで済む場合もあれば、統語的（文法）なレベル、もしくは談話的なレベルで行う場合もある。そのため、本研究では、語用論的な問題を訳出過程における個別の問題として、語彙レベル・文法レベル・談話レベル・発音レベルの問題&言語レベル外の問題と並行させて取り上げるのではなく、それぞれのレベルの問題に含まれる問題として扱うこととする。

以下、詳細な訳出プロセスを提示する。

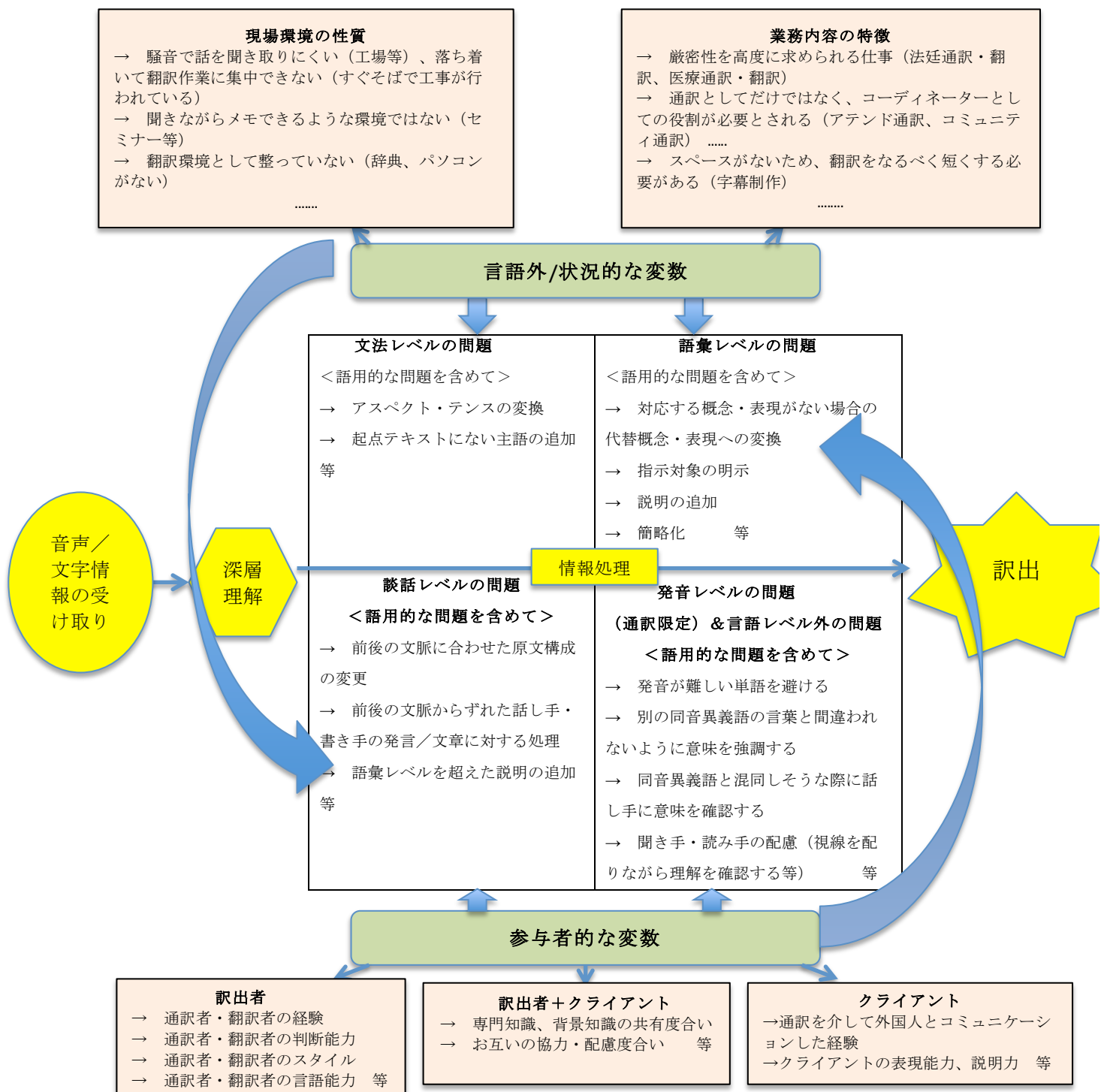


図 4. 通訳・翻訳における深層的理解から情報処理を経て訳出に至る詳細なプロセス

この図 4 に基づき、次の第 4 節で通訳・翻訳プロセスにおいて発生し得る問題及びそれに対処する各種のストラテジーについて詳しく説明していく。

1.4 通訳・翻訳プロセスにおいて発生し得る問題や対処する各種のストラテジー

1.3 節では、「通訳・翻訳における、深層的理解から情報処理を経て訳出に至る詳細なプロセス」（図 3）が提案された。この図で特に注目すべき点は、深層的理解と訳出の間にある「情報処理」という細かいプロセスである。図 3 でも表されているように、このプロセスにおいて多くの問題が発生することが考えられる。本節では、「Speech Production Theory」を参考に、発生可能な問題を 4 つのグループに簡単にカテゴリー化してみた。

一つ目は、文法レベルの問題である。例えば、起点テキストには（仮に日本語である場合）主語がよく省略されているのに対し、目標言語（仮にベトナム語である場合）では、主語がないと非文になるか、失礼な言い方だと思われるというギャップがある。こういった時に、何も処理しないで起点テキストをそのまま訳すと、文法的に問題がある目標テキストになってしまうこともある。すなわち、文法的な問題が発生したということである。このような場合には、通訳者・翻訳者は情報処理のプロセスにおいて前後の文脈を踏まえて、主語を適切に加える工夫を施す必要がある。このような工夫は通訳・翻訳におけるストラテジーの一種だと位置づけられる。同様に、文法的な問題として発生しうるのは、起点言語と目標言語のテンス・アスペクト、または両言語の構成の違いによる問題などである。これらの場合においても、通訳者・翻訳者は目標言語の特徴に合わせて、起点テキストの意味の曲解を起こさない範囲で、構文を整理したり、目標テキストで自然だと考えられるテンスまたはアスペクトに変換したりするなど、最も分かりやすく、且つ正確な形でメッセージを伝えるための工夫に努めなければならない。この種の工夫は意識的であれ、無意識的であれ、本研究ではストラテジーとして見なす。

二つ目は、語彙レベルの問題である。ある言語において、ある表現または概念が自然だと思われていても、別の言語において通用しないことがよくある。特に、起点言語にある特有概念（日本語にある「すし」、「ちまき」、「羽織り」等の概念、ベトナム語にある「bánh chưng」（もち米、豚肉、枝豆が主な食材として作られるライスケーキというベトナムの伝統的な食べ物）、「Bún chả」（お米で作られた麺類と豚肉グリル（串やミートボールの形で）を混ぜてソースと一緒に食べるベトナムの庶民的な料理））である場合は、基本的には目標言語において相当する概念

を見つけるのが難しい。こういった場合には、通訳者・翻訳者は目標言語において意味的・イメージ的に近い概念を探し、代替概念・表現として使うという一つのストラテジーが考えられる。または、概念として伝えた後に、その概念について追加の説明を加え、聞き手・読み手の理解の負担を軽減するなどの工夫も場合によっては非常に重要だと言われている。それに加え、起点言語があいまいな言語であり、指示対象がはっきり表されない場合においては、目標言語の特徴に合わせて、文脈をもとに必要に応じて指示対象を明示化するストラテジーも頻繁に活用されている。なお、通訳の場面で、語彙の選択にこだわる余裕がない場合、テキスト全文の意味に誤解を与えない範囲で、伝えにくく、且つ不要な語彙を簡略化するというストラテジーも考えられる。

三つ目の問題として挙げられるのは、談話レベルの問題である。話し手が発言した起点テキストの表現が前後の文脈から多少外れるか、または聞き手・読み手の文化では理解されにくい可能性があると判断した場合は、通訳者・翻訳者は文脈を考慮し、許される範囲で起点テキストの構文を変更するという工夫によって、訳文の分かりやすさをいっそう高めようとするのがよく見られる。例えば「プレゼンにおいてどの言語を使えば宜しいでしょうか。私は日本語しかできませんが」という質問に対して、話し手は「通訳がおりますので、大丈夫です」と返答する場合では、聞き手の質問に対するストレートな返答にはならないとも考えられる。通訳者は、相手を戸惑わせないように、「日本語の通訳が付いていますので、日本語でプレゼンして頂いても大丈夫です」と談話レベルでの追加の説明を加えることによって、話し手の返答の意図が明らかになる。また、外国人とのコミュニケーションに慣れないクライアントは常に論理的に説明することができるとは限らず、何回も同じことを余計に繰り返すことが多く見られる。通訳者はこのような場面には、訳文の明確さ及び相手に対する理解の負担を軽減するために、余計な情報を省いたり、情報を整理した上で、自分の理解なりに明確な訳文を産出したりするなどの工夫を行い、談話レベルの問題に対処する。通訳のみならず、翻訳においても、読み手の言語・文化の特徴に合わせて、原文の全体構成を変更したり、読み手に馴染みのあるような文体・表現への変換を行ったりする工夫が頻繁に見られる。

以上の 3 つの問題のほかには、図 3 にも示されているように、発音レベルの問題や言語レベル外の問題も情報処理の過程において発生可能なものとして考えられる。そのうち、発音レベルの問題は通訳のプロセスに限って起きるものである。典型的な例として紹介できるのは、日本語における同音異義語に関係するものである。日

本語には発音が全く似ており、イントネーションが異なるだけで意味が変わってしまう同音異義語が多く存在している。例えば、「橋」、「端」、「箸」である。日本語を母語としない通訳者は「橋」という語を聞いて、「端」と意味をとらえてしまう可能性もある。こういった問題が起こり得ると覚悟し、誤解を避けるために、通訳者はもう一度発言者に言葉の意味を確認しなければならない場合もある。殊更同音異義語を使って言葉遊びをするジョークの場合においては、聞き手の理解を助けるためのほかのストラテジーを活用する必要があると思われる。例えば、日本語の同音異義語の特徴を説明したり、相手のジョークのポイントを明らかに説明したりするなどの工夫である。そして、別の同音異義語と混乱しやすい言葉を使用する場合は、誤解を招いてしまいそうと思ったら、その言葉の意味を強調するストラテジーも必要になるかもしれない。一方、目標言語に訳す際に相手にとって聞き取りやすい・理解しやすいような発音をするのも通訳者に求められる工夫の一つであるため、意味を正確に伝えられる様々な単語・表現の中で、自分が一番自信を持って自然に発音できるものを選択し、活用するという高度な対応も考えられる。

言語レベル外の問題は以上に列挙した 4 つの問題とは違う種類の問題ではあるが、ベテランの通訳者・翻訳者レベルを目指すなら、覚悟しなければならない重要なポイントである。人間のコミュニケーションは、常に言語形式によるものであるとは限らず、手振り、身振り、表情など様々な非形式的な要素も絡んでいる。コミュニケーションがうまく行くかどうかは、時にはそのような要素が決め手になる。通訳の場合を想像してみると、通訳者は自分が伝えたことが当然ながら伝わっていると思ひ込み、聞き手の納得しそうな表情を無視すると、コミュニケーションの意味を台無しにする恐れもある。そのため、相手への配慮も筆者の観点では、通訳・翻訳上の非常に重要なストラテジーの一つであり、十分に注目する必要がある。もちろん、相手への配慮には様々な形式があり、言語的なものと非言語的なものがある。

一方、情報を処理し、訳出する際に、話し手・書き手の意図が伝わるようにするためには、語用論的な観点から問題点を見出し、ストラテジーを採択するのもプロの通訳者・翻訳者に求められる能力の一つである。筆者はその語用論的な問題が語彙、文法、談話など様々なレベルに現れていると捉えて、本研究では語用論的なレベルの問題を一つの個別の問題として扱わず、語彙レベルの問題、文法レベルの問題、談話レベルの問題などの各種問題に含まれるものとして位置づけることにしている。

以上、深層的理解と訳出の間にある「情報処理」という細かいプロセスに発生する問題を説明した。しかし、これはあくまでも分析便宜上、分かりやすくするためにカテゴリー化しているもので、実際の訳出プロセスはより複雑なものである。発生する一つの問題が訳出プロセスを構成する複数の段階に絡む場合も多く有り、きれいに切り離し、どの段階・どのレベルの問題かを特定することは大変難しい。そして、以上に指摘した各レベルの問題が起きた際に、柔軟な通訳者・翻訳者なら必ずそれに応じて対応するが、複数の段階・レベルに絡む問題の場合には、適切に対応するために、同時に複数の工夫またはストラテジーを組み合わせる必要がある。本研究では、訳出プロセスの性質を見極めるために、そのプロセスに発生する問題とそれぞれの問題への対応のあり方を観察したいが、プロセスの複雑さのゆえ、一つの研究ではすべてを網羅し、検討することができない。本研究では対象を絞り、普遍性があり、認知度が高い「明示化ストラテジー」(Explicitation Strategy)に焦点を当て検討してみたい。また、本研究では、筆者の提案として通常「明示化」と呼ばれているストラテジーを「明晰化」と名付け、概念範囲を調整したい。その理由は、1.5 節で説明する。また、通訳・翻訳過程の一環である情報処理のプロセスで発生し得るすべての問題に対処するストラテジーを対象とせず、文法的な問題、語彙的な問題並びに談話的な問題だけを中心に検討したい。

1.5 「明示化」の概念説明及び「明晰化」という概念の導入背景

本節では、辞典で言及された明示化の定義を考察した上で、「明示化」に関する先行研究をレビューし、このストラテジーの捉え方について理解を深める。最後に、明示化という現象を検討する必要性並びに「明晰化」という新たな概念を導入すべき理由について説明していきたい。

1.5.1 「明示化」の辞典上の定義

通訳・翻訳過程における“Explicitation”という現象について提唱し、最初に調査したのは、英語で書かれた研究である。“Explicitation”は“Explicit”²という形容詞の派生語のようであり、通訳・翻訳または学術的な記述にしか使われていないために、

² “Explicit”の定義： Stated clearly and in detail, leaving no room for confusion or doubt. (出典：English Oxford Living Dictionaries)

(日本語訳：明確、且つ詳細に陳述され、混乱または疑惑させるような曖昧なところを一つも残さない)

Oxford または Cambridge 等の有名な辞典で調べても定義の記載がなかった。唯一の Wikitionary だけに“Explicitation”の定義が提示されている。分かりやすい定義とはいえないが、参考のために以下その定義と日本語訳を紹介する。

Explicitation (複数形 Explicitations):

The process or fact of becoming explicit or of causing to be explicit, that which makes something explicit. (出典：<http://ejje.weblio.jp/content/explicitation>) , (最終閲覧日：2017 年 8 月 14 日)

(日本語訳：明確になるか、より明確にするプロセスまたはその事実である。そしてこのプロセス（事実）によって物事をより明確にできる)

同現象について調査した日本語で書かれた研究は、“Explicitation”に対応する日本語訳として「明示化」の用語を使っていた。では、「明示化」とは本来どういう意味で捉えられているのだろうか。まず、「明示」の意味については、学研国語大辞典、日本語新辞典、広辞苑（第六版）はいずれも共通の定義を出している。

【明示】《名・他サ》はっきりと分かるように示すこと。「内容を一する」。

対：暗示

従って、「明示化」は、「化」（前と違った状態・様子に変える）という接尾辞がつくことによって、そもそも明示的に示されなかったことをはっきりと分かるように示すという意味を表すことになる。比較してみると、英語の“Explicitation”と「明示化」の日本語訳は大体意味が対応しているといえよう。

しかし、通訳・翻訳過程において生じるこの現象について研究している中で、研究者の主張や意図により、「明示化」（Explicitation）は単純にこの言葉の字義通りではなく、より広範囲に捉えられるようになった。「明示化」（Explicitation）という言葉の捉え方によって、この言葉の指す意味の範囲がいかに拡大されるかを検討するために、1.5.2 節では先行研究の本現象の定義や訳出プロセスにおける役割について一通り考察していく。その上で、先行研究の不備を示しつつ、それに対する改善策として、新しい概念である「明晰化」の導入を提案したい。

1.5.2 通訳・翻訳の先行研究における明示化の概念や役割、分類方法

1.5.2.1 通訳・翻訳の先行研究における明示化の概念や役割

通訳・翻訳研究の業界において明示化という概念を初めて提唱したのは、Vinay & Darbelnet(1958)である。彼らの研究では、明示化は「原文に潜んでいる情報を、訳文に表出する過程であり、その情報はコンテキスト及び場面状況から得られるもので

ある」(Vinay & Darbelnet 1958, 1995:342) とされる。Vinay & Darbelnet(1958)の研究をきっかけに、英語を中心として明示化の現象を検証する研究が行われるようになった。その中で、最初に体系的な研究を行ったのは、Blum-Kulka(1986)である。Blum-Kulka は、明示化の仮説 (explicitation hypothesis)を提唱し、「翻訳のプロセスを通して、訳文は原文より冗長になる傾向があり、その原因は原文より訳文のほうが結束性において明示的であることに由来する。この明示化現象は、テキストの構造や言語の組み合わせに関係なく、翻訳プロセスに内在されているものである」と主張し、明示化を「訳出文が原文より明示的あるいは余剰的になる現象で、2 つの言語体系の相違によって必然的に起きる場合と言語の組み合わせに関わらず起きる場合がある」(花岡、1999 (訳)による)と定義した。Blum-Kulka の明示化の定義を維持する立場の研究は、Baker(1993)である。Baker は明示化の普遍性を認めている (Baker, 1993:243)。また、Øveras(1998)は Blum-Kulka(1986)が提唱した明示化の仮説を検証するために、英語とノルウェー語の双方向のパラレルコーパスを用いて、翻訳プロセスにおいて訳文が原文より冗長且つ明確になっているかどうかを調査した。この調査は、2 つの言語の組み合わせに関わらず、明示化現象が翻訳過程に内在するものであり、Blum-Kulka の仮説を裏付ける結果となった。

一方、Blum-Kulka の明示化現象の捉え方に賛同しない研究者もいる。Séguinot(1988)は Blum-Kulka が言及した「余剰さ」が狭すぎると批判し、「明示化は必ずしも冗長を意味するというわけではない」と述べる。そして、付加(Addition)が明示化の唯一の手段ではなく、「原文になかったものを訳文の中に表出する」ことは明らかに明示化ではあるが、「原文に含まれる意味や、前提として理解されていることをあえて訳出するか、原文のある要素に焦点を当てたり、強調したり、言葉を選択したりすることによって、訳文の中でそれらの部分を際立たせる」ことも一種の明示化であると主張している。また、Munday(2009)も Blum-Kulka とは異なる明示化についての捉え方を提示した。Munday(2009)では、明示化は起点テキストで含意されていたものを目標テキストで言語化することと定義されている。

1.5.2.2 通訳・翻訳の先行研究における明示化の分類方法

Klaudy(1993、1996、1998)は、明示化を義務的明示化(Obligatory explicitation)、任意的明示化 (Optional explicitation)、語用論的明示化(Pragmatic explicitation)、翻訳・通訳に内在する明示化 (Translation-inherent explicitation)という 4 種類に分けて提示した。それぞれは以下のように捉えられる。

- ・ 義務的明示化とは、起点言語と目標言語の文法的・語彙的な違いによって起きるものである。
- ・ 任意的明示化とは、起点言語と目標言語における文の構成の仕方やスタイルの違いによって起きるものである。
- ・ 語用論的明示化とは、通訳の対象となるコミュニケーションの参加者の文化・社会的な知識の違いによって起きるものである。
- ・ 翻訳・通訳に内在する明示化とは、翻訳・通訳の過程自体の典型的な特性である。

以上の Klaudy による通訳における明示化の下位分類に対して、Becher(2010)は翻訳に内在する明示化の存在に関する仮説を強く否定した。そして、翻訳に内在する明示化と語用論的な明示化、任意的な明示化の違いについて明確に説明されていないと指摘した。

一方、Pym(2005)も明示化が義務的に行われる方略だと主張しつつも、Klaudy(1998)とは異なり、義務的明示化と任意的明示化との2種類だけに分類した。Pym(2005)による義務的な明示化の定義は Klaudy(1998)とほぼ同様であり、起点言語と目標言語の文法的な違いによって起きるものであるとする。任意的な明示化については、Klaudy(1998)の語用論的な明示化の定義と同じものを提示した。即ち、Pym(2005)による任意的明示化は、起点言語と目標言語の会話参加者の文化及び社会知識の違いによって起きると定義される。Frankenberg-Garcia(2009)は Pym(2005)と同様の分類方法を採用したが、任意的な明示化は Frankenberg-Garcia(2009)では、「Voluntary explicitation」（自発的な明示化）と名づけられている。

意識的か無意識的かという別の観点から、明示化を分類するというアプローチもある。Klaudy & Károly(2005)は必然的な現象（Automatic operation）と意識的に使うストラテジー（Conscious strategies）としての2種類の明示化があると主張している。そのうち、Klaudy & Károly(2005)が提唱した必然的な現象（Automatic operation）は Blum-Kulka による明示化の捉え方に一致しており、通訳者が特に意識しなくても無意識のうちに使う明示化のことを言う。例えば、目標言語が性別を明示化する必要のある言語である場合は、起点言語においてこの要素が明示されなくても、訳出される際に（通訳者の能力不十分により、情報を省略してしまうような場合を除き）当たり前のように性別の情報は通訳者に明確化されるべきである。このような当たり前すぎる明示化は無意識のうちに行われる場合が殆どであり、Klaudy & Károly によって必然的な現象（Automatic operation）と名付けられた。それに対して、起点言語

と目標言語の基本的な違いにより当たり前のように行われる明示化ではなく、訳出者の判断によるところが多い明示化は意識的に使うストラテジー（Conscious Strategies）として捉えられている。ストラテジーという用語自体も明示化に対する活用主体の意識を反映しているであろう。

このように、Klaudy & Károly は明示化の必然的な性質を認めながら、訳出者の意識によるストラテジーとして使われる事実も否めない。Klaudy & Károly と同様に、明示化をストラテジーとして捉える研究者も多い（Weissbrod 1992, Vehmas-Lehto 2001, Pápai 2004, Pym 2005）。しかし、その一方 Blum-Kulka(1986)、Baker(1993)、Shlesinger(1995)等は主に明示化を必然的な現象（By-product of language mediation）として捉えると主張しており、意識的に使われる明示化の存在をそれほど重視していないようである。

上述の研究は、明示化を大きく分類した研究であるが、先行研究を検証しながら、各言語ペア間の通訳・翻訳に見られる明示化を考察し、詳細分類を試みた研究もいくつか見られる。Olohan(2000)は通訳における明示化を語彙的レベルと統語的レベルに分け、更にその下位分類を行った。例えば、語彙レベルの明示化の下位分類としては、文化的な情報、説明的な語彙と接続詞、文の再構築、反復、起点テキストで言及されたものを特定した言い方が挙げられる。そして、統語的なレベルの明示化では、文を明示的に示すための任意的な語彙の要素を付け加えるケースが多いとされ、主節と従属節の従属関係の強化、報告動詞（英語の Say/ Tell、日本語の「語る、述べる」のような動詞）などの方略がこれらの例として挙げられる。

花岡(1999)は日本語-英語の通訳における明示化についての初めての研究である。花岡は明示化を説明的情報の追加、省略されている情報の明示、より明確な指示という3つのカテゴリーに分類した。そして花岡(2000)では、明示化方略をより細かく分類している。その結果、花岡(2000)では、明示化方略は、談話レベルの明示化方略と語彙レベルの明示化方略、文化固有の事象の明示化、実用的明示化、文字情報の明示化（放送通訳特有の明示化）、意図せぬ明示化（ポーズ、あー、えー等）に大別される。さらに、談話レベルの明示化では、情報の復元、強調、情報の追加の3種類が挙げられ、語彙レベルの明示化では代名詞による指示と語彙の反復、固有名の明示化が下位の種類として分類されている。花岡によると、「最も頻繁に見られた明示化は指示対象の明示であり、またテキスト外情報の明示については文化的事象の明示化が目立った」ということである。しかし、彼も認めているように、サン

ブルが少ないので一般化することができないほか、明示化を認定する基準もはっきりしていないという課題が残っている。

1.5.2.3 「明示化」を検討する必要性

以上の先行研究を再検討したところ、明示化は普遍的な現象であると主張する研究が多くあるが、その多くが英語とほかの言語を対象にしており、研究の数も非常に限られているため一般化することは難しい。言語の組み合わせに関わらず明示化が訳出プロセスに内在しているという Blum-Kulka (1986)の仮説を検証するためには、英語だけではなく他の言語も考慮に入れ、研究対象の範囲を拡大する必要がある。

また、これまでの先行研究で提示されてきた明示化の定義には不明な点が多く残されており、研究を進めていく上で、先行研究の定義をそのまま当てはめるのは適当とは言えない。1.5.2.2 節で紹介したように、Klaudy (1998)は明示化を 4 種類に大別したが、語用論的明示化と任意的明示化の違い、内在する明示化の定義が不明である。そもそも明示化の詳細分類を行った研究自体が少なく、各種類の定義及び説明は未だ不明瞭である。また、花岡 (2000) の研究においても、提示された「強調」と「語彙の反復」には重なる部分があり、彼が提示した「意図せぬ明示化（ポーズ、「あー」、「えー」等）」もなぜ明示化として見なせるかという判断基準が明確に示されていない。そのほか、なぜ談話レベルの明示化と語彙レベルの明示化に分類するかという根拠が提示されていない。Olohan (2000)の研究も同様な課題を抱えていると思われる。つまり、Olohan は明示化を語彙レベルと統語的レベルに分類したが、その根拠が何か、なぜ談話レベルの明示化を取り扱わないか等の説明がないようである。加えて、分類された各カテゴリーに属する具体的な明示化の特定についても分かりにくいところが多い。例えば、Olohan は「文の再構築」を語彙レベルの明示化として認定したが、これは明らかに文レベルか談話レベルでの工夫だと思われる。そして、彼が取り上げたストラテジーの名称が全体的に見ると、意味を明示するための手段を表すもの（接続詞、文の再構築、反復等）であるのに対して、統語的レベルの「主節と従属説の従属関係の強化」というストラテジーのみ明示手段というより、むしろその手段が伴う効果を表すかのように感じさせる。即ち、先行研究で検討された明示化の分類はまだ体系的に行われているとは考えにくい。

筆者の考えでは、「明示化」の全体像を見極めて体系的に分類するために、ストラテジーの活用に影響を及ぼし得る要素、及びこれらのストラテジーで対処可能な問題をこれまでと同様に個別の現象として扱うのではなく、視野を広げ訳出プロセ

ス全体に絡んでいるものとして、検討する必要がある。明示化ストラテジーで対処可能な問題を軸に明示化ストラテジーを分類するという方法も考えられる。すなわち、目的別に明示化ストラテジーを分類するということである。先行研究では、上述のような複数の分類方法が提案されたが、筆者は実際にこれらの分類方法で試しに分類を行った際に、分類基準に多くの疑問を抱いた。例えば、先行研究では語彙レベル、談話レベル、文法レベルなどの各レベルに明示化が分類されているが、どのような基準に基づき明示化のレベルを認定するかは、明確な根拠がないようである。ある場面において語彙レベルで活用されたが、違う場面になると談話レベルで認定されるという明示化もあるはずであるが、この可能性についても十分に触れられていない。また、必然性という観点から分類するのは筆者にとって大変参考になるアプローチではあるが、明示化の必然性の判断は比較的主観的な作業であるため、必然性という観点だけから明示化を分類するのは不十分なのではないかと思われる。加えて、話し手の意図を明らかにしようとした効果があるにも関わらず、先行研究で明示化として認定されていないストラテジーも多くある。筆者は実際に先行研究の分類方法を試みた際に、そのようなストラテジーをどのカテゴリーにも当てはめることができず、大変戸惑った。このように、先行研究でも既に明示化を分類するための様々なアプローチの仕方を提示しているが、包括的な観点から分類する方法はまだ紹介されていない。

他方、1.3 節でも提示したように、訳出過程はダイナミックなプロセスであり、通訳者・翻訳者の言語能力、現場の状況、通訳者・翻訳者の経験、聞き手の背景知識など様々な要素に左右されるため、訳出を求められる内容が同じであっても、その訳出を産出するために活用される明示化ストラテジーは訳出者によって違うものになるかもしれない。しかし、逆にストラテジーの活用に影響を及ぼし得る要素がある程度揃っていると、異なる訳出者同士でも共通のストラテジーの活用の可能性があり得る。この可能性の存在を確認することによって、明示化の普遍性の根拠として裏付けることができるほか、活用場面が多く、共通に使われる安全性・コミュニケーション補助の効果が高い明示化について一般化することも考えられる。特に、これまでの先行研究は明示化のコミュニケーション機能を十分に考慮しているとは考え難い。通訳・翻訳全体プロセスをある一種のコミュニケーションとみなす上では、このプロセスに使われるストラテジーのコミュニケーション上の機能も検討すべきであろう。

以上の状況を踏まえ、「明示化」についてはすでに先行研究があったものの、更なる検討が必要であると考え、本研究の構想に適した対象として判断した。

1.5.2.4 「明晰化」という新たな概念を導入すべき理由

筆者の所見では、日本語の「明示化」という用語を使うのでは、“Explicitation”という現象の範囲を狭めてしまうと考えられる。つまり、1.5.2.3 節でも説明したように、「明示化」は字義通りであれば、そもそも明示的に示されなかったことをはっきりと分かるように示すという意味を表す言葉であるため、通訳・翻訳に使われる明示化とは、「情報の追加」、「説明の追加」、「暗示的に示されたことを明示的に表す」、もう少し範囲を広げても「言いたいことを何らかの形によって強調する」という形態のものであらうと勘違いされやすい。しかし、明示化の出現形態はそればかりではなく、会話参与者、または書き手と読み手との相互理解を助けるために、意味を論理的に伝えるために文を再構築する、相手の言語・文化に馴染むような表現に変換するなど、他にさまざまな形があるとも捉えられる。言い換えると、実際にはもっと多くの面でコミュニケーション参与者への配慮を表す明示化があるのにも関わらず、「明示化」という用語では、限られたタイプの明示化しか網羅できない。そのため、本研究では“Explicitation”の現象のうち、コミュニケーション上の機能（コミュニケーション参与者への配慮等も含めて）により注目すべく、「明示化」に代わる新しい概念である「明晰化」を提案してみたい。「明晰化」という概念についての詳細な説明は第2章で提示する。

第 2 章

「明晰化」の概念説明及び明晰化ストラテジーの活用を左右する諸要素の検討

第 1 章の後半では、「明示化」の字義通りの意味、過去の研究で捉えられた意味及び範囲について説明し、更に最後になぜ本研究で同じ用語ではなく、新たな概念である「明晰化」を導入したいのか論じた。本章では、本研究で扱う「明晰化」とは具体的にどのような概念であるかを説明するために、「明晰化」の字義通りの定義、本研究で扱う定義及び分類の考え方を示し、最後に「明晰化の効果」の捉え方について解説した。更に、本格的なデータ分析に入る前に仮説、若しくは予想を立てることが望ましいため、このストラテジーの活用状況に関わる各要素を事前に検討した。明晰化ストラテジーの活用を左右する要因には、様々なものが考えられるが、本章では、訳出形態の異同や起点言語と目標言語の異同を代表的なものとして取り上げ、これらの要素による明晰化ストラテジー活用状況への影響を検討した。

2.1 明晰化の概念説明

本節では、まず字義通りの「明晰化」とは何かを説明し、本研究で扱う「明晰化」の概念について詳しく解説する。

2.1.1 明晰化の定義

「明示化」と「明晰化」は意味的に大体類似している用語だが、本研究で「明示化」ではなく、「明晰化」という用語の導入を提案したいのは、「明晰化」のほうがコミュニケーション機能よりはっきりと見えるからである。以下、いくつかの国語辞典で紹介されている「明晰」の定義を提示し、第 2 章で示した「明示」の定義との違いを明確にしたい。

『講談社類語辞典』：

【明晰】：文章や考え方などの筋道がはっきりしていて、分かりやすい様子。「彼はいつも～な文章を書くので、関心している」→頭脳～・言語～

『広辞苑第六版』：

【明晰】：①明らかではっきりしていること。「—な文章」「頭脳—」②概念の内容が直観的に明らかであること。論理学では外延がはっきりしており、曖昧さを含まない概念をいう。

『明鏡国語辞典』：

【明晰】：はっきりしていること。道筋が通っていること。「一な文章」、「頭脳一」

（【明示】≪名・他サ≫はっきりと分かるように示すこと。「内容を一する」。

対：暗示）

比較してみると、「明晰」は「明示」より範囲が広く、相手（文章の読み手、話の聞き手）にとっての分かりやすさ、文章・考え方・話の筋道が通っている状態、相手の理解を妨げる曖昧さがないという意味合いが読み取れるであろう。つまり、「明晰」という言葉においては、相手への配慮がよりはっきり見えるということである。ほぼ類似している用語だが、意味合いが少しでも異なることによって、その言葉の示す範疇が縮小されたり、拡大されたりするということから、筆者は本研究の観点や目的に合わせ、「明晰化」という用語を用いることにした。

2.1.2 本研究で扱う明晰化ストラテジー

2.1.2.1 本研究で扱う明晰化ストラテジーの定義

本章の第 1 節において、「明晰」の定義を提示したが、これはあくまでも一般的な場面に使われる場合の言葉の字義である。特定の研究でこの用語を使う場合は、改めてその研究で捉える用語の定義を提示する必要がある。また、本研究では通訳・翻訳過程において現れる「明晰化」が意識的であれ、無意識的であれ、一体化して「明晰化ストラテジー」と称する。一方、「明示化」は「暗示化」の反対概念と見なされているが、本研究で導入する「明晰化」はそれと異なり、相手の理解を妨げる要素を除く行為を含めるため、「暗示化」に近い場合もある。以下、本研究で扱う明晰化ストラテジーの定義を提示する。

明晰化ストラテジーの定義：

明晰化ストラテジーとは、訳出過程において言語体系の相違あるいは会話参加者の社会文化知識の相違を補いながら、相手にとっての分かりやすさのために工夫し、円滑なコミュニケーションを最終的な目標として意識的、あるいは無意識的に活用されるストラテジーである。

以上の定義に基づき予備調査を行ったところ、17 の明晰化ストラテジーが観察できた。それは、①主体の明示化、②前置き表現の活用、③原文の構成変更、④反復、⑤性別の明示化、⑥指示語の意味明確化、⑦指示語の付加、⑧暗示された情報の復元、⑨程度副詞の付加、⑩説明の追加、⑪複数の類義語の活用、⑫接続詞の付加、

⑬読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換、⑭テンス・アスペクトの変換・具体化、⑮原文の不自然さに対する処理、⑯形式名詞の具体化、⑰英語（表記）の併用による誤解防止である。

以上に提示した明晰化ストラテジーはどのようなものであるかイメージしやすいよう、⑤「性別の明示化」と⑩「説明の追加」を代表的なストラテジーとして説明したい。

日本語では～様、～さんで人の名前を呼び、その呼び方だけでは会話に出た人の性別が分からない場合が多い。それに対して、ベトナム語では呼びかけにおいて相手または第 3 者の性別をはっきり示するのが一般的である。そのために、日本語からベトナム語に訳す際には、訳出者はこの特徴の違いによく配慮し、日本語の起点テキストにおいて暗示された相手の性別を明示するように工夫しなければならない。つまり、「性別の明示化」という明晰ストラテジー（⑤）を活用する必要がある。

日本語-ベトナム語のという言語ペアにおける特殊的な「性別の明示化」と異なり、「説明の追加」は非常に普遍的な明晰化ストラテジーであり、どの言語ペアにおいても頻繁に出現する傾向が見られる。「説明の追加」は様々なレベルで行われるが、起点言語に現れた固有名詞だけを対象に説明を加えた場合は、語彙レベルの「説明の追加」になり、長い語句に説明を加える場合は談話レベルの活用であると認定される。

それぞれのストラテジーの定義及び解説は第 4 章で行うために、この節では以上のように簡単な説明に留めることにする。

2.1.2.2 本研究で扱う明晰化ストラテジーの分類

「明示化」を「語彙レベル」・「統語的レベル」（Olohan、2000）、または、「語彙レベル」・「談話レベル」（花岡、2000）を軸に分類する先行研究があった。これらの研究を参考にしつつも、本研究では、多少違う観点から分類を試みたい。

第 1 章の 1.3 節で説明したように、訳出プロセスは発話産出プロセスと同様のものと捉えられる。そのため、発話産出プロセスと同じく、訳出プロセスの情報処理においても「文法レベルの問題」、「語彙レベルの問題」、「談話レベルの問題」、「発音レベルの問題」及び「言語レベル外の問題」が発生し得る（情報処理における各種問題についての解説は第 1 章の 1.3 節を参照）。それぞれの問題に対し、通訳者・翻訳者は明晰化をはじめとする適切な対処をとる必要がある。本研究では、大枠として目的をもとに明晰化ストラテジー进行分类する。即ち、どの問題に対して

対処するかという目的を軸に明晰化ストラテジーを認定し、分類するという分類方法である。

本研究の範囲では、「文法レベルの問題」と「語彙レベルの問題」、「談話レベルの問題」に着目したいため、明晰化ストラテジーは「活用レベル」という観点から「文法レベルの問題に対処する明晰化」と「語彙レベルの問題に対処する明晰化」、「談話レベルの問題に対処する明晰化」という 3 種類に絞り、検討を進める。また、Pym (2005)に倣い、「必然性」という観点からも明晰化ストラテジーを「義務的明晰化」と「任意的明晰化」に細分化する。なお、Pym の定義をそのまま借りずに、本研究の目的に合わせて多少調整を行う。加えて、これまでの先行研究であまり触れられていなかった「利用目的」³という観点も本研究で焦点を当てて、詳しく分析・考察する。この観点では、明晰化ストラテジーは「意味明確化のための明晰化」と「目標テキストの自然さ確保のための明晰化」に細分できる。それぞれの観点に基づき分類される明晰化ストラテジーの各種の定義は以下に提示する通りである。

i. 「活用レベル」という観点から

● **語彙レベルの問題に対処する明晰化ストラテジー**：訳出過程の情報処理プロセスにおいて発生する可能性のある語彙的な問題に対処するための明晰化ストラテジーである。

例えば、起点テキストに固有名詞（食べ物の名前、地名等）の言及があったとする。これは話し手・書き手の文化があまり分からず、共通の背景知識もそれほど持っていない聞き手／読み手にとって大変理解の負担が大きい。つまり、情報処理プロセスにおいて語彙レベルの問題が発生したとみなされる。通訳者は状況を把握し、その固有名詞を直訳した後に、理解の負担を軽減するための説明の追加を行うことになる。この場合の「説明の追加」は「語彙レベル」の明晰化ストラテジーと見られる。

³ 「利用目的」と「活用レベル」は完全に異なる観点ではなく、関わり合うところがあり、どちらも目的を軸にするものである。しかし、厳密に言えば「活用レベル」の観点による分類とは明晰化ストラテジーが情報処理プロセスにおいて発生するどのような問題に対処するものであるかをもとに分類する方法であるのに対し、「利用目的」に基づく分類は明晰化ストラテジーの活用される目的を更に明確に特定するための分類である。例えば、起点言語に「それ」という指示語が使われたが、この指示語は何を指すか意味が不明であるという問題が発生する。この問題はある一つの単語に関わる問題であり、その単語の意味を明確化すれば問題が解決されるために、「語彙レベル」だと認識される。通訳者は「それ」の意味を明確化するように明晰化ストラテジーを活用した。このように、「活用レベル」と「利用目的」という二つの観点を組み合わせて判断したところ、この場合の通訳者は「指示語の意味明確化」を「語彙レベル」で「意味明確化のため」という目的に活用したと認定できる。

● **文法レベルの問題に対処する明晰化ストラテジー**：訳出過程の情報処理プロセスにおいて発生する可能性のある文法的な問題に対処するための明晰化ストラテジーである。

例えば、ベトナム語と日本語の文法の違いにより、ベトナム語目標テキスト（訳文）において日本語起点テキスト（原文）で省略された主語を明示する必要がある場合に活用される「主体の明示化」のストラテジーなどが典型的な例として挙げられる。

● **談話レベルの問題に対処する明晰化ストラテジー**：訳出過程の情報処理プロセスにおいて発生する可能性のある談話的な問題に対処するための明晰化ストラテジーである。

例えば、起点テキストが非常に長い複文で分かりにくい場合に活用される「原文の構成変更」のストラテジーが一つの典型的な事例として見られる。

ii. 「必然性」という観点から

● **義務的明晰化**：明晰化を行わなければ、目標テキストが非文になるか、非常に不自然な表現になり、相手にとって理解不可能なものになる可能性がある場合に活用されるストラテジーである。義務的明晰化は、語彙レベル的、文法レベル的なものもあれば、談話レベル的なものもある。

例えば、起点テキストにおいて文法的に正しくない表現、または非常に不自然な言い回しがある場合は、そのまま情報を処理することができないために、訳出者は「原文の不自然さに対応する処理」というストラテジーを活用する必要がある。このような場合は義務的明晰化に当てはまる。

● **任意的明晰化**：明晰化を行わなくても、メッセージはなんとか相手に伝わるが、やや不自然な表現、未整理のままの文の構成、両言語・文化の相違による認識のギャップなどが相手の理解をある程度妨げるか、あるいは理解に負担をかける可能性が生じることがある。このような場合に使用される明晰化を任意的明晰化という。任意的明晰化は、語彙レベル的、文法レベル的なものもあれば、談話レベル的なものもある。

例えば、話し手の発言の意図を強調するために「程度副詞の付加」というストラテジーを使う場合は任意的明晰化として認定される。

iii. 「利用目的」という観点から

● **意味明確化のための明晰化**：相手の理解を促すために、起点テキストの意味をはっきりさせるための工夫のことである。起点テキストのあいまいな部分、分かりにくいと思われる部分、または、直訳では伝わりにくい部分などに対して情報を加工したりすることによって、起点テキストの意味がより分かりやすく伝わるようにするストラテジー。

例えば、「指示語の意味明確化」、「主体の明示化」がこの利用目的の典型的なストラテジーである。

● **目標テキストの自然さ確保のための明晰化**：直訳では相手（聞き手、読み手）に表現のあり方について違和感を与える可能性があるため、それを減らすための工夫、いわば相手（聞き手、読み手）に対する「聞く・理解する」という行為の負担を軽減するための工夫。そういう意味で、この種のストラテジーも理解を促す機能がある。ただし、このカテゴリーのストラテジーの重点は理解促進ではなく、目標テキストの自然さ確保という点にある。

例えば、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」はこの利用目的で活用されることが多いと想定されるストラテジーである。

以下、情報処理プロセスから訳出に至るまでの明晰化ストラテジーの分類の案をイメージ化した図を提示する。

なお、この図では、一番下位クラスにある具体的な明晰化ストラテジーのすべては提示していない。本研究の範囲で 17 の明晰化ストラテジーが認定されたが、この図では代表として 5 つのストラテジーのみを提示し、一番の下位クラスにある具体的な明晰化ストラテジーと上位クラス（活用レベル、必然性、利用目的）との関係を示した。

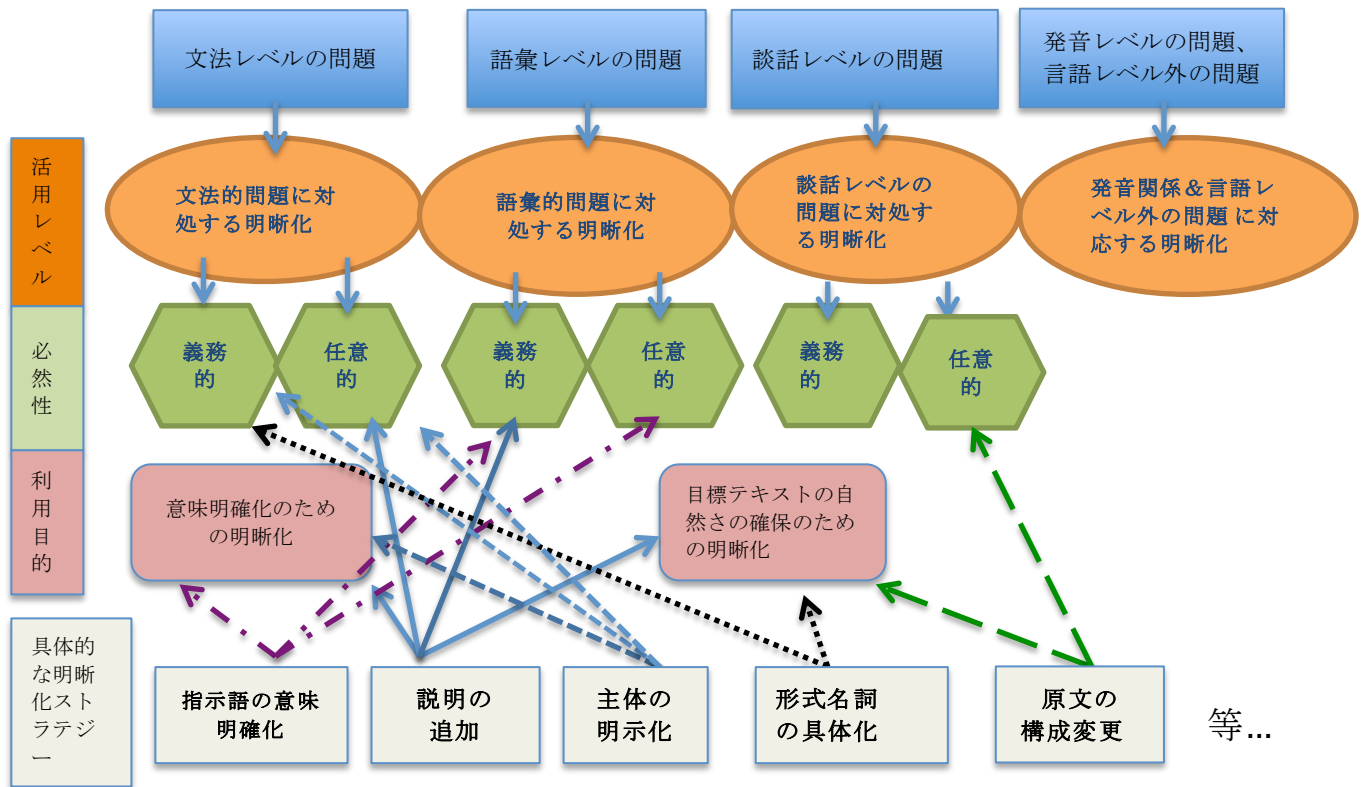


図5 明晰化ストラテジーの分類

図5でも示されたように、一番下位クラスにおける具体的な明晰化ストラテジーは動的な性質を持っており、場面によって異なる必然性及び利用目的や活用レベルを有する。例えば、「説明の追加」というストラテジーは、義務性が高いものとして語彙レベルで意味明確化のために活用されると判断できる場面もあれば、任意的なもので、「目標テキストの自然さ確保のための明晰化」として使用される場面もある。明晰化ストラテジーのこの動的な性質が訳出プロセス全体の動的な性質を作り出す一因であると考えられるために、具体的な明晰化ストラテジーの性質や特徴を明らかにすることが本研究の焦点であり、本論の第4章から詳細に分析・考察していく。

2.1.2.3 本研究で扱う「明晰化の効果」とは？

これまでの研究では「明示化」が通訳・翻訳において普遍性の高い現象であることを前提に「明示化」について論じていた。しかし、普遍的であるからといって、必ずしも効率よく使われているストラテジーであるとは限らない。即ち、「明示化」には場面、場合によって異なる実質的な効果がある。例えば、妥当な「説明の追加」は、肯定的な効果をもたらすと思われるが、不要であり、且つ伝達内容を余計に冗

長に聞こえさせる「説明の追加」は聞き手の反感を買ってしまい、否定的な効果を及ぼすことになる。このように、「明示化」ストラテジーの活用の仕方によって、通訳者・翻訳者のパフォーマンスへの評価が大幅に変わってくる。そのために、この普遍性の高いストラテジーについて十分に認識するために、定義や分類のみならず、ストラテジーの実質的な効果という側面も検討しないわけにはいかない。

しかしながら、先行研究では、まだこの側面について十分に触れているとはいえない。筆者が調べたところでは、「明示化」の効果について本格的に検討した研究がないようである。

以上の背景を踏まえ、本研究では「明晰化の効果」を検討すべき項目の一つとして加えた。このストラテジーの効果を検討するにあたり、まず「明晰化の効果」とはどのようなものか、どのように認識すべきかを決めた。以下、本研究で捉えられる「明晰化の効果」の定義を提示する。

「明晰化の効果」の定義：明晰化ストラテジーの活用による効果は、明晰化ストラテジーが現れた訳文の形式レベルの意味伝達効果とコミュニケーション機能の総合効果であると捉えられる。原文の意味を十分に伝達し、且つ相手にとって分かりやすい形で訳出できたかどうかという観点から評価する。

この定義をもとに、本研究で収録できた通訳・翻訳データに現れた明晰化の効果の評価する。この作業は、「明晰化」という個別現象の実質的效果を検証するためだけでなく、明晰化ストラテジーの訳出プロセス全体に対する必要性及び影響度合いを実証し、活用上の注意事項を明らかにすることを目的とする。

2.2 明晰化ストラテジーの活用を左右する諸要素の検討

本節では、明晰化ストラテジーの活用状況を左右する諸要素を検討するが、本章の冒頭でも説明したように、ここでは訳出形態の異同や起点言語と目標言語の異同だけを代表的な要素として考察する。

2.2.1 訳出形態の異同によるもの

2.2.1.1 同時通訳と逐次通訳

同時通訳は話し手の発話を追いかけて通訳するのに対して、逐次通訳は意味が纏まった文を聞き終わってから、通訳するという形態であるため、情報処理のための時間は大いに違う。逐次のほうが情報処理を行うための時間が多いので、発生した問題への対処策を丁寧に考える余裕がある。全般的には、逐次通訳のほうが同時通

訳より明晰化ストラテジーが多く使われると考えられる。特に、よく聞き取れなかった場合には話し手に再度確認し、相手にとって理解困難な概念があった場合には必要に応じて説明を加え、非言語的に相手に配慮するなどの行動は、基本的には逐次通訳に限ってみられるものであろう。同時通訳は、できるだけ簡潔な表現を求められるため、追加より適切な省略のほうが妥当なストラテジーとして大いに活用されるだろう。

2.2.1.2 通訳と翻訳

通訳は口頭形式での訳出形態であるのに対し、翻訳は文章形態での訳出形態である。この二つの形態は訳出に対する時間制限が性質上異なるので、明晰化をはじめとするストラテジー全般の活用傾向も大きく違うと考えられる。通訳の情報処理プロセスはかけられる時間が短く、ストラテジーの選択の余裕が翻訳より少ないであろう。そのために、効果という観点からみると、恐らく翻訳に使われる明晰化ストラテジーが通訳に使われるものより実質的な効果が高いと予測できる。ストラテジー活用回数やストラテジーの種類については、多少違いがあるのだろう。たとえば、通訳では簡単に口頭で追加の説明を行うことができるが、翻訳では勝手に説明を追加するのでは、翻訳業務依頼者側に疑問を抱かせる可能性が高いので、原則上翻訳者はこの種のストラテジーを控えているようである。そして、全般的には通訳のほうが翻訳より明晰化が多く使われるだろうと想定される。

2.2.1.3 コミュニティ通訳、商談の通訳、ワークショップ・会議の通訳、法廷通訳、医療通訳の特徴のレビュー

これらの通訳形態は大別すると三つのグループに分けることができる。第一はコミュニティ通訳、第二は「商談の通訳、ワークショップ・会議の通訳」、第三は「法廷通訳・医療通訳」である。第一と第二のグループでは通訳者はコミュニケーション参与者としてある程度メッセージ伝達のあり方を自分なりに調整することができる。つまり、自分の判断で説明を補足する必要があると判断した際には、ある範囲では説明を加えることが許される。しかし、法廷通訳や医療通訳は、通訳内容の高度な正確性・忠実性を求めており、通訳者の勝手な判断で情報を加えたり、無断な説明をしたりしてはいけないことになっている（法廷通訳に対する倫理からの引用）。業務遂行上、通訳者に発言の自由があるほど、明晰化ストラテジーの活用が多くなると思われる。そのため、医療通訳と法廷通訳はコミュニティ通訳及び商談の通訳、ワークショップ・会議通訳より明晰化ストラテジーの活用頻度が大幅に

下回ると想定できる。加えて、明晰化ストラテジーが医療通訳と法廷通訳に使われた場合においても、恐らく義務的なものが多いと予想される。

2.2.2 起点言語と目標言語の異同によるもの – 日本語とベトナム語の言語ペアを事例に–

起点言語と目標言語の異同を様々な観点から考察することが可能ではあるが、明晰化の活用に直接関わると思われる、言語構造、関係性を表す手段、談話の特徴という3つの視点に絞り、検討することにする。

2.2.2.1 言語構造

ア. 語順

日本語では、目的語が動詞述語の前、修飾する部分が被修飾する部分の前に現れることが基本的な原則であるが、ベトナム語では日本語と異なり、目的語が動詞述語の後、修飾する部分（指示代詞とも含めて）が被修飾部分の後に来ることが一般的である。以下の例1～3ではこの違いが見られる。

例1： 私はご飯を 食べる。

目的語 動詞述語

→ Tôi ăn cơm.

私 食べる-動詞述語 ご飯-目的語

例2： 彼女は 優秀な 学生です。

修飾語 被修飾語

→ Cô ấy là sinh viên ưu tú.

彼女 コピュラ 学生-被修飾語 優秀-修飾語

例3： この 本 を読んだことはありません。

指示代詞 被修飾語

→ Tôi chưa từng đọc quyển sách này.

私 読んだことがない 本-被修飾語 指示代詞

このように、日本語とベトナム語は語順に関して大きく異なっている。この特徴は、日本語とベトナム語という二言語間の訳出過程に対し大きく影響を及ぼすと想定できる。例えば、日本語では、動詞述語が最後に来るので文の意味を正確に理解するためには、殆どの場合において発話文の最後まで聞く必要があるだろう。これは、特にハイスピードの目標言語産出が求められる同時通訳にとっての大きな制約となっている。一方、ベトナム語では文脈がはっきりしている場合は、目的語を聞

かなくても文の意味を簡単に判断することができるため、文の最後まで聞かない、あるいは、聞き取れなくとも、かなり正確に意味が判断できる。

イ. 主語

この節では、まずベトナム語における主語省略の特徴を見てから、日本語の主語省略の特徴を考察していく。最後に、ベトナム語と日本語における主語省略の特徴を比較する。

● ベトナム語における主語省略の特徴

NGUYEN DINH HOA(1997)によると、ベトナム語では主語が省略される場合は以下の通りである。

【存在動詞で始まる文】

例 4 : Có khách.

ある 客

存在動詞 補語 (客が来ている)

【決まったルール、金言、格言、諺、真理を簡潔に示したもの。主体者が不特定、または一般者である場合】

例 5 : 決まったルールの場合

Ở Nhật Bản, phải đi bên tay trái.

日本では 通行しなければならない 左側

状況詞 (場所を示す) 助動詞+述語動詞 補語

(日本では左側を通行する)

例 6 : 金言・格言

Nên lấy chữ hiếu làm trọng.

した方がよい 捉える 親孝行 大事に

助動詞 述語動詞 補語 副詞

(親孝行は大事にしなければならない)

【言及があった主語または文脈が明らかな場合 (複文、重文)】

例 7 : Mỹ mua vào nhiều hơn bán ra, thành ra bị thâm thủng ngân sách.

アメリカ 売るより買う方が多い よって 財政赤字になった

主語 1 述語 1 接続詞 述語 2

(アメリカは、輸入額が輸出額を上回ったため、赤字になっていた)

【独白、独り言、主語がどの主体を指すがはっきり分かる文脈の場合】

例 8 : Buồn ngủ quá! Mai làm nốt!

眠い 感嘆詞 明日 やる 残り

述語＋感嘆詞 時間を特定する補語 述語 補語

(眠いな。残りは明日にしよう)

例 9 : S: Đi đâu đấy!

行く どこへ＋感嘆詞

述語 補語＋感嘆詞

(どこに行くの?)

H: Ra bưu điện!

出る 郵便局

述語 補語

(郵便局に行く)

なお、(例 9) は友達同士のやり取りである。基本的には、周り、特に目上の人に対して、このような話し方をするのは失礼だと教育されている。

【命令文】

例 10 : Im đi! Nín đi!

黙れ 泣くのをやめろ

述語＋命令詞 述語＋命令詞

(黙れ！泣くな！)

【はいいいえの質問文に対する返答、または「誰」の質問詞を含む質問文に対する返答】

例 11 : S: Cô ấy làm cho ai?

彼女 やる 誰のため

主語 述語 質問詞「だれ」

(彼女は誰のために仕事しているの?)

H: Làm cho toà đại sứ mỹ.

やる のため アメリカ大使館

述語 助動詞 補語

(米国大使館のために仕事している)

ただし、このような場合においても、主語の省略は親しい関係を持つ人同士の会話に限って許されており、初対面や目上、上司に対しては、非常に失礼な言い方になる。

● 日本語における主語省略の特徴

日本語では、文脈や場面によって、省略がかなり自由に行われる。文脈や場面から類推できる場合、連続する文の主題・主語が同じ場合は、省略されることが多い。

つまり、日本語での主語省略は一般的な現象であり、相手との関係に関わらず、礼儀正しくない、または失礼だと思われることはない。

例 12：もう食べましたか。

はい、食べました。

例 13：私はリーです。（私は）韓国から来ました。（私は）大学で文学を勉強しています。

例 14：手伝ってもらってもいいですか。

● ベトナム語と日本語における主語省略の特徴の違い

ベトナム語も日本語も多くの場合には主語の省略が可能になるが、その省略の自由度については差異がある。ベトナム語は一定の場面、条件のもとでしか主語が省略できないほか、主語省略が可能だと言っても、対人的には失礼な印象を与えることが多い。それに対し、日本語では、主語の省略が非常に多い。待遇表現・授受表現・敬語を用いる発言において主語が省略されることが一般的な現象であり、失礼だと思われず、逆に丁寧に主語を明示すると、不自然な言葉遣いだと見なされてしまう。この特徴の相違は、通訳・翻訳における明晰化の活用に大きく関わると筆者は想定している。

2.2.2.2 複数形

ベトナム語では、日本語と同様、複数を表すための文法形態素はない。しかし、日本語では複数の意味を名詞にもたらすために、数量を表す副詞（すべて、皆、いくつか）や具体的な数量詞（2人、3つ、5個など）を使う手段しかない上に、複数の意味を表すこれらの手段を使わず、複数の意味があるかどうかを文脈から判断せざるを得ない場合が数多くある。一方、ベトナム語では、複数の意味を表すためには、「基数詞」、「約数詞」、「数量詞」があり、文章では複数の意味を常に明らかに示している。言語学大辞典では、「基数詞」、「約数詞」、「数量詞」について、以下のように定義や例を提示している。

【基数詞】正確な数、量を示すために用いられる数詞で、直接名詞と結合する場合と、単位名詞を必ず介在させて結合する場合の2つがある。

例 15： Hai tháng

二 月 （2ヶ月）

例 16： Hai con gà

二 単位名詞 鶏 （2羽の鶏）

【約数詞】ベトナム語には、約数、約量を表す若干の数詞が存在する。基本的には、基数詞と同じ用法をもっている（中略）。

例 17 : Vài tháng
約二三 月 (2、3 ヶ月)

例 18 : Dăm quả cam
約 5、6 単位名詞 オレンジ (5、6 個のオレンジ)

【数量詞】複数や全体詞などを表すもので、その用法は基数詞や約数詞と同様である。

例 19 : Những sinh viên
いくつか 大学生 (数人の大学生 (全体の中の一部))

例 20 : Các em học sinh này
各々 名詞単位 生徒 この (これらの学生 (全体))

以上の複数を表す 3 つの形の中で、「基数詞」と「約数詞」は日本語にも見られる複数形式だが、「数量詞」は殆ど見られないものであろう。この違いをよりイメージしやすくするために、以下の例 21 と例 22 を提示する。例文の出典は田原 (2011) である。

例 21 : Các món ăn đều là món ăn Huế.
数量詞 主語 副詞 コピュラ (名詞) 述語
複数 料理 すべて コピュラ フエ料理
(料理はすべてフエ料理です。)

例 22 : Những người mặc áo dài trắng là học sinh cấp 3.
数量詞 主語 コピュラ (名詞) 述語
複数 人 着る アオザイ 白い コピュラ 高校生
(白いアオザイを着ている人は高校生です)

以上の例 21、22 で見られるように、ベトナム語の文では主語の複数の意味がはっきり表されている。この 2 つの例で数量詞がなければ、文全体の意味が変わってしまうか (例 22)、または、不自然な文になってしまう (例 21) と考えられる。それに対して、日本語に訳した文を見ると、複数の意味を表す手段は何も使われていない。従って、例 22 の日本語文だけを見ると、「白いアオザイを着ている人」は一人なのか、数人のことなのか曖昧な部分がある。この特徴の違いは日本語-ベトナム語の通訳者・翻訳者を大いに悩ませるもので、日本語のテキストの単数・複数の意味

をどうやって正確に捉え、ベトナム語に自然な形で伝えるかが一つの大きな課題とも言える。

2.2.2.3 テンス

「日本語のテンスは過去・現在・未来を表すのにル・タの対立、すなわち非過去・過去の対立しかもたない」（高見、1997）。すなわち、日本語の過去形はかなりはっきり表されるが、未来形ははっきりしていない場合が多い。それに対し、ベトナム語では、過去・現在・未来を表す言語形式が揃っている。ベトナム語は孤立語であり、過去・現在・未来を表すためには動詞・形容詞・名詞の形態変化ではなく、過去・現在・未来の意味を表す助動詞が使われる。以下、非過去形（ベトナム語の場合の現在＋未来に相当する）、及び過去形を順に考察し、日本語とベトナム語の異同を検討する。

● 非過去形

日本語では、森山卓郎 (2000)も示しているように、「形容詞述語や名詞述語は、タをつけない形（そのままの終止）で未来のことも現在のことも表せる」。

例 23：この花は美しい。

例 24：来年は寒いよ。

例 25：彼は（来年／今）は3年生だ。

そして、「動詞のそのままの終止形も、独立文法では、普通は現在か未来のことを表す（状態を表す述語では、現在のことを表せる）」。

例 26：来年もスポーツ大会がある。

例 27：今お金が2万円ほどある。

また、一般的な習慣や性質を表す場合、会話の場で、話し手の観察、内的感情、感覚を述べる場合や、遂行的発話の場合も、非過去形が用いられる。

例 28：日本人は米を食べます。

例 29：あああ、むかむかする。

例 30：あ、船が行く。

例 31：ご協力頂いたことに対して感謝申し上げます。（筆者の作例）

それに対して、ベトナム語では、未来や現在を表す形式が異なる。基本的には、未来か現在かは助動詞によって表される。例えば、「Sẽ（未来に起こる・する意味を表す）、sắp（近いうちに・起きる意味を表す）、sắp sửa（近いうちに・起きる意味を表す）、đang（進行しているという意味を表す）、thường（習慣を表

す)、 hay (頻繁よくする・起きる意味や習慣を表す)等の助動詞が挙げられる。
基本的には、現在か未来かを表すために、このような助動詞を用いる必要があるが、
時間が特定された場合、使用が任意にあることが多い (Cao Xuân Hạo, 1998)。

例 32 : Tôi sẽ đi du học. (未来を表す助動詞が付く場合)

主語 未来を表す助動詞 述語
私 未来を表す助動詞 留学する
(私は留学する)

例 33 : Cô ấy sắp sinh. (未来を表す助動詞が付く場合)

主語 未来を表す助動詞 述語
彼女 未来を表す助動詞 出産する
(彼女はそろそろ子供を生むところだ)

例 34 : Ngày mai họ đi Đà Lạt. (未来を表す助動詞が付かない場合)

時間特定語 主語 述語 補語
明日 かれら 行く ダラット (地名)
(明日彼らはダラットに行く)

例 35 : Hàng ngày, tôi dậy vào 7 giờ sáng. (テンスを表す助動詞が付かない場合)

時間特定語 主語 述語 補語
毎日 私 起きる 朝 7 時
(毎日、私は朝 7 時に起きる／起きている)

このように、テンスに関するベトナム語と日本語の類似点は、時間が特定された場合は、動詞の非過去形で現在のことも未来のことも表せることである。しかし、相違点は、時間が特定されない場合、日本語では、非過去形の動詞のままで未来か現在のテンスを表すことが出来るのに対し、ベトナム語では、テンスを表す助動詞を用いる必要が生じてくるということである。

● 過去形

日本語で主に過去を表す手段は「タ形」である。即ち、動詞の変形によって、過去を表す。

例 36 : ご飯を食べた。

例 37 : 昨日学校を休んだ。

日本語では、過去の時間が特定された場合でも、動詞を過去形に変える必要がある。一方、ベトナム語では、非過去の場合と同様、過去を表すために、「đã (過去にした・起きた意味を表す)、đã từng (-したことがある意味を表す)、vừa (-し

たばかりの意味を表す) 等」のような、過去を表す副詞を用いる必要がある。しかし、時間が特定された場合は、過去を表す副詞を使わなくても過去のテンスが表される場合が多い。

例 38 : Tôi vừa về. (過去を表す助動詞が付く場合)

主語 (－したばかりの意味を表す助動詞) 述語

私 ーしたばかり 帰る

(私は帰ったばかりだ)

例 39 : Hôm qua, cô ấy chiều đãi tôi bữa ăn rất ngon. (過去を表す助動詞が付かない場合)

時間特定語 主語 述語 補語 補語

昨日 彼女 ご馳走する 私 食事 とても 美味しい

(昨日、彼女は私にとっても美味しい料理を御馳走した)

このように、時間が特定された日本語の文をベトナム語に訳す時に、過去を表す助動詞を加えると、逆にやや不自然な文になることもある。

例 40 : 昨日友達の家で寝ました→

Hôm qua tôi ngủ ở nhà bạn.

昨日 私 寝る で 友達の家

以上のベトナム語訳文で十分である。過去の意味を表す「đã」の助動詞を加えると、不自然に聞こえる。

田原 (2011) では、「ベトナム語では過去・現在・未来のような時制 (テンス) を特別に意識する必要はなく、「文が話される文脈、前後の関係で当事者同士が正しく理解しあえる」と記述されている。そのために、日本語からベトナム語に訳す時に、例 (36) にも見られるように、自然な目標言語で伝えるためには、場合によって日本語でのテンスを表す部分を省略したり、ぼやかしたりする必要があるだろう。

2.2.2.2 関係性を表す手段

節と節、文と文の関連性を強化するためには、様々な手段が使われるが、本節では、「接続詞」と「指示語」を代表的な手段として取り上げて、これらの手段に関する日越両言語の異同について調べ、その特徴の異同による明晰化ストラテジー活用への影響を想定してみたい。

ア．接続詞

ベトナム語は接続詞が会話でも文章でも常に使われている言語である。基本的には、文と文、段落と段落の結束性を強めることにより、文章全体の筋をよくする機能語であると認識されている。接続詞の機能により複数のカテゴリーに分類されている。例えば、「補足」、「結果」、「まとめ・結論」、「言い換え」、「比較」、「順接」、「逆接」、「話題転換」、「例の提示」などの代表的なカテゴリーが挙げられる。

日本語も同様に、接続詞がたくさん存在している。市川（1978）によると、接続語句は接続詞、接続詞的機能を持つ語句、接続助詞、接続助詞的機能を持つ語句であり、文と文、節と節の論理関係を示し、前後を接続する機能があると捉えられる。その重要な役割を果たす接続語句は市川（1978）で 8 つ類型に分類されている。それは「順接型」、「逆接型」、「添加型」、「対比型」、「転換型」、「同列型」、「補足型」、「連鎖型」である。

順接型	全文の内容を条件とするその帰結を後文に述べる型。 だから・それで・そこで・そのため・すると・その結果など
逆接型	前文の内容に反する内容を後文に述べる型。 しかし・けれども・だが・それなのに・ところが・それがなど
添加型	前文の内容に付け加わる内容を後文に述べる型。 そして・それから・それに・さらに・しかも・また等
対比型	前文の内容に対して対比的な内容を後文に述べる型。 一方・逆に・それとも・または・あるいは等
転換型	前文の内容から転じて別個の内容を後文に述べる型。 ところで・さて・では・ともあれ・それはそうと等
同列型	前文の内容と同等とみなされる内容を後文に重ねて述べる型。 すなわち・つまり・要するに・せめて・とりわけ等
補足型	前文の内容を補足する内容を後文に述べる型。 なぜなら・というのは・だって・なお・因に等
連鎖型	前文の内容に直接結びつく内容を後文に述べる型。

市川氏によると、接続詞には省略できる補助的用法のものと省略不可能な必須用法のものがある。例えば、「また」「そして」「一方」「それとも」「すなわち」「つまり」などは補助的用法としての傾向が強いのに対し、「ところが」「しかし」「そのために」「だから」などは必須用法としての傾向が強いということである。また、接続詞が多用される文章は論理的に整えられるが、「描写性が薄れて説明調になったり、簡潔さが失われたりする場合もある」とも指摘されている。

また、日本語における接続詞の使用実態についての調査も実際に行われている。例えば、土肥（1992）では、日本語の文字言語資料と音声言語資料の接続詞を分析し、文字言語資料では逆接「しかし」、添加「また」が多く用いられ、自然科学分野の資料では順接「したがって」が多く用いられているという傾向を明らかにした。西（1995）では、新聞社説に現れる接続詞と接続詞的な機能を持つ語句の出現率を調査したが、文章全体における接続表現を持つ文の出現率は、総文数の 15.89%で、接続類型別の出現傾向は「逆接型」、「添加型」、「順接型」の順になっているという結果が得られた。

更に、浅井（2003）は日本語母語話者と外国人の日本語学習者における接続詞の使用実態を調査⁴している。その結果によると、接続詞は日本語母語話者の作文に 118 例、総文数の 22.87%の文に見られた。日本語学習者の作文には 154 例、総文数の 24.92%の文に見られ、学習者の方が接続詞を多く使っているという傾向が明らかにされた。

しかし、浅井(2003)で対象とされた日本語学習者は残念ながらベトナム人ではないため、以上の傾向がベトナム人の日本語学習者にも見られるかどうか判断しにくいところがあるが、以上の結果から外国人は恐らく日本人より頻繁に接続詞を使用する可能性が高いのではないかと想定することが出来る。そして、この使用実態の背景には、母語の影響が大きいとも考えられる。つまり、外国人日本語学習者が母語で接続詞を多用しているのであれば、日本語を使う時にも接続詞を積極的に使用する傾向があると推論できる。

⁴ 浅井のこの調査は、日本語母語話者 30 名と日本語学習者 32 名に「ゴミ問題の現状と解決法」というテーマを与え、800 字程度の作文を書かせて、その作文における接続詞の使用実態を調べたものである。母語話者は全員文科系を専門とする大学生であり、学習者は日本語能力試験 1 級に合格している中国語母語の学習者で、それぞれ自国あるいは日本で 2 年半以上の日本語学習経験がある者である。被調査者は日本語でレポート・論文を書く必要があり、母語話者については既に論文を書いた経験があるもの、学習者についてはレポート・論文を書く能力と機会のあるものである。

なお、筆者の調べたところ、ベトナム語における接続詞の使用実態に関する調査研究はまだないようであるため、ベトナム人に接続詞を多用する傾向があるかどうか、接続詞のどのような用法を最も使用しているかは不明である。そのため、接続詞の活用習慣に関するベトナム語と日本語の違いがいかに日越の通訳・翻訳プロセスに影響を与えるかについて想定するのは大変難しいが、だからこそ、この点を明らかにできる研究は有意義であり、通訳・翻訳研究だけではなくベトナム語の研究者にとっても興味深い結果になるかもしれない。

イ．指示語

指示語はどの国の言語体系にもある要素であり、談話・文章において非常に重要な役割を果たしているが、言語により指示語に対する認識及び使用習慣に違いがあるはずである。日本語は「コ・ソ・ア」のような 3 系列の指示語の系統を持っているが、「This-That」のような 2 系列を持つ言語（英語、インドネシア語、中国語等）もある。ベトナム語はどちらかと言えば、日本語と同様に三系列の指示語の系統を持っている言語である。

また、指示語の機能の分類についても、言語により異なる。日本語では、指示語は大別して現場指示と文脈指示という二つの用法がある。現場指示では、距離区分型と人称区分型という 2 つの型があり、それぞれにおいて、コ・ソ・アの機能も異なる。距離区分型では、話し手と聞き手が同じ領域にいて、その「直示の中心」から近い順に、コ（近称）、ソ（中称）、ア（遠称）で指すことになるのに対し、人称区分型では、話し手と聞き手が空間的・心理的に対立しており、話し手から見て自分の領域をコ、聞き手の領域をソで指すことになる。文脈指示では、前方照応・後方照応・記憶指示の三つの型がある。「コ」を使用したときは、直示のように、指示対象が目の前にあるかのようなニュアンスを表すが、「ソ」はそのようなニュアンスがなく、純粋な文脈照応であり、「ア」は記憶内にある対象を指す（記憶指示）という用法を持つ（金井、金、ジョセップ、2011）。

一方、ベトナム語の指示語について安達（2008、2009）は、ベトナム語の指示語（*Đây*（コ系）、*Đấy/Đó*（ソ系）、*Kia*（ア系））を「直示用法」、「記憶指示用法」及び「照応用法」に分けている。安達（2008）ではベトナム語の指示語について以下のように解釈している。

- ・ 近称の「Đây」は、話し手の身近にあるものを直示する。また、前後の文脈に言語的に導入された先行詞を指示することができ、不特定の対象を承けることもできる。
- ・ 遠称の「Kia」は、話し手から遠くにある可視的なものを直示する。「Đây」と対になって、「もう一方」という意味で使われることがある。「Kia」は照応用法を持たないが、記憶（話し手の直接経験）の中にある対象を指示することがある。
- ・ 中称の「Đó」は、話し手から離れた所にあるものを直示し、発話の場において可視的でないものを指示できる。その際、必ずしも聞き手の存在が基準となっておらず、中距離を指示するわけでもない。対象は話し手にとって疎遠なものであるという直感があり、“疑問詞＋「Đó」”という形で曖昧なものも指示できる。多くの場合は、対になるものを想定する必要はないが、人称代名詞のように用いられる場合は、「Đây」が話し手を、「Đó」が聞き手を表すことがある。また、典型的な照応用法と記憶指示用法を合わせて持っている。

（安達 2008 : 207）

このように、日本語とベトナム語の指示語に関する用法の呼び方は異なるように見えるが、基本的には「直示用法」は「現場指示」、「照応用法」は「文脈指示」に当てはまるであろう。

無論、日越両言語の指示詞は大枠としては類似しているところが多いが、相違点もある。Nguyen (2014)は両言語の指示詞における相違点として、「指示対象との距離への認知（対象が指す地点から近いか遠いか）という言語外的要因による違い、指示現場にいない人を指す時、日本語では指示語が使われるがベトナム語では第三人称代名詞がよく用いられるという言語表現の選択による違い」を取り上げた。そのほかに、指示対象が話し手と聞き手の両者から遠いところにあるのに、ベトナム語では遠称の「Kia」（ア系）を使わずに中称の「Đây/Đó」（ソ系）が適切な表現だと判断される場合が多いことも日本語と異なる点である。同様に、話し手も聞き手も知っているいわゆる共有知識のある対象を指す場合、日本語では原則として遠称のア系が用いられるが、ベトナム語では、「Kia」（ア系）で指し示すこともあれば、中称の「Đây/Đó」（ソ系）を使う場合もある。

以上は日本語とベトナム語の指示語の用法の概略的な比較である。なお、これは統合的な観点から行った比較であり、日本人とベトナム人が実際に指示語を使う際

の傾向や指示語に対する認識は残念ながら本研究では調査することができなかった。そのため、起点言語と目標言語の言語・文化の違いにより指示語に関する明晰化ストラテジー（指示語の意味明確化、指示語の付加）の活用がどのように影響されるかを想定するのが難しい。しかし、筆者の観察によるとベトナム語では「これ、それ、あれ」の言い方は文脈が非常に明確である場合を除き、あまり使われてない、若しくは使われていても聞き手・読み手にとって曖昧で丁寧ではない言葉遣いだと批判される場合がある。とは言え、「Đây/Đó/Đấy/Kia」（コ・ソ・ア系）の指示語があまり使われていないというわけではなく、「人称/名詞＋指示語」（あの人、このペン、その会社等）という形で用いられる場合が多い。このような形で指示語を使えば、「これ、それ、あれ」を使う場合と比べ、曖昧さが軽減されるだろう。それに対して、日本語では「これ、それ、あれ」は日常会話では比較的頻繁に使われており、改まった場面においても「それ」という表現が通用されているようである。これは筆者の主観的な観察であるが、もしこの観察が実際の傾向に合っているものであれば、日本語-ベトナム語の訳出プロセス及びこのプロセスにおける指示語関係の明晰化ストラテジーはこの特徴の違いに多少とも左右されるはずである。例えば、日→越の訳出方向では、「指示語の意味明確化」ストラテジーが多く使われるのに対し、逆の訳出方向では同じ現象が観察できない等の結果が想定できるだろう。

2.2.2.3 談話の特徴

2.2.2.1 節および 2.2.2.2 節では、主にベトナム語と日本語の文法的な特徴の異同を考察した。文法的な特徴の大きな相違点が、二言語の通訳・翻訳プロセス全体及びそのプロセスに活用される明晰化ストラテジーの活用が大いに影響することが考えられる。ただし、言語は文法のみならず、それ以外の側面もある。例えば、語彙、音声、談話などの側面もある。特に、談話特徴の異同は筆者の所見では、通訳・翻訳プロセス及び明晰化の活用を大きく左右するものである。以下、「前置き」と「待遇表現」という観点から、ベトナムと日本語の談話の特徴がどのように異なるかを検討し、それをもとに明晰化ストラテジーの活用傾向の仮説を立ててみたい。

ア. 前置き

まず、「前置き」はどのように捉えられるか確認したいが、陳（2007）では、「前置き」について以下の定義が紹介されている。

1. 前置き表現の活用は何らかの配慮によって用いられ、主要な言語内容に先立つ。

2. 基本的な機能は、ディスコースにおいてその次にくる主要な言語内容を導入するということである。
3. 前置き表現の活用には、次にくる主要な言語内容に対する判断（態度）や認識といった、話し手の主観が含まれている。
4. 前置き表現の活用の有無によって、次にくる主要な言語内容の命題・事柄の成り立ちに支障が起きることはない。

更に、陳（2007）は「前置き」を以下のような機能を持つものとして分類した。

- 対人配慮型 侘び表明 恐れ入りますが、～
- 感謝表明 ご好意は有難いが、～
- 謙遜表明 自慢じゃないけど、～
- 釈明表明 お言葉ですが、～
- 依頼表明 ちょっとお願いしたいことがあります、～
- 理解表明 君の気持ちはわかるけど、～
- 理由説明 ちょっと都合が悪いので、～
- 引用表明 ～さんがおっしゃったように、～
- 仮定表明 ご迷惑でなければ、～；よろしかったら、～
- 伝達性配慮型 話題提示 ～ことなんだけど、～；これは余談ですが～
- 様態提示 簡単に言うと、～；細かく言えば、～
- 注意提示 ちょっと、～；おい、～

陳（2007）の考察結果によると、日本人の会話における「前置き」の使用率は21%（考察対象の総発話に対する「前置き」が使われた発話文数）、投書⁵における「前置き」の使用率が41%である。この結果から見ると、「前置き」は日本語では頻繁に使われることが分かった。

一方、ベトナム語でも、「前置き」も使われており、且つ陳（2007）が以上で提示した「前置き」の機能はベトナム語の「前置き」にも見られる。Hoang Phe (2000) 及び Duong Tuyet Hanh (2007)の研究では、ベトナム語における「前置き」は場合によって一つの単語、または語句であり、発話内容の正否を決める要素を含まないが、発話の範囲を決め、発話の受け止め方に影響を与えかねないものである。特に前置

⁵ 「投書」は読者が自分の意見、感想などを手紙、はがきその他で新聞、雑誌などマス・メディアへ書き送ることをいう（世界大百科事典 第2版の解説により）。形式は文書であるが、ビジネス書面、公的な文書などと異なり、柔らかい言い回し、あるいは話し言葉的な表現が使われることが多いと見られる。

きは話題を提示し、発話行為の唐突さを軽減するなどの機能があるというように捉えている。Diep Quang Ban (2001)でも「前置き」は統語的には構文に属していないが、単独に存在している部分でもないと説明し、「前置き」を「徘徊の要素」(Yếu tố lang thang)と呼んでいる。これらの研究者の解釈によると、陳(2007)で列挙された「前置き」の機能のすべてがベトナム語の「前置き」にも見られる。このように、ベトナム語においても「前置き」の機能について検討した研究は少なくないが、筆者の調べた限りでは、ベトナム人による「前置き」の使用実態について調査した研究はまだないようである。殆どの関連研究は研究者自作の例文またはある小説から集めた例をデータとして分析しているため、ベトナム人は理論上の機能(陳(2007)が列挙した機能と同様の形で)で「前置き」を使用しているか、どれぐらいの頻度で使用しているか、どの場面・相手に対してどのような前置きを使っているかという実証研究が行われていない。そのために、本研究の範囲では、残念ながら日本人とベトナム人の「前置き」の使用習慣・傾向に関する相違点を明確にすることができない。

しかし、筆者の観点から日本人とベトナム人による「前置き」の使用傾向の違いについて簡単に述べてみると、日本語では「すみませんが、、、」、「ちょっと宜しいいいですか。」、「悪いですが／悪いんだけど、、、」などの「前置き」は決まり文句として日本人の日常会話に浸透しているようであり、どの場面においてもよく見られる表現であるのに対して、ベトナム語の日常会話ではとても改まった場面を除き、このような表現があまり使われていないようである。特にベトナム人の家庭の中ではこういった言い回しがめったに見られないのに、日本人の家庭の中で普通に会話に出てくるようだ。このような言い回しをベトナム人相手に使うと「水臭い」と悪く思われることもあり得る。もちろん、正式な調査を行わない限り、以上の捉え方を一般化することはできないが、ある意味では訳出方向がいかに明晰化ストラテジーの活用傾向に影響を与えるかを想定するためのヒントとして活用したい。

仮に筆者の捉え方が一般傾向に合致したものであれば、ベトナム語から日本語へ訳す方向では「前置き」が多く使われるが、逆の方向ではそれほどたくさん使われないという結果が想定できる。また、「前置き」は基本的には話し言葉の特徴であるため、翻訳において殆ど見られないという可能性も予想できるだろう。

イ. 待遇表現

「～てくれる」、「～て下さる」、「～て頂く」、「～て下さる」等の待遇表現は日本語談話において非常に重要な位置づけを持っている。待遇表現の使い方によって、相手への印象も変わるほど、待遇表現が日本語の日常生活に浸透しているとも言える。何かを依頼したいときに、命令形の「～て下さい」という代わりに、「～てもらえませんか」、或いは、「～てくれませんか」等の表現を使えば、依頼者の丁寧な態度を表し、依頼の承諾を相手に押し付けたくないという気持ちも伝わる。また、許可を求める場合、「～てもいいですか」という表現を使っても良いが、わざと「～させて頂けないでしょうか」を使う人が少なくないこともその一例である。

しかし、これは日本語だけの特徴ではなく、ベトナム語にもこのような待遇表現がある。そして、機能・用法に関しても、日本語と類似しているところが多い。例えば、ある活動に参加するための申込をする場面における申込者の発話を例に考えてみよう。

(1) Tôi muốn tham gia hoạt động này. (この活動に参加したいです)

私 したい 参加する 活動 この

(2) Xin hãy cho phép tôi tham gia hoạt động này.

(この活動に参加させて下さい)

下さい させて 私 参加する 活動 この

(3) Tôi rất mong các anh chị cho phép tôi tham gia hoạt động này.

(この活動に参加させて頂きたいです)

私 とても 期待する 皆さん させる 私 参加する 活動 この

上記の (1)、(2)、(3) は丁寧さが高くなるという順番になっている。明白な点は、(1) の伝え方では、申込者の希望が分かるが、活動に参加したいという情熱と話し手から謙遜な態度が感じられない。(2)では、申込者の希望と同時に更に申込者が謙遜している態度を表す。つまり、活動に参加したいが、勝手に入れるわけではないと分かっており、許可をお願いしたいという申込者の気持ちが相手に伝わるだろう。(2) は (1) と比べたら、より丁寧に聞こえるが、命令形なので、相手に不快な気持ちを与えてしまう可能性もある。それに対し、(3) の伝え方では、申込者は自分の希望を強く表せるほか、活動に参加したい気持ち、その情熱及び丁寧さ、礼儀正しさの全てを相手に感じさせることができるために、(1) と (2) と比べて、より良い印象を与えられると言える。

つまり、「～てもらう／～て頂く」、「～てくれる／～て下さる」のような待遇表現はどちらの言語にも重要であり、話し手の意図・目的を達成するために大きな役割を果たしている。

しかし、どちらの言語においても、「～てもらう／～て頂く」、「～てくれる／～て下さる」が使われているとは言え、使用頻度と使用場面が同じというわけではない。以下、筆者が考えた例を使い、その違いを簡単に説明していきたい。

- 「～てもらう／～て頂く」の使用場面、使用習慣についての考察

例 1：（学生に先生に相談したいことがあって、先生の研究室に伺う場面）

- ・日本人同士の会話

学生：すみませんがちょっとお聞きしたいことがあります。今宜しいでしょうか。

先生：あっ、これから会議ですけど、1 時間ぐらいだと思うので、1 時間後に来てもらえませんか。

- ・ベトナム人同士の会話（同上の場面）

学生: Thừa cô, em có chút việc muốn hỏi cô, bây giờ có được không ạ?

先生（呼応）、私 ある 少し 用事 したい 聞く 先生、今 大丈夫 か？

（先生、ちょっとお聞きしたいことがありますが、今は宜しいですか）

先生：Ah, bây giờ cô phải vào họp. Cô nghĩ chắc họp khoảng 1 tiếng, 1 tiếng nữa em gọi lại cho cô nhé.

あー、今 私 しなければならない 入る会議。 私思う多分会議 約 1 時間、1 時間後 君電話して また に 私ね

（あっ、今から会議です。多分 1 時間ぐらいだと思いますから、1 時間後また電話して下さいね。）

上記の会話場面において日本語とベトナム語における「～てもらう」「～て頂く」の使用場面、使用方法に関する相違点が見られる。日本語では、「～てもらう」、「～て頂く」という表現が上述のように日常生活に深く根付くものであるため、社会的な立場・位置について差がある先生と学生の間でのコミュニケーションにおいても、日常的に使われている。それに対して、ベトナム語では社会的な位置や立場が自分より低い人に対して、決してではないが、多くの場合、そういう丁寧すぎると思われる言い方を使わない傾向がある。同じ意味で発話を柔らかくするために、命令形である「～て下さい」の代わりに「～てくれる」、「～てくれない」を使うこともあるが、相手に対して有難い気持ちを込めて言う表現である「～てもらう」

「～て頂く」はめったに使われていないように見える。しかし、これは筆者の経験や認識に基づく解釈に過ぎず、すべての場合に当てはまるわけではなく、違う捉え方をする研究者もいるかもしれないことを断っておきたい。

- 「～させて頂く」、「～させてもらう」の使用場面、使用習慣についての考察

***日本人同士の会話（見積もりを送った後、電話して確認する場面）**

A: すみませんが、お問い合わせの商品に関してお見積もりを送らせていただきましたが、ご確認頂きましたでしょうか。

B: あっそうですか。どうも有難うございます。すぐ確かめてから折り返しご連絡させて頂きます。

***ベトナム人同士の会話（同上の場面）**

A: Xin lỗi nhưng tôi vừa mới gửi báo giá về sản phẩm anh liên lạc, không biết anh đã xác nhận thông tin chưa ạ?

すみません でも 私 ばかり 送る お見積もりについて商品 あなた 問い合わせた、知らない あなた 確認した 情報 質問詞？

（すみませんが、先ほどお問い合わせの商品のお見積もりを送りましたが、確認しましたでしょうか。）

B: Ô, vậy à. Rất cảm ơn anh. Tôi sẽ kiểm tra rồi liên lạc với anh ngay.

えー、そうですか。とても 感謝する あなた。私 （将来を表すテンス） 確認する それから 連絡する に あなた すぐ。

（えっそうですか。すぐ確かめてから連絡します（ね））

以上の例から、日本人の会話では通常の場合においても、「～させて頂く」のような、許可を求める表現が頻繁に使われているが、ベトナム語では、このような表現を使う場面や人がさほど多くはない。

そして、日本語では、「～てもらう」と「～てくれる」は両方とも多く使われているようであるが、ベトナム語では、どちらかと言えば、「～てくれる」のほうがよく使われている。この違いの背景には様々な要因が絡んでいるかもしれないが、それを十分に検討するには大変手間がかかるため、ここでは、現象や傾向の観察に留め、両言語の待遇表現の違いによる通訳・翻訳プロセス及び明晰化ストラテジーの活用への影響を中心に見たい。

以上をまとめると、待遇表現の使用は日本語とベトナム語のどちらの言語においても見られる現象であるが、使用の特徴に大きな違いがある。日本語のほうが、使用頻度・場面が大幅に多いように見える。この特徴の違いによって、訳出プロセスや明晰化ストラテジーの活用がどのように左右されるかと言えば、ベトナム語から日本語へ訳出する場合、日本人に馴染みのあるような待遇表現に変換され、必要に応じて追加されたりするのに対し、逆の訳出方向では、ベトナム語で通用される待遇表現が省略される傾向があるという可能性も想定できる。

以上、言語構造、関係性を表す手段、待遇表現という三つの観点から日本語とベトナム語の特徴を簡単に比較し、それを踏まえて、明晰化ストラテジーの活用がどのような傾向になるかという仮説も立ててみた。このような仮説を検証するために、どのように研究の枠組みを設定すべきかを考えるのは次のステップである。第 3 章「本研究の方法論」では、研究枠組みの詳細な説明に入りたい。

第二部：本論

第3章から第8章にかけては本論であり、本研究の中心的部分である。

第3章では、本研究の範囲を明らかにし、研究設問と研究方法を説明した。また、3つの研究設問を提示し、その設問への回答を見い出すための実験について説明した。本研究では、通訳・翻訳のデータ他、そのデータの分析結果を深く掘り下げるために、被験者に対する意識調査並びに明晰化ストラテジーの効果に関するアンケート調査も行ったが、その調査の概要について本章で紹介した。

第4章では、本研究で収集したデータを分析して、認定できたすべての明晰化ストラテジーの一覧を提示し、さらにストラテジーごとの定義を示し、具体例を用いて解説した。また、明晰化ストラテジーの全体傾向も本章で示した。

第5章では、通訳データを分析し、その結果を考察した。まず、通訳データを概観したうえで、通訳における明晰化ストラテジーの必然性、活用レベル及び利用目的を分析・考察し、次に通訳者や通訳方向により明晰化ストラテジーの特徴にいかなる違いが発生するかを明らかにした。本章でも通訳被験者への意識調査の結果を分析・考察し、通訳者の判断がどのように通訳プロセスや明晰化ストラテジーの活用に影響を及ぼすかを明らかにした。

第6章は、第5章と同様の構成となっており、翻訳データを分析・考察した。翻訳における明晰化ストラテジーの必然性、活用レベル及び利用目的の特徴を検討した上で、翻訳者や翻訳方向により明晰化ストラテジーの特徴にいかなる違いが発生するかを明らかにした。本章でも前章と同様、被験者への意識調査の結果を分析・考察し、翻訳者の判断がどのように翻訳プロセスや明晰化ストラテジーの活用に影響を及ぼすかを明らかにした。

第7章では、通訳と翻訳という訳出形態の違いがいかに明晰化ストラテジーの活用状況に影響を与えるかを検討した。本章でも被験者に対する意識調査の結果を踏まえ、訳出者の判断が訳出形態による明晰化ストラテジー活用の相違にどのように関係するかを考察した。

第8章では、明晰化ストラテジーの効果に対する調査結果についての分析・考察を行った。

第 3 章

本研究の方法論

本研究の目的は通訳・翻訳プロセスを提案し、そのプロセスにとって不可欠な役割を果たす明晰化ストラテジーについて考察するということである。考察するために、研究対象の言語ペアを確定し、また明晰化ストラテジーをどの観点から考察するかについては、研究実施前の段階からリサーチデザインを検討した。本章では、そのリサーチデザインについて詳細に説明した。第 3.1 節では本研究の範囲、第 3.2 節では研究設問、第 3.3 節では明晰化を検討する方法、いわば研究方法を順に紹介する。

3.1 本研究の範囲

第 2 章で説明したように、通訳・翻訳プロセスには通訳形態、現場の状況、通訳者の能力、通訳者の経験など数多くの要素が関わっている。一つの研究では、すべての要素を対象に考察することができない。本研究で、事例として検討されているのはベトナム語-日本語の通訳・翻訳であるため、この二言語間の通訳・翻訳の現場の実情を踏まえ、研究対象や範囲を決めるのが妥当であると判断した。

ベトナムの経済成長に伴い、ベトナムへ進出・投資する日系企業も激増している。日本とベトナムの関係は全面的に良好に進行しているが、やはり最も著しい進展を見せているのは経済の分野である。従って、日本語-ベトナム語の通訳が多く求められるのは、商談の場面であり、翻訳に関しても、経済関係の書類・資料の翻訳依頼が一番大きな割合を占めているのではないかと思われる。

日本語-ベトナム語の通訳・翻訳の研究がまだ少ない中では、出現頻度が高い通訳・翻訳場面を研究対象にしたほうが実用可能性が高いということから、本研究では考察の場面としてビジネス場面を選んだ。

また、通訳形態のうち、同時通訳、逐次通訳、ウィスパリング通訳など多くの種類があるが、最も依頼頻度が高いのは、逐次通訳であるため、本研究では、逐次通訳を考察の対象に決めた。

本研究で検討する明晰化ストラテジーの活用は訳出形態・場面に大きく左右される。具体的には、医療や法律といった分野では、忠実に伝達することが求められており、明晰化ストラテジーの活用に大きな制約が掛かっている。それに対して、コミュニティ通訳やビジネス通訳・翻訳、パンフレット・小説の翻訳等の場合は、意思疎通のためには言語のギャップのみならず、背景知識・文化のギャップも埋める

必要があるため、明晰化ストラテジーが大きな役割を果たしていると考えられる。研究範囲の決め方によって、考察の結果が大きく変わる可能性があるので、本研究では以上で説明したように、明晰化ストラテジーの活用の余裕があるビジネス場面に絞って、その場面ベースの通訳・翻訳に研究対象を留めることにした。

3.2 研究設問

第2章で通訳・翻訳プロセスを提案した。本研究の後半では、実際の日本語-ベトナム語の通訳・翻訳データを考察し、筆者自身が提案した通訳・翻訳プロセスを検証したい。この目的に応じて、以下のように研究設問を設ける。

1. 明晰化ストラテジーは日本語-ベトナム語の通訳・翻訳プロセスにおいて発生する可能性がある問題に対処するストラテジーとして活用されているか。どのようなストラテジーが見られるか。
2. 明晰化ストラテジーの活用は訳出者 (a)、訳出方向 (b)、訳出形態 (c)によって、どのように異なるか。類似点はないか。
3. 明晰化ストラテジーの活用のあり方によって、通訳・翻訳プロセスの最終的な目標であるコミュニケーション目標達成がどのように影響されるか。

これらの研究設問を明らかにするためにどのような研究方法を採るかは、3.3 節において説明していきたい。

3.3 明晰化を検討するための方法

本節では、まず、明晰化を検討する材料としての通訳・翻訳データをどのように収集するか、そのデータの信頼性がどうであるかについて説明する。また、明晰化の活用を左右する要素を客観的に調べるために、本研究では、被験者に対する意識調査を行うが、この意識調査の目的・実施方法についても本節で紹介する。最後に、前章でも触れたが、明晰化ストラテジーの効果は過去の研究でまだ十分に注目されていない側面である。本研究では過去の研究に不足している部分を補うべく、明晰化ストラテジーの効果を調査することにした。その調査の概要は本節の最後で解説していく。

3.3.1 通訳データを収集するための実験の概要

ベトナム語－日本語の双方向通訳における明晰化ストラテジーの実態を調査するためには、通訳データの分析が必要となるが、分析に最も理想的なデータというのは実際に行われたぶっつけ本番の通訳データであることに間違いない。しかし、このようなデータの使用許可を取得するのはほぼ不可能であることも現実である。そのため、本研究では、筆者はなるべく本番に近い通訳のビジネス場面を設定し、シミュレーションという形で通訳のデータを収集した。以下、3.3.1.1 節～3.3.1.4 節まで、被験者、実験手順、場面設定およびデータの信頼性について説明していく。

3.3.1.1 被験者

実験概要として、1名の日本人と1名のベトナム人が予め設定された場面で会話をし、その2人の間のコミュニケーションを双方向通訳する1名のベトナム人の通訳者を置いた。データ収集に協力してくれたのは、6名の通訳者と2名の参加者（会話者役を演じた1名のベトナム人（男性・20代後半）と1名の日本人（女性・60代前半））である。通訳者はいずれも経験者（女性・20代後半～40代前半）であり、3年以上通訳の経験を有する通訳者である。一つのデータの時間量は20分前後であった。また、このデータは2011年8月、ベトナムのハノイ市で収集されたものである。以下の図6は実験概要を表すものであり、表1と表2は通訳者の役を演じた協力者（本研究では「通訳者」と称する）及び会話者役を演じた協力者（本研究では「参加者」と称する）の詳細を示す。

本データの収集にあたり、日本人の通訳者・翻訳者にも依頼する予定であったが、実際に探してみたところ、ベトナム語が堪能な日本人は非常に少ないほか、ベトナム語が出来る日本人でも、通訳・翻訳の仕事に従事する人が殆どいないという事情があったため、ベトナム人の被験者だけに絞り、日本語－ベトナム語の双方向の訳出に対応するように依頼した。

また、サンプル数が6件だけでは少なすぎるという考え方があるかもしれないが、意識調査等を行い、分析結果の背景を深く掘り下げて豊かな質的分析を実施するためには、これぐらいのサンプル数が最適であると筆者は判断した。

以下は、実験や通訳者の詳細をイメージ化した図と表である。

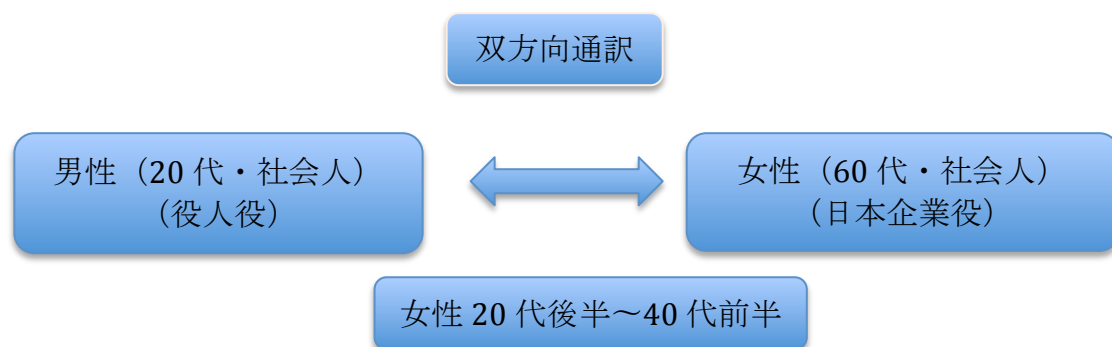


図6. 通訳を介してのベトナム人と日本人間の会話

表 1 通訳者の詳細

話者記号	年齢	性別	特徴	通訳データの 時間量
通訳者 01 (VJI01-JVI01)	41 歳	女性	3 年以上の通 訳経験あり	17 分 54 秒
通訳者 02(VJI02-JVI02)	30 歳	女性	同上	18 分 35 秒
通訳者 03(VJI03-JVI03)	35 歳	女性	同上	23 分 32 秒
通訳者 04(VJI04-JVI04)	31 歳	女性	同上	16 分 04 秒
通訳者 05(VJI05-JVI05)	34 歳	女性	同上	27 分 20 秒
通訳者 06(VJI06-JVI06)	28 歳	女性	同上	31 分 08 秒

※ VJI: ベトナム語から日本語への通訳方向 JVI: 日本語からベトナム語への通訳方向

ベトナム人と日本人の参加者に提供した参考資料は6回にわたり、同じものであり、毎回のデータ収録において大体同じ内容を発話するように依頼したが、通訳者の情報処理能力、伝達能力などにより、伝達内容があまり分からない場合、聞き手は再度質問し、確認することがある。また、通訳者の瞬発力・表現の簡潔さ等に差があるために、殆ど同じ内容であっても、情報処理・伝達にかかる時間に相当な差がある。そのため、6件のデータはそれぞれ時間量が異なっている。

表 2 参加者の詳細

話者記号	人数	年齢	性別	特性
話者 (VN)	1	20 代	男性	日本語がほとんど分からない。社会人の経験あり
話者 (JP)	1	60 代	女性	ベトナム語が分からない。社会人の経験あり

3.3.1.2 場面設定

専門用語の出現が多い場面設定では、被験者への依頼が難しくなるほか、専門用語の解釈だけに時間がかかってしまい、情報処理プロセスと訳出プロセスに集中できなくなってしまうため、一般的なコミュニケーションに近い、通訳を要する会議場面が最適であると判断した。また、ベトナムに進出する日系企業の増加に伴い、投資・経営活動を管轄する政府機関訪問時の通訳を求められることが少なくないことから、本研究では、以下の場面を設定した。

会話の登場人物：

- ベトナム投資計画省の職員（記号：話者 VN「会話番号」）
- 日系企業の代表者（記号：話者 JP「会話番号」）
- ベトナム人の通訳者（同一人であるが、方向別に異なる記号を用いる。日本語→ベトナム語方向（以下、表・図では日越方向と称する）：通訳 JV「会話番号」、ベトナム語→日本語方向（以下、表・図では越日方向と称する）：通訳 VJ「会話番号」

会話の目的：ベトナム投資計画省がベトナムの投資環境に関するセミナーを開催することになった。そのセミナーで、ベトナムに進出し成功した日系企業にプレゼンテーションを依頼したい。

設定場面：ベトナム投資計画省の職員（セミナー開催側の担当者）と日系企業の代表者（プレゼンテーションを依頼される日系企業の代表者）との短い打ち合わせ。

打ち合わせは投資計画省の会議室で行われる。

投資計画省側はベトナム語で、日系企業の代表者側は日本語で話す。

その間に一人の通訳者が入って、双方向の通訳をする。

3.3.1.3 実験手順

データ収集を行う 3 日前に、参加者に場面内容を説明した。ベトナム人役の参加者に対し、その場で話す必要がある内容を説明し、相手の質問やコメントに適宜に対応するよう指示した。相手に話す内容は必ずしも筆者が提供した場面説明内容と完全に合っていなくても良いことも注意し、なるべく自然に会話するように依頼した。日本人役の参加者に対しても、場面内容の概要は説明したが、ベトナム人の相手が何を話すかについては知らせなかった。ベトナム人の相手から説明される内容について、よく分からないこと、または通訳が上手に訳してくれなかったためにあ

まり理解できないことがあれば、その場ですぐ質問したり、確認したりするよう依頼した。通常の場合は、通訳依頼側が通訳者に対し、事前に関連資料を提供しておくことが多いが、本研究で設定された場面はビジネス会議とはいえ、難しい専門用語が一切使われていないほか、出席者数が多い会議ではなく、二人だけの打ち合わせであるため、ベテランの通訳者なら殆ど何も準備しなくても、対応可能であると筆者は判断した。一方、あまり準備しない状態で、通訳者がどのようなストラテジーを活用し、対応するかを見たいという意図もある。そのために、筆者は通訳者に対しては、依頼する通訳場面が会議の逐次通訳であり、会議参加者の場面における役割についての情報以外、事前に何も説明しなかった。

データ収集の当日、シミュレーションを始める前に、参加者・通訳者にフェイスシートの記入とデータ公開合意書への署名を依頼した。その上で、予定通りにシミュレーションを開始した。このデータは録音・録画した。録音・録画終了時に、参加者と通訳者にフォローアップインタビューを行った。以下は参加者と通訳者にインタビューした質問である。

表 3 フォローアップインタビューの質問

インタビュイー	質問事項
参加者	① 会話するときに、録音が気になったか。
	② 通訳者が起点テキストより長く説明するなど情報を明示的に伝えようとしたと思わないか。
	③ クライアントとして通訳者に何を求めるか。
通訳者	① 通訳するときに、録音・録画が気になったか。
	② 実際の現場で通訳しているように通訳しているか。

参加者の質問事項①と通訳者向けの質問事項②と③は 4 段階評定による回答を依頼した (a. とても b. 普通 c. あまり d. 全然)。ほかの質問事項については自由に意見を述べるという形で行った。なお、すべての質問への返答は口頭で行い、録音した。

3.3.1.4 データの信頼性

データ収集後に行われたフォローアップインタビューによって、会話の自然さを確認することができた。会話協力者及び通訳者は、「会話（通訳）するとき、録音が気になったか」という質問に対し、「とても」「普通」「あまり」「全然」とい

う 4 つの選択から、36%が「普通」を選び、64%が「あまり」と回答した。この結果から、録音作業がデータ収集協力者の心理状態に大きく影響していないことが分かった。したがって、本研究で収集したデータは比較的自然的なものであるといえよう。また、通訳者に対し、「実際の現場で通訳しているように通訳したか」という質問項目を設け、4 段階評価（「とても」、「普通」、「あまり」、「全然」）で回答を依頼したところ、92%が「とても」、8%が「普通」という回答を選んだ。この結果から、通訳者は実際の状況とほぼ同じ態度で通訳に臨んだことが分かった。そのため、収集した通訳データは実際に行われた通訳のデータほどではないが、ある程度自然さが確保されたデータであり、通訳能力、通訳上の特徴等を反映するデータとして見てもよいという結果から、本研究の使用に足りるデータであるとの結論を出した。

3.3.2 翻訳データを収集するための実験の概要

本研究では、ベトナム語-日本語の通訳と翻訳における明晰化ストラテジーの比較を行うため、第 1 節で説明した通訳データと同類の翻訳データを収集する必要がある。

以上の条件を考慮した上で、筆者は翻訳データも通訳データと同様、ビジネス関係で技術的な専門用語がたくさん現れないような場面に設定した。そして、通訳データには、日本語-ベトナム語の通訳方向、ベトナム語-日本語の通訳方向があることから、翻訳データにもこの両方向のデータを用意した。そのため、筆者は以上の場面に即した日本語原文とベトナム語原文の両者を用意した。以下の 3.3.2.1 節～3.3.2.4 節まで、翻訳データの収集に協力する被験者、実験手順、翻訳用素材データ及びこのデータの信頼性について説明していく。

3.3.2.1 被験者

明晰化の活用の違いが訳出形態（翻訳または通訳）によるかどうかを判定できるように、明晰化の活用、いわゆる従属変数に影響を及ぼし得る要素（独立変数）を制限しなければならない。すなわち、この場合においては、訳出形態以外の要素をすべて除くべきであると考えられる。明晰化の活用が異なるのは、訳出した人が違うという可能性を取り除くために、可能な限り通訳データと翻訳データを提供する人物が同一であることを確保すべきである。この理由のために、筆者は翻訳データの収集にも、通訳データ収集に協力した通訳者に依頼することにした。当然、訳出業界では通訳はできるが翻訳ができないという場合もあるので、依頼する前に被

験者に翻訳経験について調べておいた。その結果、通訳データ収集に協力した 6 名の通訳者とも通訳経験と同様な翻訳経験年数を経ていることが分かった。従って、本研究では、翻訳データ収集の被験者も通訳データ収集の被験者と同一に設定したため、詳細については「通訳者の詳細」(p.65) を参照されたい。

3.3.2.2 実験手順

通訳データの収集と比べると、翻訳データ収集の実験の手続きは比較的簡略であった。筆者はすでに用意した素材（日本語原文とベトナム語原文）を被験者に送り、翻訳を依頼した。被験者に提供する情報は一つもなかった。被験者から翻訳データを受け取った後に、データ公開合意書への署名を依頼した。

3.3.2.3 翻訳用素材データ

以上で説明したように、翻訳データは通訳データの特性に合わせて収集した。そのため、翻訳データもビジネス関係のものであり、技術的な専門用語が多く現れないものにした。しかし、その一方で通訳データ収集のために用意された話題では比喩的な表現、難しい言い回し（すなわち、話し手・書き手の文化では非常に馴染みのある言い回しではあるが、聞き手・読み手の文化では対応する言い回しがないような場合）、文化・社会知識のギャップによって理解が難しい概念がほとんど出ていないため、そのような場合の訳出者の対応、いわば明晰化の活用を観察することができなかった。通訳データのみでは見極められない明晰化を翻訳データで発見するため、筆者は意図的に比喩的な表現、難しい言い回し、文化・社会知識のギャップによって理解が難しい概念が現れている翻訳用素材を用意した。しかし、改めて繰り返すが、この素材はビジネス関係で専門用語がほとんど使われていない点で、通訳データと類似しており、通訳データとの比較に相応しいものであると判断する。

一方、翻訳用素材として使えるために、その素材の所有者に承諾を取得する必要がある。筆者はいくつかの素材の候補をまず選び、承諾を取得しやすい順位を判断し、手続き的に行いやすいものから申請手続きを進めた。使用する予定の日本語とベトナム語の素材はいずれも大きな会社のものであるが、幸いなことに使用承諾を順調に取得することができた。また、今回データ使用承諾を得られた日本語素材とベトナム語素材はいずれも生命保険の分野に関するものである。内容に関しては違いが明らかにあるが、会社のことをアピールするという点においては同じであるので、翻訳双方向の比較には相応しいデータであると判断した。以下に日本語素材とベトナム語素材を提示しておく。

合い言葉は「あなたの未来を強くする」

「未来」をより確かなものにするために。

私たち●●（会社名）は、一人でも多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えていきます。

私たちは、単に生命保険商品を販売することだけを目指しているわけではありません。

生命保険でお客様の悲しみを癒すことはできません。

しかし「悲しみと共に貧しさが訪れないようにすることはできる」

生命保険の価値・本質は、この言葉に表されています。

ご家族に経済的な負担をかけずに、それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたものなのです。

私たち●●（会社名）の合い言葉は「あなたの未来を強くする」

そして、それを実現していけるのは●●（会社名）ライフデザイナーにほかなりません。

お客様にとって、共に「未来」を考えてくれる存在、安心と信頼の絆を繋ぐのが●●（会社名）ライフデザイナーなのです。

確かな未来は、あなたが支えていく未来。

一人でも多くのお客様の明るい「未来」のため、そしてあなた自信の輝く「未来」のため、さあ、私たちと一緒に、明日への扉を開けてみませんか？

「●●（会社名）ライフデザイナー」インタビュー

トレーナー●●●（個人名）

目標となる素敵な女性がたくさんいます。

●●（会社名）に入社する前に、契約社員として約 2 年間働いていました。その職場に顔を出されていた●●の方が、真面目でとても感じが良かったんです。使命感をもって仕事をしている姿勢が素敵で、仲良くさせて頂くようになったんです。

●●（会社名）を知るうちに、商品の良さや、それをたくさんの人に伝えられる仕事の内容、更に仕事をしながら資格を取ったり、自分自身が向上していけるという

点に惹かれるようになりました。

実際働き出してから、達成感のある仕事だということを実感することが多いです。数字上のことだけではなく、お客様と通じ合えた瞬間の充実感は、他の仕事ではなかなか味わえない喜びだと思います。こんな風に女性が活躍できる職場はまだ少ないと思いますし、目標となる素敵な女性がたくさんいらっしゃるの、トレーナーとして新人育成に携わる今は、自分自身も前向きに頑張って私らしく輝けたら、と思っています。

ベトナム語→日本語方向の翻訳データ収集用の素材

●● (Tên công ty): NIỀM TIN VIỆT - CHUNG TAY HƯỚNG VỀ BIỂN ĐẢO QUÊ HƯƠNG

Với tinh thần hướng về biển đảo quê hương, ngày 09/07/2014, tập đoàn ●● (Tên công ty) đã phát động chương trình quyên góp: Niềm tin Việt – Chung tay hướng về biển đảo quê hương nhằm khơi dậy lòng yêu nước, niềm tự hào dân tộc, hướng về biển đảo thân yêu trong mỗi cán bộ ●● (Tên công ty). Đồng thời, chương trình cũng là một hoạt động ý nghĩa hướng tới kỉ niệm 50 năm thành lập ●● (Tên công ty), là lời tri ân của doanh nghiệp đáp lại sự tin tưởng của khách hàng và cộng đồng cũng như thể hiện trách nhiệm xã hội của doanh nghiệp.

Chương trình đã thu hút sự tham gia của hơn 300 cán bộ, đại diện cho hơn 60.000 cán bộ, tư vấn viên trên toàn hệ thống ●● (Tên công ty) bao gồm Công ty Mẹ và 6 Đơn vị thành viên cùng những trái tim yêu nước khác, thu về gần 1 tỷ VND để ủng hộ cho các hoạt động hướng về biển đảo quê hương như tặng quà cán bộ chiến sỹ và nhân dân trên đảo, hỗ trợ lực lượng cảnh sát biển, kiểm ngư, hội nghề cá ...phát triển kinh tế - xã hội – an ninh quốc phòng.

Tại buổi lễ, những người tham gia chương trình đã chụp ảnh với lá Quốc kỳ ngay tại trụ sở chính của tập đoàn ●● (Tên công ty). Hoạt động này nằm trong chương trình “Niềm tin Việt” mà Tập đoàn ●● (Tên công ty) đang đồng hành và lan toả trên toàn quốc. Từ ảnh chụp của mỗi người, một tấm bản đồ Việt nam ghép lại từ hình ảnh của hàng nghìn người đứng dưới lá cờ đỏ sao vàng sẽ dần được hoàn thiện.

Tại lễ phát động, ông ●● (Tên người) - Tổng Giám đốc Tập đoàn ●● (Tên công ty) chia sẻ: “Chương trình là cơ hội để mỗi cán bộ nhân viên ●● (Tên công ty) thể hiện niềm tin và tình

yêu đối với quê hương đất nước. Thông qua những hành động nhỏ mà ý nghĩa ngày hôm nay, chúng tôi hy vọng sẽ tiếp thêm sức mạnh và ý chí kiên cường cho đồng bào và các chiến sỹ nơi đảo xa trong công cuộc xây dựng và bảo vệ đất nước”.

Trong khuôn khổ chương trình “●● (Tên công ty): Niềm tin Việt - Chung tay hướng về biển đảo quê hương”, Tập đoàn ●● (Tên công ty) cũng đã công bố và trao giải cuộc thi vẽ tranh “Niềm tin chắp cánh ước mơ”. Đây là cuộc thi dành cho con em cán bộ nhân viên ●● (Tên công ty), khuyến khích các bé nói lên ước mơ của mình, thể hiện niềm tin của cha mẹ gửi gắm vào thế hệ tương lai của đất nước. Dưới nét vẽ ngây thơ của các em, rất nhiều bức tranh tham dự đã bộc lộ tình yêu với quê hương đất nước, thể hiện ước mơ hòa bình và niềm tin vào tương lai.

Từ nay đến năm 2015, Tập đoàn ●● (Tên công ty) dự kiến sẽ dành nguồn kinh phí khoảng 4 tỷ đồng để tiếp tục triển khai các hoạt động hỗ trợ vùng biển đảo. ●● (Tên công ty) mong muốn sự đóng góp này sẽ mang lại sự động viên kịp thời và hiệu quả đối với những cán bộ chiến sỹ đang ngày đêm canh giữ và bảo vệ vùng biển của Tổ quốc.

(参考のための和訳(直訳版)。可能な限り、大きな情報処理を行わない直訳であるため、不自然な表現・分かりづらい箇所があることを断っておきたい)

●●(会社名) ベトナムビリーフ-母国の海島に向けて力を合わせる

故郷の海島へ向かう気持ちで、2014年7月9日に、(会社名)グループは●●(会社名)の職員ごとの愛国心、民族への誇り、親愛なる海島へ?(原文にはあるべきの補語がなかった) を呼び起こすために、「ベトナムのビリーフ-母国の海島に向かって力を合わせる」という寄付プログラムを発足させた。また、プログラムも●●(会社名)社設立50周年記念に向けての有意義な活動の一つであり、顧客及びコミュニティの信頼に対する感謝の言葉であり、且つ企業の社会的な責任を表す。

プログラムは親会社並びに子会社の6社を含む全システムにおける60,000人の従業員、営業職員の代表となる300人あまりの方々及びその他の愛国心のご参加を頂き、海島の住民及び兵士に贈り物を送ったり、海上警察、漁業監督官、漁業業界等を支援したり、経済・社会・国防安全を発展させたりするなどのような、母国の海

島に向けての活動を応援するために約 1 ビリオンベトナムドンを集めることができた。

式典では、プログラム参加者は●●グループ本社において国旗とともに写真撮影を行った。この活動は●●グループが共に歩んでおり、かつ全国に広がっている「ベトナムのビリーフ」プログラムの枠内にある。一人ずつの写真、いわば金星紅旗の下に立っている数千人もの写真から組み合わされるベトナムの地図が完成されていく。

発足式において、●●（会社名）グループの●●社長は「プログラムは●●（会社名）の従業員の一員ずつが母国と古里に対するビリーフと愛を表す機会である。些細ながら有意義な本日の行動を通じて、我々は国の建設・保護事業における遠い島の同胞及び兵士に対し、パワーと堅固な意志を与えることを期待している」と語る。

「ベトナムビリーフ・母国の海島に向けて力を合わせる」というプログラムの中で、●●グループ（会社名）は「夢を羽ばたかせる」という絵画コンテストを発表し、授賞式を行った。これは●●（会社名）の従業員の子供たち向けのコンテストであり、子供たちが自分の夢を語るのを励まし、国の将来の世代に対する親のビリーフを表す。子供たちの純粋な画線でコンテストに出された多くの絵は母国への愛情、平和の夢、将来へのビリーフを表した。

今から2015年に向けて、●●グループ（会社名）は海島地域応援活動を引き続き展開するために、40億ドン相当の予算をかけることを予定する。●●（会社名）はこの貢献が昼夜を問わず母国の領海を守っている兵士に対して適時かつ効果的な励ましを与えることを期待している。

3.3.2.4 データの信頼性

翻訳データを収集した後に、フォローアップインタビュー によって、翻訳データの信頼性を確認した。翻訳者に対して 以下の質問への回答を依頼した。

- ① 依頼されたデータを翻訳した際に、緊張したか。（はい、いいえ）
- ② 真剣に翻訳作業を行ったか。（はい、いいえ）
- ③ データを翻訳している際に、気になったことはあるか。（ある、ない。「ある」と選択した場合は、具体的にどんなことに気になったのか、教えて下さい）

調査の結果、翻訳者全員は緊張せずに、真剣に翻訳作業を行ったと回答した。翻訳している際に特に気になったことがあると回答した人は一人もいなかった。この結果から、本研究で収集した翻訳データは分析・考察するのに信頼性が足りるものとして判断できる。

3.3.3 意識調査

3.3.3.1 意識調査の目的

意識調査を行うのは、ベトナム語-日本語の通訳・翻訳プロセスにおける明晰化ストラテジーの活用傾向に影響し得る要因を検討するためである。

3.3.3.2 意識調査の対象

筆者は自らの通訳・翻訳者としての経験及び先行研究を踏まえて、部分的に要因を考察することが可能ではあるが、客観的な結果を導くためには、本研究の被験者である通訳者・翻訳者全員に調査するのが最適な考察方法ではないかと考える。

3.3.3.3 意識調査の実施方法

意識調査はインタビューで実施する。1対1という形で筆者が被験者にインタビューを行う。インタビューを始める前に、被験者の通訳・翻訳経験年数や直近1年間の実績（週に何日通訳業務をやるのか、翻訳業務は常に行っているか）についてヒアリングする。続いて、本研究の対象・目的について説明しておく。次に、被験者に明晰化ストラテジーとは何かについて理解度と認識の度合いを確認した上で、本研究で扱う明晰化ストラテジーの定義を具体例によって説明する。一つのインタビューの時間は約1時間程度と予定した。

収集済みの通訳データと翻訳データでは、数多くの明晰化ストラテジーが使われたため、すべての明晰化ストラテジーについて調査することは到底不可能である。そのため、筆者は被験者の4名以上が共通して活用していた明晰化ストラテジーを抽出して、その明晰化を活用した被験者にはこの明晰化を使った理由を、活用しなかった被験者には使わなかった理由をヒアリングする。また、2名以下の被験者しか活用せず、データを見ただけでは正しく理由を判断することが難しい明晰化ストラテジーの活用個所についても、被験者に確認する。活用した、あるいは活用しなかった理由を確認する際、それは意識的な情報処理・訳出行為であるか、無意識のうちにを行った行為であるか、本人が活用した明晰化ストラテジーを今にして自分で

振り返ってみて、本当に必要か、効果があったと思うかどうかについて確認する。最後に、被験者に明晰化ストラテジーの役割についてどう思うか、感想をヒアリングする。

なお、通訳・翻訳データの収録は随分前に行われたことであり、被験者が曖昧な記憶しか残っていないと訴える可能性もある。そのために、インタビューを実施する前に、被験者に通訳データ（音声データと文字化データ）及び翻訳データを提供し、十分な時間を与え、じっくり見直すように依頼する。通訳場面、文字化データにおける記号などについて質問がある被験者に対し、出来るだけ丁寧に対応する。ヒアリング中、被験者がはっきり回答できない場合は、同じ意味だが、違う質問の仕方をするように工夫する。

インタビューに用いる質問を以下の表でまとめる。

表 4 インタビューの質問事項

順次	質問事項
1	どうしてここでこのように訳したのか理由を説明して下さい。
2	同じ原稿では他の通訳者/翻訳者の皆さんはここでこのように訳していますが、●●さんだけは、そのように情報の処理・訳出を行っていないのはなぜですか。
3	ここでこのように情報を処理して、訳出するのは必要であり、良い効果があると思いますか。
4	ここでは、このように情報を明示したり、構文を変更したりしなければならない理由があると意識して、その工夫を行いましたか。または、深く考えずにこのように訳出したのですか。
5	今回の調査を通じて、明晰化ストラテジーの役割についてどう思うか教えて下さい。

3.3.4 明晰化ストラテジーの効果の調査

明晰化は通訳・翻訳において、非常に普遍的なストラテジーであるが、通訳・翻訳業界に関係のない人は勿論、通訳者・翻訳者にもこのストラテジーの存在を意識している人が多いわけではない。本研究の主な目的は通訳・翻訳プロセスモデルを提案することであるが、このプロセスにおいて明晰化が不可欠な役割をしていると考えるため、プロセスモデルを検討する際のこのストラテジーの存在価値を合わせて検証・実証したいと考えている。そのためには、このストラテジーの活用傾向を

明らかにするだけでは足りず、実際の効果についても評価する必要があると思われる。以下、明晰化の効果を評価するための調査方法とこの調査方法によって得られる調査結果の信頼性について説明していく。

3.3.4.1 調査方法

明晰化ストラテジーの効果はアンケート調査の結果をもとに考察する。アンケート調査の対象は全部で 60 名であるが、3 つのグループに分かれている。ベトナム語が分からない日本人（グループ A）、日本語が分からないベトナム人（グループ B）、日本語とベトナム語はどちらも分かるベトナム人（グループ C）という三つのグループであり、協力者の数に関しては 20 名ずつとした。

グループ A を対象にするアンケート用紙では、原文やベトナム語原文に対する日本語直訳や本研究の被験者による翻訳文を提示する。グループ B では、原文や日本語原文に対するベトナム語直訳や本研究の被験者による翻訳文を提示する。グループ C は、B と同様に原文や訳文を提示するが、直訳文は基本的には提示しない。なお、複雑な原文だけは参考のため直訳文を提示する。

評価は 5 段階評価の形を採用し、通訳者・翻訳者の伝達内容・表現・分かりやすさ等に対する総合的な評価を依頼する。評価度が高いほど、高い点数になるという原則になっている。

それぞれのグループ対象に対するアンケート用紙は資料集を参照されたい。

3.3.4.2 調査結果の信頼性

評価は定性的な作業であり、簡単に行えるものではない。研究者自身が評価を行うこともできるが、このような評価方法は主観的過ぎて、信頼性が足りないと思われるがちである。それで、本研究では、評価結果の信頼性を高めるために、筆者自身による評価を行わずに、第 3 節に説明していたアンケート調査という形でこの作業を行うことにした。4.1 節にも説明があったように、評価調査協力者の数は 60 名もあり、且つ違う立場を持っている協力者であるため、様々な角度から客観的に本研究で観察できた明晰化ストラテジーの効果について評価できるのではないかとと思われる。

以上のように、本研究では厳密な形でデータを収録し、且つ出来る限り信頼性の高い方法で追加の調査（インタビュー調査、アンケート調査）を行った。このよう

な方法によりどんな結果が得られるか、研究設問への回答に繋がるかどうかについては、第4章で検証していきたい。

第 4 章

全データで観察できた明晰化ストラテジーの概観

全データ分析結果と結果の信頼性

本稿では、第 1 章から第 3 章にかけて、研究の背景・意義・目的及び研究方法・先行研究レビューなど理論的な部分を説明した。本章から第 8 章の 5 章にわたり、分析・考察の結果を中心に解説した。まず、本章では、本研究で観察できた明晰化ストラテジーの一覧を提示した上で、明晰化ストラテジーごとの定義を解説し、最後に総合分析結果及びデータ分析結果の信頼性について説明した。

4.1 全データで観察できた明晰化ストラテジーの一覧

本研究で収集した通訳と翻訳データを分析すると、以下のような明晰化ストラテジーを観察することができた。本節では全ストラテジーの一覧を提示するが、中には通訳や翻訳に共通に現れたストラテジーもあれば、片方のみに現れたものもある。その上で、更に第 2 節では、ストラテジーごとの定義を示し、具体例を用いて解説していく。また、こちらで列挙する明晰化ストラテジーは図 5 (p.31) に合わせて見ると、最下位レベルの分類になっている。上位クラスとしては、「意味明確化のための明晰化」と「目標テキストの自然さ確保のための明晰化」がある。更に上位に行くと、「義務的な明晰化」と「任意的な明晰化」があり、最上位のクラスでは、「文法レベル」「語彙レベル」「談話レベル」がある。これは絶対的な所属関係（親子関係）ではなく、一つの明晰化ストラテジーはある場面で「意味明確化のための明晰化」のグループに属すると認定されたら、場面が変わる時でも所属クラスが同じであるとは限らない。同様に、「意味明確化のための明晰化」は場合によって「任意的な明晰化」か「義務的な明晰化」になる。例えば、「主体の明示化」という明晰化ストラテジーは本研究の多くの場合には、「義務的な明晰化」としての性質が認められたが、そうではなく「任意的な明晰化」として認定された場面もあった。

表 5 全データで観察できた明晰化ストラテジーの一覧

順次	明晰化ストラテジー名	通訳データ	翻訳データ
1	主体の明示化	○	○
2	前置き表現の活用	○	×
3	原文の構成変更	○	○
4	反復	○	×
5	性別の明示化	○	○
6	指示語の意味明確化	○	○
7	指示語の付加	○	○
8	暗示された情報の復元	○	○
9	程度副詞の付加	○	○
10	説明の追加	○	○
11	複数の類義語の活用	○	×
12	接続詞の付加	○	×
13	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○
14	テンス・アスペクトの変換・具体化	×	○
15	原文の不自然さに対する処理	○	○
16	形式名詞の具体化	×	○
17	英語(表記)の併用による誤解防止	○	○

なお、ストラテジーの認定に関しては、以下のような注意事項を踏まえながら、認定を行った。

第一に、「主体の明示化」はある意味では、「暗示された情報の復元」と見られるが、日本語-ベトナム語の言語の相違による特殊なストラテジーとして位置付けたため、本研究では、「暗示された情報の復元」とは別のストラテジーとして認定する。

第二に、「固有名詞の明示化」は通訳・翻訳において比較的普遍的なストラテジーではあるが、混乱を避けるために、本研究では、「語彙レベル」での「説明の追加」として認定する。また、「説明の追加」には部分的な説明の追加と全体的な説明の追加がみられる。全体的な説明の追加の場合は、その追加された説明において、

「主体の明示化」、「前置き表現の活用」などのほかのストラテジーも含まれる可能性が高い。この場合は、「説明の追加」だけを認定する。なお、ある語彙に対する部分的な説明を追加する訳文の場合は、この扱いを取らない。

第三に、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」と「説明の追加」は異なるストラテジーとして認定される。「説明の追加」とは、原文にない情報を加えることである一方で、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」とは原文にある情報であるが、目標言語に対応する表現がないため、それに代わる（場合によって、冗長である）説明を加えたり、読み手・聞き手にとって理解の負担を減らせるような表現を工夫したりする場合である。

第四に、「説明の追加」により「原文の構成変更」を伴う場合もあるが、本研究では、異なるストラテジーとして認定する。「説明の追加」は、ない情報を加えたり、冗長に説明したりすることであるのに対し、「原文の構成変更」は情報を加えずに、原文の語順を変えたり、原文を小分けしたり文を整理し、簡潔な文にまとめる方策のことである。

第五に、「程度副詞の付加」と「接続詞の付加」、「指示語の付加」は原文に明示されない情報を加えるという点では、「説明の追加」に類似するが、これらのストラテジーが対処する問題及びストラテジーの効果は多くの場合において「説明の追加」と異なると想定される。例えば、「接続詞の付加」並びに「指示語の付加」は主に文章全体の結束性を高め、分かりやすさを増す効果があり、基本的には談話レベルの問題に対応するストラテジーとして見なされる。「程度副詞の付加」は特に新しい情報を加えるわけではなく、ある語彙を加えることにより文章の意味合いを強調するのに活用されることが多いストラテジーである。それに対して、「説明の追加」は説明的な情報を付加するストラテジーであり、「強調」や「結束性の向上」というよりも、むしろ相手に対する理解負担の軽減を目的に、訳出者の解釈や判断に基づき必要だと思われる情報を加える工夫である。このように、方法的には似ているところがあるが、性質的には相違点が数多くあるストラテジーであるために、本研究では異なるストラテジーとして扱うことにした。

第六に、「前置き表現の活用」は原文に既にあった情報を材料にしたストラテジーであり、何も新しい情報の要素を加える工夫ではないため、「説明の追加」と違うタイプの明晰化であることを断っておきたい。このストラテジーは、既にあった情報を前置きの表現で表すことにより、焦点を当てたい情報に聞き手の注目を集

めることが出来るほか、聞き手に新しい情報を聞くための心の準備をさせることもできる。

4.2 明晰化ストラテジーの定義や解説

この節では、4.1 節の表 5 に提示された明晰化ストラテジーの定義を取り上げ、具体例によって解説する。具体例の提示にあたり、基本的には通訳と翻訳データに見られたものを両方とも提示する。なお、片方の通訳形態にしか見られない場合は除外とする。また、本研究で提示した明晰化ストラテジーの性質（目標テキストの自然さの確保のため）/「意味明確化のため」、「語彙レベル」/「文法レベル」/「談話レベル」、「任意的」/「義務的」) についても、個別の各明晰化ストラテジーの説明にあたり、どの場合がどの性質に当てはまるかを合わせて解説する。

明晰化ストラテジーを本研究の通訳・翻訳データで観察することが出来た結果は、訳出プロセスにおいて様々な問題が発生し、それぞれの問題に応じて対応するストラテジーが活用されるだろうという仮説の実証に繋がっている。

4.2.1 主体の明示化

「主体の明示化」とは、起点テキストにおいて暗示的に示された主体を目標テキストにおいて明示的に表すストラテジーである。

例 1（被験者 2）

起点テキスト：使命感をもって仕事をしている姿勢が素敵で、仲良くさせて頂くようになったんです。

→(翻訳)：Tinh thần/làm việc/đầy trách nhiệm/ của/ chị/ rất/tuyệt vời/nên/tôi/ đã kết thân với chị/

(精神/ 仕事する/ 責任感がある/ の/彼女/とても/素敵/そのため/私/彼女/と仲良くした)

【彼女の責任感のある仕事ぶりがとても素敵で、私は彼女と仲良くしました】

例 1 の起点テキストでは、使命感を持って仕事しているのは誰か、誰が誰と仲良くするかは文脈から分かった情報であり、日本語の典型的な特徴として暗示的に示され、いわば省略された。しかし、ベトナム語では、こういった情報を暗示するのでは、文が文法的に成り立ちにくいほか、意味が曖昧な場合が多い。そのため、ここで翻訳者は「私」、「彼女」といった人称代名詞を加え、主体を明示的に説明す

るように心がけた。この場合の明晰化は、文法レベルで義務的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

例 2:

話者 JP05: はい、分かりました、はい。

通訳 JV05: *Vâng ạ/ tôi/ hiểu rồi.*

(はい/私/分かりました)

【はい、私は分かりました。】

例 2 では、話者 JP05 は「私」という主語を省略したが、通訳者 JV05 の訳では、「私」という主体が明示された。ベトナム語の訳で「私」の主体が省略されたままでは、非常に失礼な言い方になるため主語を補う必要がある。従って、この場合の明晰化は文法レベルであり、義務的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

4.2.2 前置き表現の活用

「前置き表現の活用」とは、これから送るメッセージの中心テーマについて相手の注目を引きつけるための明晰化ストラテジーである。「前置き表現の活用」は「強調」の働きを持つと言っても良い。Séguinot(1988)は、「原文のある要素に焦点を当てたり、強調したり、言葉を選択することによって、訳文の中でそれらの部分を際立たせる」ことも明示化であると主張している。一方、花岡(1999、2000)でも「強調」を明示化の一つのカテゴリーとして認めている。なお、本研究では、明晰化ストラテジーの活用レベルを特定するにあたり目的を軸に検討しているが、具体的な明晰化ストラテジーの認定の際には「機能」もしくは「働き」をもとに分類するのではなく、厳密に言えばその機能を果たすための「手段」または「形式」によって分類を行ったため、ストラテジーの名称は「強調」とせず、より具体的に手段を表す「前置き表現の活用」という名称にした。このように、「反復」も「強調」の機能を持つが、形態上「前置き表現の活用」と異なるため、「前置き」とは別のストラテジーとして認定する。

例 3 :

話者 VN01: *Mục đích/của/ cuộc họp/ ngày hôm nay/、 chúng ta/ sẽ/ bàn bạc/ chi tiết/ và/ cụ thể/ về/ nội dung/ của/ cuộc hội thảo/ sắp tới.*

(目的/の/会議/本日/、 私たち/未来テンス/打ち合わせる/詳細/そして/具体的/について/内容/の/セミナー/今度)

【本日の会議の目的、私たちが今度のセミナーの内容について詳しく、具体的に打ち合わせることです】

通訳 VJ01: で、本日の目的なんですけども、おー、今回今回のセミナーの...、セミナーについて詳細にお話したいと思います。

例3では、ベトナム語の起点テキストに「本日の会議の目的」の主題は強調されていないが、日本語に通訳された時に「～なんですけれども」というような前置きが置かれたことによって、文の主題が強調され、聞き手の注意を更に引くことが可能となったため、「前置き表現の活用」による明晰化として認定できると判断した。

ただし、確かにここの「～なんですけれども」は強調ではなく、無意識的に埋め草的なものとして述べられると解釈することも無理ではない。しかし、本論の第3章の2節に提示した定義のように、明晰化は意識的に使うものと無意識的なものがあり、通訳者の意図に関わらず情報伝達、いわば相手の理解を助ける機能があれば、明晰化として認定できる。前置きの機能について更に掘り下げてみると、陳(2007)では、「前置き表現の活用は何らかの配慮によって用いられ、主要な言語内容に先立つ」とされ、さらに「ディスコースにおいて、その次にくる主要な言語内容を導入するという機能が基本的な機能である」と定義されている。更に、陳は前置きについて「話し手が伝達しようとする内容を聞き手に予告して談話の方向性を示し、伝達効果を高める表現」として認め、「前置き」の「伝達性配慮型-話題提示」を示した。また、音声データを聞いた限りでは、通訳者はやや強めの発音で「～なんですけれども」と言っている。そのため、この場合の前置きは、陳(2007)が指摘した機能に当てはまると解釈できることから、本研究で明晰化として認定した。この場合の「前置き表現の活用」は談話レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。このストラテジーは本研究の限りでは、通訳の場合に限って活用されたものである。

4.2.3 原文の構成変更

「原文の構成変更」は長い文を幾つかの短い文に分けたり、文の種類や文の構成を変えたりすることにより、相手にとって聞き取りやすく、また、理解しやすくするストラテジーである。これは Olohan(2000)で既に言及されたストラテジーである。また、劉(2010)は、「原文における文が長い場合、その文の構造に沿って翻訳すると、不自然な日本語になりうるだけでなく、理解を妨げることも考えられる」と指摘し、原文の長文を分割するとともに、適切な接続詞を追加するストラテジーを明

示化と認めている。ミー (2016) の日越通訳に関する研究でも、同類の明示化ストラテジーについて分析があったが、より狭い範疇で検討しており、「長文の小分け」という名称が付けられている。本研究では、Olohan (2000) 及び 劉(2010)、ミー (2016) を参考にしながら、より広い意味で「原文の構成変更」を捉えた。

例 4 :

話者 VN01: Về/số lượng người/ tham dự/ thì/ trong/ cuộc hội thảo/ sắp tới đây/ sẽ/ có/ khoảng/ 200 người/ tham dự/、 bao gồm/ đại diện/ của/ các doanh nghiệp/ trong/ và/ ngoài nước/、 trong đó/ chủ yếu/ là/ các doanh nghiệp Nhật/ đã đang và sắp đầu tư/ vào/ Việt Nam/。
(について/人数/参加/ですが/において/セミナー/今後/未来テンス/ある/およそ/200 人/参加/、含む/代表者/の/各企業/内/と/外/国/、そのうち/主に/は/日本企業/既に投資した、投資している、これから投資する/へ/ベトナム。)

【今度のセミナーに参加する人数については、200 人ぐらい参加することになっており、国内外の各企業を含んで、その中でベトナムに既に投資している、または投資する予定がある日系企業がメインであります。】

通訳 VJ01: で、さんかん、参加者の人数なんですけども、およそ 200 人です。

話者 JP01: え、はい。

通訳 VJ01: ええと、っで、それで、日本の、おー、企業を中心としてベトナム国内、国外の企業、が参加することになりました。

この例では、話者 VN01 による原文は比較的長い（発話文の認定は BTSJ 文字化システムの発話文認定基準に則る）、通訳 VJ01 は日本語に訳した時には、聞き手にとって理解しやすく、メモしやすくなるように長い文を分割するという処理を行った。これは、聞き手にとって理解のしやすさを工夫する機能を持つ明示化ストラテジーとして認められる。また、この場合の明晰化は談話レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

例 5 (被験者 02)

起点テキスト : Ngày 09/07/2014/, tập đoàn (Tên công ty)/ đã/ phát động/ chương trình quyên góp/: Niềm tin/ Việt/ – Chung tay/ hướng về/ biển đảo/ quê hương/ nhằm/ khơi dậy/ lòng yêu nước/, niềm tự hào/ dân tộc/, hướng/ về/ biển đảo/ thân yêu/ trong/ mỗi cán bộ/ (Tên công ty)/.

(2014 年 7 月 9 日/グループ(社名)/過去テンス/呼び起こす/寄付プログラム/ビリーフ/ベトナム/手を合わせて/へ向かう/海島/母国/ため/呼び起こす/愛国心/誇り/民族/向かう/へ/海島/愛なる/中/従業員一員ずつ(社名)/)

【2014 年 7 月 9 日に、(会社名) グループは(会社名)の職員ごとの愛国心、民族への誇り、親愛なる海島へ? を呼び起こすために、「ベトナムのビリーフ - 母国の海島に向かって力を合せる」という寄付プログラムを発足させた。】

(翻訳) : 2014 年 7 月 9 日に グループ名は「ベトナムへの希望ーベトナム領海へ向けて手を合わせよう」という寄付プログラムを起こしました。目的は グループ名の従業員の愛国心、民族の誇り、島への愛着を喚起することです。

この例では、翻訳者は長い原文を二つに分割し、翻訳している。この工夫によってメッセージの分かりやすさが多少増したと見られる。この場合の明晰化は確かに伝達の効果を伴ったものではあるが、必ずしも行う必要があるとは限らないため、談話レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと認定した。

4.2.4 反復

「反復」とはある語、句を繰り返すことによって意味を強調するストラテジーである。この明晰化は「前置き表現の活用」と基本的には同様の機能を持つが、形式上異なるため、個別のストラテジーとして認定する。

例 6 :

話者 JP03 : そして、あの一、え一、私が発表する資料やパワーポイントの、ありますよね。そういうものは、え一と、事前に送ったほうがいいですね(ん) (ん) はい。

通訳 JV03 : Tức là/những/cái tài liệu/để/ bà ý/ phát biểu/ trong, tức là/ powerpoint/, tài liệu powerpoint/ thì có phần/, có cần phải/ gửi/ trước/ cho/ bên các anh/ không nhỉ?.

(つまり/複数形/ため/彼女/発表する/中/つまり/パワーポイント/パワーポイント資料/(どもった発音) /必要か? /送る/事前に/に/あなた達側/でしょうか?)

【つまり、彼女が発表するための資料、つまり パワーポイント、パワーポイント資料はあなた側に事前に送っておく必要がありますでしょうか。】

例 6 の通訳では、「パワーポイント」の情報は 2 回も繰り返されている。特に意図があるような反復ではない可能性もあるが、聞き手に対して強調するという効果を伴うかもしれない。この場合の明晰化は語彙レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

4.2.5 性別の明示化

「性別の明示化」とは、起点テキストにおいて明示されない性別の要素を目標テキストにおいて明示するストラテジーである。

例 7 : (被験者 1)

起点テキスト : その職場に顔を出されていた○○の方が、真面目でとても感じが良かったです。

→ (翻訳) : Chị /nhân viên/của/ công ty○○/đến/ chỗ tôi/ làm/ lúc đó/ là/ người/ rất/ chăm chi/ và/ dễ chịu/.

(性別 (女) を表す/職員/の/○○会社/へ/私のところ/働く/当時/は/人/とても/まじめ/と/感じのよい)

【そのときに、私の職場に顔を出した会社名の女性の職員はとても真面目で、感じが良い人です】

例 8 :

話者 JP05 : じゃ、チエンさんの、あの、チエンさんの電話番号とえと、メールアドレスを必ず私の先渡しした E メールアドレスに送って下さい。それだけです。

通訳 JV05 : (中略) Địa chỉ mail/và/ số điện thoại/ của/ anh/ Chiến/ thì/ xin/ phía Bộ kế hoạch và đầu tư/ hãy gửi/ (vâng) email/ cho/ tôi/ ạ/.

(メールアドレス/と/電話番号/の/男性を表す言葉/チエンさん/ですが/お願いします/投資計画省側/送って下さい/メールする/に/私/ (丁寧な態度を表す言葉))

例 7 と例 8 に現れた人物について訳した際に、訳出した人は性別を明示した。性別を明示するのがベトナム語の特徴である。なお、両者とも語彙レベルのストラテジーであるが、例 7 の「性別の明示化」は必ずしも行う必要があるとは限らないため、任意的な性質を持つものとして認定されるのに対し、例 8 の「性別の明示化」は義務的なストラテジーとして認定される。どちらも意味明確化のために使われたものである。

4.2.6 指示語の意味明確化

「指示語の意味明確化」とは、「それ、これ、あれ」等のような指示語が的確に何を指すかをはっきり明示するストラテジーである。

例 9：（被験者 1）

起点テキスト：そして、それを実現していけるのは●●（会社名）ライフデザイナーにほかなりません。

→ 翻訳：Và/ người/ thực hiện/ sứ mệnh đó chính là Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống (tên công ty)

（そして/人/実現する/その使命/は/ライフデザイナー（会社名））

【そして、その使命を実現する人は（社名）ライフデザインコンサルティングスタッフです】

例 10：

話者 JP06：その 200 人というのはどういう方ですか。

通訳 JV06：Anh/có thể/ cho tôi/ biết/ thông tin/ về/ 200 người/ sẽ/ tham gia/ được không ạ?

（彼/できる/私に/知らせる/情報/について/200 人/未来テンス/参加する/（許可をお願いする丁寧な言い方）

【あなたに参加する 200 人についての情報を教えて頂けませんか】

以上の例では、訳出者は文脈を踏まえて、「それ」、「その」という指示語の意味を明示した。この場合の明晰化は、語彙レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

4.2.7 指示語の付加

「指示語の付加」とは、「その、あの、この、当（社）、本（社）」などのような指示語によって、指したい対象を的確に示すことができるほか、文章の結束性を強めるという効果も見られるストラテジーである。⁶

⁶ 「私、あなた、彼女、彼」などの人称代名詞は人を指示する機能を果たすこともあるが、指示語としては取り扱わないことにする。

例 11 : (被験者 4)

起点テキスト : Đồng thời/ chương trình/ cũng là/ một hoạt động/ ý nghĩa/ hướng tới/ kỉ niệm/ 50 năm/ thành lập/(Tên công ty)/, là/ lời tri ân/ của/ doanh nghiệp/ đáp lại/ sự tin tưởng/ của/ khách hàng/ và/ cộng đồng/ cũng như/ thể hiện/ trách nhiệm xã hội/ của/ doanh nghiệp./

(また/プログラム/も/一つの活動/意義/向けて/記念/50 年/設立/ (会社名) /は/感謝の言葉/の/企業/に/応える/信頼/の/顧客/そして/コミュニティ/及び/表す/社会的な責任/の/企業/)

【また、プログラムは（会社名）樹立 50 周年記念に向けての有意義な活動でもあり・・・】

(翻訳) : このプログラムは（会社名）設立 50 周年記念活動の一つで・・・)

例 11 の起点テキストでは「プログラム」という不特定の表現が使われているが、翻訳者は「この」という指示語によって、前文との結束生を強めながら、目標テキストの自然さを増したと思われる。この場合の明晰化は確かに前後の文脈を踏まえて判断されたものではあるが、付加された情報の要素（その、この等の指示語）はある一つの語彙の意味を特定するためだけに使われているため、語彙レベルでの活用だと認定するのが適切であると見られる。また、この場合の明晰化は任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

例 12 :

話者 VN01 : Vâng/nếu có thể/ xin/ doanh nghiệp/ hãy gửi/ cho tôi/ trước 2 tuần/, trước khi mà/ hội thảo/ diễn ra/, để/ chúng tôi/ chuẩn bị/ cho/ người dịch/ sang tiếng Việt/ từ sớm/.

(はい/可能であれば/お願いする/企業/送って下さい/私に/2 週間前に/前/セミナー/行う/ため/私たち/準備する/手配する/人が翻訳する/ベトナム語へ/早くから)

【はい、私たちはベトナム語に訳す人を手配するために、出来れば企業にセミナーが行われる 2 週間前に、送って頂きますようお願い致します】

通訳 VJ01 : はい、あの、できれば、そのセミナーの 2 週間前に・・・

例 12 では、起点言語の「セミナー」という情報に「その」という指示語を加えることにより、言及されるセミナーが打ち合わせの話題になっているセミナーであることを再び明示していると思われる。文章の結束生を強める効果があると見て、「指示語の付加」として認定された。この場合の明晰化は例 11 と同様、語彙レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

4.2.8 暗示された情報の復元

「暗示された情報の復元」とは 起点テキストにおいて言及されたことがあるか、言うまでもなく当然分かってもらえると思われがちであるため、暗示的にしか表されない情報であるが、目標テキストをより分かりやすくするために明示的に示すストラテジーである。

例 13：（被験者 3）

起点テキスト：ご家族に経済的な負担をかけずに、それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたものなのです。

（翻訳）： Bảo hiểm nhân thọ/ giúp/ bạn/ thực hiện/ giấc mơ/ mà không/ gây áp lực/ kinh tế/ cho gia đình/, và/ cũng chính là/ cách thể hiện/ rõ ràng/ nhất/ cho tình yêu sâu sắc/ đối với/ gia đình/ của bạn/.

（生命保険/助ける/あなた/実現する/夢/否定形/プレッシャーをかける/経済/家族に対する/そして/でもある/表し方/はっきりした/もっとも/深い愛/に対する/家族/あなたの）

【生命保険は家族に経済的な負担をかけずに、あなたが夢を実現するのを助け、そしてあなたの家族に対する深い愛のもっともはっきりした表し方でもある】

例 13 では、「あなたのご家族」という意味が明示されず、「ご家族」という表現のみ使われたが、その暗示された情報を明示しようとして、通訳者は「あなたの」を加えた。

例 14：

話者 VN03： Xin/hỏi/ bà/ có/ câu hỏi/ gì không/ ạ/?

（お願いする/聞く/あなた/ある/質問/何か/丁寧な態度を表す言葉）

【何か質問があるかあなたに聞きたいです】

通訳 VJ03： この問題に関して何かご質問がありますか。

この場合の通訳者は暗示された「この問題に関して」という情報を明示することによって、質問可能な範囲を明確に示したと見られる。

例 13 と例 14 で使われた明晰化はどちらも談話レベルで判断され、使われたストラテジーと見られるが、必ずしも使う必要があるとは限らないため、任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと認定された。

4.2.9 程度副詞の付加

「程度副詞の付加」とは「程度副詞」によって起点テキストの意味を強調して表すストラテジーである。

例 15：（被験者 5）

起 点 テ キ ス ト： 合 い 言 葉 は 「 あ な た の 未 来 を 強 く す る 」

（翻訳）： Phương châm/ của/ chúng tôi/ là/ “Làm vững chắc/ hơn/ tương lai/ của/ bạn/”

（方針/の/私たち/は/強くする/より/将来/の/あなた/）

【私たちの方針は「あなたの未来をより強くする」である】

例 15 では、翻訳者は「より」という程度副詞を加えることにより、「あなたの未来はもともと強いかもしれないが、私たちはその未来を更に強くする」というメッセージを強調し、伝えたと考えられる。そのため、この場合の「より」を活用するのは語彙レベルで任意的な性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたものであると見られる。

例 16：

話者 JP01： Mục đích/ của/ cuộc họp/ ngày hôm nay/ là/ bàn bạc/ cụ thể/ và/ chi tiết/ về/ cái hội thảo/ và/ nội dung/ đối với/ bài phát biểu/ của/ bà 「話者 JP01 姓」 /tới đây/).

（目的/の/会議/本日/は/打ち合わせる/具体的/詳細/について/セミナー/そして/内容/に対する/発表/の/「話者 JP01 姓」さん/今度）

【本日の会議の目的はセミナーと「話者 JP01 姓」の発表の内容について具体的、且つ詳しく打ち合わせることです】

通訳 VJ01：ま、本日の会議に、ま、是非、え、発表の内容とか、セミナーの内容とか具体的、詳しく説明させて頂きたいと思います。

通訳全データにわたり、例 16 のように「是非」が「願い」を強調するために使われている場面が数多くあった。慣用句的に使われたか、意図を持って使われたかは被験者の意識調査で確認し、第 8 章と第 9 章で考察する。この場合で「是非」という程度副詞を加えたのは、語彙レベルで任意的性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

4.2.10 説明の追加

「説明の追加」とは、語句を適宜加えたり、場合によって冗長で説明的な表現を使ったりすることによって、起点テキストの分かりやすさが目標テキストでも維持されるよう工夫するストラテジーである。固有名詞に対する説明は語彙レベルの説明の追加と見られ、新しい文または節の付加、または全面的な説明の追加は談話レベルの説明の追加と認定される。

明示化についての先行研究の大半において、「追加」は明示化の代表的な形態だと認めている。花岡（2000）では、追加とは「目標視聴者に文化固有の知識を与えるために、テキスト外の情報を追加することによって談話の拡張が起きることである」と定義している。⁷本研究では、「追加」を「説明の追加」と称し、花岡(2000)が提示した「テキスト外の情報を追加する」場合と起点言語の含意を明らかにするための説明を追加する場合の両者を「追加」に含め、語彙レベルと談話レベルの両者を考察対象として扱う。

例 17：（被験者 1）

起点テキスト：Đây là/ cuộc thi/ dành cho/con em/ cán bộ nhân viên (会社名)/ khuyến khích/ các bé/ nói lên/ ước mơ/ của mình/, thể hiện/ niềm tin/ của/ cha mẹ/ gửi gắm/ vào/ thế hệ tương lai/ của/ đất nước/.

（これは/コンテスト/向け/子供/職員（会社名）/励ます/子供/語る/夢/自分の/表す/ブリーフ/親/預ける/に/将来世代/国/）

【これは（会社名）の従業員の子供達のためのコンテストであり、子供達が自分の夢を語るのを推奨し、国の将来世代に対する親の期待を表す】

（翻訳）：これは（会社名）の従業員の子供達を対象としたコンテストであり、子供達が自分の夢を語るのを応援し、国の将来を担う世代に対する親の期待を表すためである。

⁷ この場合に付加された「担う」という動詞は暗示された情報であるため、この訳文で工夫されたストラテジーは「暗示された情報の復元」ではないかという指摘があるかもしれないが、「国の将来世代」は「国の将来の事業を引き継ぐ世代」、「国の将来の困難を引き継いで対応しなければならない世代」、または「国の将来に期待される世代」など様々な解釈が可能である。「担う」は暗示された情報として見なすことが難しいとも言える。そのため、この文脈で「担う」という動詞を加える工夫は、翻訳者の判断や自分なりの解釈に基づくものであることから、「説明の追加」と認定したほうが合理的であろうと思われる。

例 17 では、「～ を担う」という説明を追加することによって、「国の将来世代」の語句の意味をより明確に表す事が出来たと見られる。なお、このような説明を追加しなくても意味が通じ、文が成り立たないとは限らないため、この場合の明晰化は語彙レベル（意味を修飾する動詞の付加のみ）の任意的性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと認定される。

例 18 :

話者 JP03 : 日本語か英語しかできませんので、ごめんなさい、えと、チエンさんにどうしたらいいですか。

通訳 JV03 : À/ thể thì/ bà ý/ không biết/ tiếng việt/ thì/..., khi/ mà liên lạc/ với/ anh Chiên/ thì liên lạc/ bằng/ tiếng anh/ hay/ tiếng Nhật/?。

(あ/それでは/彼女/知らない/ベトナム語/なら/時/連絡する/に/チエンさん(男性別を明示する)/連絡する/で/英語/それとも/日本語/)

【彼女はベトナム語ができないと・・・、チエンさんに連絡したときに、英語を使えばいいですか、もしくは日本語で良いですか？】

話者 JP03 は「チエンさんにどうしたらいいですか」と少し曖昧な質問をしたが、通訳者 JV03 は「チエンさんに連絡したときに、英語を使えばいいですか、もしくは日本語でいいですか」というように、より質問の目的に対し、更に明確に訳せていると言える。この場合、通訳者は、原文で言った内容のままでは、相手にとって少し理解しづらいと判断し、起点言語の含意まで明示しながら補足的な説明を加えたと考えられるので、明晰化として認定している。

4.2.11 複数の類義語の活用

「複数の類義語の活用」とは伝達不足、相手の誤解を避けるために、幾つかの類義語を同時に用いるストラテジーである。先行研究には言及がないが、この種のストラテジーは任意的性質が強く、「強調」の効果を伴う場合が多いと見られる。

例 19 :

話者 JP01: そして最後は、ええと、ベトナム政府への提案があつたらということですね?はい。

通訳 JV01 : Và/ cuối cùng là/ những cái, những cái đề xuất, kiến nghị/, đề đạt/ với/ chính phủ/ Việt Nam/ đúng không ạ?

(そして/最後は/提案/要請/提言/に/政府/ベトナム/ですか/)

【そして最後は、ベトナム政府への提案、要請、提言でしょうか】

例 19 において、日本語テキストでは、「提案」という一つの語彙しか使われなかったが、通訳 JV01 はベトナム語に通訳した時に、「提案」、「要請」、「提言」という三つもの類似した語彙を使った。「提案」という一つの語彙だけでも意味が伝わるが、誤解を防ぎ、意味の十分さを確保するために、通訳者は同時に類義語の三つの語彙を使ったと考えられる。これは、語彙レベルで任意的性質を持つストラテジーとして意味明確化のために使われたと見られる。

4.2.12 接続詞の付加

接続詞の付加とは接続詞の使用によって文と文の結束生を強め、メッセージの意味を明確に表すほか、目標テキストの自然さを高める効果を伴うストラテジーで、先行研究 (Olohan 2000、Liu 2010、花岡 2000 等) でも認められている。

例 20 :

話者 VN02 : Vâng/, với lý do/ doanh nghiệp 「社名」 / là/một doanh nghiệp/ đã có/ 15 năm/ kinh nghiệm/đầu tư/ vào/ Việt Nam/, và/ cũng là/ doanh nghiệp/ Nhật Bản/ đầu tiên/ đầu tư/ và/ thành công/ ở/ Việt Nam/, thì/ sự chia sẻ/ kinh nghiệm/ của/ doanh nghiệp 「社名」 /sẽ/ rất/ có ích/ cho/ các khách mời/ tham dự/ hội thảo/ tới đây/.

(はい/理由で/企業「社名」/は/一つの企業/あった/15 年/経験/投資/へ/ベトナム/そして/でもある/企業/日本/はじめて/投資する/と/成功する/で/ベトナム/ですが/共有/経験/の/企業「社名」/未来テンス/とても/ためになる/に/対する/招聘客/セミナー/今度)

【はい、「社名」がベトナムへの投資には 15 年間もの経験があり、ベトナムにおいて初めて投資し、成功した企業であることが理由で、「社名」の経験の共有は今回のセミナー出席者にはとても役に立つものになるかと思います】

通訳 VJ02: で一、貴社はですね、ベトナムへの投資には、15 年間の経験もあります。で、それで、あの、成功の事例としてご経験を共有して頂きたいと思います。

例 20 では、通訳者が起点テキストを整理した上で、文を小さく分割し、「それで」という接続詞を加えたことによって、目標テキストはいっそう自然で、且つ分かりやすくしたと思われる。この場合の「接続詞の追加」は文脈を踏まえて使われたものであることから、談話レベルのストラテジーとして見なされる。なお、この工夫は必ずしも行う必要がないため、任意的な性質をもった意味明確のためのストラテジーとして認定された。

4.2.13 読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換

「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」とは、起点テキストに使われる概念または表現に対応する概念・表現が目標言語にない場合、または、直訳すると相手に違和感を与えてしまう可能性があるとは判断した場合、読み手・聞き手にとって聞き馴染みがあり、且つ意味の差があまりないような別の表現に置き換えることによって、相互理解を促進することができる戦略である。

例 21：（被験者 1）

起点テキスト：Chương trình/ đã/ thu hút/ sự tham gia/ của/ hơn/ 300 cán bộ/, đại diện/ cho/ hơn/ 60.000 cán bộ/, tư vấn viên/ trên toàn hệ thống/ (Tên công ty)/ bao gồm/ Công ty Mẹ/ và/ 6 Đơn vị thành viên/ cùng/ những trái tim yêu nước khác/（中略）

（プログラム/過去テンス/引く/参加/の/あまり/300 人の職員/代表する/のため/強/6 万人の職員/ライフデザイナー/全システムにおける/（会社名）/含む/親会社/そして/6 つの子会社/と共に/愛国心/）

【プログラムは親会社並びに子会社の 6 社を含む全システムにおける 60.000 人の従業員、営業職員の代表となる 300 人あまりの方々及びその他の愛国心のご参加を頂き（中略）】

（翻訳）：当運動は、●●（会社名）の親会社、傘下の子会社 6 社に勤務している 6 万人の従業員、カウンセラー等を代表する 300 名の従業員及び愛国心を持っている多くの方々よりご参加頂き（中略）

例 21 の起点テキストには「愛国心」という表現があった。この言葉は愛国心を持つ人という意味を表すが、日本語では「愛国心」が人を指す言葉として文章で使われると、不自然、かつ分かりづらい表現だと思われる。二言語の表現に関するギャップを認識した翻訳者は表現を工夫し、人を指す意味を明示的に表すために「愛国心を持っている多くの方々」という形に訳した。このようにすることで、原文の意味をととても自然な形で伝達することができている。この場合の戦略は、語彙レベルで義務的な性質を持つ戦略として意味明確化のために使われたと見られる。「目標テキストの自然さのための明示化」という機能も確かにあったが、

「人」という意味を明示的に表すという点で意味明確化のほうが目立つため、この場合は、意味明確化のためのストラテジーとして認定した。⁸

例 22：（被験者 1）

起点テキスト： Thông qua/những hành động/ nhỏ/ mà ý nghĩa/ ngày hôm nay/, chúng tôi/ hy vọng/ sẽ/ tiếp thêm/ sức mạnh/ và/ ý chí/ kiên cường/ cho/ đồng bào/ và/ các chiến sỹ/ nơi đảo xa/ trong/ công cuộc/ xây dựng/ và/ bảo vệ/ đất nước/”.

（を通じて/行動/些細/有意義/本日/私たち/期待する/未来テンス/より与える/力/や/強い/意志/のために/同胞/や/兵士/遠い島/における/事業/建設/及び/保護/国/）

【本日の些細ながらも有意義な行動を通じて、我々は国防・国づくり事業における、遠い島の同胞及び兵士に対して力や強い意志を与えられることを期待している】

（翻訳）：小さいながらも有意義な本日の行動を通じて、国防・国づくりのために遠い島で活躍している兵士の方々、住民の方々に少しでもお力になれば幸いと存じます。

例 22 では、起点テキストの「đồng bào」（同胞）は日本人に馴染みのあるような「住民の方々」という表現へ、そして「tiếp thêm sức mạnh và ý chí kiên cường cho đồng bào và các chiến sỹ」（力や強い意志を与えられる）という表現は日本語でよく使われる「お力になれば幸い」という表現へ変換された。前者の明晰化は語彙レベルで行われたもので、後者は談話レベルのものだと認定され、どちらも任意的な性質を持ち目標テキストの自然さのために使われたと見られる。

例 23：

話者 JP03： いいえ、こちらこそ宜しくお願い致します。

通訳 JV03： Chính tôi mới phải/ là/ người/ cảm ơn/ anh/ ạ.

（私こそ/が/人/感謝する/あなた/丁寧な態度を表す言葉/）

【私こそ、あなたにお礼を言うべきものです】

⁸ このような場面での「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」は「説明の追加」として認定することもできるのではないかという考え方があってもいいが、この場合の明晰化は説明を補足するというより、むしろ起点言語と目標言語の表現のギャップにより生じる問題への対処であり、起点言語では自然な表現ではあるが、直訳による目標言語の表現が不自然であり、訳出者は意味の差があまりないような別の表現に置き換えるように工夫しなければならない場合の対策であるため、「説明の追加」とは性質が違うストラテジーである。

「宜しく願います」は日本語ではどの場面においてもよく見られる表現であるが、ベトナム語では対応する表現がない。そのため、場面に応じて、訳出する人は相応しい表現に変換することが多い。この場合は、通訳 JV03 は直前の文脈を踏まえて、「私こそ、あなたにお礼を言うべきものです」と表現を工夫し訳した。この場合の明晰化は談話レベルで義務的な性質を持つストラテジーとして、目標テキストの自然さのために使われたと見られる。

4.2.14 テンス・アスペクトの変換・具体化

日本語とベトナム語はテンス及びアスペクトに関して大きく異なっている。テンスの違いについては、第 4 章において大まかに説明しておいた。この文法的な違いは、二言語間の訳出過程におけるテンス・アスペクトの変換を伴っている。訳出者は原文のテンス・アスペクトを目標言語のテンス・アスペクトの特徴に合わせながら、原文のアスペクト・テンスに表される意味が伝わるように工夫する必要がある。これも訳文の正確さを保持しつつ、自然さ・明晰さを確保するためのストラテジーと見て、本研究では明晰化ストラテジーとして認定し、以下のように定義する。

「原文のアスペクト・テンスの変換・具体化」とは起点言語と目標言語のアスペクト・テンスの特徴が異なる場合に、原文のアスペクト・テンスを目標言語のアスペクト・テンスに合わせながら、原文のアスペクト・テンスに表される意味を十分に伝えられるようにするストラテジーである。

例 24：（被験者 1）

起点テキスト：私たち●●（会社名）は、一人でも多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えていきます。

（翻訳）：Chúng tôi/ ●● (tên công ty)/ **đã, đang và sẽ**/ nỗ lực/ chuyển tải/giá trị/, bản chất/ của/ bảo hiểm nhân thọ/ tới/ thật nhiều/ quý khách hàng/.

（私たち/●●（会社名）/した、している、していく/努力する/伝える/価値/本質/の/生命保険/へ/多く/お客様/）

【私たち●●（会社名）は多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えるために努力した、している、そしてこれからもします】

例 24 の原文は、「伝えていきます」（～ていく）というアスペクトであるが、ベトナム語では日本語の「～ていく」に対応するアスペクトが存在しない。そのため

に、日本語では非常にシンプルにみえる「～ていく」をベトナム語に正確に伝えるために、翻訳者は過去形を表す助動詞「đã」、進行形を表す助動詞「đang」に加え、将来形を表す助動詞「sẽ」を合わせて活用しなければならない。このようにすれば「～ていく」という形式を維持することはできないが、原文のアスペクトの表す意味を十分に伝えられたのではないかとみられる。この場合の明晰化は文法レベルで義務的な性質を持ち、意味明確化のために使われたストラテジーとして認定される。

例 25：（被験者 1）

起点テキスト： 生命保険でお客様の悲しみを癒すことができません。しかし、「悲しみと共に貧しさが訪れないようにすることはできる」。生命保険の価値・本質は、この言葉に表されています。

（翻訳）： Bảo hiểm nhân thọ/ không thể/ xoa dịu/ nỗi buồn/ của/ quý khách hàng/. Thế nhưng/, “Có thể/ ngăn chặn không cho/ sự nghèo khó/ ập đến/ cùng lúc/ với/ nỗi buồn đau?”. Giá trị/, bản chất/ của/ bảo hiểm nhân thọ/ được thể hiện/ qua/câu nói đó/.

（生命保険/できない/癒す/悲しみ/の/お客様/しかし/できる/予防する/貧しさ/来る/と同時に/悲しみ/価値/本質/の/生命保険/表される/を通じて/その言葉/）

【生命保険はお客様の悲しみを癒すことができません。でも、「悲しみと共に訪れる貧しさが来ないように止めることができる」。生命保険の価値・本質はこの言葉に表される。】

例 25 はベトナム語へ翻訳した際にテンスが変換された例である。原文では「表す」という動詞が進行形であったが、このテンスをそのままベトナム語翻訳に映すと、文がやや不自然に聞こえてしまう。そのため、進行形を無くし、現在形（V-る）に変換したほうが原文の意味を変えずに、自然な形で伝えられるので、こういう翻訳者の工夫は必要且つ妥当なものであると思える。この場合の工夫は文法レベルで義務的な性質を持って、目標テキストの自然さの確保のために使われたと見られる。

4.2.15 原文の不自然さに対する処理

「原文の不自然さに対する処理」とは、起点テキストの不自然さによって文が成り立たないか、文の意味が分かりづらく、聞き手・読み手を混乱させる可能性がある場合に処理を行うストラテジーである。このような処理によって、より自然な形で分かりやすくメッセージの意味を伝えられるという点で聞き手・読み手の理解負担を軽減することができる。

例 26 :

話者 VN05: Vàng/, xin/ bà/ hãy/ sử dụng/ ngôn ngữ/ powerpoint/ để/ phát biểu/.

(はい/お願いする/あなた/命令形(〜て下さい)/使用する/言語/パワーポイント/ため/発表する/)

【あなたにパワーポイント言語を使って頂くようお願いしたいです】

通訳 VJ05: あの、パワーポイントを、は、あの、是非使って頂きたいです。

例 26 では、話者 VN05 は「パワーポイント言語」という言葉を使ったが、これはとても不自然であり、このまま訳すのでは不自然な目標テキストになってしまうほか、聞き手に違和感を与える可能性が高い。そのため、通訳 VJ05 は「言語」という部分を適切に省き、起点テキストの不自然なところを処理した。この場合の明晰化は語彙レベルで義務的な性質を持ち、意味明確化のために使われた戦略として認定される。

例 27 : (被験者 01)

起点テキスト : Trong/ khuôn khổ/ chương trình “●●(会社名): Niềm tin/ Việt/- Chung tay/ hướng về/ biển đảo/ quê hương”, Tập ●●(会社名)/cũng/ đã công bố/và/trao giải /cuộc thi /về tranh /“ Niềm tin /chắp cánh/ ước mơ”.

(中/枠組み/プログラム(会社名)/ビリーフ/ベトナム/手を合わせて/向けて/海島/母国/グループ(会社名)/も/発表した/そして/授与する/コンテスト/絵画/ビリーフ/羽ばたかせる/夢)

【「ベトナムビリーフ・母国の海島に向けて力を合わせる」という運動の中で、●●グループ(会社名)は「夢を羽ばたかせる」という絵画コンテストを発表し、授賞式を行った】

(翻訳) : 「●●(会社名) : ベトナムビリーフ、力を合わせ、母国の海島に向かう」運動の中で、●●グループ(会社名)は「夢を支えるビリーフ」という絵画コンテストの結果をも発表し、授賞式を行った。

例 27 のベトナム語起点テキストでは、「発表する」という動作の対象が明言されておらず、ベトナム語の文章としても非常に不自然な表現になっている。このままでは自然で、且つ意味が明確な形で伝達できないと判断した被験者 01 は、動作の対象を明確化するという工夫を行った。このような場合の対処は前後の文脈を踏まえて判断する必要があるため、談話レベルでの活用と見られ、更に不可欠な工夫であ

ることから、義務的な性質を持つものとして認定される。利用目的は目標テキストの自然さを確保するためという部分もあるが、意味明確化の目的のほうが目立つのではないかと思われる。

4.2.16 形式名詞の具体化

日本語では「の」、「こと」、「ところ」、「もの」など形式名詞がたくさん用いられるが、ベトナム語では、「こと」以外の形式名詞（特に「の」）は用いられないため、日本語からベトナム語に翻訳する際にこの形式名詞をどう工夫するかは大きな問題である。日本語原文の形式名詞を無くして、構文を変更するという方法もあるが、日本語原文の形式名詞をベトナム語らしく具体化する方法もしばしばみられる。本研究では、このような工夫を「形式名詞の具体化」と称し、明晰化ストラテジーとして以下のように定義する。

「形式名詞の具体化」とは日本語の形式名詞の「の」、「こと」、「もの」、「ところ」などを別の具体的な表現に置き換えることによって意味を具体化するほか、ベトナム語らしく伝えるためのストラテジーである。

例 28：（被験者 1）

起点テキスト：ご家族に経済的な負担をかけずに、それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたものなのです。

（翻訳）：Bảo hiểm nhân thọ/ có thể/ góp phần/ thực hiện/ ước mơ/ của/ các/ thành viên/ trong/ gia đình/ mà không gây gánh nặng/ về/ kinh tế/. Bảo hiểm nhân thọ/ chính là/ hình thức/ cụ thể hóa/ tình cảm/ sâu nặng/ đối với/ gia đình/.

（生命保険/出来る/貢献する/実現する/夢/の/複数形/メンバー/中/家族/プレッシャーをかけない/について/経済/生命保険/こそは/形式/具体化/愛情/深い/に対する/家族/）

【生命保険は経済的な負担をかけないで、家族の各メンバーの夢の実現を支えることができる。生命保険は家族への深い愛を具体化する形式なのです】

起点テキストでは、「もの」という形式名詞が使われたが、ベトナム語に訳す際に翻訳者は「形式」という語彙によってこの形式名詞を具体化した。この場合の明晰化は文法レベルで義務的な性質を持ち、意味明確化のために使われたストラテジーとして認定される。

4.2.17 英語（表記）の併用による誤解防止

「英語（表記）の併用による誤解防止」とは目標言語での語彙を使うと同時に、英語の語彙を加えることによって、誤解の可能性を減らすストラテジーである。

例 29：（被験者 6）

起点テキスト：お客様にとって、共に「未来」を考えてくれる存在、安心と信頼の絆を繋ぐのが●●（会社名）ライフデザイナーなのです。

（翻訳）：Đổi với/ khách hàng/, những/ nhà thiết kế cuộc sống (Life Designer)/ là/ người/ luôn/ đồng hành/ để/ cùng/ suy nghĩ/ về/ “tương lai”/ và/ tạo dựng/ sự an tâm/, lòng tin cậy/ cho/ khách hàng/.

（に対する/お客様/複数形/ライフデザイナー/は/人/いつも/ともに歩く/ため/一緒に/考える/について/将来/と/作る/安心/信頼/のための/お客様/）

【お客様にとって、ライフデザイナー（Life Designer）は共に「将来」を考え、お客様のために安心と信頼を築く人なのです】

例 28 では、翻訳者は「ライフデザイナー」を目標言語の「nhà thiết kế cuộc sống」に訳したが、わざと「Life Designer」という英語の言葉を追加した。意味伝達のずれを避けることができると判断して、この工夫を行ったと思われる。この場合の明晰化は語彙レベルで任意的な性質を持ち、意味明確化のために使われたストラテジーとして認定される。

4.3 全データ分析結果及び結果の信頼性

本節では、第 2 節で提示した明晰化ストラテジーごとの定義をもとに認定された明晰化ストラテジーの出現回数を集計し、その結果について考察する。更に、分析結果に信頼性があるかどうか、どのようにその信頼性が検証できるかについても本節の後半で詳しく説明していく。

4.3.1 全データ分析結果

本研究で収集した通訳データ及び翻訳データにおける明晰化ストラテジーの出現状況を以下の表に基づき、概観してみたい。

表 6 通訳全データ及び翻訳全データにおいて出現する
各明晰化ストラテジーの頻度

No	明晰化ストラテジー	通訳全データ	翻訳全データ	計
1	主体の明示化	74	47	121
2※	前置き表現の活用	109	0	109
3	原文の構成変更	71	66	137
4※	反復	25	0	25
5	性別の明示化	8	2	10
6	指示語の意味明確化	10	17	27
7	指示語の付加	5	17	22
8	暗示された情報の復元	40	2	42
9	程度副詞の付加	18	6	24
10	説明の追加	159	51	210
11※	複数の類義語の活用	11	0	11
12※	接続詞の付加	13	0	13
13	読み手・聞き手に馴染みの あるような表現への変換	114	71	185
14※	テンス・アスペクトの 変換・具体化	0	24	24
15	原文の不自然さに 対する処理	5	18	23
16※	形式名詞の具体化	0	10	10
17	英語(表記)の併用による誤 解防止	1	3	4
計		663 回	334 回	997 回

備考：※は通訳か翻訳、いずれかにしか観察できない明晰化ストラテジーである。

表6を見ると分かるように、全体的には、通訳の明晰化ストラテジーの活用率は翻訳の倍程度高いということである。これは、花岡（2001）が分析した結果と正反対のものになっているが、二つの研究で取り扱う場面が異なり、検討対象となる言語ペアも違うからであると考えられる。なお、通訳と翻訳における明晰化の類似点、

相違点の検討は本論の第7章で行い、本章ではまず通訳と翻訳データに出現した明晰化を概観するに留めたい。

ベトナム語-日本語の通訳・翻訳において最も頻度多く使われている明晰化ストラテジーは「説明の追加」(10)、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」(13)、「原文の構成変更」(3)、「主体の明示化」(1)の順になっている。その中で、「説明の追加」、「原文の構成変更」は先行研究にも言及があったように、通訳・翻訳において普遍的なストラテジーであるため、この結果は予想された通りであるとも言える。「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」や「主体の明示化」は、言語システムがかけ離れている日本語-ベトナム語の言語ペアの場合、特に多く活用する必要があることがこの結果の背景にあるのではないかと思われる。無論、これらのストラテジーの使用状況は訳出形態によって、相違が出てくるが、この分析や考察は第10章で行うことにする。一方、「前置き表現の活用」(2)は出現回数が多いが、通訳データにしか現れなかった。なお、この結果は「前置き表現の活用」の特徴、すなわち話し言葉、会話に使われるのがメインであるという特徴に矛盾がない結果であろう。また、極端に出現頻度が低いのは「英語(表記)の併用による誤解防止」(17)である。確かにこのストラテジーが使われる場面はかなり限定されており、機械の図面についての打ち合わせなど、非常に専門性が高く、且つコミュニケーション参加者がお互い専門知識、専門用語を共有する場面に限って多用されていることから、本研究で設定した普段の商談(打ち合わせ)で活用されなかったのも予想通りである。

続いて、表7をもとに、通訳データや翻訳データで見られた明晰化ストラテジーの性質の大きな特徴を把握したい。

表7 通訳全データ及び翻訳全データにおける明晰化ストラテジーの性質

	活用レベル			必然性		利用目的	
	語彙レベル (回/%)	文法レベル (回/%)	談話レベル (回/%)	義務的 (回/%)	任意的 (回/%)	目標テキストの自然 さ確保のため (回/%)	意味明確化のため (回/%)
通訳データ(ストラテジー出 現総回数: 663回)	146 (22%)	70 (10.5%)	447 (67.5%)	93 (14%)	569 (86%)	116 (17.5%)	547 (82.5%)
翻訳データ(ストラテジー出 現総回数: 334回)	124 (37.1%)	99 (32.6%)	111 (29.6%)	179 (53.6%)	155 (46.4%)	118 (35.3%)	216 (64.7%)

表7の結果から分かったのは、訳出形態によって活用される明晰化ストラテジーの特徴も大幅に異なるということである。例えば、必然性に関しては、通訳で使われ

た明晰化の殆どが任意的なもので有るのに対し、翻訳では逆の傾向が見られた。活用レベルについては、全体的に見ると通訳形態を問わず文法レベルのストラテジー活用率が最も低かったが、談話レベルと語彙レベルの活用率に関しては傾向が共通していない。このような傾向の出現に、通訳者の意図・意識がどのように関わっているについてはアンケート調査によって明らかにする。また、活用レベルと必然性に大きな相違があるが、ストラテジーの利用目的に関しては、どちらの訳出形態でも「意味明確化のため」という目的のほうが高い割合を占めているということが今回の分析結果で確認できた。

また、ここで断っておきたいが、本節の目的は、翻訳と通訳データに現れた明晰化ストラテジーの違いを詳細に比較するのではなく、本研究で収録できたデータで見られた明晰化ストラテジーの全般的な特徴・性質を把握することである。そのため、翻訳と通訳によって活用された明晰化ストラテジーの特徴・性質が異なっている点については、本章では考察を行わず、再び第7章で詳しく論じていきたい。

4.3.2 データ分析結果の信頼性

4.3.1節において総合的な分析結果を提示したが、この結果の信憑性は筆者が収集した通訳データ、翻訳データで明晰化ストラテジーを認定する作業が正しく行われたかどうかによるものである。本結果の信憑性を確認するために、評定者間信頼性係数（Cohen's Kappa⁹）により一致率を算出した。Cohen's Kappaとは、単純一致率のみではなく、偶然一致率も考慮に入れて算出される一致率であり、どの値以上であれば良いという明確な基準はないが、経験的、直感的な判断が伴う難しいものでは、0.7以上とされている（西郡、2002）。

認定各項目について、評定者間信頼性係数より一致率を算出した。なお、認定の協力者の負担を考慮し、通訳の一部だけを抽出し、認定作業を依頼した。認定を依頼した項目は、① 明晰化ストラテジーの種類、② 任意的/義務的 ③ 語彙レベル/ 文法レベル/談話レベル、④ 「目標テキストの自然さ確保のため」/「意味明確化のため」である。以下、まず 通訳者 01 のデータの一部で行われた「明晰化ストラテジー」認定の一致率算出方法を例に具体的に説明する。便宜上、明晰化ストラテジーの具体的な名称を表記せず、表 6 において各明晰化ストラテジーに割り当てた番号（1～17）のみを表記する（表 8）。次に同じ方法で通訳者 2～4、翻訳者 1～4 のデータの一部で認定した結果の一致率を算出し、その算出結果を表 9 にまとめ

⁹ Cohen's Kappa は次式で得られる。 $k = (Po - Pc) / (1 - Pc)$ 。Po: 観察された単純一致率、Pc: 偶然一致確率（西郡、2003）

る。また、項目②「任意的/義務的」、項目③「語彙レベル/文法レベル/談話レベル」、項目④「目標テキストの自然さ確保のため/意味明確化のため」に対しても認定の一致率の算出し、その結果を順次に表 10、11、12 においてまとめる。

表 8 通訳者 01 における項目①

「明晰化ストラテジーの種類」に対する認定一致率

		セカンドコーダー（第2評定者）																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	計
筆 者	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	6
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2	3	3	1	0	1	0	1	0	5	0	0	4	0	0	0	0	20

$$P_o = (2+2+2+1+0+1+0+1+0+4+0+0+3++0+0+0+0) / 20 = 0.8$$

$$P_c =$$

$$(2/20 \times 2/20) + (3/20 \times 4/20) + (3/20 \times 2/20) + (1/20 \times 1/20) + (0/20 \times 0/20) + (1/20 \times 1/20) + (0/20 \times 0/20) + (1/20 \times 0/20) + (1/20 \times 1/20) + (0/20 \times 0/20) + (1/20 \times 1/20) + (0/20 \times 0/20) + (5/20 \times 6/20) + (0/20 \times 0/20) + (0/20 \times 0/20) + (4/20 \times 3/20) + (0/20 \times 0/20) + (0/20 \times 0/20) + (0/20 \times 0/20) + (0/20 \times 0/20) = 0.2$$

$$\kappa = (P_o - P_c) / (1 - P_c) = (0.8 - 0.2) / (1 - 0.2) = 0.75$$

以上と同様に、通訳者 2~4（計 3 名）及び翻訳者 1~4（計 4 名）に対しても、「明晰化ストラテジーの種類」の一致率を算出し、結果は以下の表 9 にまとめる。

**表 9 項目①「明瞭化ストラテジーの種類」に対する
認定一致率の算出結果のまとめ**

	通訳者 01	通訳者 02	通訳者 03	通訳者 04	翻訳者 01	翻訳者 02	翻訳者 03	翻訳者 04
κ	0.75	0.78	0.72	1	0.88	0.84	1	1

以上の結果から、通訳データ及び翻訳データの認定結果はいずれも一致率 $\kappa > 0.7$ であるため、本研究で行った「明瞭化ストラテジーの種類」の認定結果は信頼性があると結論できる。

表 10 項目②「任意的/義務的」に対する認定一致率の算出結果のまとめ

	通訳者 01	通訳者 02	通訳者 03	通訳者 04	翻訳者 01	翻訳者 02	翻訳者 03	翻訳者 04
κ	0.76	0.74	0.72	0.8	0.86	0.74	0.81	0.83

以上の結果から、項目②「任意的/義務的」に対する一致率の算出結果 $\kappa > 0.7$ であるため、本研究で行った「任意的/義務的」という明瞭化ストラテジーの性質の認定結果は、信頼性があるといえる。

**表 11 項目③「語彙レベル/文法レベル/談話レベル」に対する
認定一致率の算出結果のまとめ**

	通訳者 01	通訳者 02	通訳者 03	通訳者 04	翻訳者 01	翻訳者 02	翻訳者 03	翻訳者 04
κ	0.9	0.71	0.76	0.81	0.78	0.82	0.9	0.81

この結果より、項目③「語彙レベル/文法レベル/談話レベル」に対する認定一致率の算出結果 $\kappa > 0.7$ であるため、本研究における「語彙レベル/文法レベル/談話レベル」の認定結果は信頼性があるといっても良いだろう。

**表 12 項目④「目標テキストの自然さの確保のため/「意味明確化のため」
に対する認定一致率の算出結果のまとめ**

	通訳者 01	通訳者 02	通訳者 03	通訳者 04	翻訳者 01	翻訳者 02	翻訳者 03	翻訳者 04
κ	0.67	0.65	0.73	0.78	0.75	0.81	0.73	0.76

以上の結果によると、通訳者 01 や通訳者 02 のデータだけは、認定一致率 $\kappa < 0.7$ であり、算出用ほかのデータはいずれも $\kappa > 0.7$ という結果を見せた。この結果から、本研究で項目 4「目標テキストの自然さの確保のため/「意味明確化のため」について認定した結果は基本的には信頼性があると見ても良いと考えられる。

分析結果は信頼性が確認できたのは、研究の詳細分析の確固たる基礎になるといえよう。この結果を踏まえて、第 5 章から通訳データの詳細分析に入っていく。

第 5 章

通訳データの分析結果と考察

本論に入る前に説明したように、第 4 章から第 8 章が本稿の主要な部分であるが、この 5 章ではデータの詳細分析を進めた。前章の第 4 章では、全体的な分析・考察結果をまとめたが、本章からは通訳データを詳細に分析・考察し、ベトナム語-日本語の通訳における明晰化ストラテジーの活用傾向を明らかにした。

5.1 通訳データの分析結果

本節では、まず通訳全データに見られた明晰化ストラテジーを概観し、その上で、通訳者や通訳方向別に出現する明晰化ストラテジーの活用傾向を比較する。この比較は、通訳者と通訳方向という要因がいかに関与し、明晰化ストラテジーの活用に影響し得るかを明らかにするためである。

5.1.1 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの概観

本節では、まず通訳データにおける明晰化ストラテジー別の割合を考察してから、通訳者や通訳方向別の明晰化ストラテジーの活用傾向を実質的なデータ分析結果に基づき検討していく。

5.1.1.1 通訳データに見られた明晰化ストラテジー別の割合

本研究で収集した通訳データの分析において、「テンス・アスペクトの変換・具体化」や「形式名詞の具体化」を観察することが出来なかった。「英語（表記）の併用による誤解防止」は全データにおいて 1 回しか出なかったため、0%の扱いになっている。ほかのストラテジーの出現状況については以下の図 7 にまとめる。

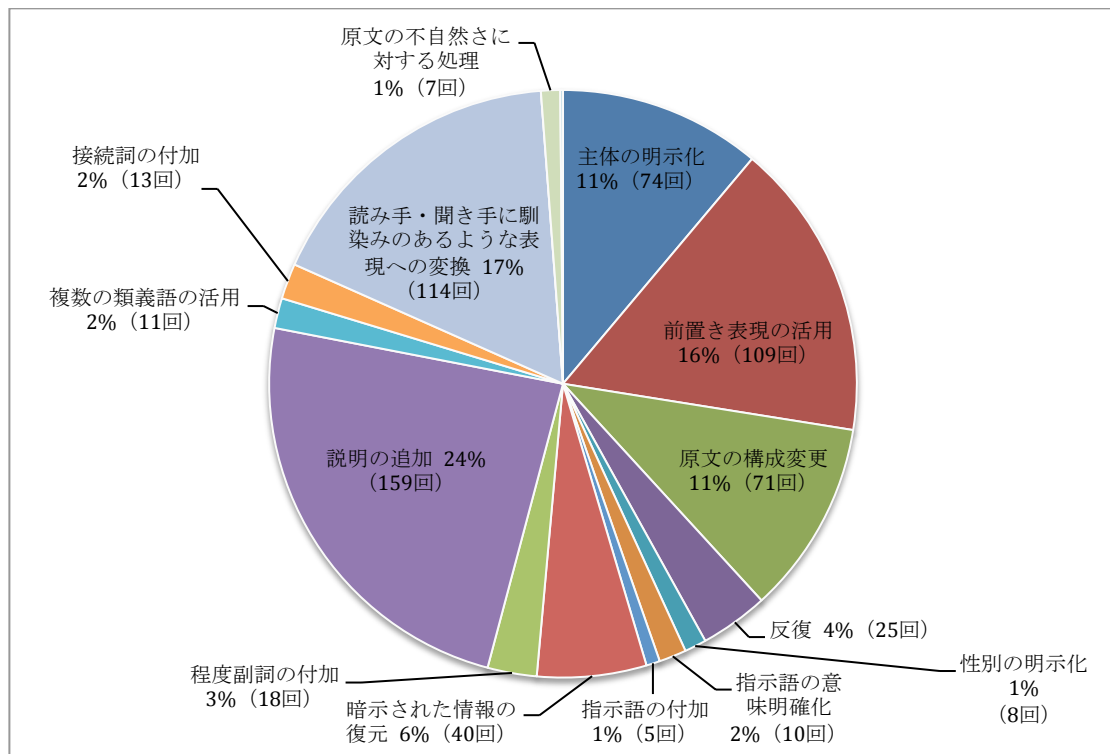


図7 通訳データに見られた明晰化ストラテジー別の割合

図7から分かるのはベトナム語-日本語の通訳において、最も頻繁に活用されているストラテジーは「説明の追加」(24%)で、その次は、「読手・聞き手に馴染みのある表現への変換」(17%)、「前置き表現の活用」(16%)、「主体の明示化」(11%)及び「原文の構成変更」(11%)、「暗示された情報の復元」(6%)の順になっているということである。

起点言語と目標言語はいかに類似点が多くても、話し手と聞き手の間に知識や背景情報及び文化等様々な側面の間にギャップが存在している限り、通訳者が直訳するだけでは聞き手にかかる理解の負担が大きい。そのため、殆どの通訳者は「説明の追加」というストラテジーを比較的よく活用せざるを得ないことがこの分析結果によって改めて実証できた。

なお、「前置き表現の活用」は過去の研究では「明示化」(explicitation)として認められておらず、考察に入れられなかったようであるが、本研究では及ぼす効果を問わず、「前置き表現の活用」を「明晰化」と認定し、分析・集計してみたところ、20%弱というかなり高い出現割合を確認することができた。これほどの割合で出現したということは、この明晰化ストラテジーはベトナム語-日本語の通訳に大きな役割を果たすことを示唆しているだろう。これがベトナム語-日本語の言語ペアの特殊性であるかどうかは、本研究の範囲では考察しきれない部分があるが、この言語ペ

アの通訳における「前置き表現の活用」のストラテジーの性質や特徴について今回収集できたデータの分析結果によって、ある程度明らかにすることができる。

「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」は「説明の追加」と同様、聞き手に与える理解負担を軽減するために不可欠なストラテジーである。起点言語や目標言語の特徴がかけ離れているほど、このストラテジーの活用が多くなる。本研究では、通訳に現れたこのストラテジーが 17%という比較的高い割合を見せた。これは、日本語とベトナム語の表現の特徴が大きく異なっていることに起因すると考えても良いだろう。

次に割合が高いのは「主体の明示化」と「原文の構成変更」（同率 11%）である。主語・主体の明示が基本的には必須であるベトナム語と主語・主体が省略されることが多い日本語が通訳の起点言語-目標言語という関係になる場合は、通訳者は「主体の明示化」のストラテジーを多く活用する必要があると想定できる。その意味で、この結果は想定した仮説の実証に繋がっているともいえよう。なお、二言語の以上の特徴に基づくと、このストラテジーは主にベトナム語へ訳す方向で使われる可能性が高いという仮説も立てられる。この仮説が正しいかどうかは、通訳方向別の考察において検証してみたい。「主体の明示化」と異なり、「原文の構成変更」は起点言語と目標言語の特徴の違いに起因し発生するものではないと思われる。このストラテジーは 4.2 節に提示した定義の通り、長い文を幾つかの短い文に分けたり、文の種類や文の構成を変えることにより、相手にとって聞き取りやすく、理解しやすいものにするストラテジーであるため、基本的には通訳者の判断、場合によっては通訳者の言語能力や経験の有無によって活用されるかが決まる。すなわち、長い原文をそのまま伝えるか、区切って伝えて分かりやすさを工夫するかどうかは通訳者の判断によるものである。ただし、言語能力や経験が不足している通訳者の場合は、長い原文を伝える自信がなく、やむを得ず文を区切るという処理の仕方を選ぶ場合も少なくない。本研究で協力を依頼した通訳者は全員通訳の経験がある程度あり、言語能力も備えているため、11%もの割合で「原文の構成変更」のストラテジーが活用されたのは、前者の要因による結果ではないかと思われる。

「主体の明示化」と「原文の構成変更」の次に、割合が高いストラテジーは「暗示された情報の復元」であるが、6%という割合で出現したというのは、中程度の頻度であると判断される。このストラテジーは過去の先行研究においても「省略の復元」（花岡、2000）という名称で言及があり、通訳・翻訳において普遍性があるストラテジーであるため、この結果は想定内であるが、このストラテジーが活用され

るのはどの目的のためであるか、どのような性質を持つストラテジーであるかが先行研究において深く掘り下げられなかった。この点については次の節においてデータの分析結果に基づき、明らかにする。

上記以外のストラテジーは、大体 0.3%~4%という小さい割合で出現している。割合が小さいからといって、詳しく考察しないというわけではないが、まとまった結論を導くために、次の節においてこれらのストラテジーの特徴・性質に関する分析結果に合わせて深く考察して行きたい。

5.1.1.2 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの特徴・性質

この節では、5.1.1.1 節で概観した、通訳データに見られた明晰化ストラテジーの特徴・性質を明らかにするが、分析・考察に入る前に、本研究では明晰化ストラテジーの特徴・性質をどう捉えるかについて説明しておきたい。明晰化ストラテジーには様々な特徴があるが、本研究では、その明晰化の必然性、活用レベル及び利用目的という三つの側面にしぼって考察を行う。明晰化の必然性とは、本論の冒頭にも触れたが、その明晰化が義務的か、若しくは任意的であるか、すなわち必ず行う必要があるかどうかを基準に判断するものである。明晰化の活用レベルには、語彙レベル・文法レベル・語用論レベルという 3 段階があるが、起点テキストの語彙を別の語彙に変換する場合は「語彙レベル」、起点テキストの統語論的な要素を変換する場合は「文法レベル」、そして前後の文脈に合わせて、起点テキスト全体を整理し、適切に変換する場合は「談話レベル」と捉えている。また、ストラテジーの利用目的は主に目標テキストの自然さ確保のためであるか、または意味明確化のためであるかを基準に判断・認定されるものである。以下、それぞれの特徴・性質について、具体的なデータや例を用いて考察する。

5.1.1.2.1 必然性について

本研究の通訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性を示すデータを以下の図 8 にまとめる。

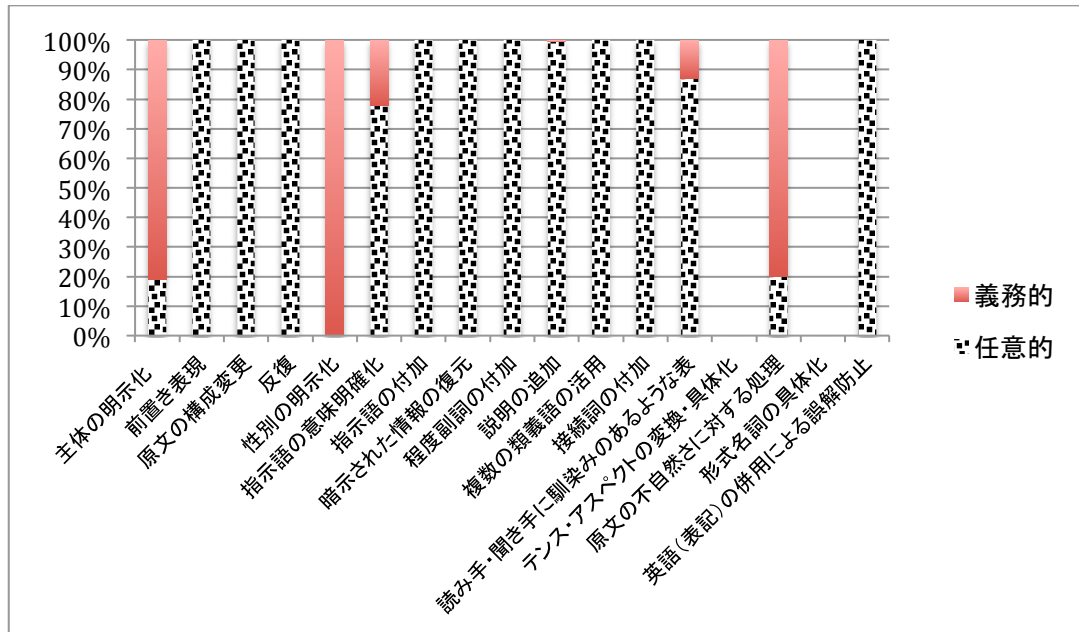


図 8 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性

図 8 により、明晰化の大半は任意的に活用されていたことが分かった。なお、この傾向から外れたストラテジーもある。それは「主体の明示化」、「性別の明示化」及び「指示語の意味明確化」、「原文の不自然さに対する処理」、「読み手・聞き手に馴染みのある表現への変換」、「説明の追加」である。

5.1.1.1 節でも説明したが、ベトナム語は主語・主体を明示しなければ意味不明、または失礼な話し方だと思われるのに対し、日本語では主語・主体の省略が非常に多いというように、主語・主体の省略・明示という点において二言語には大きな相違がある。これは 日本語-ベトナム語の通訳に活用された「主体の明示化」の強い義務的な性質の裏付けになると言っても良いだろう。なお、「主体の明示化」であれば、必ずしも義務的に使われたストラテジーとして認定できるわけではない。図 8 を見れば分かるように、このストラテジーの約 20%は任意的に活用され、つまり主体を明示しなくても聞き手に違和感を与えたり、誤解を招いたりするわけではないケースである。任意的な「主体の明示化」が現れる場面はどのようなものであるかデータと照合したところ、以下のような例が見られた。

例 1 :

話者 JP01 私が発表した、あと、えーと、質問、受けるんですか?。

通訳 JV01 Cho/ tôi /hỏi/ một chút/ ạ/&,,
【私はちょっと質問させて頂きたいですが】

→「前置き表現の活用」のストラテジー

通訳 JV01 Sau khi/tôi/ phát biểu/ xong/ thì/ tôi/ sẽ/ nhận/ những/ cái câu hỏi/ từ/ phía
thính giả/ đúng không ạ??。

(させて下さい/私/質問する/ちょっと/(丁寧な態度を表す言葉)/後/私/
発表する/終わる/では/私/(未来テンス)/受ける/(複数形)/質問/から/
視聴者側/でしょうか?/)

【私が発表した後には私は視聴者からの質問を受けるんですよね?。】

→ 「主体の明示化」のストラテジー

以上の例では、「質問を受けるんですか」という起点テキストに対し、通訳者は質問を受ける主体を明示したが、この場合の通訳文は複文であり、「前節」に「私」という主体が明示されたため、「後節」において主体を省略しても文の意味や丁寧さが変わらないということになる。そのために、この場合に活用された「主体の明示化」は義務的ではなく、任意的なものとして認定できるのである。

「主体の明示化」と同様に、相手または第三者の性別を明示するかどうかという点についても日本語とベトナム語は大きく異なっている。ベトナム語は相手を指す呼称を選択する際に、相手の性別を考慮し、その性別を明示する場合が多いのに対し、日本語では性別を問わず、相手のことを「名前+さん/様・・・」と呼ぶため、日本語-ベトナム語の通訳者は必ずこの特徴に合わせて「性別の明示化」のストラテジーを行わざるを得なくなる。そのため、本研究で観察できた「性別の明示化」の義務的な性質が強いのも想定内のことであろう。

「原文の不自然さに対する処理」に関しては、「義務的」と「任意的」は 80%対 20%になっているが、通常、原文が不自然であればその不自然さを自然な形に調整した上で訳するのが当然なので、義務的であると思われがちである。これについて詳しく要因を調べるために、具体的なデータを調べたところ、通訳全データにおいてこのストラテジーが使われたのはわずか 5 回だけであり、そのうち「義務的」と「任意的」な性質を持つものは 4 対 1 ということが判明した。起点テキストに不自然な部分があれば、当然処理しなければならないと思われがちだが、この研究では、その処理が任意的に行われた場合もあった。任意的に行われる「原文の不自然さに対する処理」とはどのようなものか、以下、実際の通訳データを示し説明したい。

例 2 : 【義務的】

- 話者 VN05 Vâng,/ xin/bà/ hãy/ sử dụng/ ngôn ngữ/ powerpoint/ để/ phát biểu/。
(はい/お願いします/あなた/(命令形:て下さい)/使用する/言語/パワー
ポイント/ため/発表する)
【はい、あなたはパワーポイント言語を発表のためにお使い下さい】
- 通訳 VJ05 あの、パワーポイント&,→「原文の不自然さに対する処理」
- 通訳 VJ05 は、あの、是非使って頂きたいです。→「聞き手・読み手に馴染みのある
表現への変換」

例 3 : 【任意的】

- 話者 JP05 はい、そうすると、まずそれは、ほかの外国、日本、日本の企業じゃない外
国の企業から、一つですね(うん)(うん)。
- 話者 JP05 もう一つは[↑]、MPI からですか?。
- 通訳 JV05 Ủm,vâng/ vậy thì là/ sau khi/ chúng tôi/ phát biểu xong/、 thì/ có/ cái,
những/ cái câu hỏi/ từ/ những/ cái doanh nghiệp/ nước ngoài/, tức là/ không
chỉ/ của/ Nhật Bản/ không mà còn/ của/ các cái doanh nghiệp/ nước ngoài/
khác nữa/ đúng không ạ/?。
(うん、はい/では/後/私たち/発表し終わる/ですが/ある/(複数
形)/質問/(複数形)/企業/外国/つまり/だけではなく/の/日本/
でも/の/企業(複数形)/外国/他/でしょうか?/)
【うん、はい、では私たちが発表した後に外国企業、つまり日本だけ
でなく、ほかの国の企業からの質問もあるということですね】
→「原文の不自然さに対する処理」
- 話者 VN05 Dạ vâng/ đúng rồi ạ。(はい、その通りです)
Và/ một/ cái loại/ câu hỏi/ nữa/ là/ câu hỏi/ từ/ Bộ kế hoạch và đầu tư/hay/
là/ thế nào ạ/?。
- 通訳 JV05 (そして/一つ/種類/質問/もう/は/質問/から/投資計画省/または/
どうなるでしょうか?/)
【そして、もう一つの種類の質問は投資計画省からですか、またはどうなり
ますか】

例 2 では、ベトナム人の話者 VN05 は「パワーポイント言語」という表現を使っていたが、この表現の仕方は明らかに冗長であり不自然である。このまま訳すと、聞き手を戸惑わせ、場合によっては通訳者がおかしい表現を使ったと聞き手を誤解させる可能性があるため、通訳者は「言語」という不自然な部分を省き、言い方も日本人に馴染みがある表現に直し、相手に伝えた。不自然な部分の省略という対応はこの研究で提示した定義に基づき、「原文の不自然さに対する処理」と認定した。そして、この場合の対応は行わないと誤解・戸惑いをもたらす可能性があるため、義務的な性質を持つストラテジーとして捉えられた。一方、例 3 では、話者間で話題に関する共通理解がある程度あったものの、日本人の話者 05 の話し方ではややこしく、不自然なところがあるように聞こえる。通訳者は話者 05 の伝えたい内容を把握し、余計で不自然な部分を省き、自然なベトナム語で通訳したと思われる。なお、この場合では、以上に説明したように話題に関する共通理解がある程度出来ているため、この原文の不自然さを残しながら通訳しても相手の誤解を招く可能性が低いと思われる。その意味で、この場合の工夫は義務的ではなく、任意的なものとして認定された。

以上で考察した「主体の明示化」と「性別の明示化」、「原文の不自然さに対する処理」は義務的な性質が強いだろうと既に想定されていたが、これらのストラテジー以外に義務的な性質を示した明晰化がほかにもある。それは「指示語の意味明確化」、「説明の追加」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」である。以下、これらのストラテジーが必然性が高い形で活用されたのはどのような場合であるか、具体例を示し、解説する。

例 4 :

- | | |
|---------|---|
| 話者 JP02 | そして直面している困難は何か。 |
| 話者 JP02 | そして三つ目はそれを乗り越えるための対策、どのようなものだったか。 |
| 話者 JP02 | 四つ目は、あの一、これ、四つ目は何でしたっけ?。 |
| 通訳 JV02 | À, /tôi/ xin/...hỏi/ lại/ một chút/ ạ. (私はちょっと確認させて頂きたいですが)
(あ/私/お願いします/質問/もう一度/ちょっと/(丁寧な終助詞)/) |
| 通訳 JV02 | Thứ nhất là cái nội dung của tôi&,, 【一つ目は私の内容は】
(一番目/は/内容/の/わたし/) |
| 通訳 JV02 | là/ thứ nhất/ là/ khái quát/ về/ lịch sử/ của/ công ty/ chúng tôi/ này/。) 【一つ目は我が社の歴史についての概要】
(は/一番目/は/概要/について/歴史/の/会社/私たち/ですね/) |

- 通訳 JV02 Thứ hai/ là/ những/ cái khó khăn/ mà chúng tôi/ đang gặp phải/ là/ gì/ &,,
 【二つ目は我々が直面している困難】
 (二番目/は/複数形/困難/私たち/直面している/は/何か/)
- 通訳 JV02 đúng không ạ. 【ですね?。】
- 話者 VN02 Dạ vâng. 【はい、そうです】
- 通訳 JV02 Thứ ba/ là/ để/ vượt qua/ những/ khó khăn/ đó/。
 【その困難を乗り越えるため・・・】
 (三番目/は/ため/乗り越える/複数形/困難/その)
 → 「指示語の意味明確化」

例 4 で見られるように、話者 JP2 は今直面している困難という表現を指すために、指示語の「それ」を使っていた。日本語ではこのような表現の仕方はよくある。しかし、ベトナム語に訳す時に、「それ」をそのまま訳すと、とても不自然であり、意味不明だと指摘される可能性もある。そのリスクを予想した通訳者は文脈を踏まえ推論し、「それ」の意味を「その困難」というように明示化した。このような意味の明示化は明確性を高く求めるベトナム語目標テキストには必須であるという理由で、本研究では義務的な性質を持つ明晰化として認定された。

例 5 :

- 話者 JP05 えーと、そうですね、当日は...、シェラトンへ行くんですが、すみませんが、あの...、私の会社まで迎えに来てもらえませんか?。
- 通訳 JV05 Trước đó/thìtôi/, xin cho phép/ tôi/ có/ một/ cái câu hỏi/ là/, &,,
 【その前に私は、一つの質問をさせて頂きたいですが】
 (その前に/私/させて頂き/私/ある/一つ/質問/は)
- 通訳 JV05 hôm đó/ tôi/sẽ/ phải/ phát biểu/ tại/ khách sạn Sheraton/, đúng không ạ?/。
 【当日私はシェラトンホテルで発表しますよね?。】
 (当日/私/将来のテンスを表す詞/しなければならない/発表する/において/シェラトンホテル/間違いないですね)
- 話者 VN05 Dạ vâng. (はい)
- 通訳 JV05 Nhưng mà không biết là bên phía Bộ kế hoạch và đầu tư có thể cho xe đến đón tôi đến khách sạn đó được không?。
 【でも、あ、投資計画省に車を手配して、ホテルまで私を送って頂くことができませんでしょうか】→ 「説明の追加」

例 5 では、話者 JP05 は発表依頼側に車の手配をお願いするために、「私の会社まで迎えに来てもらえませんか」というような言い方をしたが、このまま訳すとベトナム人の聞き手は日本人の相手がホテルの住所が分からないため、ホテルまで一緒に行って欲しいということなのか、あるいは、相手は発表者に対するサービスを求めるということなのか、依頼側の車で移動するのか、日本人の相手の車で移動するのか、ニュアンスを判断しにくい可能性がある。その分かりづらさをなくし、話者 JP05 の言いたいことが聞き手に伝わるように通訳者は説明を上記のように追加した。通訳データで見られた追加の説明は 99% 任意的なものであるが、この場合に限って必要性が特に高いと見て、義務的なストラテジーとして認定した。

例 6 :

話者 JP01 Xin cảm ơn bà đã tới dự buổi họp ngày hôm nay。【あなたに本日の会議に出席したことにお礼を申し上げます】

通訳 VJ01 まずあの、本日の、あの、会議に出席して頂いてありがとうございました。

話者 JP01 いいえ、こちらこそ。

通訳 JV01 Rất là, chính tôi mới là người phải cảm ơn anh vì mời tôi đến đây ạ。
【私こそ、あなたにここへお招き頂き、ありがとうございます】→「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」

例 6 は「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」が義務的に活用された一例である。日本語では「こちらこそ」または「宜しくお願い致します」というような表現がコミュニケーションにおいて欠かせないほどの決まり文句として使われているが、その反対にベトナム語ではこのような表現がない、または、殆ど使われていないものである。そのために、例 6 で見られるように、日本人の話し手が「いいえ、こちらこそ」と話した時に、通訳者がそのまま訳しても日本語の発言の丁寧さ、謙遜さは伝わらないだろう。この二言語のギャップを認識している通訳者はその意味合いが十分に伝わるようなベトナム語の表現にした。このような場合において、通訳者の工夫があるかどうかによってメッセージの伝達効果が大幅に変ってくるため、義務的なストラテジーとして捉えられたのである。また、このストラテジーは意味明確化というより、むしろ目標テキストの自然さを確保するために使われることが多いと想定されているため、必然性がさほど高くないであろうと予想されたが、本研究での通訳データで観察できたこの明晰化のうち、13%もの割合で

義務的な性質を持っていることが判明した。これはこのストラテジーの必要性が極めて高いということを示唆していると言っても良いであろう。

上記の明晰化のほかには、残りの 9 つのストラテジーは全て任意的な性質をもって活用されていた。続いて、各ストラテジーの活用レベルについて分析・考察する。

5.1.1.2.2 活用レベルについて

通訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベルの分析結果は以下の図 9 に提示する。

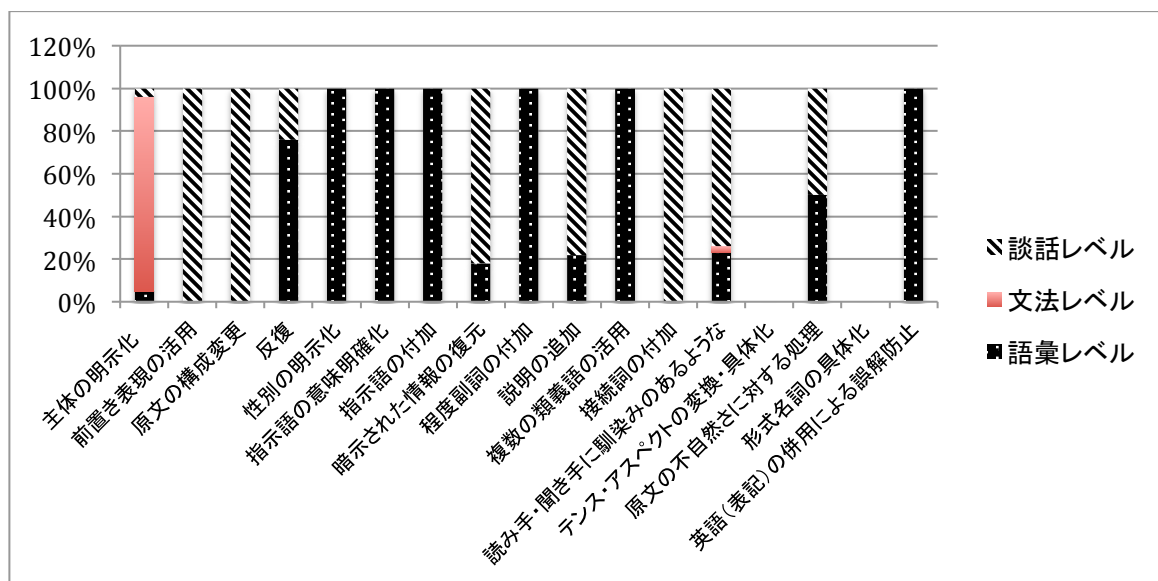


図 9 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベル

図 9 から文法レベルで活用された明晰化ストラテジーが最も少ないということが分かった。このレベルで活用が多い明晰化は「主体の明示化」(91%) だけであり、割合が極めて低いが、活用があったのは「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」(3%) である。また、文法レベルで活用される可能性が高いと想定された「テンス・アスペクトの変換・具体化」や「形式名詞の具体化」は今回の通訳データでは観察できなかった。「主体の明示化」が多く出現し、且つ義務性が高いのは、日本語とベトナム語の主語明示・省略の特徴が大きく異なっているからであるということについては 5.1.1.2.1 節で説明した。そのために、このストラテジーの活用が主に文法レベルであることは想定内の結果である。しかし、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」は文法レベルでも活用されることがあることは想定されなかった。そのため、本研究で観察できた文法レベルでの「読み手・

聞き手に馴染みのあるような表現への変換」とはどのようなものであるか詳しく調べた。以下の例を抽出し解説する。

例 7 :

話者 VN01 Vâng, chúng tôi/ sẽ/gửi/ ngay lập tức. 【はい、私たちはすぐ送ります】

(はい/、私たち/未来を表すテンス/送る/すぐに)

通訳 VJ01 ま、あ、すぐお送りします。→「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」

例 7 では、話者 VN01 の発言ではベトナム語らしく「私たち」という主語が明示された。しかし、日本語ではこのように主語を明示するのは場合によっては冗長で不自然に聞こえるだろう。この場合は、通訳者が適当に主語の省略を行うことによって意味が十分に伝わり、日本人の聞き手に馴染みのあるような表現を作り出せたと見られる。この場合の工夫は二言語の文法的な特徴のギャップを埋めようとするためのものであるため、文法レベルでの活用として捉えられた。

談話レベルと語彙レベルについては、図 9 を見るといずれも活用頻度が高いことが分かるだろう。なお、よく観察すると談話レベルのみ、もしくは語彙レベルのみのストラテジーもある。談話レベルのみのストラテジーとしては「前置き表現の活用」、「原文の構成変更」、「接続詞の付加」があり、語彙レベルのみの明晰化は「性別の明示化」、「指示語の意味明確化」、「程度副詞の付加」、「複数の類義語の活用」、「英語（表記）の併用による誤解防止」が見られる。

「前置き表現の活用」と「原文の構成変更」は、確かに前後の文脈を踏まえて、単語という単位ではなく、語彙を超えるレベルでしか行われれないという仮説が立った。語彙を超えるレベルだと、文法レベルと談話レベルがあるが、「前置き表現の活用」を使うかどうかは統語論とは関係がありそうもないため、「前置き表現の活用」が文法レベルで活用されないことが想定されるのである。従って、このストラテジーが談話レベルでしか活用されないという結果は仮説に合っているものである。「原文の構成変更」は上述のように語彙レベルでは活用されにくい、文法のギャップによって生み出されるという可能性がないことはない。本研究ではその活用レベルが見られないというのは、その可能性があっても低いのではないかという結論に結びつくであろう。なお、「接続詞の付加」は語彙レベルのものがメインであろうと想定されたが、分析の結果として（「接続詞の付加」の）活用の 100%が談話レベル

であった。談話レベルでどのような形で現れているかを以下の具体例によって考察したい。

例 8 :

話者 VN02 Về/ phía bài phát biểu/ tới đây/ của/ doanh nghiệp 「社名 1」 /trong/ hội thảo
/thì/ Bộ kế hoạch và đầu tư/ có/ một số/ cái gợi ý/ về/ nội dung/ như sau/。

【セミナーにおける「社名 1」企業の今後の発表について、投資計画省は次のように内容に関するいくつかのヒントがあります】

(について/発表/今度/の/企業「社名 1」/における/セミナー/ですが/投資計画省/ある/いくつか/ヒント/について/内容/次のように/)

通訳 VJ02 っで、続きまして、あの一、まあ、セミナーでの発表、ま、貴社の発表、の内容なんすけども、お一、いく、いくつかの内容について、ま、ちょっと相談させていただきます。→ 「接続詞の付加」

この例で通訳者は「っで、続きまして」という接続詞を追加した。この接続詞は話し合いの進行においてよく使われており、相手に自分が話を先に進めていくことを知らせる機能がある。そのために、選択される接続詞は前後の文脈に合っており、前後の語句ではなく、前後の文、節を適切に結ぶのに適していなければならない。それ故、追加されるのは形式上、語彙レベルの単語ではあるが、活用レベルとして談話レベルだと判断したほうが相応しいであろう。即ち、このストラテジーの活用レベルの判定については確かに判断が難しいところがあることを認める。なお、本研究ではストラテジーとして使われた接続詞の機能や要件を考慮し、談話的レベルでの活用だと認定された。

次に語彙レベルの活用しかないストラテジーとしての「性別の明示化」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」、「程度副詞の付加」、「複数類義語の活用」、「英語（表記）の併用による誤解防止」について検討したい。これらのストラテジーは名称から見てもイメージしやすいように、指示語・相手の名前に暗示された意味・情報を明示的に表したり、指示語・程度副詞（とても、非常に、極めて等）を活用することによって話し手の言いたいことをより明確に表し、類似の意味を持つ単語を複数使用するか、または同じ意味を表す英語の単語を追加することによって、原文の語彙の意味を間違いなく伝えられるようにしたりする工夫である。その意味で、形式や機能はいずれも語彙レベルであると捉えられる。そのために、データ分析で出た結果は深い考察も必要なく解釈しやすいものである。ただし、本

研究で設定された場面は、難しい専門用語が使われておらず、不慣れな内容の話し合いでもないほか、更にベトナム人役を演じる話者は明瞭な話し方をしたために、通訳者は以上のストラテジーを積極的に活用しなくても済んだと考えられる。逆に通訳者の癖または時間稼ぎを目的にこのストラテジーを使ったと見られるケースもあった。これについては意識調査の結果を踏まえてより深く掘り下げたい。

最後に談話と語彙という二つのレベルでの活用があるストラテジーについて考察したい。活用レベルが混じったストラテジーとしては「反復」、「暗示された情報の復元」、「説明の追加」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現」、「原文の不自然さに対する処理」が挙げられる。その中で、語彙レベルの活用性がより強いのは「反復」である。「原文の不自然さに対する処理」はどちらとも言えず両者の活用レベルが同じぐらいの割合で出ている。それ以外のものは、談話レベルの活用性が圧倒的に強いように見える。

「反復」は定義通り同じことを繰り返すことであるため、殆どの場合はある語句の繰り返しであろうと想定された。なお、本研究では談話レベルでの反復も見られた。加えて 1、2 回の頻度のみならず総回数 19 回に対する 6 回の頻度であった。談話レベルでの反復はどのようなものであるか、以下の例を見てみよう。

例 9 :

話者 VN01 <À, điều >{>} thứ nhất/ là/ giới thiệu/ khái quát/ về/ doanh nghiệp/ (はい)。

【あ、一つ目は企業についての概要紹介です。】

(あ、一番目/は/紹介/概要/について/企業/)

話者 VN01 Cái thứ hai/nửa/ là/ những/ cái khó khăn/ ban đầu/ của/ doanh nghiệp/ khi/ mới vào/ thị trường/ Việt Nam/(はい)。

【二つ目は企業がベトナム市場に進出した最初の時の困難です】

(二番目/も/は/複数形/困難/最初/の/企業/時/入ったばかり/市場/ベトナム/)

話者 VN01 Cái thứ ba/là/ các biện pháp/, và/ đối sách/ nhằm/vượt qua/ khó khăn/ tại/ thời điểm/ đó/。

【三つ目は当時困難を乗り越えるための方法と対策です】

(三番目/は/方法/と/対策/ため/乗り越える/における/時点/その/)

話者 VN01 Cái thứ tư/ đó/ là/ những/ cái khó khăn/ còn tồn tại/ đối với/ doanh nghiệp/(はい)。

【四つ目は企業にとってまだ存在している困難です】

(四番目/その/は/複数形/困難/残っている/に対する/企業/)

話者 VN01 Điều thứ năm/ là/ thuận lợi/ và/ ưu thế/ của/ môi trường/ đầu tư/ ở tại/ Việt Nam/(はい)。

【五つ目はベトナムでの投資環境の利便性と優越性です】

(五番目/は/利便性/と/優越性/の/環境/投資/における/ベトナム/)

話者 VN01 Và điều thứ sáu/, điều cuối cùng/ là/ kiến nghị/ của/ doanh nghiệp/ đối với/ chính phủ/ Việt Nam/(はい)。

【そして六つ目、最後の点はベトナム政府に対する企業の要請です】

(そして六番目/最後/は/要請/の/企業/に対する/政府/ベトナム/)

通訳 VJ01 <少し笑う>ちょっと多いんですが(はい)、あの、六つあります。

話者 JP01 あーはい。

通訳 VJ01 っで、ひとつは(うん)ぜひ&,

通訳 VJ01 御社の概要について(はい)、あの、紹介(うん)とか、頂きます(はい)。

通訳 VJ01 で、次は最初の時間、あ、最初の時期ですね、ベトナムに投資してはじめてのころは、何か困難にぶつかったとか(あー)&,

通訳 VJ01 ぜひ、ほかの企業に教えて頂きたい。

通訳 VJ01 それから、その困難の対策(はい)、対策についても(うん)&,

通訳 VJ01 もう、それは三つ目ですね(はい)。

通訳 VJ01 もう一度言います(はい)。

通訳 VJ01 ひとつ目は概要(はい)。

通訳 VJ01 っで、三番目はその困難の(うんうん)対策(はい)。

通訳 VJ01 で、あの、四番目は今まだ存在している問題点について(は一、あ、あ)。

→「反復」

以上の例を見ると、ベトナムの話者 VN01 は途中で切らずに発表者に依頼したい発表内容の提案を言い続けていたことが分かる。通訳者は聞き手に配慮し、一点一点分かりやすい話し言葉で伝えた。更に、聞き手がメモしきれないのを心配し、一点目から三点目までを繰り返した。繰り返す前に「もう一度言います」というお知らせをした。このような反復は明らかに語彙レベルを超え、談話レベルになっている。

「原文の不自然さに対する処理」に関しては、原文の不自然さのレベルに応じてその処理のレベルも変わる。そのために、筆者はこの種のストラテジーでは三つの

活用レベルが見られると期待していた。しかし、本研究の通訳データでは談話レベルと語彙レベルの不自然さの問題しか発生しなかった。それぞれはどのような問題や対処であったか、1.1.2.1 節の例 3（談話レベル）と以下の例 10（語彙レベル）を参照されたい。

例 10：

話者 JP01 はい、じゃ、これから、何か、あの、質問があったら、チエンさんにしますが
(はい)、えーと、日本語はだめでしょう？。

通訳 JV01 À/ ví dụ như/ sau/ cái buổi họp/ ngày hôm nay/ tôi/ có/ câu hỏi/ gì/ thì/ tôi/
gửi/mail/cho/ anh Chiến/ là/ được/ đúng không a??。

【ええ、例えば本日の打ち合わせの後に、もし私は何か質問があったらチエンさん（性別明示）にメールを送ればいいということですね？】
（あ/例えば/後/会議/本日/私/ある/質問/何か/なら/私/送る/メール/に/チエンさん/は/いい/ですよ）

→ 「原文の不自然さに対する処理」

例 10 の話者 JP01 は「チエンさんにしますが」という表現を使っていた。前後の文脈ではチエンさんに何をしたいのか理解できないことはないが、明らかに不自然な話し方である。更に明確性を高く求めるベトナム語に訳す際にその不自然さを残したままだと、意味不明で、且つ不自然なベトナム語にもなる。そのために、通訳者が「します」という動作を「メールを送る」というように具体化したのは適切な対処であると考えられる。この場合の処理は「します」という動詞に対するものなので、語彙レベルのストラテジーとして認定されたのである。

続いて活用レベルが混合しているが、談話レベルの活用が圧倒的に多い「説明の追加」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「暗示された情報の復元」について考察する。

先にも説明したように、本研究で設定された場面は専門用語がないため、話し手の使った単語についての説明の追加が多く見られる可能性が低いと想定された。それに対して、談話レベルの説明の追加は通訳者の伝達能力（表現力が豊富であるほど起点テキストに最適な表現を簡単に見つけられる）、スタイル（冗長に伝える通訳者もいれば、簡潔に伝える通訳者もいる）、話し手の話し方（一回も止まらず話し続けるか、一点ずつ簡潔に話すか）等の様々な要素に左右される。従って、話し合いの内容が難しくなく、通訳者はその内容を理解できたとしても、話し手の言語

形式を放棄し自分の理解を自分の選んだ言語形式に変換する際に、追加の説明（談話レベル）を行う場合が多々ある。これはまさに Seleskovitch (1968,1978)が提案した通訳プロセスの通りである。そのため、「説明の追加」に関する分析結果は想定内のものであり、しかも Seleskovitch (1968,1978)の実証に繋がるという意味もある。

「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」に関しても、「説明の追加」と同様に談話レベルの活用が 74%もある。本研究の予備調査段階では、筆者は「対応する概念・表現がない場合の対応」をこのストラテジーとは別のものとして分類したが、性質が類似するところが多く、分類を簡素化するために、同じグループに入れた。そのために、このストラテジーが活用されたのは基本的には二通りのタイプがある。一つは話し手の言語・文化にはあるが聞き手の言語・文化にない表現・概念、または通用されない表現・概念がある場合への対応であり、もう一つは直訳しても良いが、故意に聞き手の言語・文化の特徴に合わせて、聞き手に馴染みのあるような表現にする場合である。前者は語彙レベルの活用が多いのに対し、後者は談話レベルが多いと見られる。以下、それぞれの具体例を提示する。

例 11：（語彙レベル）

通訳 VJ01 今回のセミナー、あの、の際に、ぜひほかの企業に教えてとか、説明とか、あのお願い致します(はい)。

話者 JP01 あはい、恐れ入ります。

通訳 JV01 Rất là/ cảm ơn/ anh/。(はい、どうもありがとうございます)

【とても/感謝する/あなた/】

→ 「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」

例 12：（談話レベル）

話者 VN02 À/ xin/ doanh/ xin/ bà 「JP01 姓」/hãy/ chuyển/ phần nội dung/ của/ bài phát biểu/ sắp tới/ cho/ người phụ trách/ trước/ 2 tuần/ , trước khi mà/ hội thảo/ diễn ra/。

【「JP01 姓」さんに今度の発表の内容を担当者にセミナーが行われる 2 週間前に送るようお願いします】

(あ/お願いします/ #/お願いします/「JP01 姓」さん/(命令形:て下さい)/送る/内容/の/発表/今後/に/担当者/前/2 週間/前/セミナー/行われる/)

通訳 VJ02 それですね(はい)、あの、発表原稿が出来ましたら、われわれの担当者に(はい)送って頂ければと思います(はい)。→ 「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」

通訳 VJ02 で、セミナーの、セミナーが行う2週間前に、

例 11 では、話者 JP01 は「恐れ入ります」という日本語の決まり文句を使い、相手に対する「申し訳ないながら有り難い」気持ちを表したが、ベトナム語ではこれにぴったり相当する表現が存在しない。そのために、通訳者は話し手の有り難い気持ちを伝えようとして、「どうもありがとうございます」という代替表現を選択した。これは二言語間の語彙的なギャップだと見られ、このギャップに対する処理も語彙レベルの対処として捉えられた。それに対して、例 12 では通訳者は単純な代替表現を選択したのではなく、日本人相手の言語・文化の特徴を十分に配慮し、メッセージの意味の伝達を確保しながら、聞き手の気持ちを害しないように通訳したと思われる。具体的には、「出来ましたら」というような表現は、相手に対する依頼の義務性を和らげ、且つ「送って頂ければと思います」という丁寧な言葉遣いは相手に対する敬意を表せる効果があり、起点テキストの話し方より相手の言語・文化により相応しい伝え方だと見られる。このような工夫が必要なのは日本語とベトナム語が敬語システムにおいて大きく異なるからでもある。そして、明らかにこのような対処は語彙レベルや文法レベルではなく、談話レベルのものである。通訳データで観察できたこの戦略の談話レベルのものは殆どこのようなタイプに当てはまっている。

5.1.1.2.3 利用目的について

本節の冒頭で断っておきたいが、本研究で考察対象とする明晰化戦略の各項目の中では、「利用目的」の判断・認定が最も困難なものである。業務中の大きなプレッシャーの下では戦略の利用目的をはっきり意識してられる通訳者は殆どいないのではないかと思われる。しかし、以上の事実を認識していながらも、筆者が故意にこの項目を考察対象に入れたのはこの戦略の更なる効果的な活用を目指すためである。それぞれの戦略の性質（必然性、活用レベル）のみならず、実際の主たる利用目的を把握することによって、通訳者はより的確に明晰化の機能を活かせるようになるのではないかと期待する。

また、利用目的の判断・認定は難しいが、ある程度明確な定義を提示しておけば、認定者間の共通理解が図れると思われる。その観点から、認定結果の一致率を計算

したところ、ほぼ信頼できる一致率が得られた。一方、判定が難しいところ、面白い発見に繋がりそうな箇所については通訳者への意識調査で詳しく調べる。これによって研究の主観性が高い部分に関してもある程度客観性を保てるようにする。

通訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的の分析結果は以下の図 10 にまとめられた。

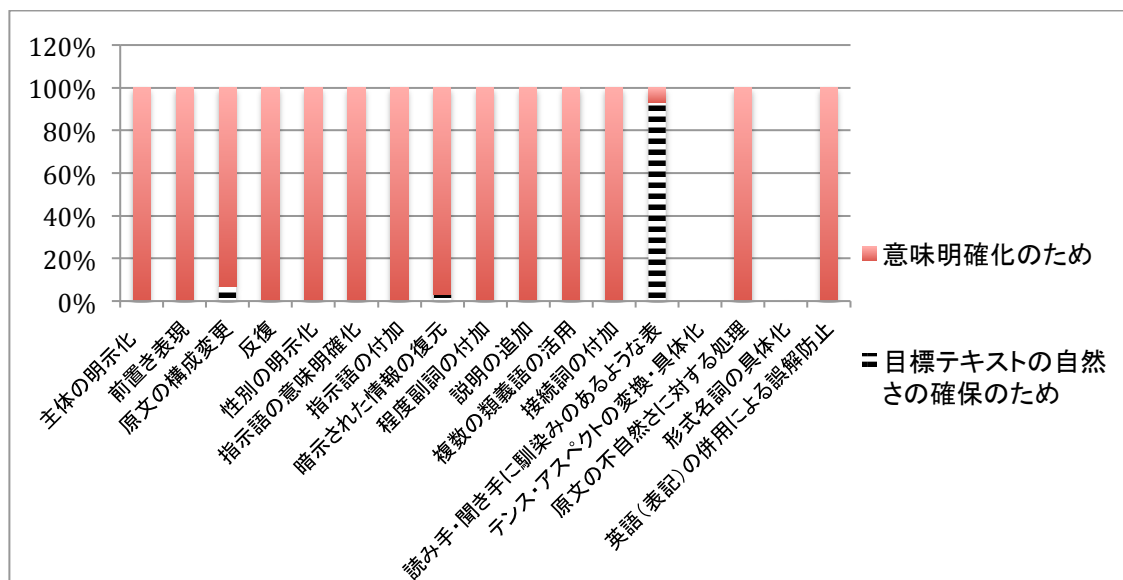


図 10 通訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的

全体的には「意味明確化のため」という利用目的の割合が圧倒的に多いという明白な結果が得られた。なお、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」というストラテジーだけは 90%以上も「目標テキストの自然さの確保のため」という目的で利用されている。また、わずか数パーセントではあるが、「原文の構成変更」や「暗示された情報の復元」にもこの利用目的が見られた。

「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」については 5.1.1.2.2 節でも比較的詳しく解説したが、メッセージの伝達を確保するのみならず、聞き手の聞く・理解するという行為の負担を最大限に軽減するためのストラテジーである。それ故に、「意味明確化のため」という目的が完全にはないというわけではないが、「目標テキストの自然さの確保のため」という目的のほうが重視されるものであらうと考えられる。そのため、この分析結果は仮説に合っているものである。一方、「原文の構成変更」については、どの目的が多いかはそもそも筆者も想定できなかった。なお、「意味明確化のため」ならイメージしやすいが、「目標テキストの自然さの確保のため」と言えば、どのような場面になるか想像しにくいところもある。データを調べると、以下のような具体例が見つかった。

例 12 :

話者 JP04 これは、どの言葉でやれば宜しいですか？。

話者 JP04 この、日本語ですか？。

通訳 JV04 À/ thì là/ tôi/ có thể/ phát biểu/ bằng/ tiếng Nhật/ hay/ là gì ạ?。

【あ、私は日本語、それとも何語で発表すればいいですか？】

(あ/では/私/できる/発表する/で/日本語/それとも/なんですか?/)

→ 「原文の構成変更」

例 12 では、話者 JP04 は 2 つの文に分けて質問を出した。このまま訳しても意味伝達という面では全然問題がないと思われるが、通訳者 04 が処理したように、二つの文を一つにして新しい構成を作り出したほうが、簡潔に意味を伝えられるほか、目標テキストの自然さも増したと思われる。目標テキストの自然が増すのは意味明確化にも繋がると思われるかもしれないが、以上にも説明したように、このような場合はメインの利用目的が何かというと、「目標テキストの自然さの確保のため」であると考えて良いだろう。

「暗示された情報の復元」も 1 回のみだったが、「目標テキストの自然さの確保のため」という目的で利用された場面があった。それはどのような場面であるか、以下を参照されたい。

例 13 :

通訳 VJ02 是非「JP01 姓」様が、「JP01 姓」様に今回のセミナーに参加していただきしたいと思います。

話者 JP02 はい、喜んで参加させていただきます。

通訳 JV02 Vâng ạ, tôi cũng rất là vui lòng xin được dự buổi hội thảo(vâng) sắp tới ạ。

【はい、私も今度のセミナーに参加させて頂くことを大変喜ばしく思っております】

→ 「暗示された情報の復元」

例 13 では、通訳者は「今度のセミナー」という暗示された情報を明示した。文脈が極めて明瞭であるため、実際この明示を行わなくても意味が十分に伝わるはずである。しかし、ベトナム語で動詞だけで止めて、目的語を明確に示さないとやや不自然に聞こえる場合が多い。この場面も同様である。通訳者が何に参加するかという情報を明示しない文を伝えれば、そ

の文は中途半端に終わってしまったのだというイメージを聞き手に与える可能性が高いと思われる。そのために、ここで「今度のセミナー」という旧情報を復元することは必須ではないが、目標テキストの自然さを確保するために必要な工夫であるといえる。その理由で、この場合の「暗示された情報の復元」の明晰化は「目標テキストの自然さの確保のため」と認定されたのである。

この 3 つのストラテジー以外にはほかの明晰化はすべてが意味明確化のためであるという結果が出たが、この結果は本研究で設定された場面にに基づき収集したデータに限った結果であり、どの場面でもこのような絶対的な結果が出るとは限らないと断っておきたい。なお、ほかの研究で、若しくは、筆者が別のデータを用いて調べた際に「目標テキストの自然さの確保のため」という利用目的がこれらのストラテジーに見られるとしても、その出現割合は低いことが想定できる。

5.1.2 通訳者ごとに見られた明晰化ストラテジーの活用傾向

第 8 章の第 1 節で通訳データにおける明晰化ストラテジーの特徴全体についてまとめた。それを通じて、本研究で設定した場面で収録した通訳データではどのような明晰化ストラテジーが見られたか、それぞれのストラテジーごとの出現割合及び必然性、活用レベル並びに利用目的はどういう特徴を有するかが明らかにされた。本節では、通訳プロセスには一定の安定性があるものの、基本的には動的なものであるという論説を検証することを目的として、場面、要処理・要伝達の情報等通訳作業を取り巻く環境が大体同じようなものであっても、通訳者によって明晰化ストラテジーの活用状況が異なることを通訳データの分析によって解明していく。

まず、全体的な分析結果から見ても、ストラテジー活用頻度における通訳者による違いに気づくことができた。6 名の通訳者の中で、最も高頻度で活用したのは通訳者 6 (145 回) で、最も低頻度で活用したのは通訳者 4 (75 回) である。この差があったのは、通訳者 6 が特に「説明の追加」を多く活用した (50 回) のに対し、通訳者 4 はこのストラテジーをわずか 13 回しか使わなかったことが主な要因であると考えられる。ほかの 4 名は 94 回～118 回という幅で活用回数に変動している。ただし、活用回数と活用ストラテジーの実質的な効果は必ずしも相関関係を持っているとは限らない。

次に、対応を依頼された場面で活用した明晰化ストラテジー別の割合を通訳者ごとに比較するが、その結果は以下の表 13 に示されている。

表 13 通訳者別の活用した明晰化ストラテジーの割合と頻度

明晰化ストラテジー	通訳者1 (%/回)	通訳者2 (%/回)	通訳者3 (%/回)	通訳者4 (%/回)	通訳者5 (%/回)	通訳者6 (%/回)
主体の明示化	8.7 (9)	14.3 (16)	8.6 (10)	10.7 (8)	18.5 (20)	7.6 (11)
前置き表現の活用	17.5 (18)	20.5 (23)	17 (20)	24 (18)	13 (14)	11 (16)
原文の構成変更	11.7 (12)	13.4 (15)	7.7 (9)	13 (10)	9.3 (10)	10 (15)
反復	5.8 (6)	2.6 (3)	2.5 (3)	2.7 (2)	2.8 (3)	5.5 (8)
性別の明示化	1.0 (1)	1.8 (2)	0.8 (1)	0 (0)	1.9 (2)	1.4 (2)
指示語の意味明確化	1.0 (1)	0.9 (1)	0.8 (1)	1.3 (2)	0.9 (1)	2.7 (4)
指示語の付加	1.9 (2)	1.8 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.7 (1)
暗示された情報の復元	1.9 (2)	4.5 (5)	11 (13)	6.8 (5)	2.8 (3)	8.2 (12)
程度副詞の付加	3.9 (4)	0.9 (1)	1.7 (2)	4 (3)	2.8 (3)	3.3 (5)
説明の追加	23.3 (24)	13.4 (15)	30.6 (36)	17.4 (13)	19.3 (21)	33.8 (50)
複数の類義語の活用	0 (0)	2.6 (3)	0.8 (1)	1.3 (1)	2.8 (3)	2.0 (3)
接続詞の付加	1.0 (1)	6.3 (7)	0.8 (1)	0 (0)	0 (0)	2.7 (4)
読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	20.4 (21)	17 (19)	16.9 (20)	18.8 (14)	24 (26)	9.5 (14)
テンス・アスペクトの変換・具体化	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
原文の不自然さに対する処理	1.9 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.9 (2)	2.0 (1)
形式名詞の具体化	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
英語（表記）の併用による誤解防止	0 (0)	0 (0)	0.8 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

表 13 を通じて、まず通訳者全員における共通の特徴として、「主体の明示化」、「前置き表現の活用」、「原文の構成変更」、「説明の追加」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」のストラテジーが全体に対する大きな割合を占めていることが挙げられる。これは第 4 章の 4.3 の 4.3.1 節 (p.99) で提示された通訳全データにおける明晰化ストラテジー活用の全体傾向についての分析結果に合致したものである。「テンス・アスペクトの変換・具体化」及び「形式名詞の具体化」は全体結果の節でも示した通り、通訳者全員で活用回数が 0 であった。もう一点目に止まるのは、「性別の明示化」(0～1.9%)、「指示語の意味明確化」(0.8%～2.7%)、「指示語の付加」(0～1.9%)、「程度副詞の付加」(0.9%～4%)、「複数の類義語の活用」(0～2.8%)、「英語（表記）の併用による誤解防止」(0～

0.8%) のストラテジーグループが通訳者全員に共通して活用割合が非常に少ないということである。無論、このような頻度が少ないグループの中でも、通訳者によって多少の差異が存在しているが、大きな違いではないように見える。この結果は、通訳プロセスのある程度の静的な性質を示唆するのに関連づけられるだろう。即ち、大体同じ条件の下に置かれた場合は、通訳者が異なっても、発生する問題に対する対処方法の傾向はある程度共通しているということである。

以上は共通の部分について解析したが、次に異なる部分について深く掘り下げたい。まず、ばらつきが最も目立つのは、「暗示された情報の復元」(1.9%~11%) 及び「接続詞の付加」である。具体的には、通訳者 3 と通訳者 6 のデータで見られる「暗示された情報の復元」が 11%と 8.2%も占めるのに対し、通訳者 1 や通訳者 5 の場合は、この割合はわずか 2.0%と 2.8%である。「接続詞の付加」の場合は、同様に全体的な活用割合が 0~3%であるのに対し、通訳者 2 だけは 6.3%というやや高い割合でこのストラテジーを活用したと見られる。一方、活用割合が高いストラテジーグループに関しても、多少のばらつきが見られる。例えば、「主体の明示化」の場合は、通訳者 5 と通訳者 2 が 18.5%と 14.3%も高い割合で活用したのに対し、通訳者 6、通訳者 3 及び通訳者 1 の場合はわずか 7.5%、8.6%と 8.7%という半分ぐらいの割合になっている。同様に、「前置き表現の活用」(11%~20.5%)、「原文の構成変更」(7.7%~13.4%)、「説明の追加」(13.4%~34.2%)、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」(9.6%~24%) も同様に変動幅がかなり広いということが表 13 を詳細に見ると分かるであろう。頻度が少ないストラテジーグループに関しても、「反復」(2.5%~5.8%)、「原文の不自然さに対する処理」(0~1.9%) という結果が出たように、通訳者によって差異があるのは明らかである。

このようなばらつきが出た背景・要因について全体的に説明すると、総合分析結果でも示されたように、活用されたストラテジーの大半が任意的な性質を持っており、いわば必ずしも行う必要があるわけではないものが殆どである。そのために、ストラテジーを活用するかどうか、具体的にどういった形で活用するかは、やはり通訳者の経験・判断・言語能力・スタイル等、即ち「参与者的な変数」(図 4 を参照) によるところが大きいのだと考えられる。例えば、少し愛想が良くないように思われても構わず簡潔性を第一優先する通訳者の場合は、余剰だと思われがちな「前置き」、「説明の追加」などの工夫を行わない傾向があるが、配慮が良い通訳者の場合は、それほど分かりにくい原文ではなくても、聞き手の確かな理解を得られるように説明を加えたり、聞き手に馴染みのあるような表現へ変換したりするな

どの工夫を施す。また、言語能力は足りないが経験が豊であるため、なかなか適切な語彙が見つからない場合の対処として別の表現を使い冗長に説明する通訳者もいれば、言語能力が優れており、すぐ相当語彙を思い出せるので、簡潔に伝えられる通訳者もいる。実際の業務現場に入ると様々なバージョンが見られるだろう。なお、この背景・要因の詳細な考察は本章の第 2 節にて、通訳者の意識調査を踏まえて本格的に行いたい。

以上は通訳者による明晰化ストラテジーの活用率について分析・考察した。続いて、通訳者によって活用される明晰化ストラテジーの活用レベル、必然性及び利用目的が異なるかどうかについて分析・考察する。下の表 14 と図 11 を参照されたい。

表 14 通訳者別の活用した明晰化ストラテジーの
必然性・活用レベル・利用目的の割合

	活用レベル			必然性		利用目的	
	語彙レベル	文法レベル	談話レベル	義務的	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	意味明確化のため
通訳者1	25.20%	7.80%	66.70%	14.00%	86.00%	21.40%	78.60%
通訳者2	23.20%	12.50%	64.30%	16.00%	84.00%	17.90%	82.10%
通訳者3	18.60%	8.50%	72.90%	9.00%	91.00%	18.60%	81.40%
通訳者4	13.20%	10.50%	76.30%	13.00%	87.00%	13.20%	86.80%
通訳者5	25.90%	18.50%	55.60%	22.00%	78.00%	25.00%	75.00%
通訳者6	23.00%	6.80%	70.20%	8.00%	92.00%	10.80%	89.20%

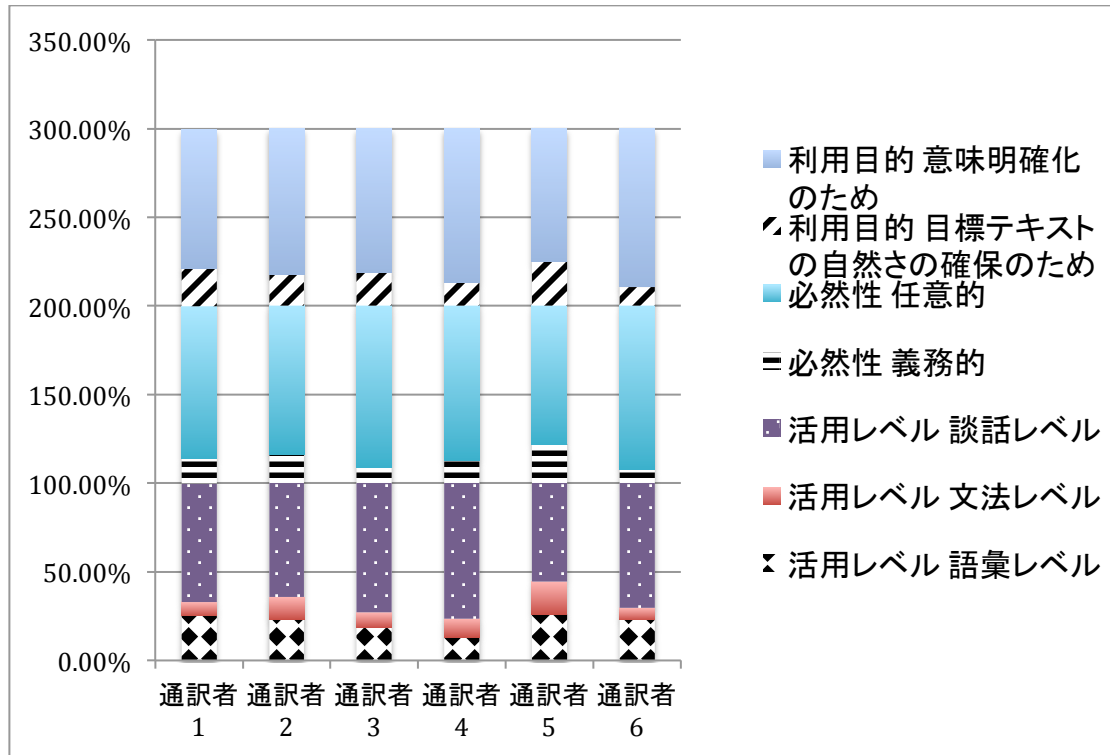


図 11 通訳者別の活用した明晰化ストラテジーの
必然性・活用レベル・利用目的の傾向

まず、図 11 を見ると通訳者全員に共通する傾向が分かるだろう。つまり、通訳者全員が活用した明晰化ストラテジーは大半が任意的な性質をもち、文法レベルの活用が少なく、談話レベルでの活用が主要であるほか、主な利用目的が意味明確化のためであるということが明らかになった。これも総合分析結果（5.1.1 節）に合致したものである。

しかし、表 14 の詳細な統計データを見ると、通訳者による微妙な違いが見られる。例えば、必然性に関しては 8%～22%という比較的広い幅で変動している。そのうち、通訳者 5 は 22%という比較的高い割合を示すのに対し、通訳者 3 と通訳者 6 ではわずかに 9%と 8%だけであった。通訳者 5 のデータを詳しく検討したところ、義務的な性質が強い「主体の明示化」が 20 回もあり、6 名の中で活用頻度が最も高かったことが分かった。一方、通訳者 3 と通訳者 6 の「主体の明示化」の活用頻度は 10 回と 11 回であり、通訳者 5 に比べて半分近く少ない回数であった。これは日本人とベトナム人の会話協力者が同じ内容であっても違う表現を使うため、主体明示化が必要になったり不要になったりする場合が多く、通訳者 5 が対応した会話では、確かに主体明示化が必要になる原文がほかの通訳者が対応した会話と比べ、やや多かったことが一つの要因として考えられる。そのほか、原文を忠実に訳すと、主体明示化

がそもそも義務的に必要なところではあるが、原文構成変更・省略等により不要になる場合もある。これも以上で得られた結果を導く一つの要因になり得るだろう。

また、明晰化ストラテジーの活用レベルについても通訳者による違いが観察できた。通訳者 5 は文法レベルで活用したストラテジーの割合が特に高かった（18.5%）。なお、これは以上の必然性についての分析・考察に合致した結果ではないかと思われる。つまり、通訳者 5 は主要な活用レベルが文法レベルである「主体の明示化」ストラテジーを一番多く活用したため、以上の結果を伴ったということである。ほかに、語彙レベルをみると、通訳者 4 は平均割合（約 20%）より比較的低い割合（13.2%）が出ている。そのかわり、この通訳者は談話レベルでのストラテジー活用割合が 76.3%にも及んだ。それに対し、通訳者 5 は 25.9%もの高い活用率に達しているが、談話レベルでの活用は 55.6%のみであり、6 名の中で最も低かった。その理由を究明するため、通訳者 4 のデータを詳しく調べたところ、通訳者 4 のストラテジー活用総回数が 76 回であり 6 名の中で最も少ないということが分かった。更に、その少ない回数の中で、活用レベルが主に談話レベルであるストラテジー（「前置き表現の活用」、「原文の構成変更」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「説明の追加」）だけでも合計回数が約 55 回になっている。その上、活用レベルが語彙レベルである場合が多いストラテジー（「指示語の意味明確化」、「性別の明示化」、「程度副詞の付加」、「指示語の付加」）等の合計回数は約 6 回だけである。これは、以上で分析して判明した結果の裏付けになるのではないかと思われる。通訳者 5 についても、同様に活用レベルが語彙レベルになりやすいストラテジーを平均より多く使っていることが以上の結果の裏付けになっている。

最後は利用目的の違いについての考察であるが、通訳者 6 は平均より「目標テキストの自然さの確保のため」が比較的低い割合を出している（10.8%＜平均約 18%）。その理由は、「目標テキストの自然さの確保のため」が主要な利用目的となっている「聞き手・読み手に馴染みのあるような表現への変換」のストラテジーの活用率（14 回＜通訳者 5 の最高活用回数 25 回）が低かったからである。

以上は表層的な背景・理由を考察したが、本質的な理由を究明するには、なぜこの通訳者はこのストラテジーを好んで多く使う傾向があるかを深く調査する必要がある。ただし、これは極めて難しいことである。本研究では、通訳者に対する意識調査を行い、それを通じて分析結果の背景・要因を解明しようと試みるが、そもそも明晰化ストラテジーの活用は無意識なものが多く、通訳者自身でもなぜストラテ

ジーを使用するのか分からない場合が多くあるため、深層における調査は難しいと思われる。

5.1.3 通訳方向によって異なる明晰化ストラテジーの活用傾向

5.1.2 節では通訳者という変数による明晰化ストラテジー活用への影響を考察した。本節では、通訳方向がいかにかこのストラテジーの活用を左右するかを明らかにする。

全体的なデータから見ると、越→日方向における明晰化ストラテジーの出現頻度は 393 回（59%）であるのに対し、日→越方向における明晰化ストラテジーの出現頻度は 272 回（41%）になっているため、全般的には越→日方向のほうが明晰化が多く活用されたように見える。なお、本研究の設定場面では依頼者側の役割を果たすのはベトナム人のほうであるため、ベトナム語の発話文数は日本語発話文数の倍程度であるとも言える。そのために、以上の数字だけでは、日→越方向のほうが明晰化が多用されたという結論を導けるかと言え、断言できない部分もある。

次に、図 12 を用いて、通訳方向によるストラテジーごとの詳細統計データを示し、比較してみたい。

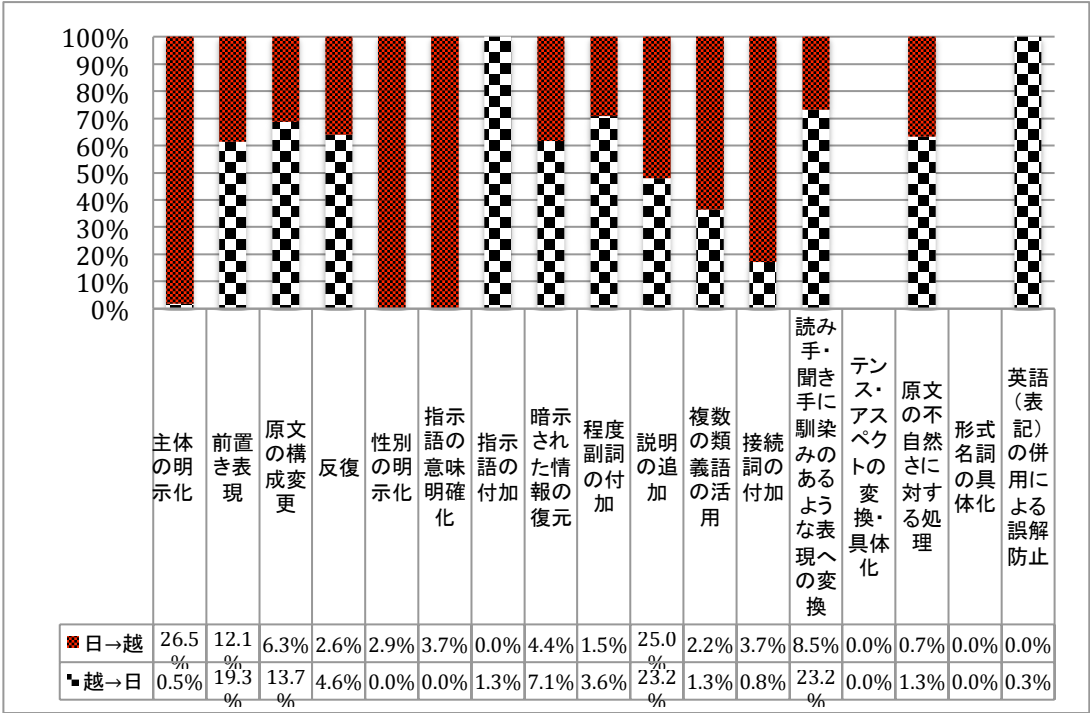


図 12 通訳方向別における明晰化ストラテジーごとの割合

図 12 を見ると分かるように、「性別の明示化」及び「指示語の意味明確化」は日→越方向にしか現れなかった。一方、「指示語の付加」及び「英語（表記）の併用による誤解防止」も越→日方向にしか見られなかった。その理由は、日本語とベト

ナム語は相手または第三者の性別を表す点で大きな違いがあり、ベトナム語では殆どの場合では義務的に性別を明示する必要があるのに対して、日本語ではほぼ逆である。そのために、「性別の明示化」が日→越方向にのみ現れたのは想定できる結果でもある。また、日本語は「あれ」、「それ」などといった指示語を多用しているが、ベトナム語では文脈がとても明白な場合を除き、且つ改まった場面においては、曖昧な表現である「あれ」「これ」「それ」のような指示語を避ける傾向がある。これは以上の結果の裏付けになるのではないかと考えられる。「指示語の付加」と「英語（表記）の併用による誤解防止」に関する分析結果については、筆者の所見ではあるが、データの制約により本研究ではこれらのストラテジーが十分に観察できたとは言えないので、以上に導いた結果は偶然のものであり、一般化しにくいと思われる。

ほかに日→越方向での活用割合が越→日方向より圧倒的に多いストラテジーとして挙げられるのは「主体の明示化」や「複数の類義語の活用」や「接続詞の付加」である。「主体の明示化」に関しては、5.1.1.2.1 節でも説明したように主体の省略が多い日本語からベトナム語に訳す際には、必ず主体を明示化する工夫が必要になる。そのために、このストラテジーの殆どが日→越の方向で現れるのは理解しやすい結果である。「複数の類義語の活用」や「接続詞の付加」については、理論上どの方向でも現れ得るようなストラテジーであるため、意識調査によって分析結果の裏付けを究明する。一方、越→日方向の割合のほうがずっと多いストラテジーとしては「前置き表現の活用」、「原文の構成変更」、「反復」、「暗示された情報の復元」、「程度副詞の活用」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「原文の不自然さに対処する処理」が見られる。「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」の場合は、日本語の大きな特徴である授受表現がこの結果をもたらす大きな要因ではないかと思われる。詳しく言うと、日本語は非常に丁寧な言語であり、些細なことでも相手に対する感謝の気持ちを表すためには、「～して頂く、～してもらう」、「～して下さる、～してもらう」という表現が用いられている。この特徴はベトナム語を含むほかの言語において、めったに見られないのではないかと思われる。通訳データを詳細に検討したところ、ベトナム語から日本語に訳す場合、通訳者は日本人の文化・言語の特徴に合わせ、下の例 14 のように、原文にない授受表現を訳文に加えるという現象が多く確認できた。

例 14:

Vâng, /mục đích/của/ cuộc họp/ ngày hôm nay/ của/ chúng ta/ là/ nói/ về/ buổi hội thảo/ tới đây/, vào/ ngày 30 tháng 11/ và/ bà 「話者 JP01 姓」/sẽ/ đại diện/ cho/ doanh nghiệp 「社名」/để/ phát biểu/.【はい、本日の会議の目的は今度の 11 月 30 日のセミナーについて話すことで、そして、「話者 JP01」様は「社名」を代表して発表します。】

(はい/目的/の/会議/本日/の/私たち/は/話す/について/セミナー/今度/11 月 30 日における/そして/「話者 JP01 姓」さん/(未来テンス)/代表する/「社名」企業/ため/発表する/)

通訳 VJ01 っで、あの、今回の会議は、まっ、今日の会議の主な目的はですね、っで、今回のセミナーについてですよ。

通訳 VJ01 「話者 JP01 姓」さん、「話者 JP01 姓」様に、あの、「社名」、「社名」の、あの、一、企業の代表をして頂いて発表することになりますので。

話者 JP01 はい。

「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」と同様、「原文の不自然さに対処する処理」も越→日方向の割合のほうが割合が高かったが、その差は約 0.6%のみであった。なお、データを検討したところ、この結果を導いた背景として、ベトナム語のほうが不自然な原文が多かったということが判明した。

ほかに越→日方向のほうが出現割合が高かったほかのストラテジー（「前置き表現の活用」、「原文の構成変更」、「反復」、「暗示された情報の復元」、「程度副詞の付加」）については、基本的にはどの通訳方向においても同様に活用可能であるため、このような偏った活用傾向を考察するためには、意識調査の結果を踏まえて推論する必要がある。従って、この考察は第 2 節にて意識調査の結果をもとに行うことにする。

ストラテジーの頻度において通訳方向による違いが見られただけでなく、ストラテジーの活用レベル及び必然性、利用目的についても差異が観察できた。以下の表 15 を用いて、その差異について考察したい。

表 15 通訳方向による明晰化ストラテジーの活用レベル・必然性・利用目的の差異

	活用レベル			必然性		利用目的	
	語彙レベル	文法レベル	談話レベル	任意的	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	意味明確化のため
越→日	22%	1%	77%	98%	2%	23%	77%
日→越	22%	24%	54%	69%	31%	10%	90%

明晰化ストラテジーの活用レベルについて見ると、通訳方向を問わず、談話レベルが最も大きな割合を占めているという明白な共通傾向がある。しかし、通訳方向によって、文法レベルの活用が大幅に異なっていることが大きな違いである。この結果は、「主体の明示化」の活用が主要な要因として関係していると推論できる。このストラテジーはほぼ文法レベルの活用がメインであり、且つ主に日本語からベトナム語への訳出方向に現れていることが背景であろう。

必然性に関しても全体的に「任意的」の性質で活用されるストラテジーの割合が最も多いという共通特徴が二つの通訳方向ともに見られた。しかし、「義務的」の性質の内訳を見ると、通訳方向によってこの性質で活用される割合がかなり離れていることが分かる。日→越の方向ではこの割合が 31%であるのに対し、越→日の方向ではわずか 2%になっている。データを考察したところ、日→越の方向で義務的に活用される明晰化は主に「主体の明示化」と「聞き手・読み手に馴染みのあるような表現への変換」である。「主体の明示化」に関しては、上述のように統語論的なギャップにより、日→越の方向でこのストラテジーが多く活用されるのに伴って、文法レベルの活用の割合の引き上げに繋がった。なおかつ、この類いのストラテジーは全般的に必然性が非常に高いため、日→越方向の「義務的」性質で活用されるストラテジーの割合を上げたと思われる。また、「聞き手・読み手に馴染みのあるような表現への変換」のストラテジーに関しては、「主体の明示化」ほどではないが、このストラテジー活用回数の約 20%程度は高い必然性（義務的）を示している。更に、このようなストラテジーは主に日→越の方向に現れた。これも表 15 で反映された結果の裏付けになっているといえよう。

最後に利用目的について考察するが、表 15 をみてまず気づくのは、どちらの方向でも「意味明確化のため」が大半を占めているという共通傾向である。これは、通訳全データの考察結果、通訳者別の考察結果に一致したものであるため、これ以上論じる必要はないが、細かく見れば、通訳方向によって、「意味明確化のため」と「目標テキストの自然さの確保のため」の割合の詳細が多少異なる。「目標テキストの自然さの確保のため」の目的で利用された明晰化はどちらの方向でも「聞き手・読み手に馴染みのあるような表現への変換」が大半を占めているということがデータの精査によって分かった。なお、以上にも考察があったようにこのストラテジーが集中して現れたのは越→日の方向であり、この方向の出現率が日→越方向より 4 倍弱高い (91/23) という集計になっている。これは、なぜ越→日方向のほうが

「目標テキストの自然さの確保のため」という利用目的が多いかを説明する根拠になるだろう。

以上は通訳方向別の考察を行ったが、表層的な考察に留まっている部分があるため、深層における考察は第 2 節において、通訳者に対する意識調査の結果を踏まえ、改めて実施したい。

5.2 意識調査の結果を踏まえた考察

本章の第 1 節において、通訳データを様々な角度から分析し、本研究に収録した通訳データに現れた明晰化ストラテジーの特徴を特定し、更に通訳者及び通訳方向によるストラテジーの類似点・相違点を明らかにするとともに、筆者が提案した訳出プロセスを実証することができた。とはいえ、明晰化ストラテジーの分析にあたり、十分に確認できていないところもある。例えば、明晰化ストラテジーの利用目的という項目について分析したが、以上で提示した分析結果は文脈や筆者の実践を踏まえた判断に基づいたものだけであり、被験者がその意図を持っていたかどうかはまだ確認できていない。そのため、論文の冒頭でも説明したが、筆者の判断を検証し、分析結果を充実させるために、被験者に対する意識調査を行った。本調査は 2017 年の 1 月に行われた。調査対象は通訳と翻訳データの収録に協力した 6 名の被験者である。意識調査の実施方法は第 3 章第 3 節の表 4 を参照されたい。

本意識調査の結果は、①日本語-ベトナム語の動的な通訳プロセスにおける明晰化ストラテジーに共通する活用傾向と被験者の意図・意識の関連性、②日本語-ベトナム語の動的通訳プロセスにおける明晰化ストラテジーの活用に伴う場合の通訳者の意識・意図という二部に分けて、まとめられる。

5.2.1 明晰化ストラテジーの共通した活用傾向と通訳者の意図・意識の関連性

全通訳データを通じて、「聞き手に馴染みのあるような表現」が共通に使われたところが多数あった。特に、目標言語に相当する表現がない場合において、殆どの通訳者は同じ対処方法を取り、文脈を踏まえて目標言語の特徴及び聞き手の文化に合わせて、適切な訳を産出していた。具体例を挙げると、日本人の話し手の「こちらこそ」という発言に対し、通訳者全員は直訳するのではなく、「こちらこそ大変光栄に思います」、または「私こそお礼を言わなければならない立場です」というように伝えている。このような工夫について被験者の意識を調査したところ、全員は意味明確化よりも、むしろ通訳文の自然さを求めるために、意識的に工夫し

たと回答した。また、「恐れ入ります」に対する通訳においても、被験者は同じ意識を持っていた。表現のあり方において日本語とベトナム語の言語ペアは随分異なるため、通訳者がこのような形で工夫したことが多いのも本研究の通訳データ分析結果に十分に反映された。

同様に、「前置き表現の活用」も出現割合が高いストラテジーとして重要な位置づけを持っていると見なされている。なお、筆者の判断だけでは、このストラテジーを活用する時の通訳者の意図を十分に解釈することができなかった。そのため、このストラテジーについても被験者に対する意識調査で深くヒアリングした。その結果として、「前置き表現の活用」の後に本題に入る理由として被験者から挙げられたのは3つほどある。一つ目は唐突に本題に入るのを避け、聞き手に心構えをしてもらうためである。二つ目は本題に関する情報を整理するための時間を稼ぎながら、聞き手にとって受け止めやすく、且つ丁寧な伝え方を実現するためである。最後の理由は本題の内容を強調し、聞き手の注意を引くためということである。なお、今になって振り返ると、その効果や意図があるのだと被験者全員は認めているものの、通訳の最中にははっきりその意図を持ってこのストラテジーを活用していたかどうかは断定できないということである。即ち、このストラテジーを活用したのは習慣である可能性があり、場合によって意識的に使われた可能性があるということである。そして、ストラテジーの利用目的については、意味明確化のためという部分が多いが、目標テキストの自然さを確保するための意図も確かにあるという回答が得られた。

通訳データにわたり全被験者で使用頻度が高かったもう一つの明晰化ストラテジーは「説明の追加」であるが、このストラテジーについても意識調査によって被験者の意図を確認してみた。このストラテジーを活用したとき、被験者は主に次のような意図を持っているということが明らかになった。まず、原文の情報を適切に処理し、聞き手にとって受け止めやすい形で伝えるためというのが一つである。例えば、話し手が 列挙しているかのように、言いたい事を途切れず語り続ける場合には、聞き手にとってはとても覚えにくいだろう。そのために、通訳者は話し手が列挙した内容を簡単にまとめた上で、列挙された内容の具体的な説明に入るという工夫を行うことによって、聞き手に対する解釈の負担を軽減した。このように、通訳者が自分なりに内容をまとめた部分は「説明の追加」に当てはまるが、この工夫の意図は以上にも説明したように、原文の情報を適切に処理し、聞き手にとって受け止めやすいような形で伝えるためだということである。「説明の追加」を活用するもう

一つの意図は、原文の意味が曖昧であったりする場合に、意味を追加し、聞き手にとって理解しやすいようにするためである。以上の二つの意図はいずれも、「意味明確化のため」という利用目的に繋がると思われる。なお、意識的にこのストラテジーを活用したかどうかという点については、被験者は意識がある場合と無意識のうちに使ってしまったという場合があるというように回答していた。

また、日本語-ベトナム語通訳に顕著なストラテジーである「主体の明示化」についても被験者に意識を調査したところ、筆者が想定していた通りの理由が確認できた。つまり、ベトナム語では主語を明示しなければ、意味が曖昧であったり、失礼であったりすると思われるため、ベトナム語に訳す際に主体を明示するのは当然の工夫だということである。そして、当然すぎるために、意識的というより、被験者は自然にこの工夫を施していたということも本調査で明らかにすることができた。

「原文の構成変更」に関しては、殆どの活用の場合において被験者が意識的であったという回答を得られた。特に、長い文をいくつかの短い文に小分けして訳す工夫の意図は、聞き手にとっての解釈の負担を軽減する一方で、自分自身が通訳をしながら情報を整理しやすく、伝えやすく、情報を修正・補足しやすくするためであるという被験者の意識も確認できた。この工夫は目標テキストの自然さを確保するというよりも、意味明確化のためである目的のほうをはっきりしているが、どの場合でも意識的にはっきりした意図をもって工夫したわけではないとのことである。

以上は通訳データにおける活用割合が共通して高いストラテジーとしての明晰化に関する意識調査の結果である。活用割合が被験者全員を通じて共通して低かったストラテジーについても意識調査で触れたが、重点を置いていなかったために、この節では以下のように全体的な結果だけを簡単にまとめたい。

「反復」と「複数の類義語の活用」では、殆どの被験者は通訳時に混乱しており、つい同じ語彙を繰り返したり、同じ意味の言葉を使ってしまったたり、混乱のためではなくても、癖で無意識に伝えていたという回答もあった。無論、全ての場合にこの工夫が無意味で意図がないわけではなく、意識的に情報を強調するために反復し、ベトナム語の同義語・類義語がたくさんあるため、十分に意味を伝えられるように複数の語彙を活用したほうが無難だという意識を持っている被験者もいた。

「反復」、「複数の類義語の活用」と同様に頻度が少なかったが、「指示語の意味明確化」と「指示語の付加」は意味明確化のために必要であるため、意識的に工夫していたという被験者の認識を確認することができた。

このように、活用傾向が同様であった明晰化ストラテジーについての被験者の意識・意図を明らかにすることができた。この意識調査からは、ストラテジー別の被験者の意識・意図、即ちストラテジーの効果に関する被験者の認識に一致する部分が多いということが、活用傾向が共通している特徴の背景にあるのではないかという結論を導くことができる。これは、通訳プロセスの一定の安定性に繋がるとも言えるだろう。言い換えると、通訳プロセスを構成する様々な要素が仮に基本的に同一である場合は、通訳者が異なる人であっても、同じ判断を出し、同じ種類のストラテジーを利用する可能性があるということである。しかし、同じストラテジー（例えば、義務性質が強い「主体の明示化」というストラテジー）を活用したと言っても、ストラテジーが実行される具体的な言語形式は完全に同じではないはずである。これは、まさに通訳プロセスの動的な性質である。以下の 5.2.2 において、被験者の意識・意図について引き続き調査し、通訳者の意識・意図を通訳プロセスを左右する一つの要素としてみた場合、それらはこの動的なプロセスの他の要素と、どのような相互作用を持つのかについて明らかにしたい。

5.2.2 明晰化ストラテジーの異なる活用傾向と通訳者の意識・意図の関連性

5.2.1 節でも説明したように、ストラテジーに関する通訳者の認識が共通であっても、通訳の現場では同じ場面で同じ形によってストラテジーが活用されることは殆どない。そのうえ、本研究で認定できた明晰化ストラテジーは義務的ではなく、任意的なものが大半であるため、通訳者のストラテジー選択の「ぶれ」の幅が大きいであろう。そのため、意識調査では、活用傾向に違いが目立ったストラテジー（活用回数が 0 である被験者がいる場合等）、または義務的に活用する必要があるにも関わらず、通訳者が使わなかった場合についてヒアリングを行った。

第 5 章の表 13 を見れば分かるように、通訳者間で違いが目立ったストラテジーは「暗示された情報の復元」と「程度副詞の活用」、「接続詞の付加」、「複数の類義語の活用」である。「暗示された情報の復元」について、「時間稼ぎのため」、「聞き手のために話の流れを明らかにするため」、「古い情報だが繰り返さないと自然さが足りない気がする」、そして「暗示された情報を繰り返したほうが無難である」という 4 つの利用の理由が確認できた。つまり、この工夫を行った目的は意味明確化のための場合もあれば、目標テキストの目標テキストの自然さの確保のためであるという場合もある。また、被験者の殆どは無意識で、二人だけ（被験者 3 と被験者 4）が意識的に工夫したと回答していた。このようにこのストラテジーに

についての認識があまり一致していないためか、活用傾向にもばらつきがあるように見える。具体的には、聞き手のために話の流れを明らかにし、意味を明確化するために意識的に活用していたと回答した被験者 3 と 4 は活用割合がそれぞれ 11%と 6.8%となっており、6 名の中で割合が高いほうであった。それに対して、あまり意識せずに習慣のように活用していたと回答したほかの被験者は通訳者 6 を除き、全員わずか 2%～4%程度であった。

「程度副詞の活用」についても被験者の認識が分かれており、半分は特別な意図がなく、癖のように使ってしまったと回答し、半分は情報を強調するために意図的に使っていたとのことである。しかし、どの被験者もこのストラテジーの存在や位置づけをそれほど重視していないことが調査で確認できた。このようなストラテジーの認識があったからこそ、このストラテジーの活用割合は全体的に低く、通訳者間において活用頻度のばらつきもあったのだろう。

「接続詞の付加」と「複数の類義語」については、活用回数が 0 であった被験者がいるが、その被験者にヒアリングしたところ、「使うのが不要であり、その工夫をしなくても十分に話し手の発言を伝えられる」という回答が得られた。データを改めて確認したところ、確かにこのストラテジーが使われた場面は、この工夫の有無が発言内容の伝わりに一切影響を及ぼしそうもないものである。

以上の意識調査によって、通訳者の判断によって、ストラテジーの工夫が大きく変わってくることが確認できた。この調査を通じて、通訳者の判断や認識である変数がいかに通訳プロセスに影響を与えるか、いわゆるこのプロセスがいかに動的なものであるかを改めて検証することができた。

5.3 通訳データ分析・考察結果のまとめ

第 5 章では、通訳データを分析し、その結果を考察した。通訳データに見られた明晰化ストラテジーを概観した結果、通訳データにおいて出現割合が多いのは、「説明の追加」、「前置き表現の活用」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「主体の明示化」及び「原文の構成変更」、「暗示された情報の復元」である。これ以外のストラテジーは、大体 0.3%～0.4%という小さい割合で出現している。また、明晰化ストラテジーの必然性を分析・考察した結果、通訳データにおける明晰化ストラテジーの活用は大半が任意的なものであり、即ち必然性が高くないということが判明した。活用レベルに関しては、文法レベルの活用が最も少ない一方で、活用が圧倒的に多いのは談話レベルの活用であった。そして、利用

目的については、全体的には「意味明確化のため」という利用目的の割合が多いという結果が得られた。更に、通訳者ごとに見られた 明晰化ストラテジーの活用傾向を分析・考察したが、全体結果から見ると、通訳者間ではいくつかの明晰化ストラテジーの活用に関して共通の特徴があるものの、異なるところも多くある。通訳者別の活用状況を分析・考察した全体結果として、通訳者全員が活用した明晰化ストラテジーは大半が任意的な性質をもち、文法レベルの活用が少なく、談話レベルでの活用が大半であるほか、主な利用目的が意味明確化のためであるということが判明した。しかし、詳細に掘り下げると通訳者によってストラテジーの必然性・活用レベル及び利用目的について違いも見られた。通訳方向からも、異なる明晰化ストラテジーの活用傾向を調べ、必然性、活用レベル及び利用目的という三つの観点から方向別におけるストラテジーの活用傾向を比較した。その結果、方向に関わらず談話レベルでの活用が多く、且つ任意的な活用が全体的に多いということが分かった。加えて、「意味明確化のため」が大半を占めているという共通傾向があることも明らかにされた。以上、データの分析・考察で分かったことを被験者への意識調査により改めて振り返ってみた。意識調査を通じて、具体的な場面及びストラテジー別に関する被験者の意識・意図、即ちストラテジーの効果に関する被験者の認識が一致するのはストラテジーに共通する活用傾向に繋がる一方、被験者の意識・意図の相違もストラテジーの異なる活用傾向を及ぼした大きな要因となり、通訳プロセスの動的な性質を形成した大きな変数の一つであることが検証できた。被験者の意識・意図は翻訳プロセスにも共通な役割を果たすかどうかは、第 6 章で引き続き確認していきたい。

第 6 章

翻訳データの分析結果と考察

本章では、翻訳データを分析し、その結果を考察した。また、第 5 章と同様に、意識調査の結果を踏まえて、分析・考察結果の確認を再度行った。

6.1 翻訳データの分析結果

本節では、まず翻訳全データに見られた明晰化ストラテジーを概観し、その上で、翻訳者や翻訳方向別に出現する明晰化ストラテジーの活用傾向を比較する。前章と同様に、この比較は、翻訳者と翻訳方向という要因がどのように明晰化ストラテジーの活用に影響し得るかを明らかにするためである。

6.1.1 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの概観

通訳データの分析と同様に、翻訳データの場合も、まず明晰化ストラテジー別の割合を考察してから、翻訳者や翻訳方向別の明晰化ストラテジーの活用傾向を実質的なデータ分析結果に基づき検討していく。

6.1.1.1 翻訳データに見られた明晰化ストラテジー別の割合

翻訳データでは、通訳データで見られなかった「テンス・アスペクトの変換・具体化」及び「形式名詞の具体化」が観察できた。確かに通訳の場合は、原文の構成が完全に維持される場合は非常に稀であるため、原文のテンス・アスペクトが訳文においてどのように変換・具体化されたか、原文で使われた形式名詞の「もの」、「の」、「こと」がどのように処理されたかを観察するのは極めて難しいことであろう。しかし、翻訳では翻訳者は原文をじっくり検討し、可能な限り忠実に伝えられる訳文案を考える余裕があるため、通訳と違い、以上の二つの特殊な明晰化を観察する可能性がより高いと言っても良い。そのため、本研究では、通訳データではこの 2 種類のストラテジーが見られなかったが、翻訳データでは観察できたという結果になったのである。

その一方で、通訳で比較的高い頻度で活用された「前置き表現の活用」ならびに、ある程度普遍性のある明晰化としての「反復」、「複数の類義語の活用」、「接続詞の付加」は今回の翻訳データでは見られなかった。「前置き表現の活用」の場合は話し言葉の典型的な特徴でもあるため、通訳（口頭形式の訳出）ではよく見られ

るが、翻訳データでは一部の例外（原文が簡潔すぎて、書き手の意図ではないが、このような書き方では読み手に直接的すぎると感じられる場合等）を除き、あまり出現しないようである。本研究で確認できた結果は、この傾向を改めて検証することになるだろう。また、「反復」、「複数の類義語の活用」が見られなかったという結果も基本的には想定されたものである。つまり、既に説明したように翻訳の場合、翻訳者はじっくり考える余裕があるため、どの語彙・表現を使うかよく検討の上、翻訳するケースが多いため、使われた語彙はその時点でその翻訳者にとって最適の選択肢である。そのため、意味を補ったり、確認したりするためのストラテジーとして、「反復」あるいは「複数の類義語の活用」を活用する必要が殆どなくなるであろう。無論、伝えづらい語句または対応表現がない場合は、意味明確化のためか、若しくは目標テキストの自然さを確保するために、翻訳においても、「複数の類義語の活用」があるかもしれないが、通訳ほど多くはないはずである。「接続詞の付加」も論理性・結束性が原文に不足している場合を除き、プロの翻訳者なら基本的には原文への忠実性を確保するために、接続詞を追加しないだろうと想定されている。そのために、本研究で確認できた結果は理論や推定に合致したものであり、不可解なものではない。

次に図 13 を用いて、以上で一通り考察を行った「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「形式名詞の具体化」を含めた、今回の翻訳データに見られたすべての明晰化ストラテジーを概観したい。

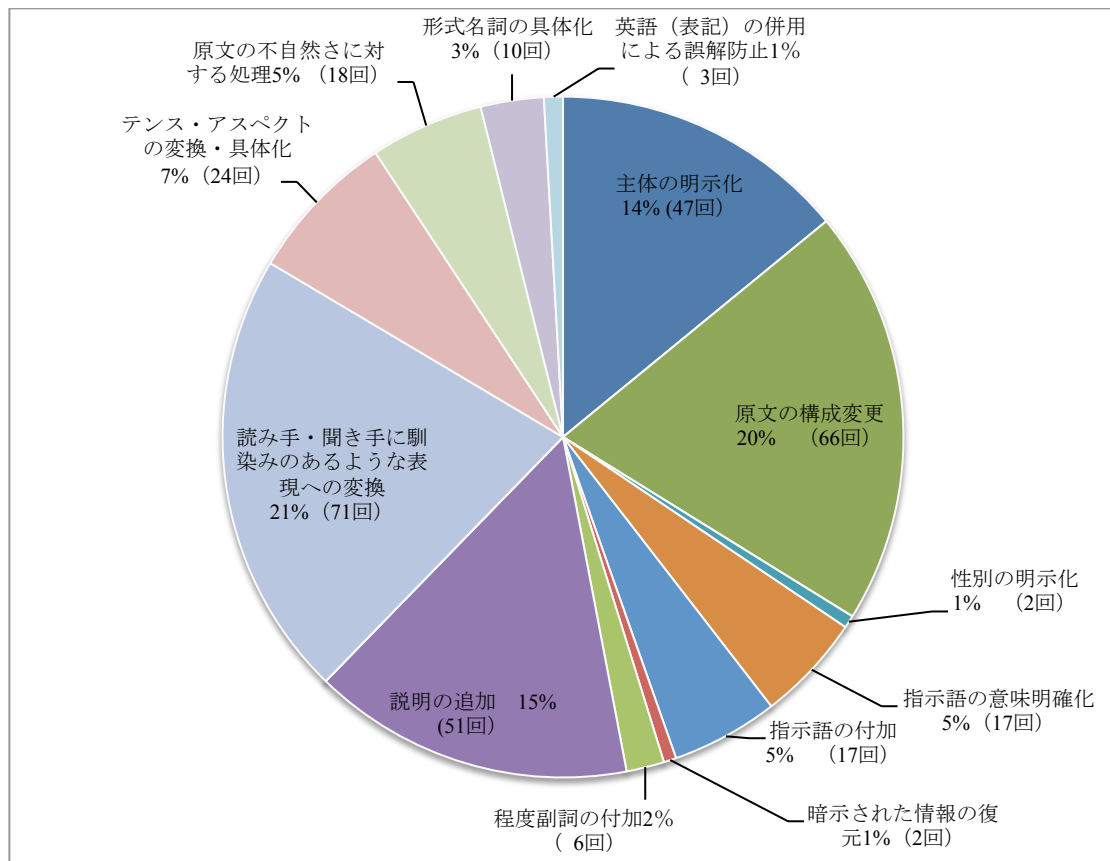


図 13 翻訳全データに出現する明晰化ストラテジー別の割合

図 13 を通じて、翻訳全データにおいて明晰化ストラテジー別にどのくらいの頻度で活用されたかをイメージすることができた。活用が一番多かったのは「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」（21%）と「原文の構成変更」（20%）である。その次は「説明の追加」（15%）「主体の明示化」（14%）、「テンス・アスペクトの変換・具体化」（7%）である。「原文の不自然さに対する処理」（5%）、「指示語の付加」（5%）、「指示語の意味明確化」（5%）は出現割合が中程度のものである。ほかのストラテジーに関しては、出現がなかった「前置き表現の活用」、「反復」、「複数の類義語の活用」、「接続詞の付加」を除き、全項目が極めて低い割合（1%～3%）を示した。

通訳データの分析結果でも見られるように、日本語とベトナム語は文法・語彙及び表現の特徴が比較的相違しているため、訳出過程では、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「原文の構成変更」及び「説明の追加」、「主体の明示化」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」という工夫が非常に重要となり、高い頻度で出現しているのも想定された結果であるといえよう。

「指示語の付加」については 結束性・関連性が高い文章である場合は、翻訳する時にこのストラテジーをあまり活用する必要がないと想定されたが、本研究の翻訳データでは 5%という中程度の割合も出ており、少々想定外の結果であった。ただし、データを細かく考察したところ、このストラテジーは多くの訳文に出現したわけではないが、翻訳者全員に使われたため、全体に対する相当に高い割合を占めている。そして、翻訳者全員に使われたのは、必然性が高いためである。

「指示語の意味明確化」は「指示語の付加」と違い、ある程度の割合で出現するであろうと想定されたものである。なぜなら、ベトナム語と日本語の指示語の付加習慣が異なるため、この二言語間の訳出では、このストラテジーは必ず活用されるのではないかと思われるからである。

また、「原文の不自然さに対する処理」は基本的には通訳ではよく見られるかもしれないが、翻訳ではそれほど活用されていないだろうと予想された。その理由は、翻訳ではじっくり考える時間があるため、文法が正しくない、または不自然な表現を使う場合が殆どないからである。そのために、本研究で認定されたこのストラテジーの出現率が 5%もあるのは、想定外の結果である。

以上翻訳データで出現した明晰化ストラテジーを概観した。次にこれらのストラテジーの特徴・性質について考察し、出現割合に関する傾向の説明になるような裏付けであるかどうか検証したい。

6.1.1.2 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの特徴・性質

この節では各種のストラテジーの特徴・性質が翻訳においてどのような傾向に従っているかを考察する。通訳データと同様に、翻訳データの分析・考察においても「必然性」、「活用レベル」並びに「利用目的」という 3 つの側面に基づき、ストラテジーの特徴・性質を捉える。それぞれの性質・特徴の定義は第 2 章の 2.1.2.2 を参照されたい。

6.1.1.2.1 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性

本研究の翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性を示すデータを以下の図 14 にまとめる。

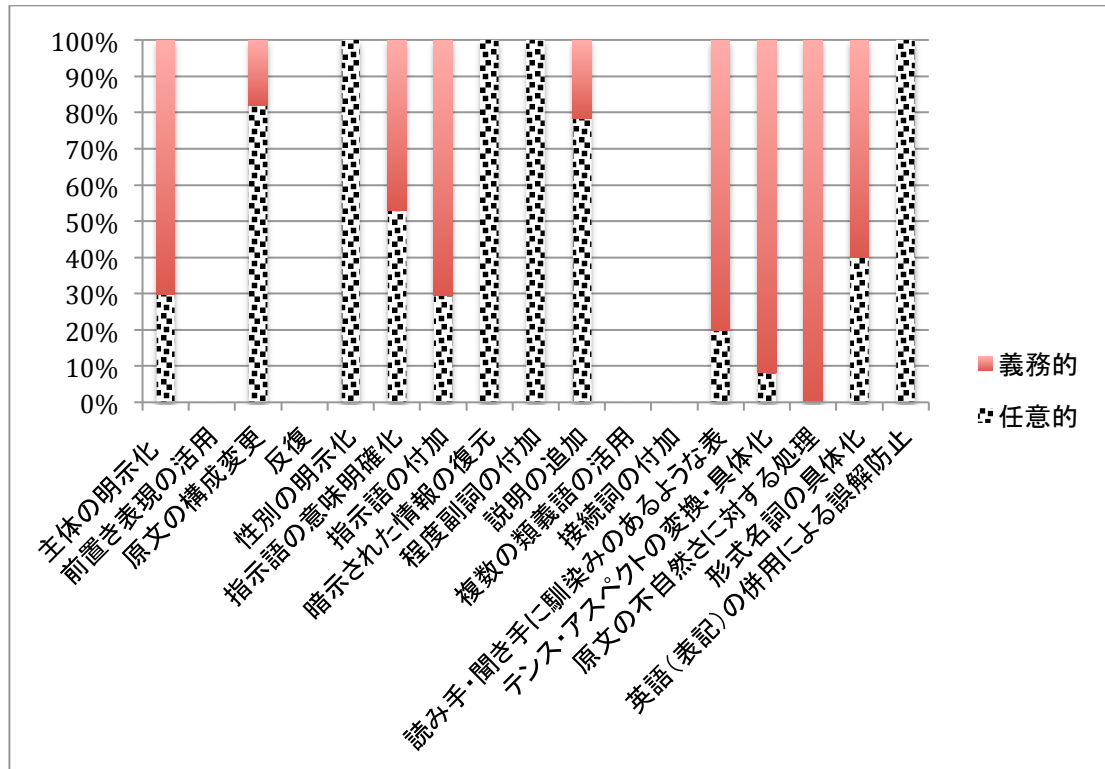


図 14 翻訳データに見られた明確化ストラテジーの必然性

図 14 により、翻訳に使われた明確化は全体的に必然性が高いか、あるいは低いかは一概に結論できないことが分かった。必然性が高い、いわば義務的な性質が強いストラテジーとして挙げられるのは、「主体の明示化」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「原文の不自然さに対する処理」、「形式名詞の具体化」となっている。そのうち、100%の活用が義務的であるストラテジーは「原文の不自然さに対する処理」である。一方、任意的な性質のほうが強い明確化としては、「原文の構成変更」、「性別の明示化」、「暗示された情報の復元」、「程度副詞の付加」、「説明の追加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」である。その中で、「性別の明示化」、「暗示された情報の復元」及び「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」はいずれも 100%の活用が任意的なものになっている。

「主体の明示化」については、第 4 章・第 5 章で何度か説明したように、基本的には訳出者の主観的な判断によるものではなく、ベトナム語・日本語の文法の大きな違いにより発生するストラテジーであるため、義務性が高いことが想定できる結果でもある。同様に、「テンス・アスペクトの変換・具体化」も二言語の文法の違いに起因する工夫であることから、義務性が高いという仮説が立った。また、「原

文の不自然さに対する処理」については、起点言語と目標言語のギャップに関わらず、原文の不自然なところを残したままでは訳出作業が行えないか、若しくは意味不明な訳文を産出してしまうことにほかならないため、この戦略は絶対的に義務的なものとして認定されるだろう。ただし、「指示語の付加」、「指示語の意味明確化」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」は通訳の分析結果を踏まえてみると、任意性が強いだろうと想定したが、翻訳分析結果は正反対のものになった。「指示語の付加」の詳細データを考察したところ、この戦略が工夫された文の総数は翻訳両方向を合わせて 6 つであり、そのうち、2 つが義務的、4 つが任意的な性質で使われたことが明らかになった。それにも関わらず、義務的な性質のほうが圧倒的に強いという集計結果が出たのは同じ原文で「指示語の付加」が任意的な選択である場合は、その選択を選ばず実行しない翻訳者もいるのに対して、義務的な選択である場合は、翻訳者 6 名ともこの戦略をほぼ同じ形で活用していたためである（義務/任意＝12 回/5 回）。「指示語の意味明確化」についても、この戦略が施された文数は 3 つのみであり、そのうち、義務的なものが 2 つ、任意的なものが 1 つになっている。義務的な活用の例はいずれも指示語「それ」、「それぞれ」の意味を明確化しなければ、全文の意味がはっきりしない場合に当てはまるため、指示語の意味明確化の工夫が絶対必要であり、義務的な性質が強いと判断される。なお、義務性があるものの、翻訳者全員が同様に指示語の意味明確化を工夫しなかったのが気になるところである。これについて、被験者の意識調査によって被験者の意図・認識を明らかにしたい。

「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」に関しては、「指示語の付加」及び「指示語の意味明確化」と異なり、活用割合が最も高い戦略である。更に、割合が高い中で、義務的な性質で活用された回数が 80%もあるのは注目されるべき点であろう。以下、義務的に活用されたのはどのような場合か、代表的な例を抽出し考察する。

例 1：（被験者 6）

起点テキスト： 使命感をもって仕事をしている姿勢が素敵で、仲良くさせて頂くようになったんです。

（翻訳）： Cách/ cô ấy/ làm việc/ với/ tình thần/ trách nhiệm/ cao/ thật/ tuyệt vời/ và/ chúng tôi/ dần/ thân thiết/ với nhau/ hơn/.

（責任感が強い彼女の仕事振りはとても素敵で、私たちは段々仲良くなったのです。）

【やり方/彼女/働く/で/精神/責任/高い/実に/素晴らしい/そして/私たち/段々/仲良い/
お互いに/より/】

→ 「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」→「義務的」

例 2：（被験者 1）

起点テキスト： Chương trình/ đã/ thu hút/ sự tham gia/ của/ hơn/ 300/ cán bộ/, đại diện/
cho/ hơn/ 60.000/ cán bộ/, tư vấn viên/ trên/ toàn hệ thống/ ●●(Tên công ty)/ bao gồm/ Công
ty Mẹ/ và/ 6/ Đơn vị thành viên/ cùng/ những/ trái tim yêu nước/ khác/（中略）・・・

（プログラム/過去形/引く/参加/の/あまりの/300/職員/代表する/のため/あまりの/60
万/職員/相談員/における/全システム/（会社名）/含む/親会社/と/6/メンバー会社/とと
もに/複数形/愛国心/ほかの/）

【プログラムは親会社並びに子会社の 6 社を含む全システムにおける 60.000 人の従
業員、営業職員の代表となる 300 人あまりの方々及びその他の愛国心のご参加を頂
き（中略）】

（翻訳）：当運動は、●●の親会社、傘下の子会社 6 社に勤務している従業員、カウ
ンセラー等を代表する 300 名の従業員及び愛国心を持っている多くの方々よりご参
加頂き（中略）・・・

→ 「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」→「義務的」

例 1 の日本語起点テキストでは、「使命感」という言葉があったが、ベトナム語で
は対応する表現がなく、且つ「使命感」という概念もベトナム人にとって馴染みの
ないものである。そのために、翻訳者 6 は仕方がなく、代替選択肢として「責任感
が強い」という表現を用いていた。無論、細かく見れば、「使命感」と「責任感」
は意味¹⁰が微妙に違うが、誤解を招くほどではないため、この場合の翻訳者の処理は
適切であると見ても良いと思われる。

また、例 2 においては、ベトナム語起点テキストでは、“những trái tim yêu nước
khác”（直訳：その他の愛国心）という表現があったが、このような表現は日本人にと
って馴染みのあるものでなく、且つ文法的な観点から見ても、文の後半に出た「ご
参加頂く」という動作動詞には合っていない。その不適切さを認識した翻訳者 1 は
「愛国心を持っている多くの方々」というように表現を変え、工夫した。このよう

¹⁰ 使命感は行動を、そして責任感は気持ちを表すものだと考えることができます。使命感は、
対象を限定していないもので、広範囲で与えられた仕事を含めて行うべき業務は使命感です。
責任感については仕事で与えられた業務についてまっとうする気持ちが責任感になります。
そのため使命感は、仕事上与えられた業務を行う以外に正しいことだと判断して行動するこ
とが使命感で与えられた仕事を正しく行うことが責任感になります。（<https://careerpark.jp>）

な処理によって、起点テキストの意味を変えずに、目標テキストの自然さを確保することができたと見られる。

このように例 1 と例 2 における翻訳者の情報処理・表現工夫は必ず行う必要があることから、義務的な性質を持つストラテジーとして認定されたのである。そして、翻訳に現れた義務的な「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」は以上の例と同様のパターンになっている。

次に、任意性が強い傾向を見せたストラテジーについて考察したいが、上記で集計データを分析した通り、この傾向にあるのは「原文の構成変更」、「性別の明示化」、「暗示された情報の復元」、「程度副詞の付加」、「説明の追加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」である。このグループの中では、「性別の明示化」以外は、いずれも任意的性質が強いと想定されていた。通訳データを分析した際にも、この仮説を検証することができた。つまり、これらのストラテジーは殆どの場合において二言語の特徴のギャップにより発生するものではなく、外的要素（場面、環境、読み手となる対象等の特徴）及び訳出者の主観的な判断によるものであるため、義務的な性質が弱く、訳す人によっては処理の仕方が大きく異なるわけである。しかし、「性別の明示化」は日本語とベトナム語における性別明示の特徴相違に関わるストラテジーであるため、義務的な性質のほうが強いという仮説が立てられた。そのために、翻訳データで見られたこのストラテジーが 100%任意的なものであると認定された結果は想定から大幅にかけ離れたものである。ただし、データを考察したところ、性別明示化の出現回数はわずか 2 回であり、そして同じ原文に対する翻訳者の処理の仕方が異なっていたことが判明した。この考察によって、翻訳データの分析で分かった「性別の明示化」の必然性に関する結果は傾向として一般化しにくいということが分かった。ところが、その一方で、この結果は「性別の明示化」が義務的な活用のみであるは限らないことを示唆するといえよう。具体的な例は第 4 章の 4.2.5 を参照されたい。

以上、翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性の全体的な傾向が把握できた。続いて、その活用レベルについての傾向を分析・考察していく。

6.1.1.2.2 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベル

翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベルの集計結果は以下の図 15 のように示される。

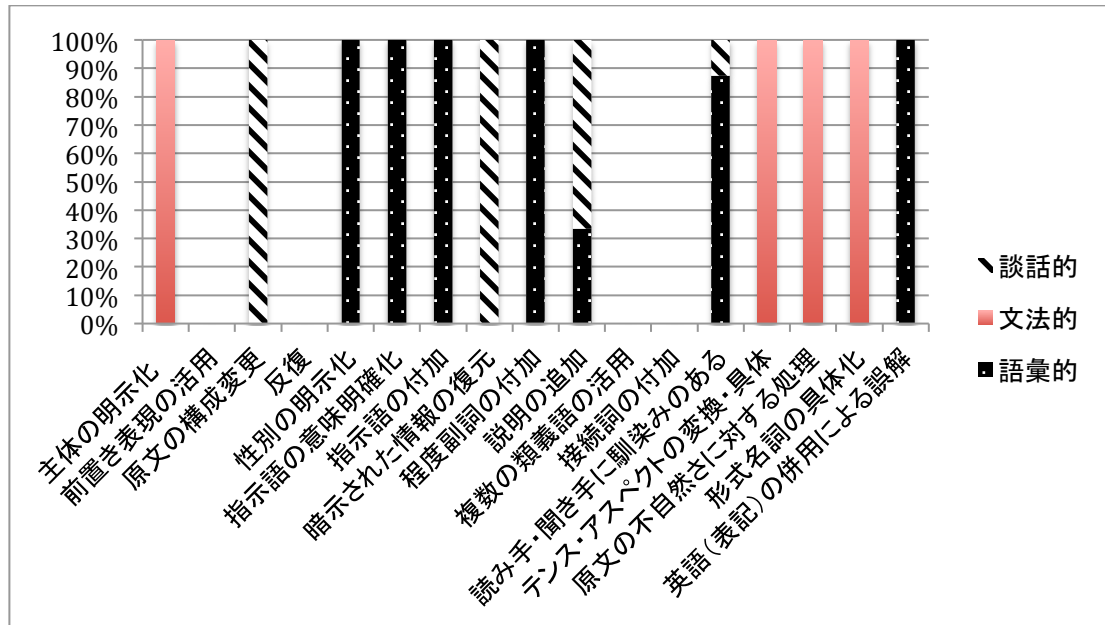


図 15 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベル

図 15 で見られたように、全体的な傾向として、文法的なレベルでの活用が最も限定されているが、一部のストラテジーにおいて絶対的な活用傾向が見られた。具体的には、「主体の明示化」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「原文の不自然さに対する処理」、「形式名詞の具体化」はいずれも 100%の活用が文法的なレベルに当てはまる。談話レベルは文法レベルより活用率が少々高いが、それほど大きな差があるわけではない。また、談話レベルに関しても、文法レベルと同様、「原文の構成変更」、「暗示された情報の復元」のストラテジーにおいて絶対的な活用傾向があった。「説明の追加」も大きな割合がこのレベルに当てはまり、且つ「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」も談話レベル的な活用があったが、その割合が 15%にも及ばない。これら以外のストラテジーは、談話的なレベルでの活用が全然ないという結果が判明した。すなわち、文法レベルと談話レベルと比べ、語彙レベルでの活用が最も高い割合を占めている。このレベルでの絶対的な活用（100%）があるストラテジーは「性別の明示化」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」、「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」（合計で 5 つのストラテジー）であり、更に大きな活用割合を見せたのは「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」がある。「説明の追加」が約 30%という中程度の割合で語彙レベルで活用された。

このように、明晰化ストラテジーの活用レベルについては、想定外の結果がいくつか出ていた。談話レベルの活用が通訳と同様に最も高い割合を占めるだろうと想

定したが、得られた結果は予想から外れていた。特に、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」は談話レベルでの活用がメインであろうと想定していたが、分析結果によると、このストラテジーが主に使われたのは語彙レベルであった。その理由は 6.1.1.2.1 節における必然性の考察にも関わるが、翻訳におけるこのストラテジーの活用は義務的な性質が強く、目標言語に相当する言葉・表現がない場合における対応が多かったのが大きな要因である。談話レベルと違い、文法レベルでの活用に関する結果は想定内のものであった。即ち、「主体の明示化」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「原文の不自然さに対する処理」、「形式名詞の具体化」はいずれも二言語の文法的な特徴の違いにより発生するストラテジーであるため、文法的な活用が 100%になっているのも理解しがたいものではない。同様に、語彙レベルでの活用割合が高いストラテジーに関しても、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」以外には、いずれもストラテジーの名前からして、語彙レベルの活用が多いであろうと予想できる。

6.1.1.2.3 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的

翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的の大きな傾向は以下の図 16 で示されている。

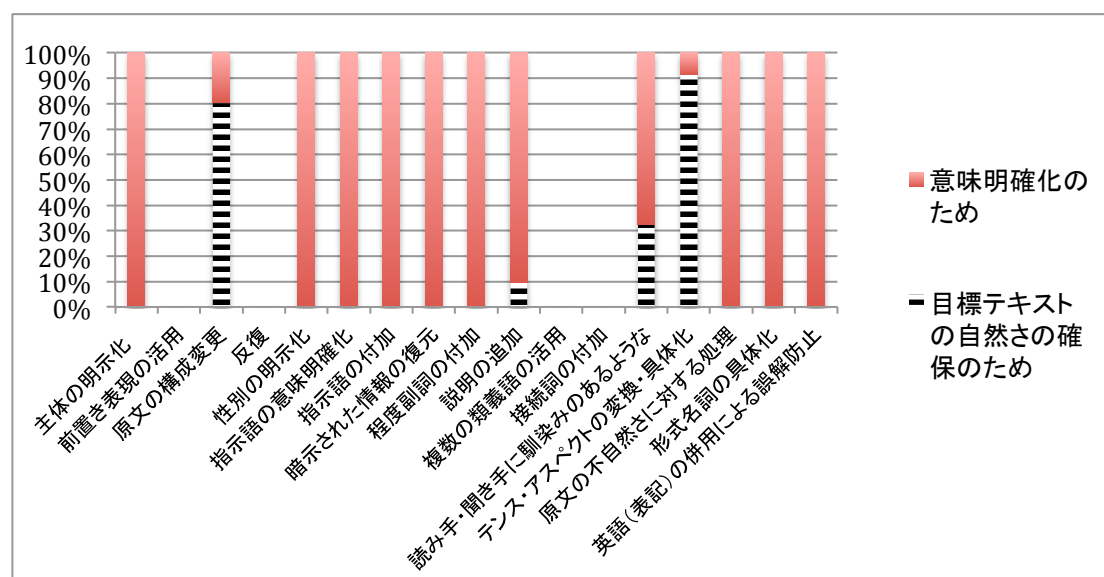


図 16 翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的

図 16 によると、全体的には「意味明確化のため」という利用目的がより大きな割合を占めている。「目標テキストの自然さの確保のため」という利用目的で活用されたストラテジーとしては、「テンス・アスペクトの変換・具体化」(約 100%)、

「原文の構成変更」（約 80%）、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」（約 30%）、「説明の追加」（10%弱）が挙げられる。「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」に関しては、第 3 章 において各ストラテジーの定義とともに、これらのストラテジーの「目標テキストの自然さの確保のため」の実例を紹介した。「原文構成変更」、「説明の追加」における「目標テキストの自然さの確保のため」とはどのような場合になるか、以下の例を用いて考察したい。

例 1：（被験者 1）

起点テキスト：お客様にとって、共に「未来」を考えてくれる存在、安心と信頼の絆を繋ぐのが●●（会社名）ライフデザイナーです。

（翻訳）： Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống/●●（会社名/là/ người/ đồng hành/ cùng/ quý khách hàng/ khi/ lên/ kế hoạch/ về/ “tương lai”/, tạo/ sự gắn kết/ trên/ nền tảng/ sự an tâm/ và/ tín nhiệm/.

（ライフデザイナー/●●（会社名）/は/人/一緒に旅する/とともに/お客様/時/計画を作る/について/「将来」/作る/絆/を踏まえて/安心/と/信頼/）

【●●（会社名）ライフデザイナーはお客様と共に未来を計画し、安心と信頼を踏まえての絆を築く人です。】

例 1 の原文と翻訳を比較してみると、文の構成に大きな変更があることに簡単に気づくであろう。起点テキストでは、文の主体が「共に「未来」を考えてくれる存在、安心と信頼の絆を繋ぐの」であり、「共に～ライフデザイナーです」の節は「お客様にとって」を修飾するという役割があると見られる。それに対し、ベトナム語翻訳では、ライフデザイナーが文の主体になり、「お客様にとって」は省略されたのに近い形で、「と共に～」を修飾する語句として使われた。なぜ翻訳者がこういう工夫をする必要があるかという点、日本語では形式名詞の「の」、「こと」、「ところ」が頻繁に使われているが、ベトナム語では「の」に対応する形式名詞がないほか、「こと」以外ほかの形式名詞の使用もあまり好まれていない。どうしても日本語の形式名詞の「の」を形式等価的に訳したい場合は、「の」に代わって、「後節」の主体を示すのに相応しい一般名詞を加える必要がある。たとえば、例 1 の場合は、「人」という一般名詞が加えられる。ただし、ベトナム語では文の分かりやすさを重視する場合、関係節を使わないようにするという特徴があるため、例 1 で翻訳者が起点テキストの構成を変更しなければ、自然で明晰なベトナム語の翻訳を仕上げるのが難しいと思われる。その意味で、この場合の「原文の構成変更」

は目標言語の自然さを第一に考えて工夫されたストラテジーとして認定されたのである。

例 2：（被験者 1）

起点テキスト：目標となる素敵な女性がたくさんいます。

（翻訳）：Có/ nhiều/ phụ nữ/ tuyệt vời/ để/ làm/ mục tiêu/ phân đầu/.

（いる/たくさん/女性/素敵/ために/する/目標/目指す/）

【目指す目標とするための素敵な女性がたくさんいる】

例 2 では、起点テキストの「目標となる」が翻訳者により「目指す目標とするための」というように少し説明を追加し、訳された。意味という観点から見ると、この工夫を行わなくても、起点テキストのメッセージが十分に伝わるが、表現形式について言えば、直訳では、ベトナム人ネイティブスピーカーに違和感を与える可能性もある。「目標」という言葉は、理論上、一つの名詞として独立して文章に現れることができるが、実際には殆どの場合、何かの補語により修飾されている状態で現れている。例えば、“Tôi sẽ phát biểu mục tiêu của học kì này”（私は今学期の目標を発表します）、“Mục tiêu mà tôi hướng tới là dành giải nhất trong cuộc thi”（私が目指す目標はコンテストで一等賞を得ることです）という例のように、別の名詞か動詞で修飾されることが多い。そのために、例 2 の場合で翻訳者が工夫した「説明の追加」は意味明確化のためというより、目標テキストの自然さを確保するために行われたものであると判断された。

以上に列挙した 4 つのストラテジー以外は、全てが「意味明確化のため」という利用目的で活用されたと見られる。なお、改めて断っておきたいが、ストラテジーの利用目的を特定するのは非常に難しい作業であり、ここで集計できた結果は傾向を一般化するための絶対的な根拠として扱えないのかもしれない。本研究で導いたこの結論を更に精密に検証するために、被験者に対して利用目的を重点的に調査する必要がある。その結果は本章の第 2 節において説明する。

6.1.2 翻訳者ごとに見られた 明晰化ストラテジーの活用傾向

6.1.1 節では、翻訳における明晰化ストラテジー活用の全体傾向を分析・考察した。それを通じて、明晰化ストラテジーごとの大きな特徴を把握することが出来た。しかし、この傾向が一般化できるかどうか、つまり翻訳者全員に共通となるような傾

向であるかどうかを結論付けるためには翻訳者ごとのデータを詳細に検討する必要がある。

一方、翻訳も通訳と同様に、ある程度押さえられた条件では多くの同じ要素（活用されるストラテジー等）を含むプロセスになるが、あくまでも動的なプロセスであるため、翻訳者によって必ず変わってくるはずである。通訳者ごと、通訳方向による明晰化ストラテジーの活用傾向を分析・考察した際に、この主張を裏付ける証拠を示すことができたが、翻訳プロセスも同じ原理に基づくことを証明するために、翻訳者ごと、翻訳方向別における明晰化ストラテジーの活用傾向を深く掘り下げる必要がある。この 6.1.2 節では、まず翻訳者ごとに見られた明晰化ストラテジーの活用傾向を明らかにしたい。

まず、本研究に協力した翻訳者ごとに活用した明晰化ストラテジー別の割合を比較するが、その結果は以下の表 16 のようにまとめられる。

表 16 翻訳者別の活用した明晰化ストラテジーの割合

明晰化ストラテジー	翻訳者1	翻訳者2	翻訳者3	翻訳者4	翻訳者5	翻訳者6
主体の明示化	12.8%	12.8%	12.2%	13.0%	13.7%	19.8%
前置き表現の活用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
原文の構成変更	19.8%	17.8%	28.0%	23.0%	15.8%	12.7%
反復	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別の明示化	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
指示語の意味明確化	8.9%	4.8%	3.0%	7.0%	4.8%	2.0%
指示語の付加	3.8%	2.8%	3.4%	8.0%	5.0%	3.8%
暗示された情報の復元	0.0%	2.0%	2.8%	2.0%	3.0%	6.7%
程度副詞の付加	2.0%	2.0%	3.0%	0.0%	5.8%	0.0%
説明の追加	6.8%	17.8%	14.0%	13.0%	14.1%	11.0%
複数の類義語の活用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
接続詞の付加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	26.0%	22.8%	16.8%	20.3%	20.0%	22.0%
テンス・アスペクトの変換・具体化	9.0%	7.8%	9.4%	3.0%	5.8%	9.0%
原文の不自然さに対する処理	7.0%	5.0%	5.2%	5.2%	5.0%	7.0%
形式名詞の具体化	4.0%	3.0%	2.2%	3.0%	3.0%	4.0%
英語（表記）の併用による誤解防止	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%

表 16 に基づき、まず翻訳者全員に共通となるような大きな特徴を取り上げたい。前章でも解説したが、本研究の翻訳では、翻訳者全員が「前置き表現の活用」、「反復」、「複数の類義語の活用」及び「接続詞の付加」を使っていなかった。また、全員に共通して活用割合が多いのは、「主体の明示化」（約 12%～20%）、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」（約 17%～26%）である。「原文の構成変更」、「説明の追加」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」も全体的に比較的高い割合を示しているが、翻訳者間でははっきりしたばらつきが見

られる。中小程度の活用割合のあるストラテジーである「性別の明示化（0%～約2%）」、「原文の不自然さに対する処理」（約5%～約7%）並びに「形式名詞の具体化」（約2%～約4%）については多少差異があるものの、基本的には翻訳者全員の活用が同じ傾向になっているといえよう。

翻訳者間で活用傾向に大きな相違が見られるのは、「暗示された情報の復元」、「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」である。これらのストラテジーは全体的に活用割合が中・小ぐらいのグループであるが、翻訳者の中の割合分布に大きなばらつきがある。例えば、「暗示された情報の復元」の場合は、翻訳者2、3、4、5もほぼ同じ割合でこのストラテジーを活用していたが、翻訳者1はこのストラテジーを1回も使っておらず、且つ翻訳者6は6.7%もこの明晰化を利用していた。つまり、活用は極端な傾向にあるともいえる。同じ現象が「程度副詞の付加」及び「英語（表記）の併用による誤解防止」にも起きている。この結果を伴った大きな要因として考えられるのは、これらのストラテジーはいずれも任意的なものであり、且つ翻訳者の主観的な判断・翻訳スタイルによるところが多いということである。例を挙げてみると、起点テキストにない「非常に」、「より」などといった程度副詞を入れて意味を強調する必要があるかどうかを判断するのは翻訳者である。その必要がないと判断する翻訳者は、起点テキストに忠実な方向で翻訳し、強調する工夫が必要だと思う翻訳者は程度副詞を加える。ここでは、その工夫の効果についてまだ触れていないが、この種類のストラテジーを活用するかどうかは「ぶれ」の幅が大きいということをもまず理解されたい。

また、上述のように全体的な活用傾向が共通するよう見えるが、詳細に見れば翻訳者間でばらつきが見られる明晰化もある。「原文の構成変更」及び「説明の追加」は任意的な性質が強いストラテジーであり、翻訳者の判断に頼るところが多いため、翻訳者によって活用割合に大きな差異があっても理解できないこともない。ただし、本研究の翻訳データで義務的な性質が強いと見られる「主体の明示化」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」「テンス・アスペクトの変換・具体化」においても多少同じ現象が観察できた。詳細なデータを考察したところ、これらの活用回数に関しては、翻訳者間では大した差異があるわけでもなかった。例えば、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」に関しては、以上の集計データによると、翻訳者1は26%という最も高い割合でこの明晰化を利用していたが、実際翻訳者1の活用回数が12回であり、ほかの翻訳者（翻訳者2

(14 回)、翻訳者 3 (10 回)、翻訳者 4 (12 回)、翻訳者 5 (13 回)、翻訳者 6 (10 回)) と比較してみると、上回るとは限らない。しかし、翻訳者 1 のストラテジー全体の活用回数 (母数) が 46 回のみであり、6 名の中で一番少なかったため、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」の活用割合がこのように高く見えて、存在が目立つようになったのである。「主体の明示化」及び「テンス・アスペクトの変換・具体化」についても同じ形で翻訳者間のばらつきを発生させた要因を突き止めることができた。なお、ここで改めて断っておきたいが、あるストラテジーがいかに義務的な性質が強くても、翻訳者全員に完全に同様の動向を求めることは不可能である。即ち、訳出プロセスの動的な性質を忘れてはならないということである。義務的な性質が強いストラテジーの場合は、翻訳者全員が高い割合でそのストラテジーを使う傾向があるかもしれないが、同じストラテジーの具体的な活用形態が異なり、且つストラテジーの義務的な性質を認識せずにストラテジーを活用しない可能性も十分にあり得る。

以上は翻訳者による明晰化ストラテジーの活用率について分析・考察した。以下、表 17 と図 17 を用いて、翻訳者によって活用される明晰化ストラテジーの活用レベル、必然性及び利用目的が異なるかどうか分析・考察したい。

表 17 翻訳者別の活用した明晰化ストラテジーの
必然性・活用レベル・利用目的の割合

	活用レベル			必然性		利用目的	
	語彙レベル	文法レベル	談話レベル	義務的	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	意味明確化のため
翻訳者1	38.70%	29.00%	32.30%	53.30%	46.70%	33.90%	66.10%
翻訳者2	36.90%	34.80%	28.30%	60.90%	39.10%	37.00%	63.00%
翻訳者3	28.80%	28.80%	42.70%	50.80%	49.20%	32.20%	67.80%
翻訳者4	36.70%	25.00%	38.30%	50.00%	50.00%	38.30%	61.70%
翻訳者5	39.70%	28.60%	31.70%	49.20%	50.80%	31.70%	68.30%
翻訳者6	32.60%	39.10%	28.30%	63.00%	37.00%	30.40%	69.60%

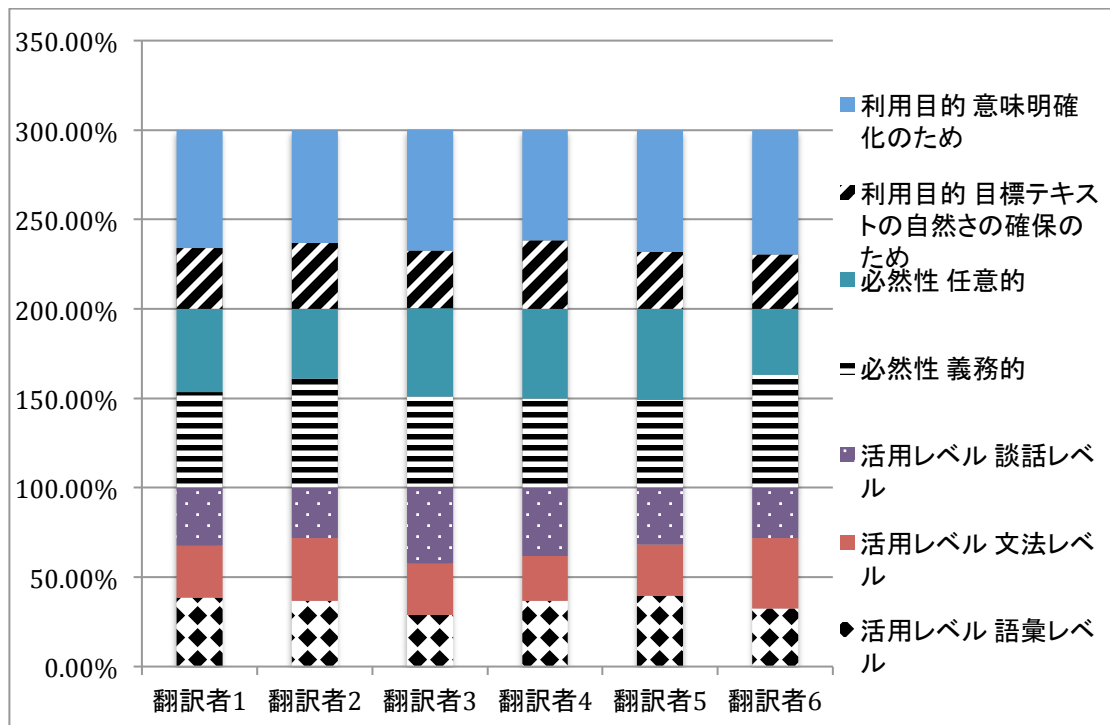


図 17 翻訳者別の活用した明晰化ストラテジーの
必然性・活用レベル・利用目的の傾向

図 17 を見ると、利用目的については翻訳者全員に共通する傾向になっているということが分かるだろう。つまり、「意味明確化のため」という利用目的の割合のほうに圧倒的に高いということである。これは、データ全体の分析結果にも合致している。ただし、明晰化ストラテジーの必然性については、翻訳者による違いが見られた。基本的には義務的な活用がより大きな割合を占めているが、唯一翻訳者 5 のみ任意的な活用のほうが義務的な活用より割合がやや高めであり（50.8%対 49.2%）、翻訳者 4 は「義務的」と「任意的」の割合が完全に同じである。また、翻訳者 5 のデータを検討したところ、義務的な活用の回数は合計 31 回であり、ほかの翻訳者を殆ど下回らない（ほかの翻訳者の活用回数：28 回～33 回）。

明晰化の活用レベルについては、翻訳者間では更にはっきりした分化が見られる。グループ分けをしてみると、第 4 章で翻訳データ全体を分析して明らかになった全体傾向である語彙＞文法＞談話という傾向に従っているのは翻訳者 2 のみである。一方、談話＞語彙＞文法の傾向になっているのは翻訳者 3 と翻訳者 4 で、語彙＞談話＞文法の傾向になっているのは翻訳者 1 と翻訳者 5 であり、残りの 1 名である翻訳者 6 はどちらのグループにも入っておらず、文法レベルでの活用が最も多く、文

法＞語彙＞談話という結果になっている。この違いを生み出した要因は、各翻訳者が活用した明晰化ストラテジーの内訳に違いがあったからであると考えられる。例えば、翻訳者 3 が最も多く活用したストラテジーは「原文の構成変更」（表 16）であるが、このストラテジーは図 15 にも示された通りに、100%の活用が談話レベルになっている。そのために、翻訳者 3 の談話レベルでの活用割合が最も多いわけである。同様に、翻訳者の中で、「主体の明示化」の活用率が最も多いのは翻訳者 6 であるが、このストラテジーの主な活用レベルは明らかに、文法レベルである。これは翻訳者 6 のストラテジー全体の活用レベルの傾向を大きく左右すると考えても良いだろう。一方、翻訳者 1、2 が語彙活用レベルが主要となる「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」を翻訳者の中で非常に高い割合で活用したことも、以上で分析した傾向を伴った一因として見られるであろう。また、翻訳者 4、5 は「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」を多く使っていたというように、翻訳者 1、2 と同様の特徴を持っていながら、翻訳者 3 と同じく談話レベルの活用が主流となっている「原文の構成変更」も積極的に活用していたため、ミックスした活用レベルの傾向を生み出したのではないかと思われる。

上記のように、翻訳者によるストラテジー活用レベルが異なる原因についてはデータに突き合せてみれば、ある程度理解可能な根拠を見いだすことができる。しかし、それはあくまでも表面的な根拠であり、深層における要因は翻訳者ごとの活用するストラテジーがそもそも異なるという実態にある。この実態は人間（翻訳者）に関わる様々な要素の影響を受けて成立したものであるため、解明するのが非常に難しいと思われるが、それこそが翻訳プロセスの動的な性質にほかならないものであり、本研究で検証したい点でもある。

6.1.3 翻訳方向によって異なる明晰化ストラテジーの活用傾向

6.1.2 節では翻訳者を変数として見る場合、明晰化ストラテジーの活用がどのように変化したかについて分析・考察した。本節では、引き続き別の変数としての翻訳方向を加えて、翻訳プロセスにおける明晰化ストラテジーの活用への影響を観察する。

全体的に見ると、越→日方向の翻訳における明晰化の出現回数は 113 回であり、逆方向の日→越（221 回）と比べ、下回っているということが分かった。加えて、これは翻訳者全員に共通する特徴となっている。しかし、ベトナム語原文が 13 文、日本語原文が 27 文であるように 起点テキストの分量に大きな差異があるため、以

上の全体結果だけで傾向として一般化することができないのである。訳出方向による違いを明らかにするために、以下の詳細なデータを用いて、解析してみたい。

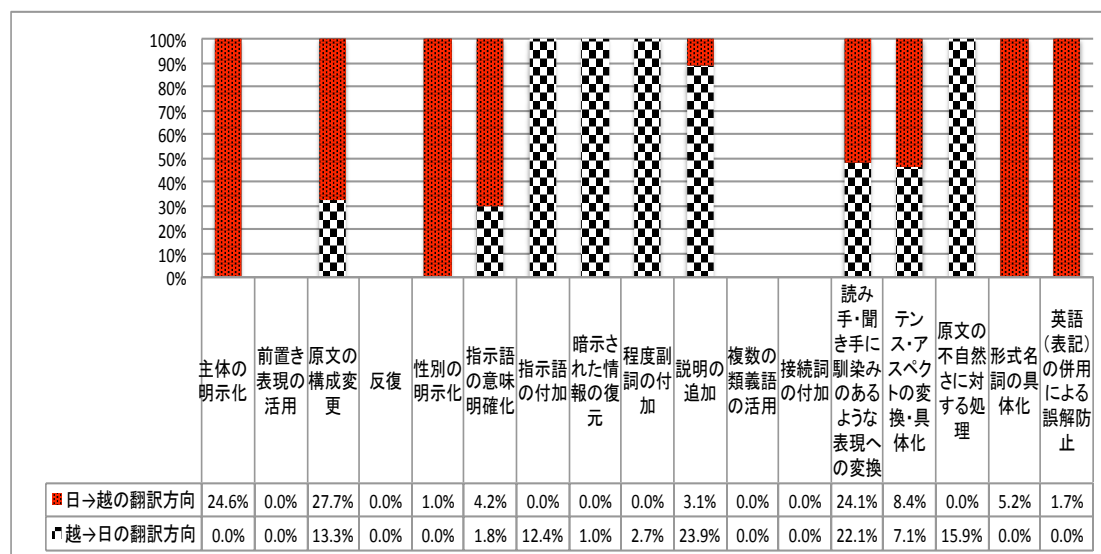


図 18 翻訳方向別における明晰化ストラテジーごとの割合

図 18 を見ると分かるように、「英語（表記）の併用による誤解防止」、「形式名詞の具体化」、「性別の明示化」並びに「主体の明示化」は日→越の翻訳方向にしか現れなかった。まず、「性別の明示化」と「主体の明示化」については、既に説明したように、日本語とベトナム語の根本的な特徴の相違により発生したストラテジーであり、且つ、性別・主体を明示する必要があるのはベトナム語だけであるため、これらの二つのストラテジーが日→越という方向にのみ現れているのも想定された結果である。また、形式名詞が多く活用されるのは日本語であり、ベトナム語ではあまり馴染みのない表現の仕方であるため、形式名詞の具体化という工夫は基本的には日本語からベトナム語へ訳出するときに限られるのではないと思われる。「英語（表記）の併用による誤解防止」だけは、起点言語と目標言語の相違によるストラテジーではないが、本研究で使われたベトナム語原文では外来語及び専門用語が全然使われていないため、英語を併用する必要もなかっただろう。その一方、「指示語の付加」、「暗示された情報の復元」、「程度副詞の活用」、「原文の不自然さに対する処理」は逆の訳出方向である越→日の翻訳方向にしか見られなかったが、これは二言語間の特徴の相違によるものではなく、ベトナム語の原文に現れた対象が特定しづらいと思った翻訳者が意味を明確化しようとして、「指示語の付加」や「暗示された情報の復元」というストラテジーを工夫したと考えても良いであろう。「程度副詞の活用」も任意的なストラテジーとして使われており、

翻訳者の判断によるものであるため、このようになった理由は特にはないと思われるが、意識調査においてこの点について掘り下げて考察してみたいと考える。また、「原文の不自然さに対する処理」もいずれかの翻訳方向に限定されるものではなく、単純に言えば、本研究で使われたベトナム語原文が偶然に不自然な表現があったため、この処理がベトナム語→日本語の訳出方向において行われたということであろう。

ほかのストラテジーに関しては、翻訳データで完全に観察できなかったもの以外には、いずれも訳出両方向に現れていた。しかし、ストラテジーによって翻訳方向別における出現割合が異なる。例えば、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」並びに「テンス・アスペクトの変換・具体化」の場合はどちらの方向においても大体同じ割合の出現になっている。一方、「説明の追加」は越→日方向の出現の方が圧倒的に多く、「原文の構成変更」や「指示語の意味明確化」は日→越方向のほうが出現割合が高いという集計結果となっている。「説明の追加」に関しては、全体的に見るとベトナム語原文のほうが長く、修飾する成分と被修飾の成分の区分けが難しく、表現も分かりにくいところが多いため、説明を適宜追加することが必要であろうと考えられる。それに対して、日本語原文は意味が分かりづらいわけではないが、日本語構文の特殊な特徴、日本語らしい指示語の付加があるため、原文の構成を変更しない、または、指示語の意味を明確化しないままではベトナム語に訳すと不明確で不自然な訳文になる可能性が高い。そこで、日→越の翻訳方向ではこれらのストラテジーが特に工夫され、出現割合が多くなったのではないかとと思われる。

以上、翻訳方向によるストラテジーの割合の違いを一通り考察した。その結果を踏まえて、引き続きストラテジーの活用レベル、必然性や利用目的について分析・考察したい。翻訳方向による明晰化ストラテジーの活用レベル・必然性・利用目的の差異を以下の表 18 において示す。

表 18 翻訳方向による明晰化ストラテジーの活用レベル・必然性・利用目的の差異

	活用レベル			必然性		利用目的	
	語彙レベル	文法レベル	談話レベル	任意的	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	意味明確化のため
越→日	40%	23%	37%	54%	46%	36%	64%
日→越	36%	33%	31%	43%	57%	31%	69%

活用レベルについては翻訳方向によって明らかに違いが見られる。翻訳双方において「語彙レベル」が「談話レベル」を上回り、最も高い割合（40%と 36%）を見せた。しかし、「文法レベル」に関しては、越→日方向で一番低い割合を占めているのに対して、日→越方向では「談話レベル」よりも高い割合であった。「主体の明示化」が日→越の方向にしか現れず、且つ大きな割合を占めているほか、100%文法レベルの活用になっているということ、通常談話レベルで活用されることの多い「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変更」が今回の翻訳データでどちらの訳出方向においても高い割合で出現した上に、語彙レベルで活用されたことが多かったことは、以上に示した活用レベルの分配傾向を伴った大きな要因だと考えられる。

同様に必然性についても方向による大きな相違がある。越→日の方向で任意的活用が義務的な活用を上回る（54%対 46%）のに対し、日→越の方向では必然性の傾向が逆となっており、且つ大幅な差異が見られる（43%対 57%）。日→越の方向にしか出現しなかったような義務的な性質が強い「主体の明示化」及び「形式名詞の具体化」、越→日の方向に比較的高く発生し、且つ任意的な性質が強い「説明の追加」がこの結果を伴った大きな要因としてみて良いであろう。

「活用レベル」や「必然性」と異なり、「利用目的」については翻訳方向に関わらず、同じ傾向になっている。即ち、どちらの方向においても「意味明確化のため」という利用目的がより大きな割合を占めているということである。これは全体データと一致しており、想定された結果でもある。

6.2 意識調査の結果を踏まえた考察

本節において、第 5 章の第 1 節のように、被験者に対する意識調査の結果を踏まえて、①日本語-ベトナム語の翻訳プロセスにおける明晰化ストラテジー活用の共通傾向に繋がる被験者の意識・意図、②日本語-ベトナム語の翻訳プロセスにおける明晰化ストラテジーの動的な活用傾向に繋がる被験者の意識・意図を説明していく。しかし、翻訳データに関する意識調査の行い方は通訳の場合と少々異なる。被験者 6 名に対する翻訳の素材が完全に同じものであるため、通訳データと比べ被験者間の違いをよく見つけやすいという特徴がある。そこで、翻訳データに関する意識調査にあたり、筆者は通訳データの調査のように出現割合が高いストラテジーに焦点を当てるのではなく、被験者全員が同じストラテジーを活用していた訳文、殆どの被験者が活用していなかったが、わずか 1 名か 2 名の被験者がストラテジーを使っ

ていた訳文、若しくは情報の処理、工夫のあり方がはっきり分かれていた訳文に注目し、ヒアリングを行った。なお、改めてここで断っておきたいが、作業中の意識とは心理学的な観点からみると、非常に複雑なものであり、本人でも自分の意識がどのように働いているか把握できないところが多いため、本調査で確認できた被験者の意識が確実に翻訳作業中の被験者の意識であるかについては絶対的であると言いうことができない。

6.2.1 明晰化ストラテジーの共通した活用傾向と翻訳者の意図・意識の関連性

まず、「主体の明示化」が共通して活用された翻訳文に関する被験者の意識を確認した。起点テキストは以下である。

- (1) (会社名)に入社する前に、契約社員として約2年間働いていました。

主語、いわゆる動作主体が明示されていないこの起点テキストに対して、翻訳者全員はベトナム語に翻訳する際に主体を明示した。この工夫について翻訳者に意識を調査したところ、「ベトナム語は主語が明示されなければ失礼になる言語であるため、ここで主体を明示するのが当たり前である」という回答を得られた。これは筆者が想定した通りの結果となっており、日本語→ベトナム語の訳出における「主体の明示化」の義務的な活用の高比率を裏付けるものでもある。そして、この工夫は意識的な工夫であるとも確認できた。

同様の形で「原文の構成変更」が活用された翻訳文についても調査してみた。起点テキストは以下である。

- (2) 私たちは、単に生命保険商品を販売することだけを目指しているわけではありません。

翻訳者6名のうち、5名もの翻訳者がこの起点テキストをベトナム語に翻訳する際に、起点テキストの構成を変更した。具体的には、主語・主題の「私たち」を修飾語に変え、「私たちの目的」を主語・主題に置き、「私たちの目的は単に生命保険商品を販売することではない」というように翻訳することによって、「私たちの目的」という語句を強調し、読み手の注目を引くことができるようになっている。この工夫の意図・意識についてヒアリングしたところ、このように伝えると意味をより明確化することができるほか、更に自然な形で伝えることができると回答された。そして、この工夫をしたのは意識的だということである。筆者は主観的にこの工夫の利用目的を「目標テキストの自然さ確保のため」と認定していたが、この

調査を通じて両方の利用目的が意図されていたことが分かった。なお、これでも想定内の結果である。つまり、利用目的の定義を取り上げた時にも説明したように、この二つの利用目的ははっきり区別できるわけではなく、多くの場合は混じったような形になっている。具体的には、目標テキストの自然さを確保することによって、意味を明確な形で伝える意図を持つ翻訳者もいれば、意味を明確化することによって目標テキストをより自然に伝える意図を持つ翻訳者もいる。翻訳者自身は今振り返ってみても、作業中どちらの意図がより先行していたか分からない。そのため、本研究では筆者は二つの利用目的が平行して内在する可能性を認めるものの、集計の便宜上、文脈や自分自身の経験を踏まえ、どちらかよりはっきり見える利用目的の一つを認定するしかなかった。

次は「指示語の意味明確化」と「形式名詞の具体化」についてのヒアリングである。ヒアリングに用いられた起点テキストは以下である。

(3) ご家族に経済的な負担をかけずに、それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたものなのです。

この起点テキストに対し、翻訳者 6 名とも、「それぞれ」という指示語の意味を明確化し、「～もの」という形式名詞を具体化した。この二つの工夫につき、翻訳者全員は目標テキストの自然さや意味の明確さのためにやむを得ず、行わざるを得ないのだと回答した。そして、これらの工夫は時間をかけて考えたものであるため、意識的に行われたものであろうという認識も確認できた。本章第 1 節の分析結果では、「指示語の意味明確化」と「形式名詞の具体化」の利用目的は完全に「意味明確化のため」と認定されていたが、この調査を通じて、翻訳者の意識では「目標テキストの自然さ確保のため」という意図もあったということが明らかになった。

「読み手に馴染みのあるような表現に変換する」という明晰化ストラテジーは出現割合が多く、且つ翻訳者全員に共通して活用された箇所も多かったために、調査の対象にした。ヒアリングに用いられた起点テキストは次のようである。

(4) 使命感をもって仕事をしている姿勢が素敵で、仲良くさせて頂くようになったんです。

「使命感」という言葉は日本語の文章ではよく見かける表現であるが、ベトナム語ではこのような言い方が通用していない。そのために、翻訳者全員は直訳せずに、文脈を踏まえて相応しいと思われるベトナム語の代替表現に変換した。殆どの翻訳者は「素晴らしい責任感」というような訳を使っていた。調査で翻訳者の作業中の意識を確認したところ、「ベトナム語にぴったり対応する表現がないため、文脈に

合った表現に変換するしかなかった」という認識が確認できた。つまり、このような工夫は意識的であり、「目標テキストの自然さの確保のため」という意図が強かったということであろう。

「原文の不自然さに対する処理」も義務的な性質が強いように、翻訳者全員は不自然さがある起点テキストにおいて処理を行っていた。

(5) Trong/ khuôn khổ/ chương trình/ “●●（会社名） /: Niềm tin Việt/- Chung tay/ hướng về/ biển đảo/ quê hương/”, Tập đoàn ●●（グループ名） / cũng/ đã/ công bố/ và/ trao giải/ cuộc thi/ vẽ tranh/ “ Niềm tin/ chấp cánh/ ước mơ/”.

（における/枠組み/プログラム/（会社名）/ベトナムビリーフ/手を合わせる/向ける/母国/海島/グループ（グループ名）/も/過去形/発表する/と/授与する/コンテスト/絵を描く/ビリーフ/羽ばたかせる/夢/）

【「ベトナムビリーフ・母国の海島に向けて力を合わせる」という運動の中で、●●グループ（会社名）は「夢を羽ばたかせる」という絵画コンテストを発表し、受賞式を行った】

(5)の起点テキストでは、下線を引かれた表現（絵画コンテストを発表し、受賞式を行った）が明らかに不自然である。この不自然さに対して、翻訳者全員は「絵画コンテストの結果を発表し」というように処理を行った。調査によると、この工夫を行わなければ、正しい訳文を産出することができないとの認識が確認できた。そして、この工夫も以上で調査した工夫と同様、意識的なものである。工夫のはっきりした意図は確認できなかったが、どうも「意味明確化のため」という意図のほうに翻訳者の意識の中ではっきり潜在していたのではないかと思われる。

最後に「指示語の付加」及び「テンス・アスペクトの変換・具体化」について意識を調査してみた。以下の起点テキストを用いて、ヒアリングした。

(6) Tại /lễ phát động/, ông/ Nguyễn Quang Phi/-Tổng Giám đốc Tập đoàn ●●/- chia sẻ/ “Chương trình/ là/ cơ hội/ để/ mỗi/ cán bộ nhân viên ●●/ thể hiện/ niềm tin/ và/ tình yêu/ đối với/ quê hương/ đất nước/. Thông qua/ những/ hành động/ nhỏ/ mà/ ý nghĩa/ ngày hôm nay/, chúng tôi/ hy vọng/ sẽ/ tiếp thêm/ sức mạnh/ và/ ý chí/ kiên cường/ cho/ đồng bào/ và/ các/ chiến sỹ/ nơi/ đảo/ xa/ trong/ công cuộc/ xây dựng/ và/ bảo vệ/ đất nước/”.

（における/発足式/氏/グエン・クアン・フィー/社長/グループ/語る/プログラム/は/機会/ため/ずつ/職員●●/表す/ビリーフ/と/愛/に対する/故郷/国。/を通じて/複数形/行動/

小さい/有意義/本日/私たち/期待する/未来テンス/加える/力/と/堅固/意志/に対する/同胞/と/複数形/兵士/島/遠い/における/事業/建設/と/保護/国/)

【発足式において、●●グループのグエン・クアン・フィー社長は「プログラムは●●（会社名）従業員の一員ずつが母国や古里に対するビリーフと愛を表す機会である。些細ながら有意義な本日の行動を通じて、我々は国の建設・保護事業における遠い島にいる同胞と兵士に対し、パワーと堅固な意思を与えることを期待している」と語る。】

この起点テキストでは、「語る」（chia sẻ）という動詞は、明らかに過去の行動を表すのに過去形にされなかった。ベトナム語ではこのままのテンスでも自然ではあるが、日本語では違和感を与えるだろう。そのために、翻訳者全員は日本語に訳した際に、「語る」を「語った」というようにテンスを変換した。この工夫についてヒアリングしたところ、翻訳者全員が曖昧さを避け、日本語で自然に伝えられるようにするためであると解答した。そして、同じ起点テキストにおいて、「プログラム」（Chương trình）という名詞に「当」、または「この」等の指示語を加えるという工夫も見られた。この工夫も翻訳者全員が共通して行い、且つ指す対象を明確化するために行った工夫であると回答していた。

このように、明晰化ストラテジーが共通して活用されたいくつかの代表的な訳文を抽出し、意識調査を行ったが、翻訳者の意識における共通の部分が多いということを確認することができた。そして、この調査で分かった大事な発見の一つは翻訳者全員が意識的にこれらの工夫を行っていたということである。筆者は殆どの場合において無意識のうちにストラテジーを使っていただろうという仮説を立てたが、調査で明らかになったこの結果は想定外のものであった。また、ストラテジーの利用目的については、単純に「意味明確のため」若しくは「目標テキストの自然さ確保のため」ではなく、両方の利用目的が混じっていた場合が多かったということも意識調査で確認できた。

6.2.2 明晰化ストラテジーの異なる活用傾向と翻訳者の意識・意図の関連性

この節では 6.2.1 と異なり、明晰化ストラテジーの活用にばらつきがある現象と被験者の意識・意図との関連性を明らかにするために、ストラテジーが翻訳者全員によって共通して活用された訳文に焦点を当ててではなく、殆どの被験者が活用していなかったが、わずか 1 名か 2 名の被験者がストラテジーを使っていた訳文及び

情報の処理、工夫のあり方がはっきり分かれていた訳文に注目し、ヒアリングを行った。

まず、「程度副詞の付加」について、以下の起点テキストを用いてヒアリングした。

(1) 合い言葉は「あなたの未来を強くする」

この起点テキストに対し、ただ一人の翻訳者が「あなたの未来をより強くする」のように「より」という程度副詞を加えた。なぜこの工夫をしたのか確認したところ、この程度副詞を加えないと、「生命保険のお客さんの未来は全然強くないが、生命保険によって強くなる」という大げさな意味合いが読み手に伝わってしまうと懸念していたため、「より」という程度副詞を活用していたという回答を得られた。想定外の答えであったが、この被験者の説明は理にかなうものであり、理解できないこともない。翻訳者はしっかりと意識しながら、この工夫を行ったという点について筆者は特に確認したかった。「暗示された情報の復元」にも同様に、ただ一人の翻訳者が工夫した場面があった。

(2) 「未来」をより確かなものにするために。

この翻訳者は「あなたの未来」のように暗示された「あなた」の情報を復元した。その理由を聞いたところ、意味を明確化することができるほか、表現の自然さも向上させることができるという理由で、この工夫をしたという認識が確認できた。筆者はこの場合において、利用目的が「意味明確化のため」と認定したが、翻訳者が意図していた目的はそのように単純なものではなく、やはり表現の自然さを求めるためという目的も存在した。

「説明の追加」のストラテジーについても、以上と同じく、翻訳者 6 名のうち、5 名もの翻訳者は説明を追加しなかったが、わずか 1 名のみこの工夫を行った。

(3) (会社名)に入社する前に、契約社員として約 2 年間働いていました。

この場面では、1 名の翻訳者は「(会社名)に正式に入社する前に～」という翻訳を作り上げた。「正式に」というのは起点テキストになかった情報だが、この翻訳者がなぜこの情報を追加したのが理解しづらい点である。本人にヒアリングしてみたところ、無意識的にこのように訳したのではなく、意図がちゃんとあったとの回答であった。つまり、直訳すると、契約社員の資格と入社後の資格がどう異なるか読み手には想像しにくいため、「正式に」という説明を加えることによって「契約」と「正式」の対立的な意味を際立たせ、読み手の理解負担を軽減したいということであった。

「原文の構成変更」のストラテジーにもわずか一名の翻訳者が活用した場面があった。

(4) Với/ tinh thần/ hướng về/ biển đảo/ quê hương/, ngày 09/07/2014/, tập đoàn ●● (Tên công ty)/ đã/ phát động/ chương trình/ tuyên góp/: Niềm tin Việt/ – Chung tay/ hướng về/ biển đảo/ quê hương/ nhằm/ khơi dậy/ lòng yêu nước/, niềm tự hào/ dân tộc/, hướng/ về/ biển đảo/ thân yêu/ trong/ mỗi/ cán bộ/ ●● (Tên công ty)/.

(で/精神/向ける/海島/母国/2014年7月9日/グループ●●(会社名)/過去形/発足させる/プログラム/寄付/ベトナムビリー/手を合わせて/向ける/海島/母国/ため/呼び起こす/愛国心/誇り/民族/向かう/海島/愛なる/における/ずつ/職員●●(会社名)/)

【2014年7月9日に、(会社名)グループは(会社名)の職員ごとの愛国心、民族への誇り、親愛なる海島へ? を呼び起こすために、「ベトナムのビリーフ – 母国の海島に向かって力を合せる」という寄付プログラムを発足させた。】

この起点テキストは一つの文として構成されたが、翻訳者5は以下のように長い文を分割した。

(翻訳) : 2014年07月09日に グループ名は「ベトナムへの希望ーベトナム領海へ向けて手を合わせよう」という寄付プログラムを起こしました。目的は グループ名の従業員の愛国心、民族の誇り、島への愛着を喚起することです。

その理由についてヒアリングしたところ、翻訳者は簡潔な形で、且つ分かりやすく伝えるために意識的にこの工夫を行ったとのことである。

次に翻訳者の工夫のあり方が分かれた訳文についての意識調査である。義務的な性質が強いストラテジーであるが、活用したのは2名でほかの4名は活用しなかったという場面があった。

(5) その職場に顔を出されていた●●の方が、真面目でとても感じが良かったんです。「～方」というところを訳した際に、6名のうち2名の翻訳者は性別(女性別)を明示した。この工夫をした翻訳者からは、前後の文脈をもとに考えれば、このテキストで言及されている人物の性別が分かり、更にベトナム語に訳す際に性別を明示しなければ、なんだか曖昧で、不自然であり、且つ読み手との隔たりを作ってしまうような気がするためであるという回答が得られた。確かにこの文章を読んだだけでは、言及された対象の性別を確定することは難しいが、前後の文脈を踏まえて判断すると、性別が判断できないことはない。また、筆者の観点からすれば、性別が明示されたベトナム語訳とそうでないベトナム語訳を比較してみると、性別が明示されたベトナム語訳のほうがいっそう自然でよく書いているという印象を受ける。

こういった場面において、翻訳者の言語的なセンスによって、訳文の自然さが大きく変わるということもこの調査によって確認することができた。

最後に「読み手に馴染みのあるような表現への変換」について処理のあり方が翻訳者によって大きく異なった訳文について意識を調査してみた。

(6) 私たち●●(会社名)は、一人でも多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えていきます。

「一人でも多く」は日本語の文章でよく見かける表現であるが、ベトナム語では対応する言い方がないため、この表現を訳す際には必ず処理を行う必要がある。しかし、この場面では翻訳者の6名のうち、「読み手に馴染みのあるような表現への変換」を行い、ベトナム語で意味が近くなるように表現に訳したのは4名だけであり、ほかの2名はこの表現の部分を省いた。ヒアリングしたところ、ベトナム語に対応する表現がないうえ、この部分がなくてもそれほど意味伝達に影響がないため、無理矢理不自然な形で翻訳するよりも、省いたほうが良いという認識を確認することができた。つまり、この場合において、翻訳者の判断によって原文を構成する各部分に対する認識が大幅に異なっているということが分かった。認識の違いによって、翻訳時の情報処理等も大きく変わってくるであろう。

また、被験者4にヒアリングした時に、日本語からベトナム語へ訳す場合は意味の十分な伝達を重視しながら、ベトナム語目標テキストの自然さを第一に優先する意識があるが、ベトナム語から日本語へ訳す場合は、日本語母語話者でないために、自然な目標テキストがどのような形であるか判断し切れないため、日本語目標テキストの自然さよりも、まず意味が十分に伝わるかを最も重視しているという認識を確認することができた。被験者6もどうも同じような認識を持っているようである。ほかの被験者に対しては残念なことに、この認識を持っているかどうか確認できなかったが、これも訳出者の一つの考え方だと分かって来た。そして、この考え方も訳出プロセス及びそのプロセスに活用されるストラテジーを大きく左右する重要な要素の一つなのではないかと思われる。

このように、意識調査により工夫のあり方が大きく異なった訳文に関わる翻訳者の認識の違いを明らかにすることができた。この結果によって、翻訳プロセスの動的な性質を実証することが出来るほか、このプロセスにおける翻訳者の判断・経験及び言語的なセンス等の各要素の重要な役割を確認することもできた。次の章にお

いて、通訳と翻訳のデータの比較を行った上で、本章の本節と同様の形で、最後に意識調査を踏まえ、比較の結果を改めて確認していきたい。

6.3 翻訳データ分析・考察結果のまとめ

翻訳データに見られた明晰化ストラテジーを概観した結果、活用が一番多かったのは「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」と「原文の構成変更」、「説明の追加」、「主体の明示化」であることが分かった。その次は中程度の割合で出現したストラテジーとしての「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「原文の不自然さに対する処理」、「指示語の付加」、「指示語の意味明確化」である。ほかのストラテジーに関しては、出現がなかった「反復」、「複数の類義語の活用」、「接続詞の付加」を除き、全項目が極めて低い割合（1%～3%）を示した。明晰化ストラテジーの必然性を分析・考察した結果、翻訳データにおける明晰化ストラテジー活用の必然性はストラテジーによって大幅に異なっていることが明らかになった。活用レベルに関しては、談話レベルの活用が最も少ない一方で、語彙レベルの活用は翻訳全体データにおいて割合が相当高かった。そして、利用目的については、全体的に「意味明確化のため」という利用目的の割合のほうが高いという結果が得られた。更に、翻訳者ごとに見られた明晰化ストラテジーの活用傾向も分析・考察した。全員に共通して「主体の明示化」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」の活用率が高いという共通傾向が見られた。一方、「原文の構成変更」、「説明の追加」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」が全体的に比較的高い割合を示しているが、翻訳者間でははっきりしたばらつきが見られる。同じ現象が、出現割合が中・小程度のストラテジーのグループ（「暗示された情報の復元」、「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」）にも観察できた。出現割合については、翻訳者間のばらつきがあるものの、「利用目的」に関しては差が少ないとも言える。ただし、明晰化ストラテジーの「必然性」については、「利用目的」と異なり、翻訳者による相違の存在が確認できた。そして、明晰化の活用レベルにおいては、翻訳者間での更にはっきりした分化が見られる。また、翻訳方向という観点から明晰化ストラテジーの活用傾向を調べた結果、翻訳方向によってストラテジーの出現割合と、必然性や活用レベルは大きく変動することが分かった。しかし、「活用レベル」や「必然性」とは異なり、「利用目的」については翻訳方向に関わらず、同じ

傾向になっている。 どちらの方向においても「意味明確化のため」という利用目的がより大きな割合を占めているということである。

以上、データの分析・考察で分かったことを被験者への意識調査により改めて振り返ってみた。意識調査を通じて、被験者の意識・意図及び認識はいかにストラテジーの活用傾向を左右するかが確認できた。そして、この結果によって、翻訳も通訳と同様に、動的なプロセスであり、且つその動的なプロセスにおいて、訳出する人の意識・意図及び認識が非常に大きな影響力を持っていることが検証できた。

第 7 章

訳出形態の比較

第 5 章と第 6 章で通訳や翻訳データに見られた明晰化ストラテジーを分析・考察した。それぞれのデータに見られた明晰化ストラテジーの概観として明晰化ストラテジー別の割合及びストラテジーの必然性・活用レベル・利用目的について順次考察を行った。更に、訳出者によって明晰化ストラテジーの活用傾向に違いがあるかどうかを検証し、最後に訳出方向による明晰化ストラテジーの活用への影響を明らかにした。

この分析・考察を通じて、日本語-ベトナム語双方向の訳出形態ごとの大きな特徴を把握することができた。それぞれの訳出形態において訳出者及び訳出方向を問わず、同じ活用傾向を貫くストラテジーもあれば、訳出者や訳出方向という要素に大きく左右されるストラテジーもあるということが検証できた。

なお、第 5 章と第 6 章では訳出者と訳出方向という変数による影響の度合いの検証にとどまり、訳出形態による明晰化ストラテジー活用傾向の相違をまだ確認することが出来ていない。本章では、訳出形態がいかに明晰化ストラテジーの活用状況に影響を与えるかについて検討した。

まず、本章の節 7.1 節では訳出形態に関わらず、共通となる明晰化ストラテジーの活用の特徴を取り上げると同時に、この結果を導いた背景についてデータや筆者の見解に基づき解釈してみた。7.2 節では、訳出形態による大きな相違点をまとめ、考察した。7.3 節では、7.1 節や 7.2 節で触れた結果についての深層的解釈を追求するために、被験者に対する意識調査の結果を踏まえ、改めて考察した。

7.1 訳出形態に関わらず共通した明晰化ストラテジー活用の特徴

訳出形態を問わず、共通となる一番大きな特徴は通訳・翻訳プロセスにおいて普遍性が高いストラテジーである「説明の追加」、「原文の構成変更」が著しい存在感を持っているということである。翻訳において、これらのストラテジーがそれぞれ 15%と 20%を占めており、且つ通訳においても、24%と 10%という高い比率を見せていた。加えて、本研究で初めて明晰化として認定した「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」や「主体の明示化」も訳出形態に関わらず、「説明の追加」及び「原文の構成変更」に劣らず、確実に高い出現率を示した。

その一方で、両方の訳出形態において、同様に低い比率で活用された戦略のグループもある。このグループには、「性別の明示化」、「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」が含まれる。どちらの訳出形態においても、出現率がわずか 1%～3%のみである。もちろん、それぞれの戦略の活用に関わる詳細な特徴に関しては、訳出形態により差異があるが、全体的な傾向は共通するのではないかと思われる。

明晰化戦略の特徴・性質については、「必然性」や「活用レベル」はいずれも訳出形態による違いが非常に大きく、全体的に共通傾向が見られるのは「利用目的」だけである。具体的には、どちらの訳出形態も「意味明確化のため」が主要な利用目的になっている。そして、「目標テキストの自然さの確保のため」という利用目的はどちらの形態においても、「原文の構成変更」及び「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」に当てはまる。そして、必然性の特徴を詳細に見ると、「主体の明示化」と「原文の不自然さに対する処理」は訳出形態を問わず必然性が高いという共通する特徴があると言っても良いだろう。同様に活用レベルについても、戦略ごとに見てみると類似する特徴がないわけではないことが分かる。例えば、「主体の明示化」の主要な活用レベルが文法レベルであること、「原文の構成変更」や「暗示された情報の復元」、「説明の追加」の主たる活用レベルが談話レベルであること、且つ「性別の明示化」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」、「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」において語彙レベルの活用が主流となっていることは訳出形態によって殆ど左右されない共通の特徴だと思われる。

また、通訳であれ翻訳であれ、「性別の明示化」が日→越の方向にしか現れていないというもう一つの共通点がある。「主体の明示化」はどちらの形態においても、日→越の方向にしか発生しないだろうという想定であったが、通訳の場合はこの戦略が越→日の方向にも低い割合でありながら出現していた。

以上、簡単に明晰化戦略の活用における通訳と翻訳との類似点をまとめた。筆者の想定では、全体的な傾向も戦略ごとまたは訳出方向ごとの考察結果に関しても似ている点が多いであろうということだったが、以上に検討したように、それほど類似点がたくさんあるわけではなかった。即ち、訳出形態の変更により、明晰化戦略活用の様々な側面（戦略の種類、割合、必然性、活用レベル、利用目的）における大きな変動を伴うことになる。詳しくは以下の第2節において考察していきたい。

7.2 訳出形態によって異なる明晰化ストラテジー活用の特徴

以下の表 19 に、訳出形態による明晰化ストラテジー活用の特徴の相違点をまとめて、提示したい。

表 19 訳出形態によって異なる明晰化ストラテジー活用の特徴

	比較項目	通訳データ	翻訳データ
1	活用された明晰化ストラテジーの種類	「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「形式名詞の具体化」を除き、全て揃って出現した。	「前置き表現の活用」、「反復」、「複数の類義語の活用」、「接続詞の付加」を除き、全て揃って出現した。
2	明晰化ストラテジーごとの割合	「説明の追加」(24%)や「前置き表現の活用」(20%)が最も多用されるストラテジーである。	「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」(21%)及び「原文の構成変更」(20%)は最も多用されるストラテジーである。
		「指示語の付加」はわずか1%である。	「指示語の付加」は5%も活用された。
		「暗示された情報の復元」は約7%もある。	「暗示された情報の復元」はわずか1%である。
		「原文の不自然さに対する処理」はわずか1%である。	「原文の不自然さに対する処理」は約5%もある。
3	必然性	全体的に必然性が高くない(任意的な活用が大半)	全体的に必然性が高い(大きな差異ではないが、任意的な活用率より高い)
		例外的に必然性が高いストラテジーは「主体の明示化」、「性別の明示化」及び「原文の不自然さに対する処理」(約50%が義務的)である。	必然性が高いストラテジーは「主体の明示化」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「原

			文の不自然さに対する処理」、 「形式名詞の具体化」である。
4	活用 レベル	全体的には談話レベルの活用が最も多い。文法レベルの活用が非常に少なく、「主体の明示化」にのみ出現する。	全体的には談話レベルの活用が最も少なく、語彙レベルの活用が最も多い。文法レベルの活用もある程度あり、「主体の明示化」のみならず、「テンス・アスペクトの変換・具体化」、「原文の不自然さに対する処理」、「形式名詞の具体化」にも100%という高い割合で出現する。
		「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」の活用レベルは主に談話レベルである。	「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」の活用レベルは主に語彙レベルである。
		「原文の不自然さに対する処理」は談話レベルと語彙レベルでの活用が見られる。	「原文の不自然さに対する処理」は文法レベルでの活用しかない。
5	訳出者という変数によって影響される明晰化ストラテジー活用傾向	通訳者は全員必然性・利用目的について統一した活用傾向に従っている。活用レベルも基本的には共通であるが、通訳者5のみは「主体明示化」の活用率が高くなるにつれて、全体的な文法レベルの活用がほかの活用レベルと比べ高くなる。	活用レベルについて翻訳者によって大きく異なる。被験者6名の中だけでも、活用レベルは4つものパターンに分かれている。必然性については、翻訳者5以外、全員共通傾向になっている。
6	訳出方向という変数によって影響される明晰	訳出方向を問わず、談話レベルでの活用が主流となっている。文法レベルでの活用だけは方向によって多少変動する。	訳出方向によって、談話レベル及びほかのレベルでの活用率が大きく変動する。

	化ストラ テジー活 用傾向		
		訳出方向を問わず、任意的な活用率が義務的な活用率を上回っている。	越→日の方向では任意的な活用率が義務的な活用を上回っているのに対し、日→越の方向では正反対の傾向が伴われた。

表 19 でも見られるように、通訳と翻訳は全体的な傾向から詳細な項目に至るまで明晰化ストラテジーの活用に関する相違点が多くある。そのうち、想定内の相違点もあれば、全然想定されていなかった点もある。

例えば、「前置き」、「反復」が通訳には現れたが、翻訳において使われないこと、「テンス・アスペクトの変換・具体化」並びに「形式名詞の具体化」が通訳に出現しないことは第 4 章でも説明したように、通訳と翻訳の特殊な特徴から見ると予想可能な結果である。そして、「説明の追加」はどちらの訳出形態にとっても大切なストラテジーではあるが、確かに翻訳では伝達するために使う語彙・表現をじっくり考える余裕があるため、さほどの場合でなければ翻訳者は説明の追加を控える傾向があるだろう。そのために、通訳と比べ、翻訳に現れた「説明の追加」の出現率がより低いという結果については想像しがたいものでもない。同様に、通訳と違って翻訳の起点テキストはある程度時間をかけて準備された原稿であるため、意味がはっきりしており、情報が暗示されたところもより少ないだろうという事実を根拠に考慮すると、「暗示された情報の復元」が翻訳においてあまり活用されていなくても理解可能なのである。しかし、このストラテジーの活用率は起点テキストの表現の明瞭性によるものであるため、翻訳の場合でも起点テキストが分かりやすく書かれていない場合は、以上と全然違う活用傾向を伴う可能性もある。また、翻訳では訳出する人はどういうストラテジーを使うか、そのストラテジーが本当に必要かどうか考える余裕があるために、翻訳に活用されたストラテジーの数は通訳より少ないが、必然性については通訳と比べていっそう高くなるのではないかという仮説を立てたが、結果はその通りであった。

以上に挙げたのは想定可能な結果の例であるが、通訳と翻訳の比較において、どちらかという想定外の結果のほうが多かったとも言える。「原文の不自然さに対する処理」は翻訳のほうが少ないはずであると想定したが、実際分析したところ、

通訳の出現率が 1%であるのに、翻訳の出現率は 5%もある。ただし、それより驚いたのは活用レベルの分布に関する違いである。特に、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」の活用レベルが訳出形態という変数によりそれほど左右されたとは思えなかった。

加えて、訳出者による明晰化ストラテジー活用への影響に関しては、通訳も翻訳も大体同じぐらいの程度であろうと想定したが、実際にデータを検証すると、翻訳のほうが訳出者という変数の存在が大きいという結果が得られた。想定外の結果ではあるが、この発見をきっかけに形式的な違いより通訳と翻訳との深層における違いをよく考える事が出来た。確かに通訳は話し言葉による伝達の形式であり、その場で話の大筋を伝えられれば、通訳者間の微妙な優劣がはっきり見られない場合もある。しかし、翻訳の場合は、伝達内容の正確性、目標言語の高度な運用能力及び表現の豊かさなど様々な能力が求められるうえ、クライアント側が文字化された翻訳という成果物をじっくり検討することもあるため、翻訳者間のレベルの差がよく判定されるのである。明晰化ストラテジー活用の良さ、適切さも実に訳出者の経験・言語能力・対応力等によって決められるものであり、即ち訳出者の経験・能力が素晴らしいほど、明晰化ストラテジー活用の良さ・適切さも増していくということである。この研究の結果に関連づけて考えてみると、通訳者間における明晰化ストラテジー活用の変動が翻訳の場合ほど激しくないという結果は確かに訳出形態による明晰化ストラテジー活用への影響を示しているが、それはあくまでも形式的、つまり表面的な結果であり、それより深層レベルでの結果として認識する必要があるのは、この二つの訳出形態の中では、翻訳のほうが明晰化ストラテジーの活用をはじめとする訳出者の経験・言語能力の素晴らしさがよく反映されることもあるということである。なお、これは単なる一つの考え方であり、クライアント及び実際の場面・状況によって、通訳者・翻訳者に対する認識が変わることもある。また、通訳と翻訳に求められる能力・素質もそもそも異なるので、翻訳で素晴らしいパフォーマンスを見せる訳出者は通訳の際にも素晴らしく対応できるとは限らない。

このように、訳出者という変数がそれぞれの訳出形態における明晰化ストラテジーの活用に対して、いかなる程度の影響を与えたか考察できた。最後に訳出方向という変数に関しても同じ考察を行いたい。表 19 を見ると分かるように、通訳においては訳出方向が明晰化ストラテジー活用の大きな変動を伴わない。それに対して、翻訳の場合は訳出方向によって、活用レベル及び必然性に関する大きな変化が生まれた。翻訳データを分析した際に、この現象について詳細に考察したため、ここで

は改めてなぜこの結果になったのか説明しないが、通訳と翻訳の間で訳出方向の変数による影響度合いがこれほど離れているのは想定外の結果であったことをここで強調したい。

7.3 意識調査を踏まえた考察

前章においても説明したが、本研究では通訳・翻訳データを分析し、明晰化ストラテジーの活用傾向を見いだすだけでなく、明晰化ストラテジー活用の共通傾向、及びこのプロセスの動的な活用に繋がる被験者の意識・意図を確認するために、被験者への意識調査を実施した。この意識調査を通じて、まず、通訳者・翻訳者の認識の異同によって、明晰化ストラテジー及び訳出プロセス全体がどのように変わるか、理にかなった見解を得ることができたと思われる。ただし、本意識調査によって、もう一つの重要な点を確認することができた。それは、訳出形態ごとの訳出者の意識の違いである。具体的には、通訳では通訳者が自分の活用したストラテジーを意識した状態で使ったか、無意識のうちに使ったか断定できないか、若しくは意識的に使った場合と無意識的に使った場合とに分かれている。それに対し、翻訳で活用されたストラテジーについてヒアリングしたところ、翻訳者全員はよく意識して工夫をしていたと回答していた。この結果は筆者の想定した通りのものであり、且つ本章の第 1 節で分析した結果にも合致している。つまり、通訳では時間のプレッシャーがあるため、意識してストラテジーを活用する余裕がほとんどないのに対して、翻訳では時間をかけて考える余裕があるために訳出者がどの工夫を行えば良いかよく意識しながら実行している。そして、はっきり意識しているか、意識していないかによって、活用されるストラテジーの効果や性質が大きく変わる。通訳でははっきり意識していないため、活用された明晰化ストラテジーの殆どは任意的であり、効果が中立的である場合が多いと思われる。それに対し、翻訳者の工夫に対するはっきりした意識によって、本研究で観察できた明晰化ストラテジーの工夫は義務的な性質が強く、活用の効果も通訳と比べいっそう高いのだと判定できる。

通訳や翻訳に使われた明晰化ストラテジーの効果についての評価は第 8 章で行う。第 8 章の効果評価の結果とも合わせて、本章で分析した結果を改めて確認したい。

筆者はこのような結果が非常に重要であると考えている。なぜなら、この結果に基づき、ストラテジーの効果に関わる要因を特定することができると同時に、ストラテジー効果の向上方法を検討することができるからである。簡単にイメージしてみると、通訳する際にも、訳出者が翻訳作業を行っている時と同様に各種のストラ

テジーについて更に高度なレベルで意識し、使い方を工夫すれば、通訳プロセスにおいても明晰化ストラテジーの高い効果が望めるだろう。無論、時間のプレッシャーがある限り、通訳者は翻訳者ほどじっくりストラテジーを意識する余裕がないことには変わらないが、工夫する意識があって、その意識のもとで明晰化ストラテジーの実行練習を重ねて行けば、必ず目に見える効果が出てくると思われる。しかし、被験者 1 からヒアリングできたように、明晰化ストラテジーを意識し過ぎて、過度に活用するのも逆効果を伴う可能性があるため、この点は十分に留意する必要があるだろう。

第 8 章

明晰化ストラテジーの効果のアンケート調査結果と 考察

第 3 章の第 4 節において説明したように、本研究では明晰化ストラテジーの効果
を評価する必要があると判断し、そして相応しい調査方法としてアンケート調査と
いう形を採用した。本章では、アンケート調査の結果をまとめ、この結果をもとに
考察しながら、明晰化ストラテジーの効率的な活用方向を示唆したい。

アンケート調査の対象は 3 つのグループに分かれている。ベトナム語が分からな
い日本人（グループ A）、日本語が分からないベトナム人（グループ B）、日本語
とベトナム語はどちらも分かるベトナム人（グループ C）という三つのグループに
なっており、各グループの協力者数は 20 名ずつである。アンケートは通訳の評価
（パート A）、翻訳の評価（パート B）、全体的な感想（パート C）という 3 つの
パートに分かれている。特に、アンケート協力者がどのように思い、評価したのか
を深く理解するために、通訳・翻訳のパフォーマンスを採点させるのみならず、評
価根拠も説明するように依頼した。アンケート協力者に対して、大変な負担をかけ
ることになったが、評価根拠を把握するのは、明晰化ストラテジーの効果を深く考
察するのに非常に重要な作業である。アンケートの質問事項に出された訳文は本研
究で収録したデータから抽出したものである。アンケート用紙（資料集を参照）を
紙とメールで協力者に送る際、これは通訳・翻訳についてのアンケートであり、ア
ンケート用紙に提示してある訳文について評価し、評価根拠を詳しく書くように依
頼したいという案内のみ行った。なお、協力者の中で、年配者であり、且つ通訳・
翻訳のサービスを利用した経験がない人も多いため、このような対象者に対しては、
アンケートに提示された例を用いて、より詳しく説明した。

8.1 アンケート調査結果のまとめ

本節では、まず表 20～22 に「日本語が分からないベトナム人」（グループ A）、
「ベトナム語が分からない日本人」（グループ B）、「ベトナム語と日本語に精通
するベトナム人」（グループ C）の調査結果をまとめて、その結果について説明し
ていく。

表 20 「日本語が分からないベトナム人」の調査結果

PART	質問事項	協力者①	協力者②	協力者③	協力者④	協力者⑤	協力者⑥	協力者⑦	協力者⑧	協力者⑨	協力者⑩	協力者⑪	協力者⑫	協力者⑬	協力者⑭	協力者⑮	協力者⑯	協力者⑰	協力者⑱	協力者⑲	協力者⑳	平均
A	Q1	4	4	5	4	5	5	3	5	4	5	4	5	4	4	5	3	4	4	5	5	4.35
	Q2	3	3	5	4	5	5	3	4	5	4	4	1	5	5	4	5	4	4	4	5	4.1
	Q3	4	5	5	5	5	4	4	5	4	4	4	1	3	5	5	3	1	5	5	5	4.1
	Q4	5	4	5	4	5	4	4	5	5	5	3	3	4	5	5	5	5	5	3	5	4.45
	Q5	3	5	5	5	5	5	2	5	2	3	3	2	4	3	5	5	5	4	5	5	4.05
	Q6	4	4	5	5	5	4	3	4	5	4	4	1	4	4	4	4	5	5	5	4	4.15
	Q7	2	4	5	4	5	5	4	4	5	3	5	4	4	5	5	5	4	5	3	4	4.25
	Q8	3	5	5	4	5	5	2	5	5	5	4	3	4	5	5	5	3	5	5	5	4.4
	Q9	4	5	5	5	5	5	3	5	5	4	5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	4.7
	Q10	3	5	5	5	5	5	3	5	5	4	3	4	4	4	5	4	5	4	3	4	4.25
B	Q1	4	5	5	5	5	5	3	5	5	4	5	5	4	4	5	5	5	5	4	5	4.65
	Q2	4	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4	2	4	4	5	5	4	3	4	5	4.35
	Q3	5	5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	4	5	4	4	3	5	3	5	4.55
	Q4	5	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	5	4.45
	Q5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	3	3	4.6
	Q6	5	5	5	5	5	5	2	5	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4.7
	Q7	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	4	5	5	4	5	5	4	5	4	4	4.65
	Q8	5	5	5	5	5	5	4	5	5	3	5	5	4	5	4	5	3	3	4	5	4.5

パート A（通訳）の平均点：4.28；パート B（翻訳）の平均点：4.55

表 21 「ベトナム語が分からない日本人」の調査結果

PART	質問事項	協力者①	協力者②	協力者③	協力者④	協力者⑤	協力者⑥	協力者⑦	協力者⑧	協力者⑨	協力者⑩	協力者⑪	協力者⑫	協力者⑬	協力者⑭	協力者⑮	協力者⑯	協力者⑰	協力者⑱	協力者⑳	平均	
A	Q1	3	4	3	4	4	4	2	4	4	5	4	5	3	4	5	5	5	5	5	5	4.15
	Q2	3	2	2	5	3	4	3	3	4	4	5	4	4	4	2	5	4	4	5	4	3.7
	Q3	1	2	2	3	3	2	2	3	3	4	2	3	1	3	2	2	4	4	3	3	2.6
	Q4	2	3	2	4	4	3	3	3	3	4	3	5	3	4	2	3	4	4	4	4	3.35
	Q5	2	2	1	2	2	3	2	4	4	1	2	4	1	4	3	5	3	5	2	2	2.7
	Q6	3	2	2	3	4	3	3	4	3	3	2	4	2	5	3	5	1	5	3	4	3.2
	Q7	2	2	1	2	3	2	2	5	5	2	4	5	3	5	2	4	4	4	2	4	3.15
	Q8	5	2	2	2	3	2	3	3	3	3	2	3	1	3	2	4	1	3	3	3	2.65
	Q9	5	2	2	2	2	4	3	5	5	4	5	2	5	4	4	5	4	5	2	4	3.7
	Q10	3	2	2	3	4	4	2	4	4	3	5	3	3	4	3	4	4	5	4	4	3.5
B	Q1	4	3	4	2	5	4	4	3	3	3	3	5	4	3	4	4	5	4	3	3	3.65
	Q2	5	4	5	5	3	5	4	5	5	4	5	5	4	3	5	5	4	5	5	3	4.45
	Q3	4	3	3	5	3	4	4	5	4	4	5	4	4	3	3	5	4	5	5	3	4
	Q4	5	3	4	3	3	4	4	5	5	3	5	5	3	5	4	5	5	4	4	3	4.1
	Q5	4	2	5	3	4	3	4	5	4	4	5	3	5	4	4	5	4	5	5	4	4.1
	Q6	5	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	5	5	4	5	5	5	4	4	4	4.45
	Q7	5	3	5	3	3	5	4	4	4	4	3	4	3	3	4	5	3	4	3	4	3.8
	Q8	3	5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	4.7

パート A（通訳）の平均点：3.27；パート B（翻訳）の平均点：4.15

表 22 「ベトナム語と日本語に精通するベトナム人」の調査結果

PART	質問事項	協力者①	協力者②	協力者③	協力者④	協力者⑤	協力者⑥	協力者⑦	協力者⑧	協力者⑨	協力者⑩	協力者⑪	協力者⑫	協力者⑬	協力者⑭	協力者⑮	協力者⑯	協力者⑰	協力者⑱	協力者⑲	協力者⑳	平均
A	Q1	3	4	5	4	4	3	4	4	3	4	5	3	5	4	4	4	4	3	3	4	3.85
	Q2	4	4	5	5	5	3	2	3	4	5	4	4	4	5	5	4	3	4	4	4	4.05
	Q3	2	5	5	3	5	2	3	2	3	5	3	3	5	3	4	4	5	4	4	3	3.65
	Q4	2	4	5	4	3	4	2	3	4	1	3	3	2	2	3	4	4	3	3	4	3.15
	Q5	2	2	3	3	3	2	1	3	3	4	2	3	2	3	3	4	3	3	4	4	2.85
	Q6	4	5	5	3	5	3	3	4	5	2	4	4	4	4	4	2	1	1	5	3	3.55
	Q7	3	1	3	2	3	2	1	3	2	2	1	2	3	2	3	1	2	2	2	1	2.05
	Q8	2	2	3	4	3	2	1	3	2	4	3	3	3	4	5	4	3	2	4	4	3.05
	Q9	3	3	3	3	3	2	2	3	2	3	3	2	3	1	3	4	3	1	3	3	2.65
	Q10	3	3	4	3	3	2	1	2	3	2	4	4	3	4	4	4	4	2	2	4	3.05
	Q11	4	3	5	2	4	2	2	2	2	5	5	3	3	4	5	4	4	3	3	5	3.5
	Q12	3	3	3	3	5	2	1	3	3	4	5	4	4	3	5	4	4	2	3	3	3.35
	Q13	3	4	4	4	5	2	2	3	2	4	3	3	5	3	4	5	5	4	3	5	3.65
	Q14	4	5	4	4	2	1	1	3	4	3	2	3	2	5	4	2	4	4	3	5	3.25
B	Q1	4	4	5	4	5	3	3	4	4	5	2	3	5	3	5	3	4	4	4	5	3.95
	Q2	4	3	4	5	5	3	4	4	4	5	5	4	4	3	5	4	3	4	5	5	4.15
	Q3	3	4	5	4	3	3	3	3	4	4	5	2	3	3	3	5	4	2	2	5	3.5
	Q4	4	3	5	4	3	2	1	3	3	3	2	2	3	3	4	5	3	2	3	4	3.1
	Q5	4	4	5	3	5	3	3	3	3	5	4	3	5	4	5	3	4	3	5	5	3.95
	Q6	5	4	4	3	5	2	2	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4
	Q7	5	4	5	4	5	2	2	4	5	5	5	4	5	5	5	5	4	3	5	3	4.25
	Q8	4	4	5	4	4	3	2	3	5	2	5	4	3	4	3	3	5	3	3	5	3.7
	Q9	4	3	5	3	5	2	3	4	4	4	5	4	5	3	5	5	3	4	5	3	3.95
	Q10	4	4	5	5	5	3	2	4	5	5	5	3	5	5	5	3	4	4	5	5	4.3
	Q11	3	3	5	3	4	2	3	5	4	5	4	2	4	5	4	4	3	4	5	4	3.8
	Q12	3	4	5	5	5	3	2	3	4	3	3	5	5	5	5	5	4	3	3	5	4

パート A（通訳）の平均点：3.26；パート B（翻訳）の平均点：3.88

表 20～22 を見ると、全調査対象に共通した特徴があることが分かる。それは通訳（パート A）及び翻訳（パート B）についての評価平均点がどちらも 3 点以上だということである。そして、通訳と比べ翻訳に対する評価点が良い傾向にあることもこの調査結果により明らかになった。

一方、調査対象者によって、評価がかけ離れたところも多くあった。「日本語が分からないベトナム人」は通訳・翻訳全般に対して極めて良い評価（通訳：4.28、翻訳：4.55）をしていたのに対し、「ベトナム語が分からない日本人」（通訳：3.27、翻訳：4.15）と「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」（通訳：3.26、翻訳：3.88）はやや厳しめに評価した印象があり、特に「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」は通訳のパフォーマンスに対して、極めて否定的な評価（平均点 3 点以下）をしたところもあった。

調査対象者別の調査結果を見ると、「日本語が分からないベトナム人」対象者の場合は、パート A（通訳）に関しては、一番評価が良かったのは、Q4（4.7 点）と Q9（4.45 点）であり、パート B（翻訳）に関しては、Q6（4.7 点）、Q7（4.65 点）、Q8（4.5 点）が比較的高い評価を得られたことが分かった。そして、偶然かもしれない

いが、パート A の Q4 と Q9 の評価焦点はどちらも「指示語の明示化」と「前置き表現の活用」である。この結果だけで確実に断定することは難しいが、「指示語の明示化」と「前置き表現の活用」はベトナム人の言語・文化の特徴に合っているため、ベトナム人の聞き手に好まれる可能性が考えられる。また、パート B の Q7、Q8 ではどちらも「読み手に馴染みのあるような表現への変換」が活用された訳文が提示されたが、とても肯定的な評価を得られた。この結果は、このストラテジーがベトナム人の聞き手によく受け入れられることを示唆しているとも考えられる。

「ベトナム語が分からない日本人」対象者の評価は上述のように、「日本語が分からないベトナム人」の対象者より厳しいところがあるが、平均点 4 点以上で評価された訳文もあった。例えば、パート A の Q1 (4.15 点)、パート B の Q2 (4.45 点)、Q6 (4.45 点)、Q8 (4.7 点) は比較的良好な評価を得られた。なお、これらの質問に提示した訳文で活用された明晰化は異なっているため、どの明晰化が日本人の聞き手に好まれる可能性が高いか読み取りにくい。一方、評価が明らかに否定的な訳文もあった。それは、パート A の Q3 (2.6 点)、Q5 (2.7 点)、Q8 (2.65 点) である。これらの質問で提示した訳文で活用された明晰化は「原文の不自然さに対する処理」、「前置き表現の活用」、「暗示された情報の復元」、「説明の追加」、「程度副詞の活用」であり、共通傾向は導けそうにないのである。なお、評価が否定的になったのは、そもそもその明晰化ストラテジーに対する評価が良くないためか、または、通訳者が相応しくない形でそのストラテジーを活用したためかは第 2 節の考察で深く掘り下げたい。続いて、「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」の評価結果を具体的に見てみるが、3 つの調査対象者の中では、この対象の評価が一番厳しいとも言える。平均点からすると、パート B のほうが評価が良さそうだが、4 点を大幅に上回る訳文はあまりなかった。更に、評価 3 点以下の訳文がいくつかあり、3.5 点以下のところも多かった。例えば、パート A の Q5 (2.85)、Q7 (2.05)、Q9 (2.65) は否定的な評価になっていた。特に、Q5 と Q9 はどちらも「原文の構成変更」と「反復」が活用された。この結果から、「原文の構成変更」や「反復」に対する評価が全般的に良くない可能性がある、結論を導くことができるかもしれない。その背景や理由については、次の第 2 節で考察してみたい。

8.2 アンケート調査結果の考察

8.1 節では、アンケート調査の結果をまとめたが、その結果の背景はどのようなものであるかについてはまだ触れていない。本節では、調査結果を導いた背景・理由を考察し、今後の明晰化ストラテジーの効率的な活用方向を示唆したい。

まず、全体的な調査結果から考察する。全調査対象による評価平均点は 3 点を上回るという結果が出たが、この結果によって、明晰化ストラテジーの肯定的な効果を確認することができた。即ち、このストラテジーは訳出プロセスに必要なものであり、訳出の質向上に貢献できると解釈できる一方、先行研究で言及があった明晰化の役割もこの結果で改めて検証することができた。

また、翻訳に対する評価のほうの方が良かったという結果については、想定された結果である。なぜなら、翻訳者は時間のプレッシャー下に置かれる通訳者と比べると、訳文を推敲する余地が十分にあるからである。例えば、同じ「説明の追加」という明晰化ストラテジーでも、翻訳では非常に効率よく活用されているが、通訳ではただ冗長な表現に過ぎないものと評価されていても理解不可解なわけではない。特に、今回の調査で使われた通訳文・翻訳文を産出した被験者は同一人物であるため、通訳と翻訳の質の差をはっきり見極めることができる。言い換えると、訳出形態は訳出プロセス、ストラテジーの活用及び産出される成果物である訳文の質に大きく影響を及ぼすということである。

引き続き調査対象別による評価の差をみてみよう。8.1 節にも示したように、「日本語が分からないベトナム人」による評価が一番良かった。その次には、「ベトナム語が分からない日本人」で、評価が最も厳しかったのは「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」である。この結果は想定された部分もあれば、そうではない部分もあった。つまり、通訳・翻訳に協力した被験者はベトナム人の通訳・翻訳者であるため、母語への訳出方向のほうが得意であろうということを前提に考えると、ベトナム語への訳文の質が日本語への訳文の質を上回ることにより、ベトナム人調査対象者の評価が極めて良いのに対し、日本人調査対象者の評価があまり良くないという結果になっても、理解できないわけではない。日本人調査対象者の否定的な評価を伴った大きな点は、表現の簡潔さ、自然さに欠けるところ、改まった場に相応しくない表現の使用及び原文の意味を十分に伝えきれない点にであったことも、アンケート調査協力者の記述部分から分かった。一方、想定外の結果は、どちらの言語にも精通するベトナム人対象者による評価が一番良くなかったことである。本調査では、筆者は意図的にベトナム語・日本語の通訳・翻訳の経験が多少あるベトナム人に依頼した。通訳・翻訳の経験があるということは、この仕事の難しさをよく理解しており、ある意味では、通訳者・翻訳者の立場で訳文を評価するだろうと想像された。従って、この対象者の評価が一番「甘い」ことはないにせよ、少なくとも残りの 2 つの対象者より厳しくないだろうという仮説があった。しかし、実際

に調査してみると、結果は想定と正反対であった。評価が 1 点か 2 点だった訳文が少なからずあり、記述部分にあるコメントも厳しかった。そのコメントから、改まった場に相応しくない表現、冗長すぎる表現、訳文のニュアンスを誤解させる可能性があるところなどが否定的な評価を伴った主要な原因であったことが判明した。どのコメントも明晰化ストラテジーの使い方に直接該当するわけではないが、全体的にはどうも通訳者・翻訳者の明晰化ストラテジーの使い方が相応しくないようだという評価が読み取れた。こういったストラテジーの使い方が相応しくないと思われるかを明らかにするために、「ベトナム語が分からない日本人」と「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」によって否定的に評価された訳文を見直した。8.1 節でも示されたように、「ベトナム語が分からない日本人」の評価が最も良くなかったのは、パート A の Q3、Q5、Q8 である。以下、参照しやいように、質問内容を提示する。

Q3: (原文の不自然さに対する処理)

VNS: Xin/ hỏi/ bà 「話者名」/ có/ các/ câu hỏi/ gì/ về/ cái cơ cấu/, cũng như/ các/ cái giai đoạn/ của/ buổi hội thảo/ tới/?

(お願いする/聞く/「話者名」/ある/複数型/質問/何か/について/仕組み/お呼び/段階/の/セミナー/今度?/)

【●●さんは今度のセミナーの仕組み及び各段階について質問があるかどうかお伺いしたいです。】

VJI: 今回のセミナーのアジェンダについて質問などはあるんですか。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Q5: (前置き表現の活用、暗示された情報の復元)

VNS: Trong đó/ thì/ chủ yếu/ là/ các/ doanh nghiệp/ trong/ và/ ngoài nước/, và/ chủ yếu/ là/ các/ doanh nghiệp/ Nhật/, đã/ đang/ và/ sắp/ đầu tư/ vào/ Việt Nam/.

(その中で/主に/は/複数形/企業/中/国外/そして/主に/複数形/企業/日本/既に/している/これからする/投資する/へ/ベトナム/)

【その中で、殆どは国内外の企業で、そして、主にベトナムに投資した、投資している、そして投資していく企業です】

VJI: その中ですね、200 名の中ですけど、主に国内外の企業の代表者ですね。国外の企業さんに来てもらいますけど、その中で、ベトナムに今投資している、また、今後ですね、投資する計画がある企業が殆どです。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Q8: (説明の追加、程度副詞の付加)

VNS: Với lý do rằng, doanh nghiệp 「社名」 / là một doanh nghiệp đã có kinh nghiệm lâu dài với 15 năm kinh nghiệm đầu tư ở Việt Nam, là một trong số những doanh nghiệp Nhật Bản đầu tiên đầu tư, thành công ở tại Việt Nam, sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 / sẽ rất có ích cho khách mời đến tham dự hội thảo.

(で/理由/企業「社名」/は/一つ/企業/既に/ある/経験/長い/で/15年/経験/投資/における/ベトナム/は/一つ/の中/複数形/企業/日本/初めて/投資する/成功する/における/ベトナム/共有/経験/の/企業「社名」/未来テンス/役立つ/のため/招待客/来る/参加する/セミナー/)

【●●社はベトナムに投資した経験が15年もあり、ベトナムに初めて投資し、成功を納めた日系企業の一つである理由で、●●社の経験の共有はセミナー参会者にとってとても役立つものです。】

VJI: はい、今までは、ベトナムに進出するとか進出している日系企業は多いですけども、確かに御社が長い時間、えーと、ベトナムにはじめてベトナムに進出した企業の一つですので、歴史とか経験も深い企業だと存じますので、今回のセミナーには、是非、ご発表をお願いしたいと思います。

VJI: 御社を代表しての「人名」さんのご発表は是非参加者に対して、えと、良い経験を与えたいと思います。

○1点 ○2点 ○3点 ○4点 ○5点

Q3の原文では、「仕組み及び各段階」という表現があまり自然ではないと思われるしており、不自然さに対する処理が必然的な工夫だと筆者は想定していた。そして実際に、その不自然さを処理するために、通訳者は「アジェンダ」という表現を使った。しかし、この処理についての評価が良くなかった。その理由について、アンケート調査の日本人対象者は「アジェンダ」は誰でも通じる言葉ではなく、違和感を与えやすい表現でもあるため、これはいい語彙の選択ではないとコメントした。つまり、原文に不自然さがあって、通訳者はその不自然さを処理したものの、処理の仕方に問題があれば、肯定的な効果をもたらすばかりか、否定的な効果を伴ってしまうことがあると解釈できた。

Q5では、「前置き表現の活用」と「暗示された情報の復元」が活用されたが、不要な工夫であり、訳文を余計に冗長にさせていたと否定的に評価された。なお、Q5に対する否定的な評価は明晰化ストラテジーの不適切な活用ではなく、主に訳文の

意味が原文の意味に忠実ではないことに起因することが調査対象者の記述から分かった。

Q8 では、同様に「説明の追加」と「程度副詞の活用」が否定的な評価を受けた。その理由は、「説明の追加」が不要なばかりでなく、原文に暗示的に言及されてもいない内容の追加であり、「是非」の程度副詞が文法的に正しく使われていないことである。

「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」の対象者においても、評価 3 点以下の訳文はいくつかあった。以下、代表的な例を取り上げる。

Q5: (原文の構成変更、反復)

VNS: Cuộc hội thảo/ sẽ/ được diễn ra/ từ/ 14 giờ/ cho tới/ 17 giờ/, ngày 30/ tháng 11/ năm 2011/, tại/ khách sạn/ Sheraton Hà Nội/, địa chỉ/ tại/ đường Nghi Tam/, Quận Tây Hồ/.

(セミナー/未来テンス/行われる/から/14 時/まで/17 時/30 日/11 月/2011 年/における/ホテルシェラトンハノイ/住所/における/ギ・タム通り/タイホ区/)

【セミナーは 2011 年 11 月 30 日の 14 時から 17 時までタイホ区のギタム通りにあるシェラトンハノイホテルにおいて行われます】

VJI: セミナーの時間は 2011 年 11 月 30 日、14 時から 17 時までです。

VJI: えと、場所はシェラトンホテルです。

VJI: 具体的な住所なんですけども、Nghi Tam, Nghi tam という道です。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Q9: (原文の構成変更、反復、接続詞の付加、前置き表現の活用)

VNS: Vâng, xin bà gửi cho anh Chiến là người phụ trách.

(はい、願います/あなた/送る/に/チエンさん/は/担当者/)

【はい、担当者のチエンさんに送るようお願い致します。】

VNS: Số điện thoại là 0902232083, và email là chienmpi@gmail.com.

(はい、あなたは担当者のチエンさんに送るようお願い致します。電話番号は 0902232083、そして、E メールは chienmpi@gmail.com です)

【電話番号/は/0902232083/そして/E メール/は/ chienmpi@gmail.com/】

VJI: あの、連絡の窓口としては、チエンさんという方ですね。

VJI: チエンさんですけど。

VJI: で、まず、チエンさんの電話番号ですけど、ちょっといいですか。0902232083。

○1 点

○2 点

○3 点

○4 点

○5 点

第 7 章でも分析・考察したように、「原文の構成変更」と「反復」は基本的には、任意的な性質のあるストラテジーであり、いわば無くても原文の意味を伝達するのにそれほど困難がないものである。無論場合によって効果は異なるが、筆者としては、このストラテジーの全体的な効果を中立的なものであると捉え、使用上十分に気をつける必要があるとも認識している。その理由は、翻訳の際に原文を分割し訳す行為はクライアントに翻訳者が原文に中実せず勝手に情報を加えたという印象を与えやすいこと、通訳の際に必要なものなのに、同じ情報を繰り返すのは聞き手に「耳障りだ。ただの時間稼ぎで意図的な反復ではないだろう」という消極的な評価を与えやすいからである。アンケート調査で以上の懸念を確認することができた。Q5 と Q9 で工夫されたこの二つのストラテジーはどちらも不要だと評価された。もちろん、Q5 と Q9 に対する否定的な評価は単純に明晰化ストラテジーに起因するものではなく、通訳者の全体的な情報処理や訳出に使われた稚拙な日本語表現にもよるものである。

以上の結果は明晰化ストラテジーの否定的な面を考えさせた。ストラテジーと言っても、決してもメリットばかりではない。適切な形で活用されないなら、デメリットも生まれるはずであるため、ストラテジーのあるべきメリットを発揮するためには、ストラテジーについて十分に認識し、気を付けながら活用する意識が必要であろう。

無論、本アンケート調査では、紙幅の制限により、十分にコンテキストを示すことができなかったため、アンケート調査協力者を戸惑わせてしまうことが多少あったかと思われる。そのため、正確ではない評価を伴った可能性もあり得る。また、音声を聞かずに文字化されたスクリプトだけを読んで評価するのもそれなりに問題があると筆者は認識している。より具体的に説明すると、通訳文を音声で聞くと、日本談話の代表的な特徴である「あの、えと」などの相づち、または、情報の繰り返しがそれほど不要なもので、耳障りではないと感じられるかもしれないが、スクリプトという形で読むと、そういったところが余計に注目されて、否定的な印象を与えてしまうだろうと筆者は考えている。そして、協力者の評価やコメントも全て妥当なわけではないとも思われる。なお、業務の実施上、通訳者・翻訳者のクライアントにも評価が厳しい人や優しい人、通訳や翻訳者の仕事をよく理解し協力する人や、そうではない人と様々なタイプがある。そのために、明晰化ストラテジーの効果は評価する人によって大幅に異なる可能性があり、訳出プロセス全体と同様に、

絶対的ではなく、相対的なものである。しかし、相対的な効果だからといって、真剣に捉える価値がないわけではない。プロを目指すなら、明晰化ストラテジーの相対的な効果を向上させるために、訓練や経験の積み重ねを心がけることが肝要ではないかと、本調査結果で改めて確認する事が出来た。

第三部：結論

本論の最後の2章である第9章と第10章は結論である。

第9章では、前章までのデータ分析・考察の結果により、研究設問への回答が見つかったかどうか、実際に観察できたプロセスの特徴がこの研究で提案したプロセスモデルに当てはまるかどうかを振り返り検証した。更に、本研究のベトナム語-日本語の通訳・翻訳の分析・考察結果をもとに、この言語ペアに特有の通訳・翻訳プロセスを提示した。

第10章では、研究成果の貢献と意義を確認し、研究結果の応用可能性について検討した。最後に、本研究の限界及び今後の研究で取り組むべき課題を提示した。

第 9 章

結果のまとめ及びプロセスモデルの振り返り

本章では、第 4 章～第 8 章で行われたデータの分析・考察の結果を第 3 章で設定された設問に沿ってまとめた。更に、第 1 章で提案した通訳・翻訳プロセスモデルが妥当なものであるかどうか、本研究で十分に実証できなかった点があるかを振り返って検討した。

9.1 分析・考察結果のまとめ

第 3 章では、本研究の解決すべき問題として 3 つの研究設問を設定した。以下、順に一つずつの設問を振り返り、実施した分析・考察の結果によって解決できたかどうかを確認していく。

研究設問 1： 明晰化ストラテジーは日本語-ベトナム語の通訳・翻訳プロセスにおいて発生する可能性がある問題に対処するストラテジーとして活用されているか。どのようなストラテジーが見られるか。

本研究で見られた明晰化ストラテジーは文法・語彙・談話の各レベルで活用され、それぞれのレベルで発生した問題に対処する役割が分析・考察によって確認できた。例えば、目標言語において起点言語に現れた語句に対応する表現がないという問題が発生した場合は、語彙レベルまたは談話レベルで、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」というストラテジーが活用される。また、起点言語と目標言語の「主体の明示」に関する特徴が異なるという問題が発生した場合は、文法レベルで「主体の明示化」というストラテジーが活用されるということが本研究のデータ分析・考察で頻繁に見られた。

通訳・翻訳プロセスにおいて発生し得る問題には様々な形のものがあるために、一つの研究では網羅できないが、基本的なストラテジーは殆ど本研究のデータ分析で観察できたのではないと思われる。以下のように、改めて列挙しておきたい。

- 1 主体の明示化
- 2 前置き表現の活用
- 3 原文の構成変更
- 4 反復
- 5 性別の明示化
- 6 指示語の意味明確化

- 7 指示語の付加
- 8 暗示された情報の復元
- 9 程度副詞の付加
- 10 説明の追加
- 11 複数の類義語の活用
- 12 接続詞の付加
- 13 読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換
- 14 テンス・アスペクトの変換・具体化
- 15 原文の不自然さに対する処理
- 16 形式名詞の具体化
- 17 英語（表記）の併用による誤解防止

研究設問 2: 明晰化ストラテジーの活用は訳出者 (a)、訳出方向 (b)、訳出形態 (c)によって、どのように異なるか。類似点はないか。

研究設問 2 (a) について：

この研究設問は第 5 章及び第 6 章で行われた分析・考察によって解決できた。結論だけ言えば、通訳者・翻訳者によって明晰化ストラテジーの活用傾向は大きく異なる。例えば、ストラテジーの活用頻度については通訳者・翻訳者による大きな違いがある。通訳の場合は、75 回～145 回、翻訳の場合は、46 回～64 回の幅で明晰化の活用回数変動していた。明晰化ストラテジーごとの活用特徴、性質についても、通訳者・翻訳者によって違いが見られた。通訳の場合だけを例に挙げると、「暗示された情報の復元」ストラテジーに関しては、このストラテジーを好んで、高頻度で活用した通訳者もいれば、ごく低頻度で活用した通訳者もいる。しかし、その一方、明晰化ストラテジーの活用は通訳者・翻訳者を問わず、同じ傾向になるところもある。まず、明晰化ストラテジー活用の全体傾向については、ほぼ通訳者・翻訳者全員に共通するものになっている。つまり「説明の追加」、「前置き表現の活用」、「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」、「原文の構成変更」などといった普遍性が高いストラテジーはどの通訳者・翻訳者のデータにおいても出現割合が高く、「反復」、「性別の明示化」などのあまり目立たないストラテジーは出現割合が低いという結果になっている。

その原因を追求するために、データを詳しく考察し、筆者なりの説明を取り上げたが、説明の妥当性を確認するために、被験者への意識調査を行った。かいつま

で言えば、起点テキストに発生した問題に対する通訳者・翻訳者の認識が共通であれば、その問題に対する対処、いわばストラテジーの活用のあり方が同じになる。逆に問題の認識が異なれば、対処のあり方が違うものになる。典型的な例を挙げてみると、ベトナム語に訳す際に主語を明示するのが当たり前だという共通認識を持っているため、日本語の起点テキストにおいて主語が省略された場合は、通訳者・翻訳者全員が「主体の明示化」という工夫を行っていた。しかし、非常に長い文章である起点テキストに対し、分割しなくても十分に分かりやすく伝えられると認識した翻訳者は何も工夫しないが、このまま伝えると、やや不自然で、且つ分かりにくい文章になると思った翻訳者は長い文を二つの文に分けて、適切な接続詞を活用しながら訳すという工夫をする。

研究設問 2 (b) について：

訳出方向が明晰化ストラテジーの活用を大きく左右する要因の一つであることは本研究で確認できた。

通訳の場合では、越→日方向における明晰化ストラテジーの出現頻度が日→越方向の出現頻度を上回っている（393 回対 272 回）。そして、明晰化の性質についても通訳方向によって大きな違いがあり、越→日の方向における義務的な活用率はわずか 2%であるのに対し、日→越の方向におけるこの割合は 31%にも及んでいる。その要因として考えられるのは、義務的な性質が強い「主体の明示化」と「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」という二つのストラテジーが日→越通訳方向で多く活用されたためである。

同様に翻訳においても、訳出方向による明晰化活用の大きな違いが見られた。明晰化の出現回数も異なり、明晰化ストラテジーごとの活用特徴についても大きく異なる。例えば、「英語（表記）の併用による誤解防止」、「形式名詞の具体化」、「性別の明示化」並びに「主体の明示化」は日→越の翻訳方向にしか現れなかった。これは、日本語とベトナム語の根本的な特徴の相違により発生した結果である。ほかにも、違いが見られたストラテジーが数多くあるが、詳しくは第 5 章と第 6 章の分析結果を参照されたい。

また、被験者の意識調査では、訳出方向による訳出者の意識の相違を確認することができた。日本語→ベトナム語の訳出方向の場合は、意味伝達も大切であるが、目標テキストの自然さを最も重視するのに対して、ベトナム語→日本語の訳出方向の場合は、日本語が訳出者の母語ではなく、いかなる目標テキストが自然なものなのか

判断しきれないため、最も重視するのは十分で正確な意味伝達であるという考え方がヒアリングできた。このような認識のあり方も大いに訳出方向別における明晰化ストラテジーの活用に影響を与えるのではないかと考えられる。

研究設問 2 (c) について：

第 7 章で明晰化ストラテジー活用に関する日本語-ベトナム語の通訳と翻訳の類似点・相違点を明らかにすることができた。

訳出形態を問わず、共通となる一番大きな特徴は通訳・翻訳プロセスにおいて普遍性が高いストラテジーとしての「説明の追加」、「原文の構成変更」が著しい存在を持っていることである。また、本研究で初めて提示した明晰化ストラテジーである「読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換」や「主体の明示化」も訳出形態に関わらず、確実に高い出現率を示した。その他のストラテジーである「性別の明示化」、「指示語の意味明確化」、「指示語の付加」、「程度副詞の付加」、「英語（表記）の併用による誤解防止」は、どちらの訳出形態においても、出現率がわずかに数パーセントであり、あまり重要な役割を果たしていないように見える。翻訳と通訳に共通するもう一つの特徴は明晰化ストラテジーの利用目的である。どちらの訳出形態も「意味明確化のため」が主要な利用目的になっている。しかし、この結果は筆者の主観的な判断によるものであり、被験者の意識調査を通じて作業中の通訳者・翻訳者の意図・意識、いわばストラテジーの利用目的はそれほど単純なものではないことが分かった。意識調査の結果によると、多くの場合は「意味明確化」と「目標テキストの自然さの確保」という二つの意図が混同した形になっているということである。

訳出形態による明晰化ストラテジー活用の相違点は多く、第 7 章でも詳しく列挙し、分析・考察した。簡単にまとめると、活用された明晰化ストラテジーの種類から明晰化ストラテジーの出現割合、必然性、活用レベルに至るまで、様々な側面から違いが見られた。特に注目すべき相違点の一つは明晰化ストラテジーの必然性である。通訳において活用された明晰化は任意的なものが大半であるのに対し、翻訳の明晰化ストラテジーでは義務的な活用率と任意的な活用率がほぼ同等であり、被験者意識調査の結果も踏まえて考察したところ、翻訳の明晰化のほうが効果がありそうである。また、活用レベルにおいても想定外が目立った違いがある。想定では、通訳と翻訳はどちらも談話レベルで活用された明晰化が多いただろうということであったが、実際に分析したところ、この想定は通訳の場合だけに当てはまり、翻訳の

場合は談話レベルの処理が少なく、語彙レベルの明晰化が最も多かった。ほかにも細かい相違点が数多くあるが、詳しくは第 7 章を参照されたい。

研究設問 3：明晰化ストラテジーの活用のあり方によって、通訳・翻訳プロセスの最終的な目標であるコミュニケーション目標達成はどのように影響されるか。

この研究設問を解決するために、本研究では活用された明晰化ストラテジーの効果の評価を行った。評価方法はアンケート調査であり、5 段階評価の形を採用した。調査の対象となるのは、日本語が分からないベトナム人（20 名）、ベトナム語が分からない日本人（20 名）、どちらの言語も分かるベトナム人（20 名）という三つのグループであり、合計で 60 名となっている。

調査結果によって、全体的には評価平均点が 3 点以上であり、明晰化ストラテジーが中立的か肯定的な効果をもたらす場合が多いということが確認できた。そして、三つの調査対象者に共通した評価結果としては、翻訳に対する評価が通訳に対するものより良かったことである。なお、この結果は想定された結果であり、通訳と翻訳の訳出形態の違いが結果の背景にあると考えられる。一方、調査協力者グループによって、評価が大幅に異なる結果は注目に値するものである。「日本語が分からないベトナム人」グループは全体的に肯定的な評価をしているのに対して、「ベトナム語が分からない日本人」と「日本語・ベトナム語に精通するベトナム人」グループは厳しめの評価をしていた。この結果も部分的には想定されたものである。つまり、通訳・翻訳データの提供に協力した被験者はベトナム人であり、当然ながら、母語へ訳す方向のほう得意であるため、日本語訳が当然ながらベトナム語訳ほど出来が良くないことが予想された。なお、両言語に精通するベトナム人対象者の評価がこれほど厳しかったのは想定外であった。否定的な評価の背景・原因について分析したところ、明晰化ストラテジー自体がいけないものであるというより、明晰化の使い方に問題があるということが分かった。この結果を通じて、訳出プロセスにおける明晰化ストラテジーの役割を改めて検証することができたほか、明晰化の活用の仕方によって、このプロセスやプロセスの最終成果物である訳出文がいかにか左右されるか確認することができた。

9.2 日本語-ベトナム語の通訳・翻訳プロセスモデルの振り返り

本研究のデータ分析・考察によって、筆者が提案した通訳・翻訳のプロセスモデルを実証することができた（図 2 と図 4）。まず、通訳者と翻訳者は殆どの場合、非言語化を経ないで、且つ表面的な理解に基づき直訳するのではなく、深層的理解

により意識したことが多かったことが確認できた。これは、Seleskovitch (1968, 1978) の「意味の理論」の妥当性の証明につながり、筆者が図 2 で提案した通訳の全体プロセスモデルにも合致した結果であると言える。

また、図 4 で「通訳・翻訳における深層的理解から情報処理を経て訳出に至る詳細なプロセス」を提示するために Larsen-Freeman, Cameron (2008)で提唱されている「Complexity Theory」（複雑理論）及び Levelt (1999a)の「Speech Production」のモデルを大いに参考にしたが、本研究のデータの分析・考察を通じてベトナム語-日本語の通訳・翻訳プロセスはこれらの理論に該当する特徴があることが実証できた。

具体的には、日本語-ベトナム語の通訳・翻訳プロセスは「Complexity Theory」が捉えたように非常に複雑でダイナミックなシステムである。このプロセスを左右する要因は数多く存在し、業務内容の難易度・現場環境の性質などといった状況的な要因であれ、訳出者の経験、判断能力、言語能力またはクライアント側に関わる要素などの参与者的な要因であれ、このプロセスに影響を与える。影響を与え得る要素はこのように多すぎるため、全ての要素による影響度合いを観察することは不可能である。また、そもそも「Complexity Theory」は諸要素の相互作用の仕組みを重要視しており、個々の要因の考察を推奨していない。しかし、訳出プロセスの性質を検証するためには、どうしても位置づけが目立ちそうな典型的な要素を選定し変数としてプロセスを観察する必要がある。本研究では、訳出形態、訳出方向と訳出者を変数として扱ったが、それぞれの変数が訳出プロセス全体に対して異なる形で影響を与えることを確認することができた。例えば、訳出形態により訳出プロセスに現れる明晰化ストラテジーの種類と割合に違いが見られる。そして、同じ起点テキストでも訳出者により情報処理のあり方が大きく異なり、たとえ同じ種類の明晰化ストラテジーを活用しても、その効果はまったく違うものである。このような結果から、訳出プロセスが動的であり、プロセスに関わるわずか一つの要因の変化でもプロセス全体の変化を伴うことが証明できた。

一方、Levelt (1999a)の「Speech Production」のモデルに倣った点もデータ分析・考察の結果を振り返ってみたところ、妥当であることが確認できた。本研究では、「Speech Production」が提唱したモデルをもとに、訳出プロセスにおいて発生し得る問題（語彙レベル・文法レベル・談話レベルの問題）を特定した。実際の通訳・翻訳データを分析し、想定した問題が本当に実在するかを確認したところ、確かにそのような問題が訳出プロセスに内在することが実証できた。それぞれの問題に対する対処としての明晰化ストラテジーの位置づけも本研究では詳しく検討した。もち

ろん、訳出プロセスは非常に複雑で動的なシステムであるため、活用された明晰化ストラテジーがどのカテゴリー、いわばどの問題への対処に該当するか判断しにくい場合もあるが、「Speech Production」のモデルを取り入れることにより、訳出プロセスにおいて発生し得る問題及び明晰化ストラテジーの全体像が把握できたのは大きな成果に違いない。

また、本研究は以上の諸理論を踏まえ提示された一般的な訳出プロセスモデルの実証にとどまらず、日本語-ベトナム語の言語ペアに焦点を当て、データを収録し、詳細に分析・考察したことによって、日本語-ベトナム語の言語ペアにおける通訳・翻訳プロセスに固有の特徴も発見することができた。この二言語の通訳・翻訳プロセスは基本的には筆者が提案した一般的な訳出プロセスと同様、ほぼ同一の条件の下で一定の安定性がありながら、様々な要因の影響によって変動しており、強い動的な性質を持っている。しかし、この言語ペアの訳出にしか見られない特徴も多くある。例えば、主体明示化の必要性の有無に関する判断は日本語とベトナム語は大幅に異なっているため、「主体の明示化」というストラテジーがこの言語ペアの訳出過程には多く出現している。同様に、「性別の明示化」も日本語-ベトナム語の訳出プロセスにおける一つの特異なストラテジーとして挙げられる。なお、起点言語-目標言語のギャップも訳出プロセスに影響を与える一つの要因として見なされるため、日本語-ベトナム語の訳出プロセスに固有の特徴の発見は一般的な訳出プロセスの複雑さ、動的な性質を反映する結果であると見ても良いであろう。

本研究で分析・考察できた結果を踏まえ把握できたベトナム語-日本語の通訳・翻訳に固有の特徴を反映した図を提案してみたい。通訳プロセスと翻訳プロセスの違い、訳出方向の違いがイメージしやすいよう、大きなプロセス図を2つ作成し、かつそれぞれのプロセス図において、訳出方向別の明晰化ストラテジーの特徴を表す。

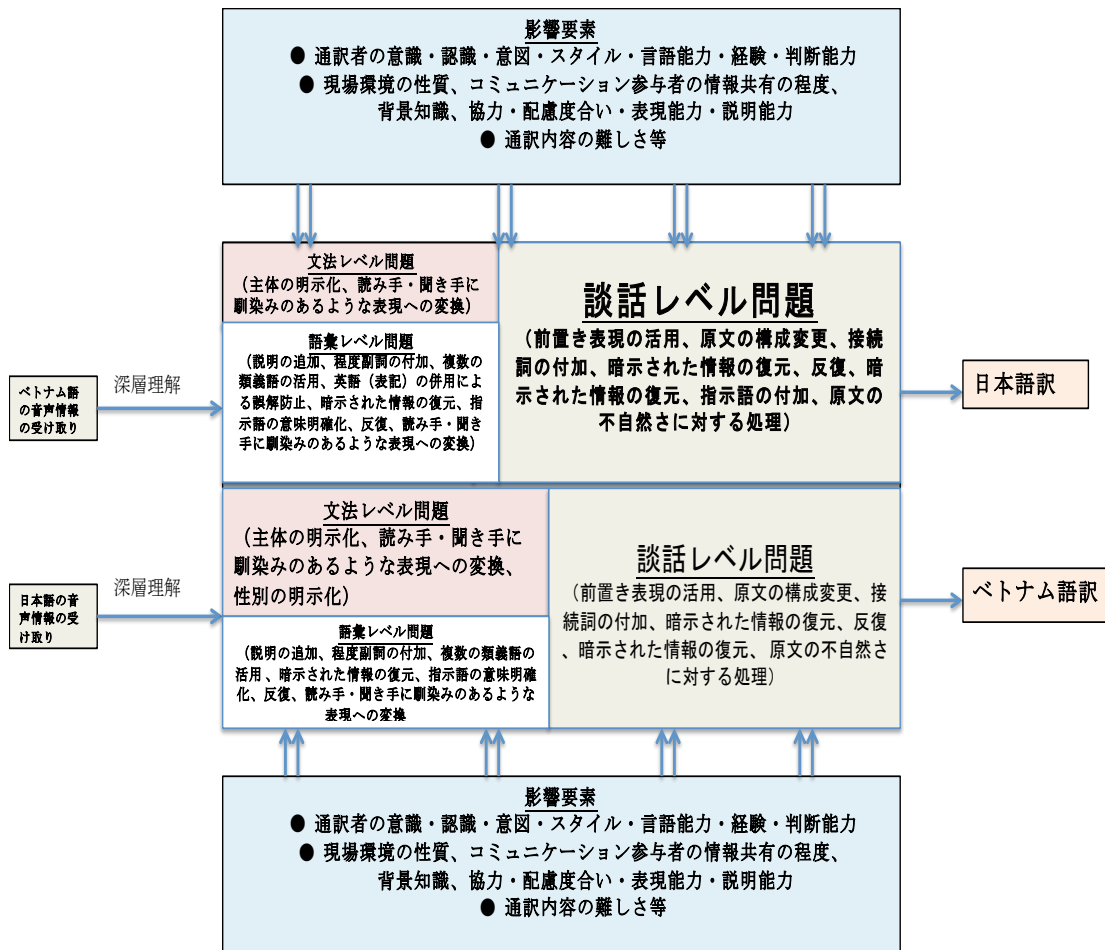


図 19 越日の通訳プロセスモデル (明晰化ストラテジーの活用傾向を中心に)

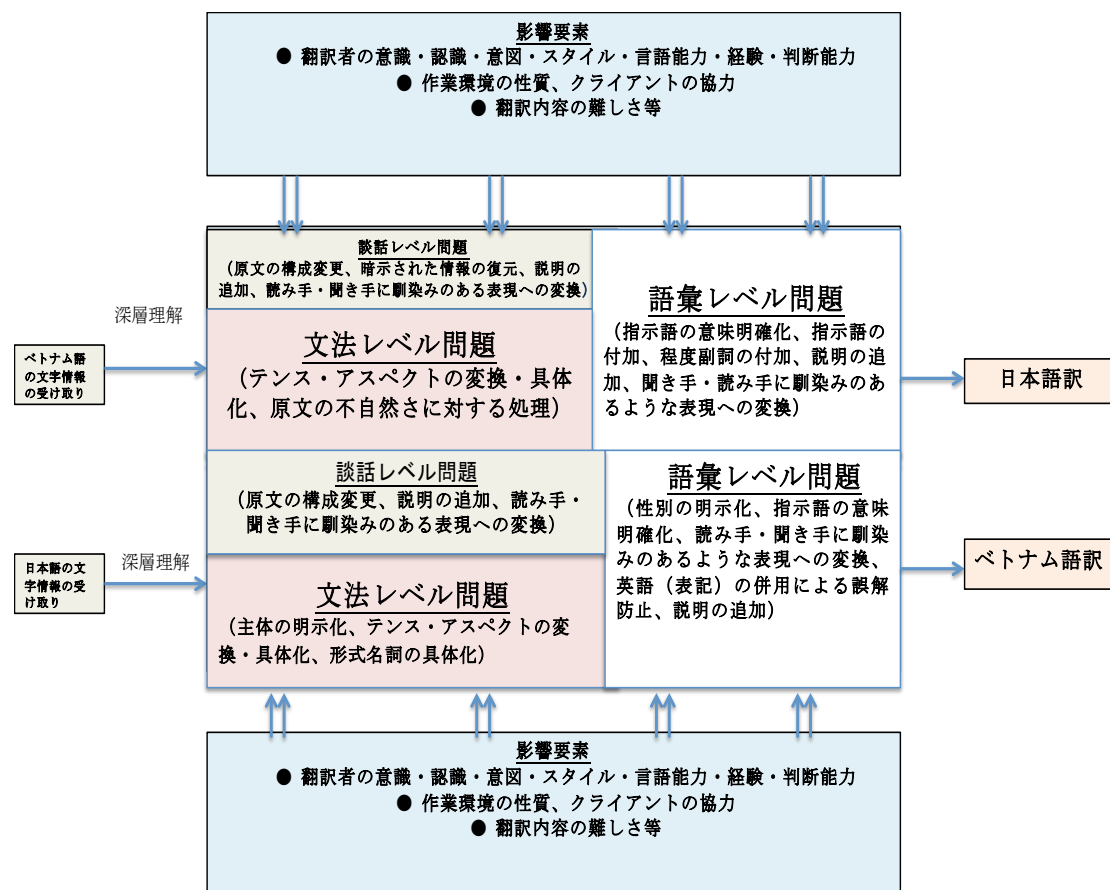


図 20 越日の翻訳プロセスモデル（明晰化ストラテジーの活用傾向を中心に）

以上の二つの図により、訳出者関係の要素、クライアント側の協力の有無、環境・作業内容の難易度など様々の要素に左右される越日の通訳・翻訳プロセスにおいて、どのような問題がどのくらいの程度で発生し、且つそれぞれの問題に対し、通訳者・翻訳者はどのような明晰化ストラテジーを活用するかを表した。以上で説明したように、訳出方向により、訳出プロセスがどのように変わるかを示すために、どちらの図も訳出方向別のプロセスを提示した。詳細を見れば分かるように、訳出方向によって、発生する問題の割合が異なっている。そして、同じ問題に対して、訳出方向によって使われる明晰化ストラテジーも変わるということが図でイメージ化された。なお、改めて断っておきたいが、各種問題の発生率、各種問題に対するストラテジーの活用傾向などを含めた、これらの図でイメージ化されていることは本研究の結果を踏まえてまとめたものであり、一般化できるかどうかは現段階では一概には言えない。また、明晰化の性質や利用目的などの結果は同じ図でイメージ化することが困難であるため、図の見やすさを優先し省くことにした。

このように、筆者が提案した訳出プロセスモデルの妥当性を検証・実証し、妥当だと検証された全般的な訳出プロセスモデルをもとに、更に一步踏み出し、日本語-ベトナム語の特殊な通訳・翻訳プロセスを提示してみた。この妥当性を踏まえて、提案されたプロセスモデルの応用について様々な角度から検討することが可能である。最後の章では、筆者の所見に基づき、実践への応用可能性について提案し、今後の課題についても簡単にまとめる。

第 10 章

研究結果の実践応用及び今後の課題

前章では、研究結果をまとめ、本研究で提案された訳出プロセスモデルの振り返りを行った。本章において、本研究で得られた研究結果の応用可能性について筆者の観点から提案し、最後に本研究ではまだ解決不可能であり、今後引き続き研究に取り組んでいきたい課題について説明した。

10.1 研究結果の実践応用

10.1.1 研究結果の応用可能性

通訳・翻訳者の養成において、通訳・翻訳プロセスモデルを理解させるのが第一歩だと思われる。しかし、これまでは、具体的、且つ多くの事例とともに提示された通訳・翻訳プロセスが少なかった。特に、日本語-ベトナム語という特殊な言語ペアに関しては、筆者が知っている限りでは、そのようなプロセスモデルがまだないと思われる。こういった状況の中で、本研究で提案されたプロセスモデルをベトナムにおける日本語通訳・翻訳者の養成に導入すれば、様々な形で応用する可能性が出てくるかと思われる。プロセスの動的な性質を学習者に理解させた上で、その動的な性質に対応する能力を育てるように目標づけるのが教育現場関係者にとって非常に重要なことだと考えられる。

そして、プロセスを理解するのみならず、そのプロセスに潜在する問題を想定し、それぞれの問題への対処方法を備えておくのも通訳者・翻訳者に求められる能力の一つである。本研究で提示された通訳・翻訳プロセスに発生し得る問題及び各種の明晰化ストラテジーはこの能力の訓練に役立つものであると考えられる。無論、この能力は実際の業務を実施していくうえで、経験年数及び通訳者・翻訳者の努力並びに素質によって自然に磨かれていくかもしれないが、在学中の技能養成段階からしっかりと教育されていると、いっそう速やかに、大きな成長を望めるのではないと思われる。

特に、本研究で確認できた各種の明晰化ストラテジーの実質的な効果についての結果も実践的な価値が高いものであると考えられる。つまり、明晰化ストラテジーが意味伝達に基本的には中立的か、肯定的な影響をもたらすことが実証できたという結果は、このストラテジーに対する通訳者・翻訳者の意識的な活用を促すことに繋がると思われる。本研究でも証明できたように、明晰化ストラテジーを意識的に

使えば、活用効果が高まる。そのため、明晰化ストラテジーの実質的な効果を認識し、意識的に活用しようとする姿勢を通訳者・翻訳者に持たせることができれば、ストラテジーの活用効果が向上し、それに伴い通訳・翻訳の質も大いに改善できるだろう。更に、本研究で実施されたアンケート調査によって、ストラテジーの活用効果がどのように評価されているかについても確認できた。この結果を踏まえ、ストラテジー効果の向上方法を検討することも可能になる。簡単にイメージしてみると、通訳する際にも、訳出者が翻訳作業を行っている時と同様に、各種のストラテジーについて更に高度なレベルで意識して使い方を工夫すれば、通訳プロセスにおいても、明晰化ストラテジーの高い効果が望める。無論、時間のプレッシャーがある限り、通訳者は翻訳者ほどじっくりストラテジーを意識する余裕がないのは変わらないが、工夫する意識があり、その意識のもとで明晰化ストラテジーの実行練習を重ねて行けば、必ず目に見える効果が出てくると思われる。また、ストラテジーはどれも良い効果ばかりをもたらすわけではなく、聞き手・読み手にあまり評価されないストラテジーもある。それらのストラテジーはとても相応しい場面を除き、活用を避けるようにしたほうが良いという意識の訓練もできるだろう。更に、被験者への意識調査でヒアリングできた興味深い意見のように、明晰化ストラテジーを意識し過ぎて、過度に活用するのも逆効果を伴う可能性があるため、この点は十分に留意する必要があるだろう。翻訳では無論、通訳においても通訳者が自分の勝手な判断により、必要以上に説明を追加することにより、そもそも時間が大変限られた会議の参加者（通訳者に仕事を依頼したクライアント側を含めて）の発言時間を余計に取ってしまうのは、会議の進行に支障を来すほか、会議参加者を戸惑わせたり、不信感を与えたりする可能性も十分にある。現場の体験がなければなかなか想像しにくいリスクではあるが、本研究の調査結果をよく見れば、明晰化ストラテジーの活用における留意すべき点について十分に認識することが出来るであろう。訓練段階中の学生のみならず、現役の通訳者・翻訳者にとっても参考にする価値があるのではないかと思われる。

以上のように、本研究の結果の応用可能性を概略的に提案したが、日本語の通訳者・翻訳者の教育養成の歴史が浅く、今に至っても十分に注目されているとはいえないベトナムでの日本語教育現場では具体的にどのような形でこの研究結果を取り入れられるかは、簡単なことではないかもしれない。以下、筆者なりに一つの応用パターンを提案してみたい。なお、教育現場と言っても、どこの教育現場も同じ特徴を持っているとは限らず、その現場の特徴に合わせて、教育関係者が最も相応

しい方法である理論を導入する必要がある。そのために、これから提案する応用パターンは必ずしもすべての現場に適用が可能なわけではないことを断っておきたい。

10.1.2 応用パターンの紹介

本節で提案する応用パターンにおいて、教育現場が日本語通訳者・翻訳者養成コースのある大学であることを前提としている。ベトナムの語学専攻大学は基本的には4年制である。筆者が調べたところによると、現在、日本語または日本語通訳・翻訳専攻のベトナム人学生は大学に入学してから、初めて日本語を勉強する人が殆どである。そのため、基本的には、大学の1年目と2年目は言語基盤を備えるための期間として位置づけられており、この2年間では学生達は読解・聴解・作文・会話という四つの技能を中心に教育される。日本語はベトナム語と違う系統の言語であるため、初心者に対してはじっくり時間をかけて言語基礎を習得させるのが重要であるため、この計画は特に問題がないと思われる。

通訳・翻訳の授業は基本的には3年生の1学期からシラバスに盛り込まれている。この段階になると、大学で教えられたことをしっかり勉強した大学生は日本語能力試験N2相当のレベルに達するだろう。無論、言語習得能力は個人差が激しいため、一概にどの学生もこのレベルになれるとは言えない。しかし、実際には現場での教育者側としては学習者がN2相当の能力を持っていることを前提に、通訳・翻訳の授業を行うと思われる。

通訳・翻訳の授業といえ、理論と実践がある。大学によって、時間配分が多少異なると思われるが、筆者が勤務していたハノイ国家大学付属外国語大学東洋言語学部日本語学科では、週に2コマ(45分/1コマ)ぐらいの理論の授業が行われている。理論の授業は3年目の2学期までしか行われず、4年目には実習があり、通訳・翻訳理論に触れる時間がなくなる。ほかの大学では違うシラバスが組まれるかもしれないが、全大学の共通点として見られるのは、これ以上通訳理論の授業に時間をかけるところは殆どないようである。筆者としては、これだけの時間では多くはないが、少なくもないと思う。ただし、この時間を使い、どのように通訳・翻訳理論を教えるかがより関心が高いことであろう。

研究結果の応用パターンの提案は本研究の主な目的ではないため、特別に日本語専攻のある各大学のカリキュラムを詳しく調べなかった。しかし、一つ確信できるのは、通訳・翻訳理論の授業では訳出プロセスがさほど言及されておらず、そのプロセスで起きる可能性がある各種の問題と問題に対する対応策(ストラテジー)に

についても触れられていないことである。この知識を持たない学習者は実践の授業では、なるべく原文に忠実な形で伝えようとする練習を重ねるだけで、訳出プロセスに発生した問題についても全然認識できず、どのように対処すれば良いか戸惑ってしまう場合が多いであろう。

もし、この段階から教育者側がしっかりと訳出プロセスや各種のストラテジーについて学生に理解させることができれば、実践の授業の質が高まり、学生にもより良い対応力を身につけさせることができるのではないと思われる。

筆者の考えでは、訳出プロセスとストラテジー（明晰化ストラテジーを含めて）についての理論を導入するための理想的なタイミングは 3 年目の後期である。この時、学生は訳出形態（会議通訳、視察同行の通訳、医療通訳、法定通訳）とは何か、どのようなものがあるか、通訳と翻訳の違い、通訳・翻訳をするのに必要な基礎能力とは何か、特殊な業務に必要なツールの使い方（同時通訳の場合のブース等）、理想とされる毎日の通訳練習時間などに関する基礎知識が習得できるといえる。この基盤をもとに、訳出プロセスについて導入すれば、流れとしては良いのではないと思われる。

理論を導入する際には、筆者が提案したプロセスモデルだけではなく、ずっと前から提示されている古典的なモデルから最近に至って紹介されたものまで概観し、学習者とともに、それぞれのモデルの素晴らしいところ、検討の余地があるところについて議論するのも、一つのアプローチの仕方であろう。次にいくつかの事例を取り上げて、訳出プロセスに発生し得る問題について認識させ、それぞれの問題に対して、プロの通訳者・翻訳者としてどのように対処するか、学生と一緒に考えるという形で授業を進める。これは、ちょうど近年積極的に推進されている学習者参加型の教授法に合っており、学習者の関心を引き寄せることができるため、授業の効果を高めることができる。この段階で、本研究で提示されたデータを提示しながら、各種のストラテジーを学生に紹介すれば良いだろう。特に本研究で使われた具体例は難しい用語がなく、学生にとっても馴染みのある内容であるため、理解させるのには難しくはないと思える。学生が訳出プロセス、発生し得る問題及び問題に対処するためのストラテジーについて把握できたら、それぞれのストラテジーのメリットとデメリットについて学生と詳しく議論する。この部分に関しても、本研究で提示された具体例を用いて、アンケート調査の結果も参考にしつつ、進めたら良いと思われる。最後に、教師という立場から業務実行上の「コツ」を学生と話すのも非常に有意義で重要である。このようにして、座学中の学生でも現場での業務

を想像することができるほか、鋭い判断力と豊かな対応力を身につけられることが期待される。

以上、筆者なりに一つの応用パターンを提案した。一つの研究で報告された結果に対して、読み手の観点によって捉え方も異なる。筆者としては以上に紹介した方向で本研究の結果が教育現場に導入されることを期待するが、全然違う観点からこの結果を解釈し、違う形で取り入れる方法を検討するのも一切問題がない。いずれにせよ、本研究の結果を 日越通訳・翻訳者の養成教育現場、現役の通訳者・翻訳者及び関心のある研究者に多少とも貢献できれば、本研究の最終的な目標が達成できると思われる。

10.2 今後の課題

本研究では、通訳・翻訳プロセスモデルを提唱し、実際の通訳・翻訳データを用いて、プロセスの妥当性・現実性を証明した。第 9 章でも分析・考察結果に基づいた振り返りがあったように、基本的には本研究で設定した目的は達成できた。

なお、通訳・翻訳プロセスは非常に複雑なものであり、関わる要因も数多く存在している。本研究の範囲では、調べきれないところもまだ多数ある。筆者の反省を踏まえて考えてみると、改善の余地があるところは 6 点ほどある。

一点目、本研究では日本語-ベトナム語の言語ペアを事例としたため、ほかの言語においても同様のプロセスモデルが採用可能かどうかは確定できない部分がある。

二点目、データを収録するための場面がビジネス場面に限定されていることにより、多くの制約を伴うと考えられる。例えば、意味が全然分からず、直訳で対応するしかない場面、より改まった場面における通訳のプロセスをこの研究の範囲ではまだ観察することができない。

三点目、通訳と翻訳データを 6 件ずつ収録し、研究方法を紹介した第 3 章においてもサンプル数を少なめに押さえる計画のメリットを説明したが、量的な分析という観点から見ると、確かにこれは決して理想的なサンプル数ではないと筆者も認識している。更に、日本人のベトナム語通訳者・翻訳者を見つけることができず、本研究で扱ったデータは全てがベトナム人の通訳者・翻訳者によるものであるため、通訳・翻訳プロセスを左右する通訳者・翻訳者という変数を十分に検討できなかった。

四点目、明晰化ストラテジーの定義や認定基準には、はっきりしていないところがまだ多い。筆者以外の研究者がこの定義と認定基準でストラテジーを認定する際

には、どちらのカテゴリーに当てはめれば良いか少々戸惑うかもしれない。例えば、どの程度の情報の追加なら「説明の追加」と認定できるか、「語彙レベルと談話レベルでの活用の区別が難しいなどの問題が認定作業において直面するかもしれない。

五点目、明晰化ストラテジーが多すぎて、これだけの数の明晰化ストラテジーをすぐには覚えられないという指摘もあった。明晰化ストラテジーをより簡潔な形で階層化できると、読み手にとって更にイメージしやすくなるのではないと思われる。例えば、共通の特徴のある明晰化ストラテジーを一つのグループに入れる等の工夫が考えられる。現段階で考えられる一つのカテゴリー化の案としては、「原文にあった情報を更に明示化するストラテジー」（主体の明示化、原文の構成変更、反復、性別の明示化、指示語の意味明確化、暗示された情報の復元、読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換、テンス・アスペクトの変換・具体化、原文の不自然さに対する処理、形式名詞の具体化）と「原文にない情報を加えて明示化するストラテジー」（前置き表現の活用、指示語の付加、程度副詞の付加、説明の追加、複数の類義語の活用、接続詞の付加、英語（表記）の併用による誤解防止）という二つのカテゴリーに分けるということである。しかし、この案に関しては、まだ十分に検討されておらず、具体例なども分析しながら更に考慮する必要がある。

六点目、本研究では訳出者、訳出方向と訳出形態の 3 つの変数として訳出プロセスとそのプロセスに発生した問題、問題に対処するための明晰化ストラテジーの活用傾向について分析・考察したが、既に説明したように訳出プロセスを左右する要素はほかにも多い。プロセスモデルの充実のためには、ほかの変数を加えて、改めてプロセスを検証することが必要である。なお、全ての変数を検討することは到底不可能であるゆえ、本研究の延長として、「通訳・翻訳の場面（医療（または法定）とコミュニティ通訳・翻訳）」と「時間のプレッシャー（逐次通訳と同時通訳、納期が厳しい翻訳案件と時間の余裕がある翻訳案件）」、「日本（ベトナム）在住年数（帰化・永住権を持っているベトナム人の通訳者/翻訳者と留学 5 年以下の通訳者・翻訳者）」を変数としてデータを収録し、分析・考察を試みたい。変数を変えることにより、必ず多くの発見ができると見込まれる。例えば、倫理的な原則が厳しく定められている法定・医療通訳では明晰化ストラテジーの活用率がほかの場面と比べいっそう低いこと、時間のプレッシャーの下で作業する場合、明晰化ストラテジーの数も質も落ちること、日本（ベトナム）在住年数が長いほど在住先の言語への訳出が得意になり、この訳出方向における明晰化ストラテジーの活用の効果が高い一方、母語への訳出方向はそれほど出来ない傾向があるなどの結果が研究前段階にお

いて想定できる。これらの仮説を検証するのが本研究で提案したプロセスモデルの一般化に繋がると思われる。

以上の 6 点は本研究の至らないところであるが、今後の課題として次の段階に引き続き取り組んでいきたい。また、通訳・翻訳はほかの分野と比べ、研究がまだ非常に少ないため、明晰化ストラテジーに拘らず、違う観点からも訳出プロセスを見ていきたい。例えば、訳出プロセスに現れる明晰化以外のストラテジー、プロセスの動的な性質以外の一般化可能な特徴について考察するのも今後の研究方向の一つとして考えられる。なお、いずれにしても、時代のニーズへの対応に繋がる応用性の高い研究を優先したいと考えている。

参考文献

- Baker, M. (1993). Corpus linguistics and translation studies: Implications and applications. In M. Baker et al. (Eds.), *Text and technology: In honor of John Sinclair*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins, 223-250.
- Becher, Viktor. (2010). Abandoning the notion of translation-inherent explicitation: against a dogma of translation studies. In: *Across Languages and Cultures 11* (1), 1-28.
- Blum-Kulka, S. (1986/2004). Shifts of cohesion and coherence in translation. In Venuti, L. (Ed.), *The translation studies reader (2nd ed.)*. New York: Routledge, 290-305.
- Cao, Xuan Hao. (1998). Về ý nghĩa thì và thể trong tiếng Việt. *Ngôn ngữ* (5), 1-32.
- Diep, Quang Ban. (2001). Ứng dụng cách nhìn dụng học vào việc giải thích một số yếu tố có mặt trong câu - phát ngôn. *Tạp chí ngôn ngữ* (7), 17-20.
- Duong, Tuyen Hanh. (2007). Hành vi nhờ và sự kiện lời nói nhờ trong giao tiếp bằng tiếng Việt. Luận án tiến sĩ. Bộ giáo dục và Đào tạo, Trường đại học Sư phạm Hà Nội.
- Frankenberg-Garcia, A. (2009). "Compiling and using a parallel corpus for research in translation". *International Journal of Translation*, vol. XXI-1, 57-71.
- Gile, Daniel. (1990). "Scientific Research vs. Personal Theories in the Investigation of Interpretation." In: *Gran and Taylor (1990)*.
- Gile, Daniel. (1991). "Methodological Aspects of Interpretation (and Translation) Research," *Target* 3: 2, 153-170.
- Hoang Phe. (2000). Từ điển Tiếng Việt. Nhà xuất bản Đà Nẵng, Trung tâm từ điển học, Hà Nội- Đà Nẵng.
- Jensen, P. A. (1985). "SI: A Note on Error Typologies and the Possibility of Gaining Insight in *Mental Processes*" *Meta* Vol. 30 No. 1, 107-113.
- Kamenická, Renata. (2008). Explicitation profile and translator style. In *Anthony Pym & Alexander Perekrstenko (eds.), Translation Research Projects 1*, 117-130. Tarragona: Intercultural Studies Group.
- Klaudy, K. (1998). Explicitation. In Baker, M., & Saldanha, G. (Eds.), *Routledge encyclopedia of translation studies (2nd ed.)*. London: Routledge. *Introducing translation studies (2nd ed.)*. New York: Routledge, 104-108.
- Klaudy, Kinga and Károly, Krisztina. (2005). Implication in translation: empirical evidence for operational asymmetry in translation, *Across Languages and Cultures*, 6 (1), 3-28.
- Larsen-Freeman, D., & Cameron, L. (2008). *Complex systems and applied linguistics*. Oxford: Oxford University Press, 1-33.
- Levelt, W. (1999). A Blueprint of the speaker. In C. Brown & P. Hagoort (Eds.), *The neurocognition of language (chapter 4)*. Oxford Press.
- Munday, J. (2008). *Introducing Translation Studies*. London : Routledge.

- Newmark, Peter. (1981). *Approaches to Translation*. Oxford: Pergamon Press, 98-101.
- Nguyen, Dinh Hoa. (1997). *Vietnamese*. London Oriental and African Language Library, 9. Amsterdam: John Benjamins.
- Nguyen, Huu Quynh. (2001). *Ngữ pháp tiếng Việt*. Nhà xuất bản từ điển Bách Khoa.
- Olohan, M. (2004). *Introducing Corpora in Translation Studies*. London and New York: Routledge.
- Øverås, Linn. (1998). "In Search of the Third Code: An Investigation of Norms in Literary Translation," *Meta*, 43 (4), 557-570.
- Pápai, Vilma. (2004). "Explicitation A universal of translated text?," Mauranen, Anna and Kujamäki, Pekka (eds.) *Translation Universals. Do They Exist?*, John Benjamins, 143-65.
- Pym, Anthony. (2005). Explaining Explicitation. In Krisztina Károly & Ágota Fóris (eds.), *New trends in translation studies. In honour of Kinga Klaudy*, 29-34. Budapest: Akadémiai Kiadó.
- Séguinot, Candace. (1988). Pragmatics and the Explicitation Hypothesis. *TTR: Traduction, Terminologie, Rédaction* 1(2): 106-114.
- Seleskovitch, Danica. (1968/1978). Interpreting for International Conference, Washington, D. C.: Pen and Booth: 9-40.
- Shlesinger, Miriam. (1995). Shifts in Cohesion in Simultaneous Interpreting. *The Translator* 1[2]: 193-214.
- Vehmas-Lehto, I. (2001). Explicitation as a Translation Strategy. In P. Kukkonen & R. Hartama-Heinonen (Eds.) *Mission, Vision, Strategies, and Values: A Celebration of Translator Training and Translation Studies in Kouvola*. 221–229. Helsinki: Helsinki University Press.
- Vinay, J-P. and J. Darbelnet. (1995). *Comparative stylistics of French and English: A methodology for translation* (J.C. Sager & M-J. Hamel, trans.). Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins (Original work published in 1958).
- Weissbrod, Rachel. (1992): "Explicitation in Translations of Prose-fiction from English to Hebrew as a Function of Norms." *Multilingua* 11 [2]: 153-171.
- 浅井美恵子 (1999) 『上級日本語学習者の作文における複文・重文構造について』 名古屋大学大学院文学研究科日本言語文化専攻修士論文
- 浅井美恵子 (2002) 「日本語作文における文の構造の分析 ―日本語母語話者と中国語母語の上級日本語母語話者の作文比較」 『日本語教育』 115、日本語教育学会: 51-60
- 浅井美恵子 (2003) 「論説的文章における接続詞について ―日本語母語話者と上級日本語学習者の作文比較」 『言葉と文化』 4 : 87-98

- 安達真弓 (2008) 「ベトナム語指示詞 *đây, đó, kia* の直時用法と照応用法—日本語指示詞との対照を基に—」『東京大学言語学論集』27 号: 207-126
- 安達真弓 (2009) 「ベトナム語指示詞の直時用法における聞き手の位置と記憶指示用法の *kia* について」『東京大学言語学論集』28 号: 1-11
- 稲生衣代・染谷泰正 (2005) 「通訳教育の新しいパラダイム—異文化コミュニケーションの視点に立った通訳教育のための試論—」『通訳研究』5: 73-109、日本通訳学会
- 市川孝 (1978) 『国語教育のための文章論概説』教育出版
- 宇佐美まゆみ (1999) 「談話の定量的分析—言語社会心理学アプローチ」『日本語学』第 18 巻 10 号 (10 月号) : 40-56、明治書院
- 宇佐美まゆみ (2011) 「改訂版：基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese:BTSJ) 2007 年 3 月 31 日改訂版」『談話研究と日本語教育の有機的統合のための基礎的研究とマルチメディア教材の試作』平成 15 -18 年度科学研究費補助金 基盤研究 B(2) (研究代表者 宇佐美まゆみ) 研究成果報告書
- 金井勇人、金善花、ジョセップ・プラウイタ (2011) 「日本語と諸言語の指示語の対照について—インドネシア語・韓国語・中国語と—」『埼玉大学国際交流センター』紀要 5 : 17-34
- グエン・ティ・ハ・トゥイ (2014) 「ベトナム語指示詞について—日本語・韓国語の指示詞との対照を基に—」『京都大学言語学研究 2014』: 167-195
- グエン・ティ・ミン・ヴァン (2013) 「日本語—ベトナム語双方向の通訳における明示化方略の考察—語用論的な観点から—」修士論文、東京外国語大学
- 田原洋樹 (2011) 『詳しく知りたいベトナム語文法』白水社
- 高見健一 (1997) 『機能的統語論』東京：くろしお出版
- ダニツァ・セレスコヴィッチ(ベルジュロ伊藤宏美訳) (2009) 『会議通訳者—国際会議における通訳』研究社
- 陳 臻渝 (2007) 「日本語会話における前置き表現の活用」『言語文化研究 言語情報編』2: 99-115, 大阪府立大学
- 辻和成 (2006) 「日本のビジネス通訳についての一考察—大手企業のグローバル人事を背景として—」『通訳研究』第 6 号: 129-142
- チャン・ティ・ミー (2016) 「日越通訳における明示化—通訳の方向別及び方式別の比較—」『通訳翻訳研究』第 16 号: 43-62
- 土肥治美 (1992) 「公的な談話と論理的文章に表れた接続語句」『名古屋大学日本語

- 学科日本語教育論集』3号: 35-49
- 鳥飼久美子 (2007) 『通訳者と戦後日米外交』 みすず書房
- 西郡仁朗 (2002) 「自然会話データ『偶然の初対面』の公開－その方法論について
『人文学報』330、東京都立大学人文学部：1-18
- 西由美子 (1995) 「新聞社説における接続表現の出現傾向」『国文目白』34、日本女子大学
国文学会: 85-93
- 花岡修 (1999) “An Exploratory Study of Explicitation Strategies in News Translation”『東
京都立航空工業高等専門学校研究紀要』第36号: 107-119
- 花岡修 (2000) 「放送通訳における明示化の方略」『通訳研究』第0号（日本通訳
学会設立記念特別号）：69-85 東京：通訳理論研究会
- 花岡修 (2001) 「ニューズウィーク日本版に見られる明示化」『通訳研究』
第1号: 36-52
- ベルジュロ伊藤宏美 (2007) 「逐次通訳の基本プロセスの検討」『通訳理論研究』
第13号: 89-116、日本通訳学会
- 水野真木子 (2005) 「各種通訳倫理規定の内容と基本理念－会議、コミュニティー、
法廷、医療通訳の倫理規程を比較して－」『通訳研究』第5号: 157-172
- 水野的 (1997) 「『意味の理論』の批判と通訳モデル」『通訳理論研究』第13号；
2004、『通訳理論研『通訳翻訳研究』No.12 (2012) 132 究論集』:107-122
- 森山卓郎 (2000) 『ここからはじまる日本語文法』 ひつじ書房
- 劉明綱 (2010) 「コーパスに見る中日翻訳における「明示化」の特徴-雑誌の時事
報道記事を中心に－」『通訳研究』第10号：121-140

図・表の一覧

図の一覧

図 1	Seleskovitch (1986,1978) の通訳プロセス（水野 (1997) 参考）を参考	8
図 2	通訳全体のプロセスモデル.....	12
図 3	Levelt (1999a) A Blueprint of the Speaker	16
図 4	通訳・翻訳における深層理解から情報処理を経て訳出に至る詳細なプロセス	20
図 5	明晰化ストラテジーの分類.....	38
図 6	通訳を介してのベトナム人と日本人間の会話.....	64
図 7	通訳データに見られた明晰化ストラテジー別の割合	107
図 8	通訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性.....	110
図 9	通訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベル.....	116
図 10	通訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的.....	124
図 11	通訳者別の活用した明晰化ストラテジーの必然性・活用レベル・利用目的の 傾向.....	130
図 12	通訳方向別における明晰化ストラテジーごとの割合.....	132
図 13	翻訳全データに出現する明晰化ストラテジー別の頻度と割合.....	144
図 14	翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの必然性.....	150
図 15	翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの活用レベル.....	151
図 16	翻訳データに見られた明晰化ストラテジーの利用目的.....	157
図 17	翻訳者別の活用した明晰化ストラテジーの必然性・活用レベル・利用目的の 傾向.....	159
図 18	翻訳方向別における明晰化ストラテジーごとの割合.....	154
図 19	日越通訳プロセスモデル（明晰化ストラテジーの活用を中心に）	197
図 20	日越翻訳プロセスモデル（明晰化ストラテジーの活用を中心に）	198

表の一覧

表 1	通訳者の詳細.....	64
表 2	参加者の詳細.....	64
表 3	フォローアップインタビューの質問.....	66
表 4	インタビューの質問事項.....	74

表 5	全データで見られた明晰化ストラテジーの一覧.....	78
表 6	通訳全データ及び翻訳全データにおいて出現する各明晰化ストラテジーの頻度.....	100
表 7	通訳全データ及び翻訳全データにおける明晰化ストラテジーの性質.....	101
表 8	通訳者 01 における項目①「明晰化ストラテジーの種類」に対する認定一致率.....	103
表 9	項目①「明晰化ストラテジーの種類」に対する認定一致率の算出結果のまとめ.....	104
表 10	項目②「任意的／義務的」に対する認定一致率の算出結果のまとめ.....	104
表 11	項目③「語彙レベル／文法レベル／談話レベル」に対する認定一致率の算出結果のまとめ.....	104
表 12	項目④「目標テキストの自然さの確保のため／「意味明確化のため」に対する認定一致率の算出結果のまとめ.....	104
表 13	通訳者別の活用した明晰化ストラテジーの割合.....	127
表 14	通訳者別の活用した明晰化ストラテジーの必然性・活用レベル・利用目的の割合.....	129
表 15	通訳方向による明晰化ストラテジーの活用レベル・必然性・利用目的の差異.....	134
表 16	翻訳者別の活用した明晰化ストラテジーの割合.....	154
表 17	翻訳者別の活用した明晰化ストラテジーの必然性・活用レベル・利用目的の割合.....	156
表 18	翻訳方向による明晰化ストラテジーの活用レベル・必然性・利用目的の差異.....	160
表 19	訳出形態によって異なる明晰化ストラテジー活用の特徴.....	173
表 20	「日本語が分からないベトナム人」の調査結果.....	180
表 21	「ベトナム語が分からない日本人」の調査結果.....	180
表 22	「ベトナム語と日本語に精通するベトナム人」の調査結果.....	181

謝辞

本研究を遂行し、論文を完成させるにあたり、多くの方々にご指導とご支援を賜りました。主任指導教官である早津恵美子先生に研究に関するご指導や授業を通して多くを学ばせていただきました。論文の完成まで、いつもご心配下さったこと、研究が行き詰まった際に励まして下さったことに心より深く感謝申し上げます。吉富朝子先生には、いつも鋭いご指摘を頂き、「迷子」の状態からまさにトンネルの先に光が見えるように、ようやく歩むべき道を見つけることが出来ました。お忙しい中でもいつもご丁寧に対一でご指導下さって、言葉で表せないほど感謝致します。また、副指導の谷口先生にも修士時代からお世話になっており、博士課程に入学した後にも、変らず身上のことから勉学に至るまで、いつもご理解を頂いた御陰で大変力強く感じておりました。特に草稿修正段階において、大変タイトなスケジュールにも関わらず、先生方にご親切にご指導頂いた御陰で、予定通りに論文を提出することができました。加えて、本研究の通訳・翻訳データの収録、意識調査及び明晰化ストラテジーの効果についてのアンケート調査に多くの方々にご協力を頂きました。どちらの調査も通常の調査より時間が掛かりましたが、大変丁寧にご対応頂き、ありがとうございました。皆様のご協力がなくては、この研究はありませんでした。そして、これまで研究室の皆様を含め多くの研究仲間の皆様にご協力とご支援をいただきました。毎回のゼミで皆様より貴重なご指摘を頂いたおかげで、研究の至らないところを少しずつ改善することが出来ました。本当に多くの先生と仲間に恵まれ、ご指導、ご協力、ご支援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

博士論文

通訳・翻訳プロセスモデルの検討

そのプロセスにおける明晰化ストラテジーを中心に
ベトナム語-日本語の通訳・翻訳の場合を事例として

資料集

グエン・ティ・ミン・ヴァン

2017 年 9 月

東京外国語大学

言語文化専攻博士後期課程

目次

パート 1：通訳データ及びコーディング結果（6 件）

（通訳データとコーディング結果は同じエクセルファイルで表示する）

パート 2：翻訳データ及びコーディング結果（6 件）

（翻訳データとコーディング結果は別々のワードとエクセルファイルで表示する）

パート 3：意識調査に使われるアンケート用紙

パート 4：同意書

パート 1

通訳データ及びコーディング結果（6件）

被験者01 通訳データ

発話番号	話者	発話内容	筆者が作成した越→日の直訳	活用レベル	必然性	利用目的	具体的な明晰化戦略
1	話者 VN01	Xin cảm ơn bà đã tới dự buổi họp ngày hôm nay.	本日の会議に出席する時間を下さいました、ありがとうございます。	x	x	x	x
2	通訳 VJ01	まずあの、本日の、あの、会議に出席して頂いてありがとうございます。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
3	話者 JP01	いいえ、こちらこそ。		x	x	x	x
4	通訳 JV01	Rất là, chính tôi mới là người phải cảm ơn anh vì mời tôi đến đây ạ.		語彙レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
5	話者 VN01	Vâng, mục đích của cuộc họp ngày hôm nay của chúng ta là nói về buổi hội thảo tới đây, vào ngày 30 tháng 11 và bà 「話者JP01姓」 sẽ đại diện cho doanh nghiệp 「社名」 để phát biểu.	はい、本日の私たちの打ち合わせの目的は、11月30日の今度のセミナーについて話すことで、そして、「話者JP01」は「社名」を代表して発表します。	x	x	x	x
6	通訳 VJ01	っで、あの、今回の会議は、まっ、今日の会議の主な目的はですわね&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
7	通訳 VJ01	っで今回のセミナーについてですよ。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
8	通訳 VJ01	「話者JP01姓」さん、「話者JP01姓」様に、あの、「社名」、「社名」の、あの一、企業の		談話レ	任意的	意味明確化の	聞き手に馴染みのあるような表現への変

		代表をして頂いて&,,		ベル		ため	換
9	通訳 VJ01	発表することになりますので=。		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
10	話者 JP01	=はい。		x	x	x	x
11	話者 VN01	Mục đích của cuộc họp ngày hôm nay là bàn bạc cụ thể và chi tiết về cái hội thảo và nội dung đối với bài phát biểu của bà 「話者JP01姓」 <tới đây>{<}>。	本日の会議の目的は、今度のセミナーと「協力者03姓」様のセミナーの内容について具体的、そして、詳細に打ち合わせることです。	x	x	x	x
12	通訳 VJ01	<ま、本日>{>}の会議に、ま、ぜひ&,,		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	程度副詞の付加
13	通訳 VJ01	えー、発表の内容とか、セミナーの内容とか具体的、詳しく説明させて頂きたいと思います。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの 自然さの 確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
14	話者 VN01	À, buổi hội thảo tới đây sẽ có tên là 『Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỷ thứ 21, những cơ hội và thách thức mới』。	今度のセミナーは「ベトナム、21世紀の投資先、新しい機会とチャレンジ」という名前があります。	x	x	x	x
15	話者 VN01	À, buổi hội thảo sẽ được diễn ra ở tại khách sạn Sheraton Hà Nội, địa chỉ trên đường Nghi Tàm, quận Tây Hồ。	セミナーはシェラトンハノイホテルで行われて、住所はタイ・ホ区のギ・ギタム通りです。	x	x	x	x
16	話者 VN01	Thời gian dự kiến tổ chức sẽ là vào ngày 30 tháng 11 năm 2011, và từ 14 giờ cho đến 17 giờ。	行う予定時間は、2011年11月30日の14時から17時までです。	x	x	x	x
17	通訳 VJ01	《少し間》[メモしている]ま、あの、セミナーの、あー、名前とか、あの、日にちとか、あの、お知らせいたします。		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
18	通訳 VJ01	まずはですね&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	前置き表現の活用

				ル			
19	通訳 VJ01	セミナーのタイトルとしては(はい)『ベトナム、21世紀投資の目的地』、(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
20	通訳 VJ01	で、あの、Cơ hội và thách thức đúng <không anh>{<}??。		na	na	na	na
21	話者 VN01	<Vâng>{>}ạ。	はい。	x	x	x	x
22	通訳 VJ01	チャンスおよびチャレンジ(はい)。		na	na	na	na
23	通訳 VJ01	で、それはタイトルでございます(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
24	通訳 VJ01	次は&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加
25	通訳 VJ01	あの、行う、行われる場所としては、(はい)シェラトンホテル&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
26	通訳 VJ01	ご存知ですか?。		na	na	na	na
27	話者 JP01	はい、<はい>{<}。		x	x	x	x
28	通訳 VJ01	<シェラトン>{>}ホテル&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
29	通訳 VJ01	ギ・タム通り(はい)あの、タイリック(はいはい)のすぐ【】。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
30	話者 JP01	【】はい、知っております、はい。		x	x	x	x
31	通訳 VJ01	で、日にちは今年の11月(はい)30日(はい)でございます(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
32	通訳 VJ01	時間はですね、午後2時から、あの午後6時まで(はい)、2時から5時までです(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用

				ル			
33	通訳 VJ01	はい。		na	na	na	na
34	話者 VN01	Xin hỏi bà 「話者JP01姓」 có những cái câu hỏi gì về buổi hội thảo sắp tới?。	「協力者03姓」様は 今度のセミナーについて何か質問があるか聞きたいですが。	x	x	x	x
35	通訳 VJ01	あの、それでは&,,		談話 レベル	任意的	目標 テキストの自然さの確保のため	前置き表現の活用
36	通訳 VJ01	セミナーについてなんかご質問があれば、あの、どうぞ遠慮なく教えて頂きたいと思います[にこにこしながら]。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
37	話者 JP01	はい、えーと、タイトル分かりました。		x	x	x	x
38	話者 JP01	シェラトンホテルね。		x	x	x	x
39	話者 JP01	あの、大体何人の方が出席するのですか?。		x	x	x	x
40	通訳 JV01	Cho tôi hỏi là khoảng độ tầm bao nhiêu người sẽ tham gia ạ?。		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	前置き表現の活用
41	話者 VN01	À, buổi hội thảo tới đây sẽ có khoảng 200 người tham gia。	今度のセミナーは凡そ200人の参加者がいます。	x	x	x	x
42	通訳 VJ01	200人ぐらいが参加すると思います。		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	原文の構成変更
43	話者 JP01	あ、そうですか。		x	x	x	x
44	話者 JP01	その200人というのは、どういう方ですか?。		x	x	x	x
45	通訳 JV01	Anh có thể cho tôi biết&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	前置き表現の活用

46	通訳 JV01	thông tin về 200 người sẽ tham gia được không ạ?。		語彙 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	指示語の明示 化
47	話者 VN01	Dạ vâng, những người sẽ tham gia sẽ bao gồm các đại diện trong và ngoài nước, trong đó chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật, đã đang và sắp đầu tư vào Việt Nam。	はい、参加する人は国内外の代表を含み、その中で、主にはベトナムに投資した、投資している、またはこれから投資する日系企業です。	x	x	x	x
48	通訳 VJ01	うん、であの、その200人の方です、ほとんどベトナムに経営している、または経営したい、経営する計画がある(うん)企業あの、代表の方々でございます。		語彙 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	指示語の活用
49	話者 JP01	はい、分かりました、はい。		x	x	x	x
50	通訳 JV01	Tôi hiểu rồi ạ。		文法 レベル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
51	通訳 VJ01	ほかには何か質問がありますか?。		na	na	na	na
52	話者 JP01	えと、今は特にありません(うん)、はい。		x	x	x	x
53	通訳 JV01	Ngoài cái câu này ra thì bà 「話者 JP01姓」 tạm thời chưa có câu hỏi gì <khác ạ>{<}		談話 レベル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
54	話者 VN01	<Dạ vâng>{>}。	はい。	x	x	x	x
55	話者 VN01	Và chúng tôi xin được chính thức đưa ra lời mời, đề nghị bà 「話者 JP01姓」 sẽ phát biểu tại hội thảo sắp tới đây。	そして、我々は正式に「協力者03姓」様に今度のセミナーで発表をお願いします。	x	x	x	x
56	話者 VN01	Do doanh nghiệp 「社名」 là một doanh nghiệp đã có kinh nghiệm 15 năm đầu tư vào Việt Nam và là một trong số những doanh nghiệp Nhật bản đầu tiên đầu tư và thành công ở tại Việt Nam、 sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 sẽ rất có ích cho các khách mời đến tham dự hội thảo。	「社名」はベトナムへ投資した15年の経験もあって、ベトナムで投資して成功した初めての日系企業の一つでもあるという理由で、「社名1」の経験共有は今度のセミナーに参加する人に大変役立ちます。	x	x	x	x

57	通訳 VJ01	あの、それでは、せい一式‘正式’的に、あの一、「話者JP01姓」様を今回のセミナーに招待いたします。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
58	通訳 VJ01	なぜ招待するというか&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
59	通訳 VJ01	あの、「話者JP01姓」様の「社名」、あの、御社はベトナムにじゅうご‘十五’年間ぐらいベトナムに投資している歴史がありますし、それから、ま、あの一、ハノイ、ま、ベトナムに初めのベトナム投資した、けい、あの、企業として、ま、あとは&,,		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
60	通訳 VJ01	「社名」御社の経験とかとても貴重な経験があると思いますので(はい)&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
61	通訳 VJ01	今回のセミナー、あの、の際に、ぜひほかの企業に教えてとか、説明とか、あのお願い致します(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
62	話者 JP01	あはい、恐れ入ります。		x	x	x	x
63	通訳 JV01	Rất là cảm ơn anh.		語彙レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
64	話者 VN01	Xin hỏi bà là bà có câu hỏi gì về nội dung bài phát biểu sắp tới hay không?.	今度の発表の内容について何か質問があるか聞きたいですが	x	x	x	x
65	通訳 VJ01	ま、あの一、発表の内容について(はい) なんか特に質問がありませんか?.		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換

66	話者 JP01	えーと私‘わたくし’に与えられた時間は何分ぐらいですか?。		x	x	x	x
67	通訳 JV01	Xin hỏi anh là&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
68	通訳 JV01	tôi sẽ phải phát biểu trong bao nhiêu phút ạ?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
69	話者 VN01	À, bài phát biểu của bà có thể phát biểu trong 15 cho đến 20 phút, từ sau ba rưỡi。	貴方の発表は15分から20分、3時半以降で発表していいです。	x	x	x	x
70	通訳 VJ01	あの、「話者JP01姓」様の発表はですね、(はい)、3時半後(はい)、で、時間としては15分から20分まで(あー)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
71	話者 JP01	はい、分かりました。		x	x	x	x
72	話者 JP01	はい[ささやき声で]。		x	x	x	x
73	話者 VN01	Về phần nội dung của hội thảo sắp tới đây, thì sẽ gồm có ba phần chính。	今度のセミナーの内容について、主に3つの部分があります。	x	x	x	x
74	話者 VN01	Phần thứ nhất, là, xu hướng đầu tư ở tại Việt Nam, đầu tư chủ yếu tập trung trong các lĩnh vực như là chế tạo, lắp ráp, lượng đầu tư vào những lĩnh vực như tài chính bảo hiểm, tiền tệ thì, vẫn chưa nhiều。	第1部分はベトナムへの投資傾向で、投資は製造、組み立てに集中されていて、財政・金融・保険などの分野への投資はまだ多くないです。	x	x	x	x
75	話者 VN01	Phần này sẽ do Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分は投資計画省代表が発表します。	x	x	x	x
76	話者 VN01	Phần thứ hai, là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam, nhằm thu hút đầu tư nước ngoài như là miễn thuế thu nhập doanh nghiệp trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án, miễn phí tiền thuê đất, đối với các dự án công như là cung cấp điện, nước。	第2部分は外国の投資を誘致するためのベトナム政府の新政策で、例えば、一定期間中事業の性質と規模によって、法人税を免除したり、給水、給電のような公的な事業には土地税を免税したりする政策とかです。	x	x	x	x
77	話者 VN01	Chính sách mới này sẽ được công bố vào năm 2012 theo như dự kiến	この新政策は、予定では、2012年に発表	x	x	x	x

		。	されます。				
78	話者 VN01	Phần này cũng sẽ do Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分も投資計画省の代表が発表します。	x	x	x	x
79	通訳 VJ01	OK。		na	na	na	na
80	話者 VN01	Phần thứ ba là môi trường đầu tư Việt Nam từ cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản, cụ thể ở đây nói riêng là doanh nghiệp 「社名」, các khó khăn thử thách, những lợi thế so với các quốc gia khác。	第3部分は日系企業、ここで具体的に言えば「社名」の目から見たベトナムにおける投資環境で、ほかの国と比べての困難、チャレンジとメリットです。	x	x	x	x
81	話者 VN01	Phần này sẽ là do doanh nghiệp 「社名」、do bà 「話者JP01姓」 đại diện phát biểu。	この部分は「社名」、「協力者01姓」によって代表で発表されます。	x	x	x	x
82	通訳 VJ01	それでは、セミナーの内容について(はい)、ご説明(はい)致します(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
83	通訳 VJ01	ま、セミナーの内容はですね、3部に分けております(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
84	通訳 VJ01	第1部は(はい)、あの、ベトナムに投資の傾向(うんうんうんうん)についてご説明いたします(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
85	通訳 VJ01	傾向といえ(はい)&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
86	通訳 VJ01	主に製造とくみあわ、組み合わせ(はい)、金融と保険の分野について(はい)、でも金融とか保険とかまださかーん‘盛ん’に、投資を受けているとはいえないので、で主に(はい)製造と組み合わせについて(はい)、はい。		na	na	na	na
87	通訳 VJ01	っで、これはわれわれの投資計画省が担当します(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
88	通訳 VJ01	で、第2部についてなんですけど(はい)&,		談話	任意	意味明確	前置き表現の活用

				レ ベ ル	的	化の ため	
89	通訳 VJ01	第2部は(はい)ベトナム政府がゆ うち、投資を誘致するための新 しい政策[↑](はい)について。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	原文の構成変 更
90	通訳 VJ01	ま、政策といえば税金ーについ ての政策とか(はい)、あと、土 地使用の、あの、料金について とか。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前置き表現の 活用
91	通訳 VJ01	っでその政策はっで、来年(うん)、つまり2012年に(はい)、あの 、公開します。		na	na	na	na
92	通訳 VJ01	それは第2部(はい)。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	反復
93	通訳 VJ01	っで、第3部はベトナムーの、あ の投資環境の特徴(うん)につい て(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	原文の構成変 更
94	通訳 VJ01	っであの、投資環境といえば&,、		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前置き表現
95	通訳 VJ01	主に日本からの企業の立場(うん)に立って、ベトナムには、なん かチャンスがあるか、それかチ ャレンジとか、あと、ほかの国 に比べて、なんかメリットがあ るか[JP3が領きならが利く](うー んうんうんうん)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加の 活用
96	通訳 VJ01	それは「社名」御社にお願い致 します。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞き手に馴染 みのあるよう な表現への変 換
97	話者 JP01	あー。		x	x	x	x
98	通訳 VJ01	はい。		na	na	na	na
99	話者 JP01	はい、分かりました。		x	x	x	x

100	話者 JP01	はい。		x	x	x	x
101	話者 JP01	一応この発表については、《少し間》本社としても非常に名誉なことだと考えてます。		x	x	x	x
102	話者 JP01	あの、本社としましても<笑いながら>、私‘わたくし’と致しても、非常に名誉に考えてます。		x	x	x	x
103	通訳 VJ01	<笑いながら>はい。		na	na	na	na
104	通訳 JV01	À, bên quý bộ giao cho chúng tôi trọng trách phát biểu, phần thứ ba này, chúng tôi cũng thấy rất là vinh dự, rất là cảm ơn anh.		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
105	話者 JP01	たくさんある日本企業の中で、当社をこのように選んでいただきことにありがたいと(はい)、名誉なことだと(はい)、会社を代表しましてお礼を申し上げます。		x	x	x	x
106	通訳 JV01	À, có rất nhiều doanh nghiệp Nhật Bản đang kinh doanh tại Việt Nam, nhưng mà quý Bộ đã chọn doanh nghiệp chúng tôi, chúng tôi rất là vinh dự được phát biểu trong dịp này.		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	原文の構成変更
107	話者 VN01	Vâng, xin cảm ơn.	はい、ありがとうございます。	na	na	na	na
108	話者 VN01	Bà có một số các cái câu hỏi gì về nội dung của bài phát biểu tới đây, hay có một số cái vướng mắc gì không?.	今度の発表の内容について何か質問がありますか、あるいは、疑問点がありますか?.	x	x	x	x
109	通訳 VJ01	ほかには疑問に思われることがあればぜひ教えて頂きたいんです。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
110	話者 JP01	はい、あの、私の発表についてですが(はい)、えーと、ま、20分ほど(はい)。		x	x	x	x
111	話者 JP01	これ時間も短いですし、パワーポイントなどは(はい)使うことができますか(はい)?.		x	x	x	x
112	通訳 JV01	Tôi xin hỏi anh&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用

113	通訳 JV01	về phần nội dung tôi phát biểu ý a 、 về thời gian、 nó là 20 phút、 tôi thấy nó là hơi ngắn, tuy nhiên, là tôi cũng hỏi anh là tôi có thể dùng được máy chiếu hay là powerpoint hay không?。		文 法 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	主体の明示化
114	話者 VN01	Dạ vâng, dĩ nhiên rồi, bà có thể dùng powerpoint như là một phương tiện để trình chiếu。	はい、もちろん、投 影するための道具と してパワーポイント を使うことができます。	x	x	x	x
115	通訳 VJ01	で、あのパワーポイントしご利用 していただいても大丈夫です(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞き手に馴染 みのあるよう な表現への変 換
116	通訳 VJ01	プロジェクターですね、(はい) ご用意しておきます(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
117	話者 VN01	Vâng。	はい。	x	x	x	x
118	通訳 JV01	Vậy anh sẽ chuẩn bị máy chiếu đúng không ạ??。		na	na	na	na
119	話者 VN01	Dạ vâng, đúng rồi ạ。		x	x	x	x
120	話者 VN01	Chúng tôi cũng có một số các cái gợi ý về cấu trúc của bài phát biểu (うん) cho bên phía doanh nghiệp như sau (うん)。	私たちも企業のほう に対して発表の構成 について次のような いくつかのヒントが あります。	x	x	x	x
121	通訳 VJ01	で、発表は(うん)お願いします けど(はい)発表の内容について ちょっと意見がありますので[に こにこ笑いながら]。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	暗示された情 報の復元
122	話者 JP01	はい。		x	x	x	x
123	通訳 VJ01	ぜひ、こういう内容をいつて頂 きたいという<感じで>{<}<}		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
124	話者 JP01	<はい、お聞>{>}きしま<す>{<}<}		x	x	x	x
125	話者 VN01	<À, điều >{>} thứ nhất là giới thiệu khái quát về doanh nghiệp (はい)。	一つ目は企業につい て概略的に紹介しま す。	x	x	x	x

126	話者 VN01	Cái thứ hai nữa là những cái khó khăn ban đầu của doanh nghiệp khi mới vào thị trường Việt Nam(はい)。	二つ目は、企業がベトナム市場に進出したときの初期の困難です。	x	x	x	x
127	話者 VN01	Cái thứ ba là các biện pháp, và đối sách nhằm vượt qua khó khăn tại thời điểm đó。	三つ目は、当時の困難を乗り越えるための措置と対策です。	x	x	x	x
128	話者 VN01	Cái thứ tư đó là những cái khó khăn còn tồn tại đối với doanh nghiệp(はい)。	四つ目は、企業にとってまだ残っている困難です。	x	x	x	x
129	話者 VN01	Điều thứ năm là thuận lợi và ưu thế của môi trường đầu tư ở tại Việt Nam(はい)。	五つ目は、ベトナムにおける投資環境のメリットと優勢です。	x	x	x	x
130	話者 VN01	Và điều thứ sáu, điều cuối cùng là kiến nghị của doanh nghiệp đối với chính phủ Việt Nam(はい)。	そして、六つ目、最後はベトナム政府に対する企業の提議です。	x	x	x	x
131	通訳 VJ01	<少し笑う>ちょっと多いんですが(はい)、あの、六つあります。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
132	話者 JP01	あーはい。		x	x	x	x
133	通訳 VJ01	っで、ひとつは(うん)ぜひ&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
134	通訳 VJ01	御社の概要について(はい)、あの、紹介(うん)とか、頂きます(はい)。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
135	通訳 VJ01	で、次は最初の時間、あ、最初の時期ですね、ベトナムに投資してはじめてのころは、何か困難にぶつかったとか(あー)&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
136	通訳 VJ01	ぜひ、ほかの企業に教えて頂きたい。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
137	通訳 VJ01	それから、その困難の対策(はい)、対策についても(うん)&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復

				ル			
138	通訳 VJ01	もう、それは三つ目ですね(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
139	通訳 VJ01	もう一度言います(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	反復
140	通訳 VJ01	ひとつ目は概要(はい)。		na	na	na	na
141	通訳 VJ01	つで、三番目はその困難の(うんうん)対策(はい)。		na	na	na	na
142	通訳 VJ01	で、あの、四番目は今まだ存在している問題点について(はい、あ、あ)。		na	na	na	na
143	通訳 VJ01	はい(はい、はい)。		x	x	x	x
144	通訳 VJ01	で、五番目はあの、ベトナムの投資環境のメリット(はい)、はい。		na	na	na	na
145	通訳 VJ01	で、六番目はあの、ベトナム政府への提案(あー)、はい。		na	na	na	na
146	話者 JP01	はい、では、えーと分かりました。		x	x	x	x
147	話者 JP01	ちょっと(はい)、間違えてはいけないので、私の発表の内容についてちょっと確認させていただきますね(はい)。		x	x	x	x
148	話者 JP01	まず、わが社の内容。		x	x	x	x
149	話者 JP01	そして、進出したときにどのような困難があったか(はい)。		x	x	x	x
150	話者 JP01	そして、えーと、それを乗り越える(はい)対策はどうだったか(はい)。		x	x	x	x
151	話者 JP01	そして、今存在している問題点は何か(はい)。		x	x	x	x
152	話者 JP01	そして、えーと、この、ベトナムへの投資環境、メリットは何か(はい)。		x	x	x	x
153	話者 JP01	そして、最後にベトナム政府への希望や意見ですか??。		x	x	x	x
154	通訳 VJ01	提案。		na	na	na	na
155	話者 JP01	提案ね(はい)。		x	x	x	x
156	話者 JP01	それを入れるという(はい)。		x	x	x	x

157	通訳 VJ01	おっしゃったとおりです(はい)。 。		na	na	na	na
158	話者 JP01	あの、了解いたしました。		x	x	x	x
159	通訳 VJ01	はい。		na	na	na	na
160	通訳 JV01	Tôi đã hiểu rồi ạ。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
161	話者 VN01	Dạ vâng cảm ơn bà。	はい、ありがとうございます。	x	x	x	x
162	話者 VN01	Xin bà cho những cái câu hỏi nếu như bà vẫn còn khó khăn gì đó, à, trong buổi hội thảo。	セミナーではまだ何か困難なことがあ りましたら、質問を挙 げてください。	x	x	x	x
163	通訳 VJ01	うん、ほかにはセミナーについ て、まだ質問、ご質問があれば &,,		談 話 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	原文の不自然 さに対する処 理
164	通訳 VJ01	ま、(はい)遠慮なく(はい)。		na	na	na	na
165	話者 JP01	あの、ひとつあります。		x	x	x	x
166	通訳 JV01	Có một cái ạ。		na	na	na	na
167	話者 JP01	私が発表した、あと、えーと、 質問、受けるんですか?。		x	x	x	x
168	通訳 JV01	Cho tôi hỏi một chút ạ&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
169	通訳 JV01	sau khi tôi phát biểu xong thì tôi sẽ nhận những cái câu hỏi từ phía thính giả đúng không ạ??。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
170	話者 VN01	Dạ vâng, đúng rồi ạ。	はい、その通りです 。	x	x	x	x
171	通訳 VJ01	受けて頂きたいんです。		na	na	na	na
172	話者 VN01	Sau bài phát biểu của bà 「話者 JP01姓」、thì sẽ có những cái câu hỏi cho các doanh nghiệp tham dự hội thảo ngày hôm đó。	「協力者03姓」様の 発表の後には、当日 のセミナーに参加す る各企業に対する質 問があります。	x	x	x	x
173	話者 VN01	Sẽ có hai loại hình câu hỏi, một loại hình câu hỏi là dành cho doanh nghiệp 「社名」、một loại hình câu hỏi thứ hai là loại hình câu hỏi	質問の2種類があつて 、一つの種類の質問 は、「社名」に対す るもので、二つ目の	x	x	x	x

		từ các doanh nghiệp dành cho Bộ kế hoạch và đầu tư。	種類の質問は、各企業からの投資計画に対する質問です。				
174	話者 VN01	Cái loại hình thứ hai, thì Bộ kế hoạch và đầu tư sẽ có sự chuẩn bị từ trước。	2番目の種類に関して、投資計画省は事前の準備をしておきます。	x	x	x	x
175	通訳 VJ01	うん、で、あの、御社の(うん)、発表のあと&,、		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
176	通訳 VJ01	応答時間、質問応答時間があります(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
177	通訳 VJ01	質問といえば&,、		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
178	通訳 VJ01	二つの形式があります(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
179	通訳 VJ01	ひとつ目は御社、「社名」(うん)、あの一、かいしゃ、がいしゃへの質問(はい)。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
180	通訳 VJ01	で、二つ目はわれわれ投資計画省への質問(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
181	通訳 VJ01	で、もちろん、二つ目はあの、われわれ担当しますが(はい)、あと、ひとつ目はぜひお願いします。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
182	話者 JP01	あ、はい、はい、了解しました。		x	x	x	x
183	通訳 JV01	Tôi đã hiểu rồi ạ。		文法	義務	意味明確	主体の明示化

				レ ベ ル	的	化の ため	
184	話者 VN01	Vâng.	はい。	x	x	x	x
185	話者 JP01	はい。		x	x	x	x
186	話者 JP01	その質問というのは、私の発表 が20分ほどで、そうですね、そ の、質問に答える時間はどれぐ らいと考えたらいいですか?。		x	x	x	x
187	通訳 JV01	À, vậy thì anh ạ, thời gian phát biểu của tôi thì là 20 phút, nhưng mà, thời gian trả lời câu hỏi cho cái bài của tôi ý ạ, thì tầm bao nhiêu phút thì được ạ?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前置き表現の 活用
188	話者 VN01	Vâng, bên doanh nghiệp có thể trả lời trong khoảng 15 phút.	はい、企業のほうは 15分間ぐらいで回答 できます。	x	x	x	x
189	通訳 VJ01	15分ぐらい...(はい)があります 。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞き手に馴染 みのあるよう な表現への変 換
190	話者 JP01	はい、分かりました。		x	x	x	x
191	話者 JP01	はい、あともうひとつ。		x	x	x	x
192	通訳 JV01	Vâng, vẫn còn một câu hỏi nữa ạ.		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	指示語の意味 明確化のため
193	話者 VN01	<Vâng xin mời>{<}>。	はい、どうぞ。	x	x	x	x
194	話者 JP01	<あのー>{>}、パワーポイント を使って用意しますが(はい)、 これから準備にかかりますが(は い)、この、ま、原稿ですね(は い)、原稿というか、それは、い つまでに、渡したらいいですか(はい)?。		x	x	x	x
195	通訳 JV01	Vậy thì anh ạ&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前置き表現の 活用
196	通訳 JV01	vì là có sử dụng powerpoint, có sử dụng máy chiếu&,,		語 彙 レ	任 意 的	意 味 明 確 化 の	複数の類義語 の活用

				ベル		ため	
197	通訳 JV01	tôi sẽ phải có thời gian chuẩn bị, vậy thì cho tôi hỏi đến ngày bao nhiêu cái hạn cuối tôi phải gửi bản thảo cho anh là ngày bao nhiêu ạ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
198	話者 VN01	Vâng, nếu có thể xin doanh nghiệp hãy gửi cho tôi trước 2 tuần, trước khi mà hội thảo diễn ra, để chúng tôi chuẩn bị cho người dịch sang tiếng Việt từ sớm。	はい、できれば、早いうちにベトナム語に訳す人を準備するために、企業にセミナーが行われる2週間前に送って頂きたいと思います。	x	x	x	x
199	通訳 VJ01	はい、あの、できれば、そのセミナーの2週間前に,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	指示語の付加
200	話者 JP01	2週間前に。		x	x	x	x
201	通訳 VJ01	送って頂きたいんです(はい)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
202	通訳 VJ01	なぜその2週間がいるか(うん)、ベトナムに翻訳する必要がありますので(あはははは)[分かったようである]。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
203	話者 JP01	分かりました。		x	x	x	x
204	話者 JP01	ということは、私は、日本語で(はい)発表すればいいですね??。		x	x	x	x
205	通訳 JV01	Thế tức là có người dịch thì tôi chỉ cần, tôi nói bằng tiếng Nhật là được <đúng không ạ>{<}??。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
206	話者 VN01	<Dạ vâng >{>}ạ, đúng rồi ạ=。	はい、そうです。	x	x	x	x
207	通訳 VJ01	=日本<語でお願いします>{<}。		談話レ	任意的	意味明確化の	暗示された情報の復元

				ベ ル		ため	
208	話者 VN01	<Phía doanh nghiệp >{>} chỉ cần chuẩn bị powerpoint bằng tiếng Nhật。	企業のほうは、日本語でのパワーポイントだけ準備したらいいです。	x	x	x	x
209	話者 VN01	Phiên dịch chúng tôi sẽ bố trí trong cabin。	通訳はブースで配置します。	x	x	x	x
210	通訳 VJ01	あの、同時通訳(あー)をご用意してありますので(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
211	話者 JP01	ありがとうございます。		x	x	x	x
212	話者 JP01	2週間前に(はい)、では、送りますが(はい)、ま、その質問は私‘わたくし’が準備する段階で質問したかったり、そうしたらどなたに、そして、この、あれ、どなたに送ればいいですか、原稿は?。		x	x	x	x
213	通訳 JV01	Dạ vậy thì tôi gửi cho ai thì được ạ?。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意 味 明 確 化 の た め	主体の明示化
214	話者 VN01	À, xin hãy gửi cho anh, ờ, Mr Chiến。	チエンさんにお送り下さい。	x	x	x	x
215	話者 VN01	số điện thoại 0902232083。	電話番号は0902232083です。	x	x	x	x
216	通訳 JV01	Em hỏi lại được không ạ?。		na	na	na	na
217	話者 VN01	<Vâng>{<}。	はい。	x	x	x	x
218	通訳 VJ01	<0902>{>}232083。		na	na	na	na
219	話者 VN01	Dạ vâng đúng rồi ạ,,	はい、その通りです。	x	x	x	x
220	通訳 VJ01	あの 【 【。		na	na	na	na
221	話者 VN01	】 】 và email là chienmpi<@gmail.com>{<}。	そしてEメールはchienmpi@gmail.com。	x	x	x	x
222	通訳 JV01	<À anh ơi >{>}em sợ là email em viết lại không đúng ý, có thể cho bác ý xem cái này cho nó chính xác được không[協力者06が持っているチエンさんという人の電話番号が書いてある紙に目を向けて]。		na	na	na	na
223	話者 VN01	Vâng。	はい。	x	x	x	x

224	通訳 VJ01	[チエンさんという人の電話番号が書いてある紙を見せながら]この紙に書いてありますが(はい)、あの、チエンさん(はい)、チエンという方(はい)、ここでね(はい)に送って頂<きたい>{<}>。		語彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明 確 化 の た め	反復
225	話者 JP01	<電話>{>}番号??。		x	x	x	x
226	通訳 VJ01	電話番号とあの一、メールアドレス。		na	na	na	na
227	話者 JP01	あ一、はい、分か<りました>{<}>。		x	x	x	x
228	通訳 VJ01	<なんか名>{>}詞をもらったほうがいい...じゃないですか?。		na	na	na	na
229	話者 JP01	そうですね、えーと、私‘わたくし’がえーと先ほど、あの、「姓4」さんに名詞を渡してますので(はい)、私の名詞の(はい)(はい)Eメールアドレスに(はい)、これを送ってほしいんです。		x	x	x	x
230	話者 JP01	あ一、はいはい。		x	x	x	x
231	話者 VN01	Vâng。	はい。	x	x	x	x
232	通訳 JV01	Tại vì sợ là ghi lại không chính xác lắm ý anh(vâng), thế cho nên lúc này bác ý có đưa danh thiếp của bác ý cho anh rồi(dạ vâng), thì anh gửi lại cho bác ý, tên này, số điện thoại, địa chỉ email vào cái địa chỉ email của bác ý được không(vâng)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明 確 化 の た め	説明の追加
233	話者 VN01	Vâng, chúng tôi sẽ gửi ngay lập tức。	はい、私たちはすぐ送ります。	x	x	x	x
234	通訳 VJ01	ま、お、すぐお送りします。		文 法 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ の確 保の ため	聞き手に馴染みのあるような表現への変換
235	話者 JP01	はい、じゃ、これから、何か、あの、質問があったら、チエンさんにしますが(はい)、えーと、日本語はだめでしょう?。		x	x	x	x
236	通訳 JV01	À, ví dụ như sau cái buổi họp ngày hôm nay&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明 確 化 の た め	説明の追加
237	通訳 JV01	tôi có câu hỏi gì thì tôi&,,		文 法 レ	義 務 的	意味 明 確 化 の	主体の明示化

				ベル		ため	
238	通訳 JV01	gửi mail cho&,,		語彙 レベル	義務 的	意味 明確 化の ため	原文の不自 然さに対する 処理
239	通訳 JV01	anh Chiến là được&,,		語彙 レベル	義務 的	意味 明確 化の ため	性別の明示 化
240	通訳 JV01	đúng không ạ??。		談話 レベル	任意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成 変更
241	話者 VN01	Dạ <vâng đúng rồi ạ>{<}	はい、その通りです 。	x	x	x	x
242	通訳 JV01	<Thế nhưng mà tôi >{>} gửi bằng tiếng Nhật thì liệu có vấn đề gì không?。		談話 レベル	任意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成 変更
243	話者 VN01	À, dạ, xin hãy sử dụng bằng tiếng Anh。	はい、英語でご使用 下さい	x	x	x	x
244	通訳 VJ01	えい、できれば英語で【【。		談話 レベル	任意 的	目標 テキ スト の自 然さ の確 保の ため	聞き手に馴 染みのある ような表現 への変換
245	話者 JP01	【【分かりました。		x	x	x	x
246	話者 JP01	じゃ、英語でいいですね(はい)?? 。		x	x	x	x
247	話者 JP01	じゃ、英語で質<問します>{<} 。		x	x	x	x
248	通訳 JV01	【【<Vậy thì tôi sẽ >{>} gửi câu hỏi bằng tiếng anh=。		文法 レベル	義務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示 化
249	話者 VN01	=Dạ vâng。	はい。	x	x	x	x
250	話者 JP01	はい、分かりました。		x	x	x	x
251	話者 JP01	はい。		x	x	x	x
252	話者 VN01	Vâng, thế nếu không còn câu hỏi gì nữa chúng ta có thể kết thúc buổi	はい、もしほかに質 問がなかったら、本	x	x	x	x

		họp ngày hôm nay。	日の打ち合わせをこ こで終わらせること ができます。				
253	話者 VN01	Cảm ơn bà 「話者JP01姓」 đã đến dự(はい)。	「協力者03姓」にご 出席いただき、あり がとうございました 。	x	x	x	x
254	話者 VN01	Về cái quà cảm ơn đối với các cái doanh nghiệp, sẽ được gửi đến từng doanh nghiệp sau khi hội thảo diễn ra=。	各企業へのお礼につ いて、セミナーが行 われた後に送られま す。	x	x	x	x
255	通訳 VJ01	=はい、で、それでは、あの、ご 質問がござい、ま、ないようで (はい)、ま、一応、ひと、ま、こ こで(はい)、お開きにしたい(は い)と思いますが&,、		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞き手に馴染 みのあるよう な表現への変 換
256	通訳 VJ01	(はい)[にこにこしながら]、各企 業へのお礼[強調したいよう]と か、直接その企業、別々にお送 りします(あ)(あ)。		na	na	na	na
257	話者 JP01	はい、恐れいます。		x	x	x	x
258	通訳 VJ01	ま、あの、お時間を割いて頂い て、頂いて、本当<にありがと うございます>{<}>。		na	na	na	na
259	話者 JP01	<いいえ>{>}<、こちらこ<そ、は い>{<}>。		x	x	x	x
260	話者 JP01	<Vâng>{>}<。	はい。	x	x	x	x
261	通訳 JV01	Chính tôi <mới phải là người cảm ơn quý Bộ>{<}>。		談 話 レ ベ ル	義 務 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞き手に馴染 みのあるよう な表現への変 換
262	話者 JP01	<はい、ありが>{>}<うござい ました。		x	x	x	x

被験者02 通訳データ

発話番号	話者	発話内容	筆者が作成した越→日の直訳	活用レベル	必然性	利用目的	具体的な明晰化 ストラテジー
1	話者 VN02	xin chào bà, cảm ơn bà đã dành thời gian đến dự cuộc họp ngày hôm nay。	(目上の人を指す敬意を表す人称＝Mrs)、おはようございます、本日(敬意を表す人称)が会議に出席する時間を下さったことに感謝します。	x	x	x	x
2	通訳 VJ02	あの、こんにちは、本日は時間を割いていただきましてありがとうございます。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
3	話者 JP02	いいえ、こちらこそ、宜しくお願いします。			x	x	x
4	通訳 JV02	Vâng, cũng rất là cảm ơn ông ạ。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
5	話者 VN02	Mục đích của cuộc họp ngày hôm nay, chúng ta sẽ bàn bạc chi tiết và cụ thể về nội dung của cuộc hội thảo sắp tới。	本日の会議の目的は、今度のセミナーの内容について詳細、具体的に打ち合わせることです。		x	x	x
6	通訳 VJ02	で、本日の目的なんですけども&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現 野活用
7	通訳 VJ02	おー、今回今回のセミナーの...、セミナーについて詳細にお話したいと思います。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
8	話者 JP02	はい[ささやき声]。			x	x	x
9	話者 VN02	Cuộc hội thảo sắp tới sẽ có tên là 「Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới」。	今度のセミナーの名前は「ベトナム、21世紀の投資先、新しい機会とチャレンジ」です。		x	x	x

10	話者 VN02	Cuộc hội thảo sẽ được diễn ra ở tại khách sạn Sheraton, địa chỉ ở tại đường Nghi Tàm, quận Tây Hồ, vào ngày 30 tháng 11 năm 2011, từ 14 giờ cho tới 17 giờ。	セミナーはシェラトンホテルで行われて、住所は、タイ・ホ区ギ・タム通りで、時間は2011年11月30日14時から17時です。	x	x	x	x
11	通訳 VJ02	[通訳が少し戸惑い、いったん録音をとめるよう求めたが、その後何とか冷静になり対応できた]あの、おー、今回のセミナーなんですけども、おー、ええと、時間は、えー…。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
12	通訳 JV02	Mấy giờ ý nhi?。		na	na	na	na
13	話者 VN02	14 giờ đến 17 giờ ạ。	14時から17時までです。	x	x	x	x
14	通訳 VJ02	ええと、14時から17時までです。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
15	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
16	通訳 VJ02	場所は、えー、シェラトンホテルです=。		na	na	na	na
17	話者 JP02	=はい。		x	x	x	x
18	通訳 VJ02	でー、あの一、おー、ホテルのテーマなんですけども、あつ、じゃなくて、セミナーのテーマなんですけども、おー、ベトナム、えー、21、21世紀の、投資の、おー、場所というのです。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
19	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
20	話者 JP02	[相手が話を続けるのを待っているような様子]はい。		x	x	x	x
21	話者 VN02	Về số lượng người tham dự thì trong cuộc hội thảo sắp tới đây sẽ có khoảng 200 người tham dự, bao gồm đại diện của các doanh nghiệp trong và ngoài nước, trong đó chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật đã đang và sắp đầu tư vào Việt Nam。	今度のセミナーに参加する人数については、300人ぐらい参加することになっていまして、国内外の各企業を含んで、その中でベトナムに既に投資している、または投資する予定がある日系企業がメインであります。	x	x	x	x
22	通訳 VJ02	で、さんかん、参加者の人数なんですけども&,、		談話	任意	意味明確化のため	前置き表現の活用

				レ ベ ル	的		
23	通訳 VJ02	およそ200人です。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	原文の構成 変更
24	話者 JP02	=はい。		x	x	x	x
25	通訳 VJ02	ええと、っで、それで、日本の、お一、企業を中心としてベトナム国内、国外の企業、が参加することになりました。		na	na	na	na
26	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
27	話者 VN02	Vâng, xin hỏi bà 「JP01姓」 có câu hỏi gì không ạ?。	はい、すみませんが、「JP01姓」は何か質問があるか聞きたいですが。	x	x	x	x
28	通訳 VJ02	あの、それで、えー、セミナーに関して&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	暗示された 情報の復元
29	通訳 VJ02	何かご質問とかございますでしょうか。		na	na	na	na
30	話者 JP02	はい、ええと、2時から5時、何月何日ですか、時間は?。		x	x	x	x
31	通訳 VJ02	あー、すみません、ええと、時間は、あの一、14時から... あっ、ごめんなさい[集中せず、ノートを取らないため、聞いた情報を覚えられないように少し戸惑った]。		na	na	na	na
32	話者 JP02	5時ですね??。		x	x	x	x
33	話者 JP02	何日ですか、はい?。		x	x	x	x
34	通訳 JV02	Tôi xin, xin lỗi cho tôi hỏi là&,,		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味明確 化のため	主体の明示 化
35	通訳 JV02	thời gian từ 14h đến 17h ngày bao nhiêu ạ?。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
36	話者 VN02	Dạ ngày 30 tháng 11 năm 2011 ạ。	はい、2011年11月30日です。	x	x	x	x

37	通訳 VJ02	えーと、おー、2011年11月30日(はい)です=。		na	na	na	na
38	話者 JP02	=はい。		x	x	x	x
39	話者 JP02	分かりました。		x	x	x	x
40	話者 VN02	Vâng, nếu bà 「JP01姓」 không có câu hỏi gì nữa thì bộ kế hoạch và đầu tư chính thức đưa ra lời đề nghị mời bà 「JP01姓」 sẽ phát biểu trong cuộc hội thảo sắp tới。	はい、もし「JP01姓」さんは質問がなかったら、投資計画省は、正式に「JP01姓」さんに今度のセミナーで発表するのをお願いしたいと思います。		x	x	x
41	通訳 VJ02	それで、あの一、もしご質問&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加
42	通訳 VJ02	とかありまっ、なかったら、えーと、是非あの一、投資計画省の代表として&,		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
43	通訳 VJ02	是非「JP01姓」様が、「JP01姓」様に今回のセミナーに参加していただきたいと思います。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
44	話者 JP02	はい、喜んで参加させていただきます。		x	x	x	x
45	通訳 JV02	Vâng ạ, tôi&,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
46	通訳 JV02	cũng rất là vui lòng xin được dự buổi hội thảo(vâng) sắp tới ạ。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	暗示された情報の復元
47	話者 VN02	Vâng, với lý do doanh nghiệp 「社名1」 là một doanh nghiệp đã có 15 năm kinh nghiệm đầu tư vào Việt Nam, và cũng là doanh nghiệp Nhật Bản đầu tiên đầu tư và thành công ở tại Việt Nam, thì sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名1」 sẽ rất có ích cho các khách mời tham dự hội thảo tới đây。	はい、「社名1」はベトナムへ投資した15年の経験もあって、ベトナムで投資して成功した初めての日系企業でもあるという理由で、「社名1」の経験共有は今度の	x	x	x	x

			セミナーに参加する人に大変役立つものになります。				
48	通訳 VJ02	でー、貴社は&,		語彙 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
49	通訳 VJ02	ですね、ベトナムへの投資、には、15年間の経験もあります。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
50	話者 JP02	はい=。		x	x	x	x
51	通訳 VJ02	=で、それでの一、成功の事例としてご経験を共有して頂きたいと思います。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加
52	話者 JP02	はい[ささやき声]。		x	x	x	x
53	話者 VN02	Về phần nội dung của cuộc hội thảo sắp tới đây sẽ gồm có 3 phần chính, thứ nhất là xu hướng đầu tư tại Việt Nam、 đầu tư chủ yếu tập trung trong các lĩnh vực chế tạo、 lắp ráp、 lượng đầu tư vào các lĩnh vực như tài chính, tiền tệ, bảo hiểm thì vẫn chưa nhiều。	今度のセミナーの内容は、主に3つの部分があって、一つ目はベトナムへの投資傾向で、投資は製造、組み立てに集中されていて、財政・金融・保険などの分野への投資はまだ多くないです。	x	x	x	x
54	話者 VN02	Phần này thì sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分は投資計画省代表が発表します。		x	x	x
55	通訳 VJ02	でっ、それでセミナーの内容なんですけれども&,		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
56	通訳 VJ02	内容は3つの部分がございいます。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
57	話者	はい[小さい声で]。		x	x	x	x

	JP02						
58	通訳 VJ02	最初の、おー、内容&,,		談話 レ ベル	任 意 的	意味明確 化のため	暗示された 情報の復元
59	通訳 VJ02	なんですけども、ベトナムに 対する投資の傾向(はい)という のです。		談話 レ ベル	任 意 的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用
60	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
61	通訳 VJ02	ベトナムに、への投資は(はい) 、ほとんど、おー。		na	na	na	na
62	通訳 JV02	Đầu tư vào Việt nam chủ yếu là gì nhi?。		na	na	na	na
63	話者 VN02	Là, chủ yếu đầu tư vào Việt Nam trong các lĩnh vực như là chế tạo và lắp ráp。	それは、主に製造 と組み立ての分野 に集中しています 。	x	x	x	x
64	話者 VN02	Lượng đầu tư vào các lĩnh vực như tài chính, tiền tệ, bảo hiểm thì vẫn chưa nhiều。	財政、金融、保険 の分野への投資は まだ多くないです 。	x	x	x	x
65	通訳 VJ02	っで、ベトナム、あの一、ベ トナムへの投資はですね、ほ とんど製造業とか...なんです 。		談話 レ ベル	任 意 的	意味明確 化のため	暗示された 情報の復元
66	通訳 VJ02	っで、ざい...、あの一、うー ん、財政とか金融(うんうん)そ して保険の分野(あうん)はまだ あまりないですね。		na	na	na	na
67	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
68	話者 VN02	Và phần này sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu a 。		x	x	x	x
69	通訳 VJ02	っで、この内容に関しては(は い)計画投資省(はい)、おー、 が、の代表が、の人が発表し(はい)ます。		談話 レ ベル	任 意 的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用
70	話者 VN02	Phần thứ hai là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam nhằm thu hút đầu tư nước ngoài, như miễn thuế thu nhập doanh nghiệp trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án, miễn phí tiền thuê đất đối với các dự án công, như là cung cấp điện và nước。		x	x	x	x

71	話者 VN02	Chính sách mới này dự kiến sẽ được công bố vào năm 2012 và phần này cũng sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。		x	x	x	x
72	通訳 VJ02	っで、次の内容なんですけども(はい)&,,		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用
73	通訳 VJ02	それは&,,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	指示語の付 加
74	通訳 VJ02	あの一、投資の吸収のためのベトナムの政策(はい)、なんです(はい)。		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	原文の構成 変更
75	通訳 VJ02	その内容...の、おお、まっ、えー、ポイントなんですけども、ベトナムに投資する各企業に、あの、免税(うーふんふん)の制度とか(はいはい)、あの一、土地の賃貸の免税とかを行うなどです。		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	説明の追加
76	通訳 VJ02	っで、その内容に関しても&,,		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用
77	通訳 VJ02	計画投資省のものが発表します。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
78	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
79	話者 VN02	Phần thứ ba là môi trường đầu tư ở Việt Nam từ cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản, các khó khăn thử thách và những lợi thế so với các quốc gia khác。	3つ目の部分は日本語企業の目から見たベトナムの投資環境、ほかの国と比べての困難やチャレンジ、そして有利なところです。	x	x	x	x
80	話者 VN02	Thì phần này, sẽ do đại diện của doanh nghiệp 「社名1」 phát biểu。	この部分は「社名1」の代表に発表されます。	x	x	x	x
81	通訳 VJ02	第3内容なんですけども、えー、日本企業から見たベトナム投資の環境&,,		談話 レ	任 意 的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用

				ベル			
82	通訳 VJ02	という内容です(はい)。		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	原文の構成 変更
83	通訳 VJ02	まっ、ほかの国と比べて、ベトナムはどんな利点、どんな困難があるか(はい)、そして、えー、まっ、まっ、ベトナムの長所などですね(うん)、について、の部分なんですけども。		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	説明の追加
84	通訳 VJ02	この内容に関しては、あの一&,,		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用
85	通訳 VJ02	貴社に発表していただきたいと思います。		談話 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
86	話者 JP02	はい、分かりました、はい。		X	X	X	X
87	通訳 JV02	Vâng tôi biết rồi ạ.		文法 レベル	義務的	意味明確 化のため	主体の明示 化
88	話者 VN02	Về phía bài phát biểu tới đây của doanh nghiệp 「社名1」 trong hội thảo thì Bộ kế hoạch và đầu tư có một số cái gợi ý về nội dung như sau.	セミナーにおける「社名1」の発表について、投資計画省は次のようないくつかのヒントがあります。	X	X	X	X
89	通訳 VJ02	っで、続きまして、あの一、まあ、セミナーでの発表、ま、&,,		談話 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	接続詞の付加
90	通訳 VJ02	貴社の発表&,,		語彙 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
91	通訳 VJ02	の内容なんですけども、おー、いく、いくつかの内容について&,,		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用

92	通訳 VJ02	ま、ちょっと相談させていただきます。		談話 レ ベ ル	任 意 的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
93	話者 JP02	あー、はい。		X	X	X	X
94	話者 JP02	<はい、どうぞ>{<}>。		X	X	X	X
95	話者 VN02	<Phần thứ nhất ý >{>} thì, xin doanh nghiệp hãy giới thiệu khái quát về lịch sử hình thành của doanh nghiệp。	一つ目の部分です が、「社名1」に企 業の概要について 紹介して頂きたい です。	X	X	X	X
96	話者 VN02	Phần thứ hai là những khó khăn ban đầu mà doanh nghiệp gặp phải。	二つ目の部分は、 会社が最初に遭っ た困難です。	X	X	X	X
97	話者 VN02	Cái thứ ba là các biện pháp và đối sách nhằm vượt qua khó khăn đó 。	三つ目はその困難 を乗り越えるため の対策です。	X	X	X	X
98	話者 VN02	Cái thứ tư là những khó khăn mà đến bây giờ vẫn còn tồn tại。	四つ目は今でも残 っている困難です 。	X	X	X	X
99	話者 VN02	Cái thứ năm là những ưu thế của môi trường đầu tư tại Việt Nam。	五つ目はベトナム の投資環境の優勢 です。	X	X	X	X
100	話者 VN02	Và phần thứ sáu là kiến nghị của doanh nghiệp 「社名」 đối với chính phủ Việt Nam trong thời gian tới。	六番目は「社名」 からベトナム政府 への提議です。	X	X	X	X
101	通訳 VJ02	っで、えー、あの一、ま、は っ、スピーチの内容(はい)です けどもーか、以下の...六つの 内容について(はい)ぜひ発表さ せて、あ、していただきたい と思います。		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	説明の追加
102	話者 JP02	はい。		X	X	X	X
103	通訳 VJ02	まず、あの&,,		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	接続詞の付 加
104	通訳 VJ02	貴社の、あの貴社についての 概要ですね(はいはい)。		談話 レ ベ ル	任 意 的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
105	通訳 VJ02	次は直面している困難(はい)。		談話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	接続詞の付 加

106	通訳 VJ02	っで、三番目(うん)はうーん、えーと、ま、(うん)その困難を乗り越えるための対策(はい)。		na	na	na	na
107	通訳 VJ02	まだ残っている、現在まだ残っている困難。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
108	話者 JP02	あーはいはい。		x	x	x	x
109	通訳 VJ02	えー続きまして&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加
110	通訳 VJ02	五番目は他の国と比べてベトナムはどんな、ベトナムへの投資はどんな利点(ふーん)があるか、どんなあの一、ま、利点があるかということについてですね(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
111	通訳 VJ02	で、最後に、ベトナム、ベトナム政府に対する提案です。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加
112	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
113	話者 JP02	《沈黙3秒》はい、分かりました。		x	x	x	x
114	話者 JP02	えと、ちょっと確認させていただきますね。		x	x	x	x
115	通訳 JV02	Vâng, cho tôi xin xác nhận&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
116	通訳 JV02	lại cái thông tin một chút ạ。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
117	話者 VN02	Vâng xin mời bà。		x	x	x	x
118	話者 JP02	ええと、まずわが社の概要。	はい、どうぞ。	x	x	x	x
119	話者 JP02	そして直面している困難は何か。		x	x	x	x
120	話者 JP02	そして三つ目はそれを乗り越えるための対策、どのようなものだったか。		x	x	x	x
121	話者 JP02	四つ目は、あの一、これ、四つ目は何でしたっけ?。		x	x	x	x

122	通訳 JV02	À, tôi xin...hỏi lại một chút ạ。		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	前置き表現
123	通訳 JV02	Thứ nhất là cái nội dung của tôi&,,		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	暗示された 情報の復元
124	通訳 JV02	là thứ nhất là khái quát về lịch sử của công ty chúng tôi này。		語彙 レベル	任意的	意味明確 化のため	説明の追加
125	通訳 JV02	Thứ hai là những cái khó khăn mà chúng tôi đang gặp phải là gì&,,		語彙 レベル	任意的	意味明確 化のため	主体の明示 化
126	通訳 JV02	đúng không ạ。		談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	原文の構成 変更
127	話者 VN02	Dạ vâng。		x	x	x	x
128	通訳 JV02	Thứ ba là để vượt qua những khó khăn đó		語彙 レベル	義務的	意味明確 化のため	指示語の意 味明確化
129	通訳 JV02	thì chúng tôi có những biện pháp nào đúng không ạ?。	はい。	談話 レベル	任意的	意味明確 化のため	原文の構成 変更
130	話者 VN02	Dạ vâng đúng rồi ạ。		x	x	x	x
131	通訳 JV02	Và thứ tư, xin lỗi là tôi không biết&,,	はい、そうです。	談話 レベル	任意的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
132	通訳 JV02	tôi không rõ được cái thứ tư, điểm thứ tư là gì ạ?。		語彙 レベル	任意的	意味明確 化のため	反復
133	話者 VN02	Dạ điểm thứ tư là những khó khăn mà hiện nay vẫn còn tồn tại ạ。		x	x	x	x
134	通訳 VJ02	っで、あの、四番目はですね 、今まだ残っている困<難です	ええ、四番目は今 でも残っている困	談話	任意	意味明確 化のため	前置き表現 の活用

		>{<}	難です。	レベル	的		
135	話者 JP02	<あーそ>{>}うですね。		x	x	x	x
136	話者 JP02	分かりました。		x	x	x	x
137	話者 JP02	はい、そして、えー、五番目は他国と比べての、この、ベトナムの投資の利点でしたね??。		x	x	x	x
138	通訳 JV02	Và điểm thứ năm là so với các quốc gia khác thì Việt Nam có, đầu tư ở Việt Nam có những cái ưu thế, thuận lợi nào đúng không ạ??。		語彙 レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
139	話者 VN02	Dạ vâng, đúng rồi ạ。		x	x	x	x
140	通訳 VJ02	はい。	はい、そのとおりです。	na	na	na	na
141	話者 JP02	そして最後は、ええと、ベトナム政府への提案があったらということですね??、はい。		x	x	x	x
142	通訳 JV02	Và cuối cùng là những cái đề, kiến nghị, đề đạt với chính phủ Việt Nam đúng không ạ??。		語彙 レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
143	話者 VN02	Dạ vâng đúng rồi ạ。		x	x	x	x
144	通訳 VJ02	はい、その(はい)とおり(はい)です。	はい、そうです。	na	na	na	na
145	話者 JP02	分かりました。		x	x	x	x
146	通訳 JV02	Vâng ạ, tôi biết rồi ạ。		文法 レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
147	話者 VN02	xin bà 「JP01姓」 hãy lưu ý rằng, trong cuộc hội thảo sắp tới, thì doanh nghiệp sẽ bắt đầu phát biểu từ 3.30 phút chiều trong khoảng thời gian từ 15 cho tới 20 phút。		x	x	x	x
148	通訳 VJ02	あの一、ちょっと、時間、はっ、あの、スピーチの時間なんですけど(はい)も&,,	「JP01姓」さんに注意して頂きたいのですが、今度のセミナーにおいては、貴社は午後3時半から15分から20分ぐらい発表することになっています。	談話 レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用

149	通訳 VJ02	貴社の発表の時間は&,,		語彙 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
150	通訳 VJ02	3時半からですね。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
151	話者 JP02	はい。		x	x	x	x
152	通訳 VJ02	えー、それで、あの、所要時間は(はい)、15分から20分ぐらいです。		na	na	na	na
153	話者 JP02	はい、はい。		x	x	x	x
154	通訳 JV02	Vâng ạ.		na	na	na	na
155	通訳 VJ02	はい。		na	na	na	na
156	話者 VN02	Vâng, xin hỏi bà 「姓1」 có câu hỏi gì không ạ?.		x	x	x	x
157	通訳 VJ02	では、何かご質問とかご不明な点とかございましたか?。	はい、「JP01姓」さんは何か質問がありますか。	語彙 レベル	任意的	意味明確化のため	反復
158	話者 JP02	あ、はい、まず、発表についてなんですが、ま、20分ぐらいまでですが、ええと、これはパワーポイント使ってもいいのでしょうか?。		x	x	x	x
159	通訳 JV02	À, tôi muốn hỏi là&,,		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
160	通訳 JV02	thời gian phát biểu của chúng tôi là 20 phút&,,		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
161	通訳 JV02	vậy thì chúng tôi có phải chuẩn bị powerpoint hay là gì không ạ?.		文法 レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化
162	話者 VN02	Vâng, xin hãy sử dụng powerpoint như là công cụ trình chiếu.		x	x	x	x
163	通訳 VJ02	そうですね、パワーポイントなどを使って、ご使用下さい	はい、パワーポイントを写すための	語彙	任意	目標テキストの自	聞き手に馴染みのある

		。	道具としてお使いください。	レベル	的	然さの確保のため	表現への変換
164	話者 JP02	はい。		X	X	X	X
165	話者 JP02	そして、あの、ところで、私の発表の後に質疑というか、あの、質問などもあるんでしょうか?。		X	X	X	X
166	通訳 VJ02	Và thế sau khi chúng tôi phát biểu xong thì có cái khoảng thời gian để hỏi đáp không ạ?。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
167	話者 VN02	Dạ vâng, sẽ có một khoảng thời gian dành ở cuối hội thảo, sẽ gồm có hai phần, một phần là các câu hỏi của các doanh nghiệp dành cho Bộ kế hoạch và đầu tư, và phần thứ hai là các câu hỏi của các doanh nghiệp dành cho doanh nghiệp 「社名」。		X	X	X	X
168	通訳 VJ02	はい、質疑応答の時間はセミナーの最後の時間にします。	はい、セミナーの最後には、時間をとって、各企業から投資計画省への質問と「社名」への質問という二つの内容を行います。	談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
169	話者 JP02	あ、はい。		X	X	X	X
170	通訳 VJ02	それで、あの、質疑応答の時間はですね、二つの部分があります(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
171	通訳 VJ02	で、最初の部分は、あの一、計画投資省に対する各企業の質問ですね。	おはようございます、本日の会議に出席する時間を下さいまして、ありがとうございます。	na	na	na	na
172	話者 JP02	あ、はい。		X	X	X	X
173	通訳 VJ02	それがありましたら(はい)、あの、聞きます。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
174	通訳 VJ02	え、第2の部分は(はい)、ええと、貴社に対する参加者の質問です。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換

				ル			
175	話者 JP02	はい、分かりました、はい。		x	x	x	x
176	話者 JP02	《沈黙5秒》そして、すみません、発表についてですが、こ 、言葉は、何語でやったらいい でしょうか？。			x	x	x
177	通訳 JV02	À vâng, xin lỗi ạ, thế cái phần phát biểu của chúng tôi thì tôi phát biểu, cái ngôn ngữ phát biểu là gì ạ？。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味明確 化のため	主体の明示 化
178	話者 VN02	xin hãy sử dụng tiếng Nhật như ngôn ngữ để phát biểu。		x	x	x	x
179	話者 VN02	Chúng tôi sẽ bố trí phiên dịch bằng cabin。	日本語を発表言語 としてお使いい ください。	x	x	x	x
180	通訳 VJ02	あ、あの一、要はですね、言 語は日本語で(はい)宜しいです 。	ブースでの通訳を 用意します。	談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	原文の構成 変更
181	通訳 VJ02	通訳がいますので(はい)...		na	na	na	na
182	通訳 VJ02	同時通訳がいますね。		na	na	na	na
183	話者 JP02	はい、はい、宜しくお願いし ます。		x	x	x	x
184	通訳 JV02	Vâng ạ, tôi biết rồi ạ。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
185	話者 VN02	À, xin doanh, xin bà 「JP01姓」 hãy chuyển phần nội dung của bài phát biểu sắp tới cho người phụ trách trước 2 tuần, trước khi mà hội thảo diễn ra。		x	x	x	x
186	通訳 VJ02	それですね(はい) &,	あ、「JP01姓」さ んに担当者にセミ ナーが行われる2週 間前に送っていただ きますようお願い します。	談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	前置き表現 の活用
187	通訳 VJ02	あの、発表原稿が出来ました ら&,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標テキ ストの自 然さの確 保のため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
188	通訳 VJ02	われわれの担当者に(はい)送っ て頂ければと思います(はい)。		語 彙 レ	任 意 的	意味明確 化のため	主体の明示 化

				ベル			
189	通訳 VJ02	で、セミナーの、セミナーが行う2週間前に,,	おはようございます、本日の会議に出席する時間を下さいまして、ありがとうございます。	談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
190	話者 JP02	2週間前。		x	x	x	x
191	通訳 VJ02	送って頂ければと思います。		na	na	na	na
192	話者 JP02	はい、分かりました。		x	x	x	x
193	話者 JP02	そうしたら、これは、2週間前に、では、パワーポイントも含めてEメールで添付して送りますが、担当者はどなた...ですか?。		x	x	x	x
194	通訳 JV02	À, vâng ạ, tôi hiểu rồi。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
195	通訳 JV02	Tôi sẽ gửi những cái tài liệu phát biểu của tôi, bao gồm cả file powerpoint, đến cho người phụ trách thể nhưng ông cho biết là cái người phụ trách tên là gì ạ?。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
196	話者 VN02	Vâng, xin hãy gửi tới cho anh Chiến。		x	x	x	x
197	話者 VN02	Số điện thoại là “0902232083”。	はい、チエンさんに送って下さい、電話番号は0902232083、Eメールはchienmpi@gmail.comです。	x	x	x	x
198	話者 VN02	email là “chienmpi@gmail.com”。		x	x	x	x
199	通訳 VJ02	(メモした)担当はチアエンさんです(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
200	通訳 VJ02	チエンさんの電話番号は(はい)、090の(はい)22232の(はい)、083です。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
201	話者 JP02	はい。		x	x	x	x

202	通訳 VJ02	で、Eメールですが(はいはい)、Eメールは、chienmpi@gmail.com(はい)、あの、.com(はい)ですね。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
203	話者 JP02	はい、分かりました、はい。		x	x	x	x
204	話者 JP02	ちょっと、これ、もう一度確認させてくださいね。		x	x	x	x
205	話者 JP02	はい、ええと、チエン、さんね、そして、携帯電話が0902232083ですか??。		x	x	x	x
206	話者 JP02	そして、Eメールアドレスはchienmpi@gmail.com、これでいいですね??、はい。		x	x	x	x
207	通訳 JV02	Vâng ạ, tôi xác nhận lại &,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
208	通訳 JV02	cái thông tin là tôi sẽ gửi cho&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
209	通訳 JV02	ông Chiến, số điện thoại di động là 0902232083, và email là chienmpi@gmail.com。		語彙レベル	義務的	意味明確化のため	性別の明示化
210	話者 VN02	Dạ vâng đúng rồi ạ。		x	x	x	x
211	通訳 VJ02	はい、そのとおりです。	はい、そのとおりです。	na	na	na	na
212	話者 JP02	はい、分かりました。		x	x	x	x
213	話者 JP02	そうしたら、2週間前にあの、送るんですね、わかりました。		x	x	x	x
214	話者 JP02	もし、私は原稿を準備している段階で、ええと質問があったらあの、チエンさんにしますが、これをChienさんにメールで書きたいんですが、言葉は...なんですか?。		x	x	x	x
215	通訳 JV02	Vâng, vậy thì tôi &,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
216	通訳 JV02	sẽ gửi cái bản thảo của tôi cho ông Chiến。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元

				ベル			
217	通訳 JV02	Thế nhưng tôi muốn hỏi một chút&,,		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
218	通訳 JV02	tức là trong quá trình mà tôi làm bản thảo mà có vấn đề gì thắc mắc thì tôi có thể gửi mail cho ông Chiến đúng không ạ??。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
219	話者 VN02	Dạ vâng。		x	x	x	x
220	通訳 JV02	Và trong cái quá trình, và khi gửi mail đây& ,,	はい。	談話 レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
221	通訳 JV02	thì tôi có thể sử dụng cái ngôn ngữ gì, cái tiếng gì để <gửi cho ông Chiến nhi>{<}?。		語彙 レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
222	話者 VN02	<Dạ, dạ vâng >{>}xin hãy sử dụng tiếng Anh khi liên lạc với anh Chiến。		x	x	x	x
223	通訳 VJ02	はい、そのチェンさんに&,,	はい、チェンさんに連絡するときは、英語をお使いください。	語彙 レベル	任意的	意味明確化のため	指示語の付加
224	通訳 VJ02	メールするときは&,,		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
225	通訳 VJ02	英語でお願い致します。		談話 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	原文の構成変更
226	話者 JP02	あ、はい、分かりました。		x	x	x	x
227	話者 JP02	英語でやります、はい。		x	x	x	x
228	話者 JP02	分かりました、はい。		x	x	x	x
229	話者 VN02	Vâng, nếu không có câu hỏi gì nữa, thì chúng ta có thể kết thúc cuộc họp ngày hôm nay tại đây。		x	x	x	x
230	話者 VN02	Về phần quà cảm ơn dành cho các doanh nghiệp, thì bộ kế hoạch và	はい、ほかに質問がなければ、本日	x	x	x	x

		đầu tư sẽ gửi tới từng doanh nghiệp sau khi mà hội thảo kết thúc。	の会議はここで終わりたいと思います。				
231	話者 VN02	xin cảm ơn bà 「姓1」。	各企業へのお礼ですが、投資計画省はセミナーが終わった後に、各企業にお送りします。	X	X	X	X
232	通訳 VJ02	あ、それで、もし、ご質問とかございません、かつ、ございませんだったら、あの、それで、今日の打ち合わせはここで終わりにしたいと思います。	「JP01姓」さん、ありがとうございました。	談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
233	通訳 VJ02	あの、それで、お礼なんですけども、おー&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
234	通訳 VJ02	MPIから参加する各企業へのお礼がございすけども、(はい)、セミナーが終わったら、参加する企業にお送り致します。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
235	話者 JP02	ありがとうございます。		X	X	X	X
236	話者 JP02	あっ、もう一つ確認したいと思いますが、あの、当日、ええと、あのー、車の用意とか、して下さるでしょうか?。		X	X	X	X
237	話者 JP02	お送りいただけるんですか、それとも私は直接行ったほうがいいですか。		X	X	X	X
238	通訳 JV02	Tôi xin hỏi một chút nữa thôi ạ&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
239	通訳 JV02	là khi mà tôi đến tham dự hội thảo ngày hôm đó, thì xe cộ thì là phía quý&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
240	通訳 JV02	quý ngài sẽ chuẩn bị cho chúng tôi hay là chúng tôi tự đi đến ạ?。		文法レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化
241	話者 VN02	À, dạ vâng, nếu như mà bên bà 「JP01姓」 có yêu cầu thì bên Bộ kế hoạch và đầu tư sẽ bố trí xe qua đón bà 「JP01姓」、nếu không thì bà 「JP01姓」 có thể chủ động		X	X	X	X

		đi từ trung tâm thủ đô tới khách sạn bằng taxi, mất khoảng 15 cho tới 20 phút。					
242	通訳 VJ02	はい、で、もし、あの一、うちの車で行く希望がございま、ありましたら、あの一、あの一、車を用意致します(はい),けれども、っでそれ&,,	あ、はい、「JP01姓」さんは求めるなら、投資計画省は「JP01姓」さんを迎える車を手配しますが、そうではない場合は「JP01姓」さんはタクシーで15分ぐらい都市中心からホテルまで行くことができます。	談話 レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	暗示された情報の復元
243	通訳 VJ02	でも、直接タクシーでも、大丈夫、来ていただいても大丈夫です(はい)。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
244	通訳 VJ02	タクシーはですね、あの一、中心部からホテルまでは(はいはい)、15分ぐらいかかります。	おはようございます、本日の会議に出席する時間を下さいまして、ありがとうございます。	談話 レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
245	話者 JP02	はいはい、分かりました。		x	x	x	x
246	話者 JP02	そして、もしもその、あの一、そちらの車を回していただきたい場合は、このチエンさんをお願いしたらいいですね??。		x	x	x	x
247	通訳 JV02	Vâng, thể trong cái trường hợp mà chúng tôi muốn sử dụng xe của quý bộ thì là&,,		語彙 レベル	義務的	意味明確化のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
248	通訳 JV02	tôi cũng cứ liên lạc với &,,		文法 レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
249	通訳 JV02	anh Chiến là được đúng không ạ?。		語彙 レベル	義務的	意味明確化のため	性別の明示化
250	話者 VN02	Dạ vâng, đúng rồi ạ。		x	x	x	x
251	通訳 VJ02	はい、そのとおりです。	はい、そうです。	na	na	na	na
252	話者	はい、分かりました。		x	x	x	x

	JP02						
253	通訳 JV02	Dạ vâng ạ, tôi cảm ơn, tôi biết rồi ạ。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味明確 化のため	主体の明示 化
254	話者 VN02	Dạ vâng, vậy chúng ta có thể kết thúc cuộc họp ngày hôm nay tại đây。		x	x	x	x
255	話者 VN02	Cảm ơn bà 「JP01姓」。	はい、では、われわれは本日の会議をここで終わりますしょう。	x	x	x	x
256	通訳 VJ02	じゃ、では今日は来て頂いてありがとうございました。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味明確 化のため	説明の追加
257	話者 JP02	いいえ、こちらこそどうもありがとうございました。		x	x	x	x

被験者03 通訳データ

発話番号	話者	発話内容	筆者が作成した越 →日の直訳	活用 レベル	必然性	利用 目的	具体的な 明晰化 ストラテジ ー
1	話者 VN03	Xin chào bà, cảm ơn bà đã dành thời gian tới dự cuộc họp ngày hôm nay。	おはようございます、貴方が本日の会議に出席する時間を使ってくださいます、ありがとうございます。	x	x	x	x
2	通訳 VJ03	あ、おはようございます、本日お時間をおかけくださって、		談話 レベル	義務的	目標 テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
3	通訳 VJ03	本当にどうもありがとうございます。		語彙 レベル	任意的	意味 明確化のため	程度副詞の付加
4	話者 JP03	いいえ、こちらこそ宜しくお願い致します。		x	x	x	x
5	通訳 JV03	Chính <tôi mới phải là người cảm ơn anh ạ>{<}<。		談話 レベル	義務的	目標 テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
6	話者 VN03	<À, mục đích của cuộc họp>{>}ngày hôm nay, là chúng ta sẽ bàn bạc một cách cụ thể và chi tiết về nội dung của cuộc hội thảo sắp tới。	本日の会議の目的は、私たちが今度のセミナーの内容について具体的、そして詳細に打ち合わせることです。	x	x	x	x
7	通訳 VJ03	えーと、本日の会議の内容ですけど、		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	前置き表現の活用

8	通訳 VJ03	今後もうすぐ行われる会議の内容ですね(んー)(んー)、セミナー内容を、どんな内容を(はい)行うべきかということを話したいと思っています(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
9	話者 VN03	Cuộc hội thảo sắp tới sẽ có tên là 『Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới』。	今後のセミナーのタイトルは、『ベトナム、21世紀の投資先、新しい機会とチャレンジ』です。	x	x	x	x
10	通訳 VJ03	で、あの、今後のセミナーのテーマですけど、えーと。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
11	通訳 JV03	điểm đến?, em nói lại cái 【 】【 】。		na	na	na	na
12	話者 VN03	【 】【 】 điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới。	21世紀の投資先、新しい機会とチャレンジ。	x	x	x	x
13	通訳 VJ03	21せい、21世紀への、えーと、到着点ですね。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
14	通訳 VJ03	ベトナムへ、ベトナムへの到着点としての新しいチャレンジとか、新しい潜在的なことについて、あの、というテーマです(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
15	話者 VN03	Cuộc hội thảo tới đây sẽ được tổ chức ở tại khách sạn Sheraton, Hà Nội, địa chỉ ở tại đường Nghi Tàm, quận Tây Hồ。	今度のセミナーはシェラトン、ハノイホテルにて行われて、住所はギ・タム通り、タイ・ホ区です。	x	x	x	x
16	話者 VN03	Thời gian dự kiến tổ chức hội thảo là vào ngày 30 tháng 11 năm 2011, từ 14 giờ cho tới 17 giờ。	セミナーの行う予定の時間は2011年11月30日、14時から17時までです。	x	x	x	x
17	通訳 VJ03	で、セミナーの、あの、行われる場所ですけど、シェラトンホテルという場所で(はい)、ギ・タム通りですね(はい&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
18	通訳 VJ03	タイ湖の近くですけど(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加

19	通訳 VJ03	っで、日付としては2せん、2011年(はい)11月30日(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
20	通訳 VJ03	で、時間は14時から[↑](はい)、じゅう...、14 giờ đến?。		na	na	na	na
21	話者 VN03	17giờ ạ。	17時です。	x	x	x	x
22	通訳 VJ03	17時までですね(はい)。		na	na	na	na
23	話者 VN03	Xin hỏi bà có câu hỏi gì về, phần thời gian và địa điểm của cuộc hội thảo sắp tới hay không?。	貴方は今度のセミナーの時間と場所について何か質問があるか聞きたいです。	x	x	x	x
24	通訳 VJ03	セミナーの時間と、あの、行われる場所などについては何かご質問がありますか?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	原文の構成変更
25	話者 JP03	はい、あの、ま、そのセミナーに、あの、招待して頂いてますこと、お礼を申し上げます。		x	x	x	x
26	通訳 JV03	Chúng tôi rất là cảm ơn vì là bên phía các ngài đã mời tôi tham dự cái hội thảo đó。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
27	話者 VN03	Vâng。	はい。	x	x	x	x
28	話者 JP03	時間や場所に関しては、特に、今はまだありません。		x	x	x	x
29	通訳 JV03	Về thời gian và địa điểm thì tôi nghĩ rằng không vấn đề gì cả。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
30	話者 VN03	Dạ vâng。	はい。	x	x	x	x
31	話者 JP03	はい、特に質問ありません、はい。		x	x	x	x
32	通訳 JV03	Tôi, nói chung là không có câu hỏi gì đâu。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化

33	話者 VN03	Dạ vâng, à, thưa bà, trong cuộc hội thảo sắp tới thì sẽ có khoảng 200 người tham gia trong hội thảo。	はい、え、～様、今度のセミナーには200人ぐらい参加することになっています。	x	x	x	x
34	通訳 VJ03	今後のセミナーですね、参加者としては、200名ぐらい(ハー) 計画してます(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
35	話者 VN03	Trong đó thì chủ yếu là các doanh nghiệp trong và ngoài nước, và chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật, đã, đang và sắp đầu tư vào Việt Nam。	その中で、ほとんどは国内外の企業で、そして、主にベトナムに投資した、投資している、そして投資していく企業です。	x	x	x	x
36	通訳 VJ03	その中ですね&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
37	通訳 VJ03	200名の中ですけど&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
38	通訳 VJ03	主になんか、あの、国内外の企業の代表者ですね&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
39	通訳 VJ03	国外の企業さんに来てもらいますけど、その中で、主に、なんか、ベトナムでも、今なんか投資している、また、今後ですね、投資する計画がある[強調したい口調で企業] ほん、ほとんどです(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
40	話者 JP03	《少し間》はい。		x	x	x	x
41	話者 VN03	Xin hỏi bà có câu hỏi gì không ạ?。	貴方は質問があるか聞きたいです。	x	x	x	x
42	通訳 VJ03	この問題に関してなんか&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
43	通訳 VJ03	ご質問がありますか?。		談話レ	任意的	目標テキスト	聞き手に馴染みのある表現への変

				ベル		の自然さの確保のため	換
44	話者 JP03	はい、その200名は、ま、あの一、企業の、ベトナムに投資している[↑]企業の、ま、あ、の、代表者ということですが、これは日本の企業がほとんどですか？。		x	x	x	x
45	通訳 JV03	Ừn, tức là bà muốn xác nhận lại cái thông tin 'tức là trong số các cái doanh nghiệp tham gia vào hội thảo lần tới này, thì em, à, bên quý ngài vừa nói rằng, chủ yếu là các cái doanh nghiệp đang đầu tư và chuẩn bị đầu tư vào Việt Nam (dạ vâng), thì chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật Bản hay có cả các doanh nghiệp khác nữa không?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
46	話者 VN03	Chủ yếu à những doanh nghiệp, à, Nhật Bản ạ。	ほとんどはあ、日本の各企業です。	x	x	x	x
47	通訳 VJ03	主に日本の企業ですね。		na	na	na	na
48	話者 JP03	はい、分かりました。		x	x	x	x
49	話者 JP03	で、今まで投資してきたところと、これから投資するところ〈ですか〉{ }?。		x	x	x	x
50	通訳 VJ03	〈そうですね〉{ } }、はい。		na	na	na	na
51	話者 JP03	うん。		x	x	x	x
52	通訳 JV03	Tức là bao gồm cả doanh nghiệp đang đầu tư và chuẩn bị đầu tư vào Việt Nam??。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
53	話者 VN03	Dạ vâng, đúng rồi。	はい、そうです。	x	x	x	x
54	通訳 VJ03	そ(はい)の通りです=。		na	na	na	na
55	話者 JP03	=はい、分かりました。		x	x	x	x
56	話者 VN03	Vâng, nếu không có câu hỏi gì, thì bên Bộ kế hoạch và đầu tư chính thức được đề nghị bà 「JP05」 sẽ phát biểu trong cuộc hội thảo sắp tới。	はい、もし質問がなかったら、投資計画省は正式に、[JP05]様に今度のセミナーで発表をお願いします。	x	x	x	x

57	話者 VN03	Với lý do doanh nghiệp 「社名」 là một doanh nghiệp đã có 15 năm kinh nghiệm đầu tư vào Việt Nam, và là một trong số các doanh nghiệp Nhật Bản đầu tiên đầu tư và thành công ở tại Việt Nam, sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 trong cuộc hội thảo sắp tới sẽ rất có ích cho các khách mời。	理由は、「社名」がベトナムに投資した15年の経験を持っていて、そして、ベトナムにはじめて投資して成功した日系企業の一つだということで、「社名」の今度のセミナーにおける経験共有は出席者にとっても役立ちます。	x	x	x	x
58	通訳 VJ03	うん[頷きながら、通訳をはじめようとする姿勢]。		na	na	na	na
59	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
60	通訳 VJ03	もし、質問なかったらですね(はい)、計画投資省を代表致しまして(はい)、ま、本日ですね、あの「JP05姓」さんに正式にそのセミナーでの発表をして頂きたいと(あー)思っております(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
61	通訳 VJ03	なぜかという(はい)、「社名」企業ですね(はい)、「社名」という企業は&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
62	通訳 VJ03	ま、15年間も経営事業も成績もありまして(はい)また、ベトナムでは、なんか成功した企業の中ですね、ひとつの企業でもありますので(あー)、で、また、いろいろな企業の中、豊かな経験ですね、経営に関する(はい)豊かな経験についても(はい)、是非「社名」企業の代表者から(え)いろいろご意見とかですね(はい)、共有をして頂きたいと思っております。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
63	話者 JP03	はい、まず、計画投資省が、あの一、当社へこのような評価を、して、経験とここでの努力をこのように計画投資省が評価してくださるということに関して、まずとてもありがたく思っております(うん)。		x	x	x	x
64	話者 JP03	光栄です。		x	x	x	x
65	通訳 JV03	Thì trước mắt, thì tôi thay mặt cho doanh nghiệp 「社名」 &,,		文法レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化

66	通訳 JV03	thì là、nhận được cái sự đánh giá từ Bộ kế hoạch và đầu tư、 tức là bên phía các ngài cũng đã đánh giá chúng tôi là có rất là, trong 15 năm kinh nghiệm, đó là đã có những cái thành công trong cái vấn đề mà thành tích kinh doanh chẳng hạn。		語彙 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
67	通訳 JV03	Tức là được cái sự nhìn nhận từ quý Bộ như thế&,,		談話 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
68	通訳 JV03	thì chúng tôi thì, chúng tôi cũng rất là vinh dự。	おはようございます、貴方が本日の会議に出席する時間を使ってくださいまして、ありがとうございます。	文法 レベル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示 化
69	話者 VN03	Dạ vâng、à、xin cảm ơn bà。	はい、あ、ありがとうございます。	x	x	x	x
70	話者 VN03	Về phần nội dung trong cuộc hội thảo sắp tới đây、 sẽ gồm có ba phần。	今度のセミナーの内容は三つ部分があります。	x	x	x	x
71	話者 VN03	Phần thứ nhất, đó là xu hướng đầu tư ở tại Việt Nam。	第1部分はベトナムへの投資傾向です。	x	x	x	x
72	話者 VN03	Đầu tư chủ yếu tập trung trong các lĩnh vực chế tạo、 lắp ráp、 lượng đầu tư vào các lĩnh vực như tài chính、 tiền tệ hay bảo hiểm thì chưa nhiều。	投資は主に製造・組み立てに集中していて、財政・金融、或いは保険への投資はまだ多くないです。	x	x	x	x
73	話者 VN03	Phần này sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分は投資計画省の代表が発表します。	x	x	x	x
74	通訳 VJ03	えーと、まず、つづき、続きましてですね&,,		談話 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
75	通訳 VJ03	あのセミ、ナー‘セミナー’の内容ですけど、主に三つの内容に(はい)えーと絞っています(はい)、するつもり計画がありますけど(はい)。		語彙 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
76	通訳 VJ03	まず、えーと、第一の内容としては(はい)投資[↑]する傾向ですね(はい)。		談話 レベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用

77	通訳 VJ03	で、今までほとんど組み立て、機械加工(あー)の分野において(はい)、あの、企業が入っていましたけど(はい)、でも財政とか、その、財政とか(んー)(んー)金融に関するの投資はですね(んー)(んー)あまりないですので(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
78	通訳 VJ03	ま、この問題に関しては、ま、計画投資省のものが発表します。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
79	話者 JP03	はい。		X	X	X	X
80	話者 VN03	Phần thứ hai là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam nhằm thu hút đầu tư nước ngoài, như là miễn thuế thu nhập doanh nghiệp, trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án, miễn phí tiền thuê đất đối với các dự án công như là cung cấp điện, nước。	第二部分は外国の投資を誘致するためのベトナム政府の新政策で、例えば、一定の期間中に事業の性質と規模によって法人税を免除したり、給電・給水などといった公的事業に対する土地税の免除などです。	X	X	X	X
81	話者 VN03	Chính sách mới này sẽ được công bố vào năm 2012 theo như dự kiến。	この新しい政策は予定では2012年に発表されます。	X	X	X	X
82	話者 VN03	Phần này cũng sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分も投資計画省が発表します。	X	X	X	X
83	通訳 VJ03	で、あの一、第2内容としては、新しいせいかく‘政策’ベトナムの、あ一、外国からの投資を誘致するためのベトナムの政府の新しい政策&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
84	通訳 VJ03	,についての内容ですね(あー)(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
85	通訳 VJ03	この内容については&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元

86	通訳 VJ03	例えば、外国の企業をなんか誘致するためには、ベトナム政府は例えば免税[↑]制度とか、今もちろん、この、なんか、この問題に関しては、(うん)えと、案件[↑](うん)の規模とか、案件の内容(うん)によって、なんか違いますけど(はい)、ま、免税制度とか(うん)それから、土地税ですね土地税を免税、あ、ある程度割引になる制度(はい)などですね。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
87	通訳 VJ03	この政策に関しては、2011年[↑](はい)交付されてる、される計画がありますので。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
88	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
89	通訳 VJ03	ま、この問題に関しても、えーと、計画投資省から(はい)、えーと、発表していただくことになりました。		na	na	na	na
90	話者 JP03	はい、分かりました。		x	x	x	x
91	話者 VN03	Phần thứ ba là môi trường đầu tư Việt Nam từ cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản, các khó khăn thử thách, những lợi thế so với các quốc gia khác.	第3部分は日系企業からみたベトナム投資環境で、ほかの国と比べての有利なところです。	x	x	x	x
92	話者 VN03	Phần này sẽ do đại diện của doanh nghiệp Nhật Bản, trong đó là doanh nghiệp 「社名」 phát biểu.	この部分日系企業の代表、その中にある「社名」によって発表されます。	x	x	x	x
93	通訳 VJ03	え、で、第三番、ま、三番目の内容ですね、ま、あの一&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
94	通訳 VJ03	投資環境についての内容です(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
95	通訳 VJ03	で、この問題は&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元

96	通訳 VJ03	例えば日本企業はベトナムへなんか投資しているときですね(はい)、どんな困難点があるかということですね、(あー)それから困った点などについては、ほかの国に比べたら、ベトナムではどんな直面している問題点があれば(はい)、ぜひ、なんか発表していただきという内容になりましたけど。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
97	通訳 VJ03	ま、この内容に関しては&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
98	通訳 VJ03	「社名」企業に発表して頂きます(はい)、あ、頂きたいと思います。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
99	話者 JP03	分かりました、はい。		X	X	X	X
100	話者 VN03	Xin hỏi bà có câu hỏi gì cần xác nhận về phần nội dung hay không?。	内容について何か確認する必要のある質問がありますか?。	X	X	X	X
101	通訳 VJ03	あの、セミナーの内容に関しては&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
102	通訳 VJ03	何かご質問とかご確認したいことがありますか?。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
103	話者 JP03	はい、今あの一、内容一応大きく分けて三つ、はい、これはえーと、理解できました。		X	X	X	X
104	話者 JP03	そして、え、わが社への計画投資省の要請はこの、三番目(うん)、いわゆる投資環境について(ん)(ん)(ん)、わが社が今までのえーと15年間の困難、その、について中心に、どのような努力してきたか、こういうことで理解してよろしいですか?。		X	X	X	X

105	通訳 JV03	Tức là qua cái nội dung mà bên quý bộ vừa trao đổi thì là gồm có ba nội dung chính。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
106	通訳 JV03	trong ba cái nội dung chính này thì nội dung một và hai chủ yếu là quý bộ, à bên quý bộ phát biểu&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
107	通訳 JV03	còn bên quý bộ muốn doanh nghiệp của chúng tôi, doanh nghiệp 「社名」 này、tức là đảm nhận cái phần đề phát biểu đó là cái phần thứ ba tức là về môi trường đầu tư。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
108	話者 VN03	Dạ vâng, đúng rồi ạ。	はい、そうです。	x	x	x	x
109	通訳 JV03	Đúng rồi[協力者に向けて確認する]。		na	na	na	na
110	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
111	話者 VN03	Vâng, à, về phần cấu trúc của bài phát biểu sắp tới đây của doanh nghiệp 「社名」 thì bên phía Bộ kế hoạch và đầu tư có một số cái gợi ý như sau。	はい、えー、今度の「社名」の発表の構成については、投資計画省は以下のヒントがあります。	x	x	x	x
112	通訳 VJ03	うん、あの一、今後のセミナーですわね&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
113	通訳 VJ03	あ、先ほど、三番目の内容について「社名」に発表してもらおうということですね(うん)&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
114	通訳 VJ03	ま、発表の構成について(はい)、あの、投資計画省ほう、あ、投資計画のほうから(うん)、なんかひとつ、ひとことの提案をえ、発表させていただきたいと思います。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
115	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
116	話者 VN03	Phần thứ nhất、 xin doanh nghiệp hãy giới thiệu khái quát, về lịch sử hình thành của doanh nghiệp。	第1部分、企業の創立歴史について概略的に紹介して頂きたいです。	x	x	x	x

117	話者 VN03	Phần thứ hai là những cái khó khăn ban đầu của doanh nghiệp trong quá trình, à, kinh doanh ở tại Việt Nam。	第2部分はベトナムで経営する過程における初期の困難です。	x	x	x	x
118	話者 VN03	Phần thứ ba, là các biện pháp, và đối sách nhằm vượt qua khó khăn đó。	第3部分はその困難を乗り越えるための措置、対策です。	x	x	x	x
119	話者 VN03	Phần thứ tư là những khó khăn còn tồn tại。	第4部分は残っている困難です。	x	x	x	x
120	話者 VN03	Và phần thứ năm là thuận lợi và ưu thế của môi trường đầu tư ở tại Việt Nam。	第5部分はベトナムにおける投資環境の利点や優勢なところ です。	x	x	x	x
121	話者 VN03	Phần thứ sáu cũng là phần cuối cùng là kiến nghị đối với chính phủ Việt nam trong thời gian tới。	第6部分、いわゆる最後の部分は、ベトナム政府に対する今後の提議です。	x	x	x	x
122	通訳 VJ03	えーと、まず、構成ですね(はい)、六、あ、六つの部分に分けてます(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
123	通訳 VJ03	いち、一番目はですね(はい)&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
124	通訳 VJ03	企業の概要。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
125	話者 JP03	概要、はい。		x	x	x	x
126	通訳 VJ03	そうですね、で、三番、あ、二番目のほうは(はい)、最初の段階の困難(はい)、はい。		na	na	na	na
127	通訳 VJ03	で、三番目は、その困難を乗り越えるためには、どんな対策を取っていたかという内容です。		na	na	na	na
128	通訳 VJ03	五番目は、ベトナムでの投資けい、投資環境の[↑]有利的な...ことはなんだろう(はい)。		na	na	na	na
129	通訳 VJ03	で、六番目はベトナム政府への提案など(はい)、ま協議などですね(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用

130	通訳 VJ03	で、という構成になっています。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
131	話者 JP03	はい、えーと、あの,,		x	x	x	x
132	通訳 JV03	Dạ vâng。	はい。	na	na	na	na
133	話者 JP03	今ちょっと提案の内容に、えーと、私が発表する、あの、内容についてちょっと確認させてもらいますね(はい)。		x	x	x	x
134	話者 JP03	一番目は、企業の概要ですね(はい)、わが社の企業の(はい)。		x	x	x	x
135	話者 JP03	そして、この、ベトナムに進出したころの初期の困難について(はい)。		x	x	x	x
136	話者 JP03	三番目はそれに対してどのような対策を採ってきたか(はい)、はい。		x	x	x	x
137	話者 JP03	そして、四番目は、現在、それにもかかわらずまだある困難は何か。		x	x	x	x
138	話者 JP03	すみません、五番はよく分からなかったんですが、五番目はもう一度お願いします(うん)。		x	x	x	x
139	通訳 JV03	Thế là bà ý muốn xác nhận lại nội dung của cái cấu trúc cái bài phát biểu ý。		談 話 レ ベル	任 意 的	目標 テキスト の自然さ の確保の ため	聞き手に馴染みのある表現への変換
140	話者 VN03	Vâng。	はい。	x	x	x	x
141	通訳 JV03	Thì thứ nhất là gồm có sáu phần đúng <không em>{<},,,		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
142	話者 VN03	<Vâng, đúng rồi >{>}a。	はい、そうです。	x	x	x	x
143	通訳 JV03	À, gồm có sáu phần。		na	na	na	na
144	通訳 JV03	thứ nhất là giới thiệu khái quát về doanh nghiệp。		na	na	na	na
145	通訳 JV03	Cái thứ hai là những khó khăn ban đầu khi đầu tư vào Việt Nam。		談 話 レ	任 意 的	意味 明確 化の	接続詞の付加

				ベル		ため	
146	話者 VN03	Vâng。	はい。	x	x	x	x
147	通訳 JV03	Cái thứ ba là những biện pháp, đối sách&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
148	通訳 JV03	để vượt qua những cái khó khăn đó。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	指示語の意味明確化
149	通訳 JV03	Cái thứ tư là những cái, những cái khó khăn còn tồn tại hiện nay (dạ vâng)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
150	通訳 JV03	Và cái thứ năm là những cái thuận lợi và ưu thế về môi trường đầu tư tại Việt Nam。		na	na	na	na
151	話者 VN03	Đúng rồi ạ。	はい、そうです。	x	x	x	x
152	通訳 JV03	Và cái phần...về cái phần này thì bà ý bảo em có thể nói lại một chút, cụ thể hơn một chút được không?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
153	通訳 JV03	Tức là thuận lợi, ưu thế về môi trường đầu tư ở Việt Nam nghĩa là như thế nào?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
154	話者 VN03	Vâng, đó là những thuận lợi mà chính phủ Việt Nam, à, đem đến cho những doanh nghiệp, mà hiện nay đang đầu tư ở tại Việt Nam。	はい、それはベトナム政府が現在ベトナムに投資している各企業に与える利点です。	x	x	x	x
155	通訳 VJ03	あの、具体的にはですね、例えば、なんか、外国からの企業がベトナム...へ[↑](うん)進出するときは(うん)、ベトナム政府は(はい)どんな待遇的な制度をとっているか(あー)ということですね(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
156	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
157	通訳 JV03	Ngoài ra <còn gì không>{<}?。		na	na	na	na

158	話者 JP03	<分かりました>{>}、はい。		x	x	x	x
159	話者 VN03	Và phần thứ sáu là phần cuối cùng, phần kiến nghị đối với chính phủ Việt Nam trong thời gian tới。	そして、最後の部分であります第6部分は、ベトナム政府に対する今後の提議です。	x	x	x	x
160	通訳 VJ03	ま、最後、六番目の内容ですけど(はい)、ベトナムの政府への協議ですね(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
161	通訳 VJ03	例えば、どんな要請があるかということについても(うん)(うん)(うん)、あの、発表してもらいたいですね(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
162	話者 JP03	え、えーと、ベトナム政府への、えーと、当社からの、ま、あの、要請【【。		x	x	x	x
163	通訳 VJ03	【】要請、例えば、投資環境をもっと改善していただきたいとか。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
164	話者 JP03	あー、そうすると、あの要請を提案、を(ん)するということですね(ん)、はい。		x	x	x	x
165	話者 JP03	この、えーと、あの一、五番目と、ま、二つ目の初期の困難(はい)、そして、四番目は現在まだある困難でしたね(はい)。		x	x	x	x
166	話者 JP03	そして、五番目は、あの、その、ベトナム政府がどのような待遇をしてきたかですか?。		x	x	x	x
167	話者 JP03	ここ、分かりにくいんですけども。		x	x	x	x
168	通訳 VJ03	うん[↑]?。		na	na	na	na
169	話者 JP03	四番まではよく分かります(はい)。		x	x	x	x
170	話者 JP03	はい、そして、現在まだある困難ですね(はい)(はい)(はい)(はい)。		x	x	x	x
171	話者 JP03	五番目ですが、あの、ベトナム政府のその待遇[↑]の、問題、待遇??、の状況ですか?。		x	x	x	x

172	通訳 VJ03	うん、なぜ五番を取り上げたというのは、たぶんですね、日本の企業なんか、もしベトナムに進出する、したいですけど、ベトナム政府はどんな待遇制度があるかということ、あの、述べて欲しいですね(あー)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
173	通訳 VJ03	だから、私,,		na	na	na	na
174	話者 JP03	はい、はい。		x	x	x	x
175	通訳 VJ03	うん、たぶんある企業ベトナムに進出したいですけど(うん)(うん)、もし進出したらどんな有利点があるかということです。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
176	話者 JP03	分かりました。		x	x	x	x
177	話者 JP03	そうすると、私がは、発表するのは、ここに進出してきたことによる、ま、日本企業のメリット、を中心に、メリットというか、有利な点、良かった点、それをここで<言えばいいでしょう>{<}		x	x	x	x
178	通訳 VJ03	<うーんに、日本の>{>}企業のメリットじゃなくて、せい、ベトナム政府の、あの、投資環境(あー)(はい)(はい)、例えばですね、外国の企業への(うん)、どんな待遇的な制度があるかということです。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
179	話者 JP03	あー。		x	x	x	x
180	通訳 VJ03	ベトナム政府のほうですよ。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
181	話者 JP03	はい、えーと、ベトナム政府の、外国の企業に対する,,		x	x	x	x
182	通訳 VJ03	そう。		na	na	na	na
183	話者 JP03	優遇政策。		x	x	x	x
184	通訳 VJ03	そうそうそうです。		na	na	na	na
185	話者 JP03	そういうことですね。		x	x	x	x
186	話者 JP03	はい、だいぶ分かりました、はい。		x	x	x	x
187	通訳 VJ03	じゃ【【。		na	na	na	na

188	話者 VN03	】】 Xin hỏi bà còn câu hỏi gì nữa không ạ?。	貴方がほかに質問があるか聞きたいです。	x	x	x	x
189	通訳 VJ03	じゃ、ほかの、何かご質問がございますか?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
190	話者 JP03	えーと、この提案の内容については、分かりました(うん)。		x	x	x	x
191	話者 JP03	そして、えーと、時間は(ん)、セミナーの時間は(はい)、えーと、11月30日の2時から5時ということでしたが、えと、私の発表はいつごろになりますか?。		x	x	x	x
192	通訳 JV03	cái đề xuất bên Bộ, quý Bộ về cái cấu trúc phát biểu&,,	おはようございます、貴方が本日の会議に出席する時間を使ってくださいます、ありがとうございます。	談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
193	通訳 JV03	thì tôi đã hiểu rồi, thế nhưng mà tôi muốn hỏi lại một chút&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
194	通訳 JV03	là trong thời gian của hội thảo bắt đầu từ 14 giờ đến 17 giờ ý, thì cái thời gian, trong cái khoảng thời gian này thì cái bài phát biểu của chúng tôi sẽ nằm vào cái khoảng thời gian nào?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
195	話者 VN03	Vâng, theo dự kiến thì công ty 「社名」 sẽ, à, doanh nghiệp 「社名」 sẽ phát biểu vào lúc 3h30 phút chiều, trong khoảng thời gian từ 15 cho tới 20 phút。	はい、予定では、「社名」社は、「社名」企業は午後3時30分に、15分から20分の間に発表します。	x	x	x	x
196	通訳 VJ03	うん、で、予定としてですね、あの、「社名」企業のほうのはっ、ご発表は3時[↑],,		na	na	na	na
197	話者 JP03	3時??。		x	x	x	x
198	通訳 VJ03	3時30分から(はい)、午後ですね(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更

199	通訳 VJ03	で、時間、発表の時間は(はい)、 15分から20分までの、間です。		na	na	na	na
200	話者 JP03	はい、3時半からですね(はい)。		x	x	x	x
201	話者 JP03	そして、15分から20分。		x	x	x	x
202	話者 JP03	これ質問は受けるんでしょうか、 発表のあと?。		x	x	x	x
203	通訳 JV03	Thế thì trong cái bài phát biểu này sau khi họ, sau khi mà bên doanh nghiệp 「社名」 phát biểu xong thì có nhận được các câu trả lời, à, ví dụ như là người ta có trả lời các câu hỏi từ phía người nghe không?。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
204	話者 VN03	Vâng, sẽ có cái sự thảo luận từ, à, giữa các cái doanh nghiệp khác, đối với doanh nghiệp 「社名」 và có cái thảo luận giữa các doanh nghiệp khác và Bộ kế hoạch và đầu tư。	はい、ほかの企業と 「社名」とのディス カッションとほかの 企業と投資計画省と のディスカッション があります。	x	x	x	x
205	通訳 VJ03	うん、あの、もちろんですね、 あの、ご発表のあと&,、		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された 情報の復元
206	通訳 VJ03	あの、「社名」企業と参加者の、 ほかの企業もね、いろいろ、なん か相談しながら話合ってますね (うん)、話し合ったら、もちろん 投資計画省と、あの一、参加した 企業との話し合いもあります。		na	na	na	na
207	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
208	話者 JP03	それから、もうひとつですけど も、私の発表では、パワーポイン トなどは、使えるでしょうか?。		x	x	x	x
209	通訳 JV03	Thế thì, trong cái bài phát biểu của bà có thể dùng được powerpoint không, tức là muốn dùng powerpoint ý?。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
210	話者 VN03	<Vâng, xin bà hãy sử dụng >{>}powerpoint như là một công cụ để trình chiếu。	はい、投影するた めの道具としてパワ ーポイントをお使い下 さい。	x	x	x	x
211	通訳 VJ03	うん、あ、はい、できます。		na	na	na	na
212	話者 JP03	はい、分かりました。		x	x	x	x
213	話者	パワーポイント使えますので=。		x	x	x	x

	JP03						
214	通訳 VJ03	=使えますね(はい)(はい)。		na	na	na	na
215	話者 VN03	Vâng。	はい。	x	x	x	x
216	通訳 JV03	Tức là bà ý sẽ dùng powerpoint để trình chiếu trong buổi hội thảo ngày hôm đó。		na	na	na	na
217	話者 VN03	Về phía ngôn ngữ thì xin bà hãy sử dụng tiếng Nhật, vì chúng tôi sẽ bố trí phiên dịch bằng cabin。	言語については、日本語をお使い下さい、ブースでの通訳を手配しますから。	x	x	x	x
218	通訳 VJ03	で、あの、言語ですね、発表の言語ですけど(はい)&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
219	通訳 VJ03	日本語をお願いします(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
220	通訳 VJ03	で、あの、ちよく、同時ですね(はい)同時の通訳さんも配置しますので(はい)、是非日本語でお願いいたします。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
221	話者 JP03	はい、分かりました。		x	x	x	x
222	話者 VN03	Xin hỏi bà còn câu hỏi gì không ạ?。	ほかの質問があるか聞きたいですが。	x	x	x	x
223	通訳 VJ03	じゃ、ほかに何かご質問がありますか?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
224	話者 JP03	はい、あの、えと...セミナーは2時からですが、ま、私はそうですね、発表は3時ですが、できれば、えーと、時間までには、ここ、会場来ていただきたいんですが、えーと、そちらからえーと私に対して例えば、ソニー様来るとか、ということはあるんですか?。		x	x	x	x
225	通訳 VJ03	ソニーしゃ?。		na	na	na	na

226	話者 JP03	お迎え、お迎えに来て頂けるとか (あー)、どうなんでしょうか?。		x	x	x	x
227	話者 JP03	私が勝手にここまで(あ)(あ)[分か ったようで]、自分でいくんでは しょうか?。		x	x	x	x
228	通訳 VJ03	オケーオケー。		na	na	na	na
229	通訳 JV03	Tức là ...bên phía doanh nghiệp 「社 名」 ý, thì là&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
230	通訳 JV03	trong cái buổi diễn ra bắt đầu thời gian từ 14 giờ đến 17 giờ, bà hỏi là có ai đến đón bà, về phía bộ có, tức là bên bộ, ý(vâng) có bố trí người để đón đại diện của bên doanh nghiệp 「 社名」 không (vâng)hay là họ tự đến , hội trường?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
231	話者 VN03	Vâng, nếu doanh nghiệp 「社名」 yêu cầu thì có thể bộ bố trí xe để qua đón, nhưng mà bà có thể đi bằng taxi từ trung tâm thủ đô lên đến khách sạn mất khoảng 15 cho tới 20 phút (うん) 。	はい、「社名」企業が 要求するなら、省 は迎えに行く車を手 配することができます が、タクシーで首 都中心からホテルま で15分から20分で行 けます。	x	x	x	x
232	通訳 VJ03	あの、もし、もちろんなんかあの ー、企業からですね、ご要請があ れば、ま、あの、投資計画省のほ うですね&,,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された 情報の復元
233	通訳 VJ03	車とか手配いたします。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成 変更
234	通訳 VJ03	でも、もし要請がなかったら&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
235	通訳 VJ03	ま、タクシーで、ま、シェラトン ホテルまで15分ぐらいかかります ので(はい)&,,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された 情報の復元
236	通訳 VJ03	ま、直接来て頂いてもいいです。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換

						の確保のため	
237	話者 JP03	はい、分かりました、はい。		X	X	X	X
238	話者 JP03	そして、あの一、えー私が発表する資料やパワーポイントの、ありますよね。		X	X	X	X
239	話者 JP03	そういうものは、えーと、事前に送ったほうがいいですよね(ん)(ん)はい。		X	X	X	X
240	通訳 JV03	Tức là những cái tài liệu để bà ý phát biểu trong, tức là powerpoint, tài liệu powerpoint thì có phần, có cần phải gửi trước&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
241	通訳 JV03	cho bên, các anh không nhớ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化
242	話者 VN03	Dạ vâng, xin bà hãy gửi cho, trước hai tuần trước khi mà hội thảo diễn ra。	はい、セミナーが行われる2週間前にお送り下さい。	X	X	X	X
243	通訳 VJ03	あの一、セミナーの時間の2週間前ですね(はい)、送って頂きたいと思います。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
244	話者 JP03	はい、2週間前に、すみません、どなたに送ればいいですか?。		X	X	X	X
245	通訳 JV03	=Thế tôi gửi cho ai&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
246	通訳 JV03	ở bên phía quý bộ nhi?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
247	話者 VN03	Vâng, xin bà gửi cho anh Chiến là người phụ trách(はい)。	はい、担当者であるチエンさんにお送り下さい。	X	X	X	X
248	話者 VN03	Số điện thoại là 0902232083、 và email là chienmpi@gmail.com。	電話番号は0902232083、そして、Eメールは	X	X	X	X

			chienmpi@gmail.com 。				
249	話者 VN03	mpi, ùm,,	mpi, うん,,	x	x	x	x
250	通訳 JV03	mpi??。		na	na	na	na
251	話者 VN03	vâng, @gmail.com。	はい、@gmail.com 。	x	x	x	x
252	通訳 VJ03	あの、連絡の窓口としてはチエン という方ですね。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
253	通訳 VJ03	(はい)、チエンさん(はい)ですけ ど。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	反復
254	通訳 VJ03	で、まず&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	接続詞の付 加
255	通訳 VJ03	チエンさんの&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された 情報の復元
256	通訳 VJ03	電話番号ですけど(はい)(はい)、 ちょっと[メモの準備ができた かと言わんばかりに]&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
257	通訳 VJ03	090(はい)22(はい)32(はい)083(は い)。		na	na	na	na
258	通訳 VJ03	で、メールアドレスですけど、c、h(はい)、i(はい)、e,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成 変更
259	話者 JP03	e、はい。		x	x	x	x
260	通訳 VJ03	n,m(はい)、p(はい)、i(はい)@(は い)、gmail(はい)、.com。		na	na	na	na
261	話者 JP03	はい、分かりました。		x	x	x	x
262	話者 JP03	ありがとうございます。		x	x	x	x
263	話者 JP03	え、今分かりましたけれども、す みませんが、念のために、えーと 、今私が渡した私の名刺に書いて ある私の、あの、Eメールアドレス		x	x	x	x

		スに、この両方、お名前を、あの、送って欲しいんですけど、私の<メールアドレスに>{<}>。					
264	通訳 VJ03	<あーあー、CCですね>{>}>。		na	na	na	na
265	話者 JP03	はい。		x	x	x	x
266	通訳 VJ03	はい。		na	na	na	na
267	通訳 JV03	Tức là bà ý muốn khi mà...		na	na	na	na
268	通訳 VJ03	うん、こちらから送る? 【 【。		na	na	na	na
269	話者 JP03	【 【 え、そちらから私の、えーと、め、あの、メールアドレス(あー)。		x	x	x	x
270	話者 JP03	最初に渡した名刺に書いてありますから、その名刺に書いてある私のEメールアドレスに今のお名前と電話番号と(うん)、Eメールアドレスを送って欲しいんですけど(うん)。		x	x	x	x
271	通訳 JV03	Thế tức là bà ý muốn là khi mà gửi...。		na	na	na	na
272	通訳 VJ03	うん?、例えば、計画投資省からチエンさんに[↑]?,,		na	na	na	na
273	話者 JP03	私に。		x	x	x	x
274	通訳 VJ03	送るときに(はい)同じくチエンさんにも送るということ?。		na	na	na	na
275	話者 JP03	いいえ、チエンさんのな、名前と、あの、アドレスを 【 【。		x	x	x	x
276	通訳 VJ03	【 【 あー、オーケーオーケーはいはい。		na	na	na	na
277	通訳 JV03	Tức là bà muốn là, bởi vì bà ý cũng đưa danh thiếp cho anh rồi đấy, thì là trong danh thiếp đó thì có ghi cả cái địa chỉ email ý &,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
278	通訳 JV03	(vâng)、 thì khi mà bên mình gửi cho, tức là để cho chắc chắn ý (vâng)、 bởi vì bà ý đã memo tên của anh Chiến và điện thoại và cái email rồi, thế nhưng mà để cho chắc chắn thì bên quý bộ cứ gửi theo, gửi lại cho bà ý qua cái địa chỉ email của bà ấy (vâng) mà trong cái danh thiếp mà đã đưa cho các anh rồi。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
279	話者 VN03	Dạ vâng, chúng tôi sẽ gửi ngay lập tức。	はい、私たちはすぐに送ります。	x	x	x	x
280	通訳 VJ03	もうす、すぐ送ります、はい。		文法レ	任意的	目標テキスト	聞き手に馴染みのある表現への変

				ベル		の自然さの確保のため	換
281	話者 JP03	そして、もし内容に関して問い合わせたい場合は、どなた、この方ですか?。		x	x	x	x
282	通訳 JV03	Ừn, thế ví dụ như là khi muốn trao đổi lại nội dung mà bà ý chuẩn bị phục vụ cho cái bài phát biểu trong cái hội thảo đó thì bà sẽ liên lạc với ai?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
283	話者 VN03	Vâng, xin bà hãy liên lạc trực tiếp với anh Chiến, là người phụ trách。	はい、担当者のチエンさんに直接に連絡して下さい。	x	x	x	x
284	通訳 VJ03	直接チエンさんにね(はい)、連絡して頂きたいと思います(はい)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
285	話者 JP03	えーと、すみませんが、私は日本語ができませんが、チエンさんは英語で大丈夫でしょうか?。		x	x	x	x
286	通訳 VJ03	日本語ができません?。		na	na	na	na
287	話者 JP03	私はベトナム語ができませんが。		x	x	x	x
288	通訳 VJ03	あー、はいはい。		na	na	na	na
289	話者 JP03	日本語か英語しかできませんので、ごめんなさい、えと、チエンさんにどう<したらいいですか><?。		x	x	x	x
290	通訳 JV03	<À, thế thì bà ý >{>} không biết tiếng việt thì...&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
291	通訳 JV03	khi mà liên lạc với anh Chiến&,,		語彙レベル	義務的	意味明確化のため	性別の明示化
292	通訳 VJ03	thì liên lạc bằng tiếng anh hay tiếng Nhật?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加

293	話者 VN03	Vâng, xin hãy sử dụng tiếng anh để liên lạc với anh Chiến ạ。	はい、チエンさんに英語でご連絡下さい。	x	x	x	x
294	通訳 VJ03	あ、英語でお願いします><。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
295	話者 JP03	<英語>{>}, はい、分かりました。		x	x	x	x
296	話者 JP03	じゃ、分からないことがあったら、チエンさんのね、あの、えと、メールで(はい)書いていきますので。		x	x	x	x
297	話者 JP03	はい、そのアドレス、これ送ってくるようお願いします。		x	x	x	x
298	通訳 JV03	Ừn, thế có gì không hiểu thì bà sẽ liên lạc trực tiếp với anh Chiến bằng tiếng anh&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
299	通訳 JV03	thể cho nên là phía quý bộ hãy gửi lại cho bà cái địa chỉ, số điện thoại, email, cái địa chỉ email của anh Chiến vào cái địa chỉ hòm thư của bà ý。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
300	話者 VN03	Vâng, chúng tôi sẽ gửi ngay lập tức, cảm ơn bà。	はい、私たちはすぐに送ります、ありがとうございます。	x	x	x	x
301	通訳 VJ03	はい、あの、送りますので。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
302	話者 JP03	はい、宜しくお願いします。		x	x	x	x
303	話者 JP03	はい、どうもありがとうございました。		x	x	x	x
304	話者 VN03	Vâng, nếu không có câu hỏi gì nữa thì chúng ta có thể kết thúc cuộc hội thảo, cuộc họp ngày hôm nay tại đây。	はい、ほかに質問がなかったら、セミナー、本日の打ち合わせをここで終わらせることができます。	x	x	x	x
305	話者 VN03	Rất cảm ơn bà 「JP05姓」 đã đến dự。	「JP05姓」のご出席、ありがとうございました。	x	x	x	x

306	話者 VN03	Về quà cảm ơn, thì sẽ được gửi trực tiếp tới, từng doanh nghiệp sau khi mà hội thảo kết thúc。	謝礼については、セミナーが終わったときに、直接に企業ごとに送られます。	x	x	x	x
307	通訳 VJ03	うん、あの、本日ですね&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
308	通訳 VJ03	あ、もしそちらの、なんか、ご質問がなかったらですね、[咳払い] 本日の会議は、これで終わりたい(はい)、終わらせて頂きたいと思います(はい)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
309	通訳 VJ03	本日、なんか忙しい中、お忙しいの中来てくださってどうもありがとうございました。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
310	話者 JP03	いえ、どう致しまして、はい。		x	x	x	x
311	通訳 VJ03	で、あの、お礼の、なんか Souveneirの、なんか、(あー)&,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	英語（表記）の併用による誤解防止
312	通訳 VJ03	なんか簡単なつけものですけど、で、あの、セミナーのあとですね、各企業にもなんか、送る...、する計画もありますので、はい。		na	na	na	na
313	話者 JP03	はい、楽しみにしています。		x	x	x	x
314	話者 JP03	はい、では。		x	x	x	x
315	話者 VN03	<Xin cảm ơn bà>{<}	ありがとうございます。	x	x	x	x
316	通訳 VJ03	<どうもありがとうございます>{>}ございます。		na	na	na	na
317	話者 JP03	通訳ありがとうございます<ございました>{<}		x	x	x	x
318	通訳 VJ03	<いいえ>{>}こちらへ[笑い]。		na	na	na	na
319	通訳 JV03	Vâng, rất cảm ơn quý bộ đã dành thời gian đến dự buổi họp ngày hôm nay(はい)。		na	na	na	na

320	話者 VN03	Vâng, cảm ơn。	はい、ありがとうございます。	x	x	x	x
-----	------------	---------------	----------------	---	---	---	---

被験者04 通訳データ

発話番号	話者	発話内容	筆者が作成した越→日の直訳	活用レベル	必然性	利用目的	具体的な明晰化 ストラテジー
1	話者 VN04	Xin chào bà, cảm ơn bà đã dành thời gian tới dự cuộc họp ngày hôm nay。	こんにちは、本日の会議にお時間を取って頂いて、ありがとうございます。	x	x	x	x
2	通訳 VJ04	こんにちは、今日は、お忙しい中、お時間頂いて頂きまして、まことにありがとうございます=。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
3	話者 VN04	=いいえ、こちらこそ、よろしくお願いします。		x	x	x	x
4	話者 VN04	<À...>{<},,		x	x	x	x
5	通訳 JV04	<Tôi cũng >{>} thấy rất là hân hạnh。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
6	話者 VN04	Mục đích của cuộc họp ngày hôm nay là chúng ta sẽ bàn bạc cụ thể và chi tiết về nội dung của cuộc hội thảo sắp tới。	本日の会議の目的は私たちが今度のセミナーの内容について具体的、そして詳細に打ち合わせたいとお思います。	x	x	x	x
7	通訳 VJ04	えーと、今日の会議の内容ですね、え、これか、これからのセミナーの、ま、具体的な内容について&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
8	通訳 VJ04	お話したいと思います。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換

9	話者 VN04	はい。		x	x	x	x
10	通訳 VJ04	よろしくお願いします。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
11	話者 VN04	Cuộc hội thảo sắp tới sẽ có tên là 『Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới』。	今度のセミナーは「ベトナム、21世紀の投資先—新しい機会とチャレンジ」という題名があります。	x	x	x	x
12	話者 VN04	Cuộc hội thảo sẽ được diễn ra từ 14 giờ cho tới 17 giờ, ngày 30 tháng 11 năm 2011, tại khách sạn Sheraton Hà Nội, địa chỉ tại đường Nghi Tàm, quận Tây Hồ。	セミナーは2011年11月30日の14時から17時の間に、住所がギタム通りであるシェラトンハノイホテルにおいて行われます。	x	x	x	x
13	通訳 VJ04	[メモしながら]えと、ご存知だと思いますけども、で、今回の、セミナーのテーマは、ベトナム、21世紀の、投資、投資とうちやくし‘到着市’です。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
14	通訳 VJ04	え、時間は、14時から17時までです。		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
15	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
16	通訳 VJ04	えと、場所はシェラトンホテルです。		na	na	na	na
17	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
18	通訳 VJ04	具体的な住所[ニコニコ笑いながら]なんですけれども&,,		談話 レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
19	通訳 VJ04	Nghi Tam、Nghi tamという(はい)道です。		語彙 レベル	任意的	意味明確化のため	反復
20	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
21	通訳 VJ04	えと、時間は2011年の11月の30日です。		na	na	na	na
22	話者 JP04	はい。		x	x	x	x

	JP04						
39	話者 VN04	Nếu bà 「JP04姓」 không có câu hỏi gì nữa, thì à, Bộ kế hoạch và đầu tư chính thức có lời mời bà 「JP04姓」 sẽ phát biểu trong hội thảo sắp tới.	「JP04姓」が何も質問がなければ、投資計画省は正式に「JP04姓」様に今度のセミナーでの発表を依頼したいです。	x	x	x	x
40	通訳 VJ04	何かご質問ございますでしょうか？。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
41	話者 JP04	はい、えと。		x	x	x	x
42	通訳 JV04	えーđợi tí xem bà ý có hỏi gì không。		na	na	na	na
43	話者 JP04	ちょっとすみません,,		x	x	x	x
44	通訳 VJ04	はい。		na	na	na	na
45	話者 JP04	場所はどこですか？。		x	x	x	x
46	話者 JP04	もう一度お願いします。		x	x	x	x
47	通訳 JV04	À, tôi muốn...,,		na	na	na	na
48	話者 JP04	ギ・タムは分かったけど、<場所、どこですか>{<}?。		x	x	x	x
49	通訳 JV04	<Tôi muốn >{>}confirm lại&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
50	通訳 JV04	một chút ở đường Nghi Tàm、nhưng ở chỗ nào của đường Nghi Tàm nhỉ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
51	通訳 JV04	địa chỉ của khách sạn?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
52	話者 VN04	À, số 1 đường Nghi Tàm ạ。	あ、ギタム通りの1番地です。	x	x	x	x
53	通訳 VJ04	えと、Nghi tam道の1番、1号です。		na	na	na	na
54	話者 JP04	その場所、その場所の名前は?。		x	x	x	x
55	通訳 VJ04	えと、シェラトンホテルです=。		na	na	na	na

56	話者 VN04	=シェラトンホテル、それは聞いた かったんです、はい。		x	x	x	x
57	話者 VN04	分かりました、はい。		x	x	x	x
58	通訳 VJ04	えと、質問がなければ、今回のセミ ナーに、是非、ご発表していただ けると、いただけたら幸いです 、「JP07姓」さん。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
59	話者 JP04	あ、はい。		x	x	x	x
60	話者 JP04	あの...指名して頂いて、光栄に思っ てます。		x	x	x	x
61	通訳 JV04	Tôi rất là&,,		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意 味 明 確 化 の た め	主体の明示 化
62	通訳 JV04	vinh dự được các vị mời phát biểu tại hội thảo lần này。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
63	話者 VN04	Vâng, vì lý do doanh nghiệp 「社名」 là một doanh nghiệp đã có 15 năm kinh nghiệm đầu tư vào Việt Nam, và là một trong số các doanh nghiệp Nhật Bản đầu tiên đầu tư và thành công ở tại Việt Nam, thì sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 trong cuộc hội thảo sắp tới sẽ rất có ích cho các khách mời tham dự hội thảo đến tham gia。	「社名」企業はベトナムに投資した15年もの 経験があり、ベトナムに投資して、そして成 功した最初の日系企業の一つであるため、「 社名」企業の今度のセミナーでの経験共有は セミナー出席者にとっても有益なものになりま す。	x	x	x	x
64	通訳 VJ04	えと、今回、「JP07姓」様のご発 表は「社名」という企業を代表致し まして、ま、「社名」企業はですね 、ベトナムで初めての企業として、 で、今まで15年ぐらい、あの、ベト ナムに進出して頂いて、ま、必ず大 きな成功を(うん)おさめてきてます ので、あの、今回「JP07姓」様のご 発表は参加するメンバーに対して大 変お役に立つ(はい)と思っております (はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
65	通訳 VJ04	宜しく申し上げます。		談 話 レ ベ	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換

				ル		然さ の確 保の ため	
66	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
67	話者 VN04	Vâng, ờ, về phần nội dung của cuộc hội thảo sắp tới đây sẽ gồm có ba phần chính。	はい、今度のセミナーの内容は主に3つの部分があります。	x	x	x	x
68	話者 VN04	Phần thứ nhất là xu hướng đầu tư ở tại Việt Nam、 đầu tư chủ yếu tập trung trong các lĩnh vực chế tạo、 lắp ráp、 lượng đầu tư vào các lĩnh vực như tài chính, tiền tệ hay bảo hiểm thì chưa nhiều。	1番目の部分はベトナムにおける投資傾向で、投資は製造・組み立ての分野に主に集中していて、財務金融または保険分野への投資量はまだまだ多くないです。	x	x	x	x
69	話者 VN04	Phần này sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	此の部分は投資計画省が発表します。	x	x	x	x
70	話者 VN04	Phần thứ hai là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam nhằm thu hút đầu tư nước ngoài, như là miễn thuế thu nhập doanh nghiệp, trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án, miễn phí tiền thuê đất đối với các dự án công như là điện、 nước。	第2部分は外国の投資を誘致するためのベトナム政府の新政策で、例えば、一定期間中事業の性質と規模によって、法人税を免除したり、給水、給電のような公的な事業には土地税を免税したりする政策とかです。	x	x	x	x
71	話者 VN04	Chính sách mới này được dự kiến sẽ được công bố vào năm 2012。	この新政策は2012年に発表され予定です。	x	x	x	x
72	話者 VN04	Thì phần này cũng sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	そして、この部分は投資計画省代表が発表します。	x	x	x	x
73	話者 VN04	Phần thứ ba là môi trường đầu tư Việt Nam từ cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản、 các khó khăn、 thử thách, những lợi thế so với các quốc gia khác 。	第3部分は日系企業、ここで具体的に言えば「社名」の目から見たベトナムにおける投資環境で、ほかの国と比べての困難、チャレンジとメリットです。	x	x	x	x
74	話者 VN04	Phần này sẽ do đại diện của doanh nghiệp Nhật Bản, tức là doanh nghiệp 「社名」 phát biểu。	この部分は日系企業の代表、つまり「社名」によって代表で発表されます。	x	x	x	x
75	通訳 JV04	Tức là bà 「JP04姓」 phát biểu đúng không?。		na	na	na	na
76	話者 VN04	Vâng, đúng rồi。	はい、その通りです。	x	x	x	x
77	通訳 VJ04	では、今回のセミナーの、具体的な内容について(はい)お話致します(はい)。		談話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加

78	通訳 VJ04	セミナーは、3つの部分に(はい)、 分けております(あー)(はい)。		na	na	na	na
79	通訳 VJ04	えーと、一番目はベトナムにおける 投資の傾向(はい)について(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	原 文 の 構 成 変 更
80	通訳 VJ04	これは、あの、ベトナムの計画投資 省の代表(はい)様により発表(はい) されます(はい)。		na	na	na	na
81	通訳 VJ04	で、内容としては、で、今ベトナム における投資の傾向としては(はい) 、		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	暗 示 さ れ た 情 報 の 復 元
82	通訳 VJ04	あの、ま、工業の組み立て(はい)、 とか、製造とかがあの中心になりま して、で財政分野については(うん)(うん)、ま、投資がまだ(はい)少ない という状態です。		na	na	na	na
83	通訳 VJ04	で一、2番目もあの、ベトナム計画 投資省の代表(はい)により発表され ますけども(はい)、で、内容として は&,,		na	na	na	na
84	通訳 VJ04	で、これからベトナムにおける海外 の投資を誘致するための(あー)政策 が(はい)発表されます(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	原 文 の 構 成 変 更
85	通訳 VJ04	あ、内容としては、で、例えば、収 入(うん)、収入税の免税(あー)(はい はい)と、あの一、一定の期間の中 の土地のリース代(あー)の免税、が 発表されます。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前 置 き 表 現 の 活 用
86	通訳 VJ04	で、三つ目の内容なんですけれども &,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前 置 き 表 現 の 活 用
87	通訳 VJ04	(はい)、ま、「JP07姓」様より、「 社名」企業の、ま、日本人の立場か ら(はい)、ベトナムの投資環境につ いて(はい)、発表して頂きます(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の 確 保 の た め	聞 き 手 に 馴 染 み の あ る 表 現 へ の 変 換
88	通訳 VJ04	ま、内容としては、例えば、ベトナム に投資するときに、あの&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前 置 き 表 現 の 活 用

				ベル		ため	
104	話者 VN04	はい。		x	x	x	x
105	通訳 VJ04	で、一つ目は「社名」企業の概要について。		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
106	話者 VN04	はい。		x	x	x	x
107	通訳 VJ04	で、二番目が(はい)、ベトナムに初めて投資した時期の困難な点,,		na	na	na	na
108	話者 VN04	あ、はいはいはいはい。		x	x	x	x
109	通訳 VJ04	教えて頂きたいと思います。		na	na	na	na
110	通訳 VJ04	で、三つ目はその困難を乗り越えるための(はい)「社名」企業としての対策を(はいはいはい)を教えてください(はい)。		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	暗示された情報の復元
111	通訳 VJ04	で、4番目は、で(うん)、これから(はい)「社名」企業として克服すべき点(あー)についてお話していただきたいです(はい)。		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	説明の追加
112	通訳 VJ04	五番目がベトナムにおける投資、投資として、あの、メリット、デメリット(うんうん)(はい)についてお話していただきたいです(あー)。		na	na	na	na
113	通訳 VJ04	で、最後なんですけども&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	前置き表現の活用
114	通訳 VJ04	で、これからベトナムの政府に対して、で、海外の企業を誘致するために(うん)、ま、政策として(はい)、ま、いくつかお勧めがあれば(うんうん)&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化のため	説明の追加
115	通訳 VJ04	ぜひお話頂きたいと思っております。		語彙 レベル	任意的	意味 明確化のため	程度副詞の付加
116	話者 JP04	分かりました、はい。		x	x	x	x
117	話者 VN04	À, xin bà lưu ý rằng theo như dự kiến thì doanh nghiệp 「社名」 sẽ bắt đầu phát biểu từ 3 giờ 30 phút chiều, trong khoảng từ, thời gian từ 15 tới 20 phút.	あ、あなたにご留意頂きたいですが、「社名」の発表は午後3時30分から15分～20分ぐらいの予定となっています	x	x	x	x

			す。				
118	通訳 JV04	A, đợi, đợi chị cho bác ý confirm nội dung một tí.		na	na	na	na
119	通訳 VJ04	[JP07がメモしているのを待っている]宜しいですか?。		na	na	na	na
120	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
121	通訳 VJ04	スケジュールなんですけども(うん), で、「社名」企業の発表がで、午後 3時(はい)3時半から(はい)というこ とで&,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
122	通訳 VJ04	で、時間が15分から20分ほど(はい) お話して頂きたい(はい)です。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
123	話者 JP04	これは、どの言葉でやれば宜しいで すか?。		x	x	x	x
124	話者 JP04	この、日本語ですか?。		x	x	x	x
125	通訳 JV04	À thì là tôi&,		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示 化
126	通訳 JV04	có thể phát biểu bằng tiếng Nhật hay là gì ạ?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ の確 保の ため	原文の構成 変更
127	話者 VN04	Vâng, xin hãy sử dụng tiếng Nhật。	はい、日本語のご使用 をお願いしたいです。	x	x	x	x
128	話者 VN04	Chúng tôi sẽ bố trí phiên dịch bằng cabin。	私たちは同時での通訳 を手配します。	x	x	x	x
129	通訳 VJ04	じゃ、あの一、通訳さんを配置して おりますので、日本語を、使って(はい)下さい。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ の確 保の ため	原文の構成 変更
130	話者 VN04	[笑いながら言う]ベトナム語できま せんから、はい。		x	x	x	x
131	通訳 VJ04	[にこにこしながら]Tôi không biết tiếng Việt。		文 法 レ	義 務 的	意味 明確 化の	主体の明示 化

				ベル		ため	
132	話者 JP04	はい、分かりました。		x	x	x	x
133	話者 JP04	あの一、私‘わたくし’の当日発表する(はい)、あの、内容は(はい)、理解できましたが(はい)、えと、少し質問してもいいでしょうか?。		x	x	x	x
134	通訳 JV04	Ồ, sáu cái nội dung mà Bộ kế hoạch và đầu tư gợi ý thì tôi đã hiểu rồi, tôi có một chút câu hỏi có được không?。	投資計画省が提案した6つの内容は私は分かりました。少し質問をしてもいいですか。	文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
135	話者 VN04	Dạ vâng, xin mời。		x	x	x	x
136	話者 JP04	で、まず時間は、分かりました。		x	x	x	x
137	話者 JP04	ま、15分から20分間発表ということですが(はい)、そのプレゼンテーションにパワーポイントを使うことができますか?。		x	x	x	x
138	通訳 JV04	À tôi hỏi một chút&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
139	通訳 JV04	thời gian bài phát biểu của tôi là từ khoảng 15 đến 20 phút phải không ạ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
140	話者 VN04	Dạ vâng。	はい。	x	x	x	x
141	通訳 JV04	Thế thì tôi sử dụng powerpoint có được không ạ?。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
142	話者 VN04	Vâng, xin hãy sử dụng powerpoint làm công cụ trình chiếu。	はい、パワーポイントを映すためのツールとしてお使い下さい。	x	x	x	x
143	通訳 VJ04	ぜひ、あの、パワーポイント、<使ってください>{<}。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
144	話者 JP04	<そうですね>{>}使いたいです。		x	x	x	x
145	話者 JP04	そして,,		x	x	x	x
146	通訳 JV04	Tôi rất muốn dùng powerpoint。		文法レ	義務的	意味明確化の	主体の明示化

				ベル		ため	
147	話者 JP04	ん、発表が終わった後に、聞いている方々から質問が出ますか?。		x	x	x	x
148	通訳 JV04	Tôi muốn hỏi là sau khi tôi phát biểu&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
149	通訳 JV04	ý ạ, thì các vị khách tham dự có đặt câu hỏi không ạ, tức là có cái phần đặt câu hỏi không ạ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
150	話者 VN04	Dạ vâng, phần đó sẽ được diễn ra vào cuối buổi hội thảo。	はい、その部分はセミナーの最後にn行われます。	x	x	x	x
151	話者 VN04	Sẽ có hai loại hình câu hỏi,,	二つの種類の形があります。	x	x	x	x
152	通訳 JV04	Là phần chung đấy ạ?。		na	na	na	na
153	話者 VN04	Dạ vâng, một loại hình là câu hỏi của các doanh nghiệp dành cho Bộ kế hoạch và đầu tư, và loại hình thứ hai là câu hỏi của các doanh nghiệp dành cho doanh nghiệp 「社名」。	はい、一つは投資計画省に対する企業からの質問で、もう一つは「社名」への他企業からの質問です。	x	x	x	x
154	通訳 VJ04	えと、その、質疑応答ということなんですけどもそれは、セミナーが終わった後に(はい)、行われることになります(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
155	通訳 VJ04	えと、質問は二つ、の種類に分けてあります(はい)。		na	na	na	na
156	通訳 VJ04	一つ目は、投資計画省に対する質問です(あー)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
157	話者 VN04	はい、はい。		x	x	x	x
158	通訳 VJ04	一つ目と二つ目の発表に対する質問ですよね(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
159	通訳 VJ04	で、二種類目としては、あの&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
160	通訳 VJ04	「社名」企業(はい)に対しての質問なんですけども、それは「JP07姓」		談話	任意	意味明確	前置き表現の活用

		さんの発表に対する質問です。		レ ベル	的	化の ため	
161	話者 JP04	はい、質問、はい、分かりました。		x	x	x	x
162	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
163	話者 VN04	Về thời hạn nộp bài phát biểu, xin bà hãy chuyển tới người phụ trách, ờ, hai tuần trước khi hội thảo được diễn ra.	発表原稿の提出期限で すが、担当者にセミナー の行われる2週間前 に大送り下さい。	x	x	x	x
164	通訳 VJ04	えーと、発表する内容、原稿ですけ ども(はい)&,		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
165	通訳 VJ04	あの、計画投資省からのお願いなん ですけども(はい)、で、セミナーが 行われる2週間前に担当者にメール でお送りして頂けますでしょうか? 。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換
166	話者 JP04	あ、じゃ、この、発表日にちが30日 ??。		x	x	x	x
167	通訳 VJ04	はい。		x	x	x	x
168	話者 JP04	この(はい)、2週間前に(はい)、えと ,,		x	x	x	x
169	通訳 VJ04	担当者に【【。		na	na	na	na
170	話者 VN04	】】お送りすればいいですね??。		x	x	x	x
171	通訳 VJ04	はい。		na	na	na	na
172	話者 JP04	その担当の方はどなたですか?。		x	x	x	x
173	通訳 JV04	Vâng, cho tôi hỏi&,		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
174	通訳 JV04	người phụ trách vấn đề này là ai ạ?。		語 彙 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	指示語の意 味明確化
175	話者 VN04	Vâng, xin bà hãy liên lạc với anh Chiên&,	はい、チエンさんにご 連絡下さい。	x	x	x	x
176	話者 VN04	Số điện thoại là 0902、232、083 và email là chienmpi@gmail.com。	電話番号は 0902232083 で、メールアドレスは chienmpi@gmail.com	x	x	x	x
177	通訳 VJ04	mpiですね。		na	na	na	na

178	通訳 VJ04	担当の方ですけども(はい)、チエン という,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前置き表現 の活用
179	話者 JP04	チエンさん。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	反復
180	通訳 VJ04	チエンさん、チエンさん&,,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	反復
181	通訳 VJ04	えと、Eメールは(はい)、chienmpi(はい)&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	原文の構成 変更
182	通訳 VJ04	mpiは投資計画省の省略ですね。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
183	話者 JP04	あー、はいはい、そうですね。		x	x	x	x
184	通訳 VJ04	@gmail.com。		na	na	na	na
185	話者 JP04	はい、分かりました。		x	x	x	x
186	通訳 VJ04	携帯電話が(はい)、09(はい)02232(はい)、083です。		na	na	na	na
187	話者 JP04	083、はい、分かりました。		x	x	x	x
188	通訳 VJ04	じゃ、もう一度読みますね。		na	na	na	na
189	話者 JP04	はい。		x	x	x	x
190	通訳 VJ04	0902、232、083<ですね>{<}。		x	x	x	x
191	話者 JP04	<はい>{>}、分かりました。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	反復
192	話者 JP04	はい、そして、Eメールはchienmpi,,		x	x	x	x
193	通訳 VJ04	はい。		na	na	na	na
194	話者 JP04	ですね、@gmail.com。		x	x	x	x
195	通訳	はい、その通りです。		na	na	na	na

	VJ04						
196	話者 JP04	はい、では、これで分かりましたの で。		x	x	x	x
197	通訳 JV04	Tôi hiểu rồi ạ。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示 化
198	話者 VN04	そして、発表原稿は2週間前までに 送りますが、あの、もし何か聞きた いことがあったら、この方に私‘わ たくし’が直接メールや電話ですね 、ところで、言語はどうなってます か?、この方の言葉。		x	x	x	x
199	通訳 VJ04	あ、そうですね、じゃ、聞きます。		na	na	na	na
200	通訳 JV04	Cho tôi hỏi một chút&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現 の活用
201	通訳 JV04	thể tức là bài phát biểu của tôi sẽ gửi cho anh Chiến&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された 情報の復元
202	通訳 JV04	trước 2 tuần diễn ra hội thảo、thể nhưng mà trong quá trình viết nếu như có gì tôi không hiểu thì tôi có thể contact trực tiếp với anh Chiến bằng mail hoặc là điện thoại được không ạ? 。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成 変更
203	話者 VN04	Dạ vâng, đúng rồi ạ。	はい、その通りです。	x	x	x	x
204	通訳 JV04	Thế contact với anh Chiến thì sẽ bằng tiếng gì ạ?。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	指示語の意 味明確化
205	通訳 JV04	Tiếng Nhật được không ạ?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
206	話者 VN04	Dạ, xin hãy sử dụng tiếng anh khi liên lạc với anh Chiến。	はい、チェンさんと連 絡する時に、英語をお 使い下さい。	x	x	x	x
207	通訳 VJ04	じゃ、申し訳ございませんが、チェ ンさんと連絡して頂ける場合は、あ の、英語,,		談 話 レ ベ	任 意 的	意味 明確 化の ため	聞き手に馴 染みのある 表現への変 換

				ル			
208	話者 JP04	あ、分かりました、じゃ英語で,,		x	x	x	x
209	通訳 VJ04	はい、お願いします。		na	na	na	na
210	話者 JP04	連絡します。		x	x	x	x
211	通訳 VJ04	お願いします。		na	na	na	na
212	話者 VN04	Nếu như bà 「JP07姓」 không có câu hỏi gì nữa, thì chúng ta có thể kết thúc cuộc họp ngày hôm nay tại đây。		x	x	x	x
213	話者 VN04	À, về phần quà cảm ơn dành cho các doanh nghiệp, thì sẽ được gửi trực tiếp tới các doanh nghiệp sau khi mà hội thảo kết thúc。	企業へのお礼のプレゼントですが、セミナーが終わった後に企業宛に直接送られます。	x	x	x	x
214	通訳 VJ04	えと、もし質問がなければ(はい)、今日の打ち合わせはここで終わらせて頂きたいと思っております(はい)が、えと、セミナーの最後、ま、ご発表して頂いた方々について(うん)、ま、お礼を準備(あー)しておきましたが、それは、セミナーのあと(はい)直接お送りして【【。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
215	話者 JP04	】】 あ、そうですか[↑]。		x	x	x	x
216	通訳 VJ04	是非させていただきます。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
217	話者 JP04	はい、楽しみに待ってます、はい。		x	x	x	x
218	通訳 JV04	Vâng, tôi rất&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
219	通訳 JV04	là vui mừng đón nhận, món quà đấy。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さの確保のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
220	話者 VN04	Dạ vâng, cảm ơn bà 「JP04姓」。	はい、「JP04姓」さん、ありがとうございます。	x	x	x	x

被験者05 通訳データ

発話番号	話者	発話内容	筆者が作成した越→日の直訳	活用レベル	必然性	利用目的	具体的な明晰化戦略
1	話者 VN05	Xin chào bà, cảm ơn bà đã dành thời gian tới dự cuộc họp ngày hôm nay.	おはようございます、貴方が本日の会議に出席する時間を使ってくださいます、ありがとうございます。	x	x	x	x
2	通訳 VJ05	あ、本日、わざわざあの一、来て頂いてどうもありがとうございます。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
3	話者 JP05	いいえ、こちらこそ。		x	x	x	x
4	通訳 JV05	Không sao ạ, chúng tôi cũng rất hân hạnh.		語彙レベル	義務的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
5	話者 VN05	À, mục đích của cuộc họp ngày hôm nay là chúng ta bàn bạc cụ thể về chi tiết của hội thảo tới đây, và nội dung của phần phát biểu của bà 「話者JP05 姓」、đại diện cho doanh nghiệp 「社名」。	本日の会議の目的は、私たちが今度のセミナーの内容と「社名」の代表である「話者JP05姓」様の発表の部分の内容について具体的、そして、詳細に打ち合わせることです。	x	x	x	x
6	通訳 VJ05	えと、今日の打ち合わせの内容ですけれども、えー今回の打ち合わせの、え、今回のセミナーのワークショップの、具体的な内容と、えと、「話者JP05」さんが発表する内容について(うんうん)です。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
7	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
8	話者 VN05	Buổi hội thảo tới đây sẽ có tên là 「Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới」[通訳が沈黙し続けていた]。	今度のセミナーは、『ベトナム、21世紀の投資先、新しい機会とチャレンジ』という名前があります	x	x	x	x

			。				
9	話者 VN05	A, buổi hội thảo được dự kiến sẽ được tổ chức tại khách sạn Sheraton Hà Nội, địa chỉ tại đường Nghi tâm, quận Tây Hồ, cách trung tâm thành phố Hà Nội khoảng 20 đến 30 phút khi đi bằng taxi 。	セミナーはシェラトン、ハノイホテルで行われる予定で、住所はギ・タム通り、タイ・ホ区で、ハノイ中心部からタクシーで20分から30分ぐらいかかります。	x	x	x	x
10	通訳 VJ05	はい、えと、今回の、えと、ワークショップの、えと、えー、な、名前,ですけど、ベトナム、えと(うん)、21世紀の(うん)、え、投資...の、えーと、到着点でしょう[↑](うん)ですけども。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
11	通訳 VJ05	えと、場所は(うん)シェラトンホテルです(うん)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
12	通訳 VJ05	えと、Nghi Tam通りにあります。		na	na	na	na
13	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
14	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
15	話者 VN05	Xin hỏi bà 「話者JP05姓」 có các cái câu hỏi gì về buổi hội thảo sắp tới?。	「話者JP05」は今度のセミナーについて何か質問があるか聞きたいですが	x	x	x	x
16	通訳 VJ05	はい、あの、まず、「話者JP05姓」からさん、あの、なんか質問がございませんか?。		na	na	na	na
17	話者 JP05	はい、えと、あの、タイトル、もう一度お願いします。		x	x	x	x
18	話者 JP05	このワークショップの、というか、セミナーのタイトルは、ベトナム[↑]、21世紀の投資の[↑]?。		x	x	x	x
19	通訳 JV05	A, chúng tôi muốn hỏi thêm về tên cụ thể của cái workshop này một lần nữa 。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
20	話者 VN05	Dạ vâng (はい)、tên của hội thảo tới đây sẽ là 『Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới』。	はい、今度のセミナーのタイトルは『ベトナム、21世紀の投資先、新しい機会とチャレンジ』です。	x	x	x	x
21	話者 VN05	Đó là tên chính xác của buổi seminar tới。	それは今度のセミナーの正確な名前です 。	x	x	x	x

22	通訳 VJ05	《沈黙3秒》はい、えーと、そうです ね、もう一度(はい)、ワークショップ の名前を(はい)、説明、あ、説明 させていただきます(はい)。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
23	通訳 VJ05	ヴェトナム21世紀の投資先、え ーと、えと(はい)、機会と(はい)、 えーと、その、ま、チャレンジ(は い)という、えと、名前ですけど。		na	na	na	na
24	話者 JP05	はい、分かりました。		x	x	x	x
25	話者 JP05	ベトナム21世紀の投資先の機会と チャレンジ(はい)。		x	x	x	x
26	話者 JP05	はい、分かりました。		x	x	x	x
27	話者 VN05	Vâng ạ, xin bà tiến đến cái câu hỏi tiếp theo về ạ, buổi hội thảo tới。	はい、今度のセミナーについての貴方 の次の質問に進んでく ださい。	x	x	x	x
28	通訳 JV05	Vâng。		na	na	na	na
29	通訳 VJ05	あ、はい、あの、なんかご質問が ...、ほかにご質問がございません か?。		na	na	na	na
30	話者 JP05	はい、今は、まだ特にありません 。		x	x	x	x
31	通訳 JV05	À, bây giờ thì chúng tôi cũng chưa có câu hỏi gì cả。		文 法 レ ベル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
32	話者 VN05	Dạ vâng, à(はい)、buổi hội thảo tới đây ý, thì, sẽ chủ yếu là các doanh nghiệp trong và ngoài nước, trong đó chủ yếu là các doanh nghiệp, à, của Nhật Bản đã đang và sẽ đầu tư vào Việt Nam。	はい、今度のセミナーはですね、ほとん どは、国内外の企業 で、その中で、ほと んどがベトナムに既 に投資した、投資し ている、または、こ れから投資する日系 企業です。	x	x	x	x
33	通訳 VJ05	うん、えーと、今回のワークショ ップに参加する、えと、メンバー ですけども(うん)。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
34	通訳 VJ05	ほとんどは、ベトナムに、ま、今 回進出する、している日本企業、 またこれから進出する予定がある 企業ですけど(うん)(はい)。		na	na	na	na
35	話者 VN05	《少し間》 Số lượng người tham dự hội thảo sẽ khoảng 200 người。	セミナーに参加する 人数はおおよそ200人 です。	x	x	x	x

36	通訳 VJ05	えー、参加者の数は(はい)、200名です(はい)。		na	na	na	na
37	話者 VN05	《少し間》 Xin hỏi bà có các câu hỏi gì không ạ?。	何か質問があるか聞きたいですが	x	x	x	x
38	通訳 VJ05	はい、ご質問がございませんか?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
39	話者 JP05	えーと、参加者が200人でしたね??。		x	x	x	x
40	話者 JP05	そして、セミナーの時間は?。		x	x	x	x
41	通訳 JV05	À...lần này thì có 200 người tham gia đúng không?。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
42	通訳 JV05	Cho tôi hỏi một chút là thời gian thì như thế nào nhờ?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
43	話者 VN05	Vâng ạ, thời gian của buổi hội thảo sẽ diễn ra từ 14[11という風に訛って発音した]cho tới 17 giờ ngày 30 tháng 11 năm 2011。	はい、セミナーの時間は2011年11月30日の14時から17時までです。	x	x	x	x
44	通訳 VJ05	Ừm, はい、あの、セミナーの時間は、えと、2、2011年(はい)11月(はい)二十日の(はい)11時からじゅうなな、あ、十七時までです。		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
45	話者 JP05	あ、はい、分かりました。		x	x	x	x
46	話者 JP05	そして、200名&,,参加者200名ってことですが、どういう方ですか?。		x	x	x	x
47	通訳 JV05	Ừn, vâng, tôi hỏi lại một chút&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
48	通訳 JV05	là anh vừa nói là có 200 người tham gia,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化

49	通訳 JV05	thì tôi không, thành phần cụ thể là như thế nào nhờ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
50	話者 VN05	Vâng ạ, chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật Bản, đã, đang và sẽ đầu tư vào Việt Nam。	はい、ほとんどは、ベトナムに投資している、投資していく日系企業です。	x	x	x	x
51	通訳 VJ05	うん、そうですね、ベトナムに、今投資している[↑](うん)、あの、進出している企業(うん)(うん)、または、これから進出する予定がある企業(あー)の&,、		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
52	通訳 VJ05	からの方々です。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
53	話者 JP05	はい、分かりました、はい。		x	x	x	x
54	通訳 JV05	Vâng ạ, tôi hiểu rồi。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
55	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
56	話者 VN05	《少し間》 Xin hỏi bà có các câu hỏi gì tiếp không?。	次の質問があるか聞きたいですが。	x	x	x	x
57	通訳 VJ05	はい、ご質問ございませんか?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
58	話者 JP05	はい、えと、場所はシェラトンホテルですね??(うん)。		x	x	x	x
59	話者 JP05	そして、2011年の11月20日11時から17時までね、200名、はい、特に質問は、ありません。		x	x	x	x
60	話者 JP05	大丈夫です。		x	x	x	x
61	通訳 JV05	Vâng, thì, vậy là lần này buổi hội thảo sẽ diễn ra tại khách sạn Sheraton, và từ ngày, à, trong ngày 20 tháng 11, từ 11 giờ đến 17 giờ, số lượng người tham gia là 200 người, đúng không ạ?。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	原文の構成変更
62	話者 VN05	Dạ vâng đúng rồi ạ。	はい、その通りです。	x	x	x	x

63	通訳 JV05	Chúng tôi không có câu hỏi gì nữa。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
64	話者 VN05	Vâng, nếu như bà không có câu hỏi gì nữa, thì, à, tôi xin được chính thức đưa ra lời đề nghị bà 「話者JP05姓」 sẽ phát biểu tại hội thảo。	はい、もし、ほかの質問がなかったら、「話者JP05姓」に正式にセミナーでの発表をお願いします。	x	x	x	x
65	話者 VN05	Với lý do rằng, à, doanh nghiệp 「社名」 là một doanh nghiệp đã có kinh nghiệm 15 năm đầu tư vào Việt Nam, và là một trong số những doanh nghiệp Nhật Bản đầu tư thành công ở tại Việt Nam, sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 sẽ rất có ích cho các khách mời đến tham dự hội thảo。	理由は、「社名」がベトナムに投資した15年の経験を持っていて、そして、ベトナムにはじめて投資して成功した日系企業の一つだということで、「社名」の経験共有はセミナーの出席者にとっても役立ちます。	x	x	x	x
66	通訳 VJ05	[メモしている]はい、ご質問があの、ございません...(うん)、あ、ですよね(はい)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
67	通訳 VJ05	はい、じゃ、それで、えと、そっ、われわれは、今回、えと、「話者06姓」さんに、その、是非&,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	程度副詞の付加
68	通訳 VJ05	発表して頂きたい、ま(うん)、今回のセミナーで(はい)発表して頂きたい&		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
69	通訳 VJ05	あの、ま、「社名」、あの、貴社は&,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
70	通訳 VJ05	あの、とても、ベトナムには、もう15年間(うん)の、あの、進出した歴史をもっているし、でも(うん)成功しているえと、企業とされています(うん)(うん)。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成変更

71	通訳 VJ05	あの、ま、貴社の、ま、つまり、 「話者JP05姓」さんからのご発表 は&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
72	通訳 VJ05	参加者にとって(うん)とても(うん) 、えと、いい、あの、役に立つと 思いますので(はい)、是非、今回の セミナーでえと、ご発表いただけ ないでしょうか?。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	反復
73	話者 JP05	はい、ふーん...そうですね、はい 、では...、させて頂きましょう。		x	x	x	x
74	通訳 JV05	À vâng (vâng), thế thì xin cho phép chúng tôi được phát biểu tại hội thảo(vâng)。		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意 味 明 確 化 の た め	主体の明示化
75	話者 JP05	評価して頂くのは非常にありがた いと思ってます。		x	x	x	x
76	通訳 JV05	Vâng, tôi rất&,,		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意 味 明 確 化 の た め	主体の明示化
77	通訳 JV05	là cảm ơn vì đã đánh giá công ty chúng tôi cao như vậy ạ。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の た め	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
78	話者 VN05	Dạ vâng không có gì ạ。	いえ、どう致しまし て。	x	x	x	x
79	話者 VN05	はい。		x	x	x	x
80	話者 VN05	Vâng, xin bà hãy cho...、bà có một số câu hỏi nào đó về nội dung của bài phát biểu sắp tới hay không?。	今度の発表に関する 質問を挙げて、があ りますか?。	x	x	x	x
81	通訳 VJ05	あの...、じゃ、発表の内容につい て(うん)何かご質問ございませんか ?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の た め	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
82	話者 JP05	はい、まず、発表の、えと、あの 、時間は、私に与えられる時間は どれぐらいですか?。		x	x	x	x
83	通訳 JV05	Ừn, vâng, đầu tiên là tôi xin hỏi về thời gian, dành cho tôi là bao nhiêu phút để phát biểu nhĩ?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	前置き表現の 活用

				ル			
84	話者 VN05	À, bên đại diện của công ty có thể phát biểu từ 15 cho đến 20 phút, bắt đầu từ 3 ruỗi chiều。	会社の代表は15分から20分ぐらいで、午後3時半から発表できます。	x	x	x	x
85	通訳 VJ05	《少し間》はい、えと、時間はあの、3時半(はい)&,,		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	原文の構成変更
86	通訳 VJ05	当日の3時半からの(はい)15分から20分(あー)...ですけど(はい)。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
87	話者 JP05	そうしますと、ふん、大分まとめないとだめですね。		x	x	x	x
88	話者 JP05	では、もう一度私に、当社にどのような要求があるか、それをもう一度お願いします。		x	x	x	x
89	通訳 VJ05	うん【【。		na	na	na	na
90	話者 JP05	】】発表の内容ね、はい。		x	x	x	x
91	通訳 JV05	Vâng, vậy thì là cũng, thời gian cũng không phải là dài lắm nên&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
92	通訳 JV05	tôi sẽ cố gắng là nói ngắn gọn。		文法レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化
93	通訳 JV05	Thế tôi xin hỏi một chút là cái&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
94	通訳 JV05	à, không biết là quý bộ&,,		文法レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化
95	通訳 JV05	muốn chúng tôi phát biểu về những cái nội dung gì, có yêu cầu gì không ạ?。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加

96	話者 VN05	Dạ, vâng, về nội dung của buổi hội thảo, tới đây sẽ gồm có ba phần chính。	はい、今度のセミナーの内容については、3つの主な内容があります。	x	x	x	x
97	話者 VN05	Phần thứ nhất là xu hướng đầu tư ở tại Việt Nam。	第1部分はベトナムへの投資傾向です。	x	x	x	x
98	話者 VN05	À, đó là đầu tư chủ yếu tập trung trong các lĩnh vực như là chế tạo, lắp ráp, lượng đầu tư trong các lĩnh vực như là tài chính, tiền tệ, hay bảo hiểm thì vẫn chưa nhiều。	それは、投資が主に製造・組み立てに集中していて、財政・金融、或いは保険への投資はまだ多くないです。	x	x	x	x
99	話者 VN05	Phần này sẽ do Bộ kế hoạch đầu tư, đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分は投資計画省の代表によって発表されます。	x	x	x	x
100	話者 VN05	Phần thứ hai là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam nhằm thu hút đầu tư nước ngoài, ví dụ như miễn thuế thu nhập doanh nghiệp trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án (ふーん)、miễn phí tiền thuê đất đối với các dự án công như là cung cấp điện và nước。	第二部分は外国の投資を誘致するためのベトナム政府の新政策で、例えば、一定の期間中に事業の性質と規模によって法人税を免除したり、給電・給水などといった公的事业に対する土地税の免除などです。	x	x	x	x
101	通訳 VJ05	はい、あー【【。		na	na	na	na
102	話者 VN05	】】 Phần này cũng sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư phát biểu。	この部分も投資計画省が発表します。	x	x	x	x
103	通訳 JV05	Vâng xin hỏi lại phần thứ hai là nói về cái gì đấy ạ?。		na	na	na	na
104	話者 VN05	À, phần thứ hai là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam (à), nhằm thu hút đầu tư nước ngoài vào Việt Nam。	あ、第二部分は外国の投資を誘致するためのベトナム政府の新政策です。	x	x	x	x
105	話者 VN05	Ví dụ như miễn thuế thu nhập doanh nghiệp trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án (ふーん)、miễn phí tiền thuê đất đối với các dự án công như là cung cấp điện và nước。	例えば、一定の期間中に事業の性質と規模によって法人税を免除したり、給電・給水などといった公的事业に対する土地税の免除などです。	x	x	x	x
106	話者 VN05	Và chính sách mới này sẽ được công bố vào năm 2012。	そして、この新政策は2012年に発表されます。	x	x	x	x
107	話者 VN05	Phần này sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch đầu tư phát, biểu。	この部分は投資計画省の代表によって発表されます。	x	x	x	x
108	通訳 JV05	Vâng 【【。		na	na	na	na

109	話者 VN05	【 】 Ở phần thứ ba, đó là môi trường đầu tư ở Việt Nam từ cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản[メモしている音]、ví dụ như là các à, khó khăn, à, thử thách, và những lợi thế so với các quốc gia khác。	第3部分は日系企業からみたベトナム投資環境で、例えば、ほかの国と比べての困難、チャレンジ、そして有利なところなどです。	x	x	x	x
110	話者 VN05	Phần này sẽ do đại diện của doanh nghiệp Nhật Bản phát biểu。	この部分は日系企業の代表によって発表されます。	x	x	x	x
111	通訳 VJ05	[一所懸命メモしている]んー。		na	na	na	na
112	話者 VN05	Tức là bà 「話者06姓」 sẽ phát biểu vào phần 3。	つまり、「話者JP05」は第3部分を発表するということです。	x	x	x	x
113	通訳 VJ05	はい、そうですね、ちょっと、今回のセミナーの内容について、あの、説明させていただきます。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
114	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
115	通訳 VJ05	えと、ない、ま、内容は3部がありますね(はい)。		na	na	na	na
116	通訳 VJ05	まず、ベトナムの、えと、うん、えと、ベトナムの、投資の概括について(はい)えと、(うん)MPIの代表が(はい)説明させていただきます(はい)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
117	通訳 VJ05	えと、例えば、その、第2部は(うん)、そうですね、ベトナムにどういう風に、投資を(うん)、えと、ま、そうですね、外国の会社からどういう風に、そいう(はい)とう、投資してもらうか(はい)、どんなあの、えと、うん、対策と(うん)、いろんな、あの、政策が、新しい政策が、今回(うん)あの、出されますので(うん)(うん)&,,		na	na	na	na
118	通訳 VJ05	それについて、(はい)ちょっと説明させていただきます。		na	na	na	na
119	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
120	通訳 VJ05	これも、えと、MPIの代表者が担当するんですけど(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	反復
121	通訳 VJ05	で、第2部、あ、第3部は、(はい)えーと、ベトナムの、えと、投資環境について。		na	na	na	na

122	通訳 VJ05	(はい)、えー、これはベトナム、え、日本企業からの、日本企業の方から(はい)えと、発表していただきます(はい)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
123	通訳 VJ05	ベトナム、え、の、投資環境には(うん)、何かあの、困難なこと(はい)、で、ま、まだ解決されるべきのことですけど&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
124	通訳 VJ05	これは是非、日本の、え、企業の代表者、つまり、「話者JP05姓」さんに発表して頂きたいです。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
125	話者 JP05	あー、はい、はい、分かりました、はい。		x	x	x	x
126	話者 JP05	《少し間》私‘わたくし’の発表はあの、この三部のベトナムの投資環境について、日本企業としてどのようなことをやってきたか(はい)、ということですか??。		x	x	x	x
127	通訳 JV05	え、tôi xin xác nhận lại nội dung một chút nữa&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
128	通訳 JV05	là tôi sẽ phát biểu vào phần thứ ba, tức là cái...môi trường đầu tư tại Việt Nam thì và, về cái môi trường đầu tư tại Việt Nam từ góc nhìn các doanh nghiệp Nhật Bản là đã phải, những doanh nghiệp này đã trải qua những cái khó khăn thử thách nào đúng không ạ?		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
129	話者 VN05	Dạ vâng, à, về cái vấn đề này, thì bên Bộ kế hoạch và đầu tư có một số các cái gợi ý, cho bài phát biểu của bà 「話者JP05姓」 tôi đây như sau。	はい、この問題については、投資計画省は「話者JP05姓」様の発表に対して次のようなヒントがあります。	x	x	x	x
130	通訳 VJ05	はい、詳しく(はい)「話者JP05姓」さんの発表について(うん)、あのー、詳しくえと、私たちにはっ、はっ、えと説明させていただきます。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
131	話者	はい、お願いします、はい。		x	x	x	x

	JP05						
132	話者 VN05	Gợi ý thứ nhất thì bà có thể giới thiệu khái quát về doanh nghiệp。	一番目のヒントは、 貴方は企業について 概略的に紹介するこ とができます。	x	x	x	x
133	通訳 VJ05	うん[メモしている]。		na	na	na	na
134	話者 VN05	Cái thứ hai là những cái khó khăn bạn đầu đối với doanh nghiệp khi mà đầu tư ở tại Việt Nam。	2番目は、ベトナムに 投資した初期の企業 にとっても困難です 。	x	x	x	x
135	話者 VN05	Cái thứ ba là các biện pháp và đối sách nhằm vượt qua khó khăn trong thời gian đó。	3番目はそのときの困 難を乗り越えるため の措置と対策です。	x	x	x	x
136	話者 VN05	Cái thứ tư là những khó khăn còn tồn tại đối với doanh nghiệp。	4番目は企業にとって まだ残っている困難 です。	x	x	x	x
137	話者 VN05	Vấn đề thứ năm là thuận lợi và ưu thế của môi trường đầu tư ở tại Việt Nam 。	5番目はベトナムにお ける投資環境の利点 と優勢です。	x	x	x	x
138	話者 VN05	Và vấn đề cuối cùng, vấn đề thứ sáu là kiến nghị của doanh nghiệp đối với chính phủ Việt Nam trong thời gian tới 。	そして、最後の問題 、6番目の問題は企業 の今後のベトナム政 府に対する提議です 。	x	x	x	x
139	通訳 VJ05	[一所懸命メモしている]あの(はい) そうですね、詳しく、あの、説明 させていただきます(はい)。		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
140	通訳 VJ05	「話者JP05姓」さんにどんな内容 について(うん)発表して頂きたいか (はい)についてですけど&,		談 話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
141	通訳 VJ05	まず、あの、是非&,		語 彙 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	程度副詞の付 加
142	通訳 VJ05	貴社について(はい) 。		語 彙 レ ベル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ のため	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
143	通訳 VJ05	ま、しょう、ま、紹介(はい)してい たきます(はい)。		談 話 レ ベル	任 意 的	目標 テキ スト の自 然さ	聞き手に馴染 みのある表現 への変換

						のため	
144	通訳 VJ05	それから、ベトナムに進出したときの(はい)、ま、最初のときの、(はい)、どんな困難、えと、が(うん)(うん)(うん)あったかについて(はい)、言っていただきたいです(はい)。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
145	通訳 VJ05	次は、えと、貴社は&,		文法 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
146	通訳 VJ05	どんな対策出して、その、ま、その困難を乗り越えたか(あー)についても教えて(はい)頂きたいです。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
147	通訳 VJ05	で、四番目の内容は(はい)、ま、まだ、あの(うん)解決することができない[↑](はい)、えと、ま、困難ですけど(はい)。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
148	通訳 VJ05	で、次、四、五番の内容は、えーと、ベトナムの投資環境には(うん)、どんな、あの、えと、うん、イーストどんなメリットがあるか(あー)、そしてどんな、えと、いいところは何かについて(はい)(はい)、えと、ですけど。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
149	通訳 VJ05	最後の内容ですが、えと、貴社の、貴社からベトナム政府に、どんな意見、ま、ご意見とか&,		語彙 レベル	任意的	目標 テキ スト の自 然さ のた め	聞き手に馴染みのある表現への変換
150	通訳 VJ05	ま、希望を(うん)とかについて言って欲しいです。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	複数の類義語の活用
151	話者 JP05	はい、分かりました。		X	X	X	X
152	話者 JP05	ちょっと、では、えーと、我が社...に期待されている内容について、ちょっと繰り返しますね。		X	X	X	X
153	話者 JP05	まず、我が社の会社の内容、ですね??。		X	X	X	X
154	話者 JP05	そして、進出したときの困難、あったかどうか??。		X	X	X	X
155	話者 JP05	そして、三つ目は、ま、あの、乗		X	X	X	X

		り越えてきたそのための対策、どういうものだったか??。					
156	話者 JP05	四つ目は、まだ解決できていないこと??。		x	x	x	x
157	話者 JP05	そして、五つ目は、えーと、ベトナムの投資環境の、メリット(うん)ですね??。		x	x	x	x
158	話者 JP05	そして、最後は、ベトナム政府...への希望や意見があればという、こういうことで宜しいですか?。		x	x	x	x
159	通訳 JV05	Vâng, cho tôi xác nhận một lần nữa cái nội dung mà tôi&,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
160	通訳 JV05	à, chúng tôi sẽ, nên phát biểu trong cái lần hội thảo lần này。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
161	通訳 JV05	Thứ nhất là giới thiệu về doanh nghiệp。		語彙レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
162	通訳 JV05	Thứ hai là những khó khăn trong thời kì chúng tôi bắt đầu đầu tư vào Việt Nam。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
163	通訳 JV05	Thứ ba là những đối sách mà chúng tôi đã sử dụng để mà vượt qua những khó khăn đó。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
164	通訳 JV05	Tiếp theo là những cái khó khăn mà chúng tôi vẫn chưa giải quyết được。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
165	通訳 JV05	Thứ tư, à , thứ năm nữa là những ưu thế, và những cái cái thuận, à cái, điểm tốt của môi trường đầu tư tại Việt Nam。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
166	通訳 JV05	Tiếp theo là những cái nguyện vọng của chúng tôi đối với chính phủ。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化

167	話者 VN05	Dạ vâng hoàn toàn chính xác rồi ạ.	はい、完全に正確です。	x	x	x	x
168	話者 VN05	はい=。		x	x	x	x
169	通訳 VJ05	=その通りです。		na	na	na	na
170	話者 JP05	そうしましたら、発表は、日本語でいいですか？。		x	x	x	x
171	通訳 JV05	À, vậy thì tôi phát biểu bằng tiếng Nhật được không ạ？。		文法レベル	任意的	意味明確化のため	主体の明示化
172	話者 VN05	Dạ vâng, xin bà hãy chuẩn bị bài phát biểu bằng tiếng Nhật, chúng tôi sẽ bố trí phiên dịch bằng cabin。	はい、日本語でのご発表を準備していただいて、我々は同時通訳を手配します。	x	x	x	x
173	通訳 VJ05	うん、ま、あの、是非&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
174	通訳 VJ05	日本語で発表して、に、頂きたいん(はい)ですけれども。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
175	通訳 VJ05	あと、通訳、つまり、あの同時通訳を、あの、用意し、致くしますので { }。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
176	話者 JP05	〈あ、用意し〉 { } }てくださるんですね。		x	x	x	x
177	話者 JP05	はい、分かりました。		x	x	x	x
178	話者 JP05	そうしたら、発表のときですね、パワーポイント、などは使えますか？。		x	x	x	x
179	通訳 JV05	À, chúng tôi có sử dụng được powerpoint trong bài phát biểu của mình không？。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
180	話者 VN05	Vâng, xin bà hãy sử dụng ngôn ngữ powerpoint để phát biểu。	はい、パワーポイント言語を発表するためにお使いください。	x	x	x	x
181	通訳 VJ05	あの、パワーポイント&,,		語彙レ	義務的	意味明確化の	原文の不自然さに対する処理

				ベル		ため	
182	通訳 VJ05	は、あの、是非使って頂きたいです。		談話 レベル	任意的	目標 テキスト の自然さ のため	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
183	話者 JP05	はい、じゃ、使いますね。		x	x	x	x
184	話者 JP05	〈そして〉 { 〈 〉 【 【。		x	x	x	x
185	通訳 JV05	】】 〈Vâng〉 { 〉 }, như vậy thì chúng tôi sẽ sử dụng。		文法 レベル	義務的	意味 明確化 のため	主体の明示化
186	話者 JP05	えと、わたくしの、えと、我が社 の発表のこの内容の、原稿やパワ ーポイントですね、そういうよう なものは、いつまで用意したらいい ですか?。		x	x	x	x
187	通訳 JV05	Vâng, thì, mới lại, cho chúng tôi hỏi là cái nội dung của bài phát biểu và cái powerpoint thì bao giờ chúng tôi phải chuẩn bị xong nhỉ?。		談話 レベル	任意的	意味 明確化 のため	前置き表現の 活用
188	話者 VN05	Vâng, nếu có thể thì xin hãy gửi cho chúng tôi trước hai tuần để, à, chúng tôi sẽ cho người dịch sang tiếng việt từ sớm。	はい、できれば早め にベトナム語に翻訳 する人を手配するた めに、2週間前にお送 りください。	x	x	x	x
189	通訳 VJ05	うん、できれば、とう、セミナー の、2週間前,,		na	na	na	na
190	話者 JP05	2週間前。		x	x	x	x
191	通訳 VJ05	送って頂きたいと思います。		談話 レベル	任意的	目標 テキスト の自然さ のため	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
192	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
193	通訳 VJ05	ベトナム語に訳しますので。		談話 レベル	任意的	意味 明確化 のため	説明の追加
194	話者 JP05	あ、分かりました。		x	x	x	x

195	話者 JP05	そうすると、その、どなたに、渡せばいいんですか?。		x	x	x	x
196	通訳 JV05	Vâng, vậy thì tôi sẽ phải gửi cái tài liệu đó cho ai?。		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
197	話者 VN05	À, xin hãy gửi cho anh Mr Chiến, số điện thoại là 0902,232,083。	あ、チエンさんにお送りください、電話番号が0902232083です。	x	x	x	x
198	話者 VN05	Email là chienmpi@gmail.com。	Eメールはchienmpi@gmail.comです。	x	x	x	x
199	通訳 VJ05	[一所懸命メモしている]えと、はい(はい)、その担当者はチエンさんという人で(はい)、電話番号は(はい)0902(はい)、233(はい)、083(はい)です。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
200	通訳 VJ05	Eメールアドレス(はい)は、えと、chien(はい)mpi(はい)@(はい)gmail(はい). com。		na	na	na	na
201	話者 JP05	はい、分かりました。		x	x	x	x
202	話者 JP05	あの、すみませんが、今のチエンさんという方の携帯とEメールアドレスを先ほど私名刺渡しましたところに、私のメール書いてありますから、そこにすぐ送って頂けませんか?。		x	x	x	x
203	通訳 VJ05	あの、「話者JP05姓」さんにメールを送って〈ということですね〉{ }。		na	na	na	na
204	話者 JP05	〈そして〉{ } }チエンさんの携帯の番号と今のね、あの、Eメールアドレス(はい)(はい)、はい、お願いします。		x	x	x	x
205	通訳 JV05	Vâng, à, cái, ừm, vậy thì vừa rồi tôi&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
206	通訳 JV05	có đưa cho anh một cái danh thiếp thì, và không biết anh có thể gửi email trong đó ghi rõ tên và địa chỉ email của anh Chiến được không ạ?。		語彙レベル	義務的	意味明確化のため	性別の明示化
207	話者 VN05	Dạ vâng, chúng tôi sẽ gửi ngay。	はい、すぐに送ります。	x	x	x	x
208	話者 JP05	はい。		x	x	x	x

209	通訳 VJ05	じゃ、すぐ送ります。		文 法 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の た め	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
210	話者 JP05	はい、お願いします。		x	x	x	x
211	話者 JP05	そしてですね、私の発表のあとに 、質問とかあるんですか?。		x	x	x	x
212	通訳 JV05	Vâng, thì sau khi chúng tôi phát biểu xong thì liệu có, mọi người có đặt câu hỏi gì không?。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加
213	話者 VN05	Dạ vâng, sau bài phát biểu của công ty, thì sẽ có một số câu hỏi giữa các doanh nghiệp nước ngoài đang đầu tư ở Việt Nam đối với doanh nghiệp 「社名」 và các câu hỏi giữa các cái doanh nghiệp của nước ngoài đối với Bộ kế hoạch và đầu tư。	はい、会社の発表の あとに、ベトナムに 投資している外国企 業の「社名」に対す るいくつかの質問と 投資計画省に対する 外国企業の質問があ ります。	x	x	x	x
214	通訳 VJ05	うん、はい、あの、そうですね、 貴社&,,		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	目 標 テ キ ス ト の 自 然 さ の た め	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
215	通訳 VJ05	の発表の後には、ま、質問があり ます。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	原文の構成変 更
216	通訳 VJ05	あの、まず、えと、ベトナムに進 出してる(うん)、えーと、がい、あ の、外国の企業から(うん)、えと、 貴社に対する質問(はい)。		na	na	na	na
217	通訳 VJ05	で、もう一つは、えと、MPI[↑]に 対する質問です。		na	na	na	na
218	話者 JP05	分かりました。		x	x	x	x
219	話者 JP05	そうすると、えーと、会場から質 問が私の発表に対して、あるんで すね?、はい。		x	x	x	x
220	通訳 JV05	Vậy là, nghĩa là sau khi chúng tôi phát biểu xong&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意 味 明 確 化 の た め	説明の追加

221	通訳 JV05	thì mọi người sẽ đặt câu hỏi với nội dung phát biểu của chúng tôi đúng không?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
222	話者 VN05	Dạ vâng đúng rồi ạ。	はい、その通りです。	x	x	x	x
223	通訳 VJ05	はい、そうです。		na	na	na	na
224	話者 JP05	はい、そうすると、まずそれは、ほかの外国、日本、日本の企業じゃない外国の企業から、一つですね(うん)(うん)。		x	x	x	x
225	話者 JP05	もう一つは[↑]、MPIからですか?。		x	x	x	x
226	通訳 JV05	Ừm,vâng, vậy thì là sau khi chúng tôi phát biểu xong, thì có cái, những cái câu hỏi từ những cái doanh nghiệp nước ngoài không chỉ của Nhật Bản không mà còn của các cái doanh nghiệp nước ngoài khác nữa đúng không ạ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の不自然さに対する処理
227	話者 VN05	Dạ vâng đúng rồi ạ。	はい、その通りです。	x	x	x	x
228	通訳 JV05	Và một cái loại câu hỏi nữa là câu hỏi từ Bộ kế hoạch và đầu tư hay là thế nào ạ?。		語彙レベル	義務的	意味明確化のため	指示語の意味明確化のため
229	話者 VN05	Dạ, một loại câu hỏi thứ hai là giữa các doanh nghiệp dành cho à, bộ kế hoạch đầu tư。	はい、2番目の種類の質問は投資計画省に対する各企業のです。	x	x	x	x
230	話者 VN05	Cái này thì Bộ kế hoạch và đầu tư sẽ có sự chuẩn bị từ trước。	これは、投資計画省が事前の準備があります。	x	x	x	x
231	通訳 VJ05	うん、え、そうですね、もう一つの質問は、あの、外国の企業からえと、MPIに(あー)、あの、質問する、あの、に対する質問です。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
232	話者 JP05	あ、そうですか、それは、外国、そこにいる外国企業からMPIに〈対して〉 { 〈 〉 } 。		x	x	x	x
233	通訳 VJ05	〈MPIへの〉 { 〉 } 。		na	na	na	na
234	話者 JP05	はい、質問があるって。		x	x	x	x
235	通訳 VJ05	はい。		na	na	na	na
236	話者 JP05	私の質問に対しては?。		x	x	x	x
237	通訳	うーん?。		na	na	na	na

	VJ05						
238	話者 JP05	発表に対する質問は?、これはある んですか?。		x	x	x	x
239	通訳 VJ05	えー[質問が分からない様]。		na	na	na	na
240	話者 JP05	え、我が社が15分ほど、あの、発 表しますね。		x	x	x	x
241	話者 JP05	それに対する、その発表に対する 質問は(うん)あるんですか?。		x	x	x	x
242	通訳 JV05	[にこここ]Vâng, thì cho tôi hỏi một chút nữa&,,		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
243	通訳 JV05	là sau khi chúng tôi phát biểu trong vòng 15 phút thì là sẽ có câu hỏi đối với nội dung bài phát biểu của chúng tôi đúng không ạ。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成変 更
244	話者 VN05	Dạ vâng đúng rồi ạ。	はい、その通りです 。	x	x	x	x
245	通訳 VJ05	うん、ま、えと、き、貴社に、の はっ、貴社の発表への質問もあり ますね=。		談 話 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された情 報の復元
246	話者 JP05	=あ、はい、はい、分かりました、 はい。		x	x	x	x
247	話者 JP05	[ページをめくる音]えと、発表の時 間は15分ぐらい、ですね?、15分か ら20分。		x	x	x	x
248	話者 JP05	質問を合わせると、全部で何分ぐ らいですか?。		x	x	x	x
249	通訳 JV05	Vâng, nội dung bài phát biểu của tôi là khoảng từ 15 đến 20 phút đúng không ạ?=。		語 彙 レ ベ ル	任 意 的	意味 明確 化の ため	暗示された情 報の復元
250	話者 VN05	=Dạ vâng đúng rồi。	はい、その通りです 。	x	x	x	x
251	通訳 JV05	Thêm cả cái phần đặt câu hỏi nữa thì là tất cả là dự định khoảng bao nhiêu phút ạ?。		na	na	na	na
252	話者 VN05	À, có thể là sẽ diễn ra trong khoảng 30 phút là tối đa。	最大30分内に行われ ます。	x	x	x	x
253	通訳 VJ05	ま、えと、最大は30分です。		na	na	na	na
254	話者 JP05	あ、はい、分かりました。		x	x	x	x
255	通訳 JV05	Vâng, tôi hiểu rồi。		文 法 レ	義 務 的	意味 明確 化の	主体の明示化

				ベル		ため	
256	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
257	話者 JP05	はい、分かりました。		x	x	x	x
258	話者 VN05	Vâng。		x	x	x	x
259	話者 VN05	Nếu như mà không có câu hỏi nào nữa thì chúng ta có thể kết thúc buổi họp ngày hôm nay và cảm ơn bà 「話者JP05姓」 đã tới dự, tới dự。	もしほかの質問がなかったら、本日の打ち合わせをここで終わらせることができます、そして、「話者JP05」に出席して頂いてありがとうございます。	x	x	x	x
260	話者 VN05	À, đề cập tới vấn đề quà cảm ơn của hội thảo dành cho các doanh nghiệp sẽ diễn ra sắp tới, sẽ được, ờ, gửi đến các doanh nghiệp sau khi mà kết thúc hội thảo。	あ、今度行われるセミナーからの各企業に対するお礼について言いますと、セミナーが終わったあとに、各企業に送られます。	x	x	x	x
261	通訳 JV05	À, xin lỗi là cái gì, quà cảm ơn ạ?。		na	na	na	na
262	話者 VN05	=Quà cảm ơn dành cho 〈các doanh nghiệp, vâng〉 { 〈〉,,	各企業への謝礼です。	x	x	x	x
263	通訳 VJ05	〈à, quà cảm ơn〉 { } }。		na	na	na	na
264	話者 VN05	sẽ được gửi tới các doanh nghiệp sau mà hội thảo kết thúc。	セミナーが終わった後に、各企業に送られます。	x	x	x	x
265	通訳 JV05	Vâng。		na	na	na	na
266	通訳 VJ05	はい、じゃ、ご質問ございませんか?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
267	話者 JP05	えーと、そうですね、当日は...、シェラトンへ行くんですが、すみませんが、あの...、私の会社まで迎えに来てもらえませんか?。		x	x	x	x
268	通訳 JV05	Trước đó thì tôi, xin cho phép tôi có một cái câu hỏi là, &,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
269	通訳 JV05	hôm đó thì tôi sẽ phải phát biểu tại khách sạn Sheraton, đúng không ạ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更

270	話者 VN05	Dạ vâng。	はい。	x	x	x	x
271	通訳 JV05	Nhưng mà, à, không biết là bên phía Bộ kế hoạch và đầu tư có thể cho xe đến đón tôi đến khách sạn đó được không?。		談話 レ ベル	義 務 的	意味 明確 化の ため	説明の追加
272	話者 VN05	À, vâng, Bộ kế hoạch đầu tư có thể cho xe đến đón bà 「話者06姓」 đến thẳng khách sạn hoặc là bà 「話者JP05姓」 có thể đi bằng taxi mất khoảng 20 đến 30 phút từ trung tâm đến khách sạn 。	あ、投資計画省は「話者JP05姓」様をホテルに直接迎える車を手配することができますし、或いは、「話者JP05姓」様は中心部からホテルまでタクシーで20分から30分ぐらいで行けます。	x	x	x	x
273	通訳 VJ05	うん、はい、あの、MPIからあの一、車で迎えに、あの、ま、いけますけど(はい)、あの、行くこともいいし[ニコニコ](あはい)、そして「話者JP05姓」さんが直接タクシーで(うん)、あの、来ても構いません(あー)。		談話 レ ベル	任 意 的	意味 明確 化の ため	原文の構成変更
274	通訳 VJ05	あの、ハノイ中心部からそこまでは(はい)、30分、20分か30分かかります。		na	na	na	na
275	話者 JP05	はい、そうですね。		x	x	x	x
276	話者 JP05	では、シェラトンホテルは、場所は分かりますから、あじゃ、直接、はい、行きます。		x	x	x	x
277	通訳 JV05	À, vâng, thì tôi cũng biết cái vị trí của khách sạn rồi thì tôi sẽ tự đi đến đấy。		文法 レ ベル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
278	話者 VN05	[ニコニコ]Vâng, cảm ơn bà。	はい、ありがとうございます。	x	x	x	x
279	話者 JP05	はい。		x	x	x	x
280	通訳 VJ05	はい、じゃ、えと、もしご質問がないかったら‘なかったら’〈ごいませんでしたら、今日の〉{ 〈 } 【 。		na	na	na	na
281	話者 JP05	】 〉(はい、特にごいません) { 〉 }。		x	x	x	x
282	話者 JP05	はい、分かりました。		x	x	x	x
283	話者 JP05	じゃ、チエンさんの、あの、チエンさんの電話番号とえと、メールアドレスを必ず私の先渡したEメールアドレスに送って下さい。		x	x	x	x

284	話者 JP05	それだけです。		x	x	x	x
285	通訳 JV05	Tôi cũng không có câu hỏi gì nữa, chỉ là cái&,,		文 法 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
286	通訳 JV05	địa chỉ mail và số điện thoại của anh Chiến thì xin phía Bộ kế hoạch và đầu tư hãy gửi (vâng) email cho tôi ạ.		語 彙 レ ベ ル	義 務 的	意味 明確 化の ため	性別の明示化
287	話者 VN05	Dạ vâng.	はい。	x	x	x	x
288	通訳 VJ05	はい、じゃ、えー、もしご質問ございせんだったら(はい)、今日の打ち合わせ(はい)、ここで、終わらせていただきます。		na	na	na	na
289	通訳 VJ05	えーと【【。		na	na	na	na
290	話者 JP05	】】ありがとうございました。		x	x	x	x
291	話者 VN05	Thank you very much.	ありがとうございます。	x	x	x	x
292	通訳 VJ05	お礼は、えと、ま、発表...して(うん)頂きたい、頂きますので、お礼はセミナーのあとは、あ、直接,,		na	na	na	na
293	話者 JP05	あー、はい、恐れ入ります。		x	x	x	x
294	通訳 VJ05	貴社へ持っていきます。		na	na	na	na
295	話者 JP05	恐れ入ります。		x	x	x	x
296	通訳 JV05	Cám ơn ạ.		語 彙 レ ベ ル	義 務 的	目標 テキ スト の自 然さ のた め	聞き手に馴染みのある表現への変換

被験者06 通訳データ

発話番号	話者	発話内容	筆者が作成した越→日の直訳	活用レベル	必然性	利用目的	具体的な明晰化ストラテジー
1	話者 VN06	Xin chào bà, rất cảm ơn bà đã dành thời gian đến, dự cuộc họp ngày hôm nay.	こんにちは、本日の会議に出席するための時間をとって下さいまして、ありがとうございました。	x	x	x	x
2	通訳 VJ06	えと、本日起こし下さってありがとうございます。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
3	話者 JP06	こちらこそ。		x	x	x	x
4	通訳 JV06	Rất cảm ơn ông đã thu xếp thời gian để gặp chúng tôi trong buổi ngày hôm nay.		談話レベル	義務的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
5	話者 VN06	Vâng, cảm ơn bà.	はい、ありがとうございます。	x	x	x	x
6	話者 VN06	À mục đích của cuộc họp ngày hôm nay, chúng ta sẽ bàn bạc cụ thể về chi tiết của cuộc hội thảo và nội dung đối với phần phát biểu của bà 「話者06姓」 trong cái cuộc họp sắp tới.	本日の目的、私たちは今度のセミナーにおける「話者06姓」様の発表の内容について具体的、そして詳細に打ち合わせます。	x	x	x	x
7	通訳 VJ06	はい、えーと、本日の打ち合わせの目的なんですけれども(はい)&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
8	通訳 VJ06	えと、今回の会議があるのご存知ですよね??(はい)。		na	na	na	na
9	通訳 VJ06	え、今回の会議の内容と、えと、「話者06姓」さんのえー、ご発表の内容について、えと、詳しく、え、相談させていただきたいと思います。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さ	聞き手に馴染みのある表現への変換

						のため	
10	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
11	話者 VN06	Vâng, cuộc hội thảo tới đây sẽ được tổ chức tại khách sạn Sheraton, vào ngày 30 tháng 11 năm 2011。	はい、今度のセミナーシェラトンホテルで2011年11月30日に行われます。	x	x	x	x
12	話者 VN06	À, thời gian là từ 14 cho đến 17 giờ。	時間は14時から17時までです。	x	x	x	x
13	通訳 VJ06	はい、えと、今回の会議は、えと、シェラトンホテル、において、えーと、行われます(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
14	通訳 VJ06	えと、日程とじーかん‘時間’については(はい)、えーと11月の30日(はい)と、えと、じゅう午後2時から(はい)、5時まで(はい)、えと、行う予定です。		na	na	na	na
15	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
16	話者 VN06	Cuộc hội thảo tới đây sẽ có tên là 『Việt Nam, điểm đến của đầu tư vào thế kỉ 21, những cơ hội và thách thức mới』。	今度野セミナーは「ベトナムー21世紀の投資先-新しい機会とチャレンジ」という題名があります。	x	x	x	x
17	通訳 VJ06	はい、えーと、今回の会議の、えーと、タイトルは、えと、『ベトナムはにし、二十一世紀の、えーと進出、進出先、えと、チャンリング‘チャレンジ’とえー&,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
18	通訳 VJ06	これからのチャンス』...というタイトルです。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
19	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
20	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
21	話者 VN06	Xin hỏi bà 「話者06姓」 có những cái câu hỏi gì về...、liên quan đến hội thảo?。	「話者06姓」様にセミナーについて何か質問があるかお聞きしたいです。	x	x	x	x
22	通訳 VJ06	はい、えーと、今回の会議に関する(うん)何かご意見とか、えと、是非聞かせて下さい。		談話レ	任意的	目標テキスト	聞き手に馴染みのある表現への変換

				ベル		の自然さのため	
23	話者 JP06	はい、えーと、まず、セミナーの場所は(はい)、ちょっと、もう一度確認させていただきますね(はい)。		x	x	x	x
24	通訳 JV06	Trước hết là cho tôi xin xác nhận lại cái địa điểm của cái buổi seminar.		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
25	話者 VN06	Vâng, địa điểm buổi seminar sẽ được tổ chức ở tại khách sạn Sheraton.	はい、セミナーの場所はシェラトンホテルにおいて行われます。	x	x	x	x
26	話者 JP06	はい[通訳を待っている]。		x	x	x	x
27	通訳 VJ06	えー【【。		na	na	na	na
28	話者 VN06	】】 Số địa chỉ tại đường Nghi Tâm, quận Tây Hồ, cách trung tâm thành phố Hà Nội khoảng 20 đến 30 phút đi bằng taxi.	住所はタイホ区ギタム通りにあって、ハノイ都心からタクシーで20分から30分ぐらい離れています。	x	x	x	x
29	話者 JP06	はい、では、えーと、ちょっと確認させていただきますね。		x	x	x	x
30	話者 JP06	セミナーの場所はシェラトンホテル(はい)、はい、そして、		x	x	x	x
31	通訳 JV06	Ở khách sạn Sheraton như anh vừa nói.		na	na	na	na
32	話者 JP06	はい、日時は11月30日。		x	x	x	x
33	通訳 JV06	Và ngày thời gian đó là vào ngày 30 tháng 11,,		na	na	na	na
34	話者 VN06	Vâng đúng rồi ạ.		x	x	x	x
35	通訳 JV06	có đúng không ạ?.		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
36	話者 JP06	はい、で、2時から5時...<です>{<}??。		x	x	x	x
37	通訳 JV06	<Từ lúc 2 giờ>{>}đến 5 giờ đúng không ạ?.		na	na	na	na
38	話者 VN06	Vâng, đúng rồi ạ.		x	x	x	x
39	通訳 JV06	<2 giờ chiều>{>}đến 5 giờ chiều đúng không ạ?.		語彙	任意的	意味明確	説明の追加

				レベル		化のため	
40	通訳 VJ06	はい。		na	na	na	na
41	話者 JP06	はい、そして、このセミナーに参加する人数は大体どれぐらいですか?。		x	x	x	x
42	通訳 JV06	Ồ, có khoảng bao nhiêu người sẽ tham gia buổi seminar lần này ạ?		na	na	na	na
43	話者 VN06	À, buổi seminar lần này sẽ có khoảng 200 người tham gia.		x	x	x	x
44	通訳 VJ06	はい、えと、参加する人数は200名ぐらいです。		na	na	na	na
45	話者 JP06	はい、そして、そういう、どういふ方が多いですか、参加者は?。		x	x	x	x
46	通訳 JV06	Ừn, về xét về cơ cấu của những người tham gia thì sẽ là&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
47	通訳 JV06	những người, tức là thành phần như thế nào sẽ là đồng nhất ạ?。		語彙レベル	義務的	意味明確化のため	説明の追加
48	話者 VN06	À, tại hội thảo lần này thì...chủ yếu sẽ gồm có đại diện của Bộ kế hoạch đầu tư, đại diện của các ban ngành liên quan, cũng như đại diện của một số doanh nghiệp nước ngoài, ở tại Việt Nam.	あ、今回のセミナーでは、、、主に投資計画省、各関連官庁の代表者及びベトナムにおける外資企業の代表者が含まれます。	x	x	x	x
49	通訳 VJ06	はい、えーと、今回のセミナーに参加する人は(はい)、ベトナムの、えー、計画投資省(はい)の方々(んー)(んー)と、各、政府関連機関の(はい)の方々(はい)、と、えと、ベトナムにおける、にっ、えと、がいこく&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
50	通訳 VJ06	海外の(うん)企業の方々、はい、参加していただきます。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	複数の類義語の活用
51	話者 JP06	はい、<分かりました><{>。		x	x	x	x
52	話者 VN06	<Trong đó chủ yếu là các doanh nghiệp >>{>Nhật, đã đang và sắp đầu tư vào Việt Nam.	その中で、ベトナムに既に投資している、これから投	x	x	x	x

			資していく日系企業がメインです。				
53	通訳 VJ06	はい、えと、その中に(うん)、えと、ベトナムに投資した(うんうん)あるは‘あるいは’これから投資する(うん)日系企業の方々のほうが多いですね。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
54	話者 JP06	あ、分かりました、はい。		X	X	X	X
55	話者 JP06	《沈黙4秒》[通訳が話者06の発話を訳しなかったため、話者06は話者06が発話権を譲ったかどうか判断が付かなかった]<Xin hỏi bà>{<},,		X	X	X	X
56	話者 JP06	<はい、分かりました>{>}。		X	X	X	X
57	話者 VN06	「話者06姓」 với những thông tin ban đầu như vậy bà có nắm được vững về thời gian, địa điểm và số người tham gia cũng như thành phần tham gia chưa ạ?。	概要的な情報ですが、あなたは時間、場所及び出席者についてご把握できましたでしょうか。	X	X	X	X
58	通訳 VJ06	はい、えーと、今までの、えー、セミナーに関する情報に[↑]については&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
59	通訳 VJ06	何か...、えー、ご意見とかご質問があるんですか?、あるいはもう全部詳しく分かり【【。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
60	話者 JP06	【】 あ、はい、分かりました=。		X	X	X	X
61	話者 JP06	=まず、このセミナーはえと、ベトナム21世紀の進出先(はい)、そのチャレンジ(はい)とチャンス(はい)というセミナーですね(はい)。		X	X	X	X
62	話者 JP06	はい、分かりました。		X	X	X	X
63	通訳 JV06	Vậy thì tôi xin xác nhận <lại một lần nữa đó là cái>{<},,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
64	話者 JP06	<納得です>{>}。		X	X	X	X
65	通訳 JV06	tên, tên của buổi seminar đó là, à, 『Việt Nam, điểm đến của thế kỷ 21 và những cái cơ hội và thách thức』 ??。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更

66	通訳 JV06	Tôi xin xác nhận lại một lần nữa như vậy thôi。		談話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	反復
67	話者 VN06	Vâng(はい)、vậy thì chúng tôi xin được chính thức đưa ra lời đề nghị, nhờ bà 「話者06姓」 sẽ có một cái buổi phát biểu, sẽ một bài phát biểu tại cái hội thảo tới。	はい、それでは、私たちは「話者06姓」様に今度のセミナーにおいて発表することを正式に依頼したいです。	x	x	x	x
68	話者 VN06	Ồ, với lý do rằng、à, doanh nghiệp 「社名」 là một doanh nghiệp đã có một cái kinh nghiệm lâu dài với 15 năm kinh nghiệm đầu tư vào Việt Nam、là một trong số những doanh nghiệp Nhật Bản đầu tiên đầu tư、thành công ở tại Việt Nam、sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 sẽ rất có ích cho các khách mời đến tham dự hội thảo。	「社名」はベトナムへ投資した15年の経験もあって、ベトナムで投資して成功した初めての日系企業の一つでもあるという理由で、「社名1」の経験共有は今度のセミナーに参加する人に大変役立ちます。	x	x	x	x
69	通訳 JV06	À, em xin được, à, em xin hỏi lại anh một chút là, à, cô 「話者06姓」 đây là đóng vai trò như thế nào trong doanh nghiệp 「社名」 ă?。		na	na	na	na
70	話者 VN06	Là người đại <diện phát biểu>{<},,	代表して発表する人です。	x	x	x	x
71	通訳 JV06	<Là người>{>}、là người đại diện phát biểu đúng không ă?。	発表の代表者ですね?。	na	na	na	na
72	話者 VN06	phát biểu cho doanh nghiệp 「社名」 trong cuộc hội <thảo tới>{<}。	今度のセミナーで発表します。	x	x	x	x
73	通訳 JV06	<Vâng, em hiểu>{>}rồi、vâng。	はい、分かりました、はい。	na	na	na	na
74	通訳 JV06	Rồi em cảm ơn。	ありがとうございます。	na	na	na	na
75	通訳 VJ06	はい、えーと、今までは、えーと、ベトナムにえーと、進出するとか進出している日系企業は多いですけども(はい)&,,		談話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
76	通訳 VJ06	確かに御社が長い時間(はい)、えーと、ベトナムに、えーと、はじめ、初めて(うん)、えー、えー、ベトナムに進出しつ、した、えーと、企業の一つですので(はい)、えーと、歴史とか経験も深い(うん)企業だと		談話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	原文の構成変更

		(うん)存じますので、今回のセミナーには、え、是非、えー、ご発表、お願いしたいと思います。					
77	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
78	通訳 VJ06	で、お、御社を代表して「話者06姓」さんのご発表は&,		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
79	通訳 VJ06	是非参加者に対して(はい)、えと、良い経験を与えたいと思います。		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	程度副詞の付 加
80	話者 JP06	はい、はい、了解しました。		x	x	x	x
81	通訳 VJ06	はい。		na	na	na	na
82	話者 JP06	させていただきます。		x	x	x	x
83	通訳 JV06	Xin ông, chúng tôi rất là vui khi được tham dự cái, được phát biểu trong cái buổi , seminar lần tới.		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
84	話者 VN06	Vâng, cảm ơn bà[にこにこ]。		x	x	x	x
85	話者 JP06	はい、では、はい【【。		x	x	x	x
86	話者 VN06	】】 Xin hỏi bà 「話者06姓」 có các cái câu hỏi gì về cái... cơ cấu cũng như các cái... giai đoạn của , cái buổi hội thảo tới?。	「話者06姓」様は今度のセミナーの構成と各段階について何か質問がありますか。	x	x	x	x
87	通訳 VJ06	はい...、えーと、今回のセミナーの(んー)、えと、アジェンダーについて&,		語彙 レベル	義務的	意味 明確化の ため	原文の不自然さに対する処理
88	通訳 VJ06	(んー)質問などは...あるんですか?。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの 自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
89	話者 JP06	そうですね、まず、私‘わたくし’のあの、依頼の発表のね、内容は、もう少し(んー)、説明して下さい。		x	x	x	x

90	通訳 JV06	À, ông có thể cho chúng tôi, cho tôi biết kĩ hơn về cái nội dung mà phát biểu, cái bài phát biểu của tôi trong cái buổi seminar。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
91	話者 VN06	Dạ vâng, à, trong buổi seminar tới, nội dung sẽ gồm có 3 phần chính。	はい、今度のセミナーは内容は3つの主な内容があります。	x	x	x	x
92	話者 VN06	Một, là xu hướng đầu tư ở tại Việt Nam, 《少し間》 trong đó chủ yếu là tập trung trong các lĩnh vực chế tạo, lắp ráp(んー)。	第1部分はベトナムへの投資傾向で、投資は製造、組み立てに集中されています。	x	x	x	x
93	話者 VN06	Phần này sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư, tức là phía chúng tôi phát biểu(んー)。	この部分は投資計画省代表、つまり私たち側が発表します。	x	x	x	x
94	話者 VN06	Phần hai các chính sách mới của chính phủ Việt Nam nhằm thu hút đầu tư nước ngoài, ví dụ như là miễn thuế thu nhập doanh nghiệp, trong một thời gian nhất định, tùy từng tính chất và quy mô dự án, miễn phí tiền thuê đất đối với các dự án công như là cung cấp điện và nước(んー)。	第2部分は外国の投資を誘致するためのベトナム政府の新政策で、例えば、一定期間中事業の性質と規模によって、法人税を免除したり、給水、給電のような公的な事業には土地税を免税したりする政策とかです。	x	x	x	x
95	話者 VN06	Chính sách mới này sẽ được công bố vào năm 2012 theo dự kiến。	この新政策は、予定では、2012年に発表されます。	x	x	x	x
96	話者 VN06	Thì phần này cũng sẽ do đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư, tức là phía chúng tôi phát biểu(んー)。	この部分も投資計画省の代表が発表します。	x	x	x	x
97	話者 VN06	Phần thứ ba, là môi trường đầu tư ở tại Việt Nam từ cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản, các khó khăn, thử thách, những lợi thế so với các doanh nghiệp khác。	第3部分は日系企業、ここで具体的に言えば「社名」の目から見たベトナムにおける投資環境で、ほかの国と比べての困難、チャレンジとメリットです。	x	x	x	x
98	話者 VN06	Phần này sẽ do doanh nghiệp 「社名」 của bà 「話者06姓」、phụ trách, và phát biểu。	この部分は「社名」、「話者06姓」様によって担当で発表されます。	x	x	x	x
99	通訳 VJ06	はい、まずはですね&,,		談	任意的	意味	接続詞の付加

				話 レ ベル		明確 化の ため	
100	通訳 VJ06	(はい)、今回のセミナーのアジェンダー(はい)、えと、概要(はい)についてごしょう、紹介させていただきたいと,思います。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
101	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
102	通訳 VJ06	で、今回のセミナーですね(んー)、三つの部分に分けます。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の活用
103	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
104	通訳 VJ06	まずは(はい)、えーと、えー、ベトナムの計画投資省の(はい)方々の(はい)、ベトナム(うん)に[↑]、投資、の傾向(うん)についてのご発表があるんですね(はい)。		na	na	na	na
105	通訳 VJ06	はい、それが、確かに、今ベトナムに投資する企業は多いですけども(はい)、え、主にせいそう‘製造’(うん)とか、えー、組み立て(はい)、と、の分野に、え、投資するき、日系企業が多いです&,、		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
106	通訳 VJ06	(はい)ので、今回は、えと(はい)、ベトナムの計画投資省の方々にお願い(うんうんうん)して、この傾向について発表して(はい)頂きます(はい)。		na	na	na	na
107	通訳 VJ06	で、えと、二つ目は、はい、今は、えーと、外国投資の誘致(うん)を、え、誘致するために(はい)、ベトナム政府も新対策(はい)、えと、今作成するん...ですけどもはい、で、今回はこの新政策がえーと、日系企業とかベトナムにおける海外の企業に与えると思いますので(はい)&,、		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
108	通訳 VJ06	それが、その発表もベトナムのえー、計画投資省の方々が(んー)えと、発表して頂きます。		語 彙 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	暗示された情報の復元
109	話者 JP06	はい。		x	x	x	x

110	通訳 VJ06	で、もうちょっと具体的に言う と(はい)&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	前置き表現の 活用
111	通訳 VJ06	それが&,,		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	指示語の付加
112	通訳 VJ06	ベトナム政府のその、しん、 新政、新対策は何かという(は い)&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	原文の構成変 更
113	通訳 VJ06	これが企業のえーと(んー)、収 入の、えーと、関税を、(んー) 免税になるという、など、の 、えーと、対策があるんですね (はい)(はい)(はい)(はい)。		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
114	通訳 VJ06	で、その、その対策が2012年 にえーと、発表されると、え ー、思いすが(はい)、今回、 今回も、えー、計画投資省の 方々のご発表も(はい)お願いし ました(はい)。		na	na	na	na
115	通訳 VJ06	はい、で、三つ目は、えー、 日系企業から見るベトナム投 資環境という(ふん)(ふん)(ふん) (ふん)発表なんですけども、 その発表は「話者06姓」さん に今お願いしたいと思います 。		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	原文の構成変 更
116	話者 JP06	あー[分かってきたような様子] 。		x	x	x	x
117	通訳 VJ06	はい。		na	na	na	na
118	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
119	通訳 VJ06	で、例えば、今御社がベトナム に投資しているんですけども (はい)、で、日系企業の、え ー、の立場とか(はい)、の目か ら見ると(はい)、ベトナムに投 資するときは、ほかの日系企 業と比べて何か(んー)、えーと 、チャレンジとか、困難なこ ととか、メリットとか(はい)、 デメリットとか(はい)[ゆっく り一点一点通訳する]というこ とをえと&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
120	通訳 VJ06	是非&,,		語彙	任意的	意味 明確	程度副詞の付 加

				レベル		化のため	
121	通訳 VJ06	はっ、ご発表頂きたいと思います。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	反復
122	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
123	話者 JP06	はい、そうしますと、セミナーで私が発表するのは、日系企業から見たベトナム投資の、メリット、デメリット、そういうことですね。		x	x	x	x
124	通訳 VJ06	あ、すみません[早口で言う]、それはちょっと違うと思いますけど。		na	na	na	na
125	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
126	通訳 VJ06	それは,,		na	na	na	na
127	話者 JP06	うん[↑]?違いますか?。		x	x	x	x
128	通訳 VJ06	日系企業から見た(はい)、えーと、に、(うん)ベトナムの(うん)投資し,,		na	na	na	na
129	話者 JP06	投資。		x	x	x	x
130	通訳 VJ06	環境(うん)(うん)について,,		na	na	na	na
131	話者 JP06	そうですね。		x	x	x	x
132	通訳 VJ06	はい、についてという、えーと...という内容なんですけども(はい)&,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	暗示された情報 の復元
133	通訳 VJ06	その中に(うん)、例えば、えと、御社がベトナムに投資したときは、何か困難なことが...あったのか(ええ)、何かどんな、えーと、自分も得意なことがあるんですけども(うん)(うん)、ベトナムに投資したら「このような困難が、ありましたよ」というようなえーと、内容を、えと、お願いしたいと思います。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
134	話者 JP06	あ、ちょっともう一度確認させていただきますね。		x	x	x	x
135	話者 JP06	わが社が当日発表するのは、日系企業から見たベトナム、		x	x	x	x

		の投資環境，ですね(うん)(うん)。					
136	話者 JP06	その投資環境が日系企業にとってはどうか、特にわが社にとっては、どうであったか(うん)、ということを，発表するんですね(うん)。		X	X	X	X
137	通訳 JV06	À, tôi xin được xác nhận một lần nữa&,,		文法レベル	義務的	意味明確化のため	主体の明示化
138	通訳 JV06	về cái nội dung mà chúng tôi sẽ phát biểu trong lần tới。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
139	通訳 JV06	Thì, theo tôi được hiểu thì là&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
140	通訳 JV06	tôi sẽ phát biểu cái bài, với cái nội dung là cái môi trường đầu tư của Việt Nam dưới cái nhìn của doanh nghiệp Nhật Bản, mà cụ thể là dưới, doanh nghiệp 「社名」 chúng tôi。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
141	通訳 JV06	Thế trong cái bài phát biểu đó thì chúng tôi sẽ nêu ra các nội dung ví dụ&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の構成変更
142	通訳 JV06	như là chúng tôi đã đầu tư vào Việt Nam, và cái ở, đặc điểm là chúng tôi có những cái, ừ, chúng tôi đã gặp những vấn đề như thế nào hoặc là, môi trường Việt Nam đối với cách nhìn của doanh nghiệp chúng tôi là một cái môi trường như thế nào。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
143	話者 VN06	Vâng。	はい。	X	X	X	X
144	通訳 JV06	Ông, ông có thể xác nhận giúp chúng tôi là (dạ vâng), như thế có đúng không ạ?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
145	話者 VN06	Vâng, về cái nội dung thì chúng tôi cũng có một số các cái gợi ý để cho doanh nghiệp phát biểu trong cái bài hội thảo sắp tới。	はい、内容については、私たちが今度のセミナーにおいて企業が発表する内容のいくつかのすすめ（提案	X	X	X	X

			）があります。				
146	話者 VN06	Thị doanh nghiệp có thể phát biểu, về cái thứ nhất, đó là giới thiệu khái quát (うん) về doanh nghiệp, 「社名」 ở tại Việt Nam。	企業は、一つ目、それは、ベトナムにおける「社名」の企業概要について発表できます。	x	x	x	x
147	話者 VN06	Phần thứ hai là những cái khó khăn ban đầu mà doanh nghiệp gặp phải khi đầu tư ở tại Việt Nam(うん)。	二つ目は、企業がベトナム市場に進出したときの初期の困難です。	x	x	x	x
148	話者 VN06	Phần thứ ba là các biện pháp và đối sách nhằm vượt qua khó khăn đó (うん)。	三つ目は、当時の困難を乗り越えるための措置と対策です。	x	x	x	x
149	話者 VN06	Phần thứ tư là những khó khăn mà còn tồn tại với doanh nghiệp。	四つ目は、企業にとってまだ残っている困難です。	x	x	x	x
150	話者 VN06	Và phần thứ năm là thuận lợi và ưu thế của môi trường đầu tư ở tại Việt Nam。	五つ目は、ベトナムにおける投資環境のメリットと優勢です。	x	x	x	x
151	話者 VN06	Phần thứ sáu là kiến nghị của doanh nghiệp 「社名」 đối với chính phủ Việt nam 。	そして、六つ目、最後はベトナム政府に対する企業の提議です。	x	x	x	x
152	話者 VN06	《少し間》 Doanh nghiệp có thể trình bày theo cái ý đó, từ gợi ý của Bộ kế hoạch và đầu tư(うーん)。	企業は投資計画省の勧め(提案)に基づきご発表頂きます。	x	x	x	x
153	通訳 VJ06	えと、えー、われわれはえと、今回のセミナーに、おける、「話者06姓」さんのご発表について&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
154	通訳 VJ06	ま、もうちょっと、なんか詳しく&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	程度副詞の付加
155	通訳 VJ06	提案させて(はい)頂きたいと思います(はい)。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
156	通訳 VJ06	それは提案だけですけれども、是非ご検討頂きたいと思います(はい)(はい)。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加

157	通訳 VJ06	えと、発表の内容ですけれども(はい)&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
158	通訳 VJ06	例えば、かしや‘会社’概要(はい)、はい(はい)、御社の会社概要と(はい)(はい)。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	反復
159	通訳 VJ06	で、もう一つは、えーと、初めてベトナムに投資したときにどんな困難なことにあったのか(はい)(はい)という、えと、二つ目の(はい)ことですね(はい)。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	原文の構成変 更
160	通訳 VJ06	で、三つ目が(うん)、その困難を乗り越えるために(うん)、ま、どんな対策が、えー、したのか(はい)ということも(んー)(んー)&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	原文の構成変 更
161	通訳 VJ06	ご発表して頂きたいと思いま すね(はい)。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	暗示された情 報の復元
162	通訳 VJ06	で、次はえ、今まで何か課題、はい、今、えー、今まだ課題も(んー)(んー)(んー)(んー)ま、いろいろな問題もあるんですけれども(はい)、えー、えと、今御社にとっては(はい)、ま、どんな課題が、大きなのか、どんな課題が、えー、えと、解決しないといけないのか(はい)(はい)ということも(はい)ご発表して頂きたいと思いま す(はい)、はい。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
163	通訳 VJ06	次は、ベトナムに投資するときは、どんなえーと、えー、良いこと(んー)、良いこととか(はい)、えーと、ほかの国に比べて(んー)(んー)どんな...えー、ことー、(んー)なんか良いのかなんか投資しやすいなどのことについても、はい、是非よろし、宜しければ発表してっ...下さい。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
164	話者 JP06	はい。		X	X	X	X
165	通訳 VJ06	で、最後なんですけども(はい)&,,		談話 レ	任意的	意味 明確 化の	前置き表現の 活用

				ベル		ため	
166	通訳 VJ06	で、今後は政府に対する(んー) 何か意見とかこの対策をして もらいたい、とか(んー)(んー)(んー)という意見があれば...。		語 彙 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
167	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
168	話者 JP06	ちょっと確認しますね。		x	x	x	x
169	通訳 VJ06	はい。		na	na	na	na
170	話者 JP06	はい、まず、えと、<わが社の 発表>{<},,,		x	x	x	x
171	通訳 JV06	<Bà ý muốn xác nhận lại>{>}。		文 法 レ ベル	義務的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
172	話者 JP06	発表について確認させて頂き ます(うん)。		x	x	x	x
173	通訳 JV06	Chúng tôi xin được xác nhận lại những cái nội dung mà ông vừa đưa ra đề án&,,		文 法 レ ベル	義務的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
174	通訳 JV06	gọi là đưa ra một cái gợi ý cho chúng tôi。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
175	話者 JP06	まず、発表の中に入れること は、まずわが社の概要(んー)、 はい、ですね。		x	x	x	x
176	通訳 JV06	Vâng, cái nội dung đầu tiên mà chúng tôi có thể giới thiệu trong bài phát biểu đó là cái giới thiệu về công ty。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
177	話者 VN06	Vâng, đúng rồi ạ。	はい、そうです。	x	x	x	x
178	話者 JP06	はい、そして、初めて投資し たときの、問題、困難(うん)、 それそうですね??(あ)、はい。		x	x	x	x
179	通訳 JV06	Và những cái khó khăn ban đầu khi mà đầu tư vào Việt Nam ạ=。					
180	話者 VN06	=Vâng, được rồi ạ。		x	x	x	x
181	話者 JP06	はい、そして、三つ目は、そ れを乗り越えるために、どう いう対策をとってきたか(うん) 、それそうですね(あ)??。		x	x	x	x

182	通訳 JV06	Và để vượt qua những khó khăn ban đầu đó&,,		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	指示語の意味 明確化
183	通訳 JV06	thì chúng tôi đã có những biện pháp như thế nào (vâng)&,,		文法 レベル	義務的	意味 明確化の ため	主体の明示化
184	通訳 JV06	thì đó là nội dung tiếp theo chúng tôi sẽ trình bày。		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	暗示された情 報の復元
185	話者 JP06	そして、今までの課題は何であつたか??(うん)。		x	x	x	x
186	通訳 JV06	Và cho tới thời điểm này hay từ trước đến nay&,,		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
187	通訳 JV06	chúng tôi đã có những cái vấn đề&,,		文法 レベル	義務的	意味 明確化の ため	主体の明示化
188	通訳 JV06	<những khúc mắc、 vướng mắc như thế nào>{<}&,,		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	複数の類義語 の活用
189	話者 VN06	<Vâng、 chính xác、 vâng>{>}&,,		x	x	x	x
190	話者 JP06	はい、そして、次はベトナム国へ投資する際のメリット何か、よその国に比べて、どんなメリットがあるか、ですね??(んー)、はい。	はい、その通りです、はい。	x	x	x	x
191	通訳 JV06	Cái phần này thì em, bà ý nói là、 cái phần số năm thì sẽ là cái phần mà chúng tôi sẽ à, đề đạt, đó là khi mà đầu tư vào Việt Nam thì sẽ có (ừ hử) những cái lợi điểm như thế nào&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	前置き表現の 活用
192	話者 VN06	Dạ vâng đúng rồi。	はい、そうです。	x	x	x	x
193	通訳 JV06	lợi điểm thế nào。		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	反復

194	通訳 JV06	Thì đây, e, em xin được xác nhận lại là cái lợi điểm như thế này là lợi điểm đối với Việt Nam hay là khi một doanh nghiệp nước ngoài đầu tư vào Việt Nam thì so với các quốc gia khác, Việt Nam có những lợi thế hơn?。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
195	話者 VN06	Vâng, đối với doanh nghiệp đó khi đầu tư ở Việt Nam thì họ sẽ có những cái lợi thế gì。	そのような企業がベトナムに進出した時にどんなメリットがあるか。	x	x	x	x
196	通訳 VJ06	うーん、すみません、えーと、えーと、ま、五番目のについても、もうちょっとせつ、詳しく(はい)説明させていただきたいと思いますが(はい)(はい)&,。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の活用
197	通訳 VJ06	えーと、五番目のほうが(うん)、えーと、ベトナムに投資した企業にとって(はい)、ベトナムの市場は(んー)、えと、どんな良いものとか(んー)、ベトナム政府、例えばですね、ベトナム政府も(はい)、支援してくれて(うん)、えと、ま、これから、もっともっと投資していきたいということなど...<ですね>{<}。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
198	話者 JP06	<あ、分>{>}かりました、はい。		x	x	x	x
199	通訳 VJ06	で、御社にとっては、ベトナム市場はどんな良いものとか、なんか、ま、どんな対策をま、与えて、ま、もらったのか(はい)ということ、ま、ご発表させて頂きたい。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
200	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
201	話者 JP06	そしたら、ここは中心になりますね。		x	x	x	x
202	話者 06	わが社がベトナムに投資してきた、そのメリット(はい)、よその国と比べて、どうであったか(はい)、ということね、はい、それを中心にですね??、はい。		x	x	x	x

203	通訳 JV06	Vậy thì bà ý sẽ muốn nhấn mạnh vào cái phần năm này&,,	では、彼女はこの5番目の部分に重点を置きたいですが、それは、我々がベトナムに投資したときには、ベトナムがどういうメリットがあるか、それによって、こんなに国に良く投資できたかということです。	語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	指示語の意味 明確化
204	通訳 JV06	đó là khi mà chúng tôi đầu tư vào Việt Nam thì chúng tôi thấy được rằng Việt Nam đã có những, có những cái lợi điểm như thế nào, mà giúp chúng tôi đầu tư được vào (vâng) (vâng)tốt vào đất nước như vậy (vâng)。		談話 レベル	任意的	意味 明確化の ため	説明の追加
205	話者 VN06	Như vậy thì quá tốt ạ。		x	x	x	x
206	話者 JP06	はい、そして、最後には、政府、ベトナム政府に対する意見とか要望があれば、それを...加えるということですね。		x	x	x	x
207	通訳 JV06	Và ý thứ sáu là nhắc lại cái ý mà, mà anh vừa nói, đó là, cái à,&,,		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	指示語の意味 明確化
208	通訳 JV06	có những kiến nghị đề xuất gì đó mong mọi gì với chính phủ Việt Nam thì cũng sẽ được đề xuất vào cuối (vâng) nội dung bài phát biểu。		語彙 レベル	任意的	意味 明確化の ため	複数の類義語 の活用
209	話者 VN06	Vâng, đúng rồi ạ。		x	x	x	x
210	通訳 VJ06	はい(はい)、その通りです。		na	na	na	na
211	話者 JP06	はい、えと、では、当日の発表を了解しました。		x	x	x	x
212	通訳 JV06	À、tôi đã hiểu được nội dung của bài phát biểu trong buổi tới(はい)。		文法 レベル	義務的	意味 明確化の ため	主体の明示化
213	話者 VN06	Vâng。		x	x	x	x
214	話者 JP06	で、少し確認したいことがあります。		x	x	x	x
215	通訳 JV06	ん、cho tôi muốn xác nhận lại một... chút (vâng), một vài nội dung。		文法	義務的	意味 明確	主体の明示化

				レベル		化のため	
216	話者 JP06	はい、私の発表時間はどれぐらいが、いいでしょうか？。		x	x	x	x
217	通訳 JV06	ん、cái bài phát biểu của tôi có thể kéo dài trong bao lâu thì phù hợp với cái buổi seminar ạ？。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
218	話者 VN06	Bởi vì trước bà thì có hai cái à, phát biểu, của Bộ kế hoạch và đầu tư, thế cho nên bà có thể phát biểu, à, trong thời lượng từ 15 cho đến 20 phút, bắt đầu từ 3 giờ 30 phút chiều。	あなたの前に、投資計画省の2つの発表があるので、あなたは午後3時30分から15分～20分ぐらい発表できます。	x	x	x	x
219	通訳 JV06	3 giờ 30 phút chiều, đúng không anh？。		na	na	na	na
220	通訳 VJ06	えと、えーと、え、今回のセミナー(はい)の発表なんですけども(はい)&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の活用
221	通訳 VJ06	「話者06姓」のご発表は(はい)、午後の3時半,,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	原文の構成変更
222	話者 JP06	3時半から??、はい。		x	x	x	x
223	通訳 VJ06	始まる予定ですので(はい)、えと、前は、えーと、ベトナムの、え、計画投資省の方々のご発表もあるんですので(はい)、たぶん15分とか20分...ぐらいで,,		na	na	na	na
224	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
225	通訳 VJ06	お願いしたいと思います。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
226	話者 JP06	そして、2時からセミナーが始まりますね。		x	x	x	x
227	通訳 JV06	Buổi phát biểu sẽ bắt đầu vào lúc 2 giờ đúng không ạ？。		文法 レベル	義務的	意味 明確 化の ため	主体の明示化

				ル			
228	話者 VN06	Dạ vâng, đúng rồi ạ.	はい、そうです。	x	x	x	x
229	話者 JP06	そして、私は3時半から15分ぐらい(はい)、ということですね?、はい。		x	x	x	x
230	通訳 JV06	Và, bài phát biểu của tôi thì sẽ bắt đầu từ lúc 3 rưỡi, trong khoảng 15 phút có được không ạ?.		語彙 レベル	義務的	意味 明確 化の ため	主体の明示化
231	話者 N06	Dạ vâng đúng rồi ạ, vâng.		x	x	x	x
232	話者 JP06	分かりました=.		x	x	x	x
233	話者 JP06	=そうすると、これは日本語で宜しいんですか、発表は?英語がいいんですか?.		x	x	x	x
234	通訳 JV06	Tôi sẽ phát biểu bằng tiếng Nhật hay tiếng Anh thì sẽ tiện hơn? =.		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	原文の構成変更
235	話者 VN06	=À, xin bà hãy dùng tiếng Nhật.	あ、日本語をお使い下さい。	x	x	x	x
236	話者 VN06	Chúng tôi sẽ bố trí phiên dịch trong cabin.	私たちはブースでの通訳を手配します。	x	x	x	x
237	通訳 VJ06	はい、日本語のご発表お願いします=.		談話 レベル	任意的	目標 テキスト の自然さ のため	聞き手に馴染みのある表現への変換
238	話者 JP06	=はい、分かりました。		x	x	x	x
239	通訳 VJ06	通訳を用意しますので。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
240	話者 JP06	はい、お願いします。		x	x	x	x
241	話者 JP06	そして、えーと、発表は15分ぐらい、これは、パワーポイントは、使えるんでしょうか?.		x	x	x	x
242	通訳 JV06	Chúng tôi có thể sử dụng&		文法 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	主体の明示化

243	通訳 JV06	trình chiếu bằng slide không ạ?。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
244	話者 VN06	Dạ vâng, xin hãy sử dụng power point, như là một cái công cụ để trình chiếu, ở tại hội thảo。	はい、セミナーで映すためのツールとしてパワーポイントをお使い下さい。	x	x	x	x
245	通訳 VJ06	えと、パワーポイントをお願いします。		談話 レベル	任意的	目標 テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
246	話者 JP06	そうですね、えと、15分ぐらいでしたら、パワーポイントを使ったほうがいいですね(はい)。		x	x	x	x
247	通訳 JV06	Thế bây giờ, đúng là chúng tôi chỉ phát biểu 15 phút thôi mà sử dụng power point thì tôi nghĩ là hiệu quả cái bài phát biểu sẽ được nâng cao。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
248	話者 VN06	Vâng 【 。		x	x	x	x
249	話者 JP06	】 】そして、この、発表の後に質問あるんですか?。		x	x	x	x
250	通訳 JV06	うん、sau cái bài phát biểu của tôi thì tôi xin hỏi là có cái phần, ví dụ như hỏi đáp hay không?。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
251	話者 VN06	À, vâng, sau bài phát biểu thì sẽ có một số cái phần thảo luận, giữa, à, doanh nghiệp 「社名」 và một số doanh nghiệp khác đang à, đầu tư ở tại Việt Nam。	はい、発表の後に話し合い（質疑応答の意味合い）があって、え、「社名」とベトナムに投資している他の企業との話し合いです。	x	x	x	x
252	通訳 JV06	Em, em xin hỏi lại là, thảo luận với ai ạ, giữa các doanh nghiệp với nhau hay là thảo luận giữa các vị đại biểu của Bộ kế hoạch và đầu tư và doanh nghiệp ạ?。		na	na	na	na
253	話者 VN06	À, thảo luận giữa các doanh nghiệp với nhau。	各企業間の話し合いです。	x	x	x	x
254	通訳 JV06	giữa các doanh nghiệp。		na	na	na	na
255	話者 VN06	Vâng。		x	x	x	x

256	通訳 VJ06	えと、ご発表の後に、各日系企業の間は、え、の相談がある予定なんですね。		na	na	na	na
257	話者 JP06	はい。		x	x	x	x
258	通訳 VJ06	発表が終わってから、たぶん質問もあるかもしれません。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
259	話者 VN06	Và giữa các doanh nghiệp với đại diện của Bộ kế hoạch và đầu tư.	そして、企業と投資計画省との間です。	x	x	x	x
260	通訳 VJ06	はい、で、各日系企業も一緒に相談して、あとは、ベトナムの計画投資省と日系企業との相談も(うん)あるんですね。		na	na	na	na
261	話者 JP06	そうすると、質問が...,		x	x	x	x
262	通訳 JV06	Thế thì có,,		na	na	na	na
263	話者 JP06	当社に対して質問がありますね。		x	x	x	x
264	通訳 JV06	thế thì lại là, cái câu hỏi, tôi xin hỏi lại cái câu hỏi (うん)&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
265	通訳 JV06	sẽ có câu hỏi về bài phát biểu của tôi hay không, hay chỉ đơn thuần đó là một cái buổi là để sau bài phát biểu của tôi là chấm dứt và dẫn đến, và, và dẫn đến một cái phần tiếp theo là phần, tức là thảo luận chung với nhau thôi?, hay là mọi người có quyền đặt câu hỏi cho bài phát biểu của tôi?.		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
266	話者 VN06	À, sau đó thì các câu hỏi sẽ là từ các doanh nghiệp đối với Bộ kế hoạch và đầu tư(うーん) chứ còn sau khi phát biểu xong thì có, đã có thể xong rồi.	その後の質問は投資計画省への企業からの質問でs、発表が終わったら、基本的には終わりです。	x	x	x	x
267	通訳 VJ06	あ、はい、ご発表の後は、ご質問がないと思います。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の不自然さに対する処理

268	話者 JP06	あ、質問はないですね=。		x	x	x	x
269	通訳 VJ06	’はい、「話者06姓」さん のご発表に対する質問はない と思います=。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	反復
270	話者 JP06	= あ、分かりました、はい(はい)。		x	x	x	x
271	話者 JP06	そしたら、質問は受け付け ないということですね。		x	x	x	x
272	通訳 VJ06	はい。		na	na	na	na
273	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
274	通訳 JV06	Bà ý xác nhận lại là sẽ không có cái câu hỏi, cho bài phát biểu của,,		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
275	話者 VN06	Dạ vâng, đúng rồi ạ。	はい、そうです。	x	x	x	x
276	通訳 JV06	bà 「話者06姓」 đây。		語 彙 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
277	話者 JP06	そしたら、その、日系企業 との相談というのは、何で すか?。		x	x	x	x
278	通訳 JV06	Lúc trước thì ông có nói là&,,	前は、貴方は日系企 業間の相談の部分だ とおっしゃいました が、その部分に注意 すべきの内容或いは 特徴がありますか?。	談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	原文の構成変 更
279	通訳 JV06	có phần thảo luận giữa các doanh nghiệp Nhật Bản với nhau thì không biết là phần đó có nội dung hay đặc điểm gì cần chú ý không ạ?。		語 彙 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
280	話者 VN06	Ừm, về nội dung chủ yếu thì 、 vẫn sẽ là những cái nội dung từ một đến sáu như đã nêu ở trên (うん)、 thì doanh nghiệp có thể, à, chia sẻ các cái kinh nghiệm đã đầu tư ở	ええ、内容について は主に以上に挙げた 6つの内容で、企業 は他の企業にベトナム 投資の経験を共有 することができます	x	x	x	x

		Việt Nam cho các doanh nghiệp khác。	。				
281	通訳 VJ06	日系企業(うん)、えー、各日系企業の相談のことなんですけども&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
282	通訳 VJ06	その相談時間の中で(はい)&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
283	通訳 VJ06	各企業がえと、ベトナムに投資したときの(はい)、投資したときの、経験(うん)(うん)(うん)とか、課題について(うん)(うん)相談してもらいます。		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
284	話者 JP06	それは、日系企業をだけで、あの...話し合うんですか?。		x	x	x	x
285	通訳 JV06	Thế cái buổi thảo luận đó&,,	で、あの相談、相談の部分は、日系企業間だけですか、または、どのように行われますか?。	談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
286	通訳 JV06	cái phần thảo luận đó、 chỉ giữa các doanh nghiệp Nhật Bản với nhau thôi&,,		語彙レベル	任意的	意味明確化のため	反復
287	通訳 JV06	hay là sẽ diễn ra như thế nào?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
288	話者 VN06	Vẫn có sự có mặt của Bộ kế hoạch và đầu tư khi mà các doanh nghiệp, à, có thể chia sẻ kinh nghiệm cho nhau trong cái khoảng thời gian ngắn, trước khi mà kết thúc hội thảo。	セミナーが終わる前の短い間に行われる企業間の話し合いには投資計画省の参加があります。	x	x	x	x
289	通訳 VJ06	あ、はい、相談時間が(うん)、結構短い時間なんですけども(はい)え、その、時が投資計画省の方々も参加していただきます。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	原文の不自然さに対する処理
290	話者 JP06	《少し間》あ、そうですか、そうすると、私の、もう一度確認しますね。		x	x	x	x

291	話者 JP06	私の発表が終わったあと、 参加している日系企業で、 あの、ベトナムの投資につ いてお互いの経験を出すとい うことですか?。		x	x	x	x
292	通訳 JV06	A, bà ý xác nhận lại&,,		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
293	通訳 JV06	đó là, vậy là sau cái bài phát biểu của tôi thì sẽ là một cái khoảng thời gian được gọi là khoảng thời gian thảo luận giữa các doanh nghiệp Nhật Bản với nhau về kinh nghiệm cũng như những khó khăn khi đầu tư vào Việt Nam?。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
294	話者 VN06	Vâng, <đúng rồi ạ>{<}	はい、そうです。	x	x	x	x
295	通訳 JV06	<Có đúng như >{>} vậy không ạ?。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
296	通訳 VJ06	そうです。		na	na	na	na
297	話者 JP06	そういうことですか。		x	x	x	x
298	話者 JP06	そして、皆話し合った後、 ベトナム計画投資省ともう 一度、あのー、話し合うん ですか?。		x	x	x	x
299	通訳 JV06	Và một cái nội dung nữa là sau khi các doanh nghiệp Nhật Bản đã bàn luận với nhau&,,		語 彙 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	指示語の意味 明確化
300	通訳 JV06	thì sẽ có một cái phần đó là thảo luận giữa các doanh nghiệp và Bộ kế hoạch và đầu tư Việt Nam?。		談 話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
301	話者 VN06	Vâng, đúng rồi ạ。		x	x	x	x
302	通訳 VJ06	そうですね&,,		na	na	na	na
303	通訳 VJ06	そういうこ<とですね>{< 。		語 彙 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	反復
304	話者 JP06	<うん、分>{>}かりました 、はい。		x	x	x	x

305	話者 JP06	[紙をめくる音]えと、そうですね、ちょっと待ってくださいね。		x	x	x	x
306	話者 VN06	Về thời gian mà phía doanh nghiệp có thể đưa trước cái bản dự thảo cho Bộ kế hoạch và đầu tư, thì rất hi vọng doanh nghiệp có thể đưa trước cho chúng tôi trước hai tuần, trước khi mà hội thảo được diễn ra.	企業が投資計画省に原稿を出す時間ですが、セミナーが行われる2週間前に企業は私たちに出すことができますでしょうか。	x	x	x	x
307	通訳 JV06	Tức là dự thảo là về cái bài phát biểu đó đúng không ạ?		na	na	na	na
308	話者 VN06	Dạ vâng đúng rồi.	はい、そうです。	x	x	x	x
309	通訳 VJ06	えと、今度のご発表の(うん)、えーと、内容とか(はい)、えー、どんなことを発表する(はい)のかというえーとなんか&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
310	通訳 VJ06	ほんきょう‘原稿’[↑](はい)については、えー、ベトナムの、えと、投資計画省に、今回のセミナーの2週間前にえと、提供して頂きたいと思います。		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
311	話者 JP06	分かりました。		x	x	x	x
312	話者 JP06	そうしたら、これからどういう内容をするか決めますが、その、発表の内容は、2週間前(はい)に、計画投資省のどなたに渡すんですか?。		x	x	x	x
313	通訳 JV06	À, sẽ, chúng tôi sẽ gửi cái , bài phát biểu đến địa chỉ nào?。		談話レベル	義務的	意味明確化のため	原文の構成変更
314	話者 VN06	Vâng, xin hãy gửi cho Mr Chiến.	はい、チエンさんにお送り下さい。	x	x	x	x
315	話者 VN06	Số điện thoại là 0902,232,083、email là chienmpi@gmail.com、tại gmail.com。	電話番号は0902232083、メールアドレスはchiempi@gmail.com	x	x	x	x
316	話者 VN06	chien、mpi、vâng, mpi, I ngắn,,		x	x	x	x
317	通訳 JV06	I ngắn đúng không ạ?		na	na	na	na
318	話者 VN06	@gmail.com、vâng。	’@gmail.com、はい。	x	x	x	x
319	通訳 JV06	Ồ, anh chờ em một chút để em có thể ghi lại địa chỉ này tránh		na	na	na	na

		cái nhầm lẫn vì nếu mà gửi mail thì sẽ。					
320	通訳 JV06	Em xin xác nhận lại số điện thoại ạ, 0902,232,083,,		na	na	na	na
321	話者 VN06	Vâng đúng <ừì ạ>{<}&。&。	はい、そうです。	x	x	x	x
322	通訳 JV06	<đúng >{>}không ạ?。	いいですか?。	na	na	na	na
323	通訳 JV06	và địa chỉ email là chienmpi@,,	そして、メールアドレスはchienmpi@	na	na	na	na
324	話者 VN06	gmail.com。		x	x	x	x
325	通訳 JV06	gmail.com?。		na	na	na	na
326	話者 VN06	Vâng, chính xác ạ。	はい、正確です。	x	x	x	x
327	通訳 JV06	Dạ vâng, em xác nhận lại thể thôi。		na	na	na	na
328	通訳 VJ06	あ、すみません(はい)、えーと、ご発表の内容は、えと、えー、ま、この方に,,		談話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	暗示された情 報の復元
329	話 JPN0 6	チエンさん。		x	x	x	x
330	通訳 VJ06	はい、送ってください&,,		na	na	na	na
331	通訳 VJ06	チエンさん(はい)(はい)。		na	na	na	na
332	通訳 VJ06	電話番号なんですね(はい)、0902(はい)、232(はい)、083(はい)。		na	na	na	na
333	話者 JP06	はい、分かりました。		x	x	x	x
334	通訳 VJ06	そして&,,		談話 レ ベル	任意的	意味 明確 化の ため	接続詞の付加
335	通訳 VJ06	下のほうがメールなんですけども(はい)、はい。		na	na	na	na
336	話者 JP06	あの、すみませんが、このえと、チエンさんの、電話番号と,,		x	x	x	x
337	通訳 VJ06	メール。		na	na	na	na
338	話者 JP06	メールアドレス(はい)を私のメールアドレス(はい)に送って下さい(はい)。		x	x	x	x
339	通訳 JV06	Về cái, em đã có note lại đây nhưng mà bà ý muốn là nhờ anh sẽ gửi cho bà ý cái tên、chức vụ、 số điện thoại、 địa		語彙 レ	義務的	意味 明確 化の	性別の明示化

		chi email của anh Chiến&,,		ベル		ため	
340	通訳 JV06	vào địa chỉ mail của bà ý đề (dạ vâng), có thể nói là tránh thất lạc như thế nào đó。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
341	話者 VN06	Thế thì chúng tôi cũng xin cái địa chỉ email của bà 「話者06姓」 để chúng tôi có thể gửi trực tiếp vào đó。	「話者06姓」様のメールアドレスを頂いて、それに私たちは直接に送ることができます。	x	x	x	x
342	通訳 VJ06	はい、分かりました(はい)。		na	na	na	na
343	通訳 VJ06	「話者06姓」さんのメールアドレス(はい)を教えて下さい。		談話 レベル	任意的	目標 テキスト の自然さ のため	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
344	話者 JP06	え、あの、先ほど渡した名刺のそこですから、名刺の中に書いてあります。		x	x	x	x
345	通訳 JV06	Có ở trong 【 】【 】。		na	na	na	na
346	話者 VN06	】 】【 〕 Vâng, vâng, cảm ơn bà。	はい、はい、ありがとうございます。	x	x	x	x
347	話者 JP06	あの、今のチエンさんの電話番号とEメールアドレスを必ず送って下さいね、はい。		x	x	x	x
348	通訳 JV06	Trong cái mail, à trong cái card đây rồi, thì có địa chỉ mail của bà 「話者06姓」 đây rồi thì anh có thể gửi (vâng)。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	暗示された情 報の復元
349	通訳 JV06	Thì bà ý ở đây là bà ý cần điện thoại và... địa chỉ thôi (dạ vâng) nhưng nếu mà mình, tức là nếu mà có thể (dạ vâng) cho thêm cái phần chức vụ (vâng)、em, em nghĩ là nó sẽ...hiệu quả。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加
350	話者 JP06	はい、そうしましたら、えーと、2週間前に、私‘わたし’の内容をあの、送ります、パワーポイントもね。		x	x	x	x
351	話者 JP06	それで、これ、チエンさんは?、私は何語で話せばいいですか?。		x	x	x	x
352	話者 JP06	英語、できますか、彼は(あー)(うん)?。		x	x	x	x

353	通訳 JV06	Bà ý sẽ gửi cái phần nội dung cũng như là phần powerpoint cho, vào mail của <anh Chiến>{<},,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
354	話者 VN06	<anh Chiến>{>}。	チエンさん。	x	x	x	x
355	通訳 JV06	sau khi đã nhận được mail của anh。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	説明の追加
356	話者 VN06	Dạ vâng。	はい。	x	x	x	x
357	通訳 JV06	Nhưng mà&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加
358	通訳 JV06	bà ý nói là bà ý sẽ dùng ngôn ngữ gì&,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
359	通訳 JV06	tức là nói chuyện với anh Chiến ý ạ, thì tiếng Anh hay là dùng tiếng Nhật thì có được hay không?。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	前置き表現の活用
360	話者 VN06	Dạ vâng, nếu mà có thể thì xin hãy sử dụng bằng tiếng Anh。		x	x	x	x
361	通訳 VJ06	はい、じゃ、英語をお願いします&,,		談話レベル	任意的	目標テキストの自然さのため	聞き手に馴染みのある表現への変換
362	通訳 VJ06	チエンさんとの連絡は。		談話レベル	任意的	意味明確化のため	暗示された情報の復元
363	話者 JP06	チエンさんとの連絡は、英語で(はい)するんですね。		x	x	x	x
364	話者 JP06	はい、分かりました、2週間前に、私のパワーポイントも含めた内容をお送りするのね、チエンさんに。		x	x	x	x
365	通訳 JV06	Vậy thì,,		談話レベル	任意的	意味明確化のため	接続詞の付加

				ル			
366	話者 JP06	はい、分かりました。		X	X	X	X
367	通訳 JV06	trước 2 tuần, trước buổi hội thảo&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	暗示された情 報の復元
368	通訳 JV06	thì tôi sẽ gửi phần nội dung (dạ vâng) cũng như phần powerpoint vào mail của anh Chiến=。		語彙 レベル	義務的	意味 明確 化の ため	性別の明示化
369	話者 VN06	=Vâng(はい)cảm ơn bà。		X	X	X	X
370	話者 JP06	はい、分かりました。		X	X	X	X
371	話者 VN06	Vâng。		X	X	X	X
372	通訳 VJ06	どうもありがとうございます。		語彙 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	程度副詞の付 加
373	話者 JP06	じゃ、こちらこそどうぞ宜しく。		X	X	X	X
374	話者 VN06	Vâng。		X	X	X	X
375	通訳 JV06	Rất mong ông giúp đỡ。		談話 レベル	義務的	目標 テキ スト の自 然さ のた め	聞き手に馴染 みのある表現 への変換
376	話者 VN06	Sau buổi hội thảo thì chúng tôi sẽ có một số các cái quà dành cho doanh nghiệp và cái này thì sẽ được đề, cập sau buổi hội thảo。	セミナーの後には、企業に対するお礼の贈り物がありますが、これはセミナーが終わった時に、ご連絡致します。	X	X	X	X
377	話者 VN06	Xin cảm ơn bà。	ありがとうございます。	X	X	X	X
378	通訳 VJ06	もうちょっとなんですけども(はい)、会議が終わったら(うんうんうん)、え&,,		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	前置き表現の 活用
379	通訳 VJ06	小さなお土産とかも用意しましたので(はい)はい、是非今回も宜しくお願いします。		談話 レベル	任意的	意味 明確 化の ため	説明の追加

380	話者 JP06	どうも、はい、ありがとうございます。 ございます。		x	x	x	x
381	通訳 JV06	Vâng, rất cảm ơn ông.		語 彙 レ ベ ル	任意的	意味 明確 化の ため	程度副詞の付 加

パート 2

翻訳データ及びコーディング結果（6件）

1. 翻訳データ

1.1 被験者 1

1.1.1 日→越翻訳データ

Với khẩu hiệu “Cùng cố tương lai của bạn”

Để củng cố vững chắc hơn “tương lai” của bạn.

Chúng tôi ○○ (tên công ty) đã, đang và sẽ nỗ lực chuyển tải giá trị, bản chất của bảo hiểm nhân thọ tới thật nhiều quý khách hàng.

Mục đích của chúng tôi không chỉ đơn thuần dừng lại ở việc bán sản phẩm bảo hiểm nhân thọ.

Bảo hiểm nhân thọ không thể xoa dịu nỗi buồn của quý khách hàng.

Thế nhưng, “Có thể ngăn chặn không cho sự nghèo khó ập đến cùng lúc với nỗi buồn đau”

Giá trị, bản chất của bảo hiểm nhân thọ được thể hiện qua câu nói đó.

Bảo hiểm nhân thọ có thể góp phần thực hiện ước mơ của các thành viên trong gia đình mà không gây gánh nặng về kinh tế. Bảo hiểm nhân thọ chính là hình thức cụ thể hóa tình cảm sâu nặng đối với gia đình.

Khẩu hiệu của chúng tôi ○○(tên công ty) là “Cùng cố tương lai của bạn” và người thực hiện sứ mệnh đó chính là Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống ○○(tên công ty).

Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống ○○ (tên công ty) là người đồng hành cùng quý khách hàng khi lên kế hoạch về “tương lai”, tạo sự gắn kết trên nền tảng an tâm và tín nhiệm.

Tương lai vững chắc là tương lai do chính bạn hỗ trợ trên suốt chặng đường.

Vì “tương lai” tươi sáng của nhiều quý khách hàng và vì chính “tương lai” rục rờ của bản thân bạn,

Bạn hãy cùng chúng tôi mở cánh cửa dẫn đến Ngày Mai!

Phỏng vấn “Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống ○○ (tên công ty)”

Chuyên viên đào tạo ○○ (Tên cá nhân)

Có nhiều phụ nữ tuyệt vời để làm mục tiêu phấn đấu

Trước khi vào làm tại công ty ○○ (tên công ty), tôi đã làm nhân viên hợp đồng trong thời gian khoảng 2 năm. Chị nhân viên của công ty ○○ đến chỗ tôi làm lúc đó là người rất chăm chỉ và

dễ chịu. Tinh thần làm việc đầy trách nhiệm của chị rất tuyệt vời nên tôi đã kết thân với chị. Lúc biết về ○○ (tên công ty), tôi đã bị cuốn hút bởi những đặc tính tốt của sản phẩm, nội dung công việc có thể giới thiệu cho nhiều người biết về sản phẩm, và hơn nữa là môi trường có thể vừa làm việc vừa thi lấy chứng chỉ, nâng cao năng lực bản thân.

Khi bắt đầu làm việc thực tế, đã có nhiều dịp tôi cảm nhận rõ ràng rằng đây là công việc cho ta cảm giác đạt được thành tựu cụ thể. Không phải chỉ ở những con số, mà cả cảm nhận về sự đầy đủ, hoàn chỉnh trong lúc bản thân mình và khách hàng có thể tâm đầu ý hợp, tôi nghĩ đó là niềm vui, niềm hạnh phúc không thể có được nếu làm công việc khác. Môi trường làm việc tạo điều kiện để phụ nữ có thể phát huy năng lực như thế này vẫn còn chưa nhiều và còn có rất nhiều phụ nữ tuyệt vời là mục tiêu để tôi phấn đấu nên tôi muốn tiếp tục tích cực cố gắng, làm sao để có thể tỏa sáng với cá tính, đặc trưng của bản thân trong vai trò chuyên viên đào tạo nhân viên mới hiện nay.

○○ (Tên cá nhân)

Ngay cả khi đang chăm sóc con nhỏ cũng có thể nâng cao năng lực làm việc mà không cần phải cố gắng một cách thái quá.

Khi mới vào làm việc, hai con trai tôi mới học tiểu học và trung học cơ sở nên tôi cũng thấy lo lắng trước công việc toàn thời gian. Thế nhưng, nhờ có chế độ hỗ trợ nuôi con nhỏ và mọi người xung quanh giúp đỡ nên tôi đã có thể đảm đương được cả việc nhà lẫn công việc tại công ty, tích lũy kinh nghiệm làm việc, nâng cao năng lực mà không phải cố quá sức.

Tại ○○ (tên công ty), môi trường và chế độ hỗ trợ nhân viên nữ rất đầy đủ, hoàn thiện nên tôi nghĩ rằng ngay cả trường hợp có con nhỏ cũng chắc chắn có thể tỏa sáng, thể hiện được bản thân.

Hiện nay, khi đã trở thành trưởng đại diện, tôi xây dựng cho mình mục tiêu lấy lời “Cảm ơn” của quý khách hàng làm động lực, sát cánh cùng đồng nghiệp tích cực nỗ lực đến khi nghỉ hưu.

1.1.2 越→日翻訳データ

●●（会社名）：ベトナムビリーフ – 力を合わせ、母国の海島に向かう

母国の海島に向かおうと、2014年7月9日に●●グループ（会社名）は●●（会社名）社員一人一人の愛国心、民族的誇り、親愛なる母国の海島への気持ちを呼び起こすため、「力を合わせ、母国の海島に向かう」という寄付運動を発足させた。また、当運動は●●（会社名）設立50周年を迎える中で、非常に有意義な運動であり、お客

様や社会の信頼への感謝の意を表すためでもあり、当社の社会的責任を果たすためでもある。

当運動は、●●（会社名）の親会社、傘下の子会社 6 社に勤務している従業員、カウンセラー等を代表する 300 名の従業員及び愛国心を持っている多くの方々よりご参加いただき、島で生活している兵士、住民にプレゼントを贈ったり、海上警察、漁業資源監視、漁業協会などによる経済・社会・国防保安活動をサポートしたりするなどの母国の海島のための運動を応援しようと、10 億ベトナムドン近くの寄付金が集まった。

セレモニーでは、運動参加者は●●グループ（会社名）の本部にて国旗とともに写真撮影を行った。この活動は●●グループ（会社名）と一緒に歩んでいる運動、つまり、現在全国に広がっている「ベトナムビリーフ」運動の枠内にある。一人一人の写真より金星紅旗の下に立っている数千人の姿からなるベトナムマップがだんだん完成に近づく。

発足式において、●●グループ（会社名）会長のグエン・クアン・フィー氏が「当運動は●●（会社名）社員にとって、母国への信頼、愛情を表す機会である。小さいながらも有意義な本日の行動を通じて、国防、国づくりのために遠い島々で活躍している兵士の方々、住民の方々に少しでもお力になれば幸いと存じます」と語った。

「●●（会社名）：ベトナムビリーフ - 力を合わせ、母国の海島に向かう」運動の中で、●●グループ（会社名）は「夢を支えるビリーフ」という絵画コンテストの結果をも発表し、授賞式を行った。これは●●（会社名）従業員の子供たちを対象としたコンテストであり、子供たちが自分の夢を語るのを応援し、国の将来を担う世代に対する親の期待を表すためである。子供たちによる純粋な画線で母国への愛情、平和の夢、将来への確信を表現する絵がたくさん描かれた。

今から2015年に向けて、島地方応援活動を引き続き展開するために、●●グループ（会社名）は40億ドン相当の予算を立てた。●●はこの貢献が昼夜を問わず母国の領海を守っている兵士の方々に対して適時かつ効果的な励みになることを希望している。

1.2 被験者2

1.2.1 日→越翻訳データ

Khẩu hiệu của chúng tôi là “Giúp tương lai của bạn trở nên chắc chắn”.

Để tương lai trở nên chắc chắn hơn.

Công ty ●● chúng tôi cố gắng để ngày càng nhiều quý khách hàng hiểu về giá trị và bản chất của bảo hiểm nhân thọ.

Mục đích của chúng tôi không chỉ đơn thuần là bán các sản phẩm bảo hiểm nhân thọ.

Không thể làm dịu nỗi đau của quý khách hàng chỉ bằng bảo hiểm nhân thọ.

Tuy nhiên, “có thể khiến cho nỗi đau không bị đi kèm theo sự nghèo khó.”

Bản chất, giá trị của bảo hiểm nhân thọ là ở đó.

Bảo hiểm nhân thọ - sản phẩm giúp các gia đình giảm gánh nặng kinh tế, giúp con người thực hiện được ước mơ, chính là thứ biến tình yêu tới các gia đình thành những điều cụ thể.

Khẩu hiệu của (tên công ty) là “Giúp tương lai của bạn trở nên chắc chắn”.

Và người thực hiện điều đó, không ai khác, chính là những nhà thiết kế cuộc đời của (tên công ty).

Nhà thiết kế cuộc đời của (tên công ty) chính là những người cùng tính toán cho tương lai của quý khách hàng, thắt chặt niềm tin và sự yên tâm.

Một tương lai chắc chắn là tương lai mà bạn sẽ gánh vác.

Vì tương lai tươi sáng của ngày càng nhiều quý khách hàng, vì tương lai ngời sáng của bạn.

Nào, hãy cùng chúng tôi mở cánh cửa đến ngày mai.

Phông văn “Nhà thiết kế cuộc đời của (tên công ty)”

Có rất nhiều phụ nữ tuyệt vời là mục tiêu

Tôi đã từng làm nhân viên hợp đồng 2 năm trước khi vào (tên công ty). Những người tôi gặp ở nơi làm việc của (tên công ty) rất chăm chỉ và dễ mến. Thật tuyệt vời khi nhìn mọi người làm việc với tinh thần trách nhiệm, và tôi đã trở nên thân thiết với họ. Từ khi biết (tên công ty), tôi bị thu hút bởi chất lượng sản phẩm, bởi công việc truyền thông tin về những sản phẩm đến khách hàng, vì tinh thần vừa làm việc vừa học hành để đạt chứng chỉ, trau dồi và bồi dưỡng bản thân.

Khi bắt đầu làm việc thực tế, tôi cảm thấy đây là một công việc đem lại sự thỏa mãn. Không chỉ làm việc với con số. Hiếm có công việc nào có được cái cảm giác hạnh phúc khi tìm được sự thấu hiểu với khách hàng như công việc ở đây. Rất ít nơi mà phụ nữ có thể phát huy khả năng, những người phụ nữ mục tiêu tuyệt vời lại có rất nhiều. Vì vậy, tôi hy vọng công việc đào tạo nhân viên mới sẽ giúp tôi năng động và tỏa sáng.

(Tên người)

Bạn nuôi con nhỏ vẫn có thể thăng tiến

Khi tôi vào công ty thì hai con trai tôi mới một đứa học tiểu học và một đứa học cấp 2 nên tôi cũng đã lo lắng vì công việc full time của mình. Tuy nhiên, nhờ chế độ trợ giúp nuôi con và sự hợp tác của mọi người mà tôi có thể vừa chăm con vừa làm việc.

(Tên người)

Ở công ty (Tên công ty) có chế độ hỗ trợ phụ nữ đi làm rất tốt nên những vị có con nhỏ cũng có thể toả sáng theo khả năng của mình. Hiện tại tôi đã là giám đốc, và mục tiêu của tôi là nỗ lực làm việc đến tận khi nghỉ hưu, và lời cảm ơn từ khách hàng sẽ là nguồn cổ vũ cho tôi.

1.2.2 越→日翻訳データ

ベトナムの信頼 故郷の海と島へ向けて手を繋ごう

故郷の海と島へ向ける心で、2014 年 7 月 9 日●●グループは「ベトナム信頼 - 故郷の海と島へ向け手を繋ごう」という活動を行い、当グループの職員の愛国心、愛する海と島へ向ける心を煽いだ。またその活動は設立 50 周年記念のイベントであり、顧客、コミュニティからの信頼への感謝、社会還元の活動でもある。

当活動には親会社と子会社の 6 社の 6 万人以上の職員を代表した 300 人あまりの職員及び他の愛国者が参加しており、約 100 億ベトナムドンの寄付金を集めた。そのお金は島の軍人、住民へのお土産の贈呈、海上警察、漁業資源監視部隊、漁業協会の経済・社会・国防の発展支援に使われる予定。

式典では参加者がグループ（社会名）の本部で掲揚されている国旗の下で写真撮影をした。ベトナム国旗金星紅旗の下で撮った数千人の写真が集められ、ベトナムの地図を作り上げられる。この活動はグループ***によって発足され、全国に広がった「ベトナム信頼」活動の一環である。

式典では、グループ 名●●の社長●●氏が「本活動は●●グループ名の職員が国、地域への愛を表す 機会となります。有意義な諸活動を通して遠い島の人々、軍人の国家建設・保護事業の力になると期待している。」と語った。

活動「●●グループ名ーベトナム信頼 故郷の海と島へ向けて手を繋ごう」の一環として、●●グループはまた「夢の翼を広げる信頼」の絵画コンテストを開催し、賞の授与式を行った。このコンテストは●●職員のこどもを対象にしており、子どもたちが自分の夢を語れるように奨励し、親の子供への信頼を高める。子どもたちのかわいい絵が故郷、地域への愛、平和への愛、将来への信頼を語っている。

2015年まで●● は島の支援活動展開のために約400億ベトナムドンを回す予定だと語った。この支援を通して、国の海を昼夜を問わず守ってくれる軍人に感謝の気持ち

を有意義に表せると期待しているという。

1.3 被験者3

1.3.1 日→越翻訳データ

Khẩu hiệu: “ vì một tương lai vững chắc”

Vì một "tương lai" vững chắc hơn, mỗi một nhân viên của công ty ●● (tên công ty) chúng tôi đều đang cố gắng giới thiệu về bản chất cũng như giá trị của bảo hiểm nhân thọ cho khách hàng.

Mục đích của chúng tôi không chỉ đơn thuần là bán được các sản phẩm bảo hiểm nhân thọ.

Bảo hiểm nhân thọ cũng không phải là liều thuốc có thể xua đi nỗi buồn của khách hàng.

Tuy nhiên, nó có thể đảm bảo chắc chắn rằng “ bạn sẽ không bị viếng thăm bởi cả nghèo đói và nỗi buồn”.

Giá trị và bản chất của bảo hiểm nhân thọ đã được thể hiện rất rõ trong cụm từ này.

Bảo hiểm nhân thọ giúp bạn thực hiện giấc mơ mà không gây áp lực kinh tế cho gia đình, và cũng chính là cách thể hiện rõ ràng nhất cho tình yêu sâu sắc đối với gia đình của bạn.

Khẩu hiệu của công ty ●●(tên công ty) chúng tôi là "vì một tương lai vững chắc”

Và không ai khác, chính các tư vấn viên bảo hiểm là người thực hiện điều này. (chúng tôi gọi đây là người thiết kế cuộc sống)

Đối với khách hàng, tư vấn viên ●● (tên công ty) chính là người gây dựng lòng tin, sự an tâm cho khách hàng, đồng thời cùng bạn suy nghĩ lên kế hoạch cho tương lai.

Tương lai vững chắc là tương lai sẽ nâng đỡ cho bạn.

Vì tương lai tươi sáng của nhiều khách hàng, vì tương lai tươi sáng tràn đầy tự tin của chính mình, các bạn có sẵn sàng để cùng chúng tôi mở cánh cửa tương lai hay không?

Nhân viên tư vấn bảo hiểm(người thiết kế cuộc sống)

Phòng vấn nhân viên tư vấn bảo hiểm công ty ●●

Huấn luyện viên ●●● (tên riêng)

Có rất nhiều phụ nữ tuyệt vời là hình mẫu để chúng ta vươn tới.

Trước khi vào ●●(tên công ty), tôi đã làm nhân viên hợp đồng cho một công ty khác. Lúc đó, người của công ty ●● đã đến chỗ tôi làm và tôi thấy họ là những người rất chăm chỉ và dễ chịu. Họ luôn trong tư thế sẵn sàng làm việc với tinh thần trách nhiệm cao và chúng tôi đã trở thành bạn tốt của nhau. Khi biết đến ●● (tên công ty), tôi đã bị thu hút bởi chất lượng sản

phẩm và nội dung công việc. Đó là công việc giới thiệu bảo hiểm nhân thọ đến nhiều khách hàng, hơn thế nữa bạn vừa có thể làm việc, lại vừa có thể học lấy thêm bằng cấp nâng cao năng lực bản thân.

Thực tế, khi đi làm tôi thường cảm nhận được cảm giác thoải mái khi hoàn thành công việc. Đó là niềm vui không chỉ dừng lại ở các con số mà còn ở cảm giác tuyệt vời khi được giao tiếp với khách hàng, và có lẽ không công việc khác nào có được.

Tôi nghĩ ở Nhật Bản còn rất ít nơi làm việc mà phụ nữ có thể phát huy khả năng của mình như thế này và có rất nhiều phụ nữ tuyệt vời là hình mẫu để chúng ta vươn tới. Hiện nay với vai trò là huấn luyện viên, người trực tiếp tham gia đào tạo các tân binh, bản thân tôi cũng sẽ cố gắng hết mình và tỏa sáng theo cách riêng của mình.

●●● (tên riêng)

Bạn có thể thoải mái nâng cao năng lực của bản thân ngay cả khi đang trong quá trình nuôi con.

Khi mới vào công ty, tôi đã có 2 bé trai, 1 bé đang học tiểu học, 1 bé đang học trung học. Ban đầu tôi cũng rất lo lắng vì công việc làm fulltime, tuy nhiên nhờ chế độ hỗ trợ cho phụ nữ nuôi con và sự giúp đỡ của những người xung quanh, tôi đã vừa hoà thành công việc ở công ty, vừa đảm bảo cuộc sống gia đình, đồng thời còn nâng cao được năng lực của bản thân.

(tên công ty) ●● có chế độ hỗ trợ phụ nữ đi làm và môi trường làm việc được trang bị đầy đủ nên phụ nữ có con nhỏ cũng hoàn toàn có thể phát huy khả năng của mình.

Khi đã trở thành trưởng bộ phận, mục tiêu hiện tại của tôi là lấy lời cảm ơn của khách hàng làm động lực cố gắng làm việc chăm chỉ cho tới khi nghỉ hưu với tinh thần luôn hướng lên phía trước .

1.3.2 越→日翻訳データ

●● (グループ名) : 「ベトナムへの希望 – 祖国の領海に向けて手を合わせよう」

ベトナム島へ向ける精神の下で、2014 年 07 月 09 日に ●● グループ(グループ名)は「ベトナムへの希望-ベトナム領海へ向けて手を合わせよう」という寄付プログラムを起こしました。目的は●● (グループ名)の従業員の愛国心、民族の誇り、島への愛着を喚起することです。又、これは●● (グループ名)設立 50 周年を記念する有意義な活動であり、信頼して頂いているお客様に感謝の意を表し、会社の社会的責任を果たす機会でもあります。

このプログラムは親会社と 6 子会社を含む●●（グループ名）全体の 6 万人以上の従業員やカウンセラーを代表する 300 人以上の従業員、又他の愛国者からの参加を集めています。寄付金は 10 億ドンとなり、海兵や島人への贈り物を贈ったり、社会経済の発展及び国防安全保障のため、海洋警察、漁業の監視者及び漁業管理協会にを支援したりするというベトナム領海へ向ける活動に使われています。

キックオフ会では、参加者は●●（グループ名）の本部で国旗の下で写真撮影をしました。この活動は当社が同行者として全国で広がっていた「ベトナムへの希望」というプログラムの一部です。一人一人の写真から、金星紅旗の下に一緒に立っている何千人の画像を組み合わせたら、ベトナムの地図になっていくような感じがします。

又、●●保険グループ●●社長は「このプログラムは●●の従業員が祖国への希望及び愛国心を表す機会です。このような有意義な小規模の活動を通し、我々はベトナム建国及び防衛に尽くしている海兵や島人に強固な意志及び力を強化することができる」と述べました。

「●●グループ名：ベトナムへの希望-ベトナム領海へ向けて手を合わせよう」というプログラムの枠組みの中で、我々は「夢に翼をつける希望」という絵画コンテストの結果を発表し、授与式も行いました。これは、当グループの従業員の子供達のためのコンテストであり、自分の夢を言い出す子供達を奨励することができるし、国の将来である次世代への両親の希望も表現しました。コンテストに参加した子供達が描いた純真な絵は愛国心及び平和、将来への希望を表しています。

2015年までに、我々は領海への支援する活動を実施し続けるために、40億の予算を確保すると予定しています。これは昼夜を問わず、ベトナムの領海、水域を守っている海兵に適時的、かつ効果的な励みをもたらすことができることを期待しています。

1.4 被験者 4

1.4.1 日→越翻訳データ

Châm ngôn là “ Vì một tương lai vững chắc”

Công ty ●● chúng tôi mong muốn truyền tải cho khách hàng hiểu được bản chất và giá trị của Bảo hiểm sinh mệnh, giúp chúng ta có một tương lai vững chắc.

Mục tiêu của chúng tôi không chỉ đơn giản là việc Bán sản phẩm Bảo hiểm sinh mệnh. Bảo hiểm sinh mệnh không thể xoa dịu nỗi đau của các bạn.

Tuy nhiên, nó giúp chúng ta tránh được sự nghèo đói cùng với nỗi đau buồn, khi các bạn không may gặp vấn đề về sức khỏe. Bản chất và giá trị của Bảo hiểm sinh mệnh được thể hiện trong câu sau đây. ‘’ Bảo hiểm sinh mệnh, người luôn sát cánh với chúng ta trên con đường thực hiện ước mơ của riêng mình mà không gây gánh nặng kinh tế cho gia đình, đây cũng chính là sự thể hiện tình yêu thương sâu sắc của mỗi chúng ta đối với gia đình mình.

Nơi có vai trò giúp các bạn thực hiện ước mơ của mình, không ai khác, đó chính là bộ phận Thiết kế cuộc sống (Life Designer) của công ty ●●. Life Designer cũng chính là người sẽ đồng hành với bạn trong những suy nghĩ về tương lai của bạn, đồng thời tạo dựng sự yên tâm và tin cậy cho các bạn.

Một tương lai vững chắc là tương lai do chính bạn tạo ra.

Bạn có muốn cùng với chúng tôi mở cánh cửa ngày mới, vì tương lai tự tin tỏa sáng cho bạn và cho tất cả chúng ta?

Phỏng vấn Bộ phận Thiết kế cuộc sống (Life Designer) của công ty ●●

Cán bộ đào tạo ●●● (tên cá nhân)

Có rất nhiều phụ nữ tuyệt vời đáp ứng mục tiêu của chúng tôi

Trước khi vào công ty ●● này, tôi đã có 2 năm làm nhân viên hợp đồng. Có một người của công ty ●● hay có mặt ở chỗ làm việc của tôi. Anh/chị đó là một người rất nghiêm túc và rất dễ chịu, làm việc rất có trách nhiệm và tôi đã rất thân với người đó. Trong quá trình tôi biết đến công ty ●●, tôi đã bị thuyết phục bởi rất nhiều điều như chất lượng sản phẩm, nội dung công việc là giúp khách hàng hiểu được những điểm mạnh của công ty, thêm vào đó công ty lại cho phép vừa làm việc vừa có thể có thêm một số chứng chỉ, khiến cho tôi ngày càng tự tin hơn.

Khi bắt tay vào làm việc chính thức, có nhiều công việc khiến tôi cảm thấy mình trưởng thành. Điều này không chỉ được thể hiện bằng những con số, mà còn là cảm giác rất thoải mái tại thời điểm lúc mình và khách hàng hiểu nhau. Đây là niềm vui mà nếu làm những công việc khác thì khó mà trải nghiệm được. Trong bối cảnh hiện tại, khi mà xã hội còn chưa có nhiều công việc cho phụ nữ có thể phát huy được khả năng, trong khi có rất nhiều người phụ

nữ tuyệt vời đáp ứng mục tiêu của chúng tôi, thì với tư cách là cán bộ đào tạo, đang được làm công việc liên đào tạo những nhân viên mới vào công ty, tôi sẽ cố gắng lạc quan trong công việc để có thể tỏa sáng theo cách của mình.

●●●(tên cá nhân)

Vẫn có thể nâng cao khả năng chuyên môn trong khi đang nuôi con.

Khi vào công ty, hai con của tôi một cháu đang là học sinh tiểu học và một cháu đang học trung học cơ sở thế nên tôi khá lo lắng khi đi làm công việc toàn thời gian (full time) như thế này. Tuy nhiên, nhờ có sự giúp đỡ của đồng nghiệp và chế độ hỗ trợ nuôi con nhỏ của công ty mà tôi có thể nâng cao khả năng chuyên môn mà vẫn bảo đảm được công việc gia đình.

Công ty ●● có chế độ và môi trường hỗ trợ phụ nữ đi làm rất đầy đủ nên ngay cả những phụ nữ đang phải nuôi con nhỏ cũng có thể tỏa sáng theo cách của họ. Giờ đây tôi đã trở thành Giám đốc, và mục tiêu của tôi là sẽ tiếp tục cùng đồng nghiệp cố gắng làm việc một cách lạc quan cho đến lúc nghỉ hưu, với động lực là “sự tri ân” của khách hàng.

1.4.2 越→日 翻訳データ

「ベトナムの信頼-わが国の諸島に向けて」

スタッフ一同の愛国心、国に対する誇り感を呼び起こすことを目的に、●●会社は 2014 年 07 月 09 日に、「ベトナムの信頼-わが国の諸島に向けて」という慈善プログラムを開始した。このプログラムは、●●会社設立 50 周年記念活動の一つで、周りの人及びお客様の信頼に対する感謝でありながら、会社の社会的責任の表しでもある。

本プログラムは 6 万人のスタッフ及びカウンセラーを代表する 300 人以上のスタッフの参加を集めている。親会社及び 6 つの子会社から構成される●●会社のメンバー、及び他の参加者により、約 10 億ベトナムドン（約 100 万円）の寄付金を得ることができた。この寄付金は諸島に住んでいる軍人及び人々への贈り物の贈呈のほか、社会・経済・治安・国防の安定のために活躍している海洋警察、漁業管理者などの援助金として使われる予定。

式典では、会社の本部の前の国旗をバックにそれぞれの参加者の写真撮影が行われた。この活動は本社が現在、全国で拡散している「ベトナムの信頼」という活動の

一環である。このようなベトナム国旗がバックにされた個人の写真を材料に、何千人もの写真からのベトナム地図が完成されつつある予定。

本プログラムの開始式では、●●コーポレーションの社長である●●氏は、「本プログラムは各スタッフが国への信頼、愛国心を告白するとともによいチャンスで、このようなささやかながら意味のある行動を通じて、諸島に住んでいる軍人及び人々の強い心に励ましになったらと思います」というふうに述べた。

「●●-ベトナムの信頼、我が国の諸島に向けて」の一環として、●●コーポレーションは「夢への翼の信頼」という絵描きコンテストの受賞者を発表し、アワードの授与式を行った。このコンテストは●●のスタッフの子供を対象者とし、子供たちが自分自身の夢を言い出してもらいだけでなく、親から国の次世代を背負う子供の世代への希望でもある。その成果として、国への愛国心、平和の夢、将来への信頼の気持ちが込められた絵が子供のあどけない目で描かれた。

今から2015年までは、●●コーポレーションは諸島へのサポートとして、約40億ベトナムドンの寄付金を確保するという。この援助を通して、国の諸島を昼夜問わず命を惜しまず軍人の方々への効果的な励ましとなればと期待している。

1.5 被験者5

1.5.1 日→越翻訳データ

Phương châm của chúng tôi là “Làm vững chắc hơn tương lai của bạn”

Để làm cho “Tương lai” là điều chắc chắn hơn, công ty X chúng tôi sẽ truyền tải đến nhiều quý khách hàng nhất trong phạm vi có thể về bản chất và giá trị của bảo hiểm nhân thọ.

Mục tiêu của chúng tôi không chỉ đơn giản là bán bảo hiểm nhân thọ.

Chúng tôi không thể dùng bảo hiểm nhân thọ để xoa dịu đi nỗi đau của khách hàng.

Tuy nhiên, “Chúng tôi có thể đảm bảo rằng sự nghèo khó sẽ không đến cùng nỗi đau”

Câu nói này đã thể hiện được giá trị và bản chất của bảo hiểm nhân thọ.

Bảo hiểm nhân thọ, thứ giúp gia đình bạn không phải chịu gánh nặng tài chính và hỗ trợ thực hiện giấc mơ của các thành viên trong gia đình, chính là cách thể hiện rõ ràng nhất tình yêu sâu sắc của bạn tới gia đình.

Phương châm của công ty X chúng tôi là “Làm vững chắc hơn tương lai của bạn”

Và người thực hiện điều này không ai hết chính là những Life planer - những tư vấn viên của công ty.

Đối với khách hàng, tư vấn viên của công ty X là người cùng họ hoạch định về tương , là người gắn kết với họ bằng sự tin cậy và an toàn.

Một tương lai chắc chắn hơn, đó chính là tương lai mà bạn đang hỗ trợ.

Vì “tương lai” tươi sáng của nhiều khách hàng nhất có thể, và vì tương lai mà chính bạn sẽ toả sáng.

Bạn có muốn cùng chúng tôi mở cánh cửa bước vào tương lai đó không?

Phòng vấn tư vấn viên của công ty X

Huấn luyện viên ...

Nơi đây có nhiều phụ nữ tuyệt vời để học tập

Trước khi chính thức vào công ty, tôi làm việc 2 năm với tư cách là nhân viên hợp đồng. Tôi được gặp chị ... khi chị đến công ty, một người nghiêm túc, chăm chỉ và rất dễ mến. Cách chị làm việc với một tinh thần trách nhiệm cao rất tuyệt, và chúng tôi trở thành bạn bè.

Khi tìm hiểu về công ty X, tôi đã biết về điểm tốt của sản phẩm, biết rằng nội dung công việc là truyền tải điểm tốt đó đến thật nhiều người, biết rằng có thể vừa làm việc vừa lấy thêm chứng chỉ để bản thân mình có thể trở nên hoàn thiện hơn, những điểm đó khiến tôi thấy bị thu hút.

Thực tế khi bắt đầu làm việc tôi nhận thấy công việc này thường xuyên khiến ta cảm nhận được thành công của mình một cách rất rõ ràng. Không chỉ trên chữ số, mà cảm giác thành công vào thời điểm khi tôi và khách hàng có được tiếng nói chung, là niềm vui mà tôi nghĩ các công việc khác khó mà có được. Tôi nghĩ những nơi làm việc khiến phụ nữ có thể phát huy được năng lực của mình như thế này vẫn còn chưa nhiều, ngoài ra ở đây còn có những phụ nữ rất tuyệt vời để tôi học tập , nên với vị trí công việc là huấn luyện viên đào tạo nhân viên mới như bây giờ, tôi hy vọng bản thân mình có thể cố gắng tích cực và toả sáng theo cách của mình.

Cá nhân ...

Người đang nuôi con nhỏ cũng có thể thăng tiến mà không phải cố gắng quá mức.

Lúc mới vào làm việc, hai con trai tôi mới đang học tiểu học và trung học mà đây là công việc toàn thời gian nên tôi rất lo lắng, tuy nhiên nhờ công ty có chế độ hỗ trợ người đang nuôi con và nhờ sự giúp đỡ của mọi người xung quanh nên tôi đã không phải quá cố gắng mà vẫn có thể làm tốt việc nhà và công việc.

Công ty X có chế độ hỗ trợ nữ nhân viên và môi trường làm việc rất tốt nên tôi nghĩ ngay cả những người đang nuôi con nhỏ chắc chắn vẫn có thể toả sáng theo cách riêng của mình.

Với tư cách là trưởng văn phòng, mục tiêu hiện tại của tôi là lấy lời “ cảm ơn” của khách hàng làm động lực để cùng đồng nghiệp phấn đấu làm việc cho đến khi về hưu.

1.5.2 越→日翻訳データ

●●『ベトナムの信念：国の領海・固有の島のために手を繋ごう』

国の海島に向ける精神に基づき、2014 年 7 月 9 日に X グループが、社員の愛国心及び民族の誇りを高め、国の海・島について関心を寄せることを目標とし、『ベトナムの信念：国の領海・固有の島のために手を繋ごう』の募金運動を開始した。

またこの活動は、X 会社創業 50 周年の記念にむけて有意義な活動であり、お客様の信頼への感謝の気持ち、更に企業の社会的責任を表すものである。

この活動に、本社及び 6 つの子会社の社員とカウンセラー計 6 万人と他の国民の中を代表する、300 人の社員が参加した。募金運動から募った 10 億ドンが島に住んでいる人々や軍人にプレゼントを送り、または海上警察、漁業資源監視局、漁業会の経済・社会の発展、国家保安の実施への支援に使用される。

開始式において、参加者が X 本社の前にて国旗と写真撮影をした。この活動は X グループがサポートしているベトナム全国に拡大中の『ベトナムの信念』というプロジェクトの中の一つの活動である。黄色い星の赤い国旗との何千人の写真を一枚ずつ貼り合わせ、ベトナムの地図を制作している。

開始式において、X グループ●●社長が、『この活動は X の社員が国に対する信念及び愛情を表す機会である。本日の些細ながら意味深い活動を通じて、国の建設及び国家保安の任務に取り組んでいる島の人々や軍人たちに力になればと思います。』と述べている。

『ベトナムの信念：国の領海・固有の島のために手を繋ごう』の活動の中に、X グループが『信念で夢を翼にのせて』の絵画コンクールの結果発表及び授賞式を行った。この絵画コンクールは、X の社員の子供を対象とする大会であり、子供たちに自分の夢を語るのを促す同時に、国の未来である子供たちに対する親の期待を表

す。子供たちの幼い絵画により、国やふるさとを愛する気持ち、平和への祈り及び未来に対する

今年から 2015 年にかけて、島への支援を継続的に行うため、X グループは 40 億ドルの予算をたてる。このような活動が、国の領海を常に監視してくれている軍人らへの適時かつ有効なサポートになることを X グループが期待している。

1.6 被験者 6

1.6.1 日→越翻訳データ

(Brochure của công ty Bảo hiểm lớn tại Nhật Bản dành cho việc tuyển dụng nhân viên bán bảo hiểm)

Khẩu hiệu của chúng tôi là “Chúng tôi làm vững mạnh tương lai của bạn”

Để làm cho “tương lai” trở thành khái niệm xác thực hơn.

Công ty chúng tôi sẽ truyền đạt giá trị và bản chất của bảo hiểm sinh mạng tới nhiều khách hàng hơn nữa.

Chúng tôi không đơn thuần chỉ hướng tới việc bán được sản phẩm bảo hiểm sinh mạng.

Bảo hiểm sinh mạng không làm lành được những nỗi đau của khách hàng.

Nhưng điều bảo hiểm sinh mạng có thể làm được chính là “không để cho những khó khăn về vật chất cũng theo những nỗi đau đến với bạn”.

Giá trị và bản chất của bảo hiểm sinh mạng được thể hiện trong chính câu nói đó.

Bởi bảo hiểm sinh mạng với khả năng nâng đỡ cho những giấc mơ của mỗi thành viên mà không gây ra gánh nặng tài chính cho gia đình bạn- chính là biểu hiện của tình yêu sâu sắc đối với gia đình.

Khẩu hiệu của công ty.... chúng tôi là “Chúng tôi làm vững mạnh tương lai của bạn”.

Và thực hiện được điều đó không ai khác chính là những nhà thiết kế cuộc sống (Life Designer) Công ty

Đối với khách hàng, những nhà thiết kế cuộc sống (Life Designer) Công ty

là người luôn đồng hành để cùng suy nghĩ về “tương lai” và tạo dựng sự an tâm, lòng tin cậy cho khách hàng.

Một tương lai xác thực là tương lai do chính bạn nâng đỡ và tạo nên.

Vì tương lai tươi sáng của nhiều khách hàng hơn nữa, và vì tương lai mà chính bạn sẽ tỏa sáng, bạn có muốn cùng chúng tôi thử mở ra cánh cửa đến ngày mai không?

Phòng vấn những nhà thiết kế cuộc sống (Life Designer) Công ty

Người đào tạo...

Có rất nhiều bạn nữ xinh đẹp là mục tiêu của chúng tôi.

Trước khi vào công ty... tôi đã làm việc khoảng 2 năm với tư cách nhân viên hợp đồng. Tại công ty đó có người ... rất chăm chỉ và dễ chịu. Cách cô ấy làm việc với tinh thần trách nhiệm cao thật tuyệt vời, và chúng tôi dần thân thiết với nhau hơn. Theo như tôi được biết về công ty..., ngoài việc chất lượng sản phẩm tốt và nội dung công việc là có thể truyền đạt điều đó tới mọi người, thì ngoài ra còn có điểm rất thu hút đó là nhân viên có thể vừa làm việc vừa thi lấy các chứng chỉ, nâng cao năng lực của bản thân mình.

Từ khi bắt đầu làm việc có nhiều điều khiến tôi cảm nhận được đây là công việc có tính phát triển. Không chỉ về mặt con số, mà cảm xúc ý nghĩa khi đồng cảm với khách hàng là niềm vui mà tôi nghĩ là ở các công việc khác khó mà có được. Tôi nghĩ vẫn còn ít những công sở mà phụ nữ có thể phát triển như vậy, và có nhiều những bạn nữ xinh đẹp là mục tiêu của chúng tôi, nên với tư cách là một người đào tạo, cùng với việc đào tạo cho những ứng viên mới, tôi cũng cố gắng, lạc quan và mong rằng mình có thể toả sáng.

(Tên người)

Dù đang nuôi con nhỏ nhưng tôi vẫn có thể thăng tiến trong công việc.

Đúng thời điểm tôi vào công ty là khi 2 con trai tôi học tiểu học và trung học, nên tôi có lo lắng về việc làm full-time(chính thức), nhưng nhờ vào chính sách hỗ trợ nuôi con nhỏ và sự giúp đỡ của mọi người xung quanh mà tôi đã có thể thăng tiến trong công việc đồng thời chăm lo được công việc gia đình.

Tại công ty... các chính sách và môi trường hỗ trợ nhân viên nữ làm việc được bảo đảm tốt nên các chị em có con nhỏ vẫn có thể toả sáng trong công việc. Mục tiêu của tôi từ khi nhận chức trưởng phòng là coi lời “cảm ơn” của khách hàng là niềm khích lệ lớn lao để cùng với các đồng nghiệp cố gắng làm việc tới khi nghỉ hưu.

1.6.2 越→日翻訳データ

●●（会社名）: ベトナムの信念-母国の海島に向って

母国の海島に向うというスピリットにより、2014年7月9日に、●●グループ(会社名)が社員全員の愛国心及び民族の誇りを喚起させる目的として、「ベトナムの信念-母国の海島に向って」の募金イベントを行った。また、本イベントは●●(会社名)の設立50周年記念に向けての意義な活動の一つである。それはお客さんの信頼に対す

る感謝の気持ちでもあり、企業の社会責任感の表示でもある。

本社及び子会社6社の●●(会社名)の全グループに勤めている社員・カウンセラーの60.000名の代表としての300名、及び他機関の愛国心持ちの方々が参加し、約10億ドンの金額が募金できる結果となった。本金額は今後経済・社会・国防安全の開発のために、島々の在住者や在籍の将兵の方々へのプレゼント代や海上警察・漁業検査機関・漁業協会への補助金等の海島向けの活動の応援として活用される。

イベントの際、参加者方々は●●(会社名)の本社に設置されている国旗と撮影した。この活動は●●(会社名)が全国開催中の「ベトナムの信念」というプログラムに属している。それぞれの金星紅旗の国旗とともに撮った数千人の写真から ベトナム国の地図が完成される。

募金イベントの際、●●取締役社長●●氏は「このイベントは●●の社員が我々の国に対する信念と愛国心を表すチャンスです。本日のような小さいながらも意義深い活動を通して、母国の発展及び国防に貢献されている遠島で活躍されている同胞の方々・将兵の方々へのパワー及び意思のご応援になればと思います」と述べた。

「●●:ベトナムの信念 一母国の海島に向って」のイベントに、●●グループは「夢への翼へ羽ばたける信念」の絵かきコンテストの結果発表と表彰式も開催した。この絵かきコンテストは●●の職員の子供が参加対象になり、親達が母国の将来である子供達に対する信頼を表し、子供達が夢を語るのを激励する という目的で開催された。愛国心や平和の希望や未来への期待が見える絵が多かった。

2015年に至り、●●グループは海島の支援活動に対し約40億ドンの予算額を供与する予定。●●の希望は日夜中母国の海島を保護している将兵の方々へタイミングよくかつ効果的な奨励を与えられるということである。

2. コーディング結果

(エクセルファイルでの表示)

日→越の翻訳データのコーディング表

文数：27

原文	具体的な明晰化ストラテジー	被験者1	被験者2	被験者3	被験者4	被験者5	被験者6	活用レベル	利用目的	必然性
合い言葉は「あなたの未来を強くする」	暗示された情報の復元	×	○	×	×	○	○	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	原文の構成変更	○	×	○	○	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	程度副詞の付加	×	×	×	×	○	×	語彙レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	主体の明示化	×	×	×	×	×	○	文法レベル	意味明確化のため	任意的
「未来」をより確かなものにするために。	暗示された情報の復元	○	×	×	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	×	×	○	○	○	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	形式名詞の具体化	×	×	×	×	×	○	文法レベル	意味明確化のため	任意的
私たち●●（会社名）は、一人でも多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えていきます。	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	×	×	○	○	語彙レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
	テンス・アスペクトの変換・具体化	○	○	○	×	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
私たちは、単に生命保険商品を販売することだけを目指しているわけではありません。	原文の構成変更	○	○	○	○	○	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
生命保険でお客様の悲しみを癒すことはできません。	程度副詞の付加	×	○	×	×	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
しかし「悲しみと共に貧しさが訪れないようにすることはできる」	主体の明示化	×	×	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	任意的
	暗示された情報の復元	×	×	×	×	×	○	談話レベル	意味明確化のため	任意的
生命保険の価値・本質は、この言葉に表されています。	テンス・アスペクトの変換・具体化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
	程度副詞の付加	×	×	○	×	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
ご家族に経済的な負担をかけずに、	原文の構成変更	○	×	○	○	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的

それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたもののなのです。	指示語の意味明確化	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	形式名詞の具体化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	程度副詞の付加	×	×	○	×	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	暗示された情報の復元	×	×	○	○	○	○	談話レベル	意味明確化のため	任意的
私たち●●（会社名）の合い言葉は「あなたの未来を強くする」	原文の構成変更	○	×	×	×	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
そして、それを実現していけるのは●●（会社名）ライフデザイナーにほかなりません。	テンス・アスペクトの変換・具体化	○	○	○	×	○	○	文法レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
	英語（表記）の併用による誤解防止	×	×	×	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	指示語の意味明確化	○	×	×	○	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	原文の構成変更	×	×	○	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
	説明の追加	×	×	○	×	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
お客様にとって、共に「未来」を考えてくれる存在、安心と信頼の絆を繋ぐのが●●（会社名）ライフデザイナーなのです。	原文の構成変更	○	○	○	○	○	○	談話レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
	説明の追加	○	×	×	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
確かな未来は、あなたが支えていく未来		×	×	×	×	×	×			
一人でも多くのお客様の明るい「未来」のため、そしてあなた自身の輝く「未来」のため	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	×	○	×	×	○	○	語彙レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
さあ、私たちと一緒に、明日への扉を開けてみませんか？	原文の構成変更	○	○	×	×	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	主体の明示化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	任意的
「●●（会社名）ライフデザイナー」インタビュー	説明の追加	○	○	○	○	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
トレーナー●●（個人名）		×	×	×	×	×	×			

目標となる素敵な女性がたくさんいます	説明の追加	○	×	○	×	○	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
●●（会社名）に入社する前に、契約社員として約2年間働いていました。	指示語の付加	×	×	×	○	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	主体の明示化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	説明の追加	×	×	×	×	○	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
その職場に顔を出されていた〇〇の方が、真面目でとても感じが良かったんです。	性別の明示化	○	×	×	×	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	×	×	×	○	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	説明の追加	×	×	×	×	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
使命感をもって仕事をしている姿勢が素敵で、仲良くさせて頂くようになったんです。	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	原文の構成変更	○	○	○	○	○	○	談話レベル	意味明確化のため	任意的
（会社名）を知っているうちに、商品の良さや、それをたくさんの人に伝えられる仕事の内容、更に仕事をしながら資格を取ったり、自分自身が向上していけるという点に惹かれるようになりました。	説明の追加	○	○	○	○	○	○	談話レベル	意味明確化のため	義務的
	指示語の意味明確化	○	○	○	○	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	形式名詞の具体化	○	○	×	○	×	×	文法レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	×	×	○	○	○	○	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
実際に働き出してから、達成感のある仕事だということを実感することが多いです。	主体の明示化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
数字上のことだけではなく、お客様と通じ合えた瞬間の充実感、他の仕事ではなかなか味わえない喜びだと思います。	主体の明示化	○	×	×	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	任意的
	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	原文の構成変更	×	○	○	○	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的

	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	主体の明示化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	原文の構成変更	○	○	○	○	○	○	談話レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
	説明の追加	×	×	○	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
こんな風に女性が活躍できる職場はまだ少ないと思いますし、目標となる素敵な女性がたくさんいらっしゃるので、トレーナーとして新人育成に携わる今は、自分自身も前向きに頑張って私らしく輝けたら、と思っています。	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	主体の明示化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	説明の追加	○	○	×	×	○	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
	暗示された情報の復元	×	○	×	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
	指示語の付加	×	×	×	○	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	○	○	○	○	×	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	×	○	○	×	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
子育て中でも無理なくキャリアアップできます	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
●●（会社名）には働く女性をバックアップする体制や環境が充分整っているの、小さなお子さんがいる方でもきっと自分らしく輝けると 생각합니다。	主体の明示化	○	×	×	×	○	×	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	読み手・聞き手に馴染みのあるような表現への変換	○	○	○	○	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
所長になった今の目標は、お客様の「ありがとう」を励みとして仲間たちと前向きに定年まで頑張ることです。	原文の構成変更	○	○	○	○	○	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	説明の追加	○	×	×	×	×	○	語彙レベル	目標テキストの自然さのため	任意的

越→日の翻訳データのコーディング表

文数：13文

原文	具体的な明晰化 ストラテジー	被 験 者 1	被 験 者 2	被 験 者 3	被 験 者 4	被 験 者 5	被 験 者 6	活用レベル	利用目的	必然性
●● (Tên công ty): NIỀM TIN VIỆT - CHUNG TAY HƯỚNG VỀ BIỂN ĐẢO QUÊ HƯƠNG	原文の構成変更	×	○	○	×	○	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
Với tinh thần hướng về biển đảo quê hương, ngày 09/07/2014, tập đoàn ●● (Tên công ty) đã phát động chương trình quyên góp: Niềm tin Việt – Chung tay hướng về biển đảo quê hương nhằm khơi dậy lòng yêu nước, niềm tự hào dân tộc, hướng về biển đảo thân yêu trong mỗi cán bộ ●● (Tên công ty).	原文の不自然さに対する処理	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
	指示語の付加	×	○	×	×	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	×	×	○	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
Đồng thời, chương trình cũng là một hoạt động ý nghĩa hướng tới kỉ niệm 50 năm thành lập ●● (Tên công ty), là lời tri ân của doanh nghiệp đáp lại sự tin tưởng của khách hàng và cộng đồng cũng như thể hiện trách nhiệm xã hội của doanh nghiệp.	指示語の付加	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	程度副詞の付加	○	×	×	×	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	読み手に馴染みのある表現への変換	○	×	×	×	×	×	語彙レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
Chương trình đã thu hút sự tham gia của hơn 300 cán bộ, đại diện cho hơn 60.000 cán bộ, tư vấn viên trên toàn hệ thống ●● (Tên công ty) bao gồm Công ty Mẹ và 6 Đơn vị thành viên cùng những trái tim yêu nước khác, thu về gần 1 tỷ VND để ủng hộ cho các hoạt động hướng về biển đảo quê hương như tặng quà cán bộ chiến sỹ và nhân dân trên đảo, hỗ trợ lực lượng cảnh sát biển, kiểm ngư, hội nghề cá ...phát triển kinh tế - xã hội – an ninh quốc phòng.	読み手に馴染みのある表現への変換	○	○	○	○	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	読み手に馴染みのある表現への変換	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	目標テキストの自然さのため	義務的
	読み手に馴染みのある表現への変換	○	×	×	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	説明の追加	○	×	×	×	×	○	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	×	○	○	○	○	○	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	原文の不自然さに対する処理	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
Tại buổi lễ, những người tham gia chương trình đã chụp ảnh với lá Quốc kỳ ngay tại trụ sở chính của tập đoàn ●● (Tên công ty).	説明の追加	×	○	×	×	×	○	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
Hoạt động này nằm trong chương trình “Niềm tin Việt” mà Tập đoàn ●● (Tên công ty) đang đồng		×	×	×	×	×	×			

hành và lan tỏa trên toàn quốc.										
Từ ảnh chụp của mỗi người, một tấm bản đồ Việt nam ghép lại từ hình ảnh của hàng nghìn người đứng dưới lá cờ đỏ sao vàng sẽ dần được hoàn thiện.	指示語の付加	×	×	×	○	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	説明の追加	×	○	○	○	○	○	談話レベル	意味明確化のため	任意的
Tại lễ phát động, ông●●- Tổng Giám đốc Tập đoàn ●●- chia sẻ: “Chương trình là cơ hội để mỗi cán bộ nhân viên Bảo Việt thể hiện niềm tin và tình yêu đối với quê hương đất nước. Thông qua những hành động nhỏ mà ý nghĩa ngày hôm nay, chúng tôi hy vọng sẽ tiếp thêm sức mạnh và ý chí kiên cường cho đồng bào và các chiến sỹ nơi đảo xa trong công cuộc xây dựng và bảo vệ đất nước”.	指示語の付加	○	○	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	義務的
	説明の追加	○	×	○	○	○	○	談話レベル	意味明確化のため	義務的
	説明の追加	○	×	×	×	×	○	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	読み手に馴染みのある表現への変換	○	○	○	○	○	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	読み手に馴染みのある表現への変換	○	○	×	○	○	×	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	程度副詞の付加	×	×	×	×	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	テンス・アスペクトの変換・具体化	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
Trong khuôn khổ chương trình “●●: Niềm tin Việt-Chung tay hướng về biển đảo quê hương”, Tập đoàn ●●cũng đã công bố và trao giải cuộc thi vẽ tranh “Niềm tin chắp cánh ước mơ”.	原文の不自然さに対する処理	○	○	○	○	○	○	文法レベル	意味明確化のため	義務的
Đây là cuộc thi dành cho con em cán bộ nhân viên ●●, khuyến khích các bé nói lên ước mơ của mình, thể hiện niềm tin của cha mẹ gửi gắm vào thế hệ tương lai của đất nước.	説明の追加	○	×	○	○	○	○	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
	説明の追加	○	×	×	○	×	○	談話レベル	意味明確化のため	任意的
	指示語の意味明確化	×	×	×	○	○	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
Dưới nét vẽ ngây thơ của các em, rất nhiều bức tranh tham dự đã bộc lộ tình yêu với quê hương đất nước, thể hiện ước mơ hòa bình và niềm tin vào tương lai.	暗示された情報の復元	×	×	○	×	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的
	原文の構成変更	○	○	○	○	○	○	談話レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
Từ nay đến năm 2015, Tập đoàn ●●dự kiến sẽ dành nguồn kinh phí khoảng 4 tỷ đồng để tiếp tục triển khai các hoạt động hỗ trợ vùng biển đảo.	テンス・アスペクトの変換・具体化	○	×	○	×	×	×	文法レベル	目標テキストの自然さのため	任意的
	説明の追加	×	○	×	○	×	×	談話レベル	意味明確化のため	任意的

●●mong muốn sự đóng góp này sẽ mang lại sự động viên kịp thời và hiệu quả đối với những cán bộ chiến sỹ đang ngày đêm canh giữ và bảo vệ vùng biển của Tổ quốc.	説明の追加	×	×	×	○	×	×	語彙レベル	意味明確化のため	任意的
---	-------	---	---	---	---	---	---	-------	----------	-----

パート 3

意識調査に使われるアンケート用紙

1. 日本人対象者への調査に使われるアンケート用紙

【日本人対象者】

平成 28 年 12 月 23 日

東京外国語大学博士後期課程

グエンティミンヴァン

日越通訳・翻訳研究へのご協力のお願い

本アンケート調査は日越通訳・翻訳研究のために行われるものです。アンケート調査結果及び協力者の情報は研究以外の目的に使いません。本研究の成果は全般的な通訳・翻訳の研究、特別にベトナムにおける日本語通訳者・翻訳者の養成事業に貢献できると思われます。本アンケートの回答時間は約 20 分～25 分です。是非ともご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

アンケートの質問へ回答する前に、以下の情報をご提供願います。

1. 国籍：
2. 年齢： 性別：
3. 使用可能な言語：
母 語 _____ 語、 そ の 他 _____ 語、 _____ 語、
_____ 語
4. 通訳を依頼した経験があるか：○ある ○ない
5. 翻訳を依頼した経験があるか：○ある ○ない

本アンケートは 3 つの部分から 構成されています。PART A は通訳文の評価、PART B は翻訳文の評価、そして PART C は全体的な感想です。最後までご協力をお願い申し上げます。

PART A : 通訳

PART A の調査目的は通訳パフォーマンスを評価することです。ベトナム人の対話者がベトナム語で発言し、通訳者があなたにその発言を日本語に通訳する場面をご想像下さい。通訳者の伝達内容・表現・分かりやすさ等を総合的に考慮し、評価して下さい。評価は1～5点の点数でして頂きます。評価が高いほど、高い点数になります。特に、下線を引かれた訳の部分に注目し、評価して下さい。参照として、発言のすぐあとの（ ）の中に、直訳を提示しておきます。また、点数で評価した上で、評価の根拠を一言でコメントをお願い致します（例えば：説明の追加によってより分かりやすくなったと思う）

以下に使われる記号の意味は次のとおりです。

VNS: Vietnamese Speaker （ベトナム人発言者）

JPS : Japanese Speaker （日本人発言者）

VJI: Vietnamese-Japanese Interpreter （ベトナム語から日本語へ通訳する訳文）

VNT: Vietnamese Text （ベトナム語原文）

VJT: Vietnamese-Japanese Translation （ベトナム語から日本語へ翻訳する訳文）

尚、●●には固有名詞が入ります。

Q1:

VNS: Xin chào bà, cảm ơn bà đã dành thời gian đến dự cuộc họp ngày hôm nay.

（Ms、こんにちは。あなたが本日の会議へ来る時間をお使い下さり、ありがとうございます）

VJI: あの、こんにちは、本日はお時間を割いて頂きましてありがとうございました。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q2:

JPS: はい、じゃ、これから、何か、質問があったら、チエンさんにしますが、えーと、日本語はだめでしょうか。

VNS: À, xin hãy sử dụng bằng tiếng anh.

(あ、英語をご使用下さい)

VJI: えー、出来れば英語で、、、

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q3:

VNS: Xin hỏi bà 「話者名」 có các câu hỏi gì về cái cơ cấu, cũng như các cái giai đoạn của buổi hội thảo tới?

(●●さんは今度のセミナーの仕組み及び各段階について質問があるかどうかお伺いしたいです。)

VJI: 今回のセミナーのアジェンダについて質問などはあるんですか。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q4 :

VNS: Cuộc hội thảo sẽ được diễn ra từ 14 giờ cho tới 17 giờ, ngày 30 tháng 11 năm 2011, tại khách sạn Sheraton Hà Nội, địa chỉ tại đường Nghi Tàm, Quận Tây Hồ.

(セミナーは 2011 年 11 月 30 日の 14 時から 17 時までで、住所が Tay Ho 区 Nghi Tam 通りにあるシェラトンハノイホテルで行われます)

VJI: セミナーの時間は 2011 年 11 月 30 日、14 時から 17 時までです。

VJI: えと、場所はシェラトンホテルです。

VJI: 具体的な住所なんですけども、Nghi Tam, Nghi tam という道です。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q5:

VNS: Trong đó thì chủ yếu là các doanh nghiệp trong và ngoài nước, và chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật, đã đang và sắp đầu tư vào Việt Nam.

(その中で、殆どは国内外の企業で、そして、主にベトナムに投資した、投資している、そして投資していく企業です)

VJI: その中ですね、200 名の中ですけど、主に国内外の企業の代表者ですね。国外の企業さんに来てもらいますけど、その中で、ベトナムに今投資している、また、今後ですね、投資する計画がある企業が殆どです。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q6:

VNS: Cuộc hội thảo tới đây sẽ được tổ chức tại khách sạn Sheraton, Hà Nội, địa chỉ tại đường Nghi Tàm, Quận Tây Hồ.

(今度のセミナーは住所がタイホ区、ギ・タム通りであるシェラトンホテルハノイにおいて行われます)

VJI: セミナーの行われる場所ですけど、シェラトンホテルという場所で、ギタム通りですね。

VJI: タイ湖の近くですけど。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q7:

VNS: Vâng, xin bà gửi cho anh Chiến là người phụ trách.

VNS: Số điện thoại là 0902232083, và email là chienmpi@gmail.com.

(はい、あなたは担当者のチェンさんに送るようお願い致します。電話番号は 0902232083、そして、E メールは chienmpi@gmail.com です)

VJI: あの、連絡の窓口としては、チェンさんという方ですね。

VJI: チェンさんですけど。

VJI: で、まず、チェンさんの電話番号ですけど、ちょっといいですか。0902232083。

(中略)

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q8:

VNS: Với lý do rằng, doanh nghiệp 「社名」 là một doanh nghiệp đã có kinh nghiệm lâu dài với 15 năm kinh nghiệm đầu tư ở Việt Nam, là một trong số những doanh nghiệp Nhật

Bản đầu tiên đầu tư, thành công ở tại Việt Nam, sự chia sẻ kinh nghiệm của doanh nghiệp 「社名」 sẽ rất có ích cho khách mời đến tham dự hội thảo.

(●●社はベトナムに投資した経験が15年もあり、ベトナムに初めて投資し、成功を納めた日系企業の一つである理由で、●●社の経験の共有はセミナー参会者にとってとても役立つものです。)

VJI: はい、今までは、ベトナムに進出するとか進出している日系企業は多いですけども、確かに御社が長い時間、えーと、ベトナムにはじめてベトナムに進出した企業の一つですので、歴史とか経験も深い企業だと存じますので、今回のセミナーには、是非、ご発表をお願いしたいと思います。

VJI: 御社を代表しての「人名」さんのご発表は是非参加者に対して、えと、良い経験を与えたいと思います。

○1点 ○2点 ○3点 ○4点 ○5点

評価根拠：

Q9:

VNS: Vàng, xin hỏi bà ●● có câu hỏi gì không ạ?

(●●様にお聞きしたいのですが、何か質問がございますでしょうか)

VJI: はい、それで、えー、セミナーに関して何かご質問とかございますでしょうか。

○1点 ○2点 ○3点 ○4点 ○5点

評価根拠：

Q10:

VNS: Phần thứ hai là các chính sách mới của chính phủ Việt Nam nhằm thu hút đầu tư nước ngoài.

(第二は海外投資を誘致するためのベトナム政府の新しい政策です)

VJI: っで、次の内容ですけども、それは、投資の誘致のためのベトナムの政策なんです。

○1点 ○2点 ○3点 ○4点 ○5点

評価根拠：

PART B: 翻訳

PART B の調査目的は翻訳パフォーマンスを評価するためです。翻訳文の伝達内容・表現・分かりやすさ等を総合的に考慮し、評価して下さい。評価は1～5点の点数でして頂きます。評価が高いほど、高い点数になります。特に、下線を引かれた訳の部分に注目し、評価して下さい。参照として、発言のすぐあとの（ ）の中に、直訳を提示しておきます。また、点数で評価した上で、評価の根拠を一言でコメントをお願い致します（例えば：説明の追加によって、より分かりやすくなる）

以下に使われる記号の意味は次のとおりです。

VNT: Vietnamese Text (ベトナム語原文)

VJT: Vietnamese-Japanese Translation (ベトナム語から日本語へ翻訳する訳文)

Q1:

VNT: Chương trình đã thu hút sự tham gia của hơn 300 cán bộ, đại diện cho hơn 60.000 cán bộ, tư vấn viên trên toàn hệ thống ○○ (Tên công ty) bao gồm Công ty Mẹ và 6 Đơn vị thành viên cùng những trái tim yêu nước khác (中略) . . .

((プログラムには親会社並びに子会社の 6 社を含む全システムにおける 60.000 人の従業員、営業職員の代表となる 300 人あまりの方々及びその他の愛国心のご参加を頂き . . . (中略))

VJT: 当運動は、○○の親会社、傘下の子会社 6 社に勤務している 6 万人の従業員、カウンセラー等を代表する 300 名の従業員及び愛国心を持っている多くの方々よりご参加頂き . . . (中略)

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q2:

VNT: Đây là cuộc thi dành cho con em cán bộ nhân viên (会社名) khuyến khích các bé nói lên ước mơ của mình, thể hiện niềm tin của cha mẹ gửi gắm vào thế hệ tương lai của đất nước.

(これは (会社名) の従業員の子供達のためのコンテストであり、子供達が自分の夢を語るのを推奨し、国の将来世代に対する親の期待を表す)

VJT: これは (会社名) の従業員の子供達を対象としたコンテストであり、子供達が自分の夢を語るのを応援し、国の将来を担う世代に対する親の期待を表すためである。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q3:

VNT: Thông qua những hành động nhỏ mà ý nghĩa ngày hôm nay, chúng tôi hy vọng sẽ tiếp thêm sức mạnh và ý chí kiên cường cho đồng bào và các chiến sỹ nơi đảo xa trong công cuộc xây dựng và bảo vệ đất nước”.

(本日の些細ながらも有意義な行動を通じて、我々は国防・国づくり事業における、遠い島の同胞及び兵士に対して力や強い意志を与えられることを期待している)

VJT: 小さいながらも有意義な本日の行動を通じて、国防・国づくりのために遠い島で活躍している兵士の方々、住民の方々に少しでもお力になれば幸いと存じます。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q4:

VNT : Trong khuôn khổ chương trình “（会社名）: Niềm tin Việt- Chung tay hướng về biển đảo quê hương”, Tập đoàn（会社名） cũng đã công bố và trao giải cuộc thi vẽ tranh “Niềm tin chắp cánh ước mơ”.

（「ベトナムビリーフ・母国の海島に向けて力を合わせる」という運動の中で、グループ（会社名）は「夢を羽ばたかせる」という絵画コンテストを発表し、受賞式を行った）

VJT: 「（会社名）：ベトナムビリーフ、力を合わせ、母国の海島に向かう」運動の中で、グループ（会社名）は「夢を支えるビリーフ」という絵画コンテストの結果も発表し、授賞式を行った。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q5:

VNT: Ngày 09/07/2014, tập đoàn (Tên công ty) đã phát động chương trình quyên góp: Niềm tin Việt – Chung tay hướng về biển đảo quê hương nhằm khơi dậy lòng yêu nước, niềm tự hào dân tộc, hướng về biển đảo thân yêu trong mỗi cán bộ (Tên công ty).

(2014 年 7 月 9 日に、(会社名) グループは(会社名) の職員ごとの愛国心、民族への誇り、親愛なる海島へ向かうを呼び起こすために、「ベトナムのビリーフ – 母国の海島に向かって力を合せる」という寄付プログラムを発足させた。)

VJT: 2014 年 07 月 09 日に グループ名は「ベトナムへの希望ーベトナム領海へ向けて手を合わせよう」という寄付プログラムを起こしました。目的は グループ名の従業員の愛国心、民族の誇り、島への愛着を喚起することです。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q6:

VNT: Tại lễ phát động, ông Nguyễn Quang Phi,-Tổng Giám đốc Tập đoàn ○○- chia sẻ: “Chương trình là cơ hội để mỗi cán bộ nhân viên Bảo Việt thể hiện niềm tin và tình yêu đối với quê hương đất nước.

(発足式において、○○グループのグエン・クアン・フィー社長は「プログラムは○○の社員にとって、母国への信頼・愛情を表す機会である」と語る)

VJT: 発足式において、○○グループ社長グエン・クアン・フィー社長は「当運動は○○の社員にとって、母国への信頼・愛情を表す機会である」と語った。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q7:

VNT: Đồng thời, chương trình cũng là một hoạt động ý nghĩa hướng tới kỉ niệm 50 năm thành lập ○○ (社名), là lời tri ân của doanh nghiệp đáp lại sự tin tưởng của khách hàng và cộng đồng cũng như thể hiện trách nhiệm xã hội của doanh nghiệp.

(また、プログラムも(社名)の設立 50 周年記念に向けての有意義な活動であり、お客様及び共同体の信頼への返礼であり、そして企業の社会的な責任を表す。)

VJT: また、当運動は(社名)設立 50 周年を迎える中で、非常に有意義な運動であり、お客様社会の信頼への感謝の意を表すためでもあり、当社の社会的責任を果たすためでもある)

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q8 :

VNT: Dưới nét vẽ ngây thơ của các em, rất nhiều bức tranh tham dự đã bộc lộ tình yêu với quê hương đất nước, thể hiện ước mơ hòa bình và niềm tin vào tương lai.

(子供達の純粋な画線によって、参加された多くの絵は国や故郷への愛情、平和の夢や将来への希望を表した)

VJT: コンテストに参加した子供達が描いた純粋な絵は愛国心や平和・将来への希望を表している。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

PART C: 全体的な感想

PART A と PART B において、通訳文や翻訳文を評価する時のご感想（評価する際に特に重視した観点や、提示された通訳・翻訳の文の良いまたは良くないと思ったところ、及びその他お気づきの点やコメント等）を自由にお書きください。

★ アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

2. ベトナム人対象者への調査に使われるアンケート 用紙

Ngày 23 tháng 12 năm 2016

Trường đại học Ngoại ngữ Tokyo

Khoa sau đại học

Người thực hiện nghiên cứu: NGUYỄN THỊ MINH VÂN

Đề nghị hợp tác đối với nghiên cứu về phiên – biên dịch Nhật Việt

Khảo sát này được thực hiện nhằm phục vụ cho nghiên cứu phiên – biên dịch Nhật Việt. Kết quả của khảo sát này cũng như thông tin về người hợp tác thực hiện khảo sát sẽ không được sử dụng cho bất kì mục đích nào ngoài nghiên cứu. Thành quả của nghiên cứu này có thể đem lại những đóng góp đối với nghiên cứu về dịch thuật nói chung, và đặc biệt là đối với công việc giảng dạy, đào tạo biên phiên dịch tiếng Nhật tại Việt Nam nói riêng. Thời gian để thực hiện khảo sát này là khoảng 20 phút ~25 phút. Kính mong quý vị hợp tác hỗ trợ cho nghiên cứu này.

Trước khi trả lời các câu hỏi trong phiếu điều tra, kính mong quý vị vui lòng cung cấp các thông tin sau:

1. Quốc tịch:
2. Bạn năm nay bao nhiêu tuổi?
3. Ngôn ngữ có thể sử dụng (Bao gồm cả tiếng mẹ đẻ):
4. Bạn đã từng có kinh nghiệm sử dụng phiên dịch hay chưa:
 - Đã từng ○ Chưa từng
5. Bạn đã từng có kinh nghiệm sử dụng dịch vụ biên dịch hay chưa:
 - Đã từng ○ Chưa từng

Phiếu điều tra này bao gồm 3 phần. Phần A là phần đánh giá về chất lượng phiên dịch, phần B là phần đánh giá về chất lượng biên dịch, phần C là cảm tưởng chung. Kính mong các bạn hợp tác trả lời đầy đủ toàn bộ thông tin yêu cầu trong phiếu điều tra này.

PART A : Đánh giá về chất lượng phiên dịch

Phần A là phần đánh giá về chất lượng phiên dịch (JVI) . Bạn hãy tưởng tượng một bối cảnh, trong đó bạn đang trò chuyện cùng một người Nhật thông qua phiên dịch. Bạn hãy đánh giá chất lượng phiên dịch một cách tổng hợp dựa trên nhiều yếu tố như: Nội dung truyền đạt,

cách diễn đạt và mức độ dễ hiểu v.v. Xin mời tham khảo nội dung “trực dịch” được đưa ra trong phần () như một căn cứ nhận định trong quá trình đánh giá. Về hình thức đánh giá, các bạn sẽ chấm theo thang điểm 5. Mức độ đánh giá càng cao, số điểm các bạn chọn càng lớn. Đặc biệt, xin lưu ý tới phần nội dung được gạch chân trong quá trình đánh giá. Sau khi đánh giá theo thang điểm 1~5, xin cho biết lý do vì sao bạn đưa ra đánh giá như vậy (Ví dụ: Nhờ có sự giải thích bổ sung của người dịch nên câu văn trở nên dễ hiểu hơn).

Các kí hiệu sử dụng trong phiếu điều tra được giải thích như sau:

JPS: Japanese Speaker (Người phát ngôn là người Nhật)

VNS: Vietnamese Speaker (Người phát ngôn là người Việt Nam)

JVI: Japanese – Vietnamese Interpreter (Phiên dịch từ tiếng Việt sang tiếng Nhật)

VJI: Vietnamese-Japanese Interpreter (Phiên dịch từ tiếng Nhật sang tiếng Việt)

※ JVI và VJI là cùng một người. Một phiên dịch phiên dịch cả hai chiều dịch xuôi và dịch ngược.

Q1:

VJI: 是非「人名」様が「人名」様に今回のセミナーに参加して頂きたいと思います。

(Nhất định mong nhận được sự tham gia hội thảo lần tới của bà 「tên người」)

JPS: はい、喜んで参加させていただきます。

(Vâng, rất vui được tham gia ạ)

JVI: Vâng, tôi cũng rất vui lòng xin được dự buổi hội thảo sắp tới.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q2:

JPS: あの、大体何人の方が出席するのですか。

(À, khoảng bao nhiêu người sẽ tham gia ạ?)

JVI: Cho tôi hỏi là khoảng độ tầm bao nhiêu người sẽ tham gia ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q3:

VJI: まずあの、本日の、あの、会議に出席して頂いてありがとうございました。

(Trước tiên, xin cảm ơn bà đã tham dự hội nghị ngày hôm nay)

JPS: いいえ、こちらこそ。(Không ạ, tôi cũng vậy)

JVI: Chính tôi mới là người phải cảm ơn anh vì đã mời tôi đến đây ạ.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q4:

VJI: 200 人ぐらい参加すると思います。

(Tôi nghĩ khoảng 200 người sẽ tham gia)

JPS : そうですか。その 200 人というのは、どういう方ですか。

(Vâng ạ. 200 người đó là những ai ạ?)

JVI: Anh có thể cho tôi biết thông tin về 200 người sẽ tham gia được không ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q5 :

VNS: Vâng, nếu có thể xin doanh nghiệp hãy gửi cho tôi trước 2 tuần, trước khi mà hội thảo diễn ra, để chúng tôi chuẩn bị cho người dịch sang tiếng Việt từ sớm.

VJI: はい、あの、できれば、そのセミナーの 2 週間前に送って頂きたいんです。

(À nếu được thì mong bà gửi giúp 2 tuần trước hội thảo)

VJI: なぜその 2 週間がいるか(うん)、ベトナム語に翻訳する必要がありますので。

(Tại sao lại cần 2 tuần, thì đó là vì cần dịch sang tiếng Việt ạ)

JPS : 分かりました。

(Vâng, tôi hiểu rồi)

JPS : ということは、私は、日本語で発表すればいいですね。

(Điều đó có nghĩa là tôi phát biểu bằng tiếng Nhật là được nhỉ?)

JVI: Thế tức là có người dịch thì tôi chỉ cần, tôi nói bằng tiếng Nhật là được đúng không ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q6:

JPS: はい、じゃ、これから、何か、あの、質問があったら、チエンさんにしますが、えーと、日本語はだめでしょう?。

(Vâng, vậy, sau đây, nếu có câu hỏi gì thì làm với Chiến, nhưng tiếng Nhật thì không được ạ?)

JVI: À, ví dụ như sau buổi họp ngày hôm nay, tôi có câu hỏi gì thì tôi gửi mail cho anh Chiến là được đúng không ạ? Thế nhưng mà tôi gửi bằng tiếng Nhật thì liệu có vấn đề gì không?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q7:

JPS: 今ちょっと提案の内容に、えーと、私が発表する、あの、内容についてちょっと確認させてもらいますね。

(Bây giờ cho phép xác nhận một chút về nội dung đề xuất, nội dung mà tôi sẽ phát biểu nhé)

JPS: 一番目は、企業の概要ですね、わが社の企業の。

(Thứ nhất là giới thiệu khái quát về doanh nghiệp, doanh nghiệp của tôi)

JPS : そして、この、ベトナムに進出したころの初期の困難について。

(Và về khó khăn ban đầu khi vào Việt Nam)

JVI: Thế là bà ý muốn xác nhận lại nội dung của cái cấu trúc cái bài phát biểu ạ.

JVI: Thứ nhất là giới thiệu khái quát về doanh nghiệp.

JVI: Cái thứ hai là những khó khăn ban đầu khi đầu tư vào Việt Nam.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q8:

JPS : 三番目はそれに対してどのような対策を採ってきたか。

(Cái thứ ba là đã có đối sách gì đối với điều đó)

JVI: Cái thứ ba là những biện pháp、đối sách để vượt qua những cái khó khăn đó.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q9:

JPS : その担当の方はどなたですか。

(Vị phụ trách đó là ai ạ?)

JVI: Vâng, cho tôi hỏi, người phụ trách vấn đề này là ai ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q10:

JPS: そして、発表原稿は 2 週間前までに送りますが、あの、もし何か聞きたいことがあったら、この方に私が直接メールや電話ですね、ところで、言語はどうなってますか?、この方の言葉。

(Và, bản thảo bài phát biểu thì sẽ gửi trước 2 tuần, nhưng nếu có gì muốn hỏi, thì tôi sẽ trực tiếp email hay gọi điện cho vị này, thể ngôn ngữ thì thể nào ạ, ngôn ngữ của vị này ý ạ)

JVI: Cho tôi hỏi một chút, thể tức là bài phát biểu của tôi sẽ gửi cho anh Chiến trước hai tuần diễn ra hội thảo, thể nhưng mà trong quá trình viết nếu như có gì tôi không hiểu thì tôi có thể contact trực tiếp với anh Chiến bằng mail hoặc là điện thoại được không ạ?

JVI: Thể contact với anh Chiến thì sẽ bằng tiếng gì ạ, tiếng Nhật được không ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

PART B: Biên dịch

Phần B là phần đánh giá về chất lượng biên dịch (JVT) . Bạn hãy đánh giá chất lượng nội dung biên dịch dưới đây một cách tổng hợp dựa trên nhiều yếu tố như: Nội dung truyền đạt, cách diễn đạt và mức độ dễ hiểu v.v. Xin mời tham khảo nội dung “trực dịch” được đưa ra trong phần () như một căn cứ để nhận định trong quá trình đánh giá. Về hình thức đánh giá, các bạn sẽ chấm theo thang điểm 5. Mức độ đánh giá càng cao, số điểm các bạn chọn càng lớn. **Đặc biệt, xin lưu ý tới phần nội dung được gạch chân trong quá trình đánh giá.** Sau khi đánh giá theo thang điểm 1~5, xin cho biết lý do vì sao bạn đưa ra đánh giá như vậy (Ví dụ: Nhờ có sự giải thích bổ sung của người dịch nên câu văn trở nên dễ hiểu hơn).

Các kí hiệu sử dụng trong phiếu điều tra được giải thích như sau:

VNT: Vietnamese Text (Câu gốc tiếng Việt)

JPT: Japanese Text (Câu gốc tiếng Nhật)

JVT: Japanese – Vietnamese Translation (Câu biên dịch từ tiếng Nhật sang tiếng Việt)

Q1:

JPT: その職場に顔を出されていた○○の方が、真面目でとても感じが良かったです。

(Vị mà đến chỗ làm lúc đó nghiêm túc và cảm giác rất dễ chịu)

JVT: Chị nhân viên của công ty ○○ đến chỗ tôi làm lúc đó là người rất chăm chỉ và dễ chịu.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q2:

JPT: そして、それを実現していけるのは●●（会社名）ライフデザイナーにほかなりません。

（Và, người thực hiện được điều đó chính là nhà thiết kế cuộc sống（tên công ty））

JVT: Và người thực hiện sứ mệnh đó chính là Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống（tên công ty）

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q3:

JPT: ご家族に経済的な負担をかけずに、それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたものなのです。

（Bảo hiểm nhân thọ có thể hỗ trợ thực hiện từng ước mơ mà không gây gánh nặng kinh tế lên gia đình, chính là thứ biểu tình yêu sâu sắc dành cho gia đình thành hình）

JVT: Bảo hiểm nhân thọ giúp bạn thực hiện ước mơ mà không gây áp lực kinh tế cho gia đình, và cũng chính là cách thể hiện rõ ràng nhất cho tình yêu sâu sắc đối với gia đình của bạn.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q4:

JPT: 合い言葉は「あなたの未来を強くする」

（Khẩu hiệu là “Làm vững mạnh tương lai của bạn”）

JVT: Phương châm của chúng tôi là “Làm vững chắc hơn tương lai của bạn”

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q5:

JPT: 私たち○○（会社名）は、一人でも多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えていきます。

（Chúng tôi（Tên công ty）sẽ truyền tải giá trị, bản chất của bảo hiểm nhân thọ đến nhiều quý khách hàng, dù là nhiều hơn 1 khách hàng cũng tốt）

JVT: Chúng tôi ○○ (tên công ty) đã, đang và sẽ nỗ lực chuyển tải giá trị, bản chất của bảo hiểm nhân thọ tới thật nhiều quý khách hàng.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q6:

JPT: お客様にとって、共に「未来」を考えてくれる存在、安心と信頼の絆を繋ぐのが●●（会社名）ライフデザイナーなのです。

(Đối với quý khách hàng, sự tồn tại luôn suy nghĩ cho tương lai cùng khách hàng, người sẽ kết nối an tâm và sự tin tưởng chính là nhà thiết kế cuộc sống)

JVT: Đối với quý khách hàng, những nhà thiết kế cuộc sống (Life Designer) là người luôn đồng hành để cùng suy nghĩ về “tương lai” và tạo dựng sự an tâm, lòng tin cậy cho khách hàng.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q7:

JPT: 使命感をもって仕事をしている姿勢が素敵で、仲良くさせて頂くようになったんです。

(Tư thế làm việc có tinh thần sứ mệnh thật đẹp và (tôi) đã trở nên thân thiết với cô ấy)

JVT: Cách cô ấy làm việc với tinh thần trách nhiệm cao thật tuyệt vời và chúng tôi dần thân thiết với nhau hơn.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

Q8 :

JPT: 実際働き出してから、達成感のある仕事だということを実感することが多いです。

(Kể cả sau khi vào làm thực tế, rất hay cảm nhận thực sự được rằng đây là một công việc đem lại cảm giác đạt được mục tiêu)

JVT: Ngay cả sau khi vào làm việc thực tế, đã có nhiều dịp tôi cảm nhận rõ ràng rằng đây là công việc cho ta cảm giác đạt được thành tựu cụ thể.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

Lý do:

PART C: Cảm tưởng chung

Xin hãy cho biết cảm tưởng chung của bạn khi đánh giá về chất lượng biên và phiên dịch tại phần A và phần B. (Các phương diện bạn đặc biệt coi trọng khi đánh giá, những điểm tốt và chưa tốt theo đánh giá của bạn về nội dung phiên biên dịch nêu trong phiếu điều tra, và những cảm tưởng khác v..v)

Xin chân thành cảm ơn sự hợp tác của bạn.

3. 日本語・ベトナム語のどちらも出来るベトナム人 対象者への調査に使われるアンケート用紙

平成 28 年 12 月 23 日

東京外国語大学博士後期課程

グエンティミンヴァン

日越通訳・翻訳研究へのご協力をお願い

本アンケート調査は日越通訳・翻訳研究のために行われるものです。アンケート調査結果及び協力者の情報は研究以外の目的に使いません。本研究の成果は全般的な通訳・翻訳の研究、特別にベトナムにおける日本語通訳者・翻訳者の養成事業に貢献できると思われます。本アンケートの回答時間は約 20 分～25 分です。是非ともご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

アンケートの質問へ回答する前に、以下の情報をご提供願います。

1. 国籍：
2. 年齢：
3. 使用可能な言語：
母語 _____ 語、その他 _____ 語、 _____ 語、
_____ 語
4. 通訳を依頼した経験があるか：○ある ○ない
5. 翻訳を依頼した経験があるか：○ある ○ない

本アンケートは 3 つの部分から構成されています。PART A は通訳文の評価、PART B は翻訳文の評価、そして PART C は全体的な感想です。最後までご協力をお願い申し上げます。

PART A：通訳

PART A の調査目的は通訳パフォーマンスを評価することです。ベトナム人の対話者がベトナム語で発言し、通訳者があなたにその発言を日本語に通訳する場面を

ご想像下さい。通訳者の伝達内容・表現・分かりやすさ等を総合的に考慮し、評価して下さい。評価は 1～5 点の点数でして頂きます。評価が高いほど、高い点数になります。特に、下線を引かれた訳の部分に注目し、評価して下さい。参照として、発言のすぐあとの（ ）の中に、直訳を提示しておきます。また、点数で評価した上で、評価の根拠を一言でコメントをお願い致します（例えば：説明の追加によってより分かりやすくなったと思う）

以下に使われる記号は次のように解釈して頂けます。

VNS: Vietnamese Speaker （ベトナム人発言者）

JPS : Japanese Speaker （日本人発言者）

VJI: Vietnamese-Japanese Interpreter （ベトナム語から日本語へ通訳する訳文）

VNT: Vietnamese Text （ベトナム語原文）

VJT: Vietnamese-Japanese Translation （ベトナム語から日本語へ翻訳する訳文）

Q1:

VNS: Xin chào bà, cảm ơn bà đã dành thời gian đến dự cuộc họp ngày hôm nay.

VJI: あの、こんにちは、本日はお時間を割いて頂きましてありがとうございます。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q2: （前置き表現の活用）

JPS: あの、大体何人の方が出席するのですか。

JVI: Cho tôi hỏi là khoảng độ tầm bao nhiêu người sẽ tham gia ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q3:

JPS: はい、じゃ、これから、何か、質問があったら、チエンさんにしますが、えーと、日本語はだめでしょうか。

VNS: À, xin hãy sử dụng bằng tiếng anh.

VJI: えー、出来れば英語で、、、

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q4:

VNS: Xin hỏi bà 「話者名」 có các câu hỏi gì về cái cơ cấu, cũng như các cái giai đoạn của buổi hội thảo tới?

VJI: 今回のセミナーのアジェンダについて質問などはあるんですか。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q5:

VNS: Cuộc hội thảo sẽ được diễn ra từ 14 giờ cho tới 17 giờ, ngày 30 tháng 11 năm 2011, tại khách sạn Sheraton Hà Nội, địa chỉ tại đường Nghi Tam, Quận Tây Hồ.

VJI: セミナーの時間は 2011 年 11 月 30 日、14 時から 17 時までです。

VJI: えと、場所はシェラトンホテルです。

VJI: 具体的な住所なんですけども、Nghi Tam, Nghi tam という道です。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q6:

VJI: まずあの、本日の、あの、会議に出席して頂いてありがとうございました。

JPS: いいえ、こちらこそ。

JVI: Chính tôi mới là người phải cảm ơn anh vì đã mời tôi đến đây ạ.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q7:

VNS: Trong đó thì chủ yếu là các doanh nghiệp trong và ngoài nước, và chủ yếu là các doanh nghiệp Nhật, đã đang và sắp đầu tư vào Việt Nam.

VJI: その中ですね、200 名の中ですけど、主に国内外の企業の代表者ですね。国外の企業さんに来てもらいますけど、その中で、ベトナムに今投資している、また、今後ですね、投資する計画がある企業が殆どです。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q8:

VNS: Cuộc hội thảo tới đây sẽ được tổ chức tại khách sạn Sheraton, Hà Nội, địa chỉ tại đường Nghi Tàm, Quận Tây Hồ.

VJI: セミナーの行われる場所ですけど、シェラトンホテルという場所で、ギタム通りですね。

VJI: タイ湖の近くですけど。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q9:

VNS: Vâng, xin bà gửi cho anh Chiến là người phụ trách.

VNS: Số điện thoại là 0902232083, và email là chienmpi@gmail.com.

(はい、あなたは担当者のチェンさんに送るようお願い致します。電話番号は0902232083、そして、Eメールは chienmpi@gmail.com です)

VJI: あの、連絡の窓口としては、チェンさんという方ですね。

VJI: チェンさんですけど。

VJI: で、まず、チェンさんの電話番号ですけど、ちょっといいですか。0902232083。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q10:

JPS: 今ちょっと提案の内容に、えーと、私が発表する、あの、内容についてちょっと確認させてもらいますね。

JPS: 一番目は、企業の概要ですね、わが社の企業の。

JPS: そして、この、ベトナムに進出したころの初期の困難について。

JVI: Thế là bà ý muốn xác nhận lại nội dung của cái cấu trúc cái bài phát biểu ạ.

JVI: Thứ nhất là giới thiệu khái quát về doanh nghiệp.

JVI: Cái thứ hai là những khó khăn ban đầu khi đầu tư vào Việt Nam.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q11:

JPS : 三番目はそれに対してどのような対策を採ってきたか。

JVI: Cái thứ ba là những biện pháp, đối sách để vượt qua những cái khó khăn đó.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

Q12:

JPS: そして、発表原稿は 2 週間前までに送りますが、あの、もし何か聞きたいことがあったら、この方に私が直接メールや電話ですね、ところで、言語はどうなってますか?、この方の言葉。

JVI: Cho tôi hỏi một chút, thế tức là bài phát biểu của tôi sẽ gửi cho anh Chiến trước hai tuần diễn ra hội thảo, thế nhưng mà trong quá trình viết nếu như có gì tôi không hiểu thì tôi có thể contact trực tiếp với anh Chiến bằng mail hoặc là điện thoại được không ạ?

JVI: Thế contact với anh Chiến thì sẽ bằng tiếng gì ạ, tiếng Nhật được không ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

Q13 :

VNS: Vâng, nếu có thể xin doanh nghiệp hãy gửi cho tôi trước 2 tuần, trước khi mà hội thảo diễn ra, để chúng tôi chuẩn bị cho người dịch sang tiếng Việt từ sớm.

VJI: はい、あの、できれば、そのセミナーの 2 週間前に送って頂きたいんです。

VJI: なぜその 2 週間がいるか(うん)、ベトナム語に翻訳する必要がありますので。

JPS : 分かりました。

JPS : ということは、私は、日本語で発表すればいいですね。

JVI: Thế tức là có người dịch thì tôi chỉ cần, tôi nói bằng tiếng Nhật là được đúng không ạ?

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

Q14: (暗示された情報の復元、主体の明示化)

VJI: 是非「人名」様が「人名」様に今回のセミナーに参加して頂きたいと思います。

JPS: はい、喜んで参加させていただきます。

(Vâng, rất vui được tham gia ạ)

JVI: Vâng, tôi cũng rất vui lòng xin được dự buổi hội thảo sắp tới.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

PART B: 翻訳

PART B の調査目的は翻訳パフォーマンスを評価するためです。翻訳文の伝達内容・表現・分かりやすさ等を総合的に考慮し、評価して下さい。評価は1～5点の点数でして頂きます。評価が高いほど、高い点数になります。特に、下線を引かれた訳の部分に注目し、評価して下さい。参照として、発言のすぐあとの（ ）の中に、直訳を提示しておきます。また、点数で評価した上で、評価の根拠を一言でコメントをお願い致します（例えば：説明の追加によって、より分かりやすくなる）

以下に使われる記号の意味は次のとおりです。

VNT: Vietnamese Text （ベトナム語原文）

VJT: Vietnamese-Japanese Translation （ベトナム語から日本語へ翻訳する訳文）

JPT: Japanese Text （日本語原文）

JVT: Japanese – Vietnamese Translation （日本語からベトナム語へ翻訳する訳文）

Q1:

VNT: Chương trình đã thu hút sự tham gia của hơn 300 cán bộ, đại diện cho hơn 60.000 cán bộ, tư vấn viên trên toàn hệ thống ○○ (Tên công ty) bao gồm Công ty Mẹ và 6 Đơn vị thành viên cùng những trái tim yêu nước khác (中略) . . .

（（プログラムには親会社並びに子会社の 6 社を含む全システムにおける 60.000 人の従業員、営業職員の代表となる 300 人あまりの方々及びその他の愛国心のご参加を頂き . . . (中略)）

VJT: 当運動は、○○の親会社、傘下の子会社 6 社に勤務している 6 万人の従業員、カウンセラー等を代表する 300 名の従業員及び愛国心を持っている多くの方々よりご参加頂き . . . (中略)

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q2:

VNT: Đây là cuộc thi dành cho con em cán bộ nhân viên (会社名) khuyến khích các bé nói lên ước mơ của mình, thể hiện niềm tin của cha mẹ gửi gắm vào thế hệ tương lai của đất nước.

(これは(会社名)の従業員の子供達のためのコンテストであり、子供達が自分の夢を語るのを推奨し、国の将来世代に対する親の期待を表す)

VJT: これは(会社名)の従業員の子供達を対象としたコンテストであり、子供達が自分の夢を語るのを応援し、国の将来を担う世代に対する親の期待を表すためである。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

Q3:

JPT: その職場に顔を出されていた○○の方が、真面目でとても感じが良かったです。

(Vị mà đến chỗ làm lúc đó nghiêm túc và cảm giác rất dễ chịu)

JVT: Chị nhân viên của công ty ○○ đến chỗ tôi làm lúc đó là người rất chăm chỉ và dễ chịu.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

Q4:

JPT: そして、それを実現していけるのは●●(会社名)ライフデザイナーにほかなりません。

(Và, người thực hiện được điều đó chính là nhà thiết kế cuộc sống (tên công ty))

JVT: Và người thực hiện sứ mệnh đó chính là Nhân viên tư vấn thiết kế cuộc sống (tên công ty)

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠 :

Q5:

VNT: Thông qua những hành động nhỏ mà ý nghĩa ngày hôm nay, chúng tôi hy vọng sẽ tiếp thêm sức mạnh và ý chí kiên cường cho đồng bào và các chiến sỹ nơi đảo xa trong công cuộc xây dựng và bảo vệ đất nước”.

(本日の些細ながらも有意義な行動を通じて、我々は国防・国づくり事業における、遠い島の同胞及び兵士に対して力や強い意志を与えられることを期待している)

VJT: 小さいながらも有意義な本日の行動を通じて、国防・国づくりのために遠い島で活躍している兵士の方々、住民の方々に少しでもお力になれば幸いと存じます。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q6:

VNT : Trong khuôn khổ chương trình “（会社名）: Niềm tin Việt- Chung tay hướng về biển đảo quê hương”, Tập đoàn（会社名） cũng đã công bố và trao giải cuộc thi vẽ tranh “Niềm tin chắp cánh ước mơ”.

（「ベトナムビリーフ・母国の海島に向けて力を合わせる」という運動の中で、グループ（会社名）は「夢を羽ばたかせる」という絵画コンテストを発表し、授賞式を行った）

VJT: 「（会社名）：ベトナムビリーフ、力を合わせ、母国の海島に向かう」運動の中で、グループ（会社名）は「夢を支えるビリーフ」という絵画コンテストの結果も発表し、授賞式を行った。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q7:

JPT: ご家族に経済的な負担をかけずに、それぞれの夢の実現を支えることができる生命保険とはご家族への深い愛をかたちにしたものなのです。

(Bảo hiểm nhân thọ có thể hỗ trợ thực hiện từng ước mơ mà không gây gánh nặng kinh tế lên gia đình, chính là thứ biểu tình yêu sâu sắc dành cho gia đình thành hình)

JVT: Bảo hiểm nhân thọ giúp bạn thực hiện ước mơ mà không gây áp lực kinh tế cho gia đình, và cũng chính là cách thể hiện rõ ràng nhất cho tình yêu sâu sắc đối với gia đình của bạn.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q8:

JPT: 合い言葉は「あなたの未来を強くする」

（Khẩu hiệu là “Làm vững mạnh tương lai của bạn”）

JVT: Phương châm của chúng tôi là “Làm vững chắc hơn tương lai của bạn”

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q9: (原文の構成変更、不自然に対する処理)

VNT: Ngày 09/07/2014, tập đoàn (Tên công ty) đã phát động chương trình quyên góp: Niềm tin Việt – Chung tay hướng về biển đảo quê hương nhằm khơi dậy lòng yêu nước, niềm tự hào dân tộc, hướng về biển đảo thân yêu trong mỗi cán bộ (Tên công ty).

(2014 年 7 月 9 日に、(会社名) グループは(会社名) の職員ごとの愛国心、民族への誇り、親愛なる海島へ向かうを呼び起こすために、「ベトナムのビリーフ – 母国の海島に向かって力を合せる」という寄付プログラムを発足させた。)

VJT: 2014 年 07 月 09 日に グループ名は「ベトナムへの希望ーベトナム領海へ向けて手を合わせよう」という寄付プログラムを起こしました。目的は グループ名の従業員の愛国心、民族の誇り、島への愛着を喚起することです。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q10:

VNT: Tại lễ phát động, ông Nguyễn Quang Phi,-Tổng Giám đốc Tập đoàn ○○- chia sẻ: “Chương trình là cơ hội để mỗi cán bộ nhân viên Bảo Việt thể hiện niềm tin và tình yêu đối với quê hương đất nước.

(発足式において、○○グループのグエン・クアン・フィー社長は「プログラムは○○の社員にとって、母国への信頼・愛情を表す機会である」と語る)

VJT: 発足式において、○○グループ社長グエン・クアン・フィー社長は「当運動は○○の社員にとって、母国への信頼・愛情を表す機会である」と語った。

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q11:

VNT: Đồng thời, chương trình cũng là một hoạt động ý nghĩa hướng tới kỉ niệm 50 năm thành lập ○○ (社名), là lời tri ân của doanh nghiệp đáp lại sự tin tưởng của khách hàng và cộng đồng cũng như thể hiện trách nhiệm xã hội của doanh nghiệp.

(また、プログラムも(社名) の設立 50 周年記念に向けての有意義な活動であり、お客様及び共同体の信頼への返礼であり、そして企業の社会的な責任を表す。)

VJT: また、当運動は（社名）設立 50 周年を迎える中で、非常に有意義な運動であり、お客様社会の信頼への感謝の意を表すためでもあり、当社の社会的責任を果たすためでもある)

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

Q12：

JPT:私たち○○（会社名）は、一人でも多くのお客様に、生命保険の価値・本質を伝えていきます。

(Chúng tôi (Tên công ty) sẽ truyền tải giá trị, bản chất của bảo hiểm nhân thọ đến nhiều quý khách hàng, dù là nhiều hơn 1 khách hàng cũng tốt)

JVT: Chúng tôi ○○ (tên công ty) đã, đang và sẽ nỗ lực chuyển tải giá trị, bản chất của bảo hiểm nhân thọ tới thật nhiều quý khách hàng.

○1 点 ○2 点 ○3 点 ○4 点 ○5 点

評価根拠：

PART C: 全体的な感想

PART A と PART B において、通訳文や翻訳文を評価する時のご感想（評価する際に特に重視した観点や、提示された通訳・翻訳の文の良いまたは良くないと思ったところ、及びその他お気づきの点やコメント等）を自由にお書きください。

パート 4

同意書

同意書

私は、東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程のグエン・ティ・ミン・ヴァン氏が行っている日本語教育、日本語・ベトナム語の通訳研究のためとなるデータ収集に協力します。以下の三項目に関して、自分自身が参与した会話の録音・録画データやその文字化資料を使用することに同意します。

(1) 協力者には、グエン・ティ・ミン・ヴァン氏が永続して所有する収集物の一部分になる前に、データのどの部分であろうと聞いたり、編集したり、撤回したりする権利があります。

(2) 協力者の名前は文字化資料に記載されず、又、録音や資料から、本人が連想されないように資料化されます。

(3) グエン・ティ・ミン・ヴァン氏が日本語教育、日本語・ベトナム語の通訳の研究の発展のために必要であると判断した際には、録音・録画データや文字化資料を研究者・教育者・学生、その他に配布したり、出版物あるいは、その他の形態によって、公開したりすることがあります。

署名 日付

名前

研究者..... 日付

研究者名前

Chương trình Tiến sĩ Khoa sau đại học trường Đại học Ngoại ngữ Tokyo
Người thực hiện thu dữ liệu: Nguyễn Thị Minh Vân
(Giáo viên hướng dẫn: Giáo sư Hayatsu Emiko)

BIÊN BẢN ĐỒNG Ý CHO PHÉP CÔNG KHAI DỮ LIỆU

Tôi đồng ý hợp tác thu dữ liệu cho nghiên cứu luận văn tiến sĩ với đề tài “Chiến lược làm sáng rõ thông tin trong dịch Nhật-Việt”, được thực hiện bởi cô NGUYỄN THỊ MINH VÂN, sinh viên của chương trình tiến sĩ, Khoa sau đại học Trường Đại học Ngoại ngữ Tokyo. Tôi đồng ý cho phép sử dụng dữ liệu dưới dạng ghi âm và dạng ghi lại thành chữ viết, nhằm phục vụ cho mục đích nghiên cứu và giáo dục, với ba điều kiện dưới đây.

- (1) Tôi có quyền yêu cầu để được nghe lại, biên tập lại hoặc hủy bỏ nội dung trong dữ liệu đã thu.
- (2) Tên tôi không hiển thị trong dữ liệu dạng ghi lại thành chữ viết và dữ liệu âm thanh sẽ được ghi lại theo cách mà không khiến người đọc có thể liên tưởng được về người hợp tác thu dữ liệu.
- (3) Trong trường hợp cô NGUYỄN THỊ MINH VÂN, sinh viên chương trình tiến sĩ trường đại học Ngoại ngữ Tokyo thấy cần thiết công khai dữ liệu âm thanh, hình ảnh hoặc dữ liệu ghi lại thành chữ viết nhằm phục vụ cho mục đích phát triển giáo dục tiếng Nhật hoặc phát triển giáo dục về phiên dịch ngôn ngữ Nhật- Việt, tôi đồng ý để dữ liệu được công khai dưới các hình thức như cung cấp cho các nhà nghiên cứu, các nhà giáo dục học, sinh viên, xuất bản dưới dạng ấn phẩm và các hình thức khác.

Người hợp tác thu dữ liệu
Kí tên

Người đề nghị hợp tác
Kí tên